

講義内容

文学部

2006
(平成18)
年度

講 義 內 容

目 次

I	全 学 共 通 科 目	
1	宗 教 教 育 科 目	9
2	教 養 教 育 科 目	25
	(1) 人 文 分 野	25
	(2) 社 会 分 野	75
	(3) 自 然 分 野	89
	(4) 総 合 分 野	118
3	外 国 語 科 目	141
4	保 健 体 育 科 目	287
II	専 門 教 育 科 目	
1	国 文 学 科	329
2	英 米 文 学 科	383
3	地 理 学 科	437
4	歴 史 学 科	503
5	社会学科(社会学専攻)	577
6	社会学科(社会福祉学専攻)	615
7	心 理 学 科	669
III	他 学 部 履 修 科 目	709
IV	「日本語」・「日本事情」科目	769
V	随 意 科 目	791

全 学 共 通 科 目	宗教教育 科目
	人文分野 社会分野 自然分野 総合分野
専 門 教 育 科 目	外国語 保健体育 科目
	国 文 英米文 地 理 歴 史 (社会学) 社 会 学 (社会学)
	心 理 学 履 修 科 目
	他 学 部
履 修 科 目	「日本語」 「日本事情」
	随 意 科 目

(注意)

講義内容に掲載している配当学科（学年）の欄は、それぞれの学科名で表記していますが、**地理学科・歴史学科・社会学科**については下表の略称で表記しています。誤りのないように履修してください。

学科	専攻	全学共通科目	専門教育科目
地理学科	地域文化研究専攻	地理	地文
	地域環境研究専攻	地理	環境
歴史学科	日本史学専攻(16年度以降入学生)	歴史	日本史
	外国史学専攻(16年度以降入学生)	歴史	外国史
	考古学専攻(16年度以降入学生)	歴史	考古学
	15年度以前入学生	歴史	歴史
社会学科	社会学専攻	社会	社会
	社会福祉学専攻	福祉	福祉

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗 教 教 育 科 目

科
宗
教
教
育
目
录

1. 宗教教育科目

科. 目 名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
仏教と人間	国文1必	通年	4	小川順敬	9
仏教と人間	英米文1必	通年	4	矢野秀武	9
仏教と人間	地理1必	通年	4	池上良正	10
仏教と人間	歴史1必	通年	4	岡部雅明	10
仏教と人間	歴史1必	通年	4	佐々木章格	11
仏教と人間	心理1必	通年	4	粟谷良道	11
仏教と人間	社会・福祉1必	通年	4	竹内弘道	12
仏教と人間〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	4	晴山俊英	12
仏教と人間〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	4	岡本一平	13
仏教と人間〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	4	古山健一	13
仏教と人間〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	4	吉津宜英	14
文化と宗教	文学部全学科選	通年	4	長谷部八朗	15
社会と宗教	文学部全学科選	通年	4	池上良正	15
自然と宗教	文学部全学科選	通年	4	小川順敬	16
坐禅	文学部全学科選	半期	2	佐藤秀孝 熊本英人	17

科
宗
教
教
育
目
录

科 目 名	担 当 者 名
仏教と人間	小 川 順 敬

講義のねらい

日本人は仏教や寺院と深い関わりをもって生活しています。お彼岸やお盆といった年中行事、葬儀や年忌などの人生儀礼、また時には寺院で「祈願」を行なうなど、仏教は生活の中の宗教として定着してきたといっても良いでしょう。しかし、そこで行なわれている法要や行事の意味について私たちは十分に理解しているのでしょうか。多くの場合、これらの法要や行事は仏教本来の教えとは異なっています。教義で説く仏教と、私たちが普通に考えている仏教には大きな違いがあるのです。すなわち日本仏教は本来の仏教から大きく変容していると考えられているのです。

この講義では、私たちをとりまく仏教の現状から初めて、その変容の意味を考えたいと思います。しかし変容を考えるためには、本来の仏教の教えについて学ばなくてはなりません。仏教がどの様にして生まれ、発展してきたのか、この点について理解を深めたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は日本の仏教の現状と、仏教と民俗慣行との関わりについて、歴史をふまえながら紹介していきます。後期は仏教思想について紹介していきたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

参 考 書 等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名
仏教と人間	矢 野 秀 武

講義のねらい

本講義では、日本だけではなく東アジア・東南アジア・南アジア・欧米などにおける仏教の様々な姿を、その地域の政治・社会・文化との関わりの中で紹介する。世界における仏教についての基礎知識を学ぶだけでなく、仏教と社会との関わり方には多様な姿があること、および諸外国の仏教を通して現代日本の仏教の特色を理解してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、おもに東南アジア・南アジア社会と仏教の関係を紹介し、仏教が生活の多様な側面と結びついている事例を紹介する。後期では日本仏教を中心に、葬祭重視の仏教が生まれる背景、老いや死などの問題に対する仏教の取り組みなどを紹介する。

成績評価の方法

レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参 考 書 等

授業時に随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名
仏教と人間	池 上 良 正 <small>いけ がみ よし まさ</small>

講義のねらい

「仏教」には高度な思想から、生活に根づいた習俗まで多様な幅があるが、本講義では、仏教に関する基礎的知識の解説に主眼をおきつつも、とくに地理学科の学生諸君が興味をもてそうなトピックを中心に講義を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「世界宗教」の発生・展開という人類史の大きな流れのなかで、仏教の成立過程とその意義を考察する。後期は、「山岳信仰と日本仏教」というテーマを中心に、日本の民衆層における仏教の土着化の問題を考える。

成績評価の方法

前期末と学年末に筆記試験を行なう。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参 考 書 等

池上良正『死者の救済史』（角川書店）

科 目 名	担 当 者 名
仏教と人間	岡 部 雅 明 <small>おか べ まさ あき</small>

講義のねらい

仏教は、教義としての仏教や、人びとが実際に信仰として行っている仏教などさまざまなレベルの仏教があります。また、信仰に基づいた仏教として行われている活動にも、地域によるバリエーションが存在します。このような多様性に富む仏教について、他宗教との関連や比較などを通して、主体的に考え、仏教の教義や生活に根ざした仏教の理解を深めることを目的としたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、仏教・宗教現象の具体的事例などを通して、仏教や諸宗教が現実に果たしている役割や、宗教についての一般的な理解を深めてもらいたいと思います。後半は、仏教教理や仏教史を中心に考察したいと考えています。

成績評価の方法

出席状況と学年末の筆記試験により評価しますが、場合によってはレポートを提出してもらい、総合的に評価します。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参 考 書 等

必要に応じて適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名
仏教と人間	佐々木 章 格

講義のねらい

「父母未生以前、本来の面目」という公案がある。かの夏目漱石も若いころに課題とされ、それは晩年にいたる小説の中まで鮮やかに反映されていた。本来の人間とは何か、本当の自分自身とは——。釈尊（ブツダ）はその最後に、弟子たちに向かって「法灯明、自灯明」すなわち真理を抛り処とし、自分自身を抛り処とせよ、と説示した。それは理想としての宗教ではなく、現実に今ある自分の姿としての、苦悩と戦いながらの実践修道（生きざま）なのではないだろうか。

本講義においては、宗教教育科目として、本学の建学の精神に関わる仏教思想・禅思想に焦点を合わせ、仏教の開祖釈尊以来の説示を概説する。また禅の公案についても参究しながら、「人間そのもの」について理解を深めていきたい。さらに学生手帳に載せる『般若心経』や『修証義』にも言及したい。

講義の内容・授業スケジュール

次のテーマを用意し、世界宗教・仏教・禅について順次理解を深めたいと考えている。

- 1) 文化と宗教、宗教現象の諸相、宗教の分類、世界宗教・民族宗教についての概要。
- 2) インドの古代思想、釈尊の成道、仏教の基本的教理、大乘仏教（菩薩道）の成立。
- 3) 中国における仏教の受容とその梗概、禅宗の成立と展開。
- 4) 日本における仏教の受容とその梗概、および道元禅師と瑩山禅師の思想。

履修上の留意点

教科書は必ず持参すること。そしてこの科目専用のノートを用意し、講義内容を自分の手で、ノートすることを要望する。またレポートの提出をお願いするが、その内容については一般常識などの借り物ではなく、課題に対しての本人の主体的意見が存在したものを希望する。

成績評価の方法

定期試験を基本とし、加えて別に指示する課題についてのレポート、受講の度合（出欠）を考慮した総合評価とする。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

参考書等

必要に応じて適宜紹介、またプリント等も配布する。

科 目 名	担 当 者 名
仏教と人間	栗 谷 良 道

講義のねらい

日本に伝承された仏教は、日本の文化と深く関わりながら、先祖供養や祈願祈祷などを行うことによって受け継がれてきました。お盆やお彼岸の先祖供養、お正月のご祈祷など、日本の仏教は人々の暮らしの中に定着している宗教と言えます。そのような日本の仏教を理解するには、日本の固有文化である習俗や慣習などの民俗を学ぶと同時に、インドから伝わる仏教の理念としての教義を学ぶ必要があります。この講座では、民俗と仏教が相互に交流しながら発展してきた民俗仏教を学びます。そして、より深く仏教を理解するために、仏教の理念として伝承されてきた教義について学びます。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教の現状、日本仏教の現状、仏教と民俗の関わり、などについて学びます。後期は、釈尊の教え、禅宗の教え、道元禅師の教え、などについて学びます。

履修上の留意点

毎回、出席をとります。

成績評価の方法

学年末の筆記試験とレポートで評価します。レポートの課題は夏休みの前に出します。詳しくは授業の中で説明します。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院） 2,100円

参考書等

授業の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名
仏教と人間	たけうちひろみち 竹内弘道

講義のねらい

世界のさまざまな問題に関心を寄せ、現代社会が抱える先進的なテーマに対しても自分なりの考えを持てるようになることが学生としてのあるべき姿であると考えられる。しかし、いざ自分の考えを表明しようにも、判断の指標となる自己の依って立つ「思想」がなければ、何の見解も導き出すことができない。しかも、現代の先進的問題は、背景に深く自らの宗教観が問われる場合が多く、自己の宗教的視点が確立していないと、問題の本質も見えず、意見を述べることもむずかしくなる。宗教を病的なまでに排除した戦後の教育によって形成された私たちの知性にとって、大きく欠けている部分は宗教に関する諸知識と宗教観である。授業では、仏教と禅に関する基本的知識を学ぶなかで、現代社会のさまざまな問題についても考えていきたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

仏教の基本的思想や禅の目指す人間観について講義するが、次のようなテーマについて、具体的問題を取りあげ、随時講義する予定である。時間が許せば予定外のテーマも取りあげたい。

1. 破壊的カルト教団の諸相とマインドコントロールの恐怖
2. 生命倫理と脳死・臓器移植－日本人の生命観
3. 環境問題と現代社会－仏教の可能性
4. 仏教と人権－フェミニズムからの挑戦
5. 日本仏教の社会的機能と使命－葬祭と仏教

成績評価の方法

試験は、講義内容から指定したテーマについて、レポートを提出させ理解度を評価する。

教科書

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参考書等

参考書はその都度授業で紹介する。

科目名	担当者名
仏教と人間〔再クラス〕	はれやましゅんえい 晴山俊英

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依るうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

参考書等

授業において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名
仏教と人間〔再クラス〕	岡 本 一 平 <small>おか もと いっ べい</small>

講義のねらい

仏教は、約2500年前のインドにおいて、釈尊を開祖として成立した宗教です。その後、中国・韓国・日本・チベット・スリランカ・タイ・カンボジアなどに伝播し、現在では世界各国の仏教徒たちによっても信仰されています。本年度は、仏教の思想と歴史の基本的概要について、現代社会における宗教事情との関連を念頭におきながら講義します。そして、受講生自身が仏教に関する知識を深め、仏教について考えるための材料を多く手にすることが出来るようになります。

講義の内容・授業スケジュール

前期：仏教の思想と歴史に関する概論
 ①宗教とは何か ②仏教の開祖の伝記 ③仏教の聖典 ④仏教の伝播 ⑤仏教の思想
 後期：日本における仏教について
 ①日本と仏教 ②仏教公伝 ③古代の仏教 ④中世の仏教 ⑤近代の仏教

履修上の留意点

講義形式で行います。筆記用具とノートは必ず準備して下さい。私語は厳禁で、場合によっては退席してもらいます。質疑は大歓迎です。

成績評価の方法

出席と学年末試験により評価します。場合によって小テストを実施します。

教 科 書

プリントを配布します。

参 考 書 等

袴谷憲昭『仏教入門』（大蔵出版）2003年
 袴谷憲昭『日本仏教文化史』（大蔵出版）2005年

科 目 名	担 当 者 名
仏教と人間〔再クラス〕	古 山 健 一 <small>ふる やま けん いち</small>

講義のねらい

仏教は今から約二千六百年前にインドで興起した宗教である。仏教の開祖である釈尊（ゴータマブツダ）は、いきとし生けるものすべての幸福に関する普遍的で絶対的な道理を「教え」として説いた。そして、その教えは、今日までの長い時間に、様ざまに変容・発展しつつ、アジアの広範な地域に伝播した。本講義では、仏教の出発点とその後の展開についてを学び、かつ、その仏教が現代の人間社会と人間生活において持ちうる意義を考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯、釈尊の説いた重要な教え、その後の仏教の伝播と歴史についてを概論的に学び、仏教の現代における意義について、特に現代タイの開発僧における「開発」の思想を取りあげて、これを見てゆきたい。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

授業への出席状況と、夏休みの提出課題及び学年末試験により評価する。

教 科 書

プリント随時配布する。

参 考 書 等

水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）2,100円 ISBN4393106040
 中野元・三枝充恵『バウツダ・佛教』（小学館）3,262円 ISBN4095580011
 西川潤・野田真里編『仏教・開発・NGO タイ開発僧に学ぶ共生の智慧』（新評論）3,465円 ISBN4794805365

科 目 名

担 当 者 名

仏教と人間〔再クラス〕

よし ず よし ひで
吉 津 宜 英

講義のねらい

先ず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な方にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果しているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・
授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願いし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教 科 書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参 考 書 等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

そ の 他

私の講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。あまり目立つ場合には退場を要請しますので、あらかじめご承知おき下さい。また、授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

科 目 名	担 当 者 名
文化と宗教	ほ せ べ ば ち ろ う 長谷部 八 郎

講義のねらい	本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。 また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。
成績評価の方法	開講後に決定する。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。
教 科 書	使用しない。
参 考 書 等	授業の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名
社会と宗教	い け が み よ し ま さ 池 上 良 正

講義のねらい	宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論、グローバル化と宗教などの問題を検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解をふまえて、近代国家と宗教との関係について考える。近年の「靖国問題」を考える手がかりなども探ってみたい。
成績評価の方法	年度末に筆記試験を行なう。
教 科 書	特に指定しない。
参 考 書 等	授業中に適宜紹介する。

科 目 名

担 当 者 名

自然と宗教

お が わ と し ゆ き
小 川 順 敬

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと考えています。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験（もしくはレポート試験）により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教 科 書

原則として教科書は用いません。

参 考 書 等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名

担当者名

坐禅

まとう しゅうこう くまもと えいじん
佐藤 秀孝・熊本 英人

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの周りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

講義の内容・
授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13 「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵－坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅一講本一』(更生社) 2,226円

2. 教養教育科目

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
文学〔日本文学「近代」〕	国文・英米文選	通年	4	川島淳史	25
文学〔日本文学「近代」〕	社会・福祉・心理選	通年	4	小林治	25
文学〔日本のことば〕	地理・歴史選	通年	4	中西亮太	26
歴史学〔古代オリエント史〕	地理・歴史・社会・福祉・心理選	通年	4	大城道則	27
歴史学〔東アジア考古学〕	地理・歴史・社会・福祉・心理選	通年	4	千葉基次	28
芸術学(1)〔日本美術〕	文学部全学科選	通年	4	北野良枝	29
芸術学(2)〔西洋美術〕	文学部全学科選	通年	4	矢野陽子	30
芸術学(3)〔音楽〕	文学部全学科選	通年	4	浦本裕子	30
哲学〔近代の人間観と世界観〕	英米文・歴史選	通年	4	久保陽一	31
哲学〔近代の人間観と世界観〕	国文選	通年	4	古田知章	32
哲学〔近代の人間観と世界観〕	地理・歴史・社会・福祉・心理選	通年	4	植野公稔	33
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	国文・英米文選	通年	4	河谷淳	34
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	地理・歴史・社会・福祉・心理選	通年	4	滝口清栄	34
論理学〔知の技法〕	文学部全学科選	通年	4	伊古田理	35
論理学〔知の技法〕	文学部全学科選	通年	4	植野公稔	36
科学史〔近代科学の成立と展開〕	文学部全学科選	通年	4	高橋秀裕	36
倫理学(1)〔人間観〕	文学部全学科選	通年	4	古田知章	37
倫理学(2)(7)〔応用倫理学〕	文学部全学科選	通年	4	黒崎剛	38
倫理学(3)〔価値観〕	文学部全学科選	通年	4	滝沢正之	38
倫理学(4)〔応用倫理学〕	文学部全学科選	通年	4	麻生享志	39
倫理学(5)〔制度とモラル〕	文学部全学科選	通年	4	滝口清栄	39
倫理学(6)〔東洋倫理〕	文学部全学科選	通年	4	末木恭彦	40
宗教学(1)〔比較宗教文化〕	文学部全学科選	通年	4	池上良正	40
宗教学(2)〔聖と俗〕	文学部全学科選	通年	4	田中かの子	41
宗教学(3)〔世界観と儀礼〕	文学部全学科選	通年	4	小川順敬	41
宗教学(4)〔日本人の宗教〕	文学部全学科選	通年	4	矢野秀武	42
宗教学(5)〔生活と宗教〕	文学部全学科選	通年	4	菅原壽清	42
宗教学(6)〔民俗宗教の諸相〕	文学部全学科選	通年	4	浅川泰弘	43
人文地理学(1)〔風土と文化〕	文学部全学科選	通年	4	山口太郎	44
人文地理学(2)〔風土と文化〕	文学部全学科選	通年	4	高橋健太郎	45
人文地理学(3)(4)〔空間と行動〕	文学部全学科選	通年	4	伊藤修一	46
教育の思想	国文2選	半期	2	豊田千代子	46
教育の思想	国文・英米文・地理・歴史2選	半期	2	北村三子	47
教育の思想	地理・歴史・社会・福祉・心理2選	半期	2	伊藤茂樹	47
教育の思想	英米文・福祉・心理2選	半期	2	萩原建次郎	48
教育と社会	国文2選	半期	2	豊田千代子	49
教育と社会	国文・英米文・地理・歴史2選	半期	2	北村三子	49
教育と社会	地理・歴史・社会・福祉・心理2選	半期	2	伊藤茂樹	50
教育と社会	英米文・福祉・心理2選	半期	2	萩原建次郎	51
発達と学習の心理学	国文・英米文2選	半期	2	大浜幾久子	51
発達と学習の心理学	地理・歴史・社会・福祉・心理2選	半期	2	飯田都	52

発達と学習の心理学	文学部全学科 2 選	半期	2	角野善司	53
カリキュラムと学習	12以降入学生/国文・英米文 2 選	半期	2	大浜幾久子	53
カリキュラムと学習	12以降入学生/地理・歴史・社会・福祉・心理 2 選	半期	2	杉山二季	54
カリキュラムと学習	12以降入学生/文学部全学科 2 選	半期	2	角野善司	54
フレッシュマンセミナー	18以降入学生/国文・英米文・歴史・心理 1 選	半期	2	片山晴賢	55
フレッシュマンセミナー	18以降入学生/国文・英米文・歴史・心理 1 選	半期	2	萩原義雄	56
フレッシュマンセミナー	18以降入学生/国文・英米文・歴史・心理 1 選	半期	2	佐原作美	57
フレッシュマンセミナー	18以降入学生/国文・英米文・歴史・心理 1 選	半期	2	鈴木裕子	57
フレッシュマンセミナー	18以降入学生/国文・英米文・歴史・心理 1 選	半期	2	坂口博規	58
フレッシュマンセミナー	18以降入学生/国文・英米文・歴史・心理 1 選	半期	2	藺部幹生	58
フレッシュマンセミナー	18以降入学生/国文・英米文・歴史・心理 1 選	半期	2	石割透	59
フレッシュマンセミナー	18以降入学生/国文・英米文・歴史・心理 1 選	半期	2	小林治	59
フレッシュマンセミナー	18以降入学生/国文・英米文・歴史・心理 1 選	半期	2	松田直行	60
フレッシュマンセミナー	18以降入学生/国文・英米文・歴史・心理 1 選	半期	2	湯浅陽子	60
日本文化基礎	国文・英米文・歴史・心理 1・2 選	半期	2	佐原作美	61
日本文化基礎	国文・英米文・歴史・心理 1・2 選	半期	2	鈴木裕子	62
日本文化基礎	国文・英米文・歴史・心理 1・2 選	半期	2	坂口博規	62
日本文化基礎	国文・英米文・歴史・心理 1・2 選	半期	2	藺部幹生	63
日本文化基礎	国文・英米文・歴史・心理 1・2 選	半期	2	石割透	63
日本文化基礎	国文・英米文・歴史・心理 1・2 選	半期	2	小林治	64
日本文化基礎	国文・英米文・歴史・心理 1・2 選	半期	2	松田直行	64
日本言語文化基礎	国文・英米文・歴史・心理 1・2 選	半期	2	片山晴賢	65
日本言語文化基礎	国文・英米文・歴史・心理 1・2 選	半期	2	萩原義雄	66
日本言語文化基礎	国文・英米文・歴史・心理 1・2 選	半期	2	湯浅陽子	67
日本文化研究 I A	国文・英米文・歴史・心理 選	通年	4	佐原作美	68
日本文化研究 I A	国文・英米文・歴史・心理 選	通年	4	坂口博規	68
日本文化研究 I A	国文・英米文・歴史・心理 選	通年	4	鈴木裕子	69
日本文化研究 I A	国文・英米文・歴史・心理 選	通年	4	藺部幹生	69
日本文化研究 I B	国文・英米文・歴史・心理 選	通年	4	石割透	70
日本文化研究 I B	国文・英米文・歴史・心理 選	通年	4	小林治	70
日本文化研究 I B	国文・英米文・歴史・心理 選	通年	4	松田直行	71
日本文化研究 II A	国文・英米文・歴史・心理 2・3・4 選		4	(19年度より開講予定)	／
日本文化研究 II B	国文・英米文・歴史・心理 2・3・4 選		4	(19年度より開講予定)	／
日本言語文化研究 I	国文・英米文・歴史・心理 選	通年	4	片山晴賢	71
日本言語文化研究 I	国文・英米文・歴史・心理 選	通年	4	萩原義雄	72
日本言語文化研究 I	国文・英米文・歴史・心理 選	通年	4	湯浅陽子	74
日本言語文化研究 II	国文・英米文・歴史・心理 2・3・4 選		4	(19年度より開講予定)	／

(2) 社会分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
社会学〔現代社会を考える〕	文学部全学科選	通年	4	呉炳三	75
社会学〔社会生活を考える〕					
統計学〔社会現象の統計的分析〕	文学部全学科選	通年	4	田中正光	76
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	国文・英米文・地理選	通年	4	鈴木一馨	77
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	歴史・社会・福祉・心理選	通年	4	矢野秀武	78
法学・憲法〔法と社会生活〕	地理・歴史選	通年	4	長谷川日出世	79
法学・憲法〔法と社会生活〕	社会・福祉・心理選	通年	4	鶏徳啓登	80

法学・憲法〔法と国家〕	国文・英米文選	通年	4	佐藤多美夫	81
法学・憲法〔法と国家〕	国文・英米文選	通年	4	織田晃子	82
法学・憲法〔法と権利〕	文学部全学科選	夏季集中	4	池田実	83
政治学〔社会生活とデモクラシー〕	歴史・社会・福祉・心理選	通年	4	横田匡紀	83
政治学〔国際社会と日本〕	国文・英米文・地理選	通年	4	三船恵美	84
経済学〔現代社会と市場経済〕	地理・歴史・社会・福祉・心理選	通年	4	島中貴	84
経済学〔現代経済と人間〕	国文・英米文選	通年	4	森田成也	85
社会科学論〔社会認識の思想〕	文学部全学科選	通年	4	大石雄爾	86
教育学〔デス・エデュケーション〕	文学部全学科選	通年	4	柳堀素雅子	87
教育心理〔大学生の心理―教育臨床心理学の立場から―〕	文学部全学科選	通年	4	小田切紀子	88

(3) 自然分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
生物学〔生物と環境〕	国文・英米文選	通年	4	中村敏枝	89
生物学〔生態と進化〕	地理・歴史・社会・福祉・心理選	通年	4	清水善和	90
地球科学〔自然景観の成り立ち〕	国文選	通年	4	市川清士	91
地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕	英米文・歴史選	通年	4	小池敏夫	92
地球科学〔地球システムと人間圏〕	地理・社会・福祉・心理選	通年	4	澤口隆	93
自然環境論〔生命と環境〕	国文・英米文・歴史選	通年		持丸真里	94
自然環境論〔生物の集団と環境〕	国文・地理・社会・福祉・心理選	通年	4	坂巻義章	95
自然誌〔現代の自然像〕	文学部全学科選	通年	4	清水善和 篠原正雄 持丸真里	96
数学(1)〔微積分学入門〕	文学部全学科選	通年	4	小沢誠	97
数学(2)〔線型代数学入門〕	文学部全学科選	通年	4	小沢誠	97
数学(3)〔現代数学入門〕	文学部全学科選	通年	4	福田賢一	98
情報数学〔情報と論理〕	文学部全学科選	通年	4	坂野井和代	98
物理学〔光と物質〕	文学部全学科選	通年	4	篠原正雄	99
化学〔衣食住の化学〕	文学部全学科選	通年	4	持丸真里	100
宇宙科学〔星と銀河〕	文学部全学科選	通年	4	篠原正雄	100
コンピュータ基礎(1)〔6〕 〔コンピュータの実際〕	文学部全学科選	半期	2	小沢誠	101
コンピュータ基礎(4)〔9〕 〔コンピュータの実際〕	文学部全学科選	半期	2	小沢誠	102
コンピュータ基礎(2)〔7〕 〔コンピュータの実際〕	文学部全学科選	半期	2	山本博信	103
コンピュータ基礎(3)〔8〕 〔コンピュータの実際〕	文学部全学科選	半期	2	小川健次郎	104
コンピュータ基礎(5) 〔コンピュータの実際〕	文学部全学科選	半期	2	澤口隆	105
コンピュータ基礎(10) 〔コンピュータの実際〕	文学部全学科選	半期	2	澤口隆	106
コンピュータ基礎(11) 〔コンピュータの実際〕	文学部全学科選	夏季集中	2	元木光雄	107
コンピュータ基礎(12) 〔コンピュータの実際〕	文学部全学科選	夏季集中	2	坂野井和代	108

コンピュータ基礎(13) 〔コンピュータの実際〕	文学部全学科選	夏季集中	2	山本博信	109
コンピュータ基礎(14) 〔コンピュータの実際〕	文学部全学科選	夏季集中	2	長坂浩史	110
コンピュータ基礎(15)(16) 〔コンピュータの実際〕	文学部全学科選	夏季集中	2	小川健次郎	111
コンピュータ基礎(17) 〔コンピュータの実際〕	文学部全学科選	夏季集中	2	塚本達也	111
コンピュータ基礎(18) 〔コンピュータの実際〕	文学部全学科選	夏季集中	2	小沢誠	112
コンピュータ基礎(19)(20) 〔コンピュータの実際〕	文学部全学科選	半期	2	坂野井和代	113
コンピュータ応用(1)(2) 〔コンピュータの原理〕	文学部全学科選	通年	4	坂野井和代	114
人類学(1)(2)〔人類の進化〕	文学部全学科選	通年	4	篠田謙一	114
心理学〔人間関係を考える〕	国文・英米文選	通年	4	高橋良博	115
心理学〔心を科学する〕	社会・福祉・心理選	通年	4	高橋良博	115
心理学〔心を科学する〕	国文・英米文選	通年	4	中丸茂	116
心理学〔心を科学する〕	地理・歴史選	通年	4	名取志保	117
心理学〔心を科学する〕	文学部全学科選	夏季集中	4	深堀友覚	117

(4) 総合分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
総合Ⅰ(1)〔仏教と自然〕	文学部全学科選	通年	4	四津谷孝道	118
総合Ⅰ(2)〔仏教と社会〕	文学部全学科選	通年	4	熊本英人	119
総合Ⅰ(3)〔仏教と芸術〕	文学部全学科選	通年	4	村松哲文	119
総合Ⅱ(2)〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕	文学部全学科選	通年	4	休講	
総合Ⅲ(1)〔人権と社会問題〕	文学部全学科選	通年	4	ピアス, D. M.	120
総合Ⅲ(2)〔欧米の教育と日本の教育〕	文学部全学科選	通年	4	岡崎寿一郎	121
総合Ⅲ(3)〔ドイツの森林〕	文学部全学科選	通年	4	野島利彰	121
総合Ⅳ(1)〔現代アメリカ事情〕	文学部全学科選	通年	4	林明人	122
総合Ⅳ(2)〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	文学部全学科選	通年	4	西村祐子	122
総合Ⅳ(3)〔ポスト・モダンの世界〕	文学部全学科選	通年	4	丸小哲雄	123
総合Ⅴ(1)〔イギリスの歴史と文化〕	文学部全学科選	通年	4	石原孝哉	124
総合Ⅵ(1)〔民族とは何か〕	文学部全学科選	通年	4	大野祐二	124
総合Ⅵ(2)〔イスラム〕	文学部全学科選	通年	4	青柳かおる	125
総合Ⅵ(3)〔フェミニズム・ジェンダー〕	文学部全学科選	通年	4	早川紀代	126
総合Ⅶ(1)〔トラブルと法的解決〕	文学部全学科選	通年	4	高橋洋城 他	127
総合Ⅶ(2)〔都市論〕	文学部全学科選	通年	4	内海麻利 他	128
総合Ⅷ				休講	

科目名	担当者名
文学〔日本文学〔近代〕〕	川島淳史 <small>かわしまあつし</small>

講義のねらい	日本近代文学の成立期における西欧文化の受容と反動について考察する。
講義の内容・授業スケジュール	<p>明治新政府は積極的に欧化政策を推進してきたが、やがてその極端な欧化主義に対する反発と揺り戻しから、国粹的な傾向が強まっていった。思想の面でも欧化主義を批判する言説が現れ始める。徳富蘇峰は民友社を創設し平民主義を、三宅雪嶺は政教社を結成し国家主義を唱えた。文学もまたこのような動きと無縁ではなく、文学者たちによって新しい文学の創出が試みられていったのである。</p> <p>今年度は明治開化期から二十年代にかけての時代状況を俯瞰し、それがいかに文学作品の中に投影されているのかを考えてみたい。戯作から翻訳小説や政治小説の隆盛を経て、坪内逍遙の『小説神髓』、二葉亭四迷の『浮雲』に至る過程を中心に考察していきたいと思う。</p>
履修上の留意点	この講義では可能な限り多くの作品を取り上げたいと考えている。当然のことながら、予告された作品は事前に読んでおき、受講する際は必ず携行してくること。また、受講後は各自紹介された文献を探し、レポート作成の準備をしておくこと。
成績評価の方法	講義で問題提起した事柄を各自考察し、レポートを作成する。出席状況と三回ないし四回のレポートの内容によって評価する。提出の期日を過ぎてしまった場合は受け取らないので注意すること。
教科書	詳しくは最初の時間に指示する。必要に応じてプリントを配布するが、文庫本などの入手しやすいものは各自で購入してもらう。
参考書等	その都度、講義の中で指示する。

科目名	担当者名
文学〔日本文学〔近代〕〕	小林治 <small>こばやしおさむ</small>

講義のねらい	優れた文学作品の条件とは何だろうか。一例としてリアリティを挙げても、現実を写してありのままらしく見えるものほど実はリアルではなく、技巧によってそれらしく仮装された規範にすぎないことも多い。このような文学特有の陥穽を見通す視点から、文学について再考することを試みたい。
講義の内容・授業スケジュール	対象に予定している作家は、第二次戦後派の安部公房、また異端の作家として深沢七郎、ルポルタージュ文学の先駆者としての上野英信である。主に教科書と配布プリントを使用する。
履修上の留意点	<p>具体的に上記の作家の作品を読んでいく中で、文学作品という現象を通じて見えてくるものは何か、あるいは文学が表現し得るものは何かを考えていくので、講義を受ける前にあらかじめ対象作品だけは読んでおいていただきたい。作品名の詳細は講義を進めていく中で、時々指示するが、とりあえず下記の作品と教科書で指定する作品は必読である。</p> <p>安部公房『砂の女』 深沢七郎『楢山節考』 上野英信『追われゆく坑夫たち』</p>
成績評価の方法	定期試験の結果、レポートの内容を総合し、さらに出席状況を加味して評価する。
教科書	安部公房『R62号の発明、鉛の卵』（新潮文庫）552円 安部公房『水中都市・デンドロカカリヤ』（新潮文庫）514円
参考書等	授業時に指示する。

科目名

文学〔日本のことば〕

担当者名

なかにしりょうた
中西亮太

講義のねらい

近代短歌の主要な歌集と歌論を読み、近代短歌史の流れを概観します。短歌は五句三十一音を基本型とする、たいへん短い定型詩です。その短い形を生かすために、歌人は名詞や動詞はもちろんのこと、助詞や助動詞といった一見目立たない〈ことば〉の要素にまで気を配ります。したがって、読者の側も、短歌を読むときには、一字一音にまで注意を払って読み、味わうことが必要です。例えば〈背のびして唇づけ返す春の夜のころはあはれみづみづとして〉(中城ふみ子『乳房喪失』)という歌がありますが、この歌の舞台が他の季節でなく〈春〉であることは、歌全体にどのような効果を及ぼしているのでしょうか。この講義ではそのような細かいところにまで光を当てつつ、近代の歌人がどのような表現作法を採り、どのような世界を表現したかを見ていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

この講義で扱う時代は、明治三十年前後から昭和三十年頃までです。取り上げる歌人は、正岡子規、与謝野鉄幹、与謝野晶子、石川啄木、斎藤茂吉、北原白秋、會津八一、土屋文明、前川佐美雄、斎藤史、塚本邦雄等を予定しています。前期の講義は、明治から大正の前半まで進みます。

履修上の留意点

当然のことではありますが、ただ出席するだけでなく、積極的な姿勢での受講を望みます。授業時間中や時間後の質問を歓迎します。

成績評価の方法

前期末と後期末に、試験を実施します。また、不定期にレポートを課す予定です。

教科書

安森敏雄・末竹淳一郎編『近代短歌と現代短歌』(双文社出版)
また、授業中、必要に応じて参考プリントを配布します。

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名
歴史学〔古代オリエント史〕	おおしろみちのり 大城道則

講義のねらい

古代オリエント世界と古代地中海世界との交流関係について具体例を挙げつつ紹介し、当時の歴史背景や研究上の問題点などを解説・指摘する。

講義の内容・授業スケジュール

ヨーロッパ世界の起源である古代地中海世界は、様々な文明と多様な文化が接触・交錯し、相互に影響を与え合い、共存する場であった。我々は、ヨーロッパ世界を理解するために、その根源である古代地中海世界について考える必要がある。そのため本講義では、古代エジプト文明の成立から、古代ギリシアを通して、古代ローマ帝国の地方都市である埋没都市ポンペイや隊商都市パルミラの歴史までを取り扱う。

前期

- (1) 地中海世界の中のエジプト
- (2) 古代エジプト形成期（統一王朝の出現）
- (3) 古王国時代のエジプト（ピラミッドの発展過程）
- (4) 古王国時代のエジプト
- (5) 新王国時代のエジプト
- (6) メソポタミアの古代都市
- (7) 鉄の王国ヒッタイト

後期

- (8) 古代エーゲ文明の成立
- (9) 東方化の時代と大植民時代
- (10) エトルリア文明
- (11) 古代ローマ皇帝伝
- (12) 火山で埋もれた都市ポンペイ
- (13) 古代ローマ人の食生活
- (14) 砂漠の隊商都市パルミラの歴史

履修上の留意点

お互いの信頼関係のため講義中の携帯電話および遅刻・退室は禁じる。配布したプリントはファイルし、毎回講義に持参すること。

成績評価の方法

学年末試験、出席率、受講態度により総合的に評価する。

教科書

講義の際には講義内容に則したプリントを配布する。

参考書等

大城道則『古代エジプト文化の形成と拡散—ナイル世界と東地中海世界—』（ミネルヴァ書房）

その他

画像を多用するためパワーポイントを使用する。

科目名	担当者名
歴史学〔東アジア考古学〕	ちほもと つぐ 千葉 基次

講義のねらい	長城地帯から極東アジア地域で民族・特定文物・組織その他から、一つのキーワードを選び出し、授業の主題とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業題目の研究史から始め、個々の研究内容を解説し、最後に今後の課題を示す。
履修上の留意点	板書事項もあり、薄くて充分なので専用のノートを用意することが望ましい。
成績評価の方法	毎時出席を確認し、平常授業を評価の基とする。レポートについては出欠状況を見て決める。
教科書	特になし。
参考書等	授業の中で紹介する。

科目名

担当者名

芸術学（1）〔日本美術〕

きたのよしえ
北野良枝

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 前期 室町から桃山時代の絵画
- (1) ガイダンス
 - (2) 絵画に関する基礎知識
 - (3) ～ (7) 室町時代の水墨画
 - (8) 阿弥派
 - (9) 関東水墨画
 - (10) 土佐派
 - (11) 狩野正信・元信
 - (12) ～ (13) 狩野永徳と桃山画壇
- 後期 江戸時代の絵画
- (14) 江戸時代の狩野派
 - (15) ～ (18) 琳派
 - (19) ～ (20) 浮世絵
 - (21) 南蘋派
 - (22) 文人画
 - (23) 秋田蘭画と司馬江漢
 - (24) 円山四条派
 - (25) 伊藤若冲と曾我蕭白
 - (26) 江戸から明治へ

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

参考書等

スライドで映写した作品を確認するには、下記のような美術全集があり、いずれも駒澤大学図書館に所蔵されている。

- 『原色日本の美術』（小学館）
- 『日本美術全集』（学習研究社）
- 『日本美術絵画全集』（集英社）
- 『日本美術全集』（講談社）

科目名	担当者名
芸術学(2)〔西洋美術〕	矢野陽子
講義のねらい	ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ15世紀から18世紀まで、つまりイタリア・ルネサンス期からフランス革命期頃までの絵画を主たる対象とします。まず美術の主要な流れを把握し、それから作品に表現された内容とその表現様式の特徴を考えます。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。
講義の内容・授業スケジュール	前期 15世紀から18世紀までの西洋美術の流れ／絵画のジャンルについて／物語画 後期 物語画以外の諸ジャンル／様式概念と様式分析／芸術庇護者と美術収集・美術館
履修上の留意点	初回にガイダンスを行うので必ず出席すること。スライドで作品を見ながら講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてください。
成績評価の方法	夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験と出席率および授業態度を合わせて評価します。
参考書等	高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』（美術出版社）1,900円 三浦篤著『まなざしのレッスン①西洋伝統絵画』（東京大学出版会）2,625円
その他	授業では毎回スライドを使用します。

科目名	担当者名
芸術学(3)〔音楽〕	浦本裕子
講義のねらい	音楽は私たちの回りに溢れている。さまざまなメディアから音楽が流れ、カラオケも世界共通語にまでなった。社会のグローバル化が進み、音楽も世界のものが聴けるようになり、ジャンルもボーダーレスになってきた。日本では、演歌など一部のものを除けば、流れている音楽のほとんどがヨーロッパとアフリカの音楽に基づいたものである。音楽理論はヨーロッパで生まれたクラシック音楽に由来し、ポップスにはアフリカ的な要素も多く入り込んでいる。そもそもどのように音楽が生まれてきたのだろうか、そしてどのように享受されてきたのだろうか。 音楽は、本来は、生活の中での祈りや子守歌など「必要なもの」として生まれてきた。世界各地で、環境や生活形態が異なる中で、楽器や発声法などそれぞれ独自の音楽文化を長い時間をかけて形成してきたのである。 この授業では、そのような多様な諸民族の音楽やヨーロッパのクラシック音楽を学ぶことにより、多様な文化の一つとして音楽を理解することを目指したい。
講義の内容・授業スケジュール	前期：ヨーロッパの音楽 （民族音楽とクラシック音楽） 後期：諸民族の音楽（アジアを中心に）
履修上の留意点	・音資料や映像資料を鑑賞するので、できるだけ出席するように。 ・授業中に簡単なレポートを書いてもらうことがあるかも知れません。
成績評価の方法	前期：レポート 後期：試験
教科書	柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』（音楽之友社）
参考書等	藤井知昭他編『民族音楽概論』（東京書籍）

科目名	担当者名
哲学〔近代の人間観と世界観〕	久保陽一

講義のねらい

今日我々は近代の科学技術のめざましい進歩によって多大な恩恵を蒙っている反面、環境問題、テロや道徳の荒廃などの問題に悩まされている。また人間の意識を原理とした近代哲学は現代の言語哲学によって置き換えられようとしている。このような近代以後の状況のなかで真の自己と世界の認識を持ち、望ましい生き方をするためには、まず近代の哲学から何を引き継ぎ、何を批判すべきかを、見極める必要がある。そこで講義では、西欧の近代における哲学の諸問題を取り上げることにする。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 認識論（経験論、合理論、カント）
- (2) 道徳論（快楽主義、義務倫理）
- (3) 感情の哲学（パスカル、ルソー、シラー）
- (4) 社会哲学（ホッブス、ロック、ルソー、ヘーゲル）

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取る事が大切である。その際、取り上げられた哲学者がどのような主張をし、どのような用語を用い、それは何を意味するかを理解し、分析する必要がある。さらにそのような思想を自分自身は受け入れられるか否かを、考えることが望ましい。

成績評価の方法

中間と期末のテスト、レポート、出席状況等によって評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

開講時に挙げる

科目名

担当者名

哲学〔近代の人間観と世界観〕

ふる た とも あき
古 田 知 章

講義のねらい

現代において我々は、様々な場面で西洋的なものに直面し、また、我々自身、知らず知らずのうちに西洋的な人間観・世界観に基づいて判断あるいは行動していることも多い。この我々の日常にも深く係わる西洋的なものは、古代ギリシア以来の伝統のもと多岐にわたる曲折を経て、近代ヨーロッパにおいて現れた人間観・世界観に強く影響を受けている。したがって、西洋的なものの理解のためにも、また、現代に生きる我々の自己理解のためにも、近代ヨーロッパの人間観・世界観がどのような伝統と時代意識のもとに形成され、いかなる形で現代社会へと流れ込んでいるのかを学ぶことは有意義であると考えられる。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。近代の人間観・世界観の源流

1. 哲学における基礎的な問題の整理 一人間と世界について問うこと―
2. 古代ギリシアの思想 一哲学的探求の始まり―
3. キリスト教思想と中世の哲学 一思索の新たな展開―
4. 中世から近世への連続と変動 一様々なルネサンスについて―近世・近代の人間観・世界観
 1. ルネサンスから近世の思想 一人間観・世界観の変革―
 2. 科学の発展と世界観の変化との関係 一人間の位置について―
 3. 現代の存在論 一見えるものを支える見えない枠組み―

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名

担当者名
植野公稔

哲学〔近代の人間観と世界観〕

講義のねらい

近代哲学では、①実在する世界は物理学的合理性に基づいて捉えられるとする自然科学的な世界観、②こうした世界観を支える拠点としての理性的な人間精神は自然科学では理解できない特権的なものとする人間中心主義的な人間観、これら2つの観点が強く打ち出された。そして、これらの観点は、いま現在もなお、科学技術の時代に生きる私たちが世界との関わりについて考える際の枠組みを形成するものとして、重要な位置づけを与えられている。しかし同時に、それらの観点は、批判的な検討を受けることによって、「私たちの世界理解は、科学的合理性に基づく形ではなく、むしろ日常的な行為の文脈と切り離せない形で成立するものではないだろうか」等々、現代的な問題を見出し、考えていくためのきっかけを作ってきたものでもある。つまり、近代哲学には、いま私たちが世界と関わる際の重要な手立てが詰まっていると同時に、現代的な問題を見出したり考えたりする際に不可欠な手がかりが潜んでいる。

こうしたことから、本講座では、受講するみなさんが、①近代哲学で展開された議論の主要な論点とその問題点を理解し、②こうした理解を通じて、現代的な問題に上手くアプローチしていくための力を伸ばす、以上の2点が目的とされる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を参照しながら進める。前期では、デカルトとヒュームを中心にして、合理性をめぐる議論について理解を深め、また後期では、カントとヘーゲルを中心にして、人間精神をめぐる議論について考察を進めることにする。

履修上の留意点

折にふれて、教科書に載せられたテキストで復習し、学習内容を定着させることに励んでほしい。なお、受講に際しての予備知識は必要としない。

成績評価の方法

理解度を確認する中間・期末テストと、近代哲学の問題点の考察をテーマにした期末レポート（2000字程度）によって評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	かわが 谷 淳 か になに ほん

講義のねらい

私たちが日常生活や就職活動においてまとまった文章を書いたりまとまった話をする場合、そこには思考の何らかの「流れ」が要請されている。また、友人との何気ない会話にしてみても、反省してみれば、それもまた暗黙の前提命題からの「流れ」の帰結であることに気づく場合がある。アリストテレス以来の歴史を持つ論理学とはそうした前提から結論への妥当な「流れ」（推論の形式）とはどのようなものであるのかを考える学だと言することができる。この授業の目的は、「論理的である」とは一体どういうことなのかを考え、さらに、練習問題を解くことで様々なタイプの推論の妥当・非妥当性を判定するトレーニングをつんでもらうところにある。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。
 前期：伝統的論理
 (a) 論理学の基本概念（概念・命題・推論）
 (b) 演繹推理（定言・仮言三段論法の妥当性の判定）
 (c) 帰納推理（ミルの方法、仮説演繹法）
 後期：現代論理（記号論理）入門
 (d) 命題論理（日常言語の記号化と推論の証明）
 (e) 述語論理（日常言語の記号化と推論の証明）

履修上の留意点

継続して授業に出席することは言うまでもなく、毎回の授業内容を積極的に復習することが望ましい。

成績評価の方法

前期最終授業日に実施する中間試験と期末試験（40点満点×2）ならびに夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

『新しい認識への論理』（公論社）

科目名	担当者名
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	たきぐち きよ 栄 たき ぐち きよ えい

講義のねらい

私たちはさまざまな情報のうずのなかで生活している。それは身近な日常生活から社会や世界の動きにまで及んでいる。これら多岐に及ぶ情報の伝達と表現は言葉によって行なわれている。また送り手も受け手も思考を通して情報に関わっている。この渦の中で私たちは納得したり、あるいは納得しなかったりする。このように振り返るなら、私たちは言葉と思考のあり方に敏感になるのではなからうか。ひとたびこの点について注意を払うようになると、日常生活そしてさまざまな学問的な営みの基礎として、論理学が大切なものと思えてくるであろう。本講義では、思考の基礎をしっかりとしたものとするよう、思考の諸法則を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって形式論理学に重点をおいて講義を進めていく。前期では、概念、命題、演繹推理を中心に、そして後期は機能推理、虚偽論、そして命題論理を扱う。

履修上の留意点

理解を深めるために練習問題をできるだけ多く解くように努める。出席をよくしてほしい。

成績評価の方法

年間5回の小テストで成績を出す。

教科書

山下太郎他著『新しい認識の論理』（公論社）3,200円

参考書等

講義中に紹介する。

科目名	担当者名
論理学〔知の技法〕	伊古田 理

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的ノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんてものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）
副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	担当者名
論理学〔知の技法〕	植野公稔

講義のねらい

いま、私たちの社会生活では、論理的であることを求められる場面に出会うことが多い。本講座の目的は、こうした現状に対処できるだけの論理的思考力を受講者のみなさんが身に付けられるように、その基本練習の場を作ることにある。言葉相互の論理的な繋がりについて自覚しながら読み、考え、そして書くことができるようになるためには何が必要なのかを、毎時間、自分自身で課題に取り組みながら気づいてほしい。なお、いわゆる現代記号論理学については、必要最小限のこと以外、扱わないものとする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に則して授業を進める。原則として、各回とも、事項に関する説明と問題練習によって授業が構成される。前期では、論理の骨格をなす接続語や指示語の適切な使い方と、首尾良く考えを展開するための推論のあり方について練習を重ねる。また後期では、演繹的な推論について練習を重ね、就職試験等でも取り上げられるような、いわゆる推理部門の問題にも対処していける力を養うことにしたい。受講人数にもよるが、できるかぎり、復習を兼ねた形の添削課題を出し、受講するみなさんの練習の質を高められるようにしたいと思う。

履修上の留意点

本講座では、受講者本人による練習が何よりも重要であるので、コンスタントに参加してほしい。問題練習での間違いを恐れる人たちもいると思われるが、間違いをきっかけにしてステップアップしてしてくれるのなら、本講座に関するかぎり、間違いをおかすこと自体には何ら問題はない。

成績評価の方法

事項の習熟度を確認するための中間・期末テスト、および期末に取り組んでもらう小論文課題（2000字程度）によって評価する。なお、練習が重要な講座のため、原則として、1学期につき欠席が3回を越える場合は、単位の認定ができないものとする。

教科書

野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

科目名	担当者名
科学史〔近代科学の成立と展開〕	高橋秀裕

講義のねらい

近年、近代自然科学をどのように捉え、それに如何に対処するかという問題がしきりに議論されている。本講座では、古代から近代までの科学の歴史的発展を、「方法」や「思想」に眼を向けつつ総合的に学ぶことを通して、科学がいかに広範な文化的背景をもって発展してゆく知的営為であるかを理解することを目標とする。とりわけ、近代科学が形成された、いわゆる「科学革命」の時代と呼ばれる17世紀西欧に焦点をあて、古代以来の自然認識の枠組がどう変革されたかを探るとともに、科学と技術に関して今後思索する際の信頼できる知的道具を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、古代ギリシャの自然哲学や幾何学の話題から出発し、近代科学の成立、発展の歴史を、自然観の変遷、宗教との関係、方法論の確立に注目しながら概観する。後期は、近代科学の成立、発展に積極的な役割を果たした「数学」の歴史的発展について講義する。とりわけ、近代西欧数学に特徴的な代数的思考法の重要な一側面である、代数的論証法の形成過程を、数学外的諸要因をも含めて考察する「総合的数学史」の観点から探る。

履修上の留意点

いわゆる自然科学・数学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード（兼出席票）を配布するので、不明な点は質問してほしい。

成績評価の方法

講義内に課すコメントカード（兼出席票）と随時のレポートおよび定期試験で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の際に適宜紹介する。

その他

講義形式、随時プリント配布

科目名	担当者名
倫理学（1）〔人間観〕	ふる た ども あき 古 田 知 章

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 —人間であるために—
2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
3. 中世キリスト教思想における人間観
4. 人間観の転換 —ルネサンス・宗教改革—新しい時代の人間観
 1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
 2. 自己の内面性と他者の問題
 3. 人格 —ロックを手がかりに—
 4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名
倫理学（２）（７）〔応用倫理学〕	黒崎剛

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなしなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理——講義の課題概説
 2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
 3. 人工妊娠中絶
 4. 安楽死と尊厳死
 5. 脳死と臓器移植
 6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
 7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名
倫理学（３）〔価値観〕	滝沢正之

講義のねらい

ねらいは二つある。
 第一に、近世の哲学者イマヌエル・カントの倫理学を丁寧に紹介すること。我々はすでに何が善いことで何が悪いことであるかをだいたい知っている。日常生活にはそれで支障はない。しかし、その善悪についての信念をあらためて反省してみると、いろいろと問題含みであることがわかってくる。カントを手がかりに、倫理学の基本的な問題を体系的に考えてみたい。たとえば、他人の幸せのために嘘をついてもいいのだろうか。
 第二に、現代に我々が生きる際に考えなければならない問題を、できるだけ多く紹介すること。カントの検討だけでは提示しきれない論点を挙げていきたい。たとえば、戦争、差別、宗教原理主義、少年犯罪など。難しい問題が多いので解決を提示するのは無理であろうが、考え方の方向性くらいは示したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期にカント倫理学の紹介を行い、後期に現代の諸問題の検討を行う予定。細かいスケジュールは講義中に示す。

履修上の留意点

特定の教科書を使用せず、講義が中心となる。欠席が多いと試験等が大変になるので注意されたい。

成績評価の方法

中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書

適宜プリントを配布する予定。
 また、講義中に適宜指定する。

参考書等

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）
 また、講義中に適宜指定する。

科目名	担当者名
倫理学（４）〔応用倫理学〕	あき お たか し 麻 生 享 志

講義のねらい	応用倫理は、究極的に「どう生きるか」という自分の生き方につながっていくものと考えます。（これを倫理学・哲学で”実存的”問いと呼んだりする）ですから、講義を通じて、自己の問題として興味を持ち、考えてもらう、という事を目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	倫理学（理論的倫理学）の基礎から、応用倫理学の「ごく特殊なもの」まで、幅広く紹介していきます。わたくし自身の興味や人生観にも、触れていきたいと思っています。現在、東大文学部21世紀COE「死生学の構築」に研究員として参加している関係で、生命倫理的内容が多く含まれるでしょうが、労働・人生の意味・交通ルール・まちづくり住環境など、多面的に考えていく予定です。
履修上の留意点	最低限の常識的なルールを守り、あとは、講義を”楽しんで”もらえたらいいと思います。
成績評価の方法	前期試験（45%）、後期レポート（レポート試験）（55%） 前期は哲学史に関わる記述問題、後期レポートは講義の感想を原稿用紙3-4枚程度を予定
教科書	久保・河谷編麻生ほか著『原典による哲学の歴史』公論社刊（前期試験受験に必須）
参考書等	特になし
その他	初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名
倫理学（５）〔制度とモラル〕	たき ぐち きよ えい 滝 口 清 栄

講義のねらい	人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返っておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐる思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。
講義の内容・授業スケジュール	こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、前期に古代ギリシアから近代初頭、後期にはそれ以降を扱う。
履修上の留意点	講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。
成績評価の方法	中間テスト（前期の最終授業時）と学年末テストにより成績を評価する。
教科書	久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名
倫理学（6）〔東洋倫理〕	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦

講義のねらい

倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。倫理学という学問は生れなかったが、それに相当する思索は東洋の伝統思想の中に生まれていた。東洋の伝統思想がどのようにどれだけ現代の倫理に貢献するか、諸君と一緒に考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

授業の最初に、倫理とは何か、倫理学とは何かを講義する。その後、今年は環境と倫理の問題について考える。環境問題は現代の大きな問題である。しかし、環境の問題は既に古代から芽生えていた。中国の古代にも、環境問題をめぐる議論が行われた。その中国古代の環境をめぐる議論を顧て、現代の環境と倫理の問題にどのような貢献するか考えてみる。

履修上の留意点

ノートはしっかりと取る。

成績評価の方法

各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。

教科書

浅野裕一『中国古代の文明観』（岩波新書）

科目名	担当者名
宗教学（1）〔比較宗教文化〕	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、まず近代的用語としての「宗教」が成立した過程を検討し、この用語の特性と限界を考える。近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえでは欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。

成績評価の方法

年度末に筆記試験を行なう。

教科書

特に指定しない。

参考書等

『岩波講座・宗教』（全10巻）岩波書店。『エリアーデ著作集』せりか書房。上田閑照・柳川啓一編『宗教学のすすめ』筑摩書房。脇本平也『宗教学入門』講談社学術文庫。加藤隆『新約聖書の誕生』講談社。ランジュ『ユダヤ教とはなにか』青土社。

科目名

宗教学（2）〔聖と俗〕

担当者名

田中 かのこ

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類（例：「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」）から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の畏れ・感謝・願いをテーマにしなが、ら、「宗教」を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期は、現代社会の理解に欠かせないゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」を探究する。

履修上の留意点

既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開いてほしい。

成績評価の方法

独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポート（後期中に提出）と学年末試験。

教科書

拙著『比較宗教学—「いのち」の探究—』（北樹出版）2004年

その他

講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用する。

科目名

宗教学（3）〔世界観と儀礼〕

担当者名

小川 順敬

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思えます。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずで。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名

宗教学（４）〔日本人の宗教〕

担当者名

矢野 秀武

講義のねらい

宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対しての異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教人類学や宗教社会学といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期に日本宗教史ならびに外国に渡った日本宗教、現代日本に入ってきた外国の宗教などをとりあげる。後半では、現代日本において冠婚葬祭といった儀礼・民俗宗教がどのように変容しているのか、また現代の社会制度において宗教はどのように位置づけられているのかといった点を紹介する。また単なる事実の紹介だけではなく、宗教学（宗教人類学・宗教社会学）的な視点に基づいて解説を加える。

成績評価の方法

レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

教科書

なし

参考書等

授業時に随時紹介する。

科目名

宗教学（５）〔生活と宗教〕

担当者名

菅原 壽清

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宗教学・宗教人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

成績評価の方法

試験＋出席点＋レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書

指定なし

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

授業の方法—講義、ビデオ・スライドなども使用

科目名

担当者名

宗教学（6）〔民俗宗教の諸相〕

あさ かわ やす ひろ
浅 川 泰 宏

講義のねらい

宗教学の概念や方法を、現代社会における人々の関係性を読み解くツールとして活用する能力の獲得を目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

世俗化が進んだ現代の日本社会においては、一般論としての無宗教性と、その背後に依然として蓄えられている豊かな宗教性を両眼的に捉えることが重要となっています。本講義では、民俗宗教という観点から、我々の身近な日常生活に表出される宗教現象に着目します。

前期は、祖先祭祀や祭り、新宗教などをテーマに宗教学・宗教民俗学の基本的な視点や知識を学びます。後期には、ヒトやモノの移動が活発化し、様々な境界が溶け崩れていくなかで、着目が集まっている「巡礼」を中心に、民俗宗教を通して構築される関係性や当事者の意識の変化といった問題を考えます。

なお、講義では、毎回具体的なトピックをあげ、それについての講義と討論を行います。そのため授業中は皆さんの積極的な参加を期待します。

履修上の留意点

- ・講義中の私語は厳禁とします。
- ・受講生の理解度を確認し、講義内容に皆さんの意見を反映させるために、毎回コメントカードへの記入を求めます。御協力を御願ひ致します。

成績評価の方法

- 配点：レポート60点＋平常点40点＝合計100点
- ・平常点は、授業時に配布するコメントカードなどを参考に採点します。
 - ・レポートは、特に理解力、論理的思考力、独創性を重視します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

参考書は講義中に随時指示します。

科目名

担当者名

人文地理学(1)[風土と文化]

やまぐち たろう
山口 太郎

講義のねらい

この講義は、都市を歩くことによって体験し、都市への批判的なまなごしを養うことを目的とする。前期はまち歩きをするための準備という位置付けで、東京に関する地理的知識と先達の都市観察・記述を紹介する。渋谷、原宿、新宿、田園調布など、東京のさまざまな場所を事例に進めていく。後期は都市に関する諸理論・さまざまなテーマ別に、都市を批判的に見つめるまなごしを養う。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- 1 東京の自然史
- 2 東京の歴史社会地理
東京年表、同潤会(アパート)の歴史、東京の都市化・都市計画史、東京論の系譜
- 3 先達による都市観察・記述
小田内通敏、今和次郎、陣内秀信、正井泰夫、シカゴ学派、路上観察学会、江波戸昭、川本三郎、三浦展、泉麻人、吉見俊哉、森川嘉一郎、石井實、奥田道大、水内俊雄

(後期)

- 4 都市の中の差異
時間地理学、認知地図、空間と権力、空間から場所へ
- 5 商品としての都市
選好地図、場所のイメージ(軽井沢、湘南、代官山、下北沢、歴史的町並み)、創られた伝統
- 6 都市民の憂鬱
故郷、原風景、郊外に住むということ、まちづくりの系譜

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

夏休みのレポートと後期試験で評価する。平常点も若干評価の対象とする。

教科書

前期に以下のテキストを使用する。
正井泰夫監修2003『図説歴史で読み解く東京の地理』(青春出版社)1,000円

参考書等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。
エドワード・レルフ著(高野・神谷・岩瀬訳)『都市景観の20世紀』(筑摩書房)
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市/建築フィールドワークメソッド』(INAX出版)
若林幹夫『都市への/からの視線』(青弓社)
吉見俊哉・若林幹夫編『東京スタディーズ』(紀伊国屋書店)

その他

この講義は、各人が積極的にまち歩きを行うことが前提となる。教室は、東京や都市に関する知識の埋め込みの場というよりもむしろ、都市についていろいろ考える場としたい。

科目名

担当者名

人文地理学（2）〔風土と文化〕

たか 高 橋 けん 健太郎 健太郎

講義のねらい

人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに重要であるかということについて検討する。

具体的には、講義内容として次の項目を予定している。(1)人文地理学からみた文化、(2)大衆文化と文化景観、(3)日本の基層文化の地域性、(4)照葉樹林文化とブナ帯文化、(5)環境決定論と環境可能論、(6)地域文化と観光、(7)地図、(8)地名、(9)空間認知。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法

教場レポートの内容(30%)と定期試験の結果(70%)で採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

主な参考書は次のとおり(授業スケジュール順に掲載)。その他については、授業中に適宜紹介する。

高橋伸夫ほか『文化地理学入門』, 東洋書林。
鈴木秀夫『風土の構造』, 講談社(講談社学術文庫)。
佐々木高明『日本文化の基層を探る』, 日本放送出版会。
田畑久夫『照葉樹林文化の成立と現在』, 古今書院。
市川健夫ほか『日本のブナ帯文化』, 朝倉書店。
中島峰広『日本の棚田』, 古今書院。
溝尾良隆『観光学』, 古今書院。
若林幹夫『地図の想像力』, 講談社(講談社選書メチエ)。

その他

この授業では、部活動や就職活動などの理由は、採点の際の参考にしない方針である。

科目名	担当者名
人文地理学(3)(4)[空間と行動]	伊藤 修一

講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に、都市には多様な人々が活動しており、そこには都市のもつ特徴が大きく反映されている。それでは、その限られた場所や空間に人々はなぜ集まるのか？この講義では、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、都市がどのように形成されて今日のように分布することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。(1) イントロダクション、(2) 地図、(3～7) 都市の分布と立地、(8・9) 都市や地域の結びつき、(10) 都市の内部構造
後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、具体的な研究事例を通して説明する。(11・12) 人口変動と分布・人口移動、(13～18) 都市の居住構造の形成過程とその変化-郊外化・再都市化、(19) 都市と余暇活動、(20) 都市空間における知覚と認知

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。高校数学や統計学などの基礎知識を持っていることが望ましい。

成績評価の方法

原則として年度末の試験結果から評価し、出席状況も若干考慮する。

教科書

教科書は用いない。

参考書等

北川建次編『現代都市地理学』、古今書院、2,730円、ISBN4-7722-3044-0
富田和暁・藤井 正編『図説 大都市圏』、古今書院、2,730円、ISBN4-7722-4027-6
ノックス、P.・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳『新版都市社会地理学』、古今書院、6,090円、ISBN4-7722-5103-0
なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

その他

講義ではプリントを随時配布する。

科目名	担当者名
教育の思想	豊田 千代子

講義のねらい

この授業では、1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」について、それを「思想として読む」ことをめざす。具体的には、子どもの権利条約の思想的基礎となっている「コルチャック先生」(ヤヌシュ・コルチャック、本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942)の子ども観について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育のふり返り
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想(子ども観)
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

成績評価の方法

出席状況、レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』(ほるぷ出版)

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育の思想	北村三子

講義のねらい	日本の教育界に大きな影響を与えた教育思想を学び、それを手がかりに自分なりの教育観を培っていくことを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	20世紀の代表的な思想家の一人、ジョン・デューイの教育思想を、『経験と教育』を中心として学んでいきます。子ども自身の経験を基礎に構築されたその教育論を丁寧に読み、私達の日常経験や教育体験を考え直します。具体的な授業計画は、初回の講義でお話します。
履修上の留意点	この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。
成績評価の方法	出席状況とレポートによります。
参考書等	教場で指示します。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育の思想	伊藤茂樹

講義のねらい	私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。
講義の内容・授業スケジュール	とりあげるテーマとして以下のようなことがらを予定している。 ・学校教育の本質と機能 ・近代日本における学校教育
履修上の留意点	自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。
成績評価の方法	学期末試験により評価する。
教科書	教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育の思想	はぎ わら けん じろう 萩原 健次郎
講義のねらい	この授業では、第一に自分自身の教育体験のふりかえりを出発点として、「学ぶこと」「教えること」「生きること」の意味を考える機会をもちたい。第二に自己の体験と他者の体験を交流させながら、多様なものの見方を学ぶと共に、教育に対する自分の視点がどこにあるのかさぐっていきたい。第三に各自の体験知だけにとどまらずに教育学が蓄積してきた学問知（主に教育史・教育哲学）との交流によって、これまで暗黙のうちに了解してきた「教育目的」「学習」「人間の発達」などの意味について深く捉える感性と知性を養いたい。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> ① 自らの教育・学習体験をふりかえるー「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」をつくる ② 自己と他者との体験知の交流ー「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」を他の受講生と相互コメントを行う ③ 教育をめぐる体験知と学問知との交流 <ol style="list-style-type: none"> (1) 近代教育が前提としてきた人間観と教育目的・理念の歴史を学ぶ (2) 発達の思想を学ぶ (3) 学習の思想を学ぶ
履修上の留意点	この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習である。よって授業の質は各自の積極的な参加姿勢に大きくかかわっていることを留意願いたい。また、小レポートを毎回提出してもらう。
成績評価の方法	小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。
教科書	特に使用しない。
参考書等	そのつど紹介する。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。一回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育と社会	豊田千代子

講義のねらい	教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・学習体験のふり返り 自分たちが受けてきた教育をふり返り、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。 ・教育と人権 障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。
成績評価の方法	出席状況、レポート等により成績評価を行なう。
教科書	教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。
参考書等	適宜紹介する。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育と社会	北村三子

講義のねらい	近代の社会システムと教育はどのような関係にあるのでしょうか。私たちが体験してきた日本の学校教育のあり方を社会との関係から考察することを通して、私たちがどのように社会的に形成されてきたのかを考えます。
講義の内容・授業スケジュール	日本という国家と教育との関係を歴史的に考察するとともに、近代的な組織とその構成員との間に働く力について原理的に考察します。また、そうした観点から、今日の学校教育をめぐる諸問題を考えていきます。詳細は初回の授業でお話します。
履修上の留意点	この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。
成績評価の方法	出席状況とレポートによります。
参考書等	教場で指示します。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育と社会	伊藤 茂樹 <small>いとう しげき</small>

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマとして以下のようなことがらを予定している。
 ・現代の教育問題
 ・教育改革の動向

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育と社会	はぎわら けんじろう 萩原 建次郎

講義のねらい	<p>80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。</p> <p>この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。</p> <p>この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者（子ども・友人・親・先生など）とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> ①「居場所」をめぐる言説の登場 ②「居場所」の意味を読み解く ③子ども・若者の自己形成空間の変容 ④子ども・若者の居場所空間をデザインする ⑤「居場所」に関わる指導者論 ⑥「居場所」と子どもの参加論
履修上の留意点	<p>授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらう。</p>
成績評価の方法	<p>小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。</p>
教科書	<p>田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想－「教育」から「関わりの場」へ－』（学陽書房）3,000円</p>
参考書等	<p>久田邦明編著『子ども・若者の居場所』（萌文社） ロジャー・ハート著『子どもの参画』（萌文社）</p>
その他	<p>この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。</p>

科目名	担当者名
発達と学習の心理学	おおはま きくこ 大 浜 幾久子

講義のねらい	<p>子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。
成績評価の方法	<p>定期試験（学期末）の成績に小レポートの成績を加味する予定である。</p>
教科書	<p>参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。</p>
その他	<p>この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。</p>

科 目 名	担 当 者 名
発達と学習の心理学	飯 田 都

講義のねらい

発達心理学・学習心理学は、教育現場で子どもを理解する際の基本的な視座を示す学問である。本授業では、そのトピックの中から、発達初期の愛着形成・学齢期の学習・思春期の自我発達の3つに主に焦点を当てて講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達初期：子どもの愛着形成
- 2) 学齢期の学習：認知発達と動機付け
- 3) 思春期の自我発達：自我発達の特徴と友人関係の変化など

履修上の留意点

・自身の学校体験やこれまでの成長を振り返って記載してもらう機会があります。
 ・ディスカッションやディベート、もしくは一つのトピックを定めた調べ学習などのワークを取り入れる可能性があります。

成績評価の方法

定期試験・レポート（授業の際の小レポート）
 出席を取ります。講義の半数以上欠席の方は単位取得を認めません。

教 科 書

資料は必要に応じて配布します。

参 考 書 等

高野清純監修『図で読む心理学「学習」』（福村出版）2,060円
 川島一夫『図でよむ心理学「発達」』（福村出版）2,060円
 他は授業の中で適宜紹介します。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名

発達と学習の心理学

担当者名

すみ の ぜん じ
角 野 善 司

講義のねらい

教育心理学は、教育場面に対して心理学的にアプローチする学問であり、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 教育心理学とは (2・3) 発達観の変遷 (4・5) 発達の規定因
- (6) 教育の最適期 (7) 発達段階と発達課題 (8) 学習への動機づけ
- (9) 内的動的動機づけ (10) 学習性無力感 (11) 原因帰属
- (12) 学習目標と遂行目標 (13-15) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名

カリキュラムと学習

担当者名

おお はま きく こ
大 浜 幾 久 子

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出（定期試験期間）を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校) 学習指導要領』文部科学省
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	担当者名
カリキュラムと学習	杉山 二季

講義のねらい

カリキュラムという言葉には、学習指導要領に代表されるような、公的な教育計画の枠組みという意味があります。けれどももっと広義に捉えるときには、学習の経験や履歴という意味も持っています。本授業では、このようなカリキュラムの二重の意味に注目し、子どもたちの学習をデザインする方法と課題について検討していきます。この授業を通して、学校や教師が果たしている複数の機能についての理解を深め、望ましいカリキュラムのありかたについて考えていって欲しいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

授業で取り上げるテーマは以下のものを予定しています。

- ①カリキュラムとは何か
- ②学習指導要領の変遷
- ③教育内容の編成と課題
- ④かくれたカリキュラムとは何か
- ⑤カリキュラムのデザインと評価

成績評価の方法

毎回の授業中に課す小レポートと、学期末の試験成績とで総合的に評価します。小レポートの提出は出席を兼ねるので、必ず提出すること。

教科書

教科書は使用せず、資料プリントを適時配布して使用します。

参考書等

授業中に適時紹介します。

科目名	担当者名
カリキュラムと学習	角野 善司

講義のねらい

この科目では、カリキュラムの編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどう規定し、どう導いていくかを検討していきます。これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) カリキュラム（教育課程）とは
- (2) カリキュラムに関する法制
- (3) カリキュラム編成の原則
- (4) 学習指導要領改訂の歴史
- (5-6) 平成10年学習指導要領改訂の経緯と基本方針
- (7-8) 平成15年学習指導要領一部改正の経緯と基本方針
- (9) 学習指導要領をめぐるその後の動き
- (10-12) 平成10年改訂学習指導要領（平成15年一部改正）の下での教育評価
- (13-15) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

『中学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説 総則編』『高等学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領解説 総則編』
講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

科目名

担当者名

フレッシュマンセミナー

かた 片
やま 山
はる 晴
かた 賢

講義のねらい

嘗て「国語学基礎」という科目が存在した。逆に「基礎国語学」と呼称してもいた。今横文字化して「フレッシュマンセミナー」だそうだ。日本人である私にとってこのカタカナ文字は剩りにもなじまない。故に何を教え、何を学ぶのかその教育展望が今少しく見えていないことを前置きする。いわば、何をどう教え何を見出すか試行錯誤の授業と云うことである。この一教員である私と複数の学生との共同（嚮導）授業になろう。私なりにその堂塔の心柱ともいえる骨格を意味する科目と構えて日本国の大学人にふさわしい「東アジア圏日本語文化交流」に大切な教養を育む時間とも云えよう。

そこで、高等教育で何を学んだのか、まずは教える側と学ぶ側相互に確かめねば成るまい。今の大学教育の第一歩として本学の入学試験に国語・英語・社会（専門科目に細分類）といった三科目が指定され、この試験科目の評価点で合否が決定され、大学人としての門をくぐる。その査定の実態分析は、総合的に委員会を通じて実施されているが、この分析結果がどういふものか組織的に教員に伝達されてこの科目成立に結びついていると信じたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
- 02の講義内容 日本語文献一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
- 03の講義内容 日本語字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその実際
- 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果その研究領域の一般活用と手続き
- 05の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその1（手書きそして縦書き）
- 06の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその2（入力そして横書き）
- 07の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその3（四種類の文字と融合）
- 08の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその4（漢語と和語）
- 09の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその5（洋語と日本語）
- 10の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその6（東アジア漢文文化圏のことば）
- 11の講義内容 日本語表現文章と国際政治社会における文章
- 12の講義内容 文章作成能力開発その1
- 13の講義内容 文章作成能力開発その2
- 14の講義内容 文章作成能力開発その3
- 15の講義内容 期末課題レポートの提出

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場 IT 管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、ID チェックを忘れたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4 週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。
※講義内容及び連絡事項については、HP（情報言語学研究室）上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT 機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日に提出します。
提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。
ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

教科書

随時、講義の前後に報知します。

参考書等

随時、講義の前後に報知します。

科目名

フレッシュマンセミナー

担当者名

萩原 義雄

講義のねらい

嘗て「国語学基礎」という科目が存在した。逆に「基礎国語学」と呼称してもいた。今横文字化して「フレッシュマンセミナー」だそうだ。日本人である私にとってこのカタカナ文字は剩りにもなじまない。故に何を教え、何を学ぶのかその教育展望が今少しく見えていないことを前置きする。いわば、何をどう教え何を見出すか試行錯誤の授業と云うことである。この一教員である私と複数の学生との共同（嚮導）授業になろう。私なりにその堂塔の心柱ともいえる骨格を意味する科目と構えて日本国の大学人にふさわしい「東アジア圏日本語文化交流」に大切な教養を育む時間とも云えよう。

そこで、高等教育で何を学んだのか、まずは教える側と学ぶ側相互に確かめねば成るまい。今の大学教育の第一歩として本学の入学試験に国語・英語・社会（専門科目に細分類）といった三科目が指定され、この試験科目の評価点で可否が決定され、大学人としての門をくぐる。その査定の実態分析は、総合的に委員会を通じて実施されているが、この分析結果がどういふものか組織的に教員に伝達されてこの科目成立に結びついていると信じたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
- 02の講義内容 日本語文献一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
- 03の講義内容 日本語字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその実際
- 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果
その研究領域の一般活用と手続き
- 05の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその1（手書きそして縦書き）
- 06の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその2（入力そして横書き）
- 07の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその3（四種類の文字と融合）
- 08の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその4（漢語と和語）
- 09の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその5（洋語と日本語）
- 10の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその6（東アジア漢文文化圏のことば）
- 11の講義内容 日本語表現文章と国際政治社会における文章
- 12の講義内容 文章作成能力開発その1
- 13の講義内容 文章作成能力開発その2
- 14の講義内容 文章作成能力開発その3
- 15の講義内容 期末課題レポートの提出

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていた場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。
※講義内容及び連絡事項については、HP（情報言語学研究室）上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日に提出します。提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。
ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。
また、総合教育研究学部（日本文化部門）&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営していきます。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書

随時、講義の前後に報知します。

参考書等

随時、講義の前後に報知します。

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	担当者名
フレッシュマンセミナー	佐原 作美

講義のねらい	学生生活を送るに当って、学部学科を問わず、特に必要と思われる基礎的な事柄や心得について学び、かつその応用力を高め会得することを主眼とする。
講義の内容・授業スケジュール	学生に求められる基本的なものとして、文章の読解力や表現力あるいは思考力があげられよう。そこで授業では、かかる読み、書き、考える、の力を高めることを目指したい。その手段として、古典などの文学作品を素材として進めていきたい。あわせて日本の伝統文化や思想の面についても理解が得られるよう工夫していきたい。
履修上の留意点	目的意識と集中力をもって臨んでほしい。
成績評価の方法	時々の提出物や試験や授業への出席（重視）等をもって総合的に評価する。
教科書	必要性が生じれば授業時に指示するが、当初はプリントの配布をもって行う。
参考書等	必要に応じて授業の中で紹介する。

科目名	担当者名
フレッシュマンセミナー	鈴木 裕子

講義のねらい	自己表現のためのレッスン。 あなたは、文章を読んだり書いたりするのを苦痛に思うタイプ？ 人から誤解されていると思ってもハナから反論するのを諦めてしまう人？ 感想文を書いたとき、思っていることを「正直」に書いて嫌な思いをしたことはない？ ……そんな自分を少しでも変えたい！と思っていないだろうか。この講座のねらいは、そのような人たちのために、自己表現力を養う手助けをしようというものである。
講義の内容・授業スケジュール	前期の授業の前半は文章の読み方とレポートの書き方、後半はいろいろな文章を多角的に批判し、各自が問題意識をもって書かれたものを理解する姿勢を養う。なお、教材とする文章は、新聞記事、評論、手紙、詩、歌詞など広く、また今日的な問題を提起しているものを多数取り上げる予定。
履修上の留意点	授業ではさまざまな種類の文章を次から次へと読み、内容をまとめ、レポートを書き、報告することが要求されるので、積極的に授業に参加すること。オーソドックスな講義形式を希望している受講生には全く不向きなので、履修するときにはその点を留意すること。また、人数は少数の方が望ましい。希望者は最初の授業から出席すること。
成績評価の方法	提出物、授業中の発言内容、出席状況（遅刻・早退をしないことは大前提）から総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。
教科書	清水良典『自分づくりの文章術』（ちくま新書）、その他プリント教材。
参考書等	参考書は、授業中に指示する。

科目名	担当者名
フレッシュマンセミナー	坂口博規

講義のねらい

本年度より、入学初年度に受講する科目として開設されたもので、大学生活を有意義に送ってもらうことをねらいとしています。

殆どの学生諸君は最終学校たる本学において、将来の人生設計の途に立ちます。その貴重な4年間を、自覚的・能動的に過ごしてほしいと考えています。それぞれの専門分野の学問の理解は、実は日本語の理解能力の与かるところ大です。また自己をより正確に且つ効果的に他人に認定されるように、言葉の伝達（日本語表現）の大切さを自覚してほしいものです。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的に立って、毎時間テーマを設定して講義し、その講義内容に対する感想や、テーマに即した自分の考えを作文してもらいます（1～5）。講義中心ですが、受講生の人数や教場の形態などの条件によって、作文の添削や討論会の設定なども工夫したい。特にコミュニケーション論の一端として、言語断絶の疎外状況を物語る「変身譚」について考えてみたい（6～10）。また日本語表現の特質なども考えてみたい（11～13）。

履修上の留意点

「自己表現」の大切さを学んでほしい。言葉による伝達の意義を正しく自覚してほしいと思います。

成績評価の方法

定期試験時に提出のレポートの成績評価。レポートは同じ題目にて2種（1つは要旨）提出してもらいます。また授業の折々に課題を出して小レポートも提出してもらいます。出席状況も参考にして、総合的に評価します。

教科書

授業の折々にプリントを配布します。

参考書等

授業において紹介します。

科目名	担当者名
フレッシュマンセミナー	菌部幹生

講義のねらい

大学のおかれた状況は年々変化し、大学生に対する社会的要請も重みを増したものが増えてきている。大学生活は高等学校までとは異なる点が多いので、充実した学生生活を送るために心得ておくべきことを体験的・実習的に修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2～4 大学と大学生括。5～7 キャリアデザインとライフスタイル。8～11 表現法とレポートの書き方。12 レポート提出。13 まとめ。

ただし、受講生の数や志向によって内容やスケジュールを変更することもある。その際は授業時間内に連絡する。

履修上の留意点

本講座は、出席や授業内提出物で60点分を評価するので、毎時間出席することが大原則である。課題の連絡も含めて、授業時間を大切にすることを求める。

成績評価の方法

出席点30点、授業時間内提出物30点、レポート40点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。前期最後の授業時間内に追試験に相当するレポートに関する伝達を行うので必ず出席すること。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

必要があればそのつど紹介する。

科目名	担当者名
フレッシュマンセミナー	いしわり 石割 透
講義のねらい	言葉で表現すること、表現されたものを享受し、理解すること、それを学ぶために、この時間では、短篇小说の名作をとりあげて、小説を読むことの面白さを学びたい。これを契機に、短篇小说の多様な面白さを知るとともに、小説を書いてみたいという気持ちを起こしてもらえれば、嬉しく思います。
講義の内容・授業スケジュール	授業で一つの短篇をとりあげ、そのあらすじ、面白さのポイントを紹介し、表現の巧みさに触れ、表現方法の基本を勉強していく。
履修上の留意点	授業でとりあげる作品は、日本文学とは限らないが、前もって必ず読んできてほしいと思う。読むテキストは、授業時に紹介する。短篇小说は、読み終わるのに多くの時間を必要としないので、準備をしてきてほしい。
成績評価の方法	面白いと思った短篇小说について、その面白さに触れたレポートを幾つか提出する。それに出席状況を考慮して評価したい。
教科書	指定しない。扱う作品によっては、こちらでコピー等を用意する。
参考書等	授業時に、適宜指示する。
その他	短篇小说を読み愉しむのみではなく、創作することに関心をもっていたかくことを期待している。

科目名	担当者名
フレッシュマンセミナー	こばやし 小林 治

講義のねらい	山田洋次が『男はつらいよ』シリーズ（第一作は1969年公開）とは別に、しかし並行して1970年から1980年にかけて松竹で撮った5本の映画がある。三部作シリーズとしての『家族』、『故郷』、『同胞』ならびに『幸福の黄色いハンカチ』、『遙かなる山の呼び声』である。それらの作品は、戦後30年を経て高度経済成長の真ただ中において、喪われつつある日本人および日本の風土の特質を、例えばタイトルの如く、家族、故郷、同胞などの視点から凝視しつつ、その新たな現代における再生の可能性を探っている。これらの営為を眺める中で、戦後の日本が歩んだ道を決定的に方向づけた高度経済成長によって喪ったものを計り、その廢墟からの再生と復活を願う希望について考えてみたい。
講義の内容・授業スケジュール	上記した映画作品を随時、見ながら、また資料等によって時代背景を考察しながら、上記のテーマに迫ってみたい。
履修上の留意点	開講時に、あらかじめ上記した映画作品以外に取り上げる文学作品や映画作品を指示するので、できるだけ事前に読み、かつ見て授業に出席のこと。他の学生の大きい迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。
成績評価の方法	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。
教科書	適宜プリントを配布する。
参考書等	授業時に指示する。

科目名	担当者名
フレッシュマンセミナー	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行

講義のねらい

新入生を対象に、大学での学業の基本を講義する。大学の授業は、ただ与えられるものを受け入れるだけの態度では成立しない。自分の興味関心にしたがって、自分から積極的に働きかけ、自分なりの考えを持つことが必要となる。4年間の学業を始めるにあたって、レポートの書き方や図書館の活用法など実務的な基本を確認するとともに、こうした「学ぶ態度」の基本を身につけてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

(1) ガイダンス (2) 変わる大学 (3) 教養とは何か (4) 地域と大学 (5) コミュニケーションを考える (6) レポートの書き方 (7) 図書館の活用法 (8) パソコン活用術 (9) メディア・リテラシー

履修上の留意点

大学の授業から最大限のものを引き出して身につけたいと真剣に考えている学生を対象とした授業である。まずは授業に出席しなければ何事も始まらないので、規定にある2/3よりは多い出席を求め、遅刻は認めない。最初の授業でガイダンスを行うので、必ず出席すること。また授業時間以外で、世田谷区内の文化施設に行きその報告を求めることを考えている。

成績評価の方法

前期定期試験期間中にレポートを提出していただくが、出席状況や、授業の中で求める様々な課題の提出状況を加味した上で採点する。

教科書

指定しない。

参考書等

授業の中で、随時紹介する。

その他

本年度から新たに開設する科目なので、受講者数によって授業方法を柔軟に考えながら進めたい。

科目名	担当者名
フレッシュマンセミナー	ゆ あ さ よ う こ 湯 浅 陽 子

講義のねらい

情報化社会の中で急速にコンピュータが普及し、実社会では職種に関係なくコンピュータを扱えることが就職の基本条件となっています。コンピュータ、そしてネットワークを道具として使いこなすための知識と技術(=情報リテラシー)を身につけることは、「読み・書き・そろばん=計算」技術を身につけることと同様に、現代人にとって必須と言えます。

この授業は、高校までの間にコンピュータに触ったことはあるが、使いこなしているとは言えない初心者を対象とします。

パソコンを使いこなすには、タッチタイピング技能(=手元を見ないで打つ技能)が必須条件となります。これができていない人は短期間に独習しておいてください。そのうえで、情報リテラシーを身につけ、パソコンを利用して自己表現したり、問題を解決したりするための知識・技術を身につけることを目標とします。授業は一人1台のパソコンを使つての実習が中心となります。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 あなたのできること・できないことの確認 (タッチタイピングできますか?)
- 第2回 簡単な文書作成・ファイルとフォルダの管理
- 第3回 電子メールの基礎知識・電子メールにおけるビジネス文書
- 第4回 実例で学ぶビジネス文書(社内文書/社外文書)・(英文と和文の構成)
- 第5回 ビジネス文書作成実務、添付ファイルで送る(圧縮と解凍)
- 第6回 簡単な表の作成とグラフ
- 第7回 実例で学ぶエクセル(見積書の作成等)
- 第8回 関数を使用する表の作成
- 第9回 エクセルのデータベース機能
- 第10回 レポート・論文の書き方(参考文献の引用のルール)、ヘッダーとフッター、脚注の挿入
- 第11回 プレゼンテーションのテクニック(1)
- 第12回 プレゼンテーションのテクニック(2)

第13回 まとめ

履修上の留意点

履修を希望する人は、受講許可を受けてください。
 また、入学式後に行なわれる総合情報センターのオリエンテーションに出席して、IDを必ず取得してください。IDが無いとパソコンを使えません。オリエンテーションを受けてIDが発行されますと、同時にメールアドレスを取得することになり、大学のパソコンでEメールを受発信できるようになります。
 コンピュータを使いこなせるようになりたければ、授業を欠席しないことが肝要です。病気等でどうしても都合がつかない場合は、自習で補ってください。

成績評価の方法

実習科目につき、出席を重視します。また、タッチタイピングの完成度、10分間の入力スコア結果も重要なポイントになります。この他、指示に従って作成した提出物の可否、授業時間内の積極性・熱心さ、授業内に行う実技テストなどによって総合評価を行います。

教科書

『情報リテラシーテキスト（改訂版）』（noa 出版）を予定していますが、適宜指示します。

参考書等

適宜指示します。

その他

「基本が大切」とは、よく言われることですが、パソコン操作も基本が大切なことに変わりはありません。パソコン操作の基本とは、すなわちキーボード操作です。Windowsの出現以来、専門家や一部の愛好者ばかりでなく、誰もが触れるようになったパソコンですが、マウスの操作だけではパソコンの機能のうち、ほんのわずかなことしかできません。
 ワープロによる文書作成も電子メールもキーボードによる文字入力を中心であり、現在専門家としてパソコンを操作している人も初めはキーボードの入力から覚えていったのです。初心者にとっては、大きなハードルとなるキーボードですが、情報化がすすむ社会では不可欠の技能と言えます。総合情報センター内のコンピュータに入っているタッチタイピングソフトの「Type Quick」で入力のスキルアップを図ってください。

科目名

担当者名

日本文化基礎

佐原 作美

講義のねらい

日本文化の特色や源流を探ろうとするとき、その主たる対象は古典文学にあると言えよう。そこで、当科目においては、奈良・平安時代に成った古典文学を素材として、日本人の精神文化の有りようなどその一端を探って行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

古典文学の中から、古代人の心性を顕著に見せる作品を学生と共に読みながら問題点の掘り起しをして行きたい。特に、古代の人々の言語観や靈魂観や自然観などを中心に見て行きたい。

履修上の留意点

目的意識と集中力、更に素朴な感性をもって臨んでほしい。

成績評価の方法

時々の提出物や試験や授業への出席（重視）等を見て総合的に評価する。

教科書

必要性が生じれば授業時に指示するが、当初はプリントの配布をもって行う。

参考書等

必要に応じ授業の中で指示し紹介する。

科目名	担当者名
日本文化基礎	すずき ひろこ 鈴木 裕子
講義のねらい	〈家族〉の文学史―描かれた古代の女と男― おもに平安時代の文学作品を通して、古代の家族の様相を見ていきたい。例えば、良妻とは、悪妻とは、それぞれどんな妻を言うのか、悪母にはどんな母がいたか、慈母とは何か、理想的な父子関係とは、また親子関係はどのように変わったか、その背景にはどのようなことがあるのかなど実際に古典の一節を読みながら考える。
講義の内容・授業スケジュール	扱った作品は、『源氏物語』をはじめとする物語や、『蜻蛉日記』や『更級日記』などの日記文学、『日本霊異記』や『今昔物語集』などの説話文学である。描かれている記事の歴史的社会的な背景が理解できるように、周辺の資料も読みながら、現代につながる人間の問題をさぐってみたい。あわせて、古典のおもしろさが味わえるとよいと思っている。
履修上の留意点	授業は主としてテキストやプリント教材を用いての講義形式であるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。
成績評価の方法	期末に行う試験（日時・論題等は授業時に提示）・授業態度（欠席・遅刻をしないことは前提）・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。
教科書	服藤早苗『平安時代の女の生き方』（小学館） その他プリント教材。
参考書等	参考書は、授業中に指示する。

科目名	担当者名
日本文化基礎	さかぐち ひろま 坂口 博規
講義のねらい	日本文化の一つとして、昔話・民謡・民話と称される説話伝承がある。本年度はその伝承の中でも「異類怪婚譚」の諸相について考える。異類とは人間と類を異にする鳥獣・魚虫・植物のことで、この異類が人間の男や女に変身して、人間と結婚するという伝承であり、特に異類女房譚を考察する。本講義では古代の伝承から現在各地で伝承される伝説の類にまで目を向けて、日本文化の深層に関心を向けてもらうことを目指している。
講義の内容・授業スケジュール	異類女房譚は、その異類の郷土（異郷）を基礎に大きく三つの系統があり、「空」を郷土とする白鳥処女説話（羽衣伝説）とか「海」を郷土とする浦島伝説や「陸地（森林・山野）」を郷土とする狐女房伝説などがある。半期科目なので本年は羽衣伝説を中心に考察する。まず異類怪婚譚について解説し（1）、次いで白鳥処女説話について解説した後に、日本の古代の伝承から講じてゆく（2～6）。平安時代成立の『竹取物語』も白鳥処女説話の系譜に立つ物語であり、「鶴の恩返し」で有名な鶴女房の話は室町時代物語草子の中にも存在するので、その考察もする（7～10）。更に現在日本各地で伝承される羽衣伝説についても言及したい（11～13）。
履修上の留意点	白鳥処女説話は世界各地でも伝承される「世界大物語」であり、古代からの伝承の背景には時代時代の思想や信仰が指摘されておりそうした幅広い関心を喚起し得れば幸いである。
成績評価の方法	定期試験時にレポートを提出してもらい、その成績に出席状況を加味して評価する。
教科書	プリントを配布し解説する。
参考書等	授業において紹介する。

科目名	担当者名
日本文化基礎	その 衛 部 幹 生

講義のねらい	真の国際人とは自国の文化をしっかりと認識している人物である。これからの国際社会を生き抜いていくためには、自国についての認識と意見を持ち、それを表現できる必要がある。本講座は、そうした文化の認識に関する導入的講座である。したがって、単に知識を得るのではなく、文化的事象をどのように自分の中で体系化して認識し、そこから何を考えるかを問題にしたい。
講義の内容・授業スケジュール	1 ガイダンス。2 婚姻史。3 婉曲表現の文化。4 自己認識の文化。5 食文化。6 住まいの文化。7 服飾文化。8 宗教文化。9 テレビゲームの可能性と文化的展望。10 文化史としての日本文学。11 伝承芸芸。12 教場試験。13 まとめ。
履修上の留意点	毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。
成績評価の方法	出席点20点、意見文30点、教場試験50点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。なお、12月の最後の授業時間中に、追試験に相当するレポートに関する伝達(該当者・テーマ・提出期限等)を行うので必ず出席すること。
教科書	必要に応じてプリントを配布する。
参考書等	必要があればそのつど紹介する。

科目名	担当者名
日本文化基礎	いし わり 割 透

講義のねらい	日本の戦争及び戦後のことを考えることは極めて重要な課題であるが、戦後の風景を検討するのに際して、この授業では、昭和27年に放送劇として始まり、その人気ゆえに映画、歌謡、小説など、多くのジャンルにまたがって、大きな人気を博したメロドラマ、「君の名は」について、その人気を博した理由を考え、戦後の1時期における戦中観を検討してみたい、あわせて、日本のメロドラマの系譜を概観することで、日本の戦後の文化の一端を考察してみたい。
講義の内容・授業スケジュール	「君の名は」は、放送劇であるがゆえに、現在はその台本でしか、その内容に触れることができない。小説も、全国の幾つかの図書館でしか、現在では見ることはできない。(河出書房の文庫本も、現在では絶版である。) わずかに、映画全三部作がビデオなどで見ることができるのみである。レンタルビデオなどで、あらかじめ、その物語に触れていただければ、幸いである。
履修上の留意点	「君の名は」の内容にこだわらず、この時間には、放送劇、映画、絵画などの分野にも抜け、その特徴、歴史などにも触れる予定である。メロドラマ、歌謡曲、大衆小説などにも関心をもって授業に臨んでほしい。
成績評価の方法	出席を重視する。戦後文化についてのレポートを提出。それらによって評価する。
教科書	特に指定しない。その都度、必要な教材を、こちらで準備する。
参考書等	その都度、授業中に紹介する。
その他	映画などは、ビデオで見せることを考えています。

科目名	担当者名
日本文化基礎	小林 治

講義のねらい

宮澤賢治の童話を精読する。賢治作品はこれまで、そこに溢れるイメージの絢爛さが、言葉だけの世界におけるデザインの卓抜さということに囲い込まれ、消費されるという不幸にしばしばみまわれてきた経緯があり、それゆえに賢治を遊民と錯視する見解も生まれてきた。しかし、その詩においても童話においても、注意深くそれらを読むならば、賢治の比類無き想像力の飛翔によって夢見られたイメージや虚構は、その飛翔に相当した深い喪失感と内省を生み出していることに気づくはずである。そこに表現者としての賢治の修羅があるのであり、ムードに流された生半可な鑑賞などはねつけてくるのである。

講義の内容・授業スケジュール

上記の賢治作品の実相を、生前発表作品と、『ボラーノの広場』、『グスコブドリの伝記』など、後に「少年小説」と名づけられた作品の初期形から最終形までの生成の過程の中に見ていく予定。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大いなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

宮澤賢治『宮澤賢治全集第7巻』、『同第8巻』（ちくま文庫）
その他、適宜プリントも配布する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名
日本文化基礎	松田直行

講義のねらい

日本の近現代史と文化・風俗を「流行歌」という切り口から概観する。新入生と2年次生を対象とし、ただ授業に出席して話を聞くだけでなく、自分の興味にしたがって自分で感じ、調べ、考え、それをレポートとしてまとめるという大学での学業の基本を身につけていただくこと自体も目的の1つとしている。

講義の内容・授業スケジュール

(1) ガイダンス (2) 音の科学 (3) 明治における西洋音楽の移入 (4) 浅草オペラとモダニズム (5) 流行歌の誕生 (6) 戦後の歌謡曲 (7) ビートルズとロックの時代 (8) 歌謡曲からJ-POPへ

履修上の留意点

毎回出席して真剣に学びたいと考えている学生だけを対象としている。遅刻は認めず、与えられた課題を提出できない学生や欠席の多い学生はその段階で受講をお断りすることになる。

成績評価の方法

定期試験期間中にレポートを提出していただく。授業の中で提出を求める課題や出席状況をそれに加味して採点する。

教科書

指定しない。

参考書等

佐藤良明「J-POP 進化論」平凡社新書008。ほかは授業の中で随時紹介する。

その他

本年度から開設する科目なので、受講者数によって授業形態を柔軟に考えながら進めたい。

講義のねらい

「東アジア漢文文化圏」の東端海上に位置する日本国は、独特な言語文化を生み出してきました。その素養を知る手がかりをこの講義を通じて理會を深めていただき、海外の国際文化交流のうえで基礎となる素養を多くの方が育み、この日本文化の手触り・肌触りを実感できる講座となればと考えています。日本の書記文字文化は西欧の音楽文化に通じています。逆に西欧の文字文化は、日本の邦楽文化（仏教聲明・平曲・謡曲）と連動しているといった図式がよく取り沙汰される所以をこの時間で具現できればと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
 02の講義内容 日本語文化を学ぶ一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
 03の講義内容 日本語文化を学ぶ字書・辞書・参考専門書の利用とその実際
 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果
 その研究領域の一般活用と手続き
 （中国・韓国・北朝鮮・モンゴル・ベトナム・タイ・インドネシアなど）
 05の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その1（中国と日本）
 06の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その2（朝鮮半島と日本）
 07の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その3（モンゴルと日本）
 08の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その4（ベトナムと日本）
 09の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その5（タイと日本）
 10の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その6（インドネシアと日本）
 11の講義内容 「西欧言語文化圏」と日本語文化（ギリシャ・トルコ・イタリアを中心に）
 12の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その1（ギリシャ&トルコと日本）
 13の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その2（イタリアと日本）
 14の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その3（英国・米国・豪国と日本）
 15の講義内容 期末課題リポートの提出

履修上の留意点

許容の人数制限を実施します。

成績評価の方法

期末にリポート課題を用意します。これを紙出し&データ記録（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日迄に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

教科書

随時、講義の前後にて報知します。

参考書等

随時、講義の前後にて報知します。

科目名	担当者名
日本語文化基礎	萩原義雄

講義のねらい

「東アジア漢文文化圏」の東端海上に位置する日本国は、独特な言語文化を生み出してきました。その素養を知る手がかりをこの講義を通じて理會を深めていただき、海外の国際文化交流のうへで基礎となる素養を多くの方が育み、この日本文化の手触り・肌触りを実感できる講座となればと考えています。日本の書記文字文化は西欧の音楽文化に通じています。逆に西欧の文字文化は、日本の邦楽文化（仏教聲明・平曲・謡曲）と連動しているといった図式がよく取り沙汰される所以をこの時間で具現できればと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
- 02の講義内容 日本語文化を学ぶ一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
- 03の講義内容 日本語文化を学ぶ字書・辞書・参考専門書の利用とその実際
- 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果
その研究領域の一般活用と手続き
(中国・韓国・北朝鮮・モンゴル・ベトナム・タイ・インドネシアなど)
- 05の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その1 (中国と日本)
- 06の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その2 (朝鮮半島と日本)
- 07の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その3 (モンゴルと日本)
- 08の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その4 (ベトナムと日本)
- 09の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その5 (タイと日本)
- 10の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その6 (インドネシアと日本)
- 11の講義内容 「西欧言語文化圏」と日本語文化(ギリシャ・トルコ・イタリアを中心に)
- 12の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その1 (ギリシャ&トルコと日本)
- 13の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その2 (イタリアと日本)
- 14の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その3 (英国・米国・豪国と日本)
- 15の講義内容 期末課題レポートの提出

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場 IT 管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、ID チェックを忘れていた場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4 週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。
※講義内容及び連絡事項については、HP (情報言語学研究室) 上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT 機器を用いても応対可能とします。

成績評価の方法

期末にレポート課題を用意します。これを紙出し&データ記録(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日迄に提出します。
提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。
ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。
また、総合教育研究学部(日本文化部門)&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

教科書

随時、講義の前後にて報知します。

参考書等

随時、講義の前後にて報知します。

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料は HP (情報言語学研究室) 上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメ PDF 資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	担当者名
日本語文化基礎	湯浅陽子

講義のねらい

情報通信機器を使いこなす上で必要な表現力（社会人として必要な日本語能力・文章力、色彩および図解能力）を強化します。

日本語能力は、語彙を増やし、読み仮名や感じの違いを減らすことに重点を置きます。また、社会生活に必要な慣用句やことわざの意味、敬語の基本を確認して、活用できるかどうかをチェックします。

文章力は、簡潔でわかりやすい実用文の書き方のポイントと、説得力のある文章の構成方法を学び、小論文などを実習します。

色彩及び図解能力では、色彩の基本と表や図形を書くときの注意点を学び、図解の基本的な作成方法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

第1回 情報利活用における表現力の位置づけ
 第2回 語彙を増やす（送り仮名・同音異義語）
 第3回 語彙を増やす（慣用句）
 第4回 語彙を増やす（ことわざ・敬語）、練習1
 第5回 良い文のポイント
 第6回 良い文のポイント、練習2
 第7回 文章の構成（要素と構成方法・要約・見出し）、練習3、練習4
 第8回 さまざまなビジネス文書、練習5
 第9回 小論文の構成、原稿用紙の使用法、練習6
 第10回 エントリーシート、練習7
 第11回 色彩の基礎知識、練習8、練習9
 第12回 図解とグラフ、練習10、練習11
 第13回 Drill

履修上の留意点

コンピュータを使用します。コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学式後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、受講許可により人数制限をします。

成績評価の方法

出席を重視します。毎回提出する課題と最終試験により評価します。

教科書

『伝える力がつければ変わる！情報表現力』（noa 出版）

参考書等

適宜指示します。

その他

「基本が大切」とは、よく言われることですが、パソコン操作も基本が大切なことになり変わりはありません。パソコン操作の基本とは、すなわちキーボード操作です。Windowsの出現以来、専門家や一部の愛好者ばかりでなく、誰もが触れるようになったパソコンですが、マウスの操作だけではパソコンの機能のうち、ほんのわずかなことしかできません。

ワープロによる文書作成も電子メールもキーボードによる文字入力を中心であり、現在専門家としてパソコンを操作している人も初めはキーボードの入力から覚えていったのです。初心者にとっては、大きなハードルとなるキーボードですが、情報化がすすむ社会では不可欠の技能と言えます。総合情報センター内のコンピュータに入っているタッチタイピングソフトの「Type Quick」で入力のスキルアップを図ってください。

科目名	担当者名
日本文化研究 I A	佐原 美
講義のねらい	授業では『万葉集』の講読を中心に進める。『万葉集』は承知の如くわが国最古の大歌集であり、約4500首もの和歌を取める国民的古典である。授業ではその中から特に特色ある歌人として知られる山上憶良の作品を中心に読んでいくと共に、作者憶良の人間像を探求することを目標としたい。
講義の内容・授業スケジュール	憶良を理解するにはその作品を精読することが第一であり、それにあわせその時代や社会などとの関わりをも視野に入れる必要がある。授業では、憶良の全作品を創作年代順に追いながら学生と共に読んでいきたい。
履修上の留意点	授業は単に出席して講義を聞けばいいというものではない。自ら積極的に作品を読み、考え、味わうことが大切である。作品は人間から生れた文学芸術であることを忘れずに、意欲的に立ち向かうようにしてほしい。
成績評価の方法	出席状況や質疑、およびレポートなどの提出物などを見て総合的に評価する。
教科書	土橋 寛編『作者別万葉集』(おうふう) 2,000円
参考書等	授業時に必要に応じてその都度紹介する。

科目名	担当者名
日本文化研究 I A	坂口 博規
講義のねらい	鎌倉時代初期に成立した私家集(=個人歌集)『建礼門院右京大夫集』を読む。平家一門全盛の世、高倉天皇中宮となった平清盛娘徳子(安徳天皇母)の宮廷に女房として仕えた、「右京大夫」と称した女性の歌集である。他人詠も含めて361首の歌が、全体はほぼ年代順に配列されており、その半生の回想の記の体を示していることから、日記文学に指摘される自照精神を問うこともできる。徳子の宮廷に仕えていた折に、平清盛の孫に当たる貴公子資盛と恋に陥り、以後平家一門の都落ちに伴う資盛の流転、壇の浦での死去を体験し、その追想の日々を過ごす。その戦乱期に運命を翻弄された作者の人生を、散文(=詞書)と韻文(=和歌)が見事に融合したと評価される作品を通して考えたい。
講義の内容・授業スケジュール	開講時(1・2)は、女性の手になる自照文学の流れを概観し『平家物語』の裏面史とも言ふべき本作品を理解するため『平家物語』の女人哀話を紹介(3)、前期は平資盛との交渉を中心に作品を講読する(4~13)。後期は似絵(肖像画)の名手であり歌人でもあった藤原隆信との稔らぬ恋に苦悩するが、その交渉を伝える和歌を中心に作品を読み進め(14~25)、和歌文学の魅力を考える(26)。作品研究という形で本文を読みたい。
履修上の留意点	和歌の魅力を感じてもらうように、いくつかの作品を分析的に読解してみるが、まず作品の成立した平家全盛の時代、そしてその滅亡の歴史的背景について研究してほしい。なお宮廷社会について考察してほしい。
成績評価の方法	学年末の定期試験の成績に、平素の出席状況や授業への取組みを参考にして評価する。
教科書	久富高文編『建礼門院右京大夫集』(おうふう) 1,890円

科目名	担当者名
日本文化研究 I A	すげ 鈴 木 裕 子

講義のねらい

『源氏物語』『賢木』巻を読む
『源氏物語』は、それが書かれた平安の昔から多くの人に読み継がれて来た日本文学の傑作である。この物語のどこにそのような価値があるのだろうか。受講者各自に答を見つけてもらいたい。現代に生きる私たちが『源氏物語』の世界を理解することは容易ではないが、実際に古典の言葉に触れることで作品の世界を感じ、現代に通じる人間の心や苦悩を味わうことができるとよいと考えている。作品を支える文化を理解し、自分自身の『源氏物語』評価がもてるようになることが理想である。

講義の内容・授業スケジュール

「賢木」巻は、野宮での光源氏と六条御息所の別離、光源氏の庇護者であった父桐壺院の崩御、秘密の恋の相手藤壺の出家、光源氏と朧月夜の密会露見など、光源氏の人生を大きく変転させるさまざまな出来事が描かれる巻である。この巻を読むことで、『源氏物語』の表現の特色や作品の構造、主題への理解が深まるようにしたい。はじめに『源氏物語』を概説し、この物語の根幹である光源氏と藤壺の恋の経緯を解説した上で「賢木」巻の作品世界に分け入ることにする。

履修上の留意点

授業はテキストやプリント教材を用いての講義形式を基本とするが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法

半期毎に行う試験(論題等は授業時に提示)・出席状況(遅刻・早退をしないことは大前提)・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

阿部秋生ほか校注訳 古典セレクション『源氏物語3』(小学館)

科目名	担当者名
日本文化研究 I A	その べ みき お 園 部 幹 生

講義のねらい

日本文化のなかで、伝承文芸は上代から近世まで、あらゆるジャンルの文芸と関わって、大きな意味を持っていた。その伝承文芸を代表する説話文学のなかから、特に有名な作品の一つである『宇治拾遺物語』をとりあげる。『宇治拾遺物語』は長く編者未詳の作品として扱われてきたが、その謎を解き明かしてみたい。説話集は、伝承された話を編纂したものであるから、同じ話や類似した話が、他のさまざまな作品にも載せられている。それらの話との比較も、説話を理解するうえでは、たいせつな要件となる。したがって、『今昔物語集』のような他の説話集はもちろん、その他さまざまなジャンルの作品も合わせ読むことになる。そうしたことを通して、説話の本質を考え、また、『宇治拾遺物語』の秘められた特質も浮き彫りにしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2 説話とは。3・4 説話文学史。5 序文講読。6・7 宇治拾遺物語の特徴。8~18 編者論。19~24 作品論。25 教場試験。26 まとめ。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう(試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可)。また、最後の授業時間内に、追試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。

教科書

中島悦次校注『宇治拾遺物語』(角川文庫)

参考書等

『駒澤短大国文』36号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

科目名	担当者名
日本文化研究 I B	いしわり 石割 透
講義のねらい	近代の小説、この時間は特にわが国の1910年代から20年代にかけての代表的な小説、作家をとりあげて、この時代の文学的傾向、文化的な諸問題を検討していきます。
講義の内容・授業スケジュール	とりあげる作家、小説は大体次の通りです。志賀直哉「清兵衛と瓢箪」「雨蛙」「十一月三日午後の事」「焚火」「小僧の神様」、谷崎潤一郎「刺青」「痴人の愛」「小さな王国」「春琴抄」、芥川龍之介「鼻」「芋粥」「秋」「奉教人の死」、江戸川乱歩「二銭銅貨」「屋根裏の散歩者」「人間椅子」など。
履修上の留意点	授業でとりあげる作品は、短編小説が中心である。前もって必ず緻密に読んでおいて下さい。
成績評価の方法	年度に2、3回、作品について論じたレポートを提出。原稿用紙7枚以上のレポートとともに、出席状況、授業時の態度によって評価する。
教科書	プリントを随時配布。年表の会編『近代文学年表』（双文社出版）を常に備えておくこと。とりあげる作品の多くは、文庫本で読めます。
参考書等	授業時に指示する。
その他	講義形式で授業を進める予定。

科目名	担当者名
日本文化研究 I B	こばやし 小林 治

講義のねらい	現代文学の作家と映画との関わりは、その作家及び作品の方向性を決定してしまうほど深いケースが多くなっていると言えるだろう。その関わり方は、大きく分けて二種類あると思われる。一つは、作家が観た映画に触発された、あるいは影響を受けた場合であり、もう一つは作家が実際に監督として映画を作った、もしくは脚本などを担当して映画作りに参加した場合である。これまで、映画と文学というテーマが掲げられると、前者の関わりから語られることが多かったが、ここでは具体的に後者の場合を安部公房について取り上げて、どのように関わっているか考えてみたい。また、前者についてもいくつか取り上げる。
講義の内容・授業スケジュール	代表作『砂の女』など昭和30年代から40年代にかけて先駆的に自作の映画化に数多く関わった安部公房について順次みていく予定である。
履修上の留意点	授業で触れる作品は、できるだけ多くを授業と併行して読むことが望まれる。また、特に詳しく触れる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。
成績評価の方法	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出欠状況を加えて成績評価をおこなう。
教科書	安部公房『砂の女』（新潮文庫）400円 安部公房『他人の顔』（新潮文庫）450円 その他、適宜プリントを配布する。
参考書等	授業時に指示する。

科目名	担当者名
日本文化研究 I B	まつ松 だ田 なの直 ちか行

講義のねらい	現代日本における芸能と演劇の諸相を広い視野から概観する。現代の日本においては、近代になって西洋から移入した「演劇」とともに、歌舞伎や能・狂言などの伝統芸能も併存し、互いに影響を与えあって新たな文化を創造しつつある。映像メディアや様々な芸能との関連も視野に入れ、その歴史的文化的な背景にも触れながら、多角的に考察する。
講義の内容・授業スケジュール	(1) ガイダンス (2) 芸能とは何か (3) 現代日本の芸能と演劇の実情 (4) 近代演劇の移入と新劇 (5) 伝統芸能の世界 (6) 宝塚とミュージカル (7) 漫才と喜劇 (8) 大道芸と見世物 (9) 現代演劇の諸相 (10) 鴻上尚史の演劇 (11) 演劇ワークショップ
履修上の留意点	授業ではなるべく映像資料を使って芸能や演劇に触れてほしいと思っているが、それは単なる映像に過ぎないことも事実である。授業時間以外に自分で様々な芸能や演劇の場に足を運び、それを随時レポートとして報告していただく。また講義を受動的に聞くだけではなく、興味のある事項について自分で調べ、簡単な発表をしていただく予定である。授業の中で作品を見る場合も多いので、基本的に毎回出席することを当然と考えている学生以外は、単位の取得は難しいと考えていただきたい。
成績評価の方法	前期と後期の定期試験期間中にそれぞれ試験またはそれに代わるレポート提出を求める。前期・後期それぞれについて、規定にある通り1/3以上の欠席がある場合は受験の資格がない。さらに出席状況や、そのほか授業で随時課すレポートの提出状況により総合的に判定する。
参考書等	授業で随時紹介する。
その他	本年度から開設する科目なので、受講者数により、授業の進め方は柔軟に対応することになる。また来年度は、この授業で扱った内容からさらに専門性を深め、自分の興味にしたがって各自が研究し発表する演習形式に近い「日本文化研究 IIB」の開設が予定されており、今年度のこの授業を履修した学生のみがその対象となる予定である。

科目名	担当者名
日本語文化研究 I	かた片 やま はる かつ山 晴 賢

講義のねらい	国語学というのは、日本語そのものを研究対象とする学問です。私たちが日常使用している日本語を、どのような過程を経て成立してきたのか、また、どのようなメカニズムを持っているのか、といった視点から分析していきます。
講義の内容・授業スケジュール	まず、日本語の特徴を概観し、それから、音声・音韻・文字・語彙の各方面から概説します。なお、概要は次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 音声/音韻：どの器官を使って声をだしているのか どのように声を作っているのか 音声をどのように表記するのか アクセント・イントネーション・プロミネンスとは何か ・ 文字：漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字の成立と変遷 仮名遣いの諸問題 ・ 語彙：語彙の種類とその特徴
履修上の留意点	授業には、受身でなく、自ら考え、分析し、発表するという態度で臨むこと。
成績評価の方法	筆記試験の結果/授業態度(出席)/課題の提出状況
教科書	適宜プリントを配布します。 春日正三・古瀬順一・輝博元・川口明美著『国語学概説』(双文社出版) 1,800円
参考書等	その都度指示します。

科目名

日本語文化研究 I

担当者名

はま 萩 原 義 雄

講義のねらい

音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据えた形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の鳥瞰・虫瞰の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、現存する紙面日本語資料の実態についてその保管現況の把握が第一義となります。これをどう時代区分しているのかを精確に知りましょう。将来、日本語文化研究としてどのような重要性を有し、どのように発展研究していくのかを各で認識していただきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
『古事記』(国宝真福寺本)
- 02の講義内容 『日本書紀』「卷子本、東洋文庫所蔵の巻第廿四・皇極期の参照画像写真」
- 03の講義内容 『万葉集』(「萬葉」と「万葉」の表記、現存『万葉集』最善本の内容、文字表記「万葉仮名」)
- 04の講義内容 『竹取物語』(成立と現存書写資料)
- 05の講義内容 『伊勢物語』(書名・作者そしてこの作品構成、真字本『伊勢物語』、大正時代に吉井勇作竹下夢二絵『新譯絵入伊勢物語』)
- 06の講義内容 『土左日記』(爲家本と定家本との異なり)
- 07の講義内容 『源氏物語』(人物系図、京大付属凶書館蔵中院本『源氏物語』による漢字の頻度計量国語学的考察)
- 08の講義内容 『大鏡』歴史物語
- 09の講義内容 『方丈記』鴨長明・自筆本の表記形式及び内容
- 10の講義内容 『平家物語』清盛の日宋貿易と『太平御覧』、天草版、真名本
- 11の講義内容 鎌倉時代の『吾妻鏡』(源頼朝・頼家・実朝、北条政子とその一族)
- 12の講義内容 夏季課題の取扱い手続き方法について説明
- 13の講義内容 夏季課題の提出
- 14の講義内容 『小倉百人一首』「小棧」と「小倉」
後期講義に向けてその方向性と準備を説明
- 15の講義内容 講義文献資料とその催し展の動向と現地見学
- 16の講義内容 『正法眼蔵』 山是山水是水〔山水経〕
- 17の講義内容 『蒙古襲来絵詞』 図絵と文
- 18の講義内容 『徒然草』 吉田兼好、随筆と謎
- 19の講義内容 『義経記』 判官びいき 義経、女人静、奥州平泉文化
- 20の講義内容 乱世庶民の夢『御伽草子』 浦島太郎 (浦島伝説・浦島太郎伝説の謎) ・ものくさ太郎・鉢かづき・酒吞童子・一寸法師、一寸法師
- 21の講義内容 『好色一代男』 江戸上方・井原西鶴・元禄の英雄
- 22の講義内容 『奥の細道』 松尾芭蕉・風雅のこゝろ
- 23の講義内容 『浮世風呂』 庶民のサロン
- 24の講義内容 『南総里見八犬伝』 滝沢馬琴・勸善懲惡物
- 25の講義内容 『航米日録』 近代への架け橋、『欧米巡航記』
- 26の講義内容 冬季課題の提出

履修上の留意点

※出席は、教場 IT 管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、ID チェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4 週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的抹消します。
※講義内容及び連絡事項については、HP (情報言語学研究室) 上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT 機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD (ネットへの添付資料) にして、最終締め切り日に提出します。
提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。
ご自分が調査した関連語句 (書名・人名・用語など) の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。
また、総合教育研究学部 (日本文化部門) & 短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理

運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

教科書

紀田順一郎『日本の書物』（新潮社刊（品切れ）・新潮文庫・著作集・筑摩文庫）時価
インターネット公開型テキスト“国語史”[URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi>]

参考書等

今野真二『日本語の歴史』文献から読み解く【鳥瞰虫瞰】（笠間書院刊）3,800円
ISBN4-305-70307-6

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	担当者名
日本語文化研究 I	湯浅陽子

講義のねらい

新社会人のビジネス現場でのコミュニケーション能力に不安があるという声を耳にします。ビジネスシーンで必要とされるコミュニケーション能力には、相手の話を聞くこと、意見の主張、説明、プレゼンテーションなどの能力が含まれます。

本講義では、職場で円滑な人間関係を築けるように、挨拶や言葉遣いといった基本から、他人との意思疎通の回り方や協調性のとり方といった、応用までを解説します。厚生労働省が創設した事業である YES-プログラム（若年者就職基礎能力支援事業：Youth Employability Support Program）に対応しています。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 コミュニケーションの目的と重要性
- 第2回 コミュニケーションの基本要素、交流分析の話
- 第3回 状況別のコミュニケーション【話す】
- 第4回 状況別のコミュニケーション【電話】
- 第5回 対社内のケーススタディ【1】（連絡ミスによるトラブル、忙しい時に限って至急の仕事、人に仕事を頼むとき）
- 第6回 状況別のコミュニケーション【会議】
- 第7回 対社内のケーススタディ【2】（会議をする、上司に企画を説明する、頼まれた仕事が期日どおりできない）
- 第8回 状況別のコミュニケーション【ビジネス文書】
- 第9回 ビジネス文書検定試験の実問題対策【1】
- 第10回 ビジネス文書検定試験の実問題対策【2】
- 第11回 良い人間関係を作るためのコミュニケーショントレーニング【意思疎通】
- 第12回 良い人間関係を作るためのコミュニケーショントレーニング【協調性】
- 第13回 良い人間関係を作るためのコミュニケーショントレーニング【自己表現能力】
- 第14回 対得意先のケーススタディ（重要なお客様のご案内を任せられた、得意先の人に穏便に苦情を言う）
- 第15回 対プライヤー（納入業者）のケーススタディ（請求書を回すのが遅れたため支払が遅れる等）
- 第16回 対一般大衆／地域社会のケーススタディ（営業車で事故を起こした、会社に対するクレームの電話）
- 第17回 プレゼンテーションのテクニック【資料の作成1】
- 第18回 プレゼンテーションのテクニック【資料の作成2】
- 第19回 プレゼンテーションのテクニック【資料の作成3】
- 第20回 プレゼンテーションの実行（【数の人に話すときの基本ルール】）
- 第21回 プレゼンテーションの進め方【発表の技術】
- 第22回～24回 プレゼンテーションの実践【発表会】

履修上の留意点

コンピュータを使用します。コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学式後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、受講制限により人数制限をします。

成績評価の方法

出席を重視します。毎回提出する課題と最終試験により評価します。

教科書

箱田忠昭著 『即戦力になる！！ビジネスコミュニケーション』（日経BPソフトプレス）

参考書等

適宜指示します。

その他

コンピュータに慣れていない人は、総合情報センターのトップページから「e-Learning」に入り、Web上PC講習（学内のみ）にて練習しておいてください。

科目名	担当者名
社会学〔現代文化を考える〕 〔社会生活を考える〕	お 呉 びよん さん 炳 三

講義のねらい

社会学は人間が引き起こす様々な社会現象を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」などにまたがっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを理解すること。

また、これらの諸問題を解決するためのより広い視点から現代社会を展望する視点を養ってもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 社会学の基礎概念：

I 行為論：(1) 社会学における行為、(2) 行為者としての個人、(3) 日本的行為論
II 集団論：(1) 集団の概念、(2) 官僚制理論、(3) 小集団論、(4) 集団の類型、(5) 日本的集団論

(後期) 現代社会の特徴的な諸相について：

(1) 家族集団、(2) 恋愛、(3) 結婚、(4) 若者文化、IT文化、(5) 少年犯罪、(6) ジェンダー、(7) 少子・高齢、(8) アダルトチルドレン、摂食障害、(9) 就職、転職、リストラ、(10) フリーター、ニート、引きこもり、(11) 性同一性障害など

以上の内容を講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため、講義内容について変更することもある。

履修上の留意点

この講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。それから、毎回辞書を持参すること。また、宿題を出すので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後期末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

講義のねらい

現代社会では、官庁統計、企業の経営上のデータ、アンケート調査結果など社会の諸相を反映した様々な数値が身近に氾濫している。これらのデータから各自が自分の必要とする情報を的確に選出・分析するためにはある程度の統計的知識とパソコン操作が必要である。こうした数値データの整理・分析の作業は実社会に出たときに様々な場面で必要とされるものである。また、新聞や専門誌上に頻出するグラフや統計表などの理解にも基礎的な統計の素養を必要とすることが多い。講義では、統計学の初歩の習得を主軸とし、同時に統計計算のためのパソコン操作に慣れることも目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期・後期を通じて、統計的基礎知識の習得に努め、現実の統計データ及び架空の数値などで実際に統計的計算を実行する場面も多くつくる。その場合大量のデータを扱う時には、パソコン（実際にはエクセルが主流）を使って計算作業を実行する。

【前期】

1. 代表値（平均値、中央値、最頻値等）
2. データの散布度（分散、標準偏差、変動係数等）
4. 度数分布
5. 相関分析
6. 回帰分析

【後期】

1. 確率
2. 確率変数
3. 確率分布
4. 標本と標本分布
5. 統計的推定
6. 統計的仮説検定

履修上の留意点

通常の講義では電卓（関数電卓が望ましい）を持参のこと。自分自身で計算すれば理解が倍増する。また、パソコン操作ではエクセルを使うので同ソフトの計算にある程度通じていることを前提にして講義を進める。

成績評価の方法

前期末と後期末に中間試験を行い、この点数に日頃の出席状況を加味して成績を評価する。

教科書

指定なし。

参考書等

稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫『経済・経営・統計入門』（共立出版）2004年
 室淳子・石村貞夫『Excelでやさしく学ぶ統計解析』（東京図書）2004年
 鳥居泰彦『はじめての統計学』（日本経済新聞社）2003年
 東京大学教養学部統計学教室編『統計学入門』（東京大学出版会）1997年
 岸野洋久『社会現象の統計学』（朝倉書店）1992年
 森田優三『統計概論』（日本評論社）1966年

その他

授業においては原則的にプリントを配布する。この中に関連問題を収め、これら問題に取り組むことで理解度を高める。

講義のねらい

文化人類学は、人類の特徴的な活動とその表現である「文化」を通して「人類とはなにか」を問う学問である。これを学ぶことは、多様な文化を理解する術を得るばかりではなく、自己の存在意義を問うことにもつながる。

この講義では、前期に「文化」と「文化人類学」、また文化の共通性を帯びる「民族」、そして「コスモロジー」について基礎的な知識を学ぶ。後期はコスモロジーの具体例として「風水」を採り上げ、関連するさまざまなコスモロジーと、現実空間への対応、また風水が人間社会にとって持つ意味を学ぶ。そして、これらを通して、人類が文化を持つことの意味や、ひいては人類の中の一存在である自己の存在意義を考えてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

前期：第1部 文化人類学と民族

(1～3)「文化」と「文化人類学」 (4～6)「民族」とはなにか

第2部 民族とコスモロジー

(7～8)「コスモロジー」とはなにか (9～10) 天とひとつのコスモロジー

(11～13) 世界の断絶と連続

後期：第3部 風水のコスモロジー

(14～20) 風水を構成する宇宙論 (21～22) 風水による現実空間の意味付け

(23～26) 風水と人間社会

履修上の留意点

講義に対する積極的な姿勢と、社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をしないといけない。

また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カードの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。

成績評価の方法

出欠状況、期末試験、小テスト、質問への返答、受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

教科書

プリントを使用する。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版）』（中公新書560、1990年）840円

国立歴史民俗博物館編『異界談義』（角川書店、2002年）1,470円

渡邊欣雄『風水思想と東アジア』（人文書院、1990年）1,995円

鈴木一馨『陰陽道一呪術と鬼神の世界』（講談社選書メチエ244、2002年）1,575円

科目名**担当者名**

文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕

矢野 秀武
や の ひで たけ

社会分野

講義のねらい

文化人類学とは、世界の民族などの集団を対象に、その文化・社会について、比較しながら特質を理解する学問である。またそれを通じて自分の文化や社会の前提を理解する学問である。本講義では、人間社会の多様な生業形体、コスモロジーなど世界の理解の仕方についての基礎的な考え方を身につけてもらいたい。さらに、多民族社会の様相、日本の民族や日本文化といった考え方の形成と変容についても学んでもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期においては、文化人類学の基本的な考え方を紹介し、狩猟採集民、牧畜民、農耕民など、近代化によって工業化した社会とは異なる生活環境・生業形体における人々の生活や考え方をとりあげる。後期では、グローバル化の進む現代社会の特質を踏まえつつ、民族と文化という基本的な考え方を理解し、文化摩擦、民族の形成、多民族国家、文化の流動化といったテーマで授業を進める。

成績評価の方法

前期と後期それぞれの期末に試験を行なう。試験形式や授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

教科書

なし。

参考書等

授業時に随時紹介する。

科目名

担当者名

法学・憲法〔法と社会生活〕

はせがわ ひでよ
長谷川 日出世

社会分野

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の習得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に、日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科目名

担当者名

法学・憲法〔法と社会生活〕

けい とく ひろ どう
鶏 徳 啓 登

社会分野

講義のねらい

よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、根本的理念、法の目的などを研究する。また、憲法は国家の基本法として他の法令の根幹をなすものであり非常に重要な法である。そして、憲法制定後50年経過した現代に至って国外的、国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出し得るようになることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

法学の講義は次の内容を中心として行う。

- (1) 社会生活と法 (2) 法の意義・効力 (3) 法規範と他の社会規範との差異
- (4) 法の分類と解釈の方法 (5) 市民法の概論 (6) 刑事法の概論
- (7) 法と裁判

憲法の講義は、次の内容を中心として行う。

- (1) 憲法の意義 (2) 憲法の種類 (3) 明治憲法の原則と特質
- (4) 現憲法の原則 基本的人権の主体 (5) 基本的人権の分類
- (6) 各種基本的人権の内容
- (7) 国会の仕組みとその作用 行政機関の仕組みとその作用
- (8) 裁判所の仕組みとその作用 (9) 地方自治

成績評価の方法

出席状況と試験による。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種）及び参考書は教場にて説明致します。

講義のねらい

現代社会においてわれわれの営みは、いつの間にか複雑化した法制度と関係をもちながら生活をしているがその基軸をなしているのが憲法である。憲法は人間のための法であると言うことから人権を中心に憲法の理念と実態を考えようと思います。

講義の内容・授業スケジュール

I 憲法の系譜

- 一 憲法の内容―憲法の法としての特質―
- 二 憲法の歴史
- 三 明治憲法から日本国憲法へ
- 四 日本国憲法の特徴

II 憲法の構造

- 五 人権と憲法
- 六 人権の種類 (1) 自由権・受益権・参政権
- 七 人権の種類 (2) 法の下での平等
- 八 人権規定の効力 (1) 人権規定の私人間への適用
- 九 人権規定の効力 (2) 社会権のプログラムの性格
- 十 人権と政治機構 (1) 国民権と象徴天皇制
- 十一 人権と政治機構 (2) 国民代表としての議会
- 十二 人権と政治機構 (3) 代表制と直接民主制
- 十三 人権と政治機構 (4) 議院内閣制
- 十四 人権と政治機構 (5) 財政の民主化
- 十五 人権と政治機構 (6) 地方政治の確立
- 十六 人権と政治機構 (7) 国際政治と国際法
- 十七 人権と政治機構 (8) 国際政治と人権
- 十八 人権と裁判 (1) 適法手続
- 十九 人権と裁判 (2) 裁判制度
- 二十 人権と裁判 (3) 司法権の独立
- 二一 人権と裁判 (4) 違憲審査制
- 二二 人権と裁判 (5) 違憲審査の限界

III 憲法の実態

- 二三 思想と人権 (1)
- 二四 思想と人権 (2)
- 二五 思想と人権 (3)
- 二六 思想と人権 (4)
- 二七 宗教と人権
- 二八 刑事手続と人権 (1) 捜査過程における人権の尊重
- 二九 刑事手続と人権 (2) 自白の証拠能力
- 三〇 刑事手続と人権 (3) 刑事手続と行政手続
- 三一 生存と人権

履修上の留意点

ノートを作成することが望ましい。

成績評価の方法

筆記試験と出席の総合評価とする。

教科書

開講時に指示します。(欠席しないように)

参考書等

『ポケット六法』(有斐閣)

科目名

担当者名

法学・憲法〔法と国家〕

おだてる
織田晃子

社会分野

講義のねらい

法とは何かに始まり、日本国憲法と人権、法と国家について判例を多く使って講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 法とは何か
 - (1) 法と道徳
 - (2) 法の解釈
- 2 日本国憲法と人権
 - (1) 人権の主体
 - (2) 私法関係と人権
 - (3) 生命・自由および幸福追求権
 - (4) 法の下での平等
 - (5) 精神的自由権
 - (6) 居住・移転・外国移住・国籍離脱の自由
 - (7) 経済的自由権
 - (8) 社会権
 - (9) 人身の自由・裁判手続の保障
 - (10) 新しい人権
- 3 法と国家
 - (1) 日本における近代憲法の成立
 - (2) 日本国憲法の統治原理
 - (3) 司法権とその限界
 - (4) 平和主義と戦争の放棄

履修上の留意点

授業にはポケットサイズのもので十分であるが、六法を忘れないように持参し、講義中に条文がでてきたらそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。

成績評価の方法

期末試験の成績による。

教科書

『判例法学』（有斐閣ブックス）、『コンパクト六法』（岩波）

その他

プリント配布

科目名	担当者名
法学・憲法〔法と権利〕	池田実

社会分野

講義のねらい

〈法学〉家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかかわり、規制されているかをさまざまな具体例を通して考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような諸原理・精神に結びついているかを明らかにします。
 〈憲法〉政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものがほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにいただければ、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

〈法学〉(1) 授業案内・導入 (2) 国家と法 (3) 実定法ガイド (4) 裁判制度ガイド (5) 夫婦と法 (6) 子どもと法 (7) 自己決定権 (8) プライバシーと法 (9) 生命倫理と法 (10) 社会保険と公的扶助 (11) 介護と扶養 (12) マルチメディアと法 (13) 国際社会と法 (14) (15) 補遺・総括
 〈憲法〉(1) 憲法の基本概念 (2) 日本国憲法の沿革 (3) 国会 (4) 選挙・政党 (5) 内閣 (6) 天皇 (7) 地方自治 (8) 人権総論 (9) 自由権・受益権 (10) 社会権 (11) 新しい人権 (12) 裁判所 (13) 戦争の放棄 (14) (15) 補遺・総括

成績評価の方法

出席および授業中に提出するレポート類により総合的に評価します。

教科書

抱喜久雄編『新・初めての法学』（法律文化社）
 野畑・池田・渡邊・清水『テキストブック日本国憲法』（嵯峨野書院）
 上記2冊を用います。

参考書等

授業時に適宜指示します。

その他

授業日程：8月1日～8月8日、1～5時限（土、日除く）

科目名	担当者名
政治学〔社会生活とデモクラシー〕	横田匡紀

講義のねらい

現代社会は様々な課題に直面しており、問題解決のために政治の果たす役割が着目されています。同時に政治は我々の社会生活と密接にかかわってきます。こうした状況を踏まえて、本講義では政治が我々の社会生活とどのように関わっているのか、政治学は問題解決のためにどのように道筋をつけることができるのかを考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期は権力、デモクラシーなどの政治学の基本概念、ソーシャルキャピタル、ガバナンスなどの現代政治理論の争点を具体的事例に基づいて考えていきます。
 後期はグローバルな政治に着目します。具体的には貧困、環境、人間の安全保障などのグローバルな課題、NGO、企業などの非国家アクターの役割をとりあげ、グローバル・ガバナンスの可能性を考えます。

履修上の留意点

出席点はない。
 講義ではドキュメンタリービデオを随時用いて、抽象的な概念を身近な事例で理解できるように心がける。

成績評価の方法

原則として定期試験により評価する。

教科書

後期の内容に関しては、宮脇・庄司編『グローバル公共政策入門（仮題）』晃洋書房、近刊の使用を考えている。

科目名**担当者名**

政治学〔国際社会と日本〕

みふねえみ
三船恵美

社会分野

講義のねらい

本講義の副題は「国際社会と日本」です。国際関係の基本的な概念と理論を学ぶとともに、日本を取り巻く国際関係の枠組について学ぶことが本講義の目的です。国際関係の教訓を探り出すために必要な「基本的な視角」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、国際社会を分析するうえでの基本的な概念（国際関係のアクター、国益とパワーの概念、安全保障の概念と類型、現実主義、理想主義、ゲーム理論、対外政策決定論など）について講義します。後期は、日本にとって最も重要な2つの国家、米国と中国の安全保障戦略を基軸に、米中関係、日米関係、東アジア共同体構想、米中台日関係、米中EU関係、米中・中東関係、米中・中央アジア関係、米中・アフリカ関係が、日本にいかなる影響を与えるのか、を講義します。

履修上の留意点

「政治学」には「国際社会と日本」「政治システムと政治参加」「社会生活とデモクラシー」の3種類のクラスがあります。本講義は「国際社会と日本」です。「授業中は静かにしましょう」という注意は幼稚園の入園前に家庭で躾られることであって、大学で注意されることはありません。「大学生としての自覚をもった学生」のみが受講して下さい。資料を配付する場合は、授業開始から10分しか配布しません。20分以上遅刻してくる学生の入室は一切認めません。上記のような行為は、教員のみならず、まじめに授業に取り組もうとしている学生達に対して非常に失礼な行為です。

成績評価の方法

試験（100%）。ただし、授業中にうるさくして退場を命じられた学生には、受験資格を与えません。

教科書

年間を通したサブテキスト『世界情報地図2006年版』にちぶん（1,500円）。後期教科書については、前期授業中に指示します。レジュメなどの配布物は、欠席理由の如何に関わらず、一度しか配布しません。

科目名**担当者名**

経済学〔現代社会と市場経済〕

はたなか
畠中貴**講義のねらい**

諸々の経済現象をよりよく理解するための理論（ミクロ経済学・マクロ経済学）について概説する。経済についての体系的な理解を得ることがこの講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

スケジュールは以下の通り。
 (前期) (1) ガイダンス (2) 経済主体と市場 (3・4) 需要曲線、供給曲線 (5・6) 価格および取引数量の変化 (7・8) 家計の経済活動 (9・10) 企業の経済活動 (11・12) 厚生経済学の基本定理と市場の失敗 (13) 前期末試験
 (後期) (14) 独占 (15) 情報の不完全性 (16) GDPの3面等価 (17) 産出量の変動、物価水準の変動 (18・19) 完全雇用の状態におけるマクロモデル (20・21) 不完全雇用の状態におけるマクロモデル (22・23) 財政政策、金融政策 (24・25) 国際貿易 (26) 経済成長

履修上の留意点

講義の内容は抽象的な議論が多く、理解するためにはそれなりの労力と時間を必要とする。期末の試験までに教科書を何度も読み返し、分からない部分については積極的に質問をすること。世界一頭のいい人であっても、教科書を一度読んだだけ、講義を一回聴いただけで、経済学を習得することは不可能である。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていなければ、単位を与えることはできないので注意すること。追試験は実施する。

教科書

第1回目の授業で指示をする。

科目名

経済学〔現代経済と人間〕

担当者名

もり 森 たい 田 せい 成 や 也

社会分野

講義のねらい

人間の社会はきわめて複雑な構造をなしており、その解明はけっして容易なものではありません。しかし、そうした人間社会の土台となっているのは、人々の実際の生活（およびそれに必要な物やサービス）を生産し再生産する経済的な過程です。したがって、経済学は、人々の生活や仕事にとって最も重要な領域を科学的に解明しようとするものです。経済学はけっして、難しいカタカナ言葉や数式が飛び交う世界だけではありません。労働と生活に密着し、人々がよりよい、より人間らしい生活と労働を展望し、実現していくために必要不可欠なものです。しかしながら、この学問は同時に、自然科学などと違って、経済を論じるその人の立場によって大きく左右されるものでもあります。普通の生活者や働く人々の視線で経済を見ていくことを学びます。

講義ではまず、前期で、社会全体に占める経済の位置、基本的な経済学の基礎理論を学び、資本主義経済の基礎的な運動法則を学びます（多少、後期にくい込む可能性あり）。後期では、それをふまえて実際に日本のいくつかの経済現象を具体的に理論に照らし合わせて検討し、どこまでが一般理論で説明ができ、どこからが特殊な日本の条件によって説明されるべきなのかを学んでいきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール**（前期）基礎的な経済理論を学ぶ**

（1）はじめに （2）社会と経済 （3, 4）商品・貨幣 （5, 6, 7, 8）資本と剰余価値
（9）賃金 （10, 11）資本の蓄積 （12）利潤と利潤率 （13）利子生み資本と株式資本

（14, 15）独占資本、国家、外国貿易 （16）世界市場と帝国主義日本経済の基本構造を学ぶ

（17, 18）戦前の日本と戦後日本経済の出發 （19, 20）現在の日本の基本形を作り出した高度経済成長 （21, 22）企業社会の形成と日本的働き方の確立 （23）低成長期以降の企業社会の肥大化 （24）企業社会と女性 （25, 26）経済大国日本とバブル経済

（27, 28）長期不況と構造改革下の日本経済

履修上の留意点

ノートをがんばってとってください。試験にも役立ちます。

成績評価の方法

学年末の試験が中心です

教科書

教科書はとくにありません

参考書等

松石勝彦『現代経済学入門』（青木書店）

科 目 名**担 当 者 名**

社会科学論〔社会認識の思想〕

おお いし ゆう じ
大 石 雄 爾

社会分野

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はようやく「複合不況」とよばれる経済スランプから抜け出しつつあります。しかし、アフリカや一部のアジア諸国の人々は貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようとしているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点を当て、社会的諸関係を把握する方法について講義します。特に、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および理論をとり上げ、現代的な意味について考えます。

**講義の内容・
授業スケジュール**

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホッブスとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的諸問題について、折に触れてとり上げ解説するつもりです。

履修上の留意点

1年間講義に出席し理解しようと努めることによって、皆さんの思考力、書写能力も高まります。講義には、毎回欠かさず出席することを望みます。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成していただくことがあります。成績は、小レポートと後期に行なわれる定期試験で評価します。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
大石雄爾『ヘーゲル論理学の真相』（白桃書房）

科目名**担当者名**

教育学〔デス・エデュケーション〕

やなぎ ほり すがこ
柳 堀 素雅子

社会分野

講義のねらい

「人間の死」の問題を多角的な視点から考えていく。今日、日本国内においても海外においても、「人間の死」に関する問題が語られない日はないと言ってよい。殺人事件、戦争による死者、医療ミスによる死、環境問題に関わる死の問題など数えればきりがない。これらの問題の原因を追求していくことが、講義のねらいである。明確な答えは出せないが、何らかの解決に向けた取り組みが提案できるようになればある程度の目的は達成されたことになる。最終目標として、人間が人間らしく生きるとはどのようなことかを考えていけるようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は「殺人」の問題を哲学的、倫理的、宗教的視点から考え、後半は「バイオエシックス（生命倫理）」の問題を考える。古来から哲学者は人間の死に関する問題を考えてきた。殺人は人間の悪の問題としてもとらえられる。西洋の思想家を中心に、人間は死の問題をどのように考えてきたのかを探っていく（前半の内容）。「バイオエシックス（生命倫理）」とは、1960年代後半から登場してきた医療に関する新しい学問である。「患者の権利」という新しい概念を中心に展開されてきた。バイオエシックスの内容を具体的に説明していく（後半の内容）。

履修上の留意点

前半と後半で講義の内容が大きく変わるので、両方の内容を理解できるようにしてもらいたい。

成績評価の方法

レポートの提出（最低4本は提出してもらう予定。内容を厳密にチェックする）。出席状況も調べる。

教科書

なし。

参考書等

講義中に随時知らせるが、バイオエシックスに関するものだけあげておく。

D. ロスマン『医療倫理の夜明け』（晶文社）

ビーチャム、チルドレス『生命医学倫理』（成文堂）

Ch. プロス／G. アリ編『人間の価値』（風行社）

その他

講義中心に行ないませんが、参加人数によって多少変更するかもしれません。配布した資料は必ず自分で読んで理解すること。

講義のねらい

教育現場で出会う思春期の子どもたちを掘り下げて考える。思春期は、人間の一生の中で多様な心身の変化と社会的位置づけの変化、親との関係の変化が起きる時期である。その上、思春期は家庭や社会の影響をまともに受けやすいため、さまざまなストレスや問題行動を呈することもある。このような思春期の子どもたちに対して、教師、教育機関の専門的職業に携わる者、親はどのように向き合って関わっていけばよいのかについて心理学的観点から学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

前期

1 思春期とは何か

トピックス：身体の変化(第二次性徴)、親からの精神的自立と親密な仲間関係の形成、自己意識と他者意識の高まり

2 思春期の心の変化と行動の変化

トピックス：学校生活への適応、メディアの影響、性に関する問題、少年犯罪、摂食障害

後期

3 思春期の課題としての進路選択

トピックス：進路選択と職業選択、フリーターの問題

4 思春期と向き合う人々と諸機関

トピックス：親と家族、教師のストレスとバーンアウト、養護教諭、スクールカウンセラー、児童相談所、少年鑑別所

履修上の留意点

思春期ならびに学校現場の問題を扱っていくので、教育現場の仕事(教員、スクールカウンセラーなど)に関心がある学生の履修を希望する。出席を重視する。

成績評価の方法

試験(前期・後期)60%、平常点(出席)40%によって評価を行う。

教科書

菊池武烈監修『思春期・青年期と向き合う人のための心理学』(中央法規)2004

参考書等

谷冬彦・宮下一博編著『さまよえる青少年の心』(北大路書店)2004

小田切紀子著『離婚を乗り越える一離婚家庭への支援を目指して』(ブレーン出版)2004

その他

テキストを用いての講義形式とする。

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題をとりあげる。科学技術は私たちに快適で豊かな生活をもたらした。しかし、その負の部分が近年私たちを脅かしている。その一つである人工化学物質の功罪について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

（前期）生物の生活

- （1－5）地球の歴史と生命の期限
- （6－13）生態系のしくみ化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ
- （14－21）ゴミ処理とダイオキシン汚染
- （22－23）水銀汚染と水俣病
- （24－25）人工放射性物質汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円

参考書等

授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の「進化」、「多様性」、「遺伝子」を3つのキーワードにして、生物の進化や生態の実際を体系的に紹介するとともに、進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発
 - (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
 - (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
 - (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 生物の人口論－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係
 - (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論と宗教
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
 - (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして利用できる。

参考書等

「web版教科書」にて章ごとに紹介する。

その他

講義に必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科目名	担当者名
地球科学〔自然景観の成り立ち〕	いちかわ きよし 市川 清士

講義のねらい

地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようにしてできたのでしょうか？ 本講義では、この問いに答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、大陸の成り立ちや造山運動（プレートテクトニクス）、地震、氷河期（気候変動）などの大きなスケールの変動について探っていきます。
後期では、前期の内容をふまえて、南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについてより具体的に探っていきたいと思います。

履修上の留意点

高校で使用した地図帳を用意すること（できれば最新のものが望ましい）。

成績評価の方法

授業への積極性・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。

教科書

『地球学入門 ―惑星地球と大気・海洋のシステム―』（東海大学出版会）2,940円

参考書等

参考書はその都度紹介します。

その他

一般的な講義を主とし、スライド・OHP・ビデオによる説明を入れて皆さんが興味を持てるような講義を行おうと考えています。
また、駒沢公園など近くに行き実際に野外観察もする予定です。

科 目 名

担 当 者 名

地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕

こ いけ とし お
小 池 敏 夫

自然分野

講義のねらい

地球は誕生以来、地球内部のエネルギー循環により、大規模な変動を繰り返してきたこと、それに伴う自然環境の変化と関わりながら生命は進化してきたことを学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

地球は、その深部に貯えた熱エネルギーを大規模に放出するイベントを繰り返してきた。そのため、大陸の合体・分裂や大規模な火山活動が生じ、太陽エネルギーの受容量や大気中の二酸化炭素の濃度は大きく変化、地球は全面凍結や灼熱の地獄を経験した。地球上に誕生した生命は、自然環境の大変動による大量絶滅、あるいは新しい環境への適応放散を経ながら、多様性を増してきたのである。前期は地球の変動の主役、大陸の合体・分裂とそれに関わる地質事象（日本列島の成立、火山活動、地震）を中心に、後期は生命進化と自然環境の変動との関わりについて解説、学生諸君に考察してもらう。

1. 海と陸の地質的特徴
2. 大陸移動の証明
3. 大陸の合体・分離の原動力
4. 日本列島の生い立ち
5. 地震の予知と対策
6. 地球環境の変動と生物進化
7. 分子生物学から知る生命の繋がり
8. ヒトの起源・現代人のルーツ

成績評価の方法

毎週、授業の内容に関する様々な問題について考察し、筆記してもらう。それに基づいて成績評価を行なう。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

授業の中で、そのつど紹介する。

そ の 他

配布資料に基づいて授業を進める。必要に応じ OHP などを用いる。

科目名

担当者名

地球科学〔地球システムと人間圏〕

さわぐち たかし
澤口 隆

講義のねらい

宇宙形成から150億年。地球の誕生から46億年。人類が地球上に生まれてから400万年…地球システムと人間圏の形成。果たして人間圏は地球上にあと何年存在しうるのでしょうか？46億年におよぶ地球システムの分化の歴史を学び、そのサブシステムとしての人間圏が安定に存在し続けるための条件とは何かを考えることが、本講義の目的である。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、地球をシステムとしてとらえるために必要な空間と時間のスケールを学び、それぞれのサブシステム内の諸現象の理解を深めたあと、サブシステム間の物質やエネルギーの交換という観点から、地球温暖化や資源エネルギー問題など、現代人間社会にとっての重要課題について学習する。

1. イントロダクション
2. 空間と時間のスケール
3. NHK スペシャル地球大進化
4. 太陽系形成の標準モデル1
5. 太陽系形成の標準モデル2
6. 火星と地球
7. 宇宙開発の歴史
8. 地球と月の始まり
9. 地球の歴史と全球凍結
10. 地球上の生命の誕生
11. 元素の誕生
12. 地球システム
13. 地球温暖化
14. オゾン層の破壊
15. エルニーニョ
16. 火山
17. 地震
18. 地震予知
19. 南極大陸
20. 地球資源問題と環境破壊
21. 原子力発電
22. 放射性廃棄物の地層処分
23. 地熱発電
24. 複雑系
25. 総まとめ

履修上の留意点

毎回独立したトピックについての講義を行う。
それに関連した内容の課題レポートが半期に3-5回程度課される。

成績評価の方法

提出された課題レポートを評価し、その総合点と出席率で成績評価を行う。

教科書

使用しない。適宜プリントを配布。

参考書等

『岩波講座・地球惑星科学』（全14巻）

その他

毎回出席を取ります。遅刻・途中退出は認めません。

自然分野

科目名**担当者名**

自然環境論〔生命と環境〕

もち丸真里
持丸真里

自然分野

講義のねらい

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。講義では、基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説した上で、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げてゆく。また、これらの事例を通して、生態系の保全のためにどのような姿勢が要求されるか考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 生態系の成り立ち (2) 生物とは何か (3) 生命の誕生と地球環境
(4) 地球温暖化 (5) 生態系内の物質循環 (6) 生産者の働きと生態系
(7) 森林破壊 (8) 生態系の浄化作用 (9) 化学物質による生態系汚染
(10) ダイオキシン問題 (11) 環境ホルモン (12) オゾン層破壊
(13) 近代農業の問題

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に勧めて行く。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

大石正道『入門ビジュアルエコロジー生態系と地球環境のしくみ』（日本実業出版社）
1,500円
その他、講義の中で随時紹介する。

科目名

担当者名

自然環境論〔生物の集団と環境〕

さか まき よし おき
坂 巻 義 章

自然分野

講義のねらい

地球環境の変化は現代の重要な問題の1つである。これは、個人の専門や興味に関係なく我々に降りかかってくる。この状況の中で人間を含めた自然、それを取り巻く環境について正しい理解をもつことは必要不可欠である。この講義では生物の生活と環境の関係を理解する事を基本とし、生態系の成り立ちやその中で起こる調節、人間による攪乱などについて取り上げる。この知識を基礎にこれからの環境変化についてどう対処するかを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1、2) 地球 (3) 環境とは何か (4) 生物とは何か (5、6) 生物の歴史と環境 (7、8) 生物の進化 (9、10) 生物の分布 (11、12) 環境への適応 (13) 前期のまとめと試験
後期 (14、15) 食物連鎖とエネルギー流 (16) 生態ピラミッド (17) 個体群 (18) 出生と死亡 (19) 競争と住み分け (20) 捕食 (21) 共生と寄生 (22) 土壌と分解者 (23) 物質循環 (24) 里山の生態系 (25) 人口問題と環境問題 (26) まとめと試験

履修上の留意点

スケジュールは基本である。開始後に理解度によって進度を調整したり、新たな内容についても触れるなどの変更はありうる。大学生として授業に参加する基本的なマナーは守って欲しい。

成績評価の方法

出席点と筆記試験で行う。途中で課題を出すこともあるので、その場合はこれも加える。

教科書

指定しない

参考書等

指定しない。必要な場合にプリントを配布することがある。

その他

講義形式の授業とする。

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは次の通りである。すなわち、我々は100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのない存在である。一方で、科学技術の発展は、人類を育ててきた地球の自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえず、社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする3名の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員3人により、1人8回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

- 第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄
- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
 - (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
 - (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
 - (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
 - (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）
- 第2講 生命の起源と進化 清水善和
- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
 - (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
 - (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
 - (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- 第3講 産業の発達と環境の変化 持丸真里
- (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史
 - (2) エネルギー消費と「豊かさ」
 - (3) 化石燃料の化学
 - (4) 大気環境の変化（古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ）
 - (5) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、教員ごとに計3回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に3人の採点を合算して成績評価とする。追試験は行わないので、教員ごとの指示に従ってそのつど評価をうけること。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名
数学（1）〔微積分学入門〕	小沢 誠

自然分野

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、直線と2次曲線・三角関数・指数関数と対数関数を学び、それらの導関数を求める。また、基本的な関数の微分が出来るようにする。後期に、平均値の定理とマクローリン展開・関数の増減とグラフの凹凸・偏微分と極値、不定積分・置換積分と部分積分・定積分と面積を学ぶ。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる微積分』(共立出版) 2,100円(税込)

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	担当者名
数学（2）〔線型代数学入門〕	小沢 誠

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線型代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、平面と空間のベクトル・行列・行列の基本変形・連立1次方程式の解・逆行列の求め方を学ぶ。後期に、行列式の定義・行列式の性質・クラメル公式・ベクトル空間と1次変換・固有値と固有ベクトルを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる線形代数』(共立出版) 2,100円(税込)

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名

担当者名

数学(3)〔現代数学入門〕

ふく だ けん いち
福 田 賢 一

自然分野

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践な応用力の養成を目指す。

本年度は情報環境への理解を深めるため、基礎情報理論・情報数理解分野を充実させる。さらに、経済工学・金融工学の数理的基礎を学びたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期： 論理の基礎と言語、情報理論の数理解と論理、論理設計、情報機器の理解、コンピュータ・携帯電話、通信機器の理解と数理解、線型代数とその応用、

後期： 線型計画法、確率現象と社会現象、微積分とその応用、交通・運輸の数理解、経済・経営の数理解基礎、

履修上の留意点

予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、系統性の強い学術分野であるから、基本的な定義、性質を明確にする必要とともに、基本的な事項の十分理解・運用能力が必要とされる。また、社会・経済現象に対し興味を持ち、基礎的な認識を深める必要もある。

成績評価の方法

前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。

教科書

使用しない。教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。学生諸君の経済的負担を軽減するため、関連する公的な機関等のサイト等を紹介する。

参考書等

必要となり次第指示する。配布する教材、資料等に提示する。

その他

教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に言うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。

可能な限り演習を行い理解の徹底を図る。

科目名

担当者名

情報数学〔情報と論理〕

さかの い かず よ
坂野井 和 代

講義のねらい

情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理について学ぶ。後期は主に確率と統計について勉強してゆく。講義時間中に例題を解くなど、実際に手を動かして数学に慣れる講義を目指す。

履修上の留意点

予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。ただし、講義は必ず毎回出席し、出題された例題や課題を必ず解いているものとする。つまり、レポートは講義に出席していないと回答することは難しい。

成績評価の方法

評価は原則として年に3回程度のレポートによって評価する。その他、講義時間中の発言も評価に含める。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

野々山隆幸監修、石原光/小堆光喜共著『入門 情報処理数学』(実教出版) 2,200円

科目名

担当者名

物理学[光と物質]

篠原まさお
篠原正雄

自然分野

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 蟹気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ

色即是波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は15%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円
その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらいます。

科目名

担当者名

化学〔衣食住の化学〕

もち まる まり
持 丸 真 里

自然分野

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 有機化学・生化学の導入 (2) 物質の成り立ち (3) 水の性質 (4) 有機化学の基礎 (5) 合成繊維 (6) 染料 (7) 合成洗剤と水質汚濁
後期 (8) タンパク質 (9) 遺伝子 (10) 遺伝子情報の社会への影響 (11) 遺伝子組み換え食品 (12) 食品の安全性 (13) 住環境の化学物質汚染

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

図書館書誌検索画面へ
講義の中で随時紹介する。

科目名

担当者名

宇宙科学〔星と銀河〕

しの ぼら まさ お
篠 原 正 雄

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。
観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげます。
太陽： 構造 エネルギー源
恒星： 研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源
後期は銀河をとりあげます。
銀河系： 星団 星雲 恒星の運動 星生成領域
銀河： 銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造
宇宙： 宇宙膨張 ビッグ・バン

履修上の留意点

この講義は毎回完結の物語ではありません。前の講義で学んだことを前提として進めます。欠席したときは自分の責任で補っておかないとついていけなくなります。

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。

科目名	担当者名
コンピュータ基礎（1）（6） 〔コンピュータの実際〕	お ざ わ 小 沢 誠

自然分野

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語である HTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みの CSS (Cascading Style Sheet)、作成した HTML・CSS ファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約 FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学びます。HTML では基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTML が一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTP のやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザ ID」と「パスワード」が必要です。ユーザ ID とパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。
この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

『改訂第4版オールカラー HTML ポケットリファレンス』(株)シーズ著 定価1,659円

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/>等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

科目名	担当者名
コンピュータ基礎（４）（９） 〔コンピュータの実際〕	小 沢 誠

自然分野

講義のねらい	シスコネットワークアカデミープログラム（CCNA 1）に従ってネットワークの基礎を習得することを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	ネットワークの概要、ネットワークの基礎、ネットワークメディア、ケーブルのテスト、LANとWANのケーブルリング、イーサネットの基礎、イーサネットテクノロジー、イーサネットスイッチング、TCP/IPプロトコルスイートとIPアドレッシング、ルーティングの基礎とサブネット、TCP/IPのアプリケーション層とトランスポート層について学ぶ。
履修上の留意点	パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを使用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。
成績評価の方法	期末テストで評価します。
教科書	シスコネットワークアカデミープログラム（CCNA 1）を使用します。教場のパソコンから閲覧可能です。
参考書等	シスコシステムズ『シスコネットワークアカデミーCCNA 1 受講ガイド』（ソフトバンククリエイティブ）4,200円 Roads to Node (http://www5e.biglobe.ne.jp/~aji/)
その他	コンピュータの基礎的な知識と、インターネット使用の経験がある方が望ましい。

科目名	担当者名
コンピュータ基礎（２）（７） 〔コンピュータの実際〕	やまもとひろのぶ 山本博信

講義のねらい

この授業では、コンピュータの基本的な操作方法だけではなく、インターネットやワープロソフト、その他のアプリケーション・ソフトウェアの活用を理解し、レポートや論文の作成、および、データ処理などの基礎を学習することを目的とします。そのため、実習だけでなく、練習問題や演習問題なども含みます。

前期では、ワープロソフトによる文書作成・編集・印刷、電子メールや WWW ブラウザによるコミュニケーションを取り上げます。後期には特に電子メディアの活用やレポートの作成を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

- (前学期) (1・2) 授業オリエンテーション、基本ソフトの基礎 (3・4) キータッチの基本および確認
 (5) Web メール (Active Mail) を用いたメールの送受信。パスワードの変更
 (6～7) ワープロソフトと日本語変換
 (8～10) ワープロソフトによる文書作成・保存・印刷
 (11～12) WWW ブラウザを用いたホームページの閲覧、検索、レポート作成
 (最終授業) 確認試験の実施
- (後学期) (1・2) 授業オリエンテーション、基本ソフトの基礎 (3) Active Mail を用いたメールの送受信・パスワードの変更
 (4) ワープロソフトによる文書作成、レポート作成・保存・印刷
 (5～6) インターネットの活用 (電子メール、WWW サービス)
 (7～8) 表計算ソフトの基本
 (9～10) 表計算ソフトの応用
 (11～12) ホームページの作成
 (最終授業) 確認試験の実施

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとします。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポートの提出、授業最終回で行う実技試験によって行います。ただし、本年度入学生の成績の評価方法は、GPA 制度に基づきます。

教科書

未定。

参考書等

必要に応じて紹介します。

その他

実習のために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもあります。毎時間ごとに授業レジュメなどのプリントを配布します。

科 目 名**担 当 者 名**

コンピュータ基礎 (3) (8)

おがわ けんじろう
小 川 健次郎〔コンピュータの実際〕

自然分野

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールや WWW などのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名
コンピュータ基礎（5） 〔コンピュータの実際〕	さわぐち 澤口 隆

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名**担当者名**

コンピュータ基礎 (10)

さわぐち
澤口 隆

〔コンピュータの実際〕

自然分野

講義のねらい

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSはWindowsを用い、アプリケーションはAdobe Photoshopを使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Webサイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windowsの基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上。

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名**担当者名**

コンピュータ基礎 (11)

もと き みつ お
元 木 光 雄

[コンピュータの実際]

講義のねらい

コンピュータの原理とインターネットの原理や原則を学ぶ。特に、インターネットで実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

コンピュータの動作原理、特に OS の役割やファイルシステムについて学ぶ。また、多数のコンピュータがネットワークで相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上でどのようなサービスが利用できるのか、実際のサービスを利用しながら理解する。具体的には、インターネット上のサービスとして、電子メール、WWW などのサービスを取りあげ、実習の形で利用する。このようなサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄も、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

また、Web ページを記述する HTML の基本を通して、論理的構造を持った文書とは何かを学ぶ。

8 / 1 コンピュータの基本構造と Windows の基本操作

8 / 2, 3 インターネットの原理と実際の利用

8 / 4, 7 論理的構造を持った文書の HTML による記述

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となるので、必ず事前に総合情報センターで利用申請をして電子メールのアドレスを取得しておくこと。取得していない場合、単位取得に支障がある可能性がある。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う予定である。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：8月1日～8月4日・8月7日の1～3限

予備日：8月8日の1～3限

科目名**担当者名**

コンピュータ基礎 (12)

さかのい かずよ
坂野井 和代

〔コンピュータの実際〕

自然分野

講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その中でも電子メールや WWW といったサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。その際、よくありがちなセキュリティ問題についても触れる。さらに、具体的に電子メールや WWW などのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうした実習を通して、コンピュータの操作方法に慣れると共に、コンピュータやインターネットの利用方法を技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、実習で作業をしながら進むので、講義は必ず出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動や教育実習などで、1 回以上休むことが当初から予想される学生は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は携帯すること。

成績評価の方法

評価は 2～3 回程度の課題によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、1～3時限

予備日：8月8日の1～3時限

科目名

担当者名

コンピュータ基礎 (13)

やま もと ひろ のぶ
山 本 博 信

[コンピュータの実際]

講義のねらい

コンピュータを道具として、書き方、描き方を実習を通じて技術として把握します。コンピュータは、文字や画像をデジタル化して処理します。コンピュータによる情報処理によって、表現がどのように把握されるかについて理解します。言語のレベルにありながら画像に属するものとしての技法についてパソコンを道具として身につけます。

講義の内容・
授業スケジュール

パソコンなどの情報機器やいろいろなソフトウェアが、企業をはじめ一般社会でも急速に普及しています。日常生活でも、パソコンなどに接する機会が増えてきました。パソコンの高性能化やLANの普及によって、ユーザは自分たちで情報を収集して発信することができるようになりました。パソコンでどのようにして画像などを作成してWebページを作成するかについて理解します。すなわち、アプリケーションソフトの活用を、縦軸を現場(業務)ごとの特質とし、横軸をファイル形式などの基礎をみながら行います。表現能力はパソコンを活用する上でもとても大事なものです。ここでは特に描き方(ビジュアル表現)についてペイント系グラフィックソフトやドロー系グラフィックソフトなどを活用しながら理解します。

- (1) コンピュータによる情報処理について
- (2) 表計算ソフトの基礎、応用
 - ・計算の自動化・運用とセキュリティ・マクロの作成など
- (3) グラフィックデータの作成
- (4) 画像効果の作成
 - ・トリミング・切抜き・明るさや色の調整など
- (5) 最適化処理
- (6) HTML ファイルの作成
- (7) ブラウザによる確認

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習は必ず解いているものとします。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

出席状況、授業期間中に適宜行う演習や最終日に実施する確認試験によって総合的に評価します。

教科書

未定(毎回、プリントを配布します。)

参考書等

参考書は必要に応じて紹介します。

その他

実習の閉める割合が高いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので受講生数を制限することもあります。

授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、4～6時限

予備日：8月8日の4～6時限

自然分野

科目名**担当者名**

コンピュータ基礎 (14)

なが さか ひろ ふみ
長 坂 浩 史

〔コンピュータの実際〕

自然分野

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Web ページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・授業スケジュール

総合情報センターのパソコン (OS は Windows) を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excel による表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用 (電子メール、WWW) 等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらう。この資料は Web ページの体裁で作成してもらうので、HTML の入門等、Web ページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。
予備知識は假定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。(課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持っていることが前提である。そうでなければ、初日・2日目はMOディスクまたはフロッピーディスクを持参すること。)

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評価はつかないと思っよ。
逆に、1日でも休むと全課題の提出は困難になるので、特別な事情がない限り毎回出席すること。

教科書

使用しない。教材・資料・編集素材は、ファイルの形で配布する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、1～3時限

予備日：8月8日の1～3時限

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (15) (16) [コンピュータの実際]	おがわ けんじろう 小川 健次郎

自然分野

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールや WWW などのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請しておくこと。

なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教科書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：(15) 8月1日～8月4日・8月7日、1～3時限

：(16) 8月1日～8月4日・8月7日、4～6時限

予備日：(15) 8月8日の1～3時限

：(16) 8月8日の4～6時限

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (17) [コンピュータの実際]	つがもと たつや 塚本 達也

講義のねらい

学内や自宅において各自がコンピュータを問題なく扱えるようになること。

講義の内容・授業スケジュール

メール、インターネット、エクセル、ワードの基礎的なことを学ぶ。

履修上の留意点

教室に備付のパソコンを使用するのでKOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要。各自履修前に取得のこと。

成績評価の方法

レポートにより行う。

その他

授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、4～6時限

予備日：8月8日の4～6時限

科目名

担当者名

コンピュータ基礎 (18)

おざわ 沢まこと 誠

[コンピュータの実際]

自然分野

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語である HTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みの CSS (Cascading Style Sheet)、作成した HTML・CSS ファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約 FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学びます。HTML では基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTML が一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTP のやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザ ID」と「パスワード」が必要です。ユーザ ID とパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

『改訂第4版オールカラーHTMLポケットリファレンス』(株)シーズ著 定価1,659円

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/>等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、4～6時限

予備日：8月8日の4～6時限

科目名**担当者名**

コンピュータ基礎 (19) (20)

さかのい かずよ
坂野井 和代

〔コンピュータの実際〕

講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その中でも電子メールや WWW といったサービスを、実習を通じて理解する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。その際、よくありがちなセキュリティ問題についても触れる。さらに、具体的に電子メールや WWW などのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうした実習を通して、コンピュータの操作方法に慣れると共に、コンピュータやインターネットの利用方法を技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は携帯すること。

成績評価の方法

評価は授業時間中に出题する2～3回程度の課題によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名
コンピュータ応用（１）（２） 〔コンピュータの原理〕	さかのい かずよ 坂野井 和代

講義のねらい	主に実習を通して、コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを知る。
講義の内容・授業スケジュール	まず初めに、コンピュータの動作原理およびプログラミングについて簡単に学ぶ。その後、主に前期は Visual Basic という言語を使ってプログラミングの基礎を学ぶ。さらにいくつかの問題に対して、実際にプログラムを作成する。後期は、このようなプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを実習により確かめる。
履修上の留意点	プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWW の利用など）はマスターしていること。これらの操作ができないと実習についてくることは難しい。またプログラミングの際に、数学や英語に関する知識が多少必要となる。実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。長期に休んだ場合の復活は難しいので、留学、就職活動や教育実習などで 3 回以上休むことが当初から予想される学生は、その年の授業は履修申請しないこと。
成績評価の方法	評価は授業時間中に出題する課題によって行う。
教科書	使用しない。適宜資料を配付する。
参考書等	山本信雄著『Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング』（翔泳社）1,900円 ISBN4-88135-718-2
その他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名
人類学（１）（２）〔人類の進化〕	しのだけんいち 篠田 謙一

講義のねらい	人類学はひとことで言えば「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	以下の内容をそれぞれ 1 回ないし 2 回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。 「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」
履修上の留意点	出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。
成績評価の方法	毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。
教科書	中橋孝博著『日本人の起源』（講談社メチエ）ISBN 4-06-258318-6
参考書等	特に指定ませんが講義の中で紹介します。
その他	本講義では、単に講師の話聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思っていますので、主体的に参加していただくことを望みます。

科目名	担当者名
心理学〔人間関係を考える〕	高橋良博

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。
特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。
また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教科書

鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』（ナカニシヤ出版）2,000円税別

自然分野

科目名	担当者名
心理学〔心を科学する〕	高橋良博

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。
特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。
また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

履修上の留意点

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

成績評価の方法

講義の中で指示する。

教科書

鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』（ナカニシヤ出版）2,000円税別

科目名**担当者名**

心理学〔心を科学する〕

なかまる じげん
中丸 茂**講義のねらい**

心理学は、人間の心（行動・言語を含む）を客観的に研究する学問である。心理学は、心の科学、および、心の工学と定義され、心の理解・説明・予測・制御を目的とする。本講義では、科学的観点より、日常場面での人間の行動を分析し、得られたデータの解釈の仕方といった科学的方法を身につけることを目的として行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、科学論を中心に、心理学における中心的なパラダイムを紹介し、後期は、それらの日常生活への応用についての話を行う。また、講義は、下記のスケジュールにしたがって進めていく予定である。授業は、ビデオなどを使用し、簡単な実験を体験してもらいながら行っていく。

1. オリエンテーション 心理学って何？
2. 血液型と性格 本当に関係あるの？
3. 科学としての心理学 科学って何？
4. 行動分析学Ⅰ ラムちゃんの電撃
5. 行動分析学Ⅱ バナナとリンゴ
6. 行動分析学Ⅲ 月に向かって吠える
7. 認知心理学Ⅰ マジカルナンバー
8. 認知心理学Ⅱ カクテルパーティ
9. 認知心理学Ⅲ 悩めるオマタかおる
10. 心霊現象の心理学 幽霊は乗り物が好き？
11. 社会心理学Ⅰ 他人を好きになる時
12. 社会心理学Ⅱ 恋、愛、そして、意志決定 その他（リクエスト可）
13. 無意識の心理学 UFOは存在するか？
14. 人格心理学 社交的な人は朝に弱い
15. 占いの心理学 ラッキーカラーは、赤！！
16. 呪いの心理学 呪殺は可能か？
17. 所信の心理学Ⅰ 知識は人類を駄目にする！！
18. 所信の心理学Ⅱ マインド・コントロール
19. 宗教の心理学 神社の石段
20. スポーツ心理学 イメージトレーニング
21. プロファイリング モラル・ハラスメント
22. テクノ・コミュニケーション 顔文字は使ったほうがいいか

履修上の留意点

講義は、プリント中心に行い、毎回、参考文献や図書の紹介を行う。したがって、一冊の本を読めば本講義の内容を把握できるというのではなく、毎回の知識の積み重ねが必要である。（教科書 理解度 UP++）

成績評価の方法

筆記試験の絶対評価として処理される。また、心理学の実験や調査に参加することも、心理学を学ぶために重要であり、得点として加算される。

教科書

中丸茂『心理学者のための科学入門』1999（北大路書房）
中丸茂『トワイライト・サイコロジー』2000（北大路書房）
講義オリジナル資料 毎回配布（2～3枚） 年間 40～50枚

参考書等

講義用の配布資料で紹介。

自然分野

科目名	担当者名
心理学〔心を科学する〕	名 志 保 な とり し ほ

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解以外にも、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物事の捉え方や判断の仕方など、様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、学習、記憶、注意、感情などの他、生理学や脳科学など関連分野についても講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。

成績評価の方法

試験の結果（前期の講義内と定期試験の計2回）と出席点による。

教科書

第1回目の講義で紹介する。

参考書等

講義の中で紹介する。

自然分野

科目名	担当者名
心理学〔心を科学する〕	深 堀 友 覚 ふか ほり とも なり

講義のねらい

身体的な異質性も然ることながら、人間には固有の性格、価値観、知能、行動パターンといった精神的(心理的)な異質性が認められる。それらを包括し、人間は個性を獲得する。しかし、人間とは決して一人では生きていけない。これはこの世に生を授かり生を全うするまで続くのである。人生とは、いわば異なる個性との共存である。個性が異なれば、そこから衝突や誤解が生じ、人間関係に支障を及ぼすこともしばしばである。

本講義では個と、個の集合体である「社会」を心理学的側面から理解していくことを目的とする。本講義を通じ、少しでも心理学の世界に興味を持って頂ければ幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

パーソナリティ、学習心理学、集団・社会心理学、臨床心理学、生涯発達心理学等を講義する予定である。

履修上の留意点

短期間で集中的に行われる講義なので、主体的に講義に参加できる姿勢が望まれる。受動的にしか参加できない学生には、本講義の性質は不向きであろう。

成績評価の方法

講義最終日に行われる筆記試験と、出席率による総合評価。

教科書

特に指定しない。

参考書等

重野純『キーワードコレクション 心理学』(新曜社) 1994年
中村昭二『心理学概説』(八千代出版) 1982年

その他

授業日程：8月1日～8月8日、1～5時限(土、日除く)

科目名

担当者名

総合 I (1) [仏教と自然]

よつや こうどう
四津谷 孝 道

総合分野

講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、具体的テーマに焦点をしばらくしながら、「仏教と自然」に関する検討を進めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、「肉食と菜食主義」というテーマを、仏教を中心としたインド思想全体の中で検討する。授業は、以下のようなテーマの下で進めていく。

- インドの宗教（バラモン教）の基本的な理解
- インドの宗教（仏教・ジャイナ教）の基本的な理解
- 肉食と菜食主義（概観）
- ヴェーダ時代の肉食思想と菜食主義
- 祭式にみる肉食思想と菜食主義
- バラモン教にみる肉食思想と菜食主義
- 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（1）
- 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（2）
- インドの法典に示された肉食と菜食主義
- パーリ仏教聖典に示された肉食と菜食主義
- 三種浄肉（1）
- 三種浄肉（2）
- 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（1）
- 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（2）
- 植物は生き物か（1）
- 植物は生き物か（2）
- 大乘仏教における非肉食思想（1）
- 大乘経典における非肉食思想（2）
- 如来蔵・仏性思想と非肉食思想
- 慈悲と菜食主義
- 宮沢賢治（1）
- 宮沢賢治（2）
- 聖なる牛と不浄なる豚
- ディーブ・エコロジー（1）
- ディーブ・エコロジー（2）

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

授業において適宜に配付する。

参考書等

必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

科目名

担当者名

総合 I (2) [仏教と社会]

熊本英人
くまもと えいじん

講義のねらい

日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。

講義の内容・
授業スケジュール

社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。

仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。

成績評価の方法

適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

総合分野

科目名

担当者名

総合 I (3) [仏教と芸術]

村松哲文
むらまつ てつふみ

講義のねらい

本講義では、仏教美術の誕生から伝播について、インド・西域・中国・朝鮮半島の仏像・仏画をスライドを写して概観する。同じモチーフが時代や地域によって変化してゆく過程を、歴史的な背景と照らし合わせながら考察してゆく。講義を通して、信仰が生み出した深遠なる美の表現を眼と心で会得してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

〔前期〕
 仏教美術の世界 (1～2)
 インドの仏教美術 (3～5)
 西域の仏教美術 (6～8)
 初期の敦煌石窟 (9～11)
 後期の敦煌石窟 (12～15)

〔後期〕
 炳靈寺石窟 (16～17)
 麦積山石窟 (18～20)
 雲岡石窟 (21～23)
 龍門石窟 (24～27)
 朝鮮三国の仏教美術 (28～30)
 以上は予定で、講義の合間に特定の意匠 (仏像の胸飾・宝冠・袈裟など) についても考察する。

履修上の留意点

博物館・美術館で開催される仏教美術関係の展覧会には、積極的に足を運ぶこと。

成績評価の方法

出席率・レポート・授業態度・定期試験などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

講義中に適宜参考書を紹介する。

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad. Students will get a partial experience of what it is like to take a university - level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will not study English; they will study something *in* English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse *intelligently*, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

講義の内容・授業スケジュール

Attendance and active participation are most important; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

履修上の留意点

Apart from the two final - semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; all examination is an excellent method of learning. An exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high - quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for intellectual English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A", in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A" because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *Rights*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English - Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名

担当者名

総合Ⅲ（２）〔欧米の教育と日本の教育〕

おか ぎま といちろう
岡 崎 寿一郎

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

総合分野

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名

担当者名

総合Ⅲ（３）〔ドイツの森林〕

の し ま と し あ き
野 島 利 彰

講義のねらい

私たちはドイツ語の Wald（ヴァルト）を「森」と訳している。樹木が多数ある場所としてはその訳で間違っていない。しかしそれらの語からイメージされるものはまったく異なっている。自然の違いが樹種の違いを生み、樹種の違いがその利用の違い、さらに生活の違いを生む。この講義ではドイツの森でどのように利用され、そこでどのような生活が行なわれているかを話します。

講義の内容・授業スケジュール

前期はドイツの森林とその樹種およびその利用について講義し、後期は森林を舞台に行なわれる狩猟について講義します。

履修上の留意点

講義でいろいろな樹木の名が出ます。日本の樹木あるいは動植物の名を知っていることが授業の理解に役立つでしょう。通学路や公園で図鑑を手にして名を調べましょう。また新聞や雑誌で植物や動物関係の記事、あるいは環境問題の記事があつたら必ず目を通し、切り抜き、ファイルを作ってください。普段から動植物や環境問題に興味を持つことが大切です。

成績評価の方法

樹木の葉とそのスケッチの提出および日本の森林利用や環境問題に関するレポートで成績を評価します。

教科書

授業で内容に応じてプリントを配布します。

参考書等

講義に直接関係する参考書は
K・ハーゼル著、山縣光晶訳「森が語るドイツの歴史」築地書館4,223円

その他

森林理解の第一歩として日本の植物図鑑があります。現在、多種多様な図鑑が出版されています。手に取り気に入ったものを是非一冊購入して下さい。

科目名	担当者名
総合Ⅳ（１）〔現代アメリカ事情〕	ほやし 林 あきと 明人

講義の内容・
授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教科書

プリントを配布します。

総合分野

科目名	担当者名
総合Ⅳ（２）〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	にしむらゆうこ 西村祐子

講義のねらい

アメリカのNPO, NGO（非営利組織）は日本に比べ、非常にアクティブであるといわれる。前期はまちづくり（コミュニティビルディング）において市民と自治体の協働が盛んなワシントン州、シアトル市の自治体とNPOのいくつかをとりあげてみる。前期のシアトルに続き、後期はアメリカと日本の比較に移る。主に日本におけるまちづくりとNPOのあり方を比較し、日米のまちづくり政策や移民政策などと深くかかわるNPOの役割を考えてみる。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は通年で以下のようなテーマを中心におこなわれる。

前期：アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い

コミュニティ・ビルディングとNPO

シアトルのまちづくり

シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO

アメリカにおける移民とNPO

自治体とNPOの協働について：日本との比較

神戸市の事例

後期：日本のまちづくりとシアトルのまちづくりの比較

日本のまちづくり政策とNPO

世田谷区のまちづくりとNPO

まちづくり協議会とNPO

兵庫県・神戸市と神奈川県・横浜市におけるまちづくりとNPO

日本における移民政策とNPO 神奈川県下のNPO, MIC かながわとすまいサポートセンターの事例研究

履修上の留意点

インターネットによる資料調査をおこなう。またビデオなども使用。受講人数制限あり。学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席率、レポート内容）重視。

教科書

『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』勁草（けいそう）書房

参考書等

教場で指定（インターネットサイトなど。）

その他

ゲストレクチャーとして後期に世田谷区まちづくりセンター所長、およびMIC かながわ所属医療通訳者を2回程度予定している。この授業と2002年制作ビデオをもとにe-learningの教材制作を予定している。

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の合理性批判とその主体性の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は、建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、精神分析、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味を込めて解釈されています。欧米では依然としてポストモダンを問題としており、そのような学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座（特権化された場所）を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化（帝国主義と植民地化に対する批判）することあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者（他者の他者）をどう捉え、どう身体的に受けとめて、日常生における主体性をどう確立するかということに尽きます。

講義の内容・授業スケジュール

講義に際して、時事的な問題を取り上げ、また事前にテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読む課題もあります。講義の骨子は以下の通りです。講義と課題が有機的にリンクするように指示していきます。

- 1) 総合Ⅳ（人文・社会・自然）の性格と意義
- 2) 現代という時代の捉え方；「今ここ」における自己言及のパラドックス
- 3) 「モダン」と「ポストモダン」の定義
- 4) ルネッサンス以後の人間観、宇宙観、社会観の変化
- 5) ソシユールの言語観（言語の恣意性、ラングとパロール）と、テキストの遍在性とディスコースの効用
- 6) モダンとポストモダンにおけるヴィジュアル系の差異：建築の変遷、広告及び世界万博の変遷、エロスの変遷、ファッション・モードの変遷など
- 7) 西洋における理性批判の整理
 - ・モダン：ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス
 - ・ポストモダンの批判的源泉としてのニーチェの思想、ハイデガー、フランクフルト学派、
- 8) マックス・ヴェーバーの合理性と非合理性理の問題（ポストモダンに向けて）
- 9) ミッシェル・フーコーによるモダン批判：外部の力と内部の力
- 10) アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対する批判
- 11) レビュー：ポストモダンを乗り越えるための主体性の問題

成績評価の方法

平常クラスでの発表（出席率と質疑応答）、前期と後期のリーディング・テスト課題、学年末に提出するターム・ペーパー

教科書

- ・プリント使用：読書課題のリスト配布（レポート作成方法、提出日、提出場所も指示）
- ・多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること

科目名

担当者名

総合Ⅴ（１）〔イギリスの歴史と文化〕

いし 石
ほら 原
こう 孝
まい 哉

総合分野

講義のねらい

今日のイギリスに残された歴史的、文化的な遺産を教材に、その歴史と文化の特徴を様々な方面から考察する。

講義の内容・授業スケジュール

イギリスの歴史は、異民族との相克と調和によって織り成されている。例えば、ローマ、アングロサクソン、デーン、ノルマンといった異民族は、単に一時代を政治的に支配したばかりでなく、言語、習慣、伝統といった様々な文化的な遺産をもたらした。歴史の国イギリスには、このような文化的な遺産が実に豊富に残されている。

本講義では、こうした文化的な遺産を補助教材として、そこからイギリスの実像に迫ってみたい。スライドや映像などを活用するほか、インターネット上のホームページも参照する。

履修上の留意点

イギリスの歴史や文化に関心がある意欲的な学生の受講を望む。インターネットの活用や、メールによるレポート提出なども予定しているので、それに対応できる学生が望ましい。

成績評価の方法

主としてレポートによって評価するが、出席率、発表などの平常点を重視する。

教科書

プリント配布

参考書等

そのつど教場にて指示する。

科目名

担当者名

総合Ⅵ（１）〔民族とは何か〕

おお の ゆう じ
大 野 祐 二

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとります。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房）
吉野耕作者『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会）
李孝徳著『表象空間の近代』（新曜社）

講義のねらい

現代の国際社会における平和的共存、異文化理解、宗教間対話といった諸問題を考える上で、13億人以上の信徒を持ち、世界中に広がっているイスラムに関する正しく客観的な理解は必要不可欠です。この講義では、イスラムの宗教的側面、思想について理解を深めることを目標とします。イスラムと関わりの深い中東の歴史、政治、思想について基本的知識を持つことも目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容の予定ですが、若干変更する場合があります。

前期

- イスラムに関する文献紹介
- イスラム以前のジャーヒリーヤ時代
- 預言者ムハンマドの生涯
- イスラムの教義 (六信五行とイスラム神学)
- コーランとアラビア語
- メッカ大巡礼
- イスラム法
- イスラム世界のギリシア文明 (イスラム哲学)

後期

- スーフィズム (イスラム神秘主義)
- シーア派とイランの歴史
- イスラムにおける婚姻、女性、セクシュアリティ
- 中東の民族と宗教
- 聖地エルサレム
- パレスチナ問題
- イスラム原理主義運動

履修上の留意点

私語厳禁です。

成績評価の方法

期末試験 (またはレポート)、出欠を兼ねた講義中の提出物、ビデオの感想文などにより、総合的に評価します。試験 (またはレポート) ではイスラムに関して興味のあるテーマを自分で決め、参考文献を読み、調べて明らかになったことに対して、自分の見解を書いていただく予定です。

教科書

使用しません。

参考書等

中村廣治郎『イスラム教入門』(岩波書店 岩波新書538) 1998年
 中村廣治郎『イスラムと近代』(岩波書店 叢書現代の宗教13) 1997年
 青柳かおる『イスラムの世界観: ガザリーとラーズィー』(明石書店) 2005年など。
 詳しくは、第一回目の講義で文献リストを配布します。

その他

講義形式ですが、なるべく皆さんとの対話に努めたいと思っています。教材はプリントを配布します。数回ビデオを上映します。

講義のねらい

この世のなかには、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっています。この両性の関係は私たちの社会の中で、どんな風に構成されているだろうか。男も女も人間らしくいきでゆくことができる両性関係はどんな関係だろうか。私たちが理想とする両性関係をどんな風にしてつくっていったらよいか、皆さんとともに考えます。

講義の内容・授業スケジュール

前期

a. ジェンダーってなに？

フェミニズムやジェンダーという考え方が生まれた歴史背景と私たちがもっている女らしさ、男らしさの内容を考えます。

b. 労働とジェンダー

企業の雇用戦略が大変貌をとげている現在、男女の企業における配置はどのようになっているか、その原因はなにか、雇用機会均等法は機能しているか、家族と労働生活は両立できるのか、など、私たちが直面している問題を考えます。

後期

c. 家族とジェンダー

皆さんの来歴をたどりながら、現在の家族の変貌、そこからでてくる問題をとりあげ、未来の家族像を考えます。恋愛や結婚、夫妻、親子の歴史を簡単に古代からふりかえりながら、私たちの将来像を考えます。

d. セクシュアリティとジェンダー

今日程、性のありかたが多様になって、変化している時代はないでしょう。性同一障害やホモセクシャルな関係、性暴力の問題など、人間の性のありかたを考えます。

履修上の留意点

毎回ではありませんが、感想や意見を書いてもらいます。それが出席評価になりますから、就職活動や病気を除いて欠席しないこと。

成績評価の方法

出席回数、夏休みレポート、後期期末試験（論述）によって成績評価する。講義の内容がいかされているかが評価の基準になる。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

資料を随時配布する。

その他

授業は講義、討論、映画鑑賞をふくむ。

科目名

担当者名

総合Ⅶ（１）〔トラブルと法的解決〕

たがはし 高橋	ひろき 洋城	かわぐち 川口	ゆきみ 幸美
たけなか 竹中	ちか 智香	はらだ 原田	けいいちろう 啓一郎
ひかさ 日笠	かんじ 完治	まつむら 松村	けい 格

講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。

法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。

担当教員の順番や講義内容は、KOMSY内の「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

- | | | |
|---|-------|------------------|
| 1 | 高橋 洋城 | トラブルが法の問題になるとき |
| 2 | 松村 格 | 刑事事件と法定手続 |
| 3 | 竹中 智香 | 変化する市民生活と民法 |
| 4 | 川口 幸美 | 現代社会と商法 |
| 5 | 日笠 完治 | トラブルを憲法的観点から考える |
| 6 | 原田啓一郎 | 大学生活と社会保障の法的トラブル |

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。

追試験は、講義の形態上、行わない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。六法は毎回忘れずに、持参すること。

総合分野

科 目 名

担 当 者 名

総合Ⅶ（２）〔都市論〕

うちうみ まり うえの じゅんこ
 内海 麻利・上野 淳子
 うらた さなえ さかい
 浦田 早苗・坂井 文
 はやかわ よしき
 早川 純貴

総合分野

講義のねらい

大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にはかならない。都市の現状を政治学あるいは社会や建築及び都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

5名の講師により、各々6回又は4回の講義を担当する。その順序、時期と講義内容については以下の通り。

内海麻利『都市論』ガイダンス（1回：4月）

坂井 文「都市を公共空間から読む」（6回：4月・5月）

都市の形成とともに、広場や公園などの近代公共空間は形成されてきた。公園の誕生にともなって、伝統的な都市空間の社会的な意味はどう変化してきたのだろうか。ロンドンと江戸・東京の都市の歴史を振り返り、また現在の政策を考察しながら、都市における公共空間のあり方を考える。

上野淳子「都市再開発の論理と仕組み」（6回：6月・7月）

本講義では、汐留や六本木など都内各地で進行する「都市再生」プロジェクトを題材に、都市再開発を支える論理と仕組みを（1）欲望や競争をおおる言説、（2）グローバル化、産業構造の転換という社会的背景、（3）官民協働、都市経営の思想など行政の変化という3点から考える。

内海麻利「都市計画制度とその動向」（4回：9月・10月）

都市の物的な計画、実現手段である都市計画制度は、土地利用や道路・公園等の都市施設整備、市街地開発など、都市を形成するための様々なルールや仕組みを提供してきた。本講義では、社会情勢を踏まえ着目すべき都市計画制度を概観するとともに、その動向に見られるまちづくりのあり方を考える。

早川純貴「まちづくりと住民参加」（4回：10月・11月）

いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（4回：11月・12月）

イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを内海が総合して評価する。

3. 外 国 語 科 目

科外
国
目語

3. 外国語科目

〔英語〕

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語 I A	国文・地理 1 年	通年	2	井出功一	141
英語 I A	国文・地理 1 年	通年	2	安齋薫	141
英語 I A	国文・福祉 1 年	通年	2	池上賀英子	142
英語 I A	国文 1 年	通年	2	渡部孝治	142
英語 I A	英米文 1 年	通年	2	古富猛	142
英語 I A	英米文 1 年	通年	2	清水雅夫	143
英語 I A	英米文 1 年	通年	2	山口晃	143
英語 I A	英米文・福祉 1 年	通年	2	植村恵子	143
英語 I A	地理 1 年	通年	2	古富猛	144
英語 I A	地理 1 年	通年	2	塚本利男	144
英語 I A	歴史 1 年	通年	2	水崎野里子	145
英語 I A	歴史 1 年	通年	2	岩屋玉江	145
英語 I A	歴史 1 年	通年	2	丹治弘昌	145
英語 I A	歴史 1 年	通年	2	真砂久晃	146
英語 I A	歴史 1 年	通年	2	澤田真弓	146
英語 I A	歴史 1 年	通年	2	三芳康義	146
英語 I A	社会 1 年	通年	2	木村正俊	147
英語 I A	社会 1 年	通年	2	山口晃	147
英語 I A	福祉 1 年	通年	2	永野光一	147
英語 I A	心理 1 年	通年	2	岩永祥恵	148
英語 I A	心理 1 年	通年	2	朝川真紀	148
英語 I A	心理 1 年	通年	2	風間則比古	148
英語 I A〔基礎英語特別クラス〕	国文・英米文・地理・歴史 1 年	通年	2	大庭直樹	149
英語 I A〔基礎英語特別クラス〕	社会・福祉・心理 1 年	通年	2	丸小哲雄	149
英語 I B	国文・社会 1 年	通年	2	安齋薫	150
英語 I B	国文 1 年	通年	2	高橋佳江	150
英語 I B	国文・歴史 1 年	通年	2	高橋明子	151
英語 I B	国文 1 年	通年	2	増田恵子	151
英語 I B	英米文 1 年	通年	2	岡崎寿一郎	151
英語 I B	英米文 1 年	通年	2	高橋佳江	152
英語 I B	英米文 1 年	通年	2	杉村初枝	152
英語 I B	英米文・歴史 1 年	通年	2	国見晃子	152
英語 I B	地理・福祉 1 年	通年	2	依田里花	153
英語 I B	地理 1 年	通年	2	高橋明子	153
英語 I B	地理 1 年	通年	2	増田恵子	153
英語 I B	地理・歴史 1 年	通年	2	本間章郎	154
英語 I B	歴史 1 年	通年	2	高橋佳江	154
英語 I B	歴史・心理 1 年	通年	2	高橋寛	154
英語 I B	歴史 1 年	通年	2	前田脩	155
英語 I B	社会 1 年	通年	2	三芳康義	155
英語 I B	福祉 1 年	通年	2	三幣友行	155

科外国語目録

科外国語

英語ⅠB	福祉1年	通年	2	増田恵子	156
英語ⅠB	心理1年	通年	2	狩野晃一	156
英語ⅠB	心理1年	通年	2	小泉和弘	156
英語ⅠB〔基礎英語特別クラス〕	文学部全学科1年	通年	2	前田脩	157
英語ⅡA	国文2年	通年	2	朝川真紀	158
英語ⅡA	国文2年	通年	2	木村正俊	158
英語ⅡA	国文2年	通年	2	岩永祥恵	159
英語ⅡA	英米文・社会2年	通年	2	古富猛	159
英語ⅡA	英米文2年	通年	2	狩野晃一	159
英語ⅡA	英米文2年	通年	2	加藤佐和子	160
英語ⅡA	英米文2年	通年	2	岸本茂和	160
英語ⅡA	地理2年	通年	2	濱口真木	160
英語ⅡA	地理2年	通年	2	小布施圭佐三	161
英語ⅡA	地理2年	通年	2	太田美智子	161
英語ⅡA	地理2年	通年	2	川手浩一	161
英語ⅡA	歴史2年	通年	2	澤田真弓	162
英語ⅡA	歴史2年	通年	2	江田幸子	162
英語ⅡA	歴史2年	通年	2	佐藤江里子	162
英語ⅡA	歴史2年	通年	2	松堂啓子	163
英語ⅡA	社会2年	通年	2	堀千和子	163
英語ⅡA	社会2年	通年	2	近藤真彫	163
英語ⅡA	心理2年	通年	2	尾上典子	164
英語ⅡA	心理2年	通年	2	手島敬子	164
英語ⅡA	心理2年	通年	2	外池一子	164
英語ⅡB	国文2年	通年	2	高見陽子	165
英語ⅡB	国文2年	通年	2	岩井洋美	165
英語ⅡB	国文2年	通年	2	長谷川公一	166
英語ⅡB	英米文2年	通年	2	山口晃	166
英語ⅡB	英米文2年	通年	2	菅原典子	166
英語ⅡB	英米文2年	通年	2	伊藤美代子	167
英語ⅡB	英米文2年	通年	2	甲斐捷子	167
英語ⅡB	歴史2年	通年	2	杉本誠	168
英語ⅡB	歴史2年	通年	2	手島敬子	168
英語ⅡB	歴史2年	通年	2	町田成男	168
英語ⅡB	歴史2年	通年	2	近藤真彫	169

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	杉本正俊	170
ドイツ語ⅠA	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	藪下紘一	170
ドイツ語ⅠA	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	本橋右京	170
ドイツ語ⅠA	英米文・歴史1年	通年	2	岡本時子	171
ドイツ語ⅠA	英米文・歴史1年	通年	2	藪下紘一	171
ドイツ語ⅠB	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	井村行子	171
ドイツ語ⅠB	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	岡本時子	172
ドイツ語ⅠB	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	野島利彰	172
ドイツ語ⅠB	英米文・歴史1年	通年	2	野島利彰	173
ドイツ語ⅠB	英米文・歴史1年	通年	2	岡本時子	173

ドイツ語ⅡA	国文・地理・歴史2年	通年	2	柴野博子	174
ドイツ語ⅡA	国文・地理・歴史2年	通年	2	飯塚公夫	174
ドイツ語ⅡA	英米文2年	通年	2	柴野博子	175
ドイツ語ⅡA	英米文2年	通年	2	薮下紘一	175
ドイツ語ⅡB	国文・歴史2年	通年	2	森公成	175
ドイツ語ⅡB	国文・歴史2年	通年	2	堀内美江	176

〔フランス語〕

フランス語ⅠA	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	小玉齊夫	177
フランス語ⅠA	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	遠山博雄	177
フランス語ⅠA	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	出口雅敏	178
フランス語ⅠA	英米文・歴史1年	通年	2	佐藤久美子	178
フランス語ⅠA	英米文・歴史1年	通年	2	今関アン	179
フランス語ⅠA	英米文・歴史1年	通年	2	小玉齊夫	179
フランス語ⅠB	文学部全学科1年	通年	2	桑田禮彰	180
フランス語ⅠB	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	浜崎設夫	180
フランス語ⅠB	文学部全学科1年	通年	2	遠山博雄	180
フランス語ⅠB	英米文・歴史1年	通年	2	前田祝一	181
フランス語ⅡA	国文・地理・歴史2年	通年	2	遠山博雄	181
フランス語ⅡA	国文・地理・歴史2年	通年	2	前田祝一	181
フランス語ⅡA	英米文2年	通年	2	桑田禮彰	182
フランス語ⅡA	英米文2年	通年	2	沼倉広子	182
フランス語ⅡB	国文・歴史2年	通年	2	畑中千晶	182

科外国語

〔中国語〕

中国語ⅠA	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	布施直子	184
中国語ⅠB			2	徳間佳信	
中国語ⅠA	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	小栗山恵	185
中国語ⅠB			2	大久保明男	
中国語ⅠA	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	工藤早恵	185
中国語ⅠB			2	布施直子	
中国語ⅠA	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	吉田建一郎	185
中国語ⅠB			2	佐藤普美子	
中国語ⅠA	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	塩旗伸一郎	186
中国語ⅠB			2		
中国語ⅠA	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	佐藤普美子	186
中国語ⅠB			2	下出宣子	
中国語ⅠA	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	本間由香里	187
中国語ⅠB			2	曹泰和	
中国語ⅠA	英米文・歴史1年	通年	2	布施直子	187
中国語ⅠB			2	徳間佳信	
中国語ⅠA	英米文・歴史1年	通年	2	小栗山恵	188
中国語ⅠB			2	弘兼加奈子	
中国語ⅠA	英米文・歴史1年	通年	2	工藤早恵	188
中国語ⅠB			2	塩旗伸一郎	
中国語ⅠA	英米文・歴史1年	通年	2	上原かおり	189
中国語ⅠB			2	下出宣子	

中国語ⅠA	英米文・歴史1年	通年	2	本間由香里	189
中国語ⅠB			2	曹泰和	
中国語ⅠA	英米文・歴史1年	通年	2	吉田建一郎	190
中国語ⅠB			2	佐藤普美子	
中国語ⅠA	英米文・歴史1年	通年	2	塩旗伸一郎	190
中国語ⅠB			2	張渭涛	
中国語ⅡA	国文・地理・歴史2年	通年	2	橋本幸枝	191
中国語ⅡA	国文・地理・歴史2年	通年	2	福地桂子	191
中国語ⅡA	国文・地理・歴史2年	通年	2	李雲	191
中国語ⅡA	国文・地理・歴史2年	通年	2	弘兼加奈子	192
中国語ⅡA	英米文2年	通年	2	秋元翼	192
中国語ⅡA	英米文2年	通年	2	佐藤普美子	192
中国語ⅡA	英米文2年	通年	2	李雲	193
中国語ⅡA	英米文2年	通年	2	岩崎皇	193
中国語ⅡB	国文・歴史2年	通年	2	根岸政子	193
中国語ⅡB	国文・歴史2年	通年	2	秋元翼	194
中国語ⅡB	国文・歴史2年	通年	2	岩崎皇	194

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	佐藤佐知	195
スペイン語ⅠA	文学部全学科1年	通年	2	ルイズティノコ,C.	195
スペイン語ⅠA	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	亀山晃一	196
スペイン語ⅠA	文学部全学科1年	通年	2	ナバロ,ホワンJ.	196
スペイン語ⅠB	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	佐藤麻里乃	196
スペイン語ⅠB	英米文・歴史1年	通年	2	佐藤麻里乃	197
スペイン語ⅠB	文学部全学科1年	通年	2	米田博美	197
スペイン語ⅠB	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	栗林ゆき絵	198
スペイン語ⅠB	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	荻野雅司	198
スペイン語ⅡA	国文・地理・歴史2年	通年	2	真下祐一	198
スペイン語ⅡA	国文・地理・歴史2年	通年	2	上野勝広	199
スペイン語ⅡA	英米文2年	通年	2	大岩功	199
スペイン語ⅡA	英米文2年	通年	2	真下祐一	200
スペイン語ⅡB	国文・歴史2年	通年	2	大岩功	200

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA	国文・地理・社会・福祉・心理1年	通年	2	杉山秀子	202
ロシア語ⅠA	英米文・歴史1年	通年	2	佐野朝子	202
ロシア語ⅠB	文学部全学科1年	通年	2	廣田英靖	203
ロシア語ⅡA	国文・地理・歴史2年	通年	2	木村英明	203
ロシア語ⅡA	英米文2年	通年	2	杉山秀子	204
ロシア語ⅡB	国文・歴史2年	通年	2	佐野朝子	204

《再履修クラス》

〔英 語〕

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	松堂啓子	205
英語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	岩井洋美	205
英語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	牧野輝良	205
英語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	萩原輝	206
英語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	塙美智子	206
英語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	川崎笑佳	206
英語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	太田由紀子	207
英語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	桧山晋	207
英語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	岩原康夫	207
英語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	丸小哲雄	208
英語ⅠB〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	高見陽子	208
英語ⅠB〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	澤田真弓	209
英語ⅠB〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	江田幸子	209
英語ⅠB〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	相馬美明	209
英語ⅠB〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	高柳文江	210
英語ⅠB〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	大淵利春	210
英語ⅠB〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	西村祐子	210
英語ⅠB〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	飯沼好永	211
英語ⅡA〔再クラス〕	文学部全学科(福祉除く)3・4年	通年	2	菅原典子	211
英語ⅡA〔再クラス〕	文学部全学科(福祉除く)3・4年	通年	2	太田美智子	211
英語ⅡA〔再クラス〕	文学部全学科(福祉除く)3・4年	通年	2	佐藤江里子	212
英語ⅡA〔再クラス〕	文学部全学科(福祉除く)3・4年	通年	2	岡崎寿一郎	212
英語ⅡA〔再クラス〕	文学部全学科(福祉除く)3・4年	通年	2	吉江正雄	212
英語ⅡA〔再クラス〕	文学部全学科(福祉除く)3・4年	通年	2	澤田真弓	213
英語ⅡA〔再クラス〕	文学部全学科(福祉除く)3・4年	通年	2	矢島直子	213
英語ⅡA〔再クラス〕	文学部全学科(福祉除く)3・4年	通年	2	外池一子	213
英語ⅡA〔再クラス〕	文学部全学科(福祉除く)3・4年	通年	2	山岸二郎	214
英語ⅡB〔再クラス〕	国文・英米文・歴史3・4年	通年	2	佐藤江里子	214
英語ⅡB〔再クラス〕	国文・英米文・歴史3・4年	通年	2	長谷川公一	214
英語ⅡB〔再クラス〕	国文・英米文・歴史3・4年	通年	2	川手浩一	215
英語ⅡB〔再クラス〕	国文・英米文・歴史3・4年	通年	2	長谷川公一	215
英語ⅡB〔再クラス〕	国文・英米文・歴史3・4年	通年	2	前田脩	215
英語ⅡB〔再クラス〕	国文・英米文・歴史3・4年	通年	2	落合和昭	216
英語ⅡB〔再クラス〕	国文・英米文・歴史3・4年	通年	2	本間俊一	216
英語ⅡB〔再クラス〕	国文・英米文・歴史3・4年	通年	2	尾形重政	217
英語ⅡB〔再クラス〕	国文・英米文・歴史3・4年	通年	2	手島敬子	217

科外国語

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	本橋右京	218
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	志真斗美恵	218
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	井村行子	218
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	藪下紘一	219
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	南はるつ	219

ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	飯塚公夫	219
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	杉本正俊	220
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	本橋右京	220
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	国文・英米文・地理・歴史3・4年	通年	2	森公成	220
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	国文・歴史3・4年				
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	国文・英米文・地理・歴史3・4年	通年	2	本橋右京	221
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	国文・歴史3・4年				
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	国文・英米文・地理・歴史3・4年	通年	2	井村行子	221
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	国文・歴史3・4年				

〔フランス語〕

フランス語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	前田祝一	222
フランス語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	芦原脊	222
フランス語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	小玉齊夫	223
フランス語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	菅原猛	223
フランス語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	谷川かおる	224
フランス語ⅠB〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	菅谷暁	224
フランス語ⅠB〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	今関アン	224
フランス語ⅠB〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	伊藤なお	225
フランス語ⅠB〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	谷川かおる	225
フランス語ⅡA〔再クラス〕	国文・英米文・地理・歴史3・4年	通年	2	小玉齊夫	225
フランス語ⅡB〔再クラス〕	国文・歴史3・4年				
フランス語ⅡA〔再クラス〕	国文・英米文・地理・歴史3・4年	通年	2	沼倉広子	226
フランス語ⅡB〔再クラス〕	国文・歴史3・4年				
フランス語ⅡA〔再クラス〕	国文・英米文・地理・歴史3・4年	通年	2	前田祝一	226
フランス語ⅡB〔再クラス〕	国文・歴史3・4年				

〔中国語〕

中国語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	江林英基	227
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	秋元翼	227
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	東映全	227
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	根岸政子	228
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	戸張嘉勝	228
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	本間由香利	229
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	張渭涛	229
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	弘兼加奈子	230
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	蘭明	230
中国語ⅠB〔再クラス〕					

中国語Ⅱ A〔再クラス〕	国文・英米文・地理・歴史3・4年	通年	2	梅田雅子	231
中国語Ⅱ A〔再クラス〕	国文・英米文・地理・歴史3・4年	通年	2	岩崎皇	231
中国語Ⅱ A〔再クラス〕	国文・英米文・地理・歴史3・4年	通年	2	大久保明男	231
中国語Ⅱ B〔再クラス〕	国文・歴史3・4年	通年	2	李雲	232
中国語Ⅱ B〔再クラス〕	国文・歴史3・4年	通年	2	蘭明	232

〔スペイン語〕

スペイン語Ⅰ A〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	大岩功	233
スペイン語Ⅰ B〔再クラス〕					
スペイン語Ⅰ A〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	ナバロ, ホワンJ.	233
スペイン語Ⅰ B〔再クラス〕					
スペイン語Ⅰ A〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	亀山晃一	234
スペイン語Ⅰ B〔再クラス〕					
スペイン語Ⅰ A〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	荻野恵	234
スペイン語Ⅰ B〔再クラス〕					
スペイン語Ⅰ A〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	佐藤麻里乃	234
スペイン語Ⅰ B〔再クラス〕					
スペイン語Ⅱ A〔再クラス〕	国文・英米文・地理・歴史3・4年	通年	2	上野勝広	235
スペイン語Ⅱ B〔再クラス〕	国文・歴史3・4年				
スペイン語Ⅱ A〔再クラス〕	国文・英米文・地理・歴史3・4年	通年	2	大岩功	235
スペイン語Ⅱ B〔再クラス〕	国文・歴史3・4年				
スペイン語Ⅱ A〔再クラス〕	国文・英米文・地理・歴史3・4年	通年	2	亀山晃一	236
スペイン語Ⅱ B〔再クラス〕	国文・歴史3・4年				

科外国語

〔ロシア語〕

ロシア語Ⅰ A〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	杉山秀子	237
ロシア語Ⅰ B〔再クラス〕					
ロシア語Ⅰ A〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	佐野朝子	237
ロシア語Ⅰ B〔再クラス〕					
ロシア語Ⅰ A〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	木村英明	238
ロシア語Ⅰ B〔再クラス〕					
ロシア語Ⅰ A〔再クラス〕	文学部全学科2・3・4年	通年	2	安德ニーナ	238
ロシア語Ⅰ B〔再クラス〕					
ロシア語Ⅱ A〔再クラス〕	国文・英米文・地理・歴史3・4年	通年	2	クロチコフ, Y.	238
ロシア語Ⅱ B〔再クラス〕	国文・歴史3・4年				
ロシア語Ⅱ A〔再クラス〕	国文・英米文・地理・歴史3・4年	通年	2	大須賀史和	239
ロシア語Ⅱ B〔再クラス〕	国文・歴史3・4年				
ロシア語Ⅱ A〔再クラス〕	国文・英米文・地理・歴史3・4年	通年	2	安德ニーナ	239
ロシア語Ⅱ B〔再クラス〕	国文・歴史3・4年				

《選 択 科 目》

科 目 名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英文講読	文学部(英米文学科除く)1・2・3・4選	通年	4	林明人	240
英文講読	文学部(英米文学科除く)1・2・3・4選	通年	4	矢島直子	240
英文講読	文学部(英米文学科除く)1・2・3・4選	通年	4	牧野輝良	240
時事英語研究	文学部(英米文学科除く)1・2・3・4選	通年	4	竹村恵都子	241
時事英語研究	文学部(英米文学科除く)1・2・3・4選	通年	4	林明人	241
時事英語研究	文学部(英米文学科除く)1・2・3・4選	通年	4	岸本茂和	241
時事英語研究	文学部(英米文学科除く)1・2・3・4選	通年	4	田中保	242
時事英語研究	文学部(英米文学科除く)1・2・3・4選	通年	4	矢島直子	242
マルチ・メディア	文学部全学科1・2・3・4選	通年	2	落合和昭	243
マルチ・メディア	文学部全学科1・2・3・4選	通年	2	大庭直樹	244
マルチ・メディア	文学部全学科1・2・3・4選	通年	2	西村祐子	244
英会話Ⅰ	文学部1・2・3・4選	通年	2	ロビン, G. F.	245
英会話Ⅰ	文学部1・2・3・4選	通年	2	ウェルズ, J. K.	246
英会話Ⅰ	文学部1・2・3・4選	通年	2	ソルタ, P. N. F.	247
英会話Ⅰ	文学部1・2・3・4選	通年	2	ピアス, D. M.	248
英会話Ⅰ	文学部1・2・3・4選	通年	2	ラッセル, S. J.	249
英会話Ⅰ	文学部1・2・3・4選	通年	2	ササキ, M.	249
英会話Ⅰ	文学部1・2・3・4選	通年	2	レーン, C. M.	250
英会話Ⅱ	文学部全学科2・3・4選	通年	2	ソルタ, P. N. F.	251
英会話Ⅱ	文学部全学科2・3・4選	通年	2	ラッセル, S. J.	252
英会話Ⅱ	文学部全学科2・3・4選	通年	2	ササキ, M.	252
英会話Ⅲ	文学部全学科2・3・4選	通年	2	ウェルズ, J. K.	253
英会話Ⅲ	文学部全学科2・3・4選	通年	2	ピアス, D. M.	254
英語L L I	文学部全学科1・2・3・4選	通年	2	太田雅子	255
英語L L I	文学部全学科1・2・3・4選	通年	2	甲斐捷子	255
英語L L I	文学部全学科1・2・3・4選	通年	2	加藤佐和子	256
英語L L I	文学部全学科1・2・3・4選	通年	2	久保ひさ子	256
英語L L I	文学部全学科1・2・3・4選	通年	2	西村祐子	256
英語L L I	文学部全学科1・2・3・4選	通年	2	塙美智子	257
英語L L II	文学部全学科2・3・4選	通年	2	太田雅子	258
英語L L II	文学部全学科2・3・4選	通年	2	外池一子	258
英語L L II	文学部全学科2・3・4選	通年	2	西村祐子	259
英語L L III	文学部全学科2・3・4選	通年	2	レーン, C. M.	260
英語L L III	文学部全学科2・3・4選	通年	2	久保ひさ子	261
英語L L III	文学部全学科2・3・4選	通年	2	西村祐子	261
ドイツ語外国書講読	文学部全学科3・4選	通年	4	柴野博子	262
時事ドイツ語	文学部全学科3・4選	通年	4	堀内美江	262
上級ドイツ語	文学部全学科3・4選	通年	2	柴野博子	262
ドイツ語コミュニケーションⅠ	文学部全学科2・3・4選	通年	2	小林ゲアリンデ	263
ドイツ語コミュニケーションⅡ	文学部全学科2・3・4選	通年	2	小林ゲアリンデ	263
ドイツ語ⅠA(選)	文学部全学科1・2・3・4選	通年	2	藪下紘一	263
ドイツ語ⅠB(選)	文学部全学科1・2・3・4選	通年	2	野島利彰	264
ドイツ語Ⅱ(選)	文学部全学科2・3・4選	通年	2	井村行子	264

フランス語外国書講読	文学部全学科 3・4 選	通年	4	前田祝一	265
時事フランス語	文学部全学科 3・4 選	通年	4	桑田禮彰	265
上級フランス語	文学部全学科 3・4 選	通年	2	小玉齊夫	266
フランス語コミュニケーションⅠ	文学部全学科 2・3・4 選	通年	2	ラリア・三倉, M	266
フランス語コミュニケーションⅡ	文学部全学科 2・3・4 選	通年	2	ラリア・三倉, M	266
フランス語ⅠA (選)	文学部全学科 1・2・3・4 選	通年	2	出口雅敏	267
フランス語ⅠA (選)	文学部全学科 1・2・3・4 選	通年	2	前田祝一	267
フランス語ⅠB (選)	文学部全学科 1・2・3・4 選	通年	2	菅原猛	267
フランス語Ⅱ (選)	文学部全学科 2・3・4 選	通年	2	桑田禮彰	268
中国語外国書講読	文学部全学科 3・4 選	通年	4	佐藤普美子	268
時事中国語	文学部全学科 3・4 選	通年	4	塩旗伸一郎	269
上級中国語	文学部全学科 3・4 選	通年	2	本間由香利	269
中国語コミュニケーションⅠ	文学部全学科 2・3・4 選	通年	2	岩崎皇	270
中国語コミュニケーションⅡ	文学部全学科 2・3・4 選	通年	2	曹泰和	270
中国語ⅠA (選)	文学部全学科 1・2・3・4 選	通年	2	吉田建一郎	270
中国語ⅠA (選)	文学部全学科 1・2・3・4 選	通年	2	宮本厚子	271
中国語ⅠB (選)	文学部全学科 1・2・3・4 選	通年	2	蘭明	271
中国語Ⅱ (選)	文学部全学科 2・3・4 選	通年	2	三田村圭子	271
スペイン語外国書講読	文学部全学科 3・4 選	通年	4	上野勝広	272
時事スペイン語	文学部全学科 3・4 選	通年	4	真下祐一	272
上級スペイン語	文学部全学科 3・4 選	通年	2	上野勝広	272
スペイン語コミュニケーションⅠ	文学部全学科 2・3・4 選	通年	2	ナバロ, ホワン J.	273
スペイン語コミュニケーションⅡ	文学部全学科 2・3・4 選	通年	2	ナバロ, ホワン J.	273
スペイン語ⅠA (選)	文学部全学科 1・2・3・4 選	通年	2	亀山晃一	273
スペイン語ⅠB (選)	文学部全学科 1・2・3・4 選	通年	2	ナバロ, ホワン J.	274
スペイン語Ⅱ (選)	文学部全学科 2・3・4 選	通年	2	荻野雅司	274
ロシア語外国書講読	文学部全学科 3・4 選	通年	4	廣田英靖	275
時事ロシア語	文学部全学科 3・4 選	通年	4	木村英明	275
上級ロシア語	文学部全学科 3・4 選	通年	2	クロチコフ, Y.	276
ロシア語コミュニケーションⅠ	文学部全学科 2・3・4 選	通年	2	安德ニーナ	276
ロシア語コミュニケーションⅡ	文学部全学科 2・3・4 選	通年	2	安德ニーナ	276
ロシア語ⅠA (選)	文学部全学科 1・2・3・4 選	通年	2	クロチコフ, Y.	277
ロシア語ⅠB (選)	文学部全学科 1・2・3・4 選	通年	2	木村英明	277
ロシア語Ⅱ (選)	文学部全学科 2・3・4 選	通年	2	クロチコフ, Y.	278
朝鮮語ⅠA (選)	文学部全学科 1・2・3・4 選	通年	2	宋美玲	278
朝鮮語ⅠB (選)	文学部全学科 1・2・3・4 選	通年	2	宋美玲	279
朝鮮語Ⅱ (選)	文学部全学科 2・3・4 選	通年	2	宋美玲	279

科外
国
目語

英 語 I A

<英語 I A の授業内容と履修上の留意点>

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科目名	担当者名
英語 I A	井 出 功 一

講義のねらい

テキストはフロリダ大学のビゲロー教授が、外国語として英語を学んでいる学生のために編纂したもので、主として速読と理解力の養成に重点が置かれている。

講義の内容・授業スケジュール

内容は植民地の建設、独立戦争、南北戦争、産業の発展、辺境の削減などの六つのエッセイが、アメリカの歴史的発展の姿を通して興味深く描かれている。
英文のスタイルは簡潔、明快なので、内容のみでなく、英文法や英作文にも触れながら講義を進めてゆく。

履修上の留意点

全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要。

成績評価の方法

前後期テスト、平常テスト、レポート、出席による総合評価。

教科書

『*The Building of the Nation* アメリカの形成』(成美堂)

科外
国
語

科目名	担当者名
英語 I A	安 齋 薫

講義のねらい

日常基本表現・会話に多く触れることで英語運用能力である『書く力』と『話す力』の習得を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

毎回発表形式を取り入れながらテキストを進めていきます。

履修上の留意点

予習をしてきて下さい。

成績評価の方法

出席状況(3分の2以上の出席が原則)、前期後期試験、レポートから総合的に評価します。

教科書

『*THE ROAD FROM WRITING TO SPEAKING* (コミュニケーションのための口語英作文)』
(成美堂) 1,600円 ISBN 4-7919-5026-7

科目名	担当者名
英語 I A	池上賀英子

講義のねらい

入学時の英語力を基礎として英語の運用能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの、より高度な運用能力を訓練する。テープレコーダーやビデオ（VHS、DVD）等も使用する。

履修上の留意点

授業には予習をすること。3分の2以上出席し授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

日常の発表と個々の成長を重視し、前期後期の試験の結果を加えて、総合的に評価する。

教科書

教科書は未定

科外国語
目語

科目名	担当者名
英語 I A	渡部孝治

講義のねらい

英語の運用能力の向上をめざす。読解、作文を中心に行うが、リスニングにも力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュールについては開講時に指示する。

履修上の留意点

会話にも活かせる基本的な表現を学び、さらに応用表現も学ぶ。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行ないます。

教科書

テキストについては、開講時に指示する。

参考書等

参考書等についても開講時に指示する。

科目名	担当者名
英語 I A	古富猛

講義のねらい

日本人が語学の応用力を身につける事は、至難のわざである。さらに近年のゆとりあるカリキュラムの結果、かなりの学力低下傾向は否定できない。もっと語学能力に磨きをかけ、楽しくなるべく工夫したい。

講義の内容・授業スケジュール

本来日本語は、ヨーロッパ系言語とは違って、モンゴルやハングルに近く、日本人は話をするのが苦手なのは仕方がないとするしかない。ただ解釈力はかなりの水準まで努力すれば、一般の人でも可能である。そこでテキストによる多読を主体として、我々は基本的パターンを身につけ、あくまでもそれにそった会話力で意思伝達を行なうべきである。ネイティブに依存することで可能になる事はまず日本で育った者には有り得ない。ただヒアリングは若いうちから訓練しなければならない事を肝に命じて、授業を受けていただきたい。

履修上の留意点

予習をして、個々に発表してもらう事を主体とします。

成績評価の方法

前後期の筆記試験の結果を出席状況、予習発表の状況をすべて総合的に判断して評価します。

教科書

テキストは教場にて、プリントとの併用を説明した上で指示します。

科目名	担当者名
英語ⅠA	清水 雅夫

講義のねらい

中学校、高等学校で学んだことを土台とし、英文法の知識をさらに正確なものにすることを旨とす。

講義の内容・授業スケジュール

教科書は、英語の文法、語法における誤りを訂正することから始め、それによって得られた知識を自分の英語表現に生かすという形式をとっている。どの課をどの順序で学習するかは、1回目の授業で説明する。

履修上の留意点

きちんと予習をし、授業には辞書を持参すること。

成績評価の方法

各学期の中間、期末テスト（各50点満点）が80%。出席点が20%。平常点±10点。

教科書

『*Common Errors in English Writing*』（マクミラン・ランゲージハウス）1,800円
ISBN4-89585-500-7

科外国
自語

科目名	担当者名
英語ⅠA	山口 晃

講義のねらい

英文をしっかり読み、解釈していくことに、重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

環境、生活の問題を、一緒に考えられるような教材を使って、英語の理解を深める。

履修上の留意点

辞書は毎回、必ず持参。遅刻のないように。

成績評価の方法

前期、後期のテスト。他にレポートの提出。それに平常点を加味して評価。

教科書

授業中にプリントを配布。

参考書等

資料も随時配布します。

科目名	担当者名
英語ⅠA	植村 恵子

講義のねらい

基本的な文法事項に留意しながら、日常生活によく用いられる英文表現の発音、聴解及び英作文に習熟することを目的としたい。

講義の内容・授業スケジュール

適当なテキストを一冊用い、テキストの内容に沿って、声に出して発音したり、各自英語で表現したり、文章を書いてみたりを、一年を通じて取り組んでみたい。

履修上の留意点

授業には必ず予習をして臨み、テキストを忘れた場合はコピーを準備しておくこと。

成績評価の方法

出席状況（実授業回数の少なくとも2/3以上の出席が原則）、平常点（授業態度、予習や授業時発表、発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト）及び前期・後期試験による。

教科書

〈未定〉

科目名**担当者名**

英語 I A

こ 古 富 猛

講義のねらい

最近の報道で、東南アジアにおける TOEIC の成績評価のランクづけが発表された。それによると中国、韓国、インドが平均点の上位をしめ、日本は40ヶ国近い中で、最下位に属している悲惨な結果となっている。常々、授業において日本人がヨーロッパ系言語を修得する能力に究めて、劣っている事を言語構造的違いから、国内事情もからめて、そこに起因することを述べてきた。相変わらずその予想が如実に示されたことを知って、哑然とするばかりである。ただ年間数時間を費やして学ぶわけなので、何とか徒労に終わらない様方法論を明示したい。

講義の内容・授業スケジュール

授業の最初に我々がいかに英語を学ぶのかを、具体的に示し、とかく批判されている文法重視の形式も、日本人には必要であることを説明し、苦手としている会話に自信を持ってもらうべく、スケジュールを明示したい。

履修上の留意点

いままで学んできた知識を無駄にすることなく、真剣に取り組んで欲しい。

成績評価の方法

前後期のペーパーテストと予習発表、出席状況などを加味して、評価する。

教科書

教場にて指示。

参考書等

最近電卓辞書を使用する傾向があるが、いずれの出版社でもかまわないから、中辞典を使って欲しい。

科外国語

科目名**担当者名**

英語 I A

つか 塚 本 利 男

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばす。そのために、絶えず文法・構文、語彙などの知識の増強を図りながら、英語の文構造を学び、身近な事柄について英語で表現できるようにすることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

基本的な文法事項を学び、その基本文を用いて、作文の演習を行います。1回の授業の総仕上げとして毎回授業の最後に日常の中で起こる事柄について小論文を書き提出してもらいます。

履修上の留意点

授業の予習をすること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法

授業における発表・小論文と前・後期の試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、総授業数の3分の2以上は必ず出席すること。

教科書

『新・語順が身につく英作文』（朝日出版社）1,700円＋税
ISBN4-255-15423-6 C1082

科目名	担当者名
英語 I A	水崎野里子

講義のねらい

日常的な話題を中心に、入学時の英語力を運用し、より高度な英語が書け、話せるようになることを目的とする。一授業ごとに、基礎的な英語表現を確認しつつ、より自由な英語作文能力を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

一授業にテキスト一課を予定としている。また、通年用のテキストであるが、場合に応じては副教材も用いる。

履修上の留意点

授業には出来るだけ積極的に参加して欲しい。成績評価には、平常点(出席)をも加味する。

成績評価の方法

前期後期の二度の試験に平常点を加え、総合評価する。

教科書

『コミュニケーションのための英語自己表現』(金星堂) 1,900円
ISBN4-7647-3802-3 C1082

科外国
目語

科目名	担当者名
英語 I A	岩屋たまえ

講義のねらい

これまでに培ってきた基礎知識を確認しながら、ライティングの力を伸ばし、英語でのコミュニケーションに活かす能力を身につけることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

授業は予習復習を前提とした発表形式でおこないます。

履修上の留意点

予習をして授業に臨むこと。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法

出席及び演習への参加状況・小テスト・期末試験の結果を総合しておこないます。

教科書

『Let's Talk and Communicate!』(金星堂) 1,900円 ISBN4-7647-3802-3

科目名	担当者名
英語 I A	丹治ひろまさ

講義のねらい

映画のシナリオと原作を読み比べながら、各場面での表現法を学習し、口語表現と書き言葉の違いなど、多角的なアプローチで英語を修得していく。

講義の内容・授業スケジュール

4月-6月 3本のDVD作品より、印象的な場面を取り出し、表現文法を学ぶ。
7月初め、表現のまとめおよび期末テスト
9月-11月 2本のDVD作品とその原作を比較鑑賞して、英語表現への理解を深める。
12月初め、期末テスト

成績評価の方法

日常の出席および発表を重視する。テストは年2回、期末の授業の中でおこないます。

教科書

教場にて指定

科目名	担当者名
英語 I A	まなごひさあき 真砂久晃

講義のねらい	入学時の英語を基礎として、英語の運用能力向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。
履修上の留意点	出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。
成績評価の方法	成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2 前期、後期共、成績は (100点満点) = 出席点 (20~30%) + テスト (70~80%) となる。
教科書	『English Composition Made Easy』(金星堂) 1,680円 ISBN4-7647-3758-2 C1082

外国
言語

科目名	担当者名
英語 I A	さわだまゆみ 澤田真弓

講義のねらい	耳なじみのある、親しみやすい洋楽を取り上げて簡単な英語表現を学び、リスニングやリーディングの能力を総合的に伸ばすことを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。
履修上の留意点	積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。
教科書	熊井信弘、Stephen Timson 共著『Smash Hit Listening ロック&ポップで楽しむ初級リスニング・改訂版』(マクミラン ランゲージハウス) 1,800円 ISBN4-89585-480-9

科目名	担当者名
英語 I A	みやしやすよし 三芳康義

講義のねらい	TOEICのような学外の英語検定試験に出題される文法事項を確認しながら、実用英語の総合的な運用能力の向上を目指します。また、American Accentの練習をしながら日常会話に慣れることを目指します。
履修上の留意点	授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。
成績評価の方法	授業中の口頭発表、出席率、小テスト(4回~6回)などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。
教科書	Global Ways Introductory 編著者金森強、他 桐原書店 ISBN4-342-54701-5

科目名	担当者名
英語ⅠA	木村正俊

講義のねらい

比較的簡単な英語を用いて口頭で自己表現できるように運用能力の向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

履修登録、アルバイト、海外旅行、就職面接などのトピックから成る全体で20課あるテキストを毎回1課ずつ学びます。付属CDを用い、リスニングや発声のドリルを行います。基本文法や語法の説明も十分にします。

履修上の留意点

実際の訓練を多く行いますので、授業に毎回出席すること。復習する努力が大切です。

成績評価の方法

平常点による総合評価です。たびたび行なう小テスト、レポートなどの成績と出席の状況などをもとに評価します。

教科書

『Let's Talk and Communicate』（金星堂）1,900円
ISBN4-7647-3802-3

外国
語

科目名	担当者名
英語ⅠA	山口晃

講義のねらい

授業では英ⅠAの特色を生かした勉強をします。環境の問題を英語を通して学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、私のほうでプリントを配布します。

履修上の留意点

辞書は毎回必ず、持ってくること。遅刻のないように。

成績評価の方法

授業中の発表、前期・後期のテスト、前期後期のレポートによって評価します。

教科書

プリント

参考書等

授業の中で、随時紹介します。

科目名	担当者名
英語ⅠA	永野光一

講義のねらい

英語による意志伝達（ライティングとスピーキング）の基礎的な力を養成。

講義の内容・授業スケジュール

Q&A やペア/グループ・ワーク、ロール・プレイなどの聞く・話す活動や、センテンスやパラグラフを書く活動などを行います。

履修上の留意点

授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。原則として3分の2以上出席すること。

成績評価の方法

出席、学習活動への積極的な参加、ライティングや発表などの課題を重視し、総合的に評価。

教科書

初回授業時に指定。

科目名	担当者名
英語 I A	いわ <small>なが</small> よし <small>え</small> 岩 永 祥 恵

講義のねらい	近年では自分の意見、感想などを積極的に表現できる英語力が特に必要とされている。この講義では基本的な会話練習を通して表現力の向上を図る。
講義の内容・授業スケジュール	ユニットごとにニューヨークを旅行する日本人を描いたビデオを見、状況を把握する。その後リスニング練習を行い、大筋の理解から細部の理解を目指す。次にターゲットとなる表現に慣れる。この後スピーキング練習を行い、リスニングで学んだ表現を実際の状況下で使い、習得を目指す。
履修上の留意点	毎回の授業への積極的な参加を望む。授業時に辞書を持参のこと。
成績評価の方法	出席、予習、課題提出、試験等を総合的に判断して評価する。具体的な説明を開講時に行う。
教科書	ポール・マクレーン著 Survival English (1) ISBN 4-255-15168-7 朝日出版社

科目名	担当者名
英語 I A	あさ <small>かわ</small> ま <small>ま</small> 朝 川 真 紀

講義のねらい	自己意志を伝える語彙を覚え、基本的な文法・構文を身につけることによって、基礎的なコミュニケーション能力の向上をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを使って語彙の知識を増やしなが、日常生活の様々な場面での会話表現を練習します。
履修上の留意点	予習を必ずしてください。
成績評価の方法	小テスト、平常点、前期後期試験によって総合的に評価します。
教科書	『TOEIC Test 必修単熟語チェック650点レベル』(音羽書房鶴見書店) 950円 ISBN4-7553-0341-9 『新 TOEIC テストのためのリスニングストラテジー』(金星堂) 1,100円 ISBN4-7647-3816-3

科目名	担当者名
英語 I A	かさ <small>ま</small> のり <small>ひ</small> こ 風 間 則比古

講義のねらい	英語の勉強をより実のあるものにするためには最低限の文法の習得が必要である。その観点から、この授業では基本的な文法事項と、その応用として簡単な英作文を学ぶことにする。
成績評価の方法	評価は出席、発表、前期と後期の試験結果などを総合して決める。
教科書	『Unique English CompositionI (ユニーク英作文正体)』(成美堂)

科目名	担当者名
英語 I A〔基礎英語特別クラス〕	おおほなおき 大庭直樹

講義のねらい

基本的な文法書をテキストにして、ことばのしくみを学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

1年間で、英語は、語彙さえ調べれば読みこなせる、というレベルまで到達できるようにしたい。クラスでは、日本語と英語を比較・検討しながら違いと類似点を話題にしていきたい。

履修上の留意点

毎回、細かい指示を出すので、その指示にしたがって学習すること。

成績評価の方法

二回の定期試験を行うが、成績は平常点を重視する。つまり、クラスに積極的に参加する姿勢と、個々の学生の達成度を重視する。そのためには、毎回、クラスに参加することは当然のことである。

教科書

テキストは教場で指示する。

科外国語

科目名	担当者名
英語 I A〔基礎英語特別クラス〕	まるこてつお 丸小哲雄

講義のねらい

英文法の基礎をおさらいしながら、発信型のコミュニケーション力を涵養していきます。同時に、リスニング（＝リーディング）によって読込みと思考力の涵養も促進したい。

講義の内容・授業スケジュール

先ずリスニング・タイムとして総合理解（読みと思考）を促進しつつ、その後に、具体的な基礎文法を説明し、そして着実なライティング力を養成していきます。

履修上の留意点

質問や発表は評価の対象になりますので、予習・復習が前提条件です。私語は厳禁。

成績評価の方法

出席、平常テスト、レポート作成課題（開講時に指示）、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。

教科書

リスニングとリーディング・テキスト

1. 『Basic Grammar for College Students』（成美堂） ISBN4-7919-4909-9
2. 『英文法から攻める英作文のための15章』（英宝社） ISBN4-269-33040-6

参考書等

参考書を随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名
英語 I B	<small>あん ざい かおる</small> 安 齊 薫

科
外
国
語

講義のねらい	基本的な文法を確認しながら数多くの長文を速読していく。また、同時に Listening 能力の向上も目指す。
講義の内容・授業スケジュール	毎回発表形式を取り入れながらテキストを進めていく。
履修上の留意点	授業の予習をしてくること。
成績評価の方法	出席状況 (3分の2以上の出席が原則)、前後期試験、レポートから総合的に評価する。
教 科 書	『Eyes on the U. S.』(三修社) 1,800円+税 ISBN4-384-33333-1

科 目 名	担 当 者 名
英語 I B	<small>たか ほし よし え</small> 高 橋 佳 江

講義のねらい	高校や、大学入試のために学んだ英語力を落とすことなく、更に上の目標に向かって頑張っていく。正確な読みが要求される。 講読：一回の授業で必ず何人も当たるので、毎回予習を欠かさないこと。授業時間内にあわてて調べることはないように。高校時代にならった文法は意外に役立つ。苦手だった者は文法の教科書を参考にすると良い。辞書 (大学生・社会人向けの学習用を使うこと。コンサイスなどの薄いものは不可) は必携。
成績評価の方法	前・後期の試験の平均が60点以上の受験資格のある者を合格とする。欠席が1/3を越えた者 (前・後期合わせて欠席8回以上)、理由なく連続4回欠席した者は受験の資格がない。遅刻3回で欠席1回扱いとする。
教 科 書	未定

科目名	担当者名
英語 I B	高橋 明子 <small>たか けし あき こ</small>

講義のねらい

世界中で長く読みつかれている『クマのプーさん』の原文を味わいながら、さまざまな文構造に慣れて英文を理解する力を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

1回の授業でテキストの1単元を目安に進めます。

履修上の留意点

授業中は積極的な態度で学習しましょう。

成績評価の方法

出席状況や発表などの平常点に前期・後期の試験を合わせた総合評価をします。

教科書

『*Basic English with Winnie-the-Pooh* プーさんと学ぶ初級総合英語』（南雲堂フェニックス）1,700円＋税
ISBN4-88896-341-X

科外国語

科目名	担当者名
英語 I B	増田 恵子 <small>ます だ けい こ</small>

講義のねらい

「速読」や「精読」などの英文の読み方を体得し、臨機応変に運用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となる。

履修上の留意点

積極的に授業へ参加することが望ましい。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。

教科書

『*Polish English and Relish Japan*』（開文社）1,400円
ISBN4-87571-533-1 C1382

科目名	担当者名
英語 I B	岡崎 寿一郎 <small>おか ざま としいちろう</small>

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。

教科書

岡崎寿一郎編注『禅と日本文化』（太陽社）1,400円

科目名	担当者名
英語 I B	たか 高 はし 橋 よし 佳 え 江

講義のねらい

高校や、大学入試のために学んだ英語力を落とすことなく、更に上の目標に向かって頑張っていく。正確な読みが要求される。

講読：一回の授業で必ず何人も当たるので、毎回予習を欠かさないこと。授業時間内にあわせて調べることはないように。高校時代にならった文法は意外に役立つ。苦手だった者は文法の教科書を参考にすると良い。辞書（大学生・社会人向けの学習用を使うこと。コンサイスなどの薄いものは不可）は必携。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均が60点以上の受験資格のある者を合格とする。欠席が1/3を越えた者（前・後期合わせて欠席8回以上）、理由なく連続4回欠席した者は受験の資格がない。遅刻3回で欠席1回扱いとする。

教科書

未定

科外国語

科目名	担当者名
英語 I B	すぎ 杉 むら 村 はつ 初 え 枝

講義のねらい

どんなに難解な英文でも正確に読みこなせる読解力をつけることを目標に、文法・構文に留意した精読と、大意を的確に把握しながら読み進める速読の両面に重点を置いて授業を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの読解を中心に授業を進めます。

履修上の留意点

毎回授業の最初に小テストを行いません。テストの提出を以って出席とみなしますので、遅刻をしないよう注意してください。なお欠席回数が全授業回数の3分の1を超えた場合は、成績評価の対象となりません。

授業は発表形式で進めますが、発表者は予めレポートをまとめて授業時に提出してください。発表時のレポートを含め年間10回レポートを提出してください。

成績評価の方法

小テスト、レポート、発表に基づいて総合的に評価します。

教科書

テキストは開講時に指示します。

参考書等

英和辞典は中辞典以上のものを用意してください。

科目名	担当者名
英語 I B	くに 国 み 見 あき 晃 こ 子

講義のねらい

英語の歌詞を分析することで、英語の語法や文法などの知識を強化すると共に、時代背景や歴史を学んでいきます。小テストで、語彙やいまわしの知識を増やしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前半：小テストを毎授業行います。

後半：時代背景を検証しながら、主に1960年代以降のロック・ミュージックの英語の歌詞を分析します。グループであらかじめ議論してきたことを、授業で発表してもらいます。

履修上の留意点

小テストと授業での発表が成績評価の対象となりますので、授業は休まないようにして下さい。

成績評価の方法

毎回行う小テストの結果、授業での発表、出席状況により、総合的に評価します。

教科書

後日指定いたします。

科目名	担当者名
英語 I B	依田里花

講義のねらい

この授業は、「聞く」「読む」ことを中心に、音読やディクテーションを取り入れながら、総合的に英語の力をつけることがねらいです。内容はNHKのニュースです。毎回、課題がありますので、必ず準備をして出席すること。

履修上の留意点

必ず辞書（英和）を持参すること。（電子辞書可）

成績評価の方法

出席や授業中の態度を重視し、定期試験（前期・後期）の結果と合わせて総合的に評価します。

教科書

『Focus on Japan 世界に伝える日本のいま』（成美堂）1,800円＋税
ISBN4-7919-4545-X C1082

科目名	担当者名
英語 I B	高橋明子

科外国語
目録

講義のねらい

基本単語や文法事項を確認しながらさまざまなタイプの英文を理解できる力を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

1回の授業でテキストの1単元を目安に進めます。

履修上の留意点

テキストの予習をしっかりとやって、授業中は積極的な態度で学習しましょう。

成績評価の方法

出席状況や発表などの平常点と前期・後期の試験との総合評価をします。

教科書

『Step Ahead』（マクミラン ランゲージハウス）2,100円

科目名	担当者名
英語 I B	増田恵子

講義のねらい

「速読」や「精読」などの英文の読み方を体得し、臨機応変に運用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となる。

履修上の留意点

積極的に授業へ参加することが望ましい。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。

教科書

『A Complete College English Program : Book 3』（金星堂）1,900円
ISBN4-7647-3813-9 C1082

科目名

担当者名

英語 I B

ほん ま あき お
本 間 章 郎

講義のねらい

時事的な関心の高い題材を扱った英文を読むことで、幅広い知識を身に付けるとともに、題材に関連した専門的な語彙を増やしながら、高校までの英語の文法、構文の知識を再確認し、英文の読解能力を高めることを目指していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読み進めていきます。詳細は開講時に説明します。

履修上の留意点

出欠は重視します。単位取得に必要な詳細は開講時に説明します。

成績評価の方法

授業における平常点、小テスト、および学期末試験の結果などから総合的に評価します。

教科書

Beth M. Pacheco 『*The Powerful Reader 2nd Edition*』
(マクミランランゲージハウス)

科外国
言語

科目名

担当者名

英語 I B

たか はし よし え
高 橋 佳 江

講義のねらい

高校時までの読解力を保持しつつ、内容のある長文を読めるようになることを目標としていく。そのため、前期では基礎的な文法、発音の復習と並行しつつ文章を読んでいく。条件として毎回の予習、復習を欠かさないこと。予習が済んだ段階で授業に出席することが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は出席が2 / 3 以上の者で、前、後期試験の点数が平均60点以上の者を合格とする。
(遅刻3回で欠席1回の扱い)
授業中、多くの学生に発言してもらうため予習が必要とされるが、復習をきちんとして授業で学んだことを消化することが重要である。

参考書等

辞書は、大学、社会人向けの辞書を必ず持つてくること。(電子辞書可)

科目名

担当者名

英語 I B

たか はし ひろし
高 橋 寛

講義のねらい

日常話される自然な英会話を聞いてその内容を正しく理解できるよう、リスニングの力を高めていく。

講義の内容・
授業スケジュール

DVDを見ながら英語の聞き取り練習を行い日常会話で用いられる重要表現を学習していく。

履修上の留意点

全授業数の2 / 3 以上の出席が必要。

成績評価の方法

前・後期の試験の得点と出席率をもとに評価する。

教科書

『*Campus Encounters*』(MACMILLAN LANGUAGE HOUSE) 2,520円

科目名	担当者名
英語 I B	前田 脩 <small>まえだ けいしゅう</small>

講義のねらい

英文を読むことで、日英文化の違いを学びます。

講義の内容・授業スケジュール

授業はじめに15分程度リスニングを行い、そのあと英文を丁寧に読みます。英文ニュースのコピーを使用することがあります。

履修上の留意点

授業は予習が大切です、積極的に参加してください。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期後期の試験を総合的に評価します。

教科書

「人間と文化」朝日出版 1,400円 ISBN4-255-11106-5 C1082
「TOEIC テスト リスニング 入門」成美堂 900円 ISBN4-7919-4580-8

科外国語
目録

科目名	担当者名
英語 I B	三芳 康 <small>みつよし やすよし</small>

講義のねらい

この科目の目的は、TOEIC や TOEFL のような学外での英語検定試験を意識した英文を速読し、その内容を要約する。プリントによる American Accent の練習によってリスニング能力の向上をはかります。

履修上の留意点

授業は毎回口頭による発表形式をとり、積極的な授業参加を求めます。教科書付属のカセット・テープの購入は、学生各自の任意とする。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、前・後期小テスト(4回から6回)などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書

Delta's Key to the TOEFL Test Basic Course 著者 Nancy Gallagher
出版社 Delta Publishing Company, ISBN1-887744-64-9

科目名	担当者名
英語 I B	三幣 友行 <small>みつねりともゆき</small>

講義のねらい

これまでに学んだ英語を基礎として、英語読解能力の更なる向上を目指す

履修上の留意点

予習を前提として授業をすすめる

成績評価の方法

出席点、平常点、小テスト点、定期試験などを総合的に評価する。欠席が授業全体の3分の1を超えたら単位は認めない

教科書

未定

その他

その他細かいことは授業開始時に指示する

科目名	担当者名
英語 I B	増田 恵子

講義のねらい 「速読」や「精読」などの英文の読み方を体得し、臨機応変に運用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール 授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となる。

履修上の留意点 積極的に授業へ参加することが望ましい。

成績評価の方法 出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。

教科書 『Viewpoints in Law』（マクミランランゲージハウス）1,800円
ISBN4-89585-235-0 C3082

外国
言語

科目名	担当者名
英語 I B	狩野 晃一

講義のねらい 音読・精読を通して基礎的な英語力の定着をはかります。

講義の内容・授業スケジュール 読解を中心として進めてゆく。簡単な文章から初めて最終的には少々難解な文章へ到達したい。

履修上の留意点 必ず予習をし、授業へは辞書を持参のこと。

成績評価の方法 最低3分の2以上の出席が求められる。また前期及び後期に試験を行い、それらを総合し評価をする。発言、提出物等の普段点も加味する。

教科書 初回、教場で指定する。

科目名	担当者名
英語 I B	小泉 和弘

講義のねらい 英文を精読して、段落・文章の大意を把握できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール テキストを読み、練習問題を解く。2回の授業で1章進む。

履修上の留意点 授業には予習をしてこること、辞書を持ってくること。

成績評価の方法 試験60%、授業への取り組み・出席率40%。

教科書 『知識の泉』（鳳書房）1,800円 ISBN4-900304-86-7

科目名	担当者名
英語 I B〔基礎英語特別クラス〕	前田 脩 <small>まへだ ちかむね</small>

講義のねらい

会話文のテキストにより、英語の面白さを知ってもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

授業はじめにリスニングを行い、そのあと、日英の文構造の違いに留意し、テキストを読み進めます。

履修上の留意点

授業は予習し、積極的に参加してください。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期後期の試験を総合的に評価します。

教科書

「サバイバル・イングリッシュ」朝日出版 1,400円 ISBN4-255-11106-5 C1082
「TOEIC テスト リスニング 入門」成美堂 900円 ISBN4-7919-4580-8

科外
国
目語

英 語 Ⅱ A

〈英語ⅡAの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名
英語ⅡA	あさかわまさき 朝川真紀

科外国語
目録

講義のねらい	語彙・文法・構文を正確に把握し、実践的なコミュニケーション力を身につけていきます。
講義の内容・授業スケジュール	毎回テーマとなる英語表現方法をテキストにそって説明し、練習問題を解きながら定着させていきます。
履修上の留意点	毎回予習をしてください。
成績評価の方法	小テスト・平常点・前期後期試験によって総合的に評価します。
教科書	『比較して覚える基礎英語表現』(朝日出版社) 1,800円 ISBN4-255-15338-8

科 目 名	担 当 者 名
英語ⅡA	きむらまさとし 木村正俊

講義のねらい	英語ⅠA、ⅠBの修了を前提に、より高度な英文の音声による把握力を高め、音声による表現力を向上させることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	社会、環境、健康、教育、文化、科学技術などのトピックを扱った全体で20章から成るテキストを用い、順次学んでいきます。付属のCDを活用し、リスニングやスピーキング、さらにライティングのドリルを行います。
履修上の留意点	実際の訓練を多く行いますので毎回授業に出席すること。復習に多く時間をかけることが大切です。
成績評価の方法	平常点評価です。しばしば行うテストや提出物の成績、出席の状況などを総合して評価します。
教科書	『Views for Tomorrow 2006/2007』(三修社) 1,800円 ISBN4-384-33365-X

科目名	担当者名
英語ⅡA	岩永祥恵

講義のねらい

本クラスでは英米文化を広く理解し、議論となりうるさまざまな問題点について話し合う。そのプロセスで読解力、論理的思考、表現能力等の向上を図る。また、効果的なテキスト理解のために適宜リスニング等の練習も取り入れる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

まず英文パッセージを読んで内容を理解する。そのプロセスで文法の復習を行いつつ、問題点について英文で表現する能力を磨く。

履修上の留意点

毎回の授業への積極的な参加。辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席、予習、授業参加、課題提出、試験等を総合的に判断して評価する。詳細は開講時に指示する。

教科書

Milada Broukal 著 *Weaving it together* 2 松柏社 ISBN4-88198-578-7

科外国語

科目名	担当者名
英語ⅡA	古富猛

講義のねらい

講義上の点で、英語を使える様な素養を身につけるべく方向付けて欲しい。情報伝達の発展した今日、その渦の中で冷静さを失うわけにはゆかないので、国際化の中、外国語習得は重要ではないかと思われる。

講義の内容・授業スケジュール

日本人の資質にそった習得法を私なりに実践している。そのやり方は最近、活躍している著名人のものと極めて共通点が多く、自信を深めているので、講義中に話をしたい。テキストにも重点を置き、一年間、多読を目指したい。

履修上の留意点

最近とみに言われているが、学生諸君の学力低下の傾向は事実であると英語においても痛感させられている。語学の習得は、本来地道な努力の積み重ねが、基本であることを認識してもらい、もう一度復習をしてもらいたい。

成績評価の方法

成績はあくまでもテキストによる予習発表を平常点とし、出席と前後期のペーパー・テストによって判断する。

教科書

テキストは教場にて指示する。

科目名	担当者名
英語ⅡA	狩野晃一

講義のねらい

英語を使つての読む書く聴く話すという意思疎通能力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

IAで培った力をさらに高め、英作文や会話に生かす。年間数回の英作文等の課題をこなしてもらい実力の定着を目指す。視聴覚機器なども多く用いたいと思う。

履修上の留意点

必ず辞書を携帯すること。(電子辞書でも可だが、なるべく紙の辞書が望ましい)

成績評価の方法

3分の2以上の出席が成績評価の原則。試験を行い、普段の発言や提出物の状況により判断する。

教科書

初回、教場にて指定。

科目名	担当者名
英語ⅡA	加藤 佐和子

講義のねらい

異文化コミュニケーションに関する様々な問題を考え、英語の伝達能力をつける。同時に、実際に役立つ英語表現を覚え、実際に使える英語のスキルを伸ばしていく。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、前半と後半に分けて行う。前半は、テキストをChapterを2づつ進み、内容のまとめとディスカッションをする。後半は、officeなどで使われる模範文型を覚え、それを実際の場で使えるように訓練する。

履修上の留意点

予習・復習を必ずすること。

成績評価の方法

小テスト25%
授業参加度25%
まとめテスト50%

教科書

Intercultural Communication 南雲堂
A Shorter Course in Office English 南雲堂

科
外
国
語
目
録

科目名	担当者名
英語ⅡA	岸本 茂和

講義のねらい

現代アメリカの作家・詩人の文章をとおして多民族国家アメリカを読んでゆく。「アングロ・サクソン」だけがアメリカではないことが理解できればよいとねがっている。いい文章だがすこし読みごたえがあるかもしれない。

講義の内容・授業スケジュール

一部は精読し一部は速読したい。前期は精読にあて後期は速読にと考えているが、また精読と速読をこうごにおこなうのもどうか。できるだけ多くの分量を読みたいのでグループをつくって授業をすすめたい。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。予習は必須。

成績評価の方法

出席を勘案しつつ試験結果をおもじる。試験は前期と後期の2回。全授業日数の3分の1以上欠席のばあいは「不可」とする。

教科書

『読解総合：多民族のアメリカ』 英宝社 1,900円

科目名	担当者名
英語ⅡA	濱口 真木

講義のねらい

英語の基本的な文法・構文を重点的にチェックしながら、読む、聞く、書くなどの英語の運用能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめ、英語の運用能力をさらにのぼす。

履修上の留意点

口頭発表と出席率を重視するので、予習をしてこよう。

成績評価の方法

口頭発表、出席率、前期後期テストなどを総合して評価する。

教科書

『*Reading Solution* クオリティーペーパーを英語で読む』（金星堂）1,900円
ISBN4-7647-3819-8

科目名	担当者名
英語ⅡA	小布施 圭佐三

講義のねらい

既習の語彙、構文を活用しながら、基本的な口語表現を習得します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書のモデル英文がダイアログ中心になっているので、単なる英作文にとどまらず、口頭での自己表現も積極的に行わせたい。文法事項の解説も行います。

履修上の留意点

授業形態は演習形式で行います。予習をしてきてください。

成績評価の方法

出席点/授業の貢献度/レポート/小テスト/定期試験(前・後期)などを加味して総合評価します。

教科書

青木庸和/江利川春雄『*Let's Talk and Communicate!*』(金星堂) 1,995円
ISBN4-7647-3802-3 C1082

科外国語

科目名	担当者名
英語ⅡA	太田 美智子

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

ライティングスキルを身につけるため、様々な状況での表現能力を磨く。状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書

『*Inspiring English 3*』(金星堂)

科目名	担当者名
英語ⅡA	川手 浩一

講義のねらい

英語の技能は、聞く、話す、読む、書くの4つに分けられる。本書は主として読解力向上に主眼を置いている。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめると同時に、エコロジーについても学びます。

履修上の留意点

授業は予習、復習を必要として、かならず練習問題もしてくること。

成績評価の方法

日常の学習を重視し、前期後期の試験の結果を入れて総合的に評価します。

教科書

『*ECOLOGY and Business*』[エコロジーとビジネス](南雲堂) 1,900円
ISBN4-523-17430-X

科目名	担当者名
英語ⅡA	澤田真弓

講義のねらい

テーマ別に英語で書かれた短いエッセイを読み、文法事項について確認しながら、さまざまな英語表現を学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。

履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。

教科書

Bill McLain 著、長阪朱美編注『DoYou Know? 世界の面白・ミニストーリー』（金星堂）
1,800円
ISBN4-7647-3750-7

科外国語

科目名	担当者名
英語ⅡA	江田幸子

講義のねらい

このクラスでは、読む、聞く、書く、の三要素を重点的に学習します。今日的なトピックを扱った簡素な英語文を多様な分野に渡って読みます。そこで使われている基礎的な英語構文を使えるようにします。英語文は英文を書くためのお手本として読みますのでテキスト中の使用頻度の高い単語句は徹底的にマークして覚えます。そしてそれ等の構文、単語句を用いて短い英文を書く練習を行います。

準備としてはまず各章の英語文を日本語に訳したノートを各自作ります。その日本語から原文の英語が書けるようにします。その上で重要な構文や表現方法を用いて応用英作文を実践します。

成績評価の方法

一年間を通して最低5回テストを行い、平均点60点以上に欠席回数5回迄を以って合格点とします。欠席が5回以上になった人は、試験の平均点が70点以上を以って合格とします。欠席が5回以上の方は英語の実力で評価します。

教科書

『文法から攻める英作文のための15章』（英宝社）1,800円 ISBN4-269-33040-6

科目名	担当者名
英語ⅡA	佐藤江里子

講義の内容・授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力を身につけることをめざす。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。

成績評価の方法

前期後期試験（50%）と平常点（50%）による総合評価。平常点には出席状況、授業態度が含まれる。

教科書

教場にて指示。

科目名	担当者名
英語ⅡA	まつ とう ひろ 子 松 堂 啓 子

講義のねらい

プロセスを踏みながら、英文を組み立てる技術を身につける。また、音声教材を用いて要旨を把握する練習も併せて行う。

履修上の留意点

3分の2以上の出席が必要。

成績評価の方法

出席状況（演習に対する姿勢を重視）、レポート、期末試験等を総合的に評価する。

教科書

『*Thoughts into Writing*』（成美堂）ISBN 4 - 7919 - 5038 - 0
 『*Essential Listening 3*』（マクミランランゲージハウス）ISBN 4 - 89585 - 419 - 1

科目名	担当者名
英語ⅡA	ほり ちり こ 堀 千和子

外国語

講義のねらい

社会での問題を英語を通して勉強しながら、自分の意見を英語で書く技術を習得してもらいます。前期では、センテンス・レベルで自分の伝えたいことを正確に英語で表現することを、後期では、有機的に構成されるパラグラフを書くことを目標に、英作文の練習をしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

教科書、インターネットや新聞の記事、映画やニュースなどを使用して、社会問題を取りあげていきます。これらをトピックに、どのようにその問題について考えるか、どうしたら解決できるかを、グループやペアで考えてもらい、最後には各個人に英語でそれを表現してもらいます。

履修上の留意点

毎時間、ビデオを見たり、ワークシートを作成したり、グループワークをしますので、欠席しないこと。また、授業には必ず自分のテキストを持参し、集中して臨むこと。毎回、簡単な課題をして提出してもらいます。

成績評価の方法

成績は、前・後期の試験、授業中の発言、提出物、休暇中の課題、小テストから総合的に判断する。欠席は1回につき2点の減点とし、通年の授業回数の3分の1以上の欠席で失格とする。欠席分を補う提出物はないので、くれぐれも欠席しないこと。試験は、前期・後期いずれか欠席したものは単位取得の意志はないものと見なすので、両試験とも必ず出席すること。

教科書

未定。追って指示します。

科目名	担当者名
英語ⅡA	こん とう 真 彰 近 藤 真 彰

講義のねらい

単なる感想ではなく、客観的視野から論理的に自分の意見を英語で表現することを目的に、そのために有効な単語や熟語から文章構成までを学びます。

講義の内容・授業スケジュール

指定の教科書を中心に授業を進めますが、時にニュース記事などを読みながら、学んだ表現を応用することも行っています。

履修上の留意点

授業には必ず辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

前期と後期の定期試験の成績（50%）と通常の授業での課題（50%）を総合して評価します。

教科書

「*Skills for Better Writing* 構文で書く英文エッセイ」（南雲堂）
 ISBN 4 - 523 - 17507 - 1

科目名	担当者名
英語ⅡA	おのえのりこ 尾上典子

講義のねらい

現代のアメリカ文化形成に決定的な役割を演じてきた幾つかの大企業について論じたテキストを使用し、アメリカのビッグ・ビジネスの企業研究・アメリカ文化研究を行なうとともに、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のテキストを翻訳させながら、同時にアメリカのビッグ・ビジネスに関係する様々な資料を配布し、読解・聴解・作文などの英語運用能力の向上を目標とする。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が2/3に満たない者および授業態度の著しく悪い者は落第させる。
毎回、授業のための予習・復習を充分にしておいてもらいたい。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験、小テストなどによって、総合的に判断する。

教科書

廣原真由子・Blake Baxter 共著『Big Business in America ビジネスとアメリカ文化』（成美堂）

科外国
目語

科目名	担当者名
英語ⅡA	てじまけいこ 手島敬子

講義のねらい

本科目は単語から単語への置き換え、単文から単文への置き換えに陥りがちな「英作文」から一歩進み、実際に日常生活の中で活用できる「ライティング」力を習得することを目指します。

履修上の留意点

随時課題の提出が義務づけられます。教室以外でも積極的に学習に取り組まなければなりません。
和英辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的に行います。

教科書

開講時指示

科目名	担当者名
英語ⅡA	とのいけかずこ 外池一子

講義のねらい

私たちの身の回りや世界で起こっているさまざまな出来事や問題について自分の意見を持ち、それを英語で表現できるようになることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はテキストを使って、ディスカッションやディベートの基礎的な知識を身につけ、後期はそれを実践します。

履修上の留意点

日ごろから新聞を読んだりニュースを聞いたりして、自分の身の回り・日本そして世界が直面するさまざまな問題に目を向け、それらについて自分の意見を持つよう心がけてください。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示します。

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading：I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の 3 分の 2 以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名
英語 II B	たか み よう こ 高 見 陽 子

講義のねらい 英文を読む速度をあげ、より多くの情報を短時間に得る力を伸ばすことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 英文を「理解しながら読む」練習としての速読を重視します。

履修上の留意点 必ず辞書を持参すること。授業では、速読の後で内容を確認するための精読も行いますので、各自必ず復習して理解を深めておくこと。

成績評価の方法 前・後期末試験の結果をもとに、平常点と小テスト・レポート等の結果を勘案し、総合的に評価します。また、全授業回数のうち 3 分の 2 以上の出席を条件とします。

教 科 書 和久豊、Bill Benfield, *Cultural Walks in Britain* 『イギリス文化散策』（成美堂）1,800円 ISBN4-7919-0542-3

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名
英語 II B	いわ い ひろ み 岩 井 洋 美

講義のねらい 様々なスタイルの英語の内容を把握すること、また音読する力とリスニングの力をつけることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール テキストとプリントを使用して、予習を前提に進めていきます。

履修上の留意点 欠席、遅刻をしないこと。一回めの授業に必ず出ること。授業態度も重視します。追、再試験・課題は行いません。

成績評価の方法 出席、授業態度の平常点と前・後期試験、クラス内でのテスト・課題で評価します。

教 科 書 未定

科目名	担当者名
英語ⅡB	はせがわ こういち 長谷川 公一

講義のねらい	多民族社会という視点に立って現在のアメリカ人の姿について考えてみたい。
成績評価の方法	出席率プラス前後期2回のテストによって採点します。
教科書	『民族から見たアメリカ社会』（成美堂）1,800円

科目名	担当者名
英語ⅡB	やまぐち めいこ 山 口 晃

科外国語

講義のねらい	英文をしっかり読み、解釈していくことに、重点を置く。
講義の内容・授業スケジュール	環境、生活の問題を、一緒に考えられるような教材を使って、英語の理解を深める。
履修上の留意点	辞書は毎回、必ず持参。遅刻のないように。
成績評価の方法	前期、後期のテスト。他にレポートの提出。それに平常点を加味して評価。
教科書	授業中にプリントを配布。
参考書等	資料も、随時配布。

科目名	担当者名
英語ⅡB	すがわらのりこ 菅原 典子

講義のねらい	テキストとプリントを併用して、構文や慣用句などを確認しながら、多くの英文に触れていきます。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進めると同時に、さまざまなジャンルのプリントを使用します。
履修上の留意点	授業は予習をしてくること。
成績評価の方法	前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、態度等を入れて総合的に評価します。
教科書	R. San Souci, 田中英史註 <i>Short & Shivery</i> 『世界怪奇物語』（成美堂）1,029円（税込） ISBN4-7919-0045-6 C1382

科目名	担当者名
英語ⅡB	伊藤美代子

講義のねらい

IBを基礎として、より高度で実社会に直結した生の英文の理解をめざす。
また、リーディングだけでなく、スピーキング、リスニング、ライティングも行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール

原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。また、半期に、4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点、提出物により計算する。

教科書

1. Alan E. Jackson/Hiroko Uchida, "More News and Views from The Japan Times Weekly" (マクラミン ランゲージ ハウス) 1,600円
2. 伊藤美代子 (編著) 『さらばジャパニーズイングリッシュ』 (北樹出版) 1,500円

外国
言語

科目名	担当者名
英語ⅡB	甲斐捷子

講義のねらい

テキストはアメリカ国内向けニュース番組"World News Tonight"です。この多岐にわたる報道内容をビデオで学び、英語の運用能力を高めることがこの授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

授業の最初の15分間、基本的な発音とイントネーションの訓練を行います。資料はハンドアウトで配布します。

履修上の留意点

ビデオ、CDのダビングはできませんが、授業中の訓練で十分です。授業を休まないようにしてください。

成績評価の方法

一応の目安として平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教科書

ABC World News 8
hegeru Yamane/Kathleen Yamane 著 金星堂 ¥2,000

科目名	担当者名
英語ⅡB	すぎもと まこと 杉本 誠

講義のねらい

日常生活の会話を題材としたテキストを使用して、各場面に合う表現練習をし、使える英語が身につく、英語をコミュニケーションの手段として積極的に活用できるようにするのが目的である。グローバル化および情報化の時代の中で、できるだけ多くの記事を読み、大意を把握し、英語の運用能力を高めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

旅行、アルバイト、Eメール、ファーストフードなど、若者の生活に密着したテーマをダイアログで紹介し、内容把握、語法、リスニングなどの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけます。

履修上の留意点

かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法

前・後期定期試験、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教科書

『News for You』(成美堂) 1,800円 ISBN4-7919-0548-2 C1082

科外国語

科目名	担当者名
英語ⅡB	てじま けいこ 手島 敬子

講義のねらい

本科目では「英文読解力向上」を目標に出来る限り多くの英文を読むことで英文に慣れ、読解力および読解速度を引き上げることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率よく、また的確に内容を読み取る練習を行います。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間、定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的にを行います。

教科書

開講時指示

科目名	担当者名
英語ⅡB	まちだ しげお 町田 成男

講義のねらい

IBを基礎として、さらに多くの量を読めるように、大意の把握をして、読む速度を上げる。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめると同時に、カセット・テープやビデオ教材も時々使用する。

履修上の留意点

3分の2以上は出席すること。

成績評価の方法

出席、発表、試験の総合評価とする。

教科書

現在、検討中のため未定。

科目名

担当者名

英語ⅡB

近藤真彫

講義のねらい

考古学に関連のあるテーマを扱った英文を読み、読解力をつけ、語彙を増やしながら、それをもとに自分の興味の対象を英語で表現できるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

関連するテキストを読んでいく。読解が中心となるが、適宜、英作文作成や会話練習も行う。

履修上の留意点

必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

定期試験の成績と通常点で総合的に評価する。

教科書

ハンドアウトを授業で配布する。

外国
語

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名
ドイツ語 I A	すぎもと まさとし 杉本正俊

講義のねらい

「ドイツ語入門」が授業の真のテーマですが、特にこの授業では、「文法」にスポットをあてて、初めて学ぶ外国語であるドイツ語への入門を行います。

講義の内容・授業スケジュール

発音に関しては独自のプリントを用意しますが、その他の学習項目はすべて教科書の記述順に授業を進めて行きます。教科書を一冊すべてやり終える事が、一応、一年間の授業の目標となります。

履修上の留意点

授業中は勉強に注意を集中する事。又課題は全てきちんとこなす事。

成績評価の方法

前半（夏休み前）にテストを行うかどうかは、授業の進みぐあいを見てから決める。が、後期末には必ず定期テストを行う。日頃の授業には積極的に参加する事。授業中のまちがいは成績に影響しない。最終的にドイツ語をよく学んだかどうかは総合的に判断する。

教科書

西本美彦 西本アンゲリカ『エクセ12-ドイツ文法』（朝日出版社）2,200円

科外国語

科目名	担当者名
ドイツ語 I A	やがした こういち 藪下紘一

講義のねらい

ドイツ語はドイツ、オーストリアそしてスイスで使われている外に、ハンガリー又ユーゴ諸国、ギリシア等でも通じる言語です。外国人でドイツ語を高校・大学で学んでいる数も数百万以上にのぼっています。皆さんもその一人です。外国の学生とドイツ語で苦勞しながらも、何とか読めたり書いたり話したりできるようになっていくのです。ドイツ語 I A（文法）で苦勞しておくと、あとが楽になります（2年生で）。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

中間試験と年度末試験があります。（50点満点の試験を2回）

教科書

本郷健次他『ドイツ語 ルネサンス』（三修社）2,500円＋税

その他

火曜日・3時限

科目名	担当者名
ドイツ語 I A	もと はし うら 本橋右京

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。後期には辞書を片手になんとかやさしい文章が読めるようになります。

講義の内容・授業スケジュール

アルファベット、発音と、文法を初めから学んでゆきます。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認して行きます。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに練習問題で理解を確かなものとします。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

酒井明子・他 『新ドイツ語の泉』（郁文堂）

科目名	担当者名
ドイツ語 I A	岡本時子 <small>おかもとときこ</small>

講義のねらい

ドイツ語の初級文法を1年間の授業を通して概観・理解することが主なねらいです。並行して行われる IB の教科書の文章を読む際に必要となる基礎的な文法力を養うのが目標ですが、単なる文法形態の暗記だけにとどまらず個々の文法項目の持つ意味、そしてそのことによってドイツ語という言語がどんな言語になったのかも併せて学んでいきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

授業は1年間文法用の教科書を用い、その教科書の内容に沿って進んでいきます。初めての学習者がほとんどだと思ひますので、1学期はなるべく時間をかけてゆっくり進みます。予定としては1学期には8～9課まで。場合によっては21・22課は簡単な説明のみにとどめます。

履修上の留意点

文法中心の授業ですので、前の授業でやったことの上に次の授業を組み立てていくことになります。その点でなるべく休まず授業に参加することが望ましいことです。また文法ということを考える際、単にドイツ語の枠だけでなく視点を日本語や英語等他の言語にも向けることも大事です。

成績評価の方法

評価は年間を通しての出席状況と前期・後期計2回の試験の結果を併せて出します。その他にも積極的な授業への参加、貢献も前向きに評価します。

教科書

岡本順治『ドイツ語文法へのプロローグ』（郁文堂）

参考書等

参考書・辞書については最初の授業で説明します。

科外国語

科目名	担当者名
ドイツ語 I A	数下紘一 <small>あぶしたこういち</small>

講義のねらい

ドイツ語はドイツ、オーストリアそしてスイスで使われている外に、ハンガリーやユーゴ諸国、ギリシア等でも通じる言語です。外国人でドイツ語を高校・大学で学んでいる数も数百万人以上にのぼっています。皆さんもその一人です。外国の学生とドイツ語で苦勞しながらも、何んとか読めたり書いたり話したりできるようになっていくのです。ドイツ語 I A（文法）で苦勞しておく、あとが楽になります（2年生で）。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

中間試験と年度末試験があります。（50点満点の試験を2回）

教科書

椿・成田『新訂・入門初級ドイツ語文法』（同学社）2,100円＋税

その他

火曜日・4時限

科目名	担当者名
ドイツ語 I B	井村行子 <small>いむらゆきこ</small>

講義のねらい

ドイツ語を実際に使えるようにするとともに、ドイツについての知識の習得に努めます。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に沿って進めます。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書

近藤／小林／新倉／松尾『Dialog—ベーシック版』（郁文堂）

科目名	担当者名
ドイツ語 I B	岡本時子

講義のねらい

初心者を対象に、ドイツ語が使えるようになるための基礎的学力、知識の養成を目指し、併せてドイツ語圏の文化、社会、歴史等についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期はドイツ語の発音・文法の基礎を中心に簡単な挨拶や文が言えるようにする。後期は辞書を引きながら平易なドイツ語の文章を読めるようにし、口頭では複文や重文が組み立てられるようにする。

履修上の留意点

受身に「教わる」授業ではなく、積極的に自分から「学び、考える」授業にしたい。

成績評価の方法

期末筆記試験・授業への出席・参加等を総合して評価する。

教科書

荻野蔵平『ユネスコ遺産で学ぶドイツ語』（朝日出版）

参考書等

参考書・辞書等については第一回目の授業で説明する。

科外国語

科目名	担当者名
ドイツ語 I B	野島利彰

講義のねらい

英語と比べるとヨーロッパの他の言語はみな変化が多く、複雑に見えます。しかしその複雑さは共通しています。その意味で、ドイツ語を学ぶことは同時にヨーロッパ言語を知るきっかけになり、またドイツ文化さらには EU を知る助けになります。

講義の内容・授業スケジュール

語学の勉強はただ授業を聴いているだけでは分るようになりません。自分で考え、練習して初めて理解できます。必ず予習をして下さい。その予習の結果を見るために練習問題の解答やテキストの訳を皆さんにやってもらいます。なお発音練習の代わりに教科書の最後についている動詞変化表を使い、同時に動詞の変化を覚えます。

履修上の留意点

CD 付き教科書を使いますので、自宅で十分聞き、発音練習をして置いて下さい。言葉を学ぶことはまず真似ることです。テキストの音読を順番で指名します。

成績評価の方法

3 課ごとに 1 回ヒアリングテストを行う予定です。ヒアリングテスト、動詞変化テスト、定期試験（筆記試験）の成績が評価の基準になります。

教科書

清野・ラインデル著「ドイツ語の時間」朝日出版 2400円

参考書等

ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年次でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書ではなく、しっかりした辞書を購入してください。

その他

語学はまず量の問題です。ラジオやテレビのドイツ語講座も活用してください。
土曜・2 限

科目名	担当者名
ドイツ語 I B	野島利彰 <small>のしまとしあき</small>

講義のねらい

英語と比べるとヨーロッパの他の言語はみな変化が多く、複雑に見えます。しかしその複雑さは共通しています。その意味で、ドイツ語を学ぶことは同時にヨーロッパ言語を知るきっかけになり、またドイツ文化さらには EU を知る助けになります。

講義の内容・授業スケジュール

語学の勉強はただ授業を聴いているだけでは分るようになりません。自分で考え、練習して初めて理解できます。必ず予習をして下さい。その予習の結果を見るために練習問題の解答やテキストの訳を皆さんにやってもらいます。なお発音練習の代わりに教科書の最後についている動詞変化表を使い、同時に動詞の変化を覚えます。

履修上の留意点

CD 付き教科書を使いますので、自宅で十分聞き、発音練習をして置いて下さい。言葉を学ぶことはまず真似ることです。テキストの音読を順番で指名します。

成績評価の方法

3 課ごとに 1 回ヒアリングテストを行う予定です。ヒアリングテスト、動詞変化テスト、定期試験（筆記試験）の成績が評価の基準になります。

教科書

末永・生野・林著「ドイツ語サウンドスケープ」三修社 2,500円

参考書等

ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年次でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書ではなく、しっかりした辞書を購入してください。

その他

語学はまず量の問題です。ラジオやテレビのドイツ語講座も活用してください。
土曜・1 限

科外国語

科目名	担当者名
ドイツ語 I B	岡本時子 <small>おかもとときこ</small>

講義のねらい

初心者を対象に、ドイツ語が使えるようになるための基礎的学力、知識の養成を目指し、併せてドイツ語圏の文化、社会、歴史等についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期はドイツ語の発音・文法の基礎を中心に簡単な挨拶や文が言えるようにする。後期は辞書を引きながら平易なドイツ語の文章を読めるようにし、口頭では複文や重文が組み立てられるようにする。

履修上の留意点

受身に「教わる」授業ではなく、積極的に自分から「学び、考える」授業にしたい。

成績評価の方法

期末筆記試験・授業への出席・参加等を総合して評価する。

教科書

荻野蔵平『ドイツこころのふるさと』（朝日出版）

参考書等

参考書・辞書等については第一回目の授業で説明する。

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA	柴野博子

講義のねらい

中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達が、ドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。予定通りに進めば、12月には更なる長文を読んでみましょう。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

大谷弘道『ドイツ人を知る9章』（三修社）2,500円
月曜・3限

外国
言語

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA	飯塚公夫

講義のねらい

一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。

講義の内容・授業スケジュール

おおよそのスケジュール

前期前半：一年の文法の復習と、未修部分があればその部分の補習（コピー練習問題中心）

前期後半：練習問題と平行して、映画をみながらテキストである映画のシナリオの読解。

後期：映画をみながら、テキストであるシナリオの読解。（映画の内容：元刑事のタクシー運転手とトルコから連れてこられて犯罪の手先に使われるクルド人少年の心の交流を温かくかつクールに描いたもの）

履修上の留意点

辞書を毎回持ってくる（完全に予習している人は持ってこなくてもよろしい）。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。

成績評価の方法

前期後期各1回の筆記試験及び平常点（＝発表点）

教科書

Uwe Timm: Eine Hand von Gras (ISBN:3-462-02916-9)。本が欲しい人は自分で洋書店で注文してください。そうでない人にはコピーを用意します。

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA	柴野博子

講義のねらい

中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達が、ドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。予定通りに進めば、12月には更なる長文を読んでみましょう。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

大谷弘道『ドイツ人を知る9章』（三修社）2,500円
水曜・3限

科外国
目語

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA	薮下紘一

講義のねらい

1年生で習った知識を基にして、やさしい文を訳してみます。単語と言い回しが一寸むづかしいかもしれませんが、解説がたくさんあるので、何んとかかります。

成績評価の方法

評価は中間試験（7月）と1月の年度末試験で（50点満点の試験を2回）決めますが、平常点も、出席も加味します。

教科書

『ドイツ人の一生』（朝日出版社）1,900円+税

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡB	森公成

講義のねらい

ドイツ語ⅡAとⅡBを基礎とした、初級から中級にかけての講読中心の授業です。文法の復習をしながら、いろいろなタイプのドイツ語に触れます。ドイツの歌もいくつか紹介します。

講義の内容・
授業スケジュール

用意したプリントによって授業を行います。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

履修上の留意点

最初の授業時にドイツ語で読んでみたいものを書いていただきますので、あらかじめ考えておいてください。授業への積極的な参加を希望しています。また、3分の1以上休んだ場合は（遅刻と早退は2回で1回休みとみなします）、原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法

定期試験（年2回）、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教科書

テキストはこちらで用意します。

科目名

担当者名

ドイツ語ⅡB

ほり うち み え
堀 内 美 江

講義のねらい

今年はサッカーの世界カップがドイツでおこなわれます。日本と長い関係を持ち、親日の人も多いドイツは、日本と同じ歴史を歩みながらも様々な点で学ぶことも多い国でもあります。

この授業では、ドイツの文化や社会に具体的に触れながら、いつドイツに行っても困らないくらいのドイツ語及びドイツについての知識を学んでもらえればと願っています。

講義の内容・
授業スケジュール

1年次に学んだ知識を再確認しながら、聞く、話す、読む、書くという能力をバランスよく養成していきます。

前期：1年次の復習に重点を置きながら、ヒアリング練習などを通して実用的なドイツ語の力をつけていきます。

後期：ドイツの日常生活の中で、自分から情報を発信したり、相手に反応できる力を養っていきます。

履修上の留意点

毎回必ず文法の復習をしますので、あせらずに参加して下さい。又、辞書は毎回持って来るようにしましょう。楽しく身になる授業を心がけますので、質問、リクエストがあればいつでも遠慮なく来て下さい。

成績評価の方法

出席、前後期試験、その他平常点などを含めた総合評価をおこないます。

教科書

近藤／小林／新倉／松尾著『Dialog ステップアップ版』（郁文堂）2,400円
ISBN4-261-01192-1

科外
国
語

〔フランス語〕

科目名	担当者名
フランス語 I A	小玉 齊夫 <small>こ だま なり お 夫</small>

講義のねらい

「話すための」フランス語学習に直結するような、文法の勉強をしていこうと思っ
ています。授業で新しく得た知識をすぐ使えるような、フランス語をいちいち日本語と突き合
わせて覚えるのではなく、フランス語の音として身につけてしまうような、そういう在り方
が理想的なので、そのための練習を、可能な限り豊富に、数多く、試みてみようと思
います。

講義の内容・ 授業スケジュール

教科書の文法的な内容は結構多いので、授業の展開はすこし早めになるかもしれ
ません。覚えることが少なくともはありません。要するに、フランス語漬けになるくら
いのつもりで、授業に出て下さい。

履修上の留意点

上のような内容になるからには、それなりの覚悟が必要かもしれません。特別
な理由のない限り欠席しないこと。毎回の授業で覚えたことがらを積み重ねてい
くこと。

成績評価の方法

日常の授業への参加の度合いを見つ、前期・後期（後期の方を重視します）の
試験結果によって判断します。出席はするのが当たり前。よって「出席点」など
はありません。

教科書

伝田 他著『コミュニケーションのためのマニュアル フランス文法』
（第三書房）2,500円
ISBN4-8086-2021-9 C1085

参考書等

辞書等については開講時にお話しします。

科外
国
語
目
録

科目名	担当者名
フランス語 I A	遠山 博雄 <small>と お やま ひろ お 雄</small>

講義のねらい

基礎的な文法事項をきちんと身につけること。

講義の内容・ 授業スケジュール

はじめに詳しい説明をし、その後で練習問題をやります。単純な事項から複雑な
事項に順を追って進んでいきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして
説明を聞きもらさないこと。

成績評価の方法

2～3回の筆記試験を行いません。

教科書

安倍住雄他著『フランス文法 ABC』（白水社）1,785円 ISBN 4-560-06045-2

参考書等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	担当者名
フランス語 I A	でぐちまさとし 出口雅敏

講義のねらい

フランス語をはじめて学ぶ学生のための授業です。初級文法の習得を中心に、読む、書く、聞く、話すための基礎をバランス良く学習することが目的です。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、まず基礎的な文法事項の説明の後、練習問題を通じて理解を確実にします。次に、フランス語文章の音読と読解、語彙と表現の学習を行います。加えて、仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。

履修上の留意点

辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。

教科書

吉野仁子著『プティタプティ』（第三書房）2,000円

科外国語

科目名	担当者名
フランス語 I A	さとうくみこ 佐藤久美子

講義のねらい

フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、アルファベ（アルファベット）から始めて、1年間で文法の基礎を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

発音練習に続いて文法解説を行う。習ったばかりの事項の確認のため、すぐ練習問題に取り組んでもらう。時々課題提出も求める。

履修上の留意点

出席を重視する。年間授業回数のおよそ三分の一以上欠席した場合は評価の対象からはずす。ただし出席さえしていればよいというのではなく、積極的に授業に参加することが肝要。そのために予習（最低限新しい単語を調べておくこと）が不可欠。

成績評価の方法

前・後期の試験の結果、授業への参加度、宿題の提出状況などから総合的に判断する。

教科書

佐藤著『アベセデフランセ』（白水社）2,500円 ISBN 4-560-06054-1 C3085

参考書等

仏和辞典（初回の授業で紹介）を授業時に必ず持参すること。出来るだけ電子辞書ではなく、紙の辞書を薦める。

その他

教科書はフランス人の発音を録音したCDつきなので、各自予習復習に大いに活用してほしい。

科目名	担当者名
フランス語 I A	いま げき 今 関 アン

講義のねらい	フランス語初級文法の確実な習得を目的し、フランス語検定試験5級程度の実力をつける。
講義の内容・授業スケジュール	文法の問題点を学生自身が発見し、読み・書き・話し・聞く、という全ての能力を使ってフランス語文法を身につける。
履修上の留意点	毎回必ず仏和辞典を持ってきて、実際に作業しながら授業を進めてゆく。宿題は必ずすること。欠席すると小テストに不都合が生じるので皆勤を目指して欲しい。
成績評価の方法	各単元毎の小テストを含む出席点50%、定期試験50%
教科書	伊勢晃、谷口千賀子著『ヴワラ！』（早美出版社）2,100円
参考書等	仏和辞典、清岡智比古『フラ語動詞、こんなにわかっていいかしら？』（白水社）1,500円。 『フラ語入門、わかりやすいにもホドがある！』（白水社）1,500円。

科外
国
目語

科目名	担当者名
フランス語 I A	こ だま なり お 小 玉 齊 夫

講義のねらい	初歩のフランス語文法を獲得することによって、より高度なフランス語を[理解]できるよう、その基礎をつくりたいと思います。読むことの基礎を固める授業と、話したり聞いたりするための基礎を固める授業とは、必ずしも同じ過程をたどるわけにはいかないのですが、時間が許すかぎり、この両者を並行して試みてみたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	一週に一課を終える速度で進んでいく予定です。各課の練習問題等は、宿題として提出してもらおうこともあると思います。
履修上の留意点	健康上やむを得ない時などを除き、可能なかぎり毎回出席して、授業に積極的に「参加」すること。フランス語の「音・字」に慣れ親しむよう、心がけること。
成績評価の方法	ふだんの授業参加の度合い、前期および後期の試験によって評価します。毎回の出席は義務(ならびに権利)です。「出席点」などというものは付けません。
教科書	田中 他著『さわやかフランセ』（朝日出版社）2,200円
参考書等	辞書等については、最初の授業で、指示します。

科目名	担当者名
フランス語 I B	桑田禮彰 <small>くわ た のり あき</small>

講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

講義の内容・
授業スケジュール

まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

林田遼右著『パリ散歩』（朝日出版社）2,600円＋税

参考書等

そのつど授業で指示します。

科外国語

科目名	担当者名
フランス語 I B	浜崎設夫 <small>はま さき せつ お</small>

講義のねらい

文法読本の教科書を使い、文法を復習しつつ初級の文章を読解できるようにする。またフランス文化に対する関心を強めてもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

発音の練習から始めて、約25回の授業で、最終段階の接続法まで進みたい。1課ごとにまず文法を説明し、文章の和訳と練習問題を宿題にする。レポートを2度出してもらう。

履修上の留意点

なるべく遅刻欠席をしないこと。必ず復習すること（予習は必要なし）。ノートを用意すること。毎回辞書を持って来ること。辞書は最初の授業で紹介する。

成績評価の方法

出席回数、宿題をやった回数、前後期の試験の成績、レポートの内容等に基づいて評価する。

教科書

山下『カイエ・ド・フランス』（駿河台出版）

参考書等

前もって買う必要はない。授業中に紹介する。

科目名	担当者名
フランス語 I B	遠山博雄 <small>とお やま ひろ お</small>

講義のねらい

ある程度まとまったやさしい文章やスケッチを読み取り、発音できるようになること。

講義の内容・
授業スケジュール

必要な文法事項の説明をしてから、辞書を使って応用していきます。リスニングと発音練習もあわせて行ないます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で取り組むこと。大きな声を出すこと。遅刻をして説明を聞きもらさぬこと。

成績評価の方法

筆記試験を2回行ないます。その中にリスニングも含まれます。

教科書

藤田裕二他著『新・東京－パリ、初飛行』（駿河台出版社）2,310円
ISBN4-411-01097-6

参考書等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	担当者名
フランス語 I B	まえ だ のり かず 前 田 祝 一

講義のねらい

まず、音としてのフランス語に慣れ親しんでもらうことを、第一の目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

生活上の基本語・基本動詞・基本文型を習得することが、この一年間のスケジュールです。

履修上の留意点

毎回の授業が新しいことの学習であり、その積み重ねで一年間の勉強が成り立っているのですから、欠席すれば先のことが分からなくなります。このことに留意しておいて下さい。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、出席状況や平常の課題なども考慮します。

教科書

中山真彦『新デパール』（白水社）2,100円

科目名	担当者名
フランス語 II A	と お や ま ひろ お 遠 山 博 雄

外国
目語

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章やスケッチを読み、発音すること。口語的な有用表現を覚えること。後期はフランスの社会や時事問題についての知識をフランス語を通じて学ぶこと。

講義の内容・授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずすませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に精読していきます。リスニングも行います。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で調べて取り組むこと。発音をおろそかにしないこと。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行ないます。その中にリスニングも含まれます。

教科書

澤田直之他著『アミカルマン』（駿河台出版社）2,625円 ISBN4-411-01093-3

科目名	担当者名
フランス語 II A	まえ だ のり かず 前 田 祝 一

講義のねらい

レベルを中級フランス語に設定します。したがって、一年生で学んだフランス語の後半部分を学習し直し、さらに豊かなフランス語の世界への参入を試みます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って進め、細かいニュアンスの把握にも挑戦しましょう。

履修上の留意点

初級フランス語 I A・I Bの単位の未修者は、自分で参考書などで勉強する覚悟でいて下さい。

成績評価の方法

基本的には前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、授業中の課題や出席の状況にも配慮します。

教科書

柳沢・小田切編『ギリシャ神話2——エロースとオルペウス——』（第三書房）1,200円

科目名	担当者名
フランス語ⅡA	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業で、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

荒木善太他著『ヴァリエテ・フランセーズ2006』（朝日出版社）本体1,900円+税

参考書等

そのつど授業で指示します。

科
外
国
語

科目名	担当者名
フランス語ⅡA	ぬま くら ひろ 子 沼 倉 広 子

講義のねらい

辞書を使いこなして文章を読む力をつける

講義の内容・授業スケジュール

フランスのさまざまな変化を多面的に取り上げて、写真や地図、グラフなどの資料、時にはビデオなどを見ながらフランスの今を理解する。

履修上の留意点

文法の勉強もするので、休まない事が肝要

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する

教科書

澤田直之・リリアヌ・ラタンジオ・黒川学著『アミカルマン—フランス語・フランス文化への誘い—』（駿河台出版社）2,625円

科目名	担当者名
フランス語ⅡB	はた なか ち あき 畑 中 千 晶

講義のねらい

リスニング力を強化しながら、フランス語でコミュニケーションする能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点

自宅学習とクラスでの活動を連動させることで、力が伸びていきます。宿題には必ず取り組むようにしてください。

成績評価の方法

前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題、小テストなど）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%

教科書

中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門（教科書版）』（白水社）1,800円

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・句型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

科外
国
目
語

中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・句型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円
 相原 茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円／『小型版』（2004年）2,800円

武信 彰『プログレッシブ中国語辞典』（1998年 小学館）3,500円／『コンパクト版』（2004年）2,600円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初学者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容を具えた優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』（2002年 白水社）7,800円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第2版〕』（1987年 大修館書店）8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元にあれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書館・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年 小学館）7,000円

倉石武四郎、折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年 岩波書店）5,000円

科外
国
目語

科目名	担当者名
中国語 I A	ふせ なおこ 布 施 直 子
中国語 I B	とく まよし 徳 間 佳 信

講義のねらい

中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

二人の教員が連携して授業をすすめる。基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙や文法、言い回しを身につける。

履修上の留意点

初めて学ぶ言語なので、授業での文法等の説明をしっかりと聞き、発音練習や作文練習に取り組むことが大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、授業中の積極性、小テスト、中間テスト、期末テストによって、総合的に評価する。

教科書

相原茂・陳淑梅『語学三十六景』（東方書店）2,520円

科目名	担当者名
中国語ⅠA	小栗山 <small>おぐりやま</small> 恵 <small>けい</small>
中国語ⅠB	大久保 <small>おおくぼ</small> 明 <small>あき</small> 男 <small>お</small>

講義のねらい	正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関わることを紹介したり、ビデオを見たりする予定。
履修上の留意点	中国語を学ぶ意義を十分に認識し、授業に意欲を持って臨むこと。毎回予習、復習が必要。
成績評価の方法	出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。
教科書	本間史・孟広学著『中国語ポイント42』（白水社）2,205円

科外
国語

科目名	担当者名
中国語ⅠA	工藤 <small>くどう</small> 早恵 <small>さえ</small>
中国語ⅠB	布施 <small>ふせ</small> 直子 <small>なおこ</small>

講義のねらい	中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	二人の教員が連携して授業を進める。基礎となる発音をしっかりとマスターした後、基本的な語彙や文法、言い回しを身につける。
履修上の留意点	初めて学ぶ言語なので、授業での文法等の説明をしっかりと聞き、音声練習や作文練習に取り組むことが非常に大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。
成績評価の方法	出席状況、平常点、小テスト・中間テスト、期末テストによって総合的に評価する。
教科書	相原茂 陳淑梅著『語学三十六景』（東方書店）2,520円

科目名	担当者名
中国語ⅠA	吉田 <small>よしだ</small> 建一郎 <small>たていちろう</small>
中国語ⅠB	佐藤 <small>さとう</small> 普美子 <small>ふみこ</small>

講義のねらい	中国語の発音のしかた、初級段階での基本文法を学びます。
講義の内容・授業スケジュール	二人の教員が連携して授業を進めます。発音の基礎をマスターした後、基本的語彙・表現を身につけます。
履修上の留意点	ともかく出席し、大きな声で発音しましょう。
成績評価の方法	小テスト（前後期各2回）、学期末テスト、出席状況によって総合的に評価します。
教科書	陳淑梅・蘇明『中国を歩こう』（金星堂）2,730円

科目名	担当者名
中国語 I A	しお 塩 ほか 旗
中国語 I B	しんいちろう 伸一郎

講義のねらい

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

北京ロケによる最新ビデオを楽しみながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の約半分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点

IA と IB が連動するので、必ずセットで履修すること。

なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、缺席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-缺席点。IA と IB は連続した通年授業だが、便宜上、前期の成績を IA に、後期の成績を IB に反映させる。

「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。

前期、火曜と土曜を合わせて缺席3回を超えると、1回につき10点ずつ減点する。遅刻は2回で缺席1回に換算する。

教科書

相原茂・李貞愛『北京コレクション入門篇』（朝日出版社）2,625円

科目名	担当者名
中国語 I A	さ とう 佐藤 ほか 藤 普美子
中国語 I B	しも のぶ 下出 宣子

講義のねらい

入門段階で最もたいせつな発音指導、発音記号（ピンイン）の習得、基本文法の概略の学習を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教師が一冊のテキストを用いて授業を行う。下出が文法説明を、佐藤がワードバンクと総合練習を分担する。発音練習、各課本文は二人で反復する。

履修上の留意点

大きい声を出して積極的に学ぶこと。出席は原則として皆出席のこと。

成績評価の方法

小テスト、平常点、出席状況、前・後期期末テストにより総合的に評価する。

教科書

陳淑梅・蘇明『中国を歩こう』（金星堂）2,600円 CD付。

参考書等

開講後紹介。

科目名	担当者名
中国語 I A	ほんま 由香利 本間 香利
中国語 I B	そう たいわ 曹 泰和

講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・授業スケジュール

単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味を IA で行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習を IB で行う。

履修上の留意点

予習、復習を行い、必ず出席して声を出して発音練習すること。

成績評価の方法

出席、課題、授業態度、テストで総合評価する。

教科書

楊凱栄・張麗群『中国語へのアプローチ』（朝日出版社）2,415円

参考書等

授業の中で紹介する。

科外
国
語

科目名	担当者名
中国語 I A	ふせ なおこ 布施直子 徳間 佳信
中国語 I B	

講義のねらい

中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教員が連携して授業を進めます。発音の基礎をマスターした後、基本的な語彙や文法、言い回しを身につけます。

履修上の留意点

初めて学ぶ言語なので、授業での文法等の説明をしっかりと聞き、音声練習や作文練習に取り組むことが非常に大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト・中間テスト、期末テストによって総合的に評価する。

教科書

相原茂・陳淑梅著『語学三十六景』（東方書店）2,520円

科目名	担当者名
中国語 I A	小栗山 恵 <small>おぐりやま けい</small>
中国語 I B	弘 兼 加奈子 <small>ひろ かねこ</small>

講義のねらい

中国語の基礎力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

当クラスは教師2名によるペアクラス (I A、I B) である。課文は20課から成り、当初は特に発音に力を入れる。

履修上の留意点

一日も欠席しないという気持で授業に臨んで欲しい。また、受講者には復習を中心に取り組んでもらいたい。

成績評価の方法

I Bでは、年間約4回の試験を行う。最終評価は、期末試験と平常評価によって総合的に判断する。

教科書

上野恵司著『標準中国語 基礎編』(白帝社) 2,100円

科外
国
語

科目名	担当者名
中国語 I A	工藤 早 恵 <small>くどう さ え</small>
中国語 I B	塩 旗 伸一郎 <small>しお はた しんいちろう</small>

講義のねらい

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

一年生3人のキャンパスライフを映したビデオを見ながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点

必ず中国語 IA・IB (火曜第4時限 工藤、土曜第1時限 塩旗) とセットで履修すること。なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにはいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-欠席点。
「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。
欠席は年間3回を超えると10点ずつ原点。遅刻は2回で欠席1回に換算する。

教科書

相原・陳・飯田『一年生のころ (改訂版)』(朝日出版社) 2,625円

科目名	担当者名
中国語 I A	上原 かがり うえ ほら
中国語 I B	下出 のがこ しも いで

講義のねらい

中国式ローマ字表記（ピンイン）の発音の練習から始め、簡単な対話文を通して基本的な表現方法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

使用する教科書は簡単な対話文を通して中国語の基礎を習得するよう構成されています。各課の基本会話文を口頭で練習した後、会話文に含まれる文法事項を確認したうえで練習問題に取り組みます。

上原（IA）、下出（IB）が同一教科書で授業を行ない、一人は主に文法的な説明を、もう一人は主に学習内容についての練習問題を担当します。

履修上の留意点

欠席せず、予習、復習を行ない、大きな声で積極的に授業に参加してください。

成績評価の方法

年間4回以上のテスト（前後期末試験を含む）、授業態度や発表などの平常点と出席率によって総合評価します。

教科書

陳淑梅、蘇明『中国を歩こう』（金星堂）2,730円

参考書等

授業中に紹介します。

科外
国
目
語

科目名	担当者名
中国語 I A	本間 由香利 ほん ま ゆかり
中国語 I B	曹 泰和 そう たいわ

講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・授業スケジュール

単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味を IA で行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習を IB で行う。

履修上の留意点

予習復習を行い必ず出席して声を出して発音練習すること。

成績評価の方法

平常点（出席、授業態度）、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。評価は A、B 担当教官がそれぞれ行います。

教科書

楊凱栄・張麗群『中国語へのアプローチ』（朝日出版社）2,415円

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名
中国語 I A	吉田 建一郎 よし た たていちろう
中国語 I B	佐藤 普美子 さとう ふみこ

講義のねらい

中国語の発音のしかた、初級段階での基本文法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教員が連携して授業を進めます。発音の基礎をマスターした後、基本的語彙・表現を身につけます。

履修上の留意点

ともかく大きな声を出しましょう。そして、欠席しないこと！

成績評価の方法

小テスト（前後期各2回）、学期末テスト、出席状況によって総合的に評価します。

教科書

陳淑梅・蘇明『中国を歩こう』（金星堂）2,730円

科外国語

科目名	担当者名
中国語 I A	塩旗 伸一郎 しお はた しんいちろう
中国語 I B	張 渭 涛 ちよう い とう

講義のねらい

中国語の音声の魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

一年生3人のキャンパスライフを映したビデオを見ながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。
音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点

必ず中国語 IA・IB（火曜第4時限塩旗、土曜第1時限張渭涛）セットで履修すること。
なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-缺席点。
「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。
缺席は年間3回を超えると10点ずつ原点。遅刻は2回で缺席1回に換算する。

教科書

相原・陳・飯田『一年生のころ（改訂版）』（朝日出版社）2,625円

科目名	担当者名
中国語ⅡA	橋本幸枝

講義のねらい	あまり長くなく、比較的読み易い文章をきちっと読めるようになることを目指す。既習の文法を定着させ、更に補語や複文表現を学ぶ。また発音をしっかりと習熟させる。
講義の内容・授業スケジュール	本文がきちっと訳せるかチェックし、単語の意味、文章構造、文法事項を解説する。練習問題により理解できたか確かめる。2週間に1課の目安で進めていく。
履修上の留意点	欠席しないように。課題をしっかりとやってくること。
成績評価の方法	出席状況、授業態度、課題、前後期の期末テストで総合的に評価する。
教科書	王曙光『中文大世界』（白帝社）2,625円

外国語
科目

科目名	担当者名
中国語ⅡA	福地桂子

講義のねらい	自分で辞書をひいて、簡単な文章が読めることを目指す。 文法は中国語Ⅰで学んだ基礎を定着させ、さらに接続詞を使った複文を学ぶ。 中国語Ⅰに引き続き、正確な発音の練習に力を入れる。 中国の社会文化に対する理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	中国事情を紹介した文章を読む。 文法事項を体系的に把握する。 下記の教科書を用い、だいたい2週間に1課の進捗で進めていく。
履修上の留意点	必ず予習してくる。
成績評価の方法	前後期（各2回）の総合テスト、小テスト、授業での発表内容（予習してあるかどうかを重視）、出席状況を総合して評価する。
教科書	顧明耀ほか『系統的に学ぼう中国語Ⅱ 中級読解コース』（白帝社）1,890円

科目名	担当者名
中国語ⅡA	李雲

講義のねらい	講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。
講義の内容・授業スケジュール	下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進捗で授業を進めていく。
履修上の留意点	授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。
成績評価の方法	出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。
教科書	三宅登之・張国璐・石黒ひさ子『公式でわかる初級中国語』（朝日出版社）2,310円

科目名	担当者名
中国語ⅡA	弘兼加奈子

講義のねらい

全12課の課文を通し、中国人の生活面における日本との違いを紹介していく。翻訳が中心となるが、発音・声調も重視し、読みにも力を入れる。

成績評価の方法

成績は年間約4回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

張継濱・小川文昭『中国ってどんな国?』(白水社) 2,100円

科目名	担当者名
中国語ⅡA	秋元翼

講義のねらい

日本語の中に溶け込んでいる故事成語の由来を中国語で読んでいく。初級文法を復習しながら正確な意味の把握ができるよう読解力を養う。

履修上の留意点

新しい単語がたくさん出てくるので予習・復習を欠かさず授業に臨むこと。また、音声面もおろそかにしたくないので、目で字を追うだけでなく、音読にも力を入れたい。出席を重視する。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

荒屋勸『日本に生きる中国語-故事成語編-』(朝日出版社) 1,785円

科目名	担当者名
中国語ⅡA	佐藤普美子

講義のねらい

中国語Ⅰで習った文法事項を復習しながら最後のユニットでは中国人が書いた文章を読めるように、段階的に学習を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

各課の本文は「暗記」、練習問題は「宿題」とし、翌週にチェックします。

履修上の留意点

ともかく「出席する」と、声に出して課文を復習することが大切です。

成績評価の方法

前後期末試験、出席点、暗記・宿題等の平常点を総合して評価。

教科書

董燕・遠藤光暁『読む中国語』(朝日出版社) 2,310円

科外国語

科目名	担当者名
中国語ⅡA	李 雲

講義のねらい	講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。
講義の内容・授業スケジュール	下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進度で授業を進めていく。
履修上の留意点	授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。
成績評価の方法	出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。
教科書	阪口直樹等『ストラクチャー—構造から学ぶ入門中国語』（朝日出版社）2,415円

外国
語

科目名	担当者名
中国語ⅡA	岩崎 皇

講義のねらい	中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙量を増やすことが目標です。テキストはウイグル族に伝わる小話集ですが、主人公阿凡提の名を知らない中国人はいないほど、広く親しまれています。
講義の内容・授業スケジュール	授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、7回を越えた場合は試験結果に関わらず成績評価をしませんから注意してください。
成績評価の方法	4分の3以上の出席を前提に、授業態度、試験結果から評価します。試験は年間4回行います。授業中に日時範囲等説明しますから、欠席しないよう注意してください。
教科書	大川完三郎『阿凡提的故事』（朝日出版社）1,260円

科目名	担当者名
中国語ⅡB	根岸 政子

講義のねらい	1年次に習得した基本文法を復習しながら、身近な会話をもとにして「読む」「聞く」「話す」を中心とした中国語の習得をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	会話を中心としたテキストを使用し、3回で2課のペースで進めていく。
履修上の留意点	平常の反復練習が上達への鍵であるから、大きな声を出して何回も読むこと。必ず予習を行うこと。
成績評価の方法	前期後期の試験、小テスト、出席状況、授業への参加度などで評価する。
教科書	石慧敏・金子眞也『上海びより』（好文出版）2,100円

科目名	担当者名
中国語ⅡB	あきもと たすく 秋元 翼

講義の内容・
授業スケジュール

会話で使う基本的な表現を聞いて分かり、口に出して発音できるようにする。初級文法も復習しながらヒヤリング・会話力の基礎を養う。

履修上の留意点

音声面を主にした授業なので、できるだけ教科書から目を離して耳と口を働かせること。授業以外でもCDを聞いて中国語の音やリズムに慣れるようにして欲しい。出席を重視する。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

胡金定・吐山明月『改訂版 はじめての中国語会話ツール24』（同学社）2,625円

科外
国
目語

科目名	担当者名
中国語ⅡB	いわさき りし 岩崎 皇

講義のねらい

授業は中国語の音声的訓練が中心になります。授業中はきちんと声を出すよう努力してください。本文を覚えることが何より大切です。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストに沿って、付属のビデオを見ながら、進めていきます。実際の画像を見ることによって雰囲気まで理解できることでしょう。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、7回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提に、授業態度、テストによって評価します。テストは年間4回以上行います。欠席しないよう注意してください。

教科書

遠藤光暁「話す中国語北京篇2」（朝日出版社）2,625円

[スペイン語]

科目名	担当者名
スペイン語 I A	佐藤 佐知

講義のねらい

スペイン語文法をテキストに沿って初級から学び、基礎的な文法知識をもとに作文・読解・会話練習を行い、実践的な語学力を身に付ける。あくまでも「言葉」としてのスペイン語を習得することを目的とし、活用などの文法事項の暗記にとどまらず、表現力に重点を置いて授業を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

2～3回の授業でテキストの一课を終えるペースで進む。テキストの練習問題では不十分な箇所については、その都度プリントによって補っていく。
 <前期>現在形を中心に学び、自己紹介や身の回りの日常的な事柄についてスペイン語で語れるようになる事を目指す。
 <後期>その他の直説法時制を学び、会話練習を取り入れることによってスペイン語運用能力の向上を図る。

履修上の留意点

授業の予習をしてくる事。分からない単語の意味などは事前に各々が調べてあることを前提に授業を行う。また復習の手助けとするための小テストを随時行う。

成績評価の方法

平常点（出席率や小テストの点数、提出物など）と、学期末の定期試験の両方を考慮に入れて評価する。

教科書

福島教隆著『生き活きスペイン語』（朝日出版社）2,000円

参考書等

辞書などは初回の授業で紹介する。

その他

授業はテキストに沿って進めるが、学生の積極的な授業参加を求める。テキストで足りない部分はその都度プリントなどで補うことにする。

科外国語

科目名	担当者名
スペイン語 I A	ルイズティノコ, C.

講義のねらい

この授業ではスペイン語の文章を読んで、練習をしながら文法の構造や表現に徐々になれ、基本的な会話能力を身につけることが目標である。

履修上の留意点

毎回の練習は重要なので積極的に参加してください。

成績評価の方法

前期と後期の成績と授業参加の状態で評価します。

教科書

西川著『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）

科目名	担当者名
スペイン語 I A	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科外
国
語
目
語

科目名	担当者名
スペイン語 I A	ナバロ, ホワン J.

講義のねらい

スペイン語の初歩を学びます。基本文法とやさしい会話の習得を目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。

履修上の留意点

出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。

成績評価の方法

出席と2回の期末試験の結果で評価します。

教科書

ホワン・J・ナバーロ『*Español dinámico*』（印刷中）

科目名	担当者名
スペイン語 I B	さ とう まりの 佐 藤 麻里乃

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書にそって解説と練習を行う。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。また必要に応じて適宜小テストを行う。

履修上の留意点

教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。宿題が出たら必ずやってくること。

成績評価の方法

主として試験によるが、授業態度が悪い場合はさらに減点の対象となることがある。

教科書

アルトゥーロ・パロン・ロベス他『スペイン語で行こう!』（朝日出版社）

参考書等

『クラウン西和辞典』（三省堂）

その他

土曜・2限

科目名	担当者名
スペイン語 I B	佐藤 麻里乃

講義のねらい	文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。
講義の内容・授業スケジュール	教科書にそって解説と練習を行う。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。また必要に応じて適宜小テストを行う。
履修上の留意点	教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。宿題が出たら必ずやってくる。
成績評価の方法	主として試験によるが、授業態度が悪い場合はさらに減点となる。
教科書	福冨教隆『生き生きスペイン語』（朝日出版社）
参考書等	三省堂『クラウン西和辞典』
その他	土曜・1限

科外国語

科目名	担当者名
スペイン語 I B	米田 博美

講義のねらい	「スペイン語は神様と話す言葉である」とよくいわれます。アメリカ合衆国では、ヒスパニック（スペイン語系アメリカ人）人口が約4000万弱と勢力を拡大しつつあり、一昨年のアメリカ大統領選挙では、ブッシュ、ケリー両候補とも、スペイン語で演説をしたほどです。4億を越え、世界20カ国で話される言葉は背景にあるスペインやラテンアメリカ（ラ米）の文化と共に魅力に富んでいます。将来、諸君は仕事や観光で、スペインやラ米などスペイン語圏諸国を訪られることでしょうか。本年は、メキシコと日本との自由貿易協定を含む経済連携協定も発効し関係が強化されます。アメリカ合衆国とラ米全域を対象とした自由貿易協定が結ばれる可能性もあり、スペイン語を母国語とする多くのラ米諸国の発展が予想され、日本との結びつきも益々深まることでしょうか。その意味で、スペイン語は重要な言語です。安易な考えでなく、各自、強い目的意識と希望をもって新たな挑戦をしてください。
講義の内容・授業スケジュール	年間スケジュールとして、下記テキストの1～8課までの範囲を学習します。
履修上の留意点	スペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、語学の学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、欠席をしないように。
成績評価の方法	成績は、一般の授業態度、出席、テストなどにより総合的に判断します。
教科書	エクトル・ルエダ・デ・レオン、富士祥子著『日本人のためのスペイン語』（エクセルシア社）
参考書等	辞書は、各自自由に選択して下さい。参考までに、『現代スペイン語辞典』（白水社）、『和西中辞典』（小学館）、『新スペイン語辞典』（研究社）などを推薦しておきます。
その他	文法事項の説明は一方的なものとならないよう、双方向的な授業形態をとり、発音も重視します。また、スペイン語圏の文化や社会についても関心を深めることができるようコメントもする考えです。

科目名	担当者名
スペイン語ⅠB	栗林 ゆき絵

講義のねらい

基本的な単語や挨拶のほか、基本的な文法事項を整理してスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に応用できることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、文法事項の説明と、それを応用した練習問題、という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形を中心に学習する。随時、小テスト（活用・単語）を実施。

履修上の留意点

随時小テストを行うので、少しずつ文法や語彙を身につけていってほしい。

成績評価の方法

小テスト30%（日程は授業中に指示）、前後期の期末試験70%。半期で5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。

教科書

西川喬『さあ、始めようスペイン語』（同学社）2500円

参考書等

〈辞書〉『プログレッシブ スペイン語辞典』（小学館）

外国
言語

科目名	担当者名
スペイン語ⅠB	荻野 雅 司

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communicationがより容易に行えるようにします。
さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行なうことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行います。総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

教科書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（弘学舎）

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA	真下 祐一

講義のねらい

一年次に学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の目次に沿って授業を進めます。一年次の復習の後、動詞の接続法の活用まで学びます。授業中に練習問題のプリントを配布します。

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。

教科書

東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロースペイン語初級一』（朝日出版社）

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA	うえの かつひろ 上野 勝広

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した基礎（発音・文法・語彙）を確認しながら発展させるクラスです。また日本文化をスペイン語でいかに表現するかについても触れてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～4課まで、後期は5課～7課を解説します。同時にプリントを配布し、口頭および筆記の練習を追加します。
またテキスト後半のエッセイを随時取り上げ、読解力の向上を図ります。

履修上の留意点

休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。授業には必ず辞書を持参すること。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

荻野 恵／サンティアゴ・マルティン『基礎固めのスペイン語』（同学社） 2,500円

科外国語
目録

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA	おお いわ いろは 大 岩 功

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりとやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平他著『スペイン語・基礎と演習』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名**担当者名**

スペイン語Ⅱ A

ま し も ゆ う い ち
真 下 祐 一**講義のねらい**

一年次で学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の目次に沿って授業を進めます。一年次の復習の後、動詞の接続法の活用まで学びます。授業中に練習問題のプリントを配布します。

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。

教科書

東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロースペイン語初級一』（朝日出版社）

科外
国
語**科目名****担当者名**

スペイン語Ⅱ B

お お し わ い き ぶ
大 岩 功**講義のねらい**

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを勘案して総合的に評価します。

教科書

福嶋教隆著『生き活きスペイン語』（朝日出版社）
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

参考書等

推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見ずごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは大いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

科目名

担当者名

ロシア語 I A

すぎやま ひでこ
杉山 秀子

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科外国語目録

科目名

担当者名

ロシア語 I A

まのあさこ
佐野 朝子

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名**担当者名**

ロシア語ⅠB

ひろ た ひで やす
廣 田 英 靖**講義のねらい**

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 - 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
 - 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 - 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 - 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前期は発音、イントネーションに重点をおき、後期はやさしい短文の読みや初級文法のエッセンスを学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

参考書等

『露和辞典』

科外
国
語**科目名****担当者名**

ロシア語ⅡA

きむら ひで あま
木 村 英 明**講義のねらい**

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年次に使用した教科書と文法表。

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科目名**担当者名**

ロシア語ⅡA

すぎやま ひでこ
杉山 秀子**講義のねらい**

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

『やさしいロシア語読本』(杉山秀子他著)(大学書林)、一年次にわたした文法表。

参考書等

露和辞典

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科外国
目語

科目名**担当者名**

ロシア語ⅡB

さの あさこ
佐野 朝子**講義のねらい**

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

平常点で評価する。

教科書

『やさしいロシア語読本』(大学書林)を使用します。

その他

プリント配布。

〔再履修クラス〕

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	まつ とう ひろ こと 松 堂 啓 子

講義のねらい	リスニングを含む演習を通して、基礎力を補強する。
講義の内容・ 授業スケジュール	本講義では、リスニング、文法読解を総合的に学習する。音声教材の利用で日常使われる頻度の高い表現を身につけ、文法、語法の学習で文章構成力を高める。様々な文章、文体に意識的に触れ、英語の表現に慣れるようにする。
履修上の留意点	出席を重視する。単位取得には、三分の二以上の出席が必要。
成績評価の方法	小試験・期末試験等を総合的に評価します。
教科書	『Power-Up English 〈Basic〉』（南雲堂）ISBN4-523-17449-0

科外
国
語

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	いわ い ひろ み 岩 井 洋 美

講義のねらい	自分の事や身近な事をライティング、スピーキングの両面でやりとりすることを目指します。
講義の内容・ 授業スケジュール	テキストやプリントを用いて口頭での質疑応答、聞き取り、英作文の練習問題を行い、基本的な表現を習得しながら単語力をつけ文法を確認します。復習テストを度々行う予定。
履修上の留意点	欠席、遅刻をしないことと1回めの授業に必ず出ること。授業態度も重視します。追試験や課題は行いません。
成績評価の方法	出席、授業態度の平常点と前・後期試験、不定期のテストで評価します。
教科書	未定

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	まきの てる よし 牧 野 輝 良

講義のねらい	英文構造の理解をめざす。
講義の内容・ 授業スケジュール	毎時間リーダの部分を読み、その後日本語に訳し提出すること。
履修上の留意点	かならず出席し、指名されたら和訳出来るように予習しておくこと。
成績評価の方法	3課進む毎に和訳の小テスト、毎時間の和訳の提出、期末テスト等により総合的に評価する。
教科書	田本&Sanada 著『基本英語表現』（成美堂）1,600円 ISBN4-7919-4907-2 C1082

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	はぎわら 萩原 てる 輝

講義のねらい	英語による意志伝達能力の向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進めながら、その内容についての意見を英語で表現してもらう予定。
履修上の留意点	辞書を持参して欲しい。
成績評価の方法	授業態度、出席、提出物、前期、後期の試験等の総合評価。
教科書	J. グレイ・高橋・他著 World Companies『世界のリーディングカンパニー』（弓プレス） ISBN4-8034-1228-6 C1082

科外国
目語

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	はなわ 美 美智子

講義のねらい	英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。
履修上の留意点	辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。
成績評価の方法	日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。
教科書	『Appreciating European Culture』—生まれ変わるヨーロッパ— (成美堂) 1,800円
参考書等	その都度黒板に板書し案内する。
その他	大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える努力をする。

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	かわ さき えみ 川崎 笑佳

講義のねらい	入学時の英語能力を基盤として、意思伝達能力の向上を目的とする。本授業では、テキスト、また必要に応じてその他の教材を用いて指導を行い、パラグラフの構造を確認してもらいながら基本的な英文から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。また、TOEIC、TOEFLなども授業に取り入れる予定。
履修上の留意点	毎回授業の中で英作文を提出してもらうので、和英辞書は必須。
成績評価の方法	3分の2以上の出席および毎回の提出物、発表内容、授業態度をもとに総合的に評価する。
教科書	『Enjoy Writing for Everyday Use』（北星堂）1,600円 ISBN4-590-01179-4

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	おお たく ゆきこ 太 田 由 紀 子

講義のねらい	アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの『自伝』を教材とすることで、様々な種類の英語表現に親しむ。また彼の監督・主演映画の鑑賞を通じて会話やナレーションに馴染み、自ら応用できるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	『自伝』や映画から得られるいろいろの英語表現；具体的には状況説明文、意見や感想文、手紙、会話などをまず理解し、次にこれを応用して自己表現力を養う。
履修上の留意点	予習・復習をすること。
成績評価の方法	授業時の応答、前期・後期の試験結果を総合する。
教科書	Charles Chaplin, <i>My Autobiography</i> (Penguin Modern Classics Non - Fiction) UK £9.99 ISBN : 0141011475

科外
国
語
目
録

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	ひ やま すすむ 椛 山 晋

講義のねらい	英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 基礎を固める。(後期) 応用力を伸ばす。
履修上の留意点	私語厳禁。授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等は自己管理すること(問合せには応じない)。携帯電話を授業中に鳴らした者は退室。毎回小テストを行う。
成績評価の方法	出席が最重要。小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に不合格。3回以上連続して欠席した場合は説明する文書と診断書等を提出(未提出者は名簿から削除)。
教科書	第一回目の授業で指示。

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	いわ はら やす お 岩 原 康 夫

講義のねらい	英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。
講義の内容・授業スケジュール	クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらおう。
履修上の留意点	学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。
成績評価の方法	前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。
教科書	<i>Cultivating Writing Skills</i> (朝日出版) 2,000円 ISBN 4 - 255 - 15280 - 2

科目名

担当者名

英語 I A〔再クラス〕

丸小哲雄

講義のねらい

広告の読みと理論。広告なくして、資本主義は生き延びることはできない。商品に夢を与え、不快なものはすべて経済市場から追放します。夢と引き替えに広告は、世界に起こっているさまざまなことを隠蔽し、人間の不快な側面や非民主主義的なるものを覆い隠します。広告は人々の欲望を管理しているので、消費者として解放される必要性から喪失した主体性の復権のための広告論を扱います。

講義の内容・授業スケジュール

英文法は総理解として、リーディングによって読込みと思考を促進し、発信型のコミュニケーション力を補完していきます。

履修上の留意点

質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習が前提条件です。私語は厳禁。

成績評価の方法

出席、平常テスト、レポート作成課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。

教科書

Decoding Advertisements (英宝社)
A Complete College English Program Book 3 (金星堂)
 ISBN4-7646-3813-9

参考書等

随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

科外国語

科目名

担当者名

英語 I B〔再クラス〕

高見陽子

講義のねらい

英文を読む速度をあげ、より多くの情報を短時間に得る力を伸ばすことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

英文を「理解しながら読む」練習としての速読を重視します。

履修上の留意点

必ず辞書を持参し、各自のレベルに応じて予習すること。授業では内容を確認するための精読も行いますので、復習は全員必ずすること。

成績評価の方法

前・後期末試験の結果をもとに、平常点と小テスト・レポート等の結果を勘案し、総合的に評価します。また、全授業回数のうち3分の2以上の出席を条件とします。

教科書

土屋武久、Robert Hickling、本多吉彦、*A Complete College English Program* 『大学英語総合ナビゲーター リメディアル・グラマー編 (Book 3)』(金星堂) 1,900円
 ISBN4-7647-3813-9

科目名	担当者名
英語 I B [再クラス]	澤田真弓

講義のねらい

テーマ別に英語で書かれた短いエッセイを読み、文法事項について確認しながら、さまざまな英語表現を学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。

履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。

教科書

杉本豊久、孝子共著『*In-Depth Reading* パラグラフの読みと深化』(南雲堂) 1,900円 ISBN4-523-17457-1

外国
言語

科目名	担当者名
英語 I B [再クラス]	江田幸子

講義のねらい

英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折ビデオを観て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。

英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現法が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのに適しているでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めていきますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。

成績評価の方法

再履修クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数の多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出しますが欠席者は0点になります。

教科書

『*Base Line*』(南雲堂) 1,800円 ISBN4-523-17503-9

科目名	担当者名
英語 I B [再クラス]	相馬美明

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。プリントを用いた文法問題、及び教科書による読解問題を通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、様々な検定対策も対応すべく、TOEICのリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

全授業日数の3分の2以上の出席を基本とし、前・後期に行う試験、及び授業で行う小テスト、また授業態度等を総合的に評価する。

教科書

Hiroko Nishida・William Gudykunst『*American Communication Patterns*』(金星堂)1,200円
Mitsuho Sugawara『*10-Minute Listening (Introductory)*』(桐原書店)780円

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	高柳文江 <small>たか やなぎ ふみ え</small>

講義のねらい	英文の逐一の翻訳ではなく、英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	簡潔な文章を基に現代アメリカの文化と社会を色々な角度から考察します。授業では Reading だけでなく Listening にも重点が置かれ、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題により、更なる理解を深めるよう構成されています。
履修上の留意点	授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には 2 / 3 以上の出席が要求されます。座席指定。
成績評価の方法	試験（前期試験、後期試験）60%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み）40%。
教科書	『Looking at America』（成美堂）1,600円 ISBN4-7919-4009-1 C1082

科外国語

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	大淵利春 <small>おお ぶち とし はる</small>

講義のねらい	英文によって、身近なできごと、世界情勢等についての知識を学び、さらには自分の意見を述べたり、書いたりすることができるようになるための基礎的学習をおこないます。
講義の内容・授業スケジュール	やさしい英文で書かれているニュースを読み、それに関連する練習問題—単語、idioms、英作等に挑戦し、学習します。
履修上の留意点	授業は予習を必ずしておくこと。
成績評価の方法	日常の発表、出席重視し、小テスト、前期、後期の試験の結果を総合して評価します。
教科書	未定

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	西村祐子 <small>にし むら ゆう こ</small>

講義のねらい	英語の読み書きだけでなく聞き、話すことに中心をおいたクラス。CDROM を中心に聞き取り力をアップさせ、さらにフラッシュカードを多用して授業で学習した英語の基礎構文を暗記してゆくことで作文力をつける。口頭練習を奨励することで話す力をつける。
講義の内容・授業スケジュール	前期：教科書 UNIT 1-11まで。各ユニットごとに重要構文を暗記する。口頭および筆記試験。（各ユニットごと） 後期：UNIT12-22まで。各ユニットごとに重要構文を暗記する。口頭および筆記試験（各ユニットごと）
履修上の留意点	出席重視だが、30分以上の遅刻は欠席扱いとする。授業中の口頭発表や聞き取り試験を受けない場合は点数がつかない。
成績評価の方法	口頭練習の後の発表、聞き取り試験などを平常点として重視する。出席点を3分の1とし、残りの3分の2は発表と聞き取り試験で採点する。
教科書	Essential Listening 3 (Macmillan)

科目名	担当者名
英語ⅠB〔再クラス〕	飯沼好永

講義のねらい	様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて習得することに努める。
履修上の留意点	リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加してください。特に英語に対して苦手意識のある人は、予習に力を入れてください。
成績評価の方法	出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）
教科書	<i>Leading Companies in the 21st Century</i> 「21世紀の企業—成功の舞台裏」 松柏社 1,900円 ISBN4-88198-566-3

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	菅原典子

講義のねらい	テキストとプリントを併用して、英語の運用能力向上をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進めながら、さまざまなジャンルのプリントを使用します。
履修上の留意点	授業は予習をしてくること。
成績評価の方法	前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、態度等を入れて総合的に評価します。
教科書	熊井信弘/Stephen Timson 共著 <i>Smash Hit Listening Revised Edition</i> 『ロック&ポップで楽しむ初級リスニング・改訂版』（マクミランランゲージハウス）2,100円 ISBN4-89585-480-9 C3082

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	太田美智子

講義のねらい	コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストに沿って授業をすすめる。時にはプリントや映像を使用する。
履修上の留意点	必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。
成績評価の方法	平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。
教科書	『Access To The Future』（南雲堂フェニックス）

外国
語
目
録

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	佐藤江里子

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。基礎的な英語表現を身につけることをめざす。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。

成績評価の方法

前期後期試験（50％）と平常点（50％）による総合評価。平常点には出席状況、授業態度、小テストが含まれる。

教科書

教場にて指示。

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	岡崎寿一郎

講義のねらい

子供は6才で基本的な文法力を、10才で基本的な抽象能力を、大学の二、三年で高度な抽象能力を獲得します。それ故、英語の学習にあっても、基本的な文法の理解から出発します。文の五型・日本語の文法概念にはない冠詞・前置詞の理解と修得を徹底し、練習問題の活用を通して、ラディカルな文章表現能力の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの正確な理解のため、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価の出席（50％）、前期試験に代わる夏季レポート（25％）、後期試験（25％）の総合評価。

教科書

丸小哲雄編注『こだわりのライフスタイルから見た日本の環境』（英宝社）1,800円

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	吉江正雄

講義のねらい

英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

H. G. Wells の "A Short History of the World" というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしっかりとした日本語として理解出来る文章になるように指導する。

履修上の留意点

予習を必ずし、問題意識をもって授業に参加し、質問するようにして欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。

成績評価の方法

前・後期試験の結果に、平常点（授業中での発表）を加味して評価する。出席点は無い。すなわち、学生は全時間数の三分の二以上出席して始めて受験資格（単位取得の資格）を得ることになる。

教科書

H. G. Wells 著『A Short History of the World』（ウェールズの簡約世界史）（こびあん書房）

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	澤田真弓

講義のねらい

テーマ別に英語で書かれた短いエッセイを読み、文法事項について確認しながら、さまざまな英語表現を学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。

履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。

教科書

Bill McLain 著、長阪朱美編注『Do You Know? 世界の面白・ミニストーリー』（金星堂）
1,800円
ISBN4-7647-3750-7

科外
国
目語

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	矢島直子

講義のねらい

英語を聞いて、聞いたものをくり返す練習と書く練習をして、表現力をつけてもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを聞き、読んで、意味を理解し、質問に答え、課題を書いてもらいます。1年間で教科書を1冊終える予定です。

履修上の留意点

どんどん当てますから、単語の意味だけでなく、内容も分ってから、授業にのぞんで下さい。

成績評価の方法

日常点と、前期末・後期末試験とを、総合的に評価します。原則として、全出席数の3分の1以上欠席すると、受験資格がなくなります。

教科書

James Bean, Listen to this ! [Intermediate] (成美堂) 2,400円
ISBN4-7919-4579-4

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	外池一子

講義のねらい

現在日本や世界でいろいろ議論を巻き起こしているテーマを取り上げて、それらの問題について英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基礎的な英語の力（読む・書く）があることを確認します。（e-learning教材を使用する場合があります。）後期はさまざまなテーマについて英語で意見を述べる訓練をします。

履修上の留意点

コンピューター教室を使用する場合がありますのでユーザーIDおよびパスワードを取得しておく事。基本的なコンピューターの操作ができることが望ましい。

成績評価の方法

平常点30-40%、前期および後期の試験60-70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示します。（e-learning教材使用の場合、教材費4,000円）

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	山岸二郎

講義のねらい すでに学んできた文法を整理し、それを活用して Reading から Writing への発展を目指す。

講義の内容・授業スケジュール Reading で文法知識を活性化させて、練習問題でその定着を図る。随時関連した Writing を追加する。

履修上の留意点 予習しておくこと。

成績評価の方法 平常の学習、小テスト、前・後期のテスト等総合的に評価する。出席重視。

教科書 *Ins & Outs* (金星堂) 1,700円
ISBN4-7647-3812-0 C1082

科外国
目語

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	佐藤江里子

講義の内容・授業スケジュール テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。基礎的な読解力を身につけることをめざす。

履修上の留意点 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。各自目標をもって積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法 前期後期試験 (50%) と平常点 (50%) による総合評価。平常点には出席状況、授業態度、小テストが含まれる。

教科書 教場にて指示。

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	長谷川公一

講義のねらい マザー・テレサは、インド・カルカッタの貧民街で生活苦にあえぐ人々のために、献身的な行動で一生を貫いたカトリック尼僧である。この教科書では、マザー・テレサの生き方を知り、考えてみたい。

成績評価の方法 出席率プラス前後期2回のテストによって採点します。

教科書 『マザー・テレサ』(桐原書店) 388円

その他 月曜日・4時限目

科目名**担当者名**

英語ⅡB〔再クラス〕

川手 浩一
かわ て ひろかず**講義のねらい**

本書は大学における英語の総合教材として作成されたものである。特に現代アメリカの文化と社会をいろいろな角度から考察し、ひいては我が国の将来の方向を模索する手がかりになればと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめながら日常的な衣食住に至るようなアメリカの局面を扱っていく。

履修上の留意点

授業は予習、復習し練習問題をかならずしてこる。

成績評価の方法

日常の学習を重視し、前期後期の試験の結果を入れて総合的に評価します。

教科書

『Looking at America 素顔のアメリカ』（誠美堂）1,600円 ISBN4-7919-4009-1

科外国語
目録

科目名**担当者名**

英語ⅡB〔再クラス〕

長谷川 公一
はせがわ こういち**講義のねらい**

現代のアメリカ人は、いったいどうゆう生活を送っているのだろうか。ごく普通のアメリカ人の学校での生活、家庭、ショッピング、健康状態、デートなどの活動を取材し、現代の日本人の生活と比較しつつ、実像に迫ってみたい。

成績評価の方法

出席率+前後期2回のテストで評価します。

教科書

『ちょっと日米比較』（南雲堂）1,400円

その他

月曜日・5時限目

科目名**担当者名**

英語ⅡB〔再クラス〕

前田 脩
まえだ おさむ**講義のねらい**

英文を丁寧に読むことで、異なる文化の思考過程の順路をたどってみます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進める一方、テキストにあった英文ニュースをコピーして使用します。

履修上の留意点

授業は予習し、積極的に参加してほしい。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期後期の試験の結果を含めて総合的に評価します。

教科書

「西洋文化の歩み」金星堂 1,300円 ISBN4-7647-0368-8 C3082

科目名

担当者名

英語ⅡB〔再クラス〕

おちあいかずあき
落合和昭

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階は、ヒヤリングや書き取りのなかで使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第四段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前・後期定期試験が全評価の40%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約20回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業中に、最低一回は当てるつもりである）。出席率が3分の2を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

『5分間口語英語表現』（南雲堂）900円
『ミーティング・ピープルⅡ』（弓プレス）1,600円
ISBN4-8034-1180-8 C1082

外国
目語

科目名

担当者名

英語ⅡB〔再クラス〕

ほんまとしかず
本間俊一

講義のねらい

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

Checknote For Business Trends（金星堂）1,100円
ISBN4-7647-3717-5

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	尾形重政

講義のねらい	英語IBを基礎として、さらに多くの量を読めるように大意の把握に心がけ、読む速度をアップさせることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進めると同時に、英字新聞の記事やTOEIC等の問題も使用します。
履修上の留意点	授業は予習してくる。また、辞書を持参すること。
成績評価の方法	積極的な授業態度を重視し、試験結果を入れ総合的に判断します。
教科書	LOOKING BACKWARD - <i>Major Events of the 20th Century</i> 事件でたどる20世紀 (南雲堂) 1,800円 ISBN4-523-173141-1

外国
語

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	手島敬子

講義のねらい	本科目では「英文読解力向上」を目標に出来る限り多くの英文を読むことで英文に慣れ、読解力および読解速度を引き上げることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率よく、また的確に内容を読み取る練習を行っていきます。
履修上の留意点	英和辞典を必ず持参。
成績評価の方法	中間、定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的にを行います。
教科書	開講時指示

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	もとほしうら 本橋右京

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。やさしい例文にできるだけ多くあたり、運用能力の涵養を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

文法をアルファベット、発音から復習します。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに毎時間配布する練習問題で理解を確かなものとしします。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

諏訪田清『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）

科外国語

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	ししまとみえ 志真斗美恵

講義のねらい

ABCの発音からはじめて、ドイツ語の初級文法の基礎を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にしたがって、発音練習をし、文法事項を説明した後、その内容を理解するための練習問題を課し、提出していただきます。

履修上の留意点

さまざまな理由で再履修になった方、編入学した方が受講していると思います。授業に参加していれば理解できる内容です。新しい語学を覚えるのは楽しいことです。休まず出席してください。毎回必ず辞書持参のこと。

成績評価の方法

平常点（毎回の練習問題の提出）と前・後期試験で総合的に評価します。

教科書

『魔法使いの弟子——なじみやすいドイツ文法』（同学社）2,300円

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	いむらゆきこ 井村行子

講義のねらい

ドイツ語文法の基礎を復習します。

講義の内容・授業スケジュール

基本的な文法事項を説明しながら、簡単な問題を練習します。

履修上の留意点

何はともあれ出席を心がけてください。

成績評価の方法

前期と後期の学期末に筆記試験を行います。

教科書

諏訪田『ドイツ語文法18課』（同学社）

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	やが した こう いち 敷 下 紘 一

講義のねらい

ドイツ語はドイツ、オーストリアそしてスイスで使われている外に、ハンガリーやユーゴ諸国、ギリシア等でも通じる言語です。外国人でドイツ語を高校・大学で学んでいる数も数百万人以上にのぼっています。皆さんもその一人です。外国の学生とドイツ語で苦勞しながらも、何んとか読めたり書いたり話したりできるようになっていくのです。ドイツ語 I A (文法) で苦勞しておく、あとが楽になります (2年生で)。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

中間試験と年度末試験があります。(50点満点の試験を2回)

教科書

『ドイツ文法 アウトライン』(郁文堂) 1,700円+税

その他

このクラスは昨年一寸点がとれなかった人達のものですが、今度こそは優とってやる、と腹をくくって頑張ってください。

科外国
目語

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	みなみ 南 はるつ

講義のねらい

比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけます。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞、助動詞
後期：命令形、複合動詞、接続詞、過去形・現在完了形、形容詞、関係代名詞

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

前期試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。

教科書

南道子他著『ドイツ語の上にも一年』(同学社) 2,300円

参考書等

随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

科目名	担当者名
ドイツ語 I B〔再クラス〕	いい づか きみ お 飯 塚 公 夫

講義のねらい

正規の授業と同じで、ドイツ語の基本を振り出しからやっていきますが、発音と内容の読み取りを重視します。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書通りに、文法説明・発音練習・練習問題・文章の読解といった手順でやっていきます。

履修上の留意点

出席ただけでは単位になりません。日常から頭をきりっとして生きている必要があります。あとはまじめであれば十分です。

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験と平常点 (= 発表点)。

教科書

菅谷泰行他著「EUで学ぶドイツ語」(白水社) 2,200円

科目名	担当者名
ドイツ語 I B [再クラス]	すぎもとまさとし 杉本正俊

講義のねらい

ドイツ語を全く知らない人に ABC からドイツ語を教えます。発音、文法、語彙などあらゆる観点からドイツ語への入門を行います。

講義の内容・授業スケジュール

発音に関しては独自のプリントを用意するが、その他はおおむね教科書に記載された項目順に学習を進める。

履修上の留意点

予習は必ずしも要求しない。授業中は勉強に注意を集中し、与えられた課題は全てきちんと行う事。

成績評価の方法

前半(夏休み前)にテストを行うかどうかは、授業の進み具合を見て決める。しかし後期末には必ず定期テストを行う。日頃の授業には積極的に参加する事。授業中のまちがいは全く成績には影響しない。最終的にドイツ語をよく学んだかどうかは、担当教員が総合的に判断する。

教科書

太田隆士・明石真和・櫻井千絵著『楽しいドイツ語トレーニング』(三修社) 2,100円

科外国語

科目名	担当者名
ドイツ語 I B [再クラス]	もと はし う きょう 本橋右京

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・授業スケジュール

初級文法を初めから復習し、場合によっては補足します。表現は短くて平易です。できるだけ基本表現は覚えて行きましょう。

履修上の留意点

しっかり予習して授業に臨んでください。予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

山本淳 『新々・じゃあ、またあした!』(同学社)

科目名	担当者名
ドイツ語 II A [再クラス]	もり こう せい 森 公 成
ドイツ語 II B [再クラス]	

講義のねらい

ドイツ語 IA と IB を基礎とし、それを実践的に発展させる授業です。文法の復習をしながら、総合的なドイツ語能力の向上をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

一年をかけて下記の教科書を終わらせます。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

履修上の留意点

授業への積極的な参加を希望します。また、3分の1以上休んだ場合は(遅刻と早退は2回で1回休みとみなします)、原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法

定期試験(年2回)、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教科書

早川東三、Michael Muenzer 共著 『新・ドレーガー失踪事件』(第三書房) 2,100円

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	もとほしうら 本橋右京
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい

初級文法の配列に則った読章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。

講義の内容・授業スケジュール

初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。その際、ローリングプレイなどを折り込みます。基本表現はできるだけ覚えましょう。

履修上の留意点

テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

伊藤・他「ゲーテ・ライゼ!」〈新版〉（郁文堂）

科外国
目語

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	いむらゆきこ 井村行子
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい

2年生のドイツ語を復習します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に沿って進めます。

履修上の留意点

何はともあれ出席を心がけてください。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書

教科書販売時まで決めて、書店のほうに連絡しておきます。

〔フランス語〕

科目名	担当者名
フランス語 I A〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一

講義のねらい

初めてフランス語を学習するものとして、ABCの基礎から開始します。

講義の内容・授業スケジュール

練習問題をくりかえし教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

履修上の留意点

毎週の授業が、その前までの学習成果の上に立っての新しい項目の勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席を重ねると取り残されてしまいますから、ご用心。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、出席状況や教室での課題の消化状況にも配慮します。

教科書

天羽・他編『初級フランス語文法（改訂版）』（朝日出版社）2,200円

科外国語

科目名	担当者名
フランス語 I A〔再クラス〕	あし ほら けん 芦 原 眷

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書

中山真彦『ミニ・ボンジュール・パリ』（白水社）

科目名

フランス語 I A [再クラス]

担当者名小玉 齊夫
こだま なりお**講義のねらい**

フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

**講義の内容・
授業スケジュール**

一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいく予定です。出来れば、各課終了時にまとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

履修上の留意点

特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。再履修になった原因の大半は、なんらかの理由で出席を怠ったからです。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。執念ぶかく授業についていくこと。

成績評価の方法

上記の小テストの提出状況、その成績、ならびに前期・後期の試験の成績によって、判定します。出席は、するのが当然です。

教科書

斉藤 昌三 著 『ル フランセ』
(白水社) 1,750円
ISBN4-560-06052-5

参考書等

辞書については、初めの授業時に、説明します。

科外
国
語

科目名

フランス語 I A [再クラス]

担当者名菅原 猛
すが はら ます**講義のねらい**

英語以外にも外国語を一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

**講義の内容・
授業スケジュール**

1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

再履修クラスですから、欠席は許されません。年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。

教科書

沼田五十六他『カジュアルにフランス語2』(朝日出版社) 2,200円(税別)

科目名	担当者名
フランス語 I A〔再クラス〕	たに かわ 谷 川 かおる

講義のねらい	フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。
講義の内容・授業スケジュール	文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。
履修上の留意点	出席重視。辞書は毎回持参すること。
成績評価の方法	前期・後期試験、および小テストなど。
教科書	田辺 他『サリュ！』（駿河台出版社）2,650円、CD付
参考書等	授業中に紹介する。
その他	全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

科目名	担当者名
フランス語 I B〔再クラス〕	すが や 菅 谷 暁

講義のねらい	初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。
履修上の留意点	休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。
成績評価の方法	前期末と後期末の試験、および小テストによります。
教科書	藤田著『彼女は食いしん坊！』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名
フランス語 I B〔再クラス〕	いま げき 今 関 アン

講義のねらい	一年時に習得できなかった箇所を確実なものにし、フランス語検定5級程度の力を付ける。
講義の内容・授業スケジュール	テープの聞き取り、単語調べ、その場での会話訓練および訳読、練習問題など。
履修上の留意点	2/3の出席は最低条件である。なお教科書・辞書も携行せず、漫然と椅子に座っていて出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出を持って初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。
成績評価の方法	2/3以上の出席(25%) + 夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』白水社の実力テスト(25%) + 前・後期定期試験(50%)
教科書	安田悦子著『ヴィット フェ・ビヤン フェ』（白水社）2,100円
参考書等	仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』（白水社）（7月中に大学内紀伊國屋書店で購入） 清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』（白水社）1,500円

科目名	担当者名
フランス語 I B〔再クラス〕	伊藤 なお

講義のねらい

フランス語の基礎を学習し、実用に適した知識を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

フランス語文法の基礎を学習しながら、平易な対話文を読むとともに、簡単な表現を用いての練習問題に取り組みます。音としてのフランス語に馴染んでもらうため、聴き取り、発話を重視する授業を行ないます。

履修上の留意点

積極的に授業に参加し、ためらわずに発話練習、練習問題に取り組むことが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点、前・後期試験によって判定します。

教科書

藤田裕二『彼女は食いしん坊!』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名
フランス語 I B〔再クラス〕	谷川 かおる

講義のねらい

フランス語の基礎をゆっくり勉強しなおします。ビデオの映像と音声により、フランス語とフランス文化に親しみつつ、簡単なフランス語会話を習得します。

講義の内容・授業スケジュール

毎週、重要な基本文法の解説の後、それがきちんと活用できるよう練習問題や暗唱に取り組んでもらいます。

履修上の留意点

出席重視。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

前期・後期の試験に、毎週行う小テストの点を加味し、総合的に評価します。

教科書

田中保子『サリュ!』（駿河台出版社）2,500円

科目名	担当者名
フランス語 II A〔再クラス〕	小玉 齊夫
フランス語 II B〔再クラス〕	

講義のねらい

文法事項の復習をしながら、やさしいフランス語を読み進み、フランスという文化圏についての知識・判断を深めることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

おおよそですが、二週で一課を終わらせるという速度で、進んでいきます。一課終了ごとに、その課についての小テストも行う予定です。

履修上の留意点

健康上やむを得ない時などを除き、可能なかぎり毎回出席して、そのつど、新たなフランスに関する知識・判断をたくわえていって下さい。授業には、以前使用していた文法の教科書や仏和辞書を必ず持ってくることを。

成績評価の方法

（上記の）小テスト、授業への〔参加〕の様子、それに、前期および後期の試験で評価します。毎回の出席は義務（ならびに権利）です。「出席点」などというものは付けません。

教科書

中村著『素顔のフランス ―ヴァリエント―』（青山社）1,200円

外国
語

科目名	担当者名
フランス語ⅡA〔再クラス〕	ぬま くら ひろ こ 沼 倉 広 子
フランス語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい

辞書を使いこなして、文章を読む力をつける

講義の内容・
授業スケジュール

フランス一周自転車レースを追いながら、フランスの地理、歴史の概要が理解できるようにする

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する

教科書

〔テキスト版〕『ツール・ド・フランス』
三野博司著 白水社 ISBN4-560-00969-4 C3085

科外
国
目語

科目名	担当者名
フランス語ⅡA〔再クラス〕	まえ た のり かず 前 田 祝 一
フランス語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい

中級フランス語ですが、初級の後半部分を重点的に復習しつつ、平易な物語を少しづつ読み進めてゆきます。

講義の内容・
授業スケジュール

学生の側が主体的に授業参加できるように、工夫しましょう。

履修上の留意点

フランス語IA・IBの単位未修者は自分で参考書などを求めて、勉強するよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績は基本的には、前・後期のペーパー・テストで評価しますが、出席状況や課題にも配慮します。

教科書

ミカエル・フェリエ著・福井編『クロヴィス——フランスの誕生——』（朝日出版社）
1,155円

[中国語]

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	こう りん ひで ちと 江 林 英 基
中国語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全20課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

教科書

上野恵司『標準中国語（基礎編）』（白帝社）2,100円

科外国語

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	あき ちと たく 秋 元 翼
中国語 I B〔再クラス〕	

講義の内容・授業スケジュール

発音の基礎からやり直し、初級文法・簡単な会話・簡単な文を学ぶ。受講生の理解度に応じ復習をしながら一回一課ずつ進み、一年で教科書一冊を学び終える。分かる授業、楽しい授業にしたい。

履修上の留意点

発音面も重視し、ピンインに対する苦手意識をなくすことを目標に、今年は絶対単位を取る気で積極的に授業に望んで欲しい。4分の3以上の出席が必要。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

渋谷裕子・孟若燕『新しいキャンパス的中国語』（同学社）2,625円

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	あずま えい ぜん 東 映 全
中国語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい

中国語の正しい発音・語法及び常用単語の習得によって、基本会話・文型の運用能力を養成することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

正しい発音を習得するには、先ず発音記号の「拼音字母」及び「声調符号」（四声）の読み方を併せて学習する。それから、基本文型に入る。

履修上の留意点

予習と復習が不可欠である。よって自主的学習が、その成果につながることを心得て欲しい。

成績評価の方法

平常点で評価する。（出席状況を加味する）

教科書

陳榮生等共著『中国を知ろう』（神保出版）2,625円（本体）

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	な ぎし まさ こ 根 岸 政 子
中国語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい

中国語の発音と基本文法を習得する。

履修上の留意点

最初の3、4回は中国語の発音を中心に進めるので、必ず出席すること。やさしい教科書なので、3回に2課のペースで進む。学習したことが力になっているかを確認するために随時小テストを行う。

成績評価の方法

前期後期のテスト、小テスト、出席状況などで評価する。

教科書

瀬戸口律子『中国語ははじめました』（駿河台出版社）2,415円

科外
国
語
目
語

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	と ばり よし かつ 戸 張 嘉 勝
中国語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい

中国語の発音（ピンイン）と基礎文法（文型）を覚え、会話の基本表現を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。
- ②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などの反復練習により、正確な発音を習得する。
- ③教科書の設定したコミュニケーション場面の基本的な会話パターンを解析し、基礎文法を習得する。そして、会話文や基本表現とドリルを通して、語彙や表現法を増やし、中国語的な会話の運び方を習得する。

履修上の留意点

出欠は成績に加味するので、欠席数の多い学生は単位をとるのが難しい。

成績評価の方法

前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

関中研（関西大学中国語教材研究会）編著『中国語@キャンパス会話編』（朝日出版社）2,415円

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	ほんまゆかり 本間 由香利
中国語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい	中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
講義の内容・授業スケジュール	まず発音記号の習得を徹底的に訓練します。毎回の授業は、単語・例文の意味確認、文法の説明を行い、聞き取りや簡単な会話練習も行う予定です。
履修上の留意点	出席を重視します。自宅で予習復習を行い、発音練習をしてくること。
成績評価の方法	平常点（出席、授業態度）、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。
教科書	南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2,205円
参考書等	授業の中で紹介する。

科外
国
目語

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	ちよういとう 張 涓 涛
中国語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい	中国語の基礎になる発音、語彙、基本文型、基本文法をしっかりと身につける。中国語の表音記号である拼音（ピンイン）を全て声に出して読めるようになることが第一目標。中国語の独特の魅力を体感して、だんだん「漢語」の語感を養っていきます。
講義の内容・授業スケジュール	まずは、中国式ローマ字表記ピンインを正確に読み、書けるようにする。その後は、日本人学生の中国における留学生生活を舞台とする食堂、郵便局、試験などの場面で交わされる典型的な会話文を学びながら、体系的に初級中国語文法を無理なく理解していく。
履修上の留意点	元気よく、積極的に授業に参加すること。今年は絶対単位を取る気で、中国語と中国の世界に関する知識欲を再発見して欲しい。
成績評価の方法	出席率、小テスト、授業時の意欲、期末テストの結果から総合的に評価します。出席は最重視。週に90分間の授業を最後までずっと頑張って続けていけば、必ずためになる。
教科書	加藤阿幸ほか『総合現代中国語・会話と閲読』（中国詩文研究会発行、東方書店出版）1,800円（CD付き）
参考書等	推奨辞書は開講時に説明する。
その他	「你好」から始めて、積極的に会話の機会を作り、CDをBGMとして聞き、話すようにしましょう。

科目名	担当者名
中国語 I A [再クラス]	ひろ かね かなこ 弘 兼 加奈子
中国語 I B [再クラス]	

講義の内容・
授業スケジュール

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行う。テキストは文法を踏まえながらも、実践的な内容となっている。

履修上の留意点

諸般の事情はあると思うが、本年度は特に出席率を重視する。

成績評価の方法

成績は年間約 4 回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

塚本慶一 劉穎『《新版》1年生のコミュニケーション中国語』(白水社) 2,310円

科目名	担当者名
中国語 I A [再クラス]	らん めい 蘭 明
中国語 I B [再クラス]	

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一ヶ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語 1』(朝日出版社) 2,835円

科目名	担当者名
中国語ⅡA〔再クラス〕	梅田 雅子 <small>うめ たまさ こ</small>

講義のねらい

物語の講読を通して、一年次の学習を基礎に、語彙・基礎文法・読解力の向上をねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

中国語による講読を通して、中国文化に触れると共に、文法事項の確認と定着を図る。なお、授業中に適宜、小テストを行う。

履修上の留意点

3 / 4 以上の出席が必要。予習復習必須。辞書（日中・中日）持参

成績評価の方法

平常点（出席・授業態度・小テスト）40%、前期試験：30%、後期試験：30%

教科書

八木章好編著『漢語趣話—文法中心の中級読本』（白帝社）1,890円
ISBN4-89174-411-1

科外国語
目語

科目名	担当者名
中国語ⅡA〔再クラス〕	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>

講義のねらい

中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙量を増やすことが目標です。テキストはウイグル族に伝わる小話集ですが、主人公阿凡提の名を知らない中国人はいないほど、広く親しまれています。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、7回以内にとどめてください。11回を越えた場合は試験結果に関わらず成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

大川完三郎編『阿凡提的故事』（朝日出版社）1,260円

科目名	担当者名
中国語ⅡA〔再クラス〕	大久保 明 男 <small>おおくぼ あき お</small>

講義のねらい

中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関することを紹介したり、ビデオを見たりする予定。

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』（白水社）2,310円

科目名	担当者名
中国語ⅡB〔再クラス〕	李 ^り 雲 ^{うん}

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

桜井明治『「中級」漢語会話』（駿河台出版社）2,100円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科外国語

科目名	担当者名
中国語ⅡB〔再クラス〕	蘭 ^{らん} 明 ^{めい}

講義のねらい

基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。

履修上の留意点

授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語2』（朝日出版社）2,835円

〔スペイン語〕

科目名	担当者名
スペイン語 I A〔再クラス〕	おお いわ 大 岩
スペイン語 I B〔再クラス〕	いさお 功

講義のねらい

スペイン語初級文法の基礎を概観し、日常会話に最低限必要な知識の獲得、およびスペイン語圏の文化に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説をベースに、文章の読解の力をつけてゆきます。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

適宜小テストを行います。訳読の予習を前提に授業を進めます。授業には辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

適宜行う小テストと前期・後期期末テストの得点、および出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社）
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科外
国
語

科目名	担当者名
スペイン語 I A〔再クラス〕	ナバロ, ホワン J.
スペイン語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい

スペイン語の初歩を学びます。基本文法とやさしい会話の習得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。

履修上の留意点

出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。

成績評価の方法

出席と2回の期末試験の結果で評価します。

教科書

ホワン, J, ナバーロ『Español dinámico』（印刷中）

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一
スペイン語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科外国語

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	おぎ の めい 萩 野 恵
スペイン語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

成績評価の方法

成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書

萩野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	さ とう まりの 佐 藤 麻里乃
スペイン語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって解説を行い、関連する練習問題を解いて提出後、答え合せをする。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点

教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。授業時の提出物により評価するので、欠席をしないこと。

成績評価の方法

試験は行わず、毎回の授業で行う課題により評価する（このため出席は必須である）

教科書

アルマラス他『プラサ・マヨールⅠ』（朝日出版社）

参考書等

『和西辞典』（出版社は不問）

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	うえ の かつ ひろ
スペイン語ⅡB〔再クラス〕	上 野 勝 広

講義のねらい	下記のテキストを用いて、やさしい会話や文章を読みながら基礎文法を最後まで習得することを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	始業時に、「授業方針」のプリントを配布する。
履修上の留意点	初心に戻り、やる気を持って授業に臨んでいただきたい。毎回授業時に必ず辞書を持参すること。
成績評価の方法	平常点（40%）、前・後期テスト（30%）、授業時の小テスト（30%）を合わせて評価する。
教科書	西川喬著『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）2,200円

科外
国
目
語

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	おお いわ いさお
スペイン語ⅡB〔再クラス〕	大 岩 功

講義のねらい	スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。
履修上の留意点	予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりとやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。
成績評価の方法	出席状況と年数回のテストの得点、適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを勘案して総合的に評価します。
教科書	福寫教隆著『生き活きスペイン語』（朝日出版社） その他、必要なプリント教材を適宜用意します。
参考書等	推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社） 参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社） 寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一
スペイン語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科外
国
語

〔ロシア語〕

科目名

担当者名

ロシア語ⅠA〔再クラス〕

すぎ やま ひで こ
杉 山 秀 子

ロシア語ⅠB〔再クラス〕

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしくないことが大切。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科外
国
語

科目名

担当者名

ロシア語ⅠA〔再クラス〕

さ の あさ こ
佐 野 朝 子

ロシア語ⅠB〔再クラス〕

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	木村英明 きむら ひであき
ロシア語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

外国
言語

科目名	担当者名
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	安徳ニーナ あん とく にーな
ロシア語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	クロチコフ, Y.
ロシア語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）

その他

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名
ロシア語Ⅱ A〔再クラス〕	おおすか ふみ かず 大須賀 史 和
ロシア語Ⅱ B〔再クラス〕	

講義のねらい	以前に学習した発音、文法、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
成績評価の方法	平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
教科書	杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）
その他	ビデオ、オーディオ等を使用します。

科外
国
目語

科目名	担当者名
ロシア語Ⅱ A〔再クラス〕	あん とく 安 徳 ニーナ
ロシア語Ⅱ B〔再クラス〕	

講義のねらい	一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教科書	桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布する。

〔選択科目〕

科目名	担当者名
英文講読	はやし 林 あきと 明人

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにすれば幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教科書

教員が作成したものを用います。

科目名	担当者名
英文講読	や 矢 しま 島 なお 直 こ 子

科外
国
語

講義のねらい

イギリス現代演劇を読んで、生きた英語に親しみ、作品を理解すること。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの意味を取り、内容を把握してもらいたいです。くだけた英語に慣れて下さい。戯曲の場合は、想像力をたくましくして読む必要があります。1年間で1冊読み終えたいですが、進度は参加者次第になるでしょう。

履修上の留意点

どんどん当てますから、単語の意味だけでなく、内容も分ってから、授業にのぞんで下さい。

成績評価の方法

日常点と、前期末・後期末試験とを、総合的に評価します。原則として、全出席数の3分の1以上欠席すると、受験資格がなくなります。

教科書

Laura Wada [Breathing Corpses] (Oberon Books) 2,550円 (税別)

科目名	担当者名
英文講読	まさき 牧 の 野 てる 輝 よし 良

講義のねらい

英語の長文の内容理解に努める。

講義の内容・
授業スケジュール

英文の構造をしっかりと学習し、毎時間3頁読み進めることを目安とする。

履修上の留意点

テキストの文章がかなり長いから、履修者は指名されたら内容の発表、和訳ができるようによく自習しておくこと。

成績評価の方法

授業中の発表、和訳、期末テストを総合的に評価するが、英語の理解力に力点を置く。

教科書

『西欧文明をどう理解するか』(南雲堂) 1,600円+税 ISBN4-523-03656-X

科目名	担当者名
時事英語研究	竹村恵都子

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十分な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

後日確定しだいお知らせいたします。

科目名	担当者名
時事英語研究	林 明人

外国
言語

講義のねらい

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。

尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

講義の内容・
授業スケジュール

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読んだりします。

成績評価の方法

試験、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

Sanseido's Dictionary of News English (三省堂)

科目名	担当者名
時事英語研究	岸本茂和

講義のねらい

1980年以降のアメリカ社会でどんなことが起こってきたか。それを解く鍵のことはが、“racism” (人種差別主義)・“sexism” (性差別主義)・“political correctness” (政治的妥当性)・“multiculturalism” (多文化主義) などだ。すこしむつかしいかもしれないが、読みごたえのあるいい文章だ。できるだけ読みすすみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業はいわゆる講義ではなくふつうの英語のクラスだ。
「時事英語研究」と銘うちながら新聞・雑誌をよまないのを不審におもうのもっともだが、時事関係の熟語等は随時プリントを配布する。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。予習は必須。

成績評価の方法

試験は前期・後期の2回。欠席が授業日数の3分の1をこえたばあい「不可」とする。

教科書

『現代アメリカの<美德>』（朝日出版社）本体1,359円＋税

その他

受講者は40人を上限とする。

科目名**担当者名****時事英語研究**

たなか 田中 保

講義のねらい

The International Herald Tribune, The New York Times, AP 通信社、AFP 通信社、BBC News, VOA News 等のニュースをベースにしたテキストを使用して、時事英語を理解するとともに、時事的な基本用語やニュース英語の語学的特質の理解を深めていくことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

各章の本文読解と Vocabulary Buildup を中心に授業を進めていきますが、時間があるときは、ニュース類出用語を用いて、実際に英文表現の演習も取り入れて行きます。毎授業1章は進みます。発表形式で授業を行ないますので、予習をしてください。

履修上の留意点

必ず下読みをして、不明な箇所を重点的に授業に臨むこと。

成績評価の方法

授業時の発表、前期・後期の試験、プレゼンテーション、出席状況等で総合的に検討して評価します。

教科書

『時事英語の総合演習—2006年度版—』(English for Mass Communication, 2006 edition)
(朝日出版社)
1,500円 ISBN4-255-15427-9 C1082

科外国語

科目名**担当者名****時事英語研究**

やしま なおこ 矢島直子

講義のねらい

Newsweek の英文を読んで、読解力をつけてもらいたいです。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの意味を読み取ってもらい、世界情勢を知ること。教科書は前期くらいで読み終え、後半はプリントか別の教科書で、新聞記事を読んでもらいます。

履修上の留意点

どんどん当てますから、単語の意味だけでなく、内容も分かってから、授業にのぞんで下さい。

成績評価の方法

日常点と、前期末・後期末試験の結果とを、総合して評価します。

教科書

『「ニューズウィーク」で読む日本と世界』(南雲堂) 1,600円
ISBN4-523-17499-7

科目名

マルチ・メディア

担当者名

おち あい かず あき
落 合 和 昭

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする（一人の場合と、対話形式の場合がある）。授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに現代口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講してもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は46名しか入れない教場を使用するので、46名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験は全評価の40%とする。その内訳は前期試験が10%（現代口語英語の和訳）、後期試験は30%（ヒヤリングが10%、会話英作文が20%）である。課題、小テスト、授業中の発表等は60%とする。課題は、一回の量はそれほど多くはないが、年に20回程度、小テストは10分程度のものを20回程度、授業中の発表は、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める。出席率が3分の2を超えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『映画総合教材 トゥルーマン・ショー』（松柏社）2,100円
ISBN4-88198-569-8 C3082
- 2) 『基本動詞で始める初級会話英作文』（マクミラン ランゲージハウス）1,800円
ISBN4-7773-6037 C3082
- 3) 『決まり文句書取練習帳』（鶴見書店）800円

科外国語
目語

科目名

担当者名

マルチ・メディア

おお ば なお き
大 庭 直 樹

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。
 第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

その他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで閉館）で補修すること。

科外
国
語

科目名

担当者名

マルチ・メディア

にし むら ゆう こ
西 村 祐 子

講義のねらい

英語によるプレゼンテーション映像を制作しコンピュータ編集をするクラス。英語で演じ、それを映像で確認することによるプレゼンテーション能力の強化をめざす。映像企画・構成・脚本・絵コンテ、ビデオ撮影の実習、コンピュータ編集によるビデオ作品完成までの全工程を学ぶ。映像制作およびウェブによる映像配信の実態も学習できる。前期後期でそれぞれ2作品の制作を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

以下の手順で前期後期それぞれ1作づつを共同制作する。
 1. 日常生活を題材に英語会話スキットの脚本をつくる。脚本に必要な絵コンテを書く。(コンピュータ使用)。
 2. 配役を決め、スキットを練習。カメラ撮影・音声収録指導あり。
 3. ディレクター、アシスタントディレクター、音声係などを決める。
 4. 撮影基礎学習、ドライ撮影
 5. 撮影(学外撮影含む)
 6. ビデオ編集、完成
 7. 上映会

履修上の留意点

受講人数制限あり。

成績評価の方法

平常点(出席点、提出物など)で評価。定期試験は行わない。

教科書

教場にて指定。

参考書等

2005年度マルチメディアクラス制作の英語ビデオ「Feelings and Emotions」(ウェブにて鑑賞の予定)

その他

学外撮影あり。アドビ・プレミア(編集ソフト)を使用。カメラ・三脚マイクその他撮影機材および編集施設は総合情報センターより提供されるが、個人でミニDVカメラなどがあれば便利。

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名
英会話 I	ロビン, G. F.

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・ 授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教 科 書

Warren Wilson, Roger Bernard *FIFTY – FIFTY: Student book 1* (Longman)
ISBN0 – 13 – 920000 – 2

科外国
目語

科目名

担当者名

英会話 I

ウェルズ, J. K.

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I
Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・
授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).
Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!

外国
語

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance: 50%
Tests: 25% (one test each semester)
Quizzes: 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B 5 sized prints so a notebook larger than B 5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.
The first class is very important, so please do not be absent!

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・
授業スケジュール

Twelve units from a textbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are:

- Unit 1 : Introductions / Classroom Language
- Unit 2 : Likes and Dislikes / Adjectives
- Unit 3 : Locations / Telephoning (1)
- Unit 5 : There is ... There are ... / Quantities
- Unit 6 : Have ... , Want ... , Would like ... , / Shopping (1)
- Unit 7 : Uncountable nouns / At a Restaurant
- Unit 9 : Present Continuous / Telephoning (2)
- Unit10 : Fashion / Shopping (2)
- Unit12 : Present Simple / Occupations
- Unit13 : Adverbs of frequency / Routines (1)
- Unit14 : Transportation / Work & School
- Unit15 : The Present Tenses / Frequency

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

David Paul / *Communicate: book 1 a* / Macmillan Language House, ¥1,230
ISBN0-435-26119-3

講義の内容・
授業スケジュール

Please join this class together with your friends! During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting.

教科書

We will probably use Sociological Notes, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

その他

Your final grade is how good your employment will be after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for employment; you will be able to get better employment if you improve your English this year. You are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

科目名**担当者名**

英会話 I

ラッセル, S. J.

講義のねらい

English Conversation IC is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

Fifty-Fifty Book 1 ISBN0-13-920000-2 (Published by Longman)

科外
国
語

科目名**担当者名**

英会話 I

ササキ, M.

講義のねらい

The goal of this course is for students to obtain the social skills and academic knowledge necessary to hold intelligent conversations in English. Social skills include how to express an opinion based on knowledge obtained from watching the news, reading the newspaper, and searching for information on the Internet.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will be expected to explain in English "what happened in the news" on a weekly basis. They will also be expected to give oral presentations based on thorough research. Emphasis will be placed on pronunciation, intonation, tone, loudness, and speed. The textbook will cover practical conversation skills needed for travel.

履修上の留意点

3分の2以上出席すること。課題（レポート、小テスト、プレゼンテーション等）を重視すること。遅刻しないこと（30分以上遅刻する場合、欠席取り扱い）。カンニング（代返、教室退場、盗作など）しないこと（成績評価は「不可」になる）。毎日、ニュースを見ること。

成績評価の方法

課題や出席点数の平常点。試験はありません。

教科書

「*Viva! San Francisco*」 published by Macmillan Language house
教科書と和英・英和辞典をいつも持参すること。

科目名

担当者名

英会話 I

レーン, C. M.

講義のねらい

This language course offers students a chance to improve speaking and listening skills, thus enabling them to feel comfortable in communicating in English in simple everyday situations.

講義の内容・
授業スケジュール

Emphasis will be placed on controlled speaking practice and improvement of listening skills. Journal writing will also be compulsory and will give students a chance for freer expression as well as a good way of having more personal contact with the teacher.

履修上の留意点

Classes will be taught entirely in English with students working in pairs or small groups.

成績評価の方法

50% Class participation and attendance
25% Journal
25% Semester exams

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

Book used will be decided on after the course starts to ensure the correct level of text is chosen.

参考書等

A good English / Japanese dictionary

その他

Message for Students
Speaking English can be fun, but to make any progress the student must be prepared to try to speak as much as possible.

科外
国
語

英 会 話 II

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL®のスコアー480点、TOEIC®のスコアー700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科 目 名

担 当 者 名

英会話Ⅱ

ソルタ, P. N. F.

講義のねらい

English Conversation II was designed for high school graduates, who have studied English for at least six years at junior and senior high school, and have successfully completed English Conversation I. The course provides such students with the necessary environment in which to improve upon and expand their abilities to communicate in natural spoken English. This naturally leads to greatly increased confidence in oral communications. The course seeks to give students the necessary competence in talking about various everyday topics that will enable them to establish and maintain meaningful relationships with native English speakers of their own age.

講義の内容・授業スケジュール

A textbook with 12 units and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are :

- Unit 1 : Personal information / Talking about likes and dislikes
- Unit 2 : Friends & Friendship / Personal experiences
- Unit 3 : Romantic relationships / Dating
- Unit 4 : Shopping
- Unit 5 : Summer vacations / Domestic & Foreign Travel (1)
- Unit 6 : Jobs / Job Interviews
- Unit 7 : Opinions / Reasons for opinions
- Unit 8 : Music / Pop Groups
- Unit 9 : Personality / Strengths & Weaknesses
- Unit 10 : Money & Budgets / Prices & Numbers
- Unit 11 : Responses in various Situations / Stories
- Unit 12 : Plans for the Future

履修上の留意点

Students must have passed English Conversation I, and they must be willing to take a class in which all teaching will be done in English only, and where students are required to speak English at all times.

Students should also note that constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation II.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attitude in class and class performance throughout the year (40%). End-of-term exams will normally be one-to-one interviews with the teacher. If student numbers are too large to make this type of exam practical, then an exam with listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

科外
国
語

教科書

Dale Fuller & Corey Fuller [Face To Face: English for Today's Generation] Student's Book 1 (Macmillan LanguageHouse) ¥2,100 + tax

科目名

担当者名

英会話Ⅱ

ラッセル, S. J.

講義のねらい

English Conversation IIC is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

Within Your Reach: Keys to Conversation (NAN'UN-DO)
ISBN4-523-17444-X C0082

科目名

担当者名

英会話Ⅱ

ササキ, M.

講義のねらい

The goal of this course is for students to advance their social skills and academic knowledge necessary to hold intelligent conversations in English in order to develop friendly relations with native English speakers. They should already have the maturity and social skills necessary to express intelligent opinions based on what they obtain from watching the news, reading the newspaper, and searching for information on the Internet.

講義の内容・授業スケジュール

Students will be expected to explain in English "what happened in the news" on a weekly basis in great detail. They will also be expected to give sophisticated oral presentations based on excellent research. Emphasis will be placed on pronunciation, intonation, tone, loudness, and speed. Students will be encouraged to develop their English accents. The textbook will cover practical conversation skills needed for home stay and living abroad.

履修上の留意点

3分の2以上出席すること。課題(レポート、小テスト、プレゼンテーション等)を重視すること。遅刻しないこと(30分以上遅刻する場合、欠席取り扱い)。カンニング(代返、教室退場、盗作など)しないこと(成績評価は「不可」になる)。毎日、ニュースを見ること。

成績評価の方法

課題や出席点数の平常点。試験はありません。

教科書

[*Viva! San Francisco*] published by Macmillan Languagehouse
教科書と和英・英和辞典をいつも持参すること。

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科 目 名

英会話Ⅲ

担 当 者 名

ウェルズ, J. K.

講義のねらい

English Conversation III

Welcome to my class! I hope you will challenge yourself speaking English openly on a variety of subjects and activities. This is NOT a beginner's class and the class is held (in most cases) entirely in English. It is usually a small class, so there should be much opportunity for you to speak.

講義の内容・ 授業スケジュール

First Semester: Emphasis will be put on working with your partners and talking about a variety of subjects I give you. Your first semester exam will be based on speaking ability and you will be marked accordingly.

Second Semester: Partner and group activities will enhance your speaking ability. Your final exam will be an interesting and creative dialogue that you and your partner write. It will be performed in front of everyone.

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also.

It is preferred that you not take English Conversation I and English Conversation III at the same time.

The first class is very important, so please do not be absent!

Auditing my class will be granted based upon the size of the class. Please talk to me about this.

成績評価の方法

Attendance : 50%

Tests : 25% (one test each semester)

Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz; class participation is important)

教 科 書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you with in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

そ の 他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many, many years. I am sure some of you know me and maybe I taught you English Conversation I. If you want to challenge yourself further, please join my class. I will interview you briefly the first class period to see if your English is good enough to join this class. It is NOT a beginner's class. See you in class! John Wells

科外
国
語

科目名

担当者名

英会話Ⅲ

ピアス, D. M.

講義のねらい

This is the highest level of English conversation practice offered by the university; accordingly we will present the most difficult material possible to speed your success in English fluency.

講義の内容・
授業スケジュール

Free conversation is urged at all occasions. Topics of a very wide variety will be introduced by practice dialogues which you will work through in dialogue or group. When applicable, we will exchange our own opinions, orally, about the topic presented in the dialogue. Speech practice will be conducted on three different levels. 1) Daily conversation, which you are already capable of conducting; practice is to amplify your present ability. 2) Conversation on a semiabstract level, which will be accomplished through a mixture of lecture and dialogue. Topics will be cultural and sociological. This type of conversation is to accelerate your fluency in conducting intelligent conversation in English. 3) Academic conversation. Material will cover ethical-social topics such as human rights, income distribution, war, suicide, etc, in a mixture of lecture and dialogue, with subsequent free exchange of opinions. This level requires an entirely new world of vocabulary and speech patterns that never appear in ordinary English conversation. Academic conversation prepares many of you for overseas university study.

履修上の留意点

Grammar, reading, and composition will be practiced every week, in an oral style that you have never before encountered.

成績評価の方法

Three absences per semester permitted. Tests are purely didactic; they are not a disciplinary tool to monitor whether you are studying. Grading is likely to be generous, as anybody who qualifies for a class like this is evidently sincere and self-motivated; using grades as a whip is unnecessary.

教科書

Classes proceed closely according to the textbook; it is absolutely required that you bring the textbook to every class meeting.

科外国
目語

英 語 L L I

〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

情報メディア機器（1号館3・4階 PC 教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名
英語 LL I	わお た まる こ 太 田 雅 子

科 外
国 語
目 語

講義のねらい

授業の前半はテキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習します。そして後半は映画の中の natural English をききとれるように練習を重ねます。又、その中の expression を応用して、英語での自己表現力を養成します。

履修上の留意点

4月第1回目の授業で、授業内容、方法、その他履修上の留意点について説明をするので、必ず出席してください。その時に、自分のユーザー ID とパスワードをわかるようにしてきてください。全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しません。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

矢作三蔵『*Natural English for Beginner*』

科 目 名	担 当 者 名
英語 LL I	か い かつ こ 甲 斐 捷 子

講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音の習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なりスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・ 授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期は American Accent Training の CD を使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは前期の授業開始時に配布します。

履修上の留意点

ビデオ、CD のダビングは著作権法上できません。授業時間内の練習で十分です。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教 科 書

Sounds Right! Sounds Good!
Hisako Murakawa 著 Macmillan Languagehouse 2,000円

科目名	担当者名
英語 L L I	加藤 佐和子

講義のねらい

発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEIC スコア500を目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストを1 Lesson, 1 Unit ずつ進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

毎回の小テスト・授業参加度50%
まとめテスト50%

教科書

『English 20』(英進社)
『Tune In to the TOEIC Test』(マクミランランゲージハウス)

外国
言語

科目名	担当者名
英語 L L I	久保 ひさ子

講義のねらい

海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎回、小テストあり。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習と小テストの合計点。

教科書

マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』(南雲堂)

科目名	担当者名
英語 L L I	西村 祐子

講義のねらい

基本的な表現をつかかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月: 基本的な会話表現を学習。シャドウイングによって短いセンテンスをくりかえし発音し覚える。ペアワークをおこなう。
9-12月: ビデオをみながら話の内容を英語で説明する。英語で簡単なプレゼンテーションを毎回行う。

履修上の留意点

学生への要望: 学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点(出席率、発表など)重視。

教科書

前期は *Talk It UP* (1) (マクミラン社) 使用。

参考書等

教場で指定する。

科目名	担当者名
英語LLI	はなわ 美智子

講義のねらい	PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。
講義の内容・授業スケジュール	日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。
履修上の留意点	表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。
成績評価の方法	日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。
教科書	'Experience America!' - An Authentic DVD English Language Text - 金星堂 ￥2,300
参考書等	その都度黒板に板書し、案内する。
その他	いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増す努力をする。

科外
国
語

英語 LL II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科目名	担当者名
英語 LL II	おわたまさこ 太田 雅子

科外国
目語

講義のねらい	テレビニュース、映画などを利用して、ヒアリングの力の向上をはかります。
履修上の留意点	4月第1回目の授業時に人数制限をしますので、受講希望者は必ず出席してください。その時に授業内容、方法、その他履修上の注意点について詳しく説明します。自分のユーザーIDとパスワードをわかるようにしてきてください。全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しません。
成績評価の方法	毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。
教科書	小野田栄『BBC Understanding the News in English 3』

科目名	担当者名
英語 LL II	とのいけかずこ 外池 一子

講義のねらい	最初はVOA、その後CNN・BBCなどの主に最新のニュースを教材にリスニング力の向上を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	前期はテキストに沿って進み、授業の進度に合わせて最新のニュースを取り入れて行きます。
履修上の留意点	英語ニュースの聞き取りにはニュースに関する背景知識が欠かせません。新聞を毎日読むこと。予習は当然ですが、復習をきちんとすることが重要です。また、基本的なコンピューターの操作が出来ることが受講の必須条件です。
成績評価の方法	平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。
教科書	開講時に指示します。
その他	英語LLIを受講済みの学生、もしくは同程度のリスニングの力がある学生のみが受講対象です。初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。また、コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。

科目名

担当者名

英語LLII

にしむらゆうこ
西村祐子

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルIを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルIIではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得し、概略を説明していく作業を繰り返す。また、テキストを使用してより正確な表現、高度な表現ができる訓練をおこなう。電子メールで提出する課題英作文による書く訓練、多様な文章を読む訓練も併用する。授業はすべて英語でおこない、質問も英語でのみ受けつける。学生同士の英語での話し合いやペアワークなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC700-750程度。LLIにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

講義の内容・
授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。教科書はUnit1-5まで。
9-12月：LLIIIへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点を置いた授業。教科書はUnit6-10までを学習。

履修上の留意点

宿題提出はメールまたは大学教場の共有フォルダーのなかに入れる為、受講学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など）

教科書

テキスト：*New Headway Pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：*Headway Elementary*、および *pre-intermediate*、その他。

参考書等

使用ビデオ：*New Headway (elementary)*、および *(pre-intermediate)*、その他。

科外
国
目語

英 語 L L Ⅲ

〈英語 LL Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL Ⅱを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科 目 名

担 当 者 名

英語 L L Ⅲ

レーン, C. M.

科 外
国
語

講義のねらい

The main aim of this class is to help students gain confidence in speaking and listening to English. This will be achieved using a special interactive listening video course. The course will concentrate on cultural and news items. It will teach students to be able to understand and view American Television without subtitles.

The problem with most listening courses is that many "English as a second language" tapes or videos slow down the speech to help students understand every word.

However, when the students go out into the real world they suddenly find that they are consequently unable to understand anything. This course, therefore, teaches students, not only to listen, but also to watch and guess from context. This is because about 40% of what people generally say is actually conveyed through body language, gestures or can be guessed due to the context of the situation.

This course will also teach basic conversational structures helping students to gain confidence speaking and having fun expressing their ideas.

講義の内容・ 授業スケジュール

Each week students will watch one ABC news story and through the use of specially designed vocabulary and listening exercises will by the end of the lesson be able to completely understand the related news story.

The teacher will also sometimes prepare other listening exercises, using real material, such as music or popular TV dramas.

Students will also have time to practice speaking and to try to express their ideas using all the facilities of the new language laboratory.

履修上の留意点

1. To really improve their listening students must be prepared to attend every class and actively participate within the classroom setting.

2. Since the lesson is only once a week, students must also take control of their own learning and must be prepared to study other listening activities outside of the classroom. They should ideally get into the habit of listening to some form of English every day. Only then will students see a marked improvement in their listening skills.

成績評価の方法

20% attendance
40% exams
40% participation within the class

教 科 書

There is no textbook as photocopies will be provided. However, students need to buy a folder to keep all the copies together.

科目名	担当者名
英語LLⅢ	久保ひさ子

講義のねらい

英語講演等をおおよそ、理解でき、さらに、ディベートできる程度をめざしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを、聞き取り、書きとり、解答し、再生し、反復練習する。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習の合計点

教科書

World Times of Japan, "Michigan Action English Step 6"

科目名	担当者名
英語LLⅢ	西村祐子

科外国語
目語

講義のねらい

レベルⅡでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざしたが、このレベルⅢはそれより一層高度な会話表現力およびプレゼンテーション能力を習得することをめざす。また、欧米の大学留学のための準備クラスとして、多様な英文を読み、概略を英語でまとめたり、いくつかのトピックについてのプレゼンテーションをおこなったりもする。LLⅡ同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、グループワークも取り入れる。LLレベルⅡを終了し、英検準一級程度（TOEIC レベル700以上）の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルⅡを受講することをすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：教科書のUnit 1-5まで。ビデオのサマリーを中心としたプレゼンテーション。
9-12月：教科書のUnit 6-10まで。多様な文章を読みながら感想を記述し、発表する訓練を繰り返し行う。ビデオの英語による概略説明も続ける。

履修上の留意点

大学のコンピュータIDを必ず事前に取得しておく。レベルⅢは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修の前にLLⅡの内容とよく比較して検討してほしい。

成績評価の方法

平常点重視（出席率、プレゼンテーションなど）。定期試験はおこなわない。

教科書

New Headway Upper Intermediate. (Oxford Univ. Press)

その他

少人数クラスなので毎回必ずプレゼンテーションがある。

科目名	担当者名
ドイツ語外国書講読	しばのひろこ 柴野博子

講義のねらい

他国の文化を理解し、またそれを通して自国の文化を反省することは、国際化の進展する今日、非常に大切なことだと思います。そこでこの授業では、日本とドイツの間の異文化理解の問題を扱ったいくつかの文章を読んでいます。それによって、ドイツ語の文章に慣れると同時に、ドイツあるいは日本の文化についても、理解を深めることができればと思っています。

成績評価の方法

年1回の試験と平常点で行います。

教科書

教科書は使用しません。教材はコピーしてお渡しします。

科目名	担当者名
時事ドイツ語	ほりうちみえ 堀内美江

講義のねらい

サッカーの世界カップがあり、初の女性首相も誕生し、ドイツは今注目の国となっています。さらに古い伝統をもち、日本とも深いつながりのある国でもあります。日本への関心も、ドイツではアニメから食文化、伝統芸能や折り紙や盆栽のファンもいる程、はば広く持たれています。

この授業では、そんなドイツから私たち日本人はどう見られているのだろうか、という観点から、様々なメディアで語られる日本の姿を通し、ドイツ語を学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期：新聞を読む、ラジオを聞く、テレビを見えることを通して、実際のドイツ語の使われる場面を体験します。テキストは日本についての記事を中心に扱います。

後期：テキストを読む、ニュースを聞く、映画を見るときといった、より長いコンテキストの中でドイツ語を体験していきます。テキストは、日本に関するものだけではなく、ドイツの「今」を感じさせるものを選びます。

履修上の留意点

皆さんの様子を見ながらゆっくりと授業を進めていきますので、リラックスして参加して下さい。辞書は毎回携帯のこと。

成績評価の方法

出席、発表などを含めた総合評価をおこないます。

教科書

プリント配布

科目名	担当者名
上級ドイツ語	しばのひろこ 柴野博子

講義のねらい

ドイツの文化をはじめ、その歴史、政治、社会など、今日のドイツ——さらにはヨーロッパ——をめぐるさまざまなテーマを論じた文章を読んでいます。それを通して、日本の文化についても考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、やさしい文章をできるだけたくさん読みます。

後半は、ドイツ語の文章にも慣れるでしょうから、できれば、ドイツの新聞や雑誌の記事なども読んでみたいと思っています。独検3級のレベルを目標にしています。

成績評価の方法

年1回の試験と、平常の学習態度を総合して、評価します。

教科書

教材は、コピーしてお渡しします。

科目名	担当者名
ドイツ語コミュニケーションⅠ	小林ゲアリンデ ^{こばやし}

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

科目名	担当者名
ドイツ語コミュニケーションⅡ	小林ゲアリンデ ^{こばやし}

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることが目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

Themen I neu

その他

ビデオを使用する。

科目名	担当者名
ドイツ語ⅠA(選)	薮下 紘一 ^{やぶ した こういち}

講義のねらい

ドイツ語はドイツ、オーストリアそしてスイスで使われている外に、ハンガリーやユーゴ諸国、ギリシア等でも通じる言語です。外国人でドイツ語を高校・大学で学んでいる数も数百万人以上にのぼっています。皆さんもその一人です。外国の学生とドイツ語で苦労しながらも、何とか読めたり書いたり話したりできるようになっていくのです。ドイツ語ⅠA(文法)で苦労しておくと、あとが楽になります(2年生で)。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

中間試験と年度末試験があります。(50点満点の試験を2回)

教科書

在間『わかって楽しいドイツ語』(三修社)2,200円+税

科外国語

科目名

担当者名

ドイツ語ⅠB(選)

の 野 島 利 彰
の じま とし あき

講義のねらい

英語と比べるとヨーロッパの他の言語はみな変化が多く、複雑に見えます。しかしその複雑さは共通しています。その意味で、ドイツ語を学ぶことは同時にヨーロッパ言語を知るきっかけになり、またドイツ文化さらにはEUを知る助けになります。

講義の内容・授業スケジュール

語学の勉強はただ授業を聴いているだけでは分るようになりません。自分で考え、練習して初めて理解できます。必ず予習をして下さい。その予習の結果を見るために練習問題の解答やテキストの訳を皆さんにやってもらいます。なお発音練習の代わりに教科書の最後についている動詞変化表を使い、同時に動詞の変化を覚えます。

履修上の留意点

CD付き教科書を使いますので、自宅で十分聞き、発音練習をして置いて下さい。言葉を学ぶことはまず真似ることです。テキストの音読を順番で指名します。

成績評価の方法

3課ごとに1回ヒアリングテストを行う予定です。ヒアリングテスト、動詞変化テスト、定期試験(筆記試験)の成績が評価の基準になります。

教科書

大谷弘道著「新・問いかけるドイツ語」三修社 2600円

参考書等

ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年次でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書ではなく、しっかりした辞書を購入してください。

その他

語学はまず量の問題です。ラジオやテレビのドイツ語講座も活用してください。

科外
 国
 語

科目名

担当者名

ドイツ語Ⅱ(選)

井 村 行 子
い むら ゆき こ

講義のねらい

ドイツ語のレベルアップとともに、ドイツについての知識を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

全部で10課からなるテキストで、最初の3課は去年の復習なので、前期に第5課まで、後期に第10課まで進めます。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書

近藤/小林/新倉/松尾『Dialog—ステップアップ版』(郁文堂)

科目名	担当者名
フランス語外国書講読	前田 祝一 <small>まえ だ のり かず</small>

講義のねらい

初級フランス語を履修済の人たちを対象とします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストに従って、細かくフランス語を味読してゆきますが、最初は初級レベルで学習した事柄の再確認・復習を主とし、のちに新たに一層レベルを上げた言語の特性を、修得できればと考えています。

履修上の留意点

この科目は履修者の主体性を尊重する選択科目ですが、誠実な、ねばり強い姿勢を期待しています。

成績評価の方法

平常点を主とし、最終的にはペーパーテストとします。

教科書

モーリス・ラ、福井・戸張編『オルフェ——ギリシャ神話集——』（朝日出版社）609円

科目名	担当者名
時事フランス語	桑田 禮彰 <small>くわ た のり あき</small>

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・
授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

荒木善太他『ヴァリエテ・フランセーズ2006』（朝日出版社）本体1,900円＋税

参考書等

そのつど授業で指示します。

科外国
目語

科目名

担当者名

上級フランス語

小玉 齊夫

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験の4級あるいは3級に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養うことを目指しています。1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能な限り、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していく予定です。来年2月に行われる「短期セミナー」に参加を希望される方は、現在の自分のフランス語能力など気にせず、積極的に、この授業をとるようにして下さい。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を用いますが、他に、こちらで準備するプリント教材あるいはビデオ教材なども、使っていく予定です。前期は、主として、これまでの復習に、後期は、その展開という風に、段階を追って進んでいくつもりです。

履修上の留意点

出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようにしたいと思しますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめざして、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。

成績評価の方法

随時提出する宿題や、年末の試験で評価します。

教科書

M-E Muramatsu 著『ピコティ・ピコタ2』
(駿河台出版社) 2,500円
ISBN4-411-00923-4 C1085

参考書等

『現代和仏小辞典』(白水社)。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

科外国語

科目名

担当者名

フランス語コミュニケーションⅠ

ラリア・三倉, M.

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA [PPP (ペーパーペーパー) *Presenter Pratiquer Produire*] (第三書房) 2,800円

科目名

担当者名

フランス語コミュニケーションⅡ

ラリア・三倉, M.

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

MONNERIE 著 *BIENVENUE EN FRANCE TOME 1* (Didier HATIER)
プリント資料を学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	担当者名
フランス語 I A (選)	出口 雅敏

講義のねらい

この授業では、フランス語文法の基礎を学習してゆきます。文法の基礎をしっかりと身につけることは、フランス語の世界に入ってゆくための大切なプロセスです。ですから、この入口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、文法事項の簡潔なまとめと練習問題から成っています。授業は、文法事項の具体的説明の後、練習問題に取り組む、という形で進行します。加えて、フランス語の読み方や仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。

履修上の留意点

辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。

教科書

斎藤昌三『《新版》ル・フランセ』（白水社）1,750円

科外国語
目録

科目名	担当者名
フランス語 I A (選)	前田 祝一

講義のねらい

フランス語の言語としての特性を理解してもらうこと。そして、少しでも使いこなせるようになること。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な基本語・句型を身につけて、少しずつ積み重ねで、言葉の世界を広げ、深めてゆく。つまり、毎日が新しいことの学習です。

履修上の留意点

したがって、毎日が新しいことの学習であり、それらが理解できていることが、次の回の出発点ですから、欠席しないで持続させること。それが終着点での満足感になるはずです。

成績評価の方法

平常点とします。

教科書

内藤・玉田著『フランス語へのパスポート（改訂版）』（白水社）1,800円

科目名	担当者名
フランス語 I B (選)	菅原 猛

講義のねらい

英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・授業スケジュール

1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。

教科書

阿南婦美代『新アン・マルシュー フランス語初級 文法と会話』（駿河台出版社）2,730円

科目名	担当者名
フランス語Ⅱ(選)	桑田禮彰 <small>くわ た のり あき</small>

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

荒木善太他著『ヴァリエテ・フランセーズ2006』(朝日出版社) 本体1,900円+税

参考書等

そのつど授業で指示します。

科外
国
目
語

科目名	担当者名
中国語外国書講読	佐藤普美子 <small>さとう ふみこ</small>

講義のねらい

《声に出して読みたい》中国語で書かれた文学作品(主として詩歌、エッセイ、短篇小説)を読んでいます。

講義の内容・授業スケジュール

一つの作品を読み終えた後、必ずその文章(の一節)を暗誦してもらいます。

履修上の留意点

予習は不可欠です。

成績評価の方法

出席、予習の有無、暗誦テストによって総合的に評価します。

教科書

開講時、プリントを配布します。

参考書等

辞書は必ず用意して下さい。

科目名	担当者名
時事中国語	塩 旗 伸一郎 <small>しお ぼた しんいちろう</small>

講義のねらい	インターネットで中国の各サイトを訪れ、見出し&リードの速読と記事精読の2種のアプローチにより、ニュースの文体を読み解く力を養う。 ピンインのルビを振るソフトの導入により、生の記事にピンインをつけてテキストにする。
講義の内容・授業スケジュール	「速読」篇は、その場で声に出して読み、大意を掴む。「精読」篇は、文を構造的に捕える練習を積む。 併せて、ニュースの聴き取り、単語の構造分析クイズ、中国語入力・検索の体験学習などを行なう。
履修上の留意点	精読教材は予習が不可欠。 教材等、授業に関する情報は下記 URL に掲示するので常時チェックすること。 http://www.komazawa-u.ac.jp/~siop/jiji.html
成績評価の方法	平常点。
教科書	ネット上で採取し、上記 URL に掲示。
参考書等	辞書は『現代漢語詞典』（中国商務印書館）、『中日辞典』（小学館）、『中日大辞典』（大修館書店）、『講談社中日辞典』、『白水社中国語辞典』を推奨する。 これらより薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安あがりな辞書は、役に立たない。
その他	PC 教場使用を要望しているが、教場変更の可能性もあるので、掲示に注意すること。

科外国語
目録

科目名	担当者名
上級中国語	本 間 由香里 <small>ほん ま ゆかり</small>

講義のねらい	検定試験／資格試験に対応した授業を行います。ただし履修者の学習到達度を考慮し、それに合わせた授業をします。 講義のねらい 1. ヒアリングの苦手意識克服：まずは簡単な単語、例文の聞き取りから訓練を始めます。2. 中国語訳の苦手意識克服：中国語の基本構文の復習と理解。今までに学んだ中国語の知識を整理します。 資格取得を特に意識していない学生も歓迎します。
講義の内容・授業スケジュール	どの検定試験や資格試験にも、それぞれの傾向がありますが、どの試験も重視している単語、フレーズ、構文には共通点があります。そのいずれも重要なものばかりで、実際の会話にも役立つものです。授業ではこれらを取り上げ、発音、聞き取り、作文の訓練を行います。
履修上の留意点	自宅で予習・復習と発音練習を行うこと。
成績評価の方法	出席状況・授業態度と前期・後期のテストにより評価します。
教科書	竹島金吾監修・竹島毅・尹景春『中国語さらなる一歩』（白水社）2,310円

科目名	担当者名
中国語コミュニケーションⅠ	いわさき 岩崎 皇

講義のねらい

コンピュータ教場の機能を使って、中国語の音声聞き取り能力を養うことが目標です。これは会話の前提となる能力でもあり、練習を通して、自然な発音ができるようにもなるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主に、テキストの音声教材を使って、音節をピンインで書き取れるよう訓練します。後期は中国のテレビ映像をメインにして練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、7回以内にとどめてください。11回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提に、授業態度及び試験結果で判断します。

教科書

NOVA『中国語はじめの単語帳』（NOVA 出版局）1,575円（本体）

科外国語

科目名	担当者名
中国語コミュニケーションⅡ	そう 曹 たい 泰 お 和

講義のねらい

簡単な会話の習得。ヒヤリングの力の向上。

講義の内容・授業スケジュール

会話とヒヤリングを中心にして授業を行う。日常会話や基本文型を繰り返し練習する。

履修上の留意点

積極的に会話の練習に参加すること。なお、中国語コミュニケーションⅠを履修しなくても、この授業は履修できる。2年生から4年生まで履修可。

成績評価の方法

出席、授業態度、テストで総合評価する。

教科書

塚本慶一監修 劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,310円

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名
中国語ⅠA(選)	よし だ たていちろう 吉 田 建一郎

講義のねらい

中国語の基本的な発音、語彙、文法をしっかりと身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、中国式ローマ字表記（ピンイン）の読み方を集中的に練習した上で、基本的な会話を題材として、発音、語彙、文法について理解を深めていく。後期は、前期の復習を行いつつ、引き続き基本的な会話を題材として、発音、語彙、文法について練習を積んでいく。

履修上の留意点

しっかりと声を出して発音練習をするように心がけましょう。授業中は携帯電話の電源を切ってください。

成績評価の方法

出席、授業時の態度、宿題、小テスト、学期末テストをもとに総合的に判断する。

教科書

陳淑梅・蘇明著『中国を歩こう』（金星堂）2,730円

科目名	担当者名
中国語ⅠA(選)	宮本厚子 <small>みやもとあつこ</small>

講義のねらい	中国語の基礎を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。
履修上の留意点	毎回暗誦あるいは聞き取り(小テスト)を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。また、練習問題を配布するので、自習し提出するのが望ましい。
成績評価の方法	年に4回の筆記試験(前後期末試験を含む)と平常点(暗誦・小テストを含む)で評価する。
教科書	プリント配布。
その他	詳細は開講時に説明する。

外国
言語

科目名	担当者名
中国語ⅠB(選)	蘭 明 <small>らんめい</small>

講義の内容・授業スケジュール	前期は最初の一カ月(4回に分け)において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。
成績評価の方法	出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分けて試験を行う。
教科書	董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』(朝日出版社)2,835円

科目名	担当者名
中国語Ⅱ(選)	三田村圭子 <small>みたむらけいこ</small>

講義のねらい	基礎中国語を復習し、聞く・話す・書くを反復練習することで、より実践的な中国語を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	①基礎中国語で学習した重要な文法や発音を復習する。 ②教科書の進捗にしたがって、会話を暗記し、また簡単な文章を書けるように練習する。
履修上の留意点	出欠は成績に加味するので、欠席の多い学生は単位取得が難しい。欠席が3分の1以上の場合、採点評価の対象外とする。
成績評価の方法	前・後期の中間期末試験(全4回)と平常点で総合評価する。
教科書	遠藤光暁著『話す中国語 北京篇2』(朝日出版社)2,625円
その他	教科書名に十分注意して購入すること。

科目名	担当者名
スペイン語外国書講読	上野勝広

講義のねらい

比較的平易なスペイン語の文章を多読します。

講義の内容・授業スケジュール

短編小説や物語、スペイン・ラテンアメリカの文化や社会を紹介した文章を中心に講読してゆきます。また受講者の興味関心を考慮して、具体的なテーマを選択します。

履修上の留意点

毎回の授業参加にあたり、一定量の予習が必要です。辞書をよく調べ、用例をよく読んでください。

成績評価の方法

平常点 (50%) と前期末・学年末の2回のレポート (50%) を合わせて評価します。

教科書

プリント使用。

外国語

科目名	担当者名
時事スペイン語	真下祐一

講義のねらい

新聞記事や雑誌のコラムを読みながら、スペイン語の報道言語、論説文に親しみます。教科書のほかにも、日本で発行されているスペイン語新聞やインターネットを通して、日本での出来事がどのように伝えられているかも追っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

世界の出来事をスペイン語で読む。スペイン語で見た日本。

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。予習してきた文書を読むほか、その場での速読も課します。スペイン語圏に真面目に関心のある学生の受講を期待します。

成績評価の方法

毎回の授業参加と、各期末の達成度チェックによります。

教科書

国本伊代/アレハンドロ・クダ 『スペイン語でニュースを読む』(朝日出版社) また随時プリントを配布します。

科目名	担当者名
上級スペイン語	上野勝広

講義のねらい

このクラスでは、スペイン語検定試験(3級・4級)に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容・授業スケジュール

作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。

履修上の留意点

「継続こそ力なり」です。休まずさぼらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法

前期末・学年末試験の結果(60%)と平常点(40%)を総合して評価します。

教科書

小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』(第三書房) 2,500円

科目名	担当者名
スペイン語コミュニケーションⅠ	ナバロ, ホワン J.

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『*Viaje al español*』
テキスト及びVTR教材

科目名	担当者名
スペイン語コミュニケーションⅡ	ナバロ, ホワン J.

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『*Viaje al español* 上級編』
テキスト及びビデオ教材

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA(選)	亀山晃一

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科外国語

科目名**担当者名**

スペイン語ⅠB(選)

ナバロ, ホワン J.

講義のねらい

スペイン語の基本文法を学びながら、中級程度の会話能力の養成を目指します。動詞の過去形の練習に力をいれます。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。

履修上の留意点

出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。

成績評価の方法

出席と2回の期末試験の結果で評価します。

教科書

ホワン・J・ナバーロ【*Español dinámico*】(印刷中)

科外国語**科目名****担当者名**

スペイン語Ⅱ(選)

おき 野 雅 司

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』(弘学舎)

科目名	担当者名
ロシア語外国書講読	ひろた ひでやす 廣田英靖

講義のねらい

1～2年で得たロシア語の基礎力のうえにさらに読解や表現力の応用を身につけることを目標とします。最新ロシア情勢をふまえた読みもの、クロコディール、ノーヴォエ・プレーミヤ等を取りあげて様々なスタイルのロシア語文に馴れるようにします。ロシア語の文章を眼で追うだけでなく、その中に書かれている内容を正しく伝達することも重要です。このためには正しいイントネーション、発音、表現が必要なことは言うまでもありません。

授業では簡単な読みものを読むだけではなく、普通に話しているロシア人の声もきき、発話の練習もしてもらいます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

プリント配布

参考書等

『露和辞典』

その他

状況に応じて、PC教場の新システムを利用し、インターネットによるロシアのメディアをリアルタイムに解説、紹介します。

科外国
目語

科目名	担当者名
時事ロシア語	きむら ひであき 木村英明

講義のねらい

1991年のソ連邦崩壊からおよそ15年を経たロシアは、2期目に入ったプーチン政権下で、豊かな天然資源を基盤に着実な経済成長を維持している。また、天然資源のみならず、人的資源に恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘めている潜在力は看過できない。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。なるべく受講者の要望に応じたテーマを取り上げていきたい。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会えるよう、アクティブな授業参加を望む。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名
上級ロシア語	クロチコフ, Y.

講義のねらい

会話練習。
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。
講読した内容について自由会話を行う。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

教場にて指示します。プリント配布。
学生の要望も考慮してテキストを選びます。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科外国語

科目名	担当者名
ロシア語コミュニケーションⅠ	安徳 ニーナ

講義のねらい

ロシア語Ⅰ、Ⅱで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S.KHAVRONINA 著 *RUSSIAN AS SPEAK IT* (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名
ロシア語コミュニケーションⅡ	安徳 ニーナ

講義のねらい

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)

その他

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科目名	担当者名
ロシア語 I A (選)	クロチコフ, Y.

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボディー・ランゲージを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学びます。

成績評価の方法

テストは行わず、平常点で評価。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円、プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

参考書等

『露和辞典』

科外国語

科目名	担当者名
ロシア語 I B (選)	木村英明

講義のねらい

ユーラシア大陸にまたがる広大なロシアは、100に及ぶ民族を抱えた歴史的、文化的に多様な国家です。ソ連崩壊後の長い混迷を経て、現在は再び経済や文化の領域で飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は、隣国である日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの現況、習慣や文化にも触れていきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。ビデオ等の映像資料も利用したいと思ひます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』（白水社）をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科目名	担当者名
ロシア語Ⅱ(選)	クロチコフ, Y.

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科外
国
目語

科目名	担当者名
朝鮮語ⅠA(選)	宋 ^{そん} 美 ^み 玲 ^{りは}

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・
授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

I A: 長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(会話編1)』(白帝社) 1,800円+税

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

科目名	担当者名
朝鮮語ⅠB(選)	宋 美 玲

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

I B:長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(読んで書こう1)』(白帝社) 2,400円+税

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

科外
国
語

科目名	担当者名
朝鮮語Ⅱ(選)	宋 美 玲

講義のねらい

初級における基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。また、韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試み、資料の読解及びビデオの鑑賞を通して実践的な習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをもって基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって作文や読解の能力を強化していく。

履修上の留意点

テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

野間秀樹著『至福の朝鮮語』(朝日出版社) 2,900円

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

科外
国
目語

4. 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

	1 時限 (国文)		2 時限 (英米文・歴史)		3 時限 (地理・社会・心理)	
月曜日	※鈴木	室内球技	※江口	テニス	※竹田	体操・トランポリン
	高橋	空手道	竹田	体操・トランポリン	高橋	空手道
	舘岡	ゴルフ	光永	トレーニング	舘岡	ゴルフ
	光永	トレーニング	内山	ジョギング	光永	トレーニング
	竹田	体操・トランポリン	鈴木	室内球技	内山	ジョギング
	佐藤	ジョギング	佐藤	卓球	江口	テニス
	下谷内	卓球	高橋	空手道	鈴木	室内球技
	内山	ソフトボール	下谷内	ソフトボール	下谷内	ソフトボール
	末次	ダブルダッチ	末次	キックボクササイズ	末次	簡化太極拳

※は、科目の主担当者

保健
体育
科
目

「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日			
1 時限								
2 時限	長	大		牧	牧	前期・基礎	前期・応用	
						バドミントン	ミニサッカー	卓球
	濱	石		野	野	後期・基礎	後期・応用	
						バドミントン	ミニサッカー	卓球
3 時限	長	大	田	牧	牧	前期・応用	前期・基礎	
						バドミントン	簡化太極拳※	フットサル
	濱	石	中		野	野	後期・応用	後期・基礎
							バドミントン	簡化太極拳※
4 時限	大		鈴		鈴	前期・応用	前期・基礎	
						簡化太極拳※	室内球技	バドミントン
	石		木		木	木	後期・応用	後期・基礎
							簡化太極拳※	室内球技

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

4. 保健体育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
健康・スポーツ実習(室内球技)	文学部全学科1必	通年	2	鈴木淳平	287
健康・スポーツ実習(空手道)	文学部全学科1必	通年	2	高橋俊介	287
健康・スポーツ実習(ゴルフ)	国文・地理・社会・福祉・心理1必	通年	2	舘岡儀秋	288
健康・スポーツ実習(トレーニング)	文学部全学科1必	通年	2	光永吉輝	288
健康・スポーツ実習(体操・トランポリン)	文学部全学科1必	通年	2	竹田幸夫	289
健康・スポーツ実習(ジョギング)	国文1必	通年	2	佐藤政之	290
健康・スポーツ実習(ジョギング)	英米文・地理・歴史・社会・福祉・心理1必	通年	2	内山雅博	290
健康・スポーツ実習(ソフトボール)	国文1必	通年	2	内山雅博	291
健康・スポーツ実習(ソフトボール)	英米文・歴史1必	通年	2	下谷内勝利	291
健康・スポーツ実習(卓球)	国文・地理・社会・福祉・心理1必	通年	2	下谷内勝利	292
健康・スポーツ実習(卓球)	英米文・歴史1必	通年	2	佐藤政之	292
健康・スポーツ実習(ダブルダッチ)	国文1必	通年	2	末次美樹	292
健康・スポーツ実習(テニス)	英米文・地理・歴史・社会・福祉・心理1必	通年	2	江口淳一	293
健康・スポーツ実習(キックボクササイズ)	英米文・歴史1必	通年	2	末次美樹	294
健康・スポーツ実習(簡化太極拳)	地理・社会・福祉・心理1必	通年	2	末次美樹	294
健康・スポーツ実習(室内球技)	文学部全学科2・3・4年	通年	2	秋田浩一	295
〔再クラス〕					
健康・スポーツ実習(室内球技)	文学部全学科2・3・4年	通年	2	田中佳孝	296
〔再クラス〕					
健康・スポーツ実習(トレーニング)	文学部全学科2・3・4年	集中授業	2	秋田浩一	297
〔再クラス〕					
健康・スポーツ実習(ソフトボール)	文学部全学科2・3・4年	集中授業	2	下谷内勝利 高橋俊介	297
〔再クラス〕					
健康・スポーツ実習(卓球)	文学部全学科2・3・4年	集中授業	2	下谷内勝利 山口良博	298
〔再クラス〕					
健康・スポーツ実習(バドミントン)	文学部全学科2・3・4年	集中授業	2	牧野茂	299
〔再クラス〕					
健康・スポーツ実習(室内球技)	文学部全学科2・3・4年	集中授業	2	鈴木淳平	300
〔再クラス〕					
健康・スポーツ実習(トレーニング&太極拳)	文学部全学科2・3・4年	集中授業	2	光永吉輝	300
〔再クラス〕					
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	文学部全学科1選	半期	1	大石武士	301
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	文学部全学科2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	文学部全学科3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	文学部全学科4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(バドミントン)	文学部全学科1選	半期	1	長濱友雄	302
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(バドミントン)	文学部全学科2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(バドミントン)	文学部全学科3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(バドミントン)	文学部全学科4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(室内球技)	文学部全学科1選	半期	1	鈴木淳平	302
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(室内球技)	文学部全学科2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(室内球技)	文学部全学科3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(室内球技)	文学部全学科4選				

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(卓球)	文学部全学科1選	半期	1	牧野茂	303
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(卓球)	文学部全学科2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(卓球)	文学部全学科3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(卓球)	文学部全学科4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(バスケットボール)	文学部全学科1選	半期	1	牧野茂	304
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(バスケットボール)	文学部全学科2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(バスケットボール)	文学部全学科3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(バスケットボール)	文学部全学科4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(フットサル)	文学部全学科1選	半期	1	田中佳孝	305
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(フットサル)	文学部全学科2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(フットサル)	文学部全学科3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(フットサル)	文学部全学科4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(簡化太極拳)	文学部全学科1選	半期	1	大石武士	306
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(簡化太極拳)	文学部全学科2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(簡化太極拳)	文学部全学科3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(簡化太極拳)	文学部全学科4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(ミニサッカー)	文学部全学科1選	半期	1	大石武士	307
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(ミニサッカー)	文学部全学科2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(ミニサッカー)	文学部全学科3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(ミニサッカー)	文学部全学科4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(バドミントン)	文学部全学科1選	半期	1	鈴木淳平	307
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(バドミントン)	文学部全学科2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(バドミントン)	文学部全学科3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(バドミントン)	文学部全学科4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(バドミントン)	文学部全学科1選	半期	1	長濱友雄	308
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(バドミントン)	文学部全学科2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(バドミントン)	文学部全学科3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(バドミントン)	文学部全学科4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(卓球)	文学部全学科1選	半期	1	牧野茂	309
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(卓球)	文学部全学科2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(卓球)	文学部全学科3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(卓球)	文学部全学科4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(バスケットボール)	文学部全学科1選	半期	1	牧野茂	310
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(バスケットボール)	文学部全学科2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(バスケットボール)	文学部全学科3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(バスケットボール)	文学部全学科4選				
生涯スポーツ実習(テニス) (集中前期・基礎／応用)	文学部全学科選	集中授業	1	江口淳一	311
生涯スポーツ実習(テニス) (集中後期・基礎／応用)	文学部全学科選	集中授業	1	江口淳一	312
生涯スポーツ実習(ゴルフ) (集中後期・基礎／応用)	文学部全学科選	集中授業	1	三幣晴三	313
生涯スポーツ演習Ⅰ(ゴルフ) (シーズン基礎／応用)	文学部全学科選	シーズン	2	舘岡儀秋 他	314
生涯スポーツ演習Ⅱ(スキー・スノーボード) (シーズン基礎／応用)	文学部全学科選	シーズン	2	江口淳一 他	316

健康・スポーツ論 1	国文・英米文・地理 1 選	半期	2	佐藤政之	317
健康・スポーツ論 1	歴史・社会・福祉・心理 1 選	半期	2	江口淳一	318
健康・スポーツ論 2	文学部全学科選	半期	2	大石武士	319
健康・スポーツ論 2	文学部全学科選	半期	2	三幣晴三	320
健康・スポーツ論 2	文学部全学科選	半期	2	牧野茂	321

科目名	担当者名
健康・スポーツ実習(室内球技)	鈴木 淳平

講義のねらい	室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	バレーボール・バスケットボールといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。 1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。
履修上の留意点	○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
成績評価の方法	出席を重視し、準備や片付けなども含めた授業参加への積極性や活動意欲を評価する。

科目名	担当者名
健康・スポーツ実習(空手道)	高橋 俊介

保健体育
目録

講義のねらい	空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内蔵諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：空手道の歴史と技の説明 2時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受 3時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い 4時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り 5時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受 6時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打 7時限目：総合的に反復して練習 8時限目：総合的に反復して練習 9時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。 11時限目：総合的に反復して練習 12時限目：総合的に反復して練習 13時限目：総合的に反復して練習 14時限目：総合的に反復して練習 15時限目：実技試験
履修上の留意点	服装は、全員が授業用の空手着を着用する。
成績評価の方法	授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。
その他	雨天時は走のための補強トレーニング

科目名	担当者名
健康・スポーツ実習(ゴルフ)	たて かね よし あき 館 岡 儀 秋

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最高の生涯スポーツである。
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時限目：打撃練習（バッティング）・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習（バッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

その他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する必要があるので掲示板を確認すること。

科目名	担当者名
健康・スポーツ実習(トレーニング)	みつ なが よし てる 光 永 吉 輝

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の状態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないと成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8

種類のマシーンを、2～3セット行なう

- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は 2 kg up、女子は 1 kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10 時限目：トレーニング
- 11 時限目：トレーニング
- 12 時限目：負荷を男子は 2 kg up、女子は 1 kg up
- 13 時限目：トレーニング
- 14 時限目：トレーニング
- 15 時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

その他

ストレッチ体操の各種、器具のいろいろなトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

科目名

健康・スポーツ実習(体操・トランポリン)

担当者名

たけだ ゆきお
竹田 幸夫

科保健体育
目育

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：々
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるので、授業時間内の指示を守ること。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定するので、受講生はその中から自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

その他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(ジョギング)

佐内 藤山 政雅 之博

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目的とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3 時限目：々
- 4 時限目：々
- 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6 時限目：々
- 7 時限目：々
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、野外走、クロスカントリー）
- 10時限目：々
- 11時限目：々
- 12時限目：々
- 13時限目：々
- 14時限目：12分間走
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

平常点など

その他

雨天時は走のための補強トレーニング。

保健体育

科目名**担当者名**

健康・スポーツ実習(ソフトボール)

うち	やま	まさ	ひろ
内	山	雅	博
しも	ち	かつ	とし
下	谷	内	勝
		勝	利

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：基本練習(キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他)
- 2 時限目：〃
- 3 時限目：試合(勝ち点制)
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：審判の仕方(球審、1・3塁審)
- 9 時限目：〃
- 10時限目：試合(勝ち点制)
- 11時限目：〃
- 12時限目：〃
- 13時限目：〃
- 14時限目：〃
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与
 服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

その他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(卓球)

しもやちかつとし
下谷内勝利
さとうまさまさゆき
佐藤政之

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム
- 12 時限目：ダブルスゲーム
- 13 時限目：ダブルスゲーム
- 14 時限目：ダブルスゲーム
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

その他

30分以上の遅刻は認めない。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(ダブルダッチ)

すえつぐみき
末次美樹

講義のねらい

ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動ある。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ビデオ学習
- 3 時限目：短縄を使って練習
- 4 時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
- 5 時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
- 6 時限目：5回跳び・10回跳び
- 7 時限目：ターナーの回転・スピード
- 8 時限目：ビデオ学習
- 9 時限目：連続跳び
- 10 時限目：応用
- 11 時限目：応用
- 13 時限目：応用
- 14 時限目：応用
- 15 時限目：応用

履修上の留意点

服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ（裸足でも良い）

成績評価の方法

授業率70%、総合評価30%で行う。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(テニス)

江口淳一

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自立的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ボレー、ミニストローク
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

保健
体育
目
育

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

その他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科目名**担当者名****健康・スポーツ実習(キックボクササイズ)**すえ つぐ み き
末次美樹**講義のねらい**

キックボクササイズとは、キックボクシング・ボクシング・空手道・ムエタイ・マーシャルアーツなどの動きを取り入れ、アップスピードな曲と動きを一体化する運動である。持久力強化・腹筋強化・シェイプアップなどに効果があり、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：拳の握り方、基本姿勢の説明
- 3 時限目：ストレート、フック、アッパーの練習
- 4 時限目：キックの練習
- 5 時限目：コンビネーション
- 6 時限目：フットワークの練習
- 7 時限目：コンビネーション（音楽に合わせる）
- 8～14時限目：総合
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

- 1) 服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ（裸足でも良い）。
- 2) 教場：101教場

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

保 科
健 体
育 目**科目名****担当者名****健康・スポーツ実習(簡化太極拳)**すえ つぐ み き
末次美樹**講義のねらい**

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分そう・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右とう脚・双峰貫耳・轉身左とう脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬らん捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

・服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃 (サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目：〃 (シングルスゲーム)
- 5 時限目：〃 (シングルスゲーム)
- 6 時限目：〃 (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目：〃 (ダブルスゲーム)
- 8 時限目：〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バドミントン (ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10時限目：〃 (ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11時限目：〃 (ルール解説、シングルスゲーム)
- 12時限目：〃 (ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13時限目：〃 (ダブルスゲーム)
- 14時限目：〃 (ダブルスゲーム)
- 15時限目：〃 (まとめと評価)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃 (アタックとブロッキングの技術、ルール解説)
- 4 時限目：〃 (フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目：〃 (ゲーム)
- 6 時限目：〃 (ゲーム)
- 7 時限目：〃 (ゲーム)
- 8 時限目：〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10時限目：〃 (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11時限目：〃 (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12時限目：〃 (ゲーム)
- 13時限目：〃 (ゲーム)
- 14時限目：〃 (ゲーム)
- 15時限目：〃 (まとめと評価)

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科目名**担当者名**

健康・スポーツ実習(室内球技)

たなかよし
田中佳孝

〔再クラス〕

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール**【前期】**

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓球(ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃(サービスとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 5 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 6 時限目：〃(ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目：〃(ダブルスゲーム)
- 8 時限目：〃(まとめと評価)
- 9 時限目：フットサル(ルール説明、キックの基本Ⅰ、キーパーなしゲーム)
- 10 時限目：〃(キックの基本Ⅱ、キーパーなしゲーム)
- 11 時限目：〃(ボールコントロールの基本Ⅰ、ゲーム)
- 12 時限目：〃(ボールコントロールの基本Ⅱ、ゲーム)
- 13 時限目：〃(ゲーム)
- 14 時限目：〃(ゲーム)
- 15 時限目：〃(ゲーム)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール(パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃(アタックとブロックの技術、ルール解説)
- 4 時限目：〃(フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目：〃(ゲーム)
- 6 時限目：〃(ゲーム)
- 7 時限目：〃(ゲーム)
- 8 時限目：〃(まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール(パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目：〃(レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目：〃(ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目：〃(ゲーム)
- 13 時限目：〃(ゲーム)
- 14 時限目：〃(ゲーム)
- 15 時限目：〃(まとめと評価)

履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

その他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(トレーニング)

あき 秋 た こう 田 浩 いち 一

[再クラス]

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場でやるので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期)7月19日(水)～23日(日)、(後期)1月7日(日)～11日(木)
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 保
健 体
目 育

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(ソフトボール)

しも や ち かつとし たかはし しゅんすけ
下谷内勝利・高橋 俊介

[再クラス]

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1日目
 - 午前：チーム分け、基本練習(キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他)
 - 午後：同上
- 第2日目
 - 午前：ゲーム
 - 午後：〃
- 第3日目
 - 午前：〃
 - 午後：審判法・ゲーム
- 第4日目
 - 午前：〃
 - 午後：〃

第5日目
午前：々
午後：々

履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：〔前期〕7月19日(水)～23日(日)、〔後期〕1月7日(日)～11日(木)
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名

担 当 者 名

健康・スポーツ実習(卓球)

しもや ちかつとし やまぐち よしひろ
下谷内勝利・山口 良博

〔再クラス〕

保 科
健 体
育 目

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール(シングルス、ダブルス)を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットティング、フォアハンドの基本形。
- 1日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2日目午前：バックハンドショットの打ち方、バックハンドゲーム
- 2日目午後：カットの打ち方と返球の方法、シングルスゲーム
- 3日目午前：シングルスゲーム、ダブルスゲームのやり方
- 3日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4日目午前：ダブルスゲーム
- 4日目午後：ダブルスゲーム
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：〔前期〕7月19日(水)～23日(日)、〔後期〕1月7日(日)～11日(木)
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(バドミントン)

まきの
牧野 茂

[再クラス]

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 一日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）
 1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
 (1) (スマッシュ、ドロップ)、コート反面のシングルス・ゲーム
 2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
 (2) (スマッシュ、クリアー、ドライブ)、サービス
 2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
 (1) (クリアー、ヘアピン・ショット)、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
 3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
 (2) (ロブ、クロス、ネットショット)、シングルス・ゲーム
 3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
 4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
 (3) (カット、プッシュ)、総合練習、ダブルス・ゲーム
 4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
 5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
 5日目午後：総合練習、トーナメント形式のゲーム

履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服とする。
- (2) 体育館シューズを用意すること。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月19日(水)～23日(日)、(後期) 1月7日(日)～11日(木)
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

保健
体育
目録

科 目 名**担 当 者 名**健康・スポーツ実習(室内球技)
〔再クラス〕

すず 鈴 き 木 じゅん べい 淳 平

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の愉しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月19日（水）～23日（日）、（後期）1月7日（日）～11日（木）
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

保健
体育
目**科 目 名****担 当 者 名**健康・スポーツ実習(トレーニング&太極拳)
〔再クラス〕みつ なが よし てる
光 永 吉 輝**講義のねらい**

この講義では午前には、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクセスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難しいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている、全コース八組（24式）あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2～4式となっているが、ここでは、第一組から第四組（11式）までを学ぶねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 日目
午前：オリエンテーション・体力測定
午後：オリエンテーション・基本動作・第一組（3式）
- 2 日目
午前：カイザーカムⅡの使用説明、最大筋力測定
午後：第一組、第二組（3式）
- 3 日目
午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組（2式）
- 4 日目
午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組、第四組（3式）、総合
- 5 日目
午前：体力測定
午後：総合（1～11式）、テスト

履修上の留意点	服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング上で行うので、体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。 尚、太極拳は最終日に演武テストを行う。
その他	再クラス 集中授業コース実施について (1) 実施期間：(前期) 7月19日(水)～23日(日)、(後期) 1月7日(日)～11日(木) 7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合 (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30 (3) 実施場所：玉川体育館 (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。 (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	担当者名
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(簡化太極拳)	
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(簡化太極拳)	
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(簡化太極拳)	

科 保
目 健
育

講義のねらい	太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のためKOMAnet・インターネットで配信(学内のみ)の予定。
--------	---

講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱 5時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・転身左ドン脚 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂 10時限目：第八組 転身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢 11時限目：総合 12時限目：総合 13時限目：総合 14時限目：総合 15時限目：テスト
----------------	--

履修上の留意点	1) 定員：45名とする。 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。 3) 教場：修道館2階
---------	---

成績評価の方法	出席率70%、総合評価30%で行う。
---------	--------------------

科 目 名**担 当 者 名**

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(バドミントン)
 生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(バドミントン)
 生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(バドミントン)
 生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(バドミントン)

なが はま とも お
長 濱 友 雄**講義のねらい**

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通じて体験することから、これからの活動欲求を高める。
 また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 (1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
 - 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
 - 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
 - 4時限目：反面での簡易ゲーム
 - 5時限目：〃
 - 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
 - 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
 - 8時限目：
 - 10時限目：
 - 11時限目：
 - 15時限目：
- 総合練習・ゲーム（シングルス）
 総合練習・ゲーム（ダブルス）

保 健 体 育 目

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名**担 当 者 名**

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(室内球技)
 生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(室内球技)
 生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(室内球技)
 生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(室内球技)

すず き じゅん べい
鈴 木 淳 平**講義のねらい**

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。
 1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
- 定員は50名とする。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(卓球)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(卓球)

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(卓球)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(卓球)

まきの 野 茂

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 - (2) スマッシュを打つことが出来る。
 - (3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ラケットの持ち方、サーブ
- 3 時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
- 4 時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
- 5 時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
- 6 時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
- 7 時限目：シングルスゲームの練習
- 8 時限目： }
- 9 時限目： } 総合練習、シングルスゲーム練習
- 10 時限目： }
- 11 時限目： }
- 12 時限目： }
- 13 時限目： } 総合練習、ダブルスゲーム
- 14 時限目： }
- 15 時限目： }

保健
体育
目録

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(バスケットボール)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(バスケットボール)

まきの 牧野 茂

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(バスケットボール)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(バスケットボール)

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス(1)、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス(2)、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム(リーグ戦)
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク(1)、フルコート2対1、ゲーム(リーグ戦)
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク(2)、フルコート2対1、ゲーム(リーグ戦)
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE(1) ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE(2) ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE(3) ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 14時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 15時限目：実技テスト、ゲーム(リーグ戦)

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)

保健体育
科目

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(フットサル)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(フットサル)

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(フットサル)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(フットサル)

たなかよし
田中佳孝

講義のねらい

室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、ルール説明
- 2 時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 3 時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
- 4 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 5 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
- 6 時限目：基本戦術Ⅰ、ゲーム
- 7 時限目：基本戦術Ⅱ、ゲーム
- 8 時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。遅刻は認めない。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。

その他

定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

科保健
目体育

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(簡化太極拳)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(簡化太極拳)

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(簡化太極拳)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(簡化太極拳)

おおいし たけし
大石 武士

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のためKOMAnet・インターネットで配信(学内のみ)の予定。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攏雀尾・右攏雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名**担当者名**

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(ミニサッカー)
 生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(ミニサッカー)
 生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(ミニサッカー)
 生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(ミニサッカー)

おお いし たけ し
大石 武士**講義のねらい**

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュール
 1 時限目：オリエンテーション
 2 時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
 3 時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
 4 時限目～9 時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
 10時限目～14時限目：ゲーム
 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

科保
健体
目育**科目名****担当者名**

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(バドミントン)
 生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(バドミントン)
 生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(バドミントン)
 生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(バドミントン)

すず き じゅん べい
鈴 木 淳 平**講義のねらい**

バドミントンを生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

1 時限目：オリエンテーション
 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
 4 時限目：反面での簡易ゲーム
 5 時限目：
 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
 8 時限目：
 } 総合練習・シングルスゲーム
 11時間目：
 12時間目：
 } 総合練習・ダブルスゲーム
 15時間目：

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(バドミントン)
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(バドミントン)
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(バドミントン)
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(バドミントン)

なが はま とも お
長 濱 友 雄

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通じて体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習ゲームを行なう中で社会的態度を養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4 時限目：総合練習
- 5 時限目：総合練習
- 6 時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10 時限目： }
- 11 時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15 時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものを用意する。
4. シューズは体育館専用のもを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科
保
健
体
育
目

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(卓球)
 生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(卓球)
 生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(卓球)
 生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(卓球)

まさの 牧野 茂

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3 時限目：サーブ、ラリー
- 4 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 8 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 9 時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 14 時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15 時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

保健体育
科目

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(バスケットボール)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(バスケットボール)

まきの野 茂

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(バスケットボール)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(バスケットボール)

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート 2 対 1
- 3 時限目：2 ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3 対 3 ゲーム
- 4 時限目：2 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 2 対 1、3 対 3 ゲーム
- 5 時限目：3 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 3 対 2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：4 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 4 対 3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（1）ハーフ・コート 2 対 2、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（2）ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（3）ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：モーション・オフENSE（1）ハーフ・コート 2 対 2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：モーション・オフENSE（2）ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：モーション・オフENSE（3）ハーフ・コート 4 対 4、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

保健体育目

生涯スポーツ実習(テニス)
(集中前期・基礎/応用)え ぐち じゅん いち
江 口 淳 一

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標としている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：ラケットイング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術
1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ
2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム
3日目午前：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
3日目午後：〃〃〃（戦術と応用）
4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ
5日目午前：トーナメント形式の試合
5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月19日（水）～23日（日）
7月19日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。特・4時限（前期）

科目名**担当者名**

生涯スポーツ実習(テニス)
(集中後期・基礎/応用)

えぐち じゅん いち
江口 淳一

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標としている。

また、テニスは打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

1 日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認

1 日目午後：ラリーの応用練習

2 日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ

2 日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。

3 日目午前：ダブルスのルールとポジショニング

3 日目午後：ダブルス (平行陣への移行)

4 日目午前：ダブルス・ゲーム (メンタル面を考慮した)

4 日目午後：シングルス・ゲーム (メンタル面を考慮した)

5 日目午前：団体戦形式の試合

5 日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況 (出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

その他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：1月7日(日)～11日(木)

1月7日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合

- (2) 実施時間：10：00～12：00

13：00～15：30

- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート

- (4) 定員：40名とする。

(5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届 (事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。

特・4時限 (後期)

科目名**担当者名**生涯スポーツ実習(ゴルフ)
(集中後期・基礎/応用)み ぬき はる み
三 幣 晴 三**講義のねらい**

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講生同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
- (2) グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

- (1) 実施期間：1月7日（日）～11日（木）
1月7日午前10時に玉川校舎集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。
- (5) 定員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科 保
健 体
育

科目名**担当者名**生涯スポーツ演習Ⅰ(ゴルフ)
(シーズン基礎/応用)たておか よしあき
館岡 儀秋 他**講義のねらい**

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一歩進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション：
 - 1回目 4月8日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
 - 2回目 4月15日(土) 12:20~12:40 2研-102教場

※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業：7月17日(月) 13:00~16:10 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月4日(月)

講義：9:00~12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎
実技：13:00~17:30 打撃練習

※注意：1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月5日(火) 実技・講義：11:00~18:00 打撃練習・ゴルフ規則Ⅰ、その他
 - 3日目 9月6日(水) 実技・講義：8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフ規則Ⅱ
 - 4日目 9月7日(木) 実技・講義：8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括
 - 5日目 9月8日(金) 実技・講義：8:30~13:30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

生涯スポーツ演習Ⅰ(シーズン基礎・シーズン応用)を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

- 実習日程：平成18年9月4日(玉川校舎)・9月5日~8日(現地：3泊4日)
- 場所：

宿泊：マウロドインターナショナルホテル成田
286-0121 千葉県成田駒井野763-1
電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習場コース：ダイナミックゴルフ成田
289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040
電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785
- 定員：40名
- 集合解散：
 - (1) 集合 9月4日(月) 午前9時 玉川校舎 305教場
9月5日(火) 午前11時 ダイナミックゴルフ成田
 - (2) 解散 9月8日(金) 午後12時30分：予定 ダイナミックゴルフ成田
- 受講料：35,700円(左記金額には、交通費は含まれない。)
- 納入期間：平成18年5月22日(月)~6月3日(土)
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
- 服装・用具
 - (1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - (2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - (3) グローブは、必ず各自で用意すること。
 - (4) ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は講義・実技の出席状況講義・実技テスト実習参加態度等総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部（第2研究館9階資料室）に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

前期終了科目成績発表日（9月4日）と1日目授業（玉川校舎）の日程が重複しています。該当者は、1日目の午前中に、予め教務部窓口で成績表を受け取ってから授業に参加してください。

科目名**担当者名**

生涯スポーツ演習Ⅱ(スキー・スノーボード)
(シーズン基礎/応用)

えぐち じゅんいち
江口 淳一 他

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1 回目 4月8日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2 回目 4月15日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1 回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2 回目を実施します。
2. 事前授業 1月11日(木) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1 日目 2月5日(月)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2 日目 2月6日(火)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3 日目 2月7日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4 日目 2月8日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5 日目 2月9日(金)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習Ⅱシーズン・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成19年2月5日(月)～2月9日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話 (0195) 73-5019
- 3) 定 員：スキー 20名
スノーボード 30名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成18年5月22日(月)～6月3日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科目名**担当者名**

健康・スポーツ論1

佐藤政之

講義のねらい

現代社会は早いテンポで激しく移り変わり、新しい健康問題が次つぎと生じてきている。若年者を含む人々の中に成人病が増えてきている。もはや最先端の医療技術だけでは抑え込めぬ時期にきている。このような時代の中で、健康とは何か、なぜ大切であるのかという、しっかりした健康観を持ち、「自からの健康は自からで守る」という自覚が必要である。本講義は日常の学生生活内容を豊かにするため、正しい食生活を中心に運動・スポーツの基礎的な知識を正しく理解し、心身をリフレッシュし、体力、健康の維持、増進につとめるための手助けとなる事を目的にする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 〃：現代生活と健康（食生活と健康）
- 3 〃：〃（食生活と栄養）
- 4 〃：〃（運動不足と成人病）
- 5 〃：〃（平均余命と寿命の伸び）
- 6 〃：〃（健康のための生活習慣）
- 7 〃：〃（喫煙・飲酒）
- 8 〃：〃（ストレス社会と健康障害）
- 9 〃：〃（ストレスと健康測定）
- 10 〃：現代生活と運動（健康づくり運動）
- 11 〃：〃（スポーツマンのトレーニング）
- 12 〃：〃（スポーツマンの運動処方）
- 13 〃：〃（スポーツ医学の一般知識）
- 14 〃：〃（スポーツと環境・条件）
- 15 〃：まとめ

成績評価の方法

「レポート」の提出3回

教科書

教科書は使用しない。配布プリントにて授業を進める。

保健
体育
目
録

講義のねらい

現代文明は、経済性、利便性、効率性の名の下に人間を身体運動から遠ざけ、結果として運動不足症候群と呼ばれる様々な弊害を生んできた。本講義では、現代社会において、より良く、たくましく生きて行く為に人間生活の基本である健康、体力、身体運動に対する理解を科学的アプローチで深め、さらには身体運動を自立的に生活の中に位置づけていく態度と能力の育成を図ることを目的とする。

また、運動・スポーツの文化的意義について学ぶことで、Quality of life を実践するための基礎を養うことを主眼に講義を進めるつもりである。

人が生きて行くためには、自らの身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤である。スポーツを単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また身体を認識する手段としてとらえ、更に、スポーツを楽しむ能力とゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを本講義の目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：講義の目標の説明、学生の学習目標設定
- 2 時限目：ゆとり時代の LIFE STYLE (To have or To be)
- 3 時限目：生涯学習社会と大学保健体育科目の意義
- 4 時限目：現代社会と健康・スポーツ（余暇社会、高齢化社会と健康阻害要因）
- 5 時限目：健康と体力の概念
- 6 時限目：人体 1) 骨格の構造
- 7 時限目： 2) 筋肉の構造
- 8 時限目： 3) 運動と呼吸循環器系
- 9 時限目： 4) 運動と代謝
- 10 時限目： 5) 運動エネルギー供給の仕組み
- 11 時限目：スポーツ・トレーニングの筋、骨格に及ぼす効果
- 12 時限目：スポーツ・トレーニングの呼吸循環器系に及ぼす効果
- 13 時限目：運動処方計画のための基礎（パワートレーニング、エアロビクストレーニング）
- 14 時限目：スポーツ科学分野におけるトピックス、21世紀に向けての健康づくり
- 15 時限目：まとめ-学生自身による授業評価-

成績評価の方法

出席状況および授業最終日に行うアンケートにて評価する。

参考書等

- 配布プリントにより授業を進めるため教科書はないが、以下の文献は参考図書となる。
- 『運動処方』（朝倉書店）3,500円
 - 『運動生理学20講』（朝倉書店）2,884円
 - 『「ゆとり」時代のライフスタイル』（日本経済新聞社）1,300円

科目名	担当者名
健康・スポーツ論2	大石 武士

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病氣や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病氣・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E 処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参考書等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急－応急手当の手引き－』（小学館）700円

その他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

保健
体育
目
育

講義のねらい

健康は、人間が生きて何かを実現していく上で最も重要な基本的前提条件である。本講義は、医学的見地からの健康を論じるだけでなく、人間が生きがいを持って生きる上で身体的・精神的健康を獲得するための実践的条件を検証するものである。

スポーツは過去から現代まで人類が営々と築きあげてきた文化である。スポーツは実践だけでなく、観ることやマスコミからの多くのインフォメーションによってわれわれ現代人にさまざまな影響を及ぼしている。スポーツを狭い領域からだけ論じるのではなく、我々が生き生きと生きるために必要な情報としてのスポーツの価値を論じるものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康とは何か I
- 3 時限目：同 II
- 4 時限目：同 III
- 5 時限目：同 IV
- 6 時限目：同 V
- 7 時限目：ストレスとは何か I
- 8 時限目：同 II
- 9 時限目：スポーツ論 I
- 10 時限目：同 II
- 11 時限目：同 III
- 12 時限目：同 IV
- 13 時限目：同 V
- 14 時限目：健康のまとめ
- 15 時限目：スポーツ論のまとめ

保健
体育
目録

履修上の留意点

毎時限配布するプリントを重視して進める。

成績評価の方法

出席・欠席を特に重視する。また、授業中に行われる小テストの成績も重要である。

教科書

特に指定するものはない。

参考書等

『ホモ・ルーデンス』（中央公論社）
『マイネル・スポーツ運動学』（大修館書店）

その他

講義形式を基本とし、必要に応じてビデオや実技も加える。

科目名

担当者名

健康・スポーツ論 2

まきの野 茂

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンスアンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か (1) 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か (2)
- 4 時限目：健康とは何か (3)
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進 (1) 科学的研究健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進 (2) 保健衛生サービス健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHO の総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康 (1) 運動・栄養・休養 (1)
- 11 時限目：日常生活と健康 (2) ク ・ ク ・ ク (2)
- 12 時限目：日常生活と健康 (3) 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について (1) インフルエンザ結核
- 14 時限目：感染症について (2) 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

数回の小テストと学期末の筆記試験で評価する。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

「健康科学—知っておきたい予防医学—」(丸善) 1,900円
「ライフスタイルと健康の科学」(不昧堂出版) 2,400円
他は、講義のなかで紹介する。

保健
体育
目

科
保
健
体
育
目
录

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

1 国 文 学 科

国

文

Ⅱ. 専門教育科目

(1) 国文学科

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
基礎国語学	国文1必	通年	4	土井光祐	329
基礎国語学	国文1必	通年	4	奈部淑子	329
基礎国文学Ⅰ	国文1必	通年	4	近衛典子	330
基礎国文学Ⅰ	国文1必	通年	4	松井健児	330
基礎国文学Ⅰ	国文1必	通年	4	中嶋真也	331
基礎国文学Ⅱ	国文1必	通年	4	岡田豊	331
基礎国文学Ⅱ	国文1必	通年	4	高田知波	332
基礎国文学Ⅱ	国文1必	通年	4	勝原晴希	332
漢文学	国文1必	通年	4	濱田寛	333
国語学概論	国文1・2必	通年	4	奈部淑子	333
国文学概論	国文1・2必	通年	4	高橋文二	334
国文学史Ⅰ(古典)	国文2・3・4選必	通年	4	櫻井陽子	335
国文学史Ⅰ(古典)	国文2・3・4選必	通年	4	林達也	336
国文学史Ⅱ(近現代)	国文2・3・4選必	通年	4	勝原晴希	336
国文学史Ⅱ(近現代)	国文2・3・4選必	通年	4	岡田豊	337
国語史	国文2・3・4選必	通年	4	休講	
国語学史	国文2・3・4選必	通年	4	山本真吾	337
国語学研究Ⅰ	国文2・3・4選必	通年	4	土井光祐	338
国語学研究Ⅱ	国文2・3・4選必	通年	4	休講	
上代文学研究Ⅰ	国文2・3・4選必	通年	4	中嶋真也	338
上代文学研究Ⅱ	国文2・3・4選必	通年	4	多田一臣	339
中古文学研究Ⅰ	国文2・3・4選必	通年	4	松岡智之	339
中古文学研究Ⅱ	国文2・3・4選必	通年	4	松井健児	340
中世文学研究Ⅰ	国文2・3・4選必	通年	4	櫻井陽子	340
中世文学研究Ⅱ	国文2・3・4選必	通年	4	田中徳定	341
近世文学研究Ⅰ	国文2・3・4選必	通年	4	近衛典子	341
近世文学研究Ⅱ	国文2・3・4選必	通年	4	休講	
近代文学研究Ⅰ	国文2・3・4選必	通年	4	榎本正樹	342
近代文学研究Ⅱ	国文2・3・4選必	通年	4	高田知波	342
国語学特講Ⅰ	国文2・3・4選必	通年	4	山本真吾	343
国語学特講Ⅱ	国文2・3・4選必	通年	4	豊澤弘伸	343
国文学特講Ⅰ	国文2・3・4選必	通年	4	遠藤宏	344
国文学特講Ⅱ	国文2・3・4選必	通年	4	渡部泰明	344
国文学特講Ⅲ	国文2・3・4選必	通年	4	渡部泰明	345
国文学特講Ⅳ	国文2・3・4選必	通年	4	岩崎雅彦	345
国文学特講Ⅴ	国文2・3・4選必	通年	4	佐藤武光	346
国文学特講Ⅵ	国文2・3・4選必	通年	4	立石和弘	347
国文学特講Ⅶ	国文2・3・4選必	通年	4	植田恭代	347
国文学特講Ⅷ	国文2・3・4選必	通年	4	池山晃	348
国文学特講Ⅸ	国文2・3・4選必	通年	4	神田由美子	348
国文学特講Ⅹ	国文2・3・4選必	通年	4	国松俊英	349

国文学特講 XI	国文 2・3・4 選必	通年	4	榎本正樹	349
国語国文学演習 I	14以降入学生/国文 2 必	通年	4	岡田豊	350
国文学演習 I	13以前入学生/国文 2 必				
国語国文学演習 I	14以降入学生/国文 2 必	通年	4	勝原晴希	350
国文学演習 I	13以前入学生/国文 2 必				
国語国文学演習 I	14以降入学生/国文 2 必	通年	4	近衛典子	351
国文学演習 I	13以前入学生/国文 2 必				
国語国文学演習 I	14以降入学生/国文 2 必	通年	4	櫻井陽子	351
国文学演習 I	13以前入学生/国文 2 必				
国語国文学演習 I	14以降入学生/国文 2 必	通年	4	高田知波	352
国文学演習 I	13以前入学生/国文 2 必				
国語国文学演習 I	14以降入学生/国文 2 必	通年	4	高橋文二	352
国文学演習 I	13以前入学生/国文 2 必				
国語国文学演習 I	14以降入学生/国文 2 必	通年	4	田中徳定	353
国文学演習 I	13以前入学生/国文 2 必				
国語国文学演習 I	14以降入学生/国文 2 必	通年	4	土井光祐	353
国語学演習 I	13以前入学生/国文 2 必				
国語国文学演習 I	14以降入学生/国文 2 必	通年	4	中嶋真也	354
国文学演習 I	13以前入学生/国文 2 必				
国語国文学演習 I	14以降入学生/国文 2 必	通年	4	林達也	355
国文学演習 I	13以前入学生/国文 2 必				
国語国文学演習 I	14以降入学生/国文 2 必	通年	4	松井健児	356
国文学演習 I	13以前入学生/国文 2 必				
国語国文学演習 II	14以降入学生/国文 3 必	通年	4	岡田豊	356
国文学演習 II	13以前入学生/国文 3 必				
国語国文学演習 II	14以降入学生/国文 3 必	通年	4	勝原晴希	357
国文学演習 II	13以前入学生/国文 3 必				
国語国文学演習 II	14以降入学生/国文 3 必	通年	4	近衛典子	357
国文学演習 II	13以前入学生/国文 3 必				
国語国文学演習 II	14以降入学生/国文 3 必	通年	4	櫻井陽子	358
国文学演習 II	13以前入学生/国文 3 必				
国語国文学演習 II	14以降入学生/国文 3 必	通年	4	高田知波	358
国文学演習 II	13以前入学生/国文 3 必				
国語国文学演習 II	14以降入学生/国文 3 必	通年	4	高橋文二	359
国文学演習 II	13以前入学生/国文 3 必				
国語国文学演習 II	14以降入学生/国文 3 必	通年	4	田中徳定	359
国文学演習 II	13以前入学生/国文 3 必				
国語国文学演習 II	14以降入学生/国文 3 必	通年	4	土井光祐	360
国語学演習 II	13以前入学生/国文 3 必				
国語国文学演習 II	14以降入学生/国文 3 必	通年	4	中嶋真也	361
国文学演習 II	13以前入学生/国文 3 必				
国語国文学演習 II	14以降入学生/国文 3 必	通年	4	林達也	362
国文学演習 II	13以前入学生/国文 3 必				
国語国文学演習 II	14以降入学生/国文 3 必	通年	4	松井健児	363
国文学演習 II	13以前入学生/国文 3 必				
国語国文学演習 III	14以降入学生/国文 4 必	通年	4	岡田豊	363
国文学演習 III	13以前入学生/国文 4 必				

国語国文学演習Ⅲ	14以降入学生／国文4必	通年	4	勝原晴希	364
国文学演習Ⅲ	13以前入学生／国文4必				
国語国文学演習Ⅲ	14以降入学生／国文4必	通年	4	近衛典子	364
国文学演習Ⅲ	13以前入学生／国文4必				
国語国文学演習Ⅲ	14以降入学生／国文4必	通年	4	櫻井陽子	365
国文学演習Ⅲ	13以前入学生／国文4必				
国語国文学演習Ⅲ	14以降入学生／国文4必	通年	4	高田知波	365
国文学演習Ⅲ	13以前入学生／国文4必				
国語国文学演習Ⅲ	14以降入学生／国文4必	通年	4	高橋文二	365
国文学演習Ⅲ	13以前入学生／国文4必				
国語国文学演習Ⅲ	14以降入学生／国文4必	通年	4	田中徳定	366
国文学演習Ⅲ	13以前入学生／国文4必				
国語国文学演習Ⅲ	14以降入学生／国文4必	通年	4	土井光祐	366
国語学演習Ⅲ	13以前入学生／国文4必				
国語国文学演習Ⅲ	14以降入学生／国文4必	通年	4	中嶋真也	367
国文学演習Ⅲ	13以前入学生／国文4必				
国語国文学演習Ⅲ	14以降入学生／国文4必	通年	4	林達也	367
国文学演習Ⅲ	13以前入学生／国文4必				
国語国文学演習Ⅲ	14以降入学生／国文4必	通年	4	松井健児	368
国文学演習Ⅲ	13以前入学生／国文4必				
国語学演習Ⅳ	13以前入学生／国文4必	通年	4	土井光祐	368
国文学演習Ⅳ	13以前入学生／国文4必	通年	4	松井健児	368
中国文学	国文2・3・4選	通年	4	田熊信之	369
比較文学	国文2・3・4選	通年	4	木村朗子	369
児童文学	国文2・3・4選	通年	4	国松俊英	370
有職故実	国文2・3・4選	通年	4	近藤好和	370
日本民俗学	国文2・3・4選	通年	4	谷口貢	371
民間信仰論	国文2・3・4選	通年	4	谷口貢	371
日本史概説	国文2・3・4選	通年	4	松本信道	507
日本文化史	国文2・3・4選	通年	4	吉田政博	567
仏教概論				休講	
東洋思想史	国文2・3・4選	通年	4	末木恭彦	372
西洋思想史	国文2・3・4選	通年	4	柴野博子	372
美術史概説	国文2・3・4選	通年	4	北野良枝	373
演劇概論	国文2・3・4選	通年	4	森井直子	374
書道概論	国文2・3・4選	通年	4	金子大蔵	375
書道史	国文2・3・4選	通年	4	那須隆吉	375
書道実習Ⅰ	国文2・3・4選	通年	4	金子大蔵	376
書道実習Ⅱ	国文2・3・4選	通年	4	那須隆吉	376
書道実習Ⅲ	国文2・3・4選	通年	4	那須隆吉	377
編集実務	国文2・3・4選	通年	4	長谷川孝	377

国

文

科目名

担当者名

基礎国語学

土井光祐

講義のねらい

国語学への入門として、国語即ち日本語を学問対象とする際の必須の基礎知識を概説する。さまざまな観点から日本語の特質を知り、日本語への興味を高めてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 総論
 - ・国語と日本語
 - ・国語学と日本語学
 - ・ソシユールと構造言語学
 - ・時枝誠記と言語過程説
 - ・西洋言語学と国学と近代国語学
- 文法論
 - ・言語の単位（形態素、語、文の成分）
 - ・学校文法における品詞論の仕組みと問題点
 - ・文法史の諸問題
 - ・学校文法の構文論と最近の構文論
- 音声学と音韻論
 - ・音声学と音韻論
 - ・日本語の音声と音韻の特質
 - ・音韻変化
 - ・アクセント
- 文字論
 - ・文字の各種
 - ・仮名遣い

履修上の留意点

既習の知識が次のトピックの前提となる累積型の授業内容となるので、その都度各トピックの確実な理解が求められる。

成績評価の方法

出席点30% 学年末試験70%

教科書

佐伯哲夫・山内洋一郎『国語概説』、和泉書院、1,785円、ISBN4-900137-51-0

参考書等

授業中に紹介する。

国
文

科目名

担当者名

基礎国語学

奈部淑子

講義のねらい

国語学の主要な研究分野についての理解を深め、国語学研究の姿勢・ありかたについて学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

①はじめに ②～⑤音声・音韻について ⑥～⑩文字・表記について ⑪～⑬語彙について ⑭～⑱文法・敬語について ⑲～⑳文章・文体について ㉑試験

履修上の留意点

一年間通して、やっと国語学の概要がみえてくるものなので、なるべく出席することが望ましい。私語はしないこと。

成績評価の方法

年度の最後に学年末試験を行う。

教科書

『国語概説』（和泉書院）1,700円

参考書等

特になし。

その他

授業方法は講義形式で行う。随時プリント等を配布。

科目名

担当者名

基礎国文学 I

このえのりこ
近衛典子

講義のねらい

大きく眺め渡せば古典文学の爛熟期でもあり、近代文学の萌芽期でもある江戸時代の文学作品に親しみ、併せて古典文学を学ぶ上での基本的な方法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

近世小説を中心に、幅広く近世文芸の展開の様を概観する。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合的に見て評価する。

教科書

櫻井武次郎編『近世小説選』（双文社出版）

科目名

担当者名

基礎国文学 I

まついけんじ
松井健児

講義のねらい

古典文学読解のための基礎的な知識と方法を学ぶ。古語による言語表現の持つ広がりや深さを実感する。成立や時代背景の違いによる表現の多様性を受容し、積極的な理解へといたる教養を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

韻文・散文における、代表的な古典文学作品の具体的な読解を示す。歴史的・表現史的な背景に触れ、あわせて研究への指針となるような術語についても解説する。

履修上の留意点

自主性と積極性。欠席の多い場合は評価の対象としない。

成績評価の方法

①筆記試験 ②レポート ③出席状況 ④その他を総合しておこなう。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業時に紹介する。

国
文

科目名

基礎国文学Ⅰ

担当者名

中嶋真也

講義のねらい

大学に入る前に、いくつかの古文を学んできたものと思う。その経験を踏まえつつ、古典文学作品が使われたことばに即して丁寧に読解し、文学研究への視点の置き方を学ぶ。また、古典作品は元来、手で書かれ享受されてきた。その使われた文字に慣れるよう、くずし字の学習も行なう。

講義の内容・
授業スケジュール

『百人一首』をきっかけにして、さまざまな作品を読んで行く。前期はくずし字理解を主眼とし、後期はそれに基づいて具体的な作品を読む。

履修上の留意点

出席を当然のこととし、受身にならず取り組むこと。授業を軸に、各自の古典への関心を涵養し、様々な作品を自らの意志で読み進めてもらいたい。

成績評価の方法

出席、小テスト、授業態度、提出物、学期末の試験によって総合的に評価する。

教科書

『字かな—出典明記—』改訂版（笠間書院）。左記以外の教材は、必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

授業中に適宜指示する。

科目名

基礎国文学Ⅱ

担当者名

岡田豊

国
文

講義のねらい

作品を具体的に読み進めながら、日本の近現代小説の研究方法について学ぶ。古典文学に比して、言語上の障害が少ない近現代の小説を、研究の対象として取り上げることの意義および研究の方法について学ぶ一年である。参考文献はどうやって調べるのか、どのようなアプローチがあるのか、どのように論じるのか、等について講じる。

講義の内容・
授業スケジュール

いくつかの近現代の作品を読む。作品評価の見直しや作家のあまり注目されなかった側面への論及といった近年の研究動向を紹介し、これまで何が問われてきたのかを確認しながら、新たな研究の課題や読みの可能性について探っていく。先行論文の読解をすることもあるし、文献検索実習も行う。

履修上の留意点

テキストを各自で準備し、読んで授業に参加すること。「この人物はどうしてこんなことを口にするのか?」「なぜこんな行動に出るのか?」「作品はなぜこんな終わり方をするのか?」等、素朴な疑問を持って授業に参加してほしい。そして、こんな考え方があるのか、ではこんな読みは出来ないだろうかと問題を掘り下げ、考えを深めて行ってほしい。出席を重要視する。初回の授業時に示す回数を超過した者は、定期試験の受験資格を失う。

成績評価の方法

授業中に提出を求める感想文等も考慮に入れる。筆記試験は、前期と後期の二回に分けて行い、成績は両方の試験の点数を合算して出すので注意してほしい。

教科書

吉本ばなな『キッチン』（角川文庫）その他、配布プリント

参考書等

その都度教場で紹介する。

科目名

担当者名

基礎国文学Ⅱ

たか だ ち なみ
高 田 知 波

講義のねらい

近代の小説作品の読みを通じて、大学における国文学研究の基礎について学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

1年間で3期に分け、第1期は夏目漱石の『坊っちゃん』、第2期は川端康成の『伊豆の踊子』、第3期は森鷗外『舞姫』をそれぞれ精読することによって、制度的な読みの定式を問いただす作業を臨床的に試みる。

履修上の留意点

小説の読みに、唯一絶対の《正解》というものとは存在しない。作品解釈についての固定観念を根底から疑い、論拠に基づいた自分自身の《読み》を追求することが近代文学研究の基本なのだということを、この授業を通して理解してほしいと思う。

成績評価の方法

原則として、年度末の筆記試験の結果によって評価を出す。欠席時数が多いと年度末試験の受験資格を失うことがある。

教科書

夏目漱石『坊っちゃん』（新潮文庫） 森 鷗外『阿部一族・舞姫』（新潮文庫） 川端康成『伊豆の踊子』（新潮文庫）

参考書等

教場で指示する。

科目名

担当者名

基礎国文学Ⅱ

かつ ほら はる き
勝 原 晴 希

講義のねらい

近現代の文学研究へのオリエンテーションと、具体的な作品を使ってのアプローチの方法を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

近現代文学についての概略的な講義を行なった後、近現代の代表的な短篇小说・評論・詩歌について作品の分析読解を進めて行く。それぞれの作品について、授業時間内に簡単なレポートを課し、その内容をふまえながら講義を進める。また基本的な研究の手づきについて講義する。

履修上の留意点

文学研究には基礎的な知識・技術の習得と主体的独創的な個別アプローチの両方が必要である。どちらか一方に偏らないよう、バランスを取りながら身につけて行って欲しい。

成績評価の方法

前後二回の試験、出席状況、時間内レポートによる。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業中に随時指示する。

科目名	担当者名
漢文学	はま だ かん 濱 田 寛

講義のねらい

本講義は基礎的な漢文読解力の涵養と、中国文学史一般に対する理解を目的とする。漢文学は日本文学と長い交渉の歴史がある。漢文学ならびに漢文訓読に習熟することは日本文学の一つの重要な基底を学ぶことにもなる。また、漢文学を読み解く上で必須となる所謂「工具書」についても十分な理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は訓点・送り仮名・書き下し文などの基本的な技術の習熟を目指す。高校までの漢文の学習を復習すると共に、漢文（古代漢語）としての語法の理解を目指したい。後期は前期の内容を踏まえ、白文からの読解の方法を実践的に学習する。講義では文法に関する考察が重要なテーマになるが、訓読によって捨象されてしまう漢文本来の含意についても注意を払いたい。また、講義の折々に中国文化・文学史・風俗などについても補助プリントを配布して紹介する予定である。

履修上の留意点

漢和辞典を必携とする（詳しくは教場にて紹介する）。

成績評価の方法

評価の基準は、前後期末の試験を80%、出席状況を10%、積極性などを10%とする。尚、「多欠」の扱いについては大学の規定に従う。

教科書

教場にて指示する。

参考書等

適宜教場にて紹介する。

その他

授業は講義形式となるが、漢文読解力は各自の努力が前提となることを忘れてはならない。積極的な参加を期待する。

国
文

科目名	担当者名
国語学概論	な べ とし こ 奈 部 淑 子

講義のねらい

国語学の主要な研究分野についての理解を深め、国語学研究の姿勢・ありかたを学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

①はじめに ②～⑤音声・音韻について ⑥～⑨文字・表記について ⑩～⑬方言・共通語について ⑭～⑯文法・敬語について ⑰～⑳文章・文体について ㉑試験

履修上の留意点

一年間を通して、やっと国語学の概要がみえてくるものなので、なるべく出席することが望ましい。私語はしないこと。

成績評価の方法

年度の最後に学年末試験を行う。

教科書

『国語概説』（和泉書院）1,700円

参考書等

特になし。

その他

授業方法は講義形式で行う。随時プリント等を配布。

科目名

担当者名

国文学概論

高橋文二
たか ほん ぶん じ

講義のねらい

国文学史上の代表的な古典作品を読み、古語に親しみつつ、そこに表れている自然観や宗教観や人間観について検討し、その作品の意義を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

一年間を三期に分け、次の
① 古典と自然・風土
② 古典と宗教（仏教と神道）
③ 古典と儀式（年中行事など）の3問題のありようを考察する。つまり古典が自然や宗教や儀式をどのようなものとして記し、描いていったかを考察し、古典作品の特質を明らかにしていきたい。

履修上の留意点

古語辞典を十分に活用し、自主的積極的に授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

筆記試験、レポート（夏休みの課題）出席状況などを総合的に判断して評価する。

教科書

『徒然草』（岩波文庫）

参考書等

教場でその都度紹介する。

科目名

担当者名

国文学史 I (古典)

さくら い よう こ
櫻 井 陽 子

講義のねらい

日本古典文学の流れを、中世を基軸としながら概観する。
時代や社会の変化と文学の足跡とは切り離すことはできない。中世文学が社会の変遷の中で、平安文学をどのように継承し、新たな文学世界を創造してゆくのか、また、中世文学の享受と創造の場の実態はどのようなものか、等を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

具体的に代表的な作品を掲げて作品の特徴を示し、内容に触れながら進める。

- 1) 中世はいつから始まるのか。
 - 1 中世という時代の特徴と文学との関係
- 2) 平安文学の継承と完成、そして、新たな展開 (和歌・日記・随筆)
 - 2・3 『千載和歌集』から、『新古今和歌集』まで
 - 4・5 『新古今和歌集』
 - 6 『新勅撰和歌集』とそれ以降
 - 7 俊成・定家・為家の系譜
 - 8 歌道家と物語作成・受容
 - 9 漢文日記と仮名日記
 - 10 『方丈記』と『徒然草』
- 3) 花開くジャンル (説話・軍記)
 - 11～13 説話と説話集
 - 14 注釈の世界
 - 15～18 軍記物語の発生と展開
- 4) 芸能・美術との交響
 - 19・20 能・狂言
 - 21・22 御伽草子
- 5) 中世の終焉
 - 23・24 合戦の時代の終焉と江戸時代の足音
 - 25・26 まとめ

履修上の留意点

講義ノートを作成しておくこと。

成績評価の方法

出席、授業態度、提出物、定期試験 (前期・後期) によって総合的に評価する。

教科書

『日本古典文学史』(双文社出版) 1,784円

国
文

科目名

担当者名

国文学史Ⅰ(古典)

はやし
林 たつ
達 や
也

講義のねらい

万葉から近世に至る、韻文を中心とした文学史。

講義の内容・
授業スケジュール

古代前期(奈良時代まで)
記紀歌謡・万葉集・漢詩文集
古代後期(平安時代)
勅撰集(三代集・三代集以後)の歴史/歌合せ/物語と和歌/歌論・
歌学
中世(鎌倉・南北朝・室町時代)
新古今集と新勅撰集/新古今時代の歌人/その後の勅撰集(玉葉集・
風雅集)
頓阿・正徹/歌道師範家(二条・冷泉)/宗祇・三条西実隆/連歌・
俳諧
近世(江戸時代)
堂上歌人とその周辺/徳川光圀の周辺/江戸派の人々/香川景樹と
桂園派/良寛を中心に/貞門・壇林/芭蕉・蕪村・一茶

履修上の留意点

韻文は日本文学の中心的な位置を占める。にもかかわらず、学生の韻文への関心は低い。和歌の読解の機会も出来るだけ多くとりたいたいと思っているので、積極的な参加を期待する。

成績評価の方法

原則として、前期末と学年末の試験により評価する

教科書

講義資料をプリントして配布する

参考書等

新訂国文学入門(放送大学教育振興会)
日本文芸史第1巻～第8巻(河出書房新社)

国
文

科目名

担当者名

国文学史Ⅱ(近現代)

かつ
勝 ほら
原 はる
晴 き
希

講義のねらい

『新体詩抄』に始まる日本の近現代詩の流れを通観し、把握する。あわせて詩作品を読み味わう力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の項目に従って進める。
1) 近代詩の源流 8) 口語自由詩へ
2) 讃美歌・唱歌 9) 象徴詩の展開
3) 『新体詩抄』 10) ヒューマニズムの詩
4) 『於母影』 11) 民衆詩派
5) 浪漫主義 12) 感情詩派
6) 『海潮音』 13) アヴァンギャルド
7) 象徴主義 14) モダニズム
15) 『四季』の詩人たち

履修上の留意点

自分自身で詩作品を読み、作品の「ことば」を味わい、作品の「こころ」に触れる、柔軟で意欲的な姿勢を望む。

成績評価の方法

前後二回の試験による。成績評価は厳しくするので、そのつもりで受講すること。

教科書

適宜プリントを配布。

参考書等

和田博文編『近現代詩を学ぶ人のために』(世界思想社)

科目名	担当者名
国文学史Ⅱ(近現代)	岡田豊 <small>おか たけあき</small>

講義のねらい

- (1) 同時代資料の読解トレーニングと読解力の向上
 - (2) 「～派・主義」の分類に終始せず、時代と表現を相関的にとらえて文学史を描くという作業の実践
 - (3) さまざまな作家や興味深い文学作品の紹介
- 以上3点を講義のねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

明治以降の日本の文学の流れを、特に小説を中心に、かつ同時代資料を通して概観する。学生自らが当時の資料を実際に確認しながら、時代の雰囲気を感じ取ることができるよう、授業担当者はなるべく工夫していく。一般の参考書に出てこない事項、あるいは従来の文学史が描こうとしなかった事柄が出てくるときもあるので、積極的に授業に参加してほしい。

履修上の留意点

読みにくい資料が数多く出てくる。したがって、復習に重点をおき、辞書や事典類で調べる習慣をつけると力がつく。何年、いつ頃の話なのかを見失わないようにすると混乱が避けられる。ある時点、その前後にどんなことが起こっているのかを頭の中で整理していくのもよい。配布プリントを試験に出題するので、ファイルなどに綴じて保管しておく必要がある。

成績評価の方法

年2回(前期・学年末)の試験で評価する。

教科書

配布プリント

参考書等

その都度教場で紹介する。

科目名	担当者名
国語学史	山本真吾 <small>やまもと しんご</small>

講義のねらい

国語学史は、「国語学」という学問の研究の歴史である。本講義では、これまで国語に関する研究にどのようなものがあり、個々の成果がどのように積み重ねられて発展してきたかについて、それぞれの時代の学者の研究意識に沿って考察することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】※以下の項目に従って、それぞれ3, 4回ずつ講義を行う。

1. 国語学史の必要性
2. 漢字漢文の輸入と国語研究
3. 梵字梵文の輸入と国語研究
4. 中世以降における諸外国との交渉と日本語研究

【後期】※以下の項目に従って、それぞれ3, 4回ずつ講義を行う。

1. 和歌・連歌の学と国語研究
2. 近世国学と国語研究
3. 文法研究の歴史
4. 音韻研究の歴史

履修上の留意点

図書館等に所蔵の関連文献を大いに活用して欲しい。

成績評価の方法

定期試験の成績による。

教科書

用いない。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

その他

適宜プリントを配布する。

科目名

担当者名

国語学研究Ⅰ

土井 光祐

講義のねらい

日本語における文体の歴史について概説する。
 一般に「文体」という術語は概念が一定しておらず、様々な意味で用いられている。本授業では、国語学における「文体」の概念について確認した上で、奈良時代から近代に至る文献資料を文体史の観点から概観し、主な研究成果を検討していく。

講義の内容・
授業スケジュール

国語学における「文体」は、文字・表記的な側面、語彙・語法の側面という二つの視点から捉えるのが普通である。両視点とも文献資料における文体形成の因子として客観的にデータ化して分析していくことになるが、時代や言語資料の性格によって、様々な問題点や考察上の工夫が必要となる。

本授業では、上記二つの視点から、上代～近代に至る諸資料を概観して、個々の資料の問題点を明らかにし、特質と史の変遷の跡とをたどっていく。また、文体の捉え方についての新たな可能性についても探ってみたい。

履修上の留意点

授業を欠席した場合は各自の責任においてフォローすること。

成績評価の方法

出席点30%、レポート内容70%

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業中に多数紹介する。

国
文

科目名

担当者名

上代文学研究Ⅰ

中嶋 真也

講義のねらい

本講義では、『万葉集』を精読し、古代の歌の様相を探求する。具体的には、「桜」などの景物を軸として、それらがどのような表現をなしているのかを見ていくことにしたい。また、『万葉集』歌の時期区分にも留意し、『万葉集』内での表現史も考察していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

最初は、『万葉集』の概説を行う。全20巻に及ぶ『万葉集』の歌の所収状況や、現在4つの区分で説明される作歌の時期などの説明を丁寧に行う。

その上で、一つの景物をどのように詠んでいるのかを、検証していく。具体的には、前期は「桜」の歌を中心に、後期は「雪」の歌を中心に読解していきたい。

履修上の留意点

毎回の授業で、できるだけ多くの歌を取り上げ、かつ精読していくつもりだが、各人が一層の興味を持って、さまざま読みを深めてほしい。また、そのような熱心な学生の意見や要望は、積極的に授業に生かしていきたい。講義というスタイルだが、主体的な受講を切に希望する。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、学期末試験などを軸に評価する。

教科書

鶴久・森山隆『万葉集』（おうふう）

参考書等

授業中に適宜指示する。

その他

テキスト以外の資料は、必要に応じてプリントで配布する。

科目名	担当者名
上代文学研究Ⅱ	多田一臣

講義のねらい	『万葉集』を当時の歴史との関係で読み解いていくことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	『万葉集』に登場する悲劇の主人公に焦点をあて、その生涯をたどりながら、残された作品を読み解いていきたい。具体的には、有間皇子・大津皇子・長屋王の三人を取り上げる予定。成り行きまかせてお話しするので、授業スケジュールの詳細は、現時点ではあきらかにできない。
履修上の留意点	とくにないが、以下に記すように、配布のプリント資料で講義をすすめるので、用意の都合上、出席者の変動があるのは困る。受講は出席の意志の堅い方だけにしてほしい（前回のプリントを下さいと言われても、上げられない）。
成績評価の方法	受講者数にもよるが、学年末に試験を行う。ノート・配布資料のみ持参可とするつもりである。受講者が少なければ、レポートあるいはレポートと試験の折衷（あらかじめ課題を出しておいて試験時間中に答案用紙に記入）とする。
教科書	使用しない。
参考書等	多田一臣編『万葉集ハンドブック』（三省堂）は、『万葉集』の全体を知るには便利なので、自薦だが掲げておく。
その他	授業方法は講義形式。プリント資料を配布する。

国
文

科目名	担当者名
中古文学研究Ⅰ	松岡智之

講義のねらい	平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩（和歌）が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。
講義の内容・授業スケジュール	①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語的ないし歌日記的なものに関する問題提起をする。②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解説する。④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を読解する。
成績評価の方法	レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。
教科書	プリント配布。
参考書等	授業時に紹介する。

科目名**担当者名**

中古文学研究Ⅱ

まついけんじ
松井健児**講義のねらい**

『源氏物語』の自然叙述を、その歴史的・表現史的な背景を踏まえつつ読み解いてゆく。ことに自然叙述の種々相における、認識方法や類型化の問題を、表現それ自体に内在する歴史性の問題として扱うことによって王朝文化論としての展開を試みる。

講義の内容・授業スケジュール

『源氏物語』より、訪問・哀傷・儀礼など、固有の意味を持ついくつかの場面を取り上げつつ講読する。具体的には、物語叙述と詩歌表現とを相互に関連付ける、歴史的心性および言語表現史への言及ということになる。折に触れ、王朝絵画や文様など、他の関連分野との比較検討を行う。

履修上の留意点

毎回、長文の本文を講読する。『源氏物語』の文章は難解で知られる。また、和歌・漢詩を数多く読むこととなる。古語辞典等を活用しつつ、自宅での予習・復習の時間にじっくりと本文と向き合い味読してほしい。また、この講義では、受講生による本文の音読を重視する。

成績評価の方法

①本文解釈を中心としたレポート ②出席状況 ③その他を総合して行う。

教科書

授業時にプリントを随時配布する。

科目名**担当者名**

中世文学研究Ⅰ

まくらいようこ
櫻井陽子**講義のねらい**

軍記物語、そして『平家物語』について、文学史上における意味・意義・問題点について講義し、次に作品の内容を紹介する。

その上で、『平家物語』の巻九の一ノ谷合戦の後の平家公達の去就を描く諸章段を読む。死に立ち向かう人間の苦悩・覚悟・悲しみ、また、戦功を求める合戦の状況などを読み解きながら、『平家物語』は何を描写し得たのか、何を切り落としたのかを考える。諸本による相違に目を配ることによって、『平家物語』の多面的な問題に触れる。

講義の内容・授業スケジュール

1～5 軍記物語にはどのような特徴があるか。
6～10 『平家物語』にはどのような特徴があるか。
11 『平家物語』巻九の位置づけ。
12～ 『平家物語』巻九の諸章段を読む。

履修上の留意点

講義ノートを作成しておくこと。

成績評価の方法

出席・授業態度・レポート・定期試験によって総合的に評価する。

教科書

授業時に指示する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名
中世文学研究Ⅱ	田中徳定

講義のねらい	中世は、保元・平治の乱、源平の合戦に始まる。それまでの平安な貴族中心の社会が大きく転換していった時代であった。それにともない、既成の価値観は大きく揺らいでいくことになる。中世という時代は何故出現したのだろうか。また、平安時代とは何が変わり、何が変わらなかったのだろうか。神仏・鬼・天狗等をキーワードとして、文学作品から中世という時代を考えるとともに日本人の信仰や思想の有りようを探究する。
講義の内容・授業スケジュール	激動しながら転変していく時代の中で、中世の知識人達は、時代・社会を動かす「もの」とは何であると考えたのだろうか。中世における神仏への信仰のありようとは如何なるものであったのだろうか。中世になると何故天狗が力を持つようになるのだろうか。鬼は何故退治されるようになってしまうのだろうか。人々はどのように時代に対処して新しい生き方を切り開いていったのだろうか。以上のような問題について、中世文学の諸分野（随筆、評論、軍記、説話、室町時代物語）の作品を読みながら、中世という時代を考え、日本人の信仰や思想の有りように迫りたいと考える。
成績評価の方法	レポートによる（課題は授業中に指示する）。
教科書	その都度、プリントを配布する。
参考書等	授業中に随時指示する。

科目名	担当者名
近世文学研究Ⅰ	近衛典子

講義のねらい	上田秋成の読本『雨月物語』を読む。
講義の内容・授業スケジュール	単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説や日本の古典作品の精読、本文との比較検討などを通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。
履修上の留意点	出席重視。
成績評価の方法	出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。
教科書	鷲山樹心編『講読雨月物語』（和泉書院）
その他	講義

国
文

科目名

担当者名

近代文学研究 I

えの もと まさ き
榎 本 正 樹

講義のねらい

村上龍と村上春樹、いわゆる W 村上の登場以後、八〇年代にデビューした作家たち（笹野 頼子、島田雅彦、高橋源一郎、辻仁成、松浦理英子、山田詠美、吉本ばなな）の後を受けて、九〇年代以降にデビューした新しい作家・作品について網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマやモチーフを検証し、さらには同時代的な意義やジャンルの可能性を探っていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家・作品を網羅的に解説・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、表現や語りの方法、周辺メディアとの関連性などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学に限定せず、あらゆるジャンルの小説ジャンルを対象とします。

今年度の授業では、小特集的なテーマを設定する予定です。その一つとして、島本理生、綿矢りさ、金原ひとみ、瀬尾まいこ、三並夏、三浦しをんなど、いわゆる「現代女子(系)文学」についての考察を予定しています。また、現代日本文学を原作とするいくつかの映画作品を鑑賞し、原作と映画を比較分析する授業を行う予定です。

榎本は研究活動の一環として現代作家へのインタビューや取材を積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報や現場のエピソードなども盛りこんでいきます。

履修上の留意点

現代日本文学、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。

成績評価の方法

出席点と授業の参加度をメインに、学期末に提出してもらったレポートの内容を加味し、総合的に評価します。

教科書

特に使用しません。

参考書等

必要な資料はプリントで配付します。参考文献等は、教室で指示します。

その他

履修に際しては、榎本のサイト (www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/) も参考にしてください。

国
文

科目名

担当者名

近代文学研究 II

たか だ ち なみ
高 田 知 波

講義のねらい

年間テーマは「漱石を読む」である。国民的作家と呼ばれる漱石は、著名な作家であるぶん、その作品の読みにはさまざまなバイアス（先入観）が付着している。そうしたバイアスから作品を解き放つ《読み》というものを追求したい。

講義の内容・
授業スケジュール

漱石の代表作の中から、『こころ』『三四郎』『それから』の3作を選びこの順番で読んでいく。

履修上の留意点

講義形式ではあるが、受講生参加型の授業である。毎時間、授業の中で、多数の学生を指名して、意見や想像を含むさまざまな発問を行い、時には小討論も取り入れる予定であるので、それに対応できる心積もりをもって受講してほしい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験によって評価を出す。欠席多数者は受験資格を失うことがある。

教科書

夏目漱石『こころ』『三四郎』『それから』（いずれも新潮文庫）

参考書等

教場で指示する。

科目名

担当者名

国語学特講 I

山本真吾

講義のねらい

平安時代語の諸問題。これまであまり知られていない新資料を活用し、新たな視点や方法を導入することによって、平安時代語の新しい研究領域を探る。

講義の内容・授業スケジュール

- 【前期】※以下の項目に従って、それぞれ3、4回ずつ講義を行う。
1. 平安時代語の研究水準と問題点
 2. 文献資料の多様性
 3. 仮名資料の諸相
 4. 平安仮名文学の言語
- 【後期】※以下の項目に従って、それぞれ3、4回ずつ講義を行う。
1. 漢字専用時代の継承
 2. 漢文の理解
 3. 漢文の表現
 4. 片仮名交じり文の系譜

履修上の留意点

図書館等に所蔵の関連文献を大いに活用して欲しい。

成績評価の方法

定期試験の成績による。

教科書

用いない。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

その他

適宜プリントを配布する。

国
文

科目名

担当者名

国語学特講 II

豊澤弘伸

講義のねらい

- 国語学研究における、コンピュータを利用した言語情報処理能力の育成をはかります。
- ・これまでのコンピュータ利用による国語学の研究成果を概観します。
 - ・国語学において利用の可能な言語情報処理の方法を理解します。
 - ・コンピュータを利用した日本語研究の方法を獲得します。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期 1. (1-4) 先行研究についての方法論的検討
 2. (5-8) 国語学研究におけるコンピュータ利用の状況
 3. (9-13) テキストデータの作成の方法
- 後期 4. (14-17) データベース・索引の作成と利用
 5. (18-26) 漢字処理の問題

履修上の留意点

授業では総合情報センターのパソコンを使用しますが、初心者でも受講可能です。

成績評価の方法

受講の状況（出席等）や提出物、期末試験などによって総合的に判断します。

教科書

テキストは使用しませんが、必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

『パソコンを使う日本語研究』（『日本語学』14巻7月臨時増刊号、明治書院）

その他

授業は、講義のほか、パソコンを利用した実習を予定。

科目名	担当者名
国文学特講Ⅰ	遠藤 宏 <small>えん どう ひろ</small>

講義のねらい	和歌という表現方法を通して、古代日本人は何を表現したか。
講義の内容・授業スケジュール	古代前期の作品の一つである『万葉集』を対象とし、特に後期万葉集の歌人を採り上げる。前期においては、笠女郎。全作品は大伴家持に贈られた。何を表現したかったのか。後期においては、大伴家持の漠とした憂愁を源泉から探っていく。
履修上の留意点	a) 極力出席すること。但し、全出席の場合も、出席のみで単位は保障されない。 b) 教室では、ノートをしっかり取ること。
成績評価の方法	a) 定期試験の外に、中間試験（前期終了時に行う）を行い、その結果から判断する。 b) 出席（毎回調査する）による。
教科書	鶴久・森山隆『万葉集』（おうふう）
参考書等	a) 小野寛『大伴家持研究』（笠間書院） b) 橋本達雄『大伴家持作品論攷』（塙書房） c) その他、教場で指示する。
その他	授業方式は講義方式とする。参考資料を適宜配布する。

国
文

科目名	担当者名
国文学特講Ⅱ	渡部 泰 明 <small>わた なべ やす あき</small>

講義のねらい	テーマは、「南北朝時代の歌人たち」。激動の時代である南北朝時代を生きた歌人たちを取り上げ、その現代のありかたを具体的に分析するなかから、和歌とは何か、和歌はなぜ続いたのか、南北朝時代というのは、文化的にはどのような意味で変革期だったのか、などを考える。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、光厳院・頼阿を取り上げ、後期は、夢窓疎石・兼好法師・二条良基を取り上げる。いずれも、生涯を概観したのちに、それぞれの代表的和歌を読み解いてゆく。必要に応じて、太平記や徒然草・夢中間答集なども参観することになる。
履修上の留意点	とくになし。
成績評価の方法	前期および後期の最終授業時における筆記試験（2回合わせて80%）、および出席（20%）によって評価する。
教科書	指定しない。
参考書等	小林幸夫ほか『〈うた〉をよむ—三十一字の詩学—』（三省堂）。
その他	通常の講義形式で行う。毎回プリントを配布するので、各自ファイル等を用意すること。

科目名	担当者名
国文学特講Ⅲ	渡部泰明 <small>わたなべ やすあき</small>

講義のねらい

テーマは、「1970年代の演劇的思考」。1970年代に活動を開始した野田秀樹（夢の遊眠社）の初期の演劇を中心に、小劇場運動が急速に拡大したこの時代の演劇活動を概観する。それを通して、小説・映画・音楽・漫画なども視野に収めつつ、大学紛争後の若者の文化活動の意味をも考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は60年代末期から70年代前半、後期は70年代後半を中心に講義する。

履修上の留意点

とくになし。

成績評価の方法

学年末レポート（80%）および出席（20%）によって評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

指定しない。

その他

講義形式ではあるが、随時参加者に朗読や演技、もしくは討議などを行ってもらおうことを考えている。

科目名	担当者名
国文学特講Ⅳ	岩崎雅彦 <small>いわさき まさひこ</small>

国
文

講義のねらい

能の詞章である謡曲を読む。

講義の内容・授業スケジュール

始めに能についての概説を行い、以下、「葵上」「景清」「恋重荷」「俊寛」「熊野」「紅葉狩」等の作品を講読する。

履修上の留意点

前期・後期末に、それぞれレポート提出。

教科書

授業時に指示する。

参考書等

表章構成 別冊『太陽』能（平凡社）
岩波講座『能・狂言』（岩波書店）

その他

講義形式。

講義のねらい

映像の表現者は、もはや専門家だけの表現手段では、なくなった。デジタル時代に入り、誰でも自由に撮影、編集し作品作りが、可能なのである。しかもそれを劇場用映画フィルムに、変換する事さえ可能な時代なのである。今や映像に、プロもアマチュアもなくなり「1億総監督時代」に、突入したと言える。映像表現力の豊かさは、活字表現では、伝達出来ない要素までも表現できるパワーを持つからに他ならない。しかし誰をも魅了できる映像を作る事も至難の技でもある。そこで本講座は、日本映画の名作を取り上げ映像表現演出論、技術論、脚本論を考察します。又現在の映画の企画制作、配給等の実体を解説します。そして映像表現の美学的可能性を追求し創造的映画批評力の養成をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- ①視点の違う作家達（巨匠達の演出論）—作品上映して—
 - (イ) 小津安二郎の世界 (ロ) 今村昌平の世界
 - (ハ) 黒沢明の世界 (ニ) その他の監督達
 - ②映画ビジネス（実際の映画をモデルケースとして取り上げて）
 - (イ) 企画、制作、配給 (ロ) プロデュース論
 - ③シナリオ創作演習
 - (イ) 十本企画（いったい自分は、何を書きたいのか？）
 - (ロ) 主題（テーマ）とは何か？—誰（何）の為に作るのか？
 - (ハ) 時代は何を求めているのか（大衆性）
 - (ニ) 作らねばならない映像とは（作家性）
 - ④シナリオワークショップ
 - (イ) 名作シナリオの実践的分析
 - 「ダイハード」「天井桟敷の人々」等検討中
- 上記項目①②は前期中心に③④は後期中心の講義になる予定である。

履修上の留意点

日常的な映像、TV、CM・映画作品が何を目的として作られているかを常に考えながら映像感覚をみがく。

成績評価の方法

作品上映後のレポート及び後期末提出のシナリオ作品（200字30枚以上）で評価する。

教科書

授業時に指示する。

参考書等

参考文献は講義の中で紹介します。

その他

基本的に講義中心であるが、なるべく多くの映像作品を上映し、ディスカッション中心の授業にしたい。

科目名	担当者名
国文学特講Ⅵ	たて いし かず ひろ 立 石 和 弘

講義のねらい

現代における『源氏物語』の加工・流通・消費の様態を考える。現代語訳、コミック、映画、演劇など、様々なメディアに加工されることで、『源氏物語』はどのように変容し、いかなる文化として消費されてきたのか。戦後から現在に至るまで幾度となく「源氏ブーム」と呼ばれる社会現象が起きている。経済活動の中で、加工文化として流通する『源氏物語』を、表象の編成と流通機構の相において対象化し、美的王朝幻想とジェンダーの編成、源氏文化が現代社会に及ぼす権力作用について考察する。
『源氏物語』はなぜ現代に生き延びたのか、どのような姿で生き続けているのか、大衆文化と学的領域の二項対立を越えて考えてみたい。なお、VTRのあるものについては、映像作品も出来るだけ実際に鑑賞する。

講義の内容・授業スケジュール

初回にガイダンスをおこない、続いて『源氏物語』原典の梗概を説明する。その後、以下の作家・作品、メディア、トピックを扱いながら源氏文化を読む。前期は出版メディア、後期は映画・演劇の映像を中心に扱う。
1 与謝野晶子・谷崎潤一郎・円地文子・田辺聖子・橋本治・瀬戸内寂聴らの現代語訳・リライト本 2 コミック文化と『源氏物語』 3 天皇制と『源氏物語』 4 1950年代の源氏流行 5 映画化された『源氏物語』 6 宝塚歌劇・歌舞伎の『源氏物語』

成績評価の方法

学期末試験の点数で評価するが、出席状況を加点要素として考慮する。

教科書

立石和弘・安藤徹編『源氏文化の時空』（森話社）2005年 2,400円

参考書等

授業時に提示する。

国
文

科目名	担当者名
国文学特講Ⅶ	うえ た やす よ 植 田 恭 代

講義のねらい

『源氏物語』の物語世界を考え、宮廷文化を理解し、宮廷社会に生きた人々の精神をさぐる。

講義の内容・授業スケジュール

『源氏物語』の「御法」「幻」両巻を対象として物語を読み進め、光源氏の物語世界について考える。

履修上の留意点

『源氏物語』全体のストーリーを把握するよう心がけてほしい。出席を重視する。無断欠席ならびに遅刻は一切認めない。

成績評価の方法

出席、平常の参加態度、期末試験による総合評価とする。

教科書

新潮日本古典集成『源氏物語 六』（新潮社）

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名
国文学特講Ⅷ	いけ やま 池 山 晃

講義のねらい	江戸時代の演劇である歌舞伎を代表する役者、「市川団十郎」の代々をとりあげる。その事跡の意義、および彼らを支持し続けた江戸時代の人々の嗜好や価値観について考察する。
講義の内容・授業スケジュール	まず、歌舞伎についての概説をおこなう。そのうち、歴代団十郎の得意とした演目、その時々観客の反応や同時代の文化状況（文学、美術などの近接分野にも目を向ける）などをおっていく。前期は初代から四代目まで、後期は五代目から明治期の九代目までを対象とし、さらには現十二代目までを視野に入れていく予定である。絵画資料・映像資料の紹介も交えたい。
履修上の留意点	プリントは早めに配付していくので、あらかじめ目を通しておくことが望ましい。
成績評価の方法	前後期末に試験をおこなう。出席状況などの平常点も勘案する。
教 科 書	なし。
参 考 書 等	授業時に指示する。
そ の 他	授業は講義形式。随時プリントを配付する。

国
文

科 目 名	担 当 者 名
国文学特講Ⅹ	かん だ ゆみこ 神 田 由美子

講義のねらい	首都〈東京〉は、明治時代から現代まで、江戸的な場所を東京的な空間に変化させることで、近代化の象徴としての役割を果たしてきた。本講座では、その近代化の象徴としての東京の空間と文学との関わりを、具体的な作家と作品を通して考えていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、樋口一葉「たけくらべ」の吉原遊郭、「濁り江」の銘酒屋街、泉鏡花・芥川龍之介・三島由紀夫と鹿鳴館、森鷗外「雁」の無縁坂、永井荷風「夢の女」の新橋停車場、夏目漱石と三越など、明治の〈東京〉を代表する空間を取りあげ、後期は、佐藤春夫「美しい町」の中洲、芥川龍之介「歯車」の銀座、川端康成「虹」の浅草、志賀直哉「灰色の月」の東京駅、村上春樹「ノルウェイの森」の新宿・渋谷・中央線など、大正から現代の〈東京〉を象徴する場所を扱う予定である。
履修上の留意点	講義で取り上げる作品は、授業の前に必ず一読してくること。
成績評価の方法	前・後期各1回のレポートと授業中の参加態度によって評価する。
教 科 書	テキストは用いず、プリントを用意する。 樋口一葉『たけくらべ』『にごり江』、芥川龍之介『舞踏会』『歯車』、三島由紀夫『鹿鳴館』、森鷗外『雁』、夏目漱石の諸作品、永井荷風『夢の女』『隅田川』、志賀直哉『灰色の月』、佐藤春夫『美しい町』、村上春樹『ノルウェイの森』は文庫本で読めるので、各自用意しておくこと。

科目名

担当者名

国文学特講Ⅹ

くにまつとし ひで
国 松 俊 英

講義のねらい

この時間では、童話や児童文学の創作を書く。もともと創作は個人の作業である。何を、どのように書いていくかは、ひとりひとりが書きながら考え、苦しみながらその方法を見つけていくものだ。

とはいうものの、創作するための手がかりがあれば、より早くより確実にその方法を見つけることができる。道すがすが判れば、迷ったり悩んだりしなくてもすむだろう。この時間では、書いていく手がかりを提示し、それをもとにいろんな作品に挑戦する。童話、児童文学を書くことの楽しさとすばらしさをみんなが獲得できるようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

①原稿用紙の使い方 ②個性ある文章を書くために ③物語作りのはじめ——どんな方法で書くか ④題材はどこで見つけてくるか ⑤ストーリーを組み立てる ⑥魅力あるキャラクターを作る ⑦説明文と描写文 ⑧生きた会話を書くには ⑨長篇と短編 ⑩表現技術を高める

履修上の留意点

これまでに一度も童話や創作を書いた経験がない人もかまわない。この時間では、文章の書き方のABCから始めるつもりである。

成績評価の方法

提出作品と出席状況で評価する。

その他

受講希望者が多い場合は、人数制限がある。第1回の授業で受講者を決定するので必ず出席すること。

講義・実技・合評を組み合わせる授業を行う。

国
文

科目名

担当者名

国文学特講Ⅹ

えの もと まさ き
榎 本 正 樹

講義のねらい

世界的に見ても類を見ない表現ジャンルとして進化を遂げた、日本のマンガとアニメについて考察します。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はマンガ、後期はアニメについて講じます。

前期はマンガ論をとりあげます。マンガには、表現論、物語論、ジャンル論、流通論、メディア論、ジェンダー論、記号論、身体論、作家論、読者論など多様なアプローチが可能です。本講義では、「マンガを解説するための方法論」について考えていきます。マンガを成立させている記号的要素をさまざまな作品から抽出し、それらを「マンガを読むための理論」へとつなげていくのが目標です。

後期は宮崎駿監督のアニメについて検討します。『未来少年コナン』『ルパン三世カリオストロの城』『風の谷のナウシカ』『天空の城ラピュタ』『となりのトトロ』『魔女の宅急便』『紅の豚』『もののけ姫』『千と千尋の神隠し』『ハウルの動く城』の10作品について、作品発表順に作品論を展開し、宮崎駿の世界に批評的にアプローチしていきたいと思います。

履修上の留意点

マンガやアニメだけでなく、文学の周辺ジャンルやサブカルチャーに興味をもつ学生の履修を歓迎します。学生からの質問や問題提起にも積極的に応じたいと思います。

授業は基本的に講義形式ですが、視聴覚系資料のプレゼンテーションを併用した形になります。

成績評価の方法

出席点と授業の参加度をメインに、学期末に提出してもらったレポートの内容を加味し、総合的に評価します。

教科書

前期は、四方田犬彦『漫画原論』（ちくま学芸文庫）を軸に授業を進めますが、購入する必要はありません。

参考書等

必要な資料はプリントで配付します。参考文献や関連サイトについての情報は、教室で教示します。

その他

履修に際しては、榎本のサイト（www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/）も参考にしてください。

科目名

担当者名

国語国文学演習 I

おか だ おたが
岡 田 豊

国文学演習 I

講義のねらい

演習という授業の初学者に対し、作品を丹念に読み、みずからの言葉で論じるということの基礎的トレーニングを行う。特に発表技術の習得、レジュメの作成方法、ディスカッションの方法についての指導に重点をおく。

講義の内容・
授業スケジュール

明治から昭和初期までの短編小説を読む
いくつかの短編小説を取り上げて読む。時代の背景や物語の構造などに注目しながら各人各様の作品論を展開していく。

履修上の留意点

発表を体験するだけでも大きな発見がある。皆の意見を誘うような見解を考え、自分たちの読みが伝わりやすい説明の仕方が何か、作戦を立てる。周到に準備したにもかかわらず、皆からの総攻撃を受けたとか、発表者が用意してきたテーマとかけ離れた発言がみんなの興味を誘い、議論が白熱したとか、発表者の面白い報告に引きつけられて、自分も考えていくうちに、嫌いだっただ作品が好きになっていたとか、演習は予想外の展開に満ちている。その醍醐味を味わうには、ディスカッションの流れをつかみ、勇気を出して発言することが肝要である。

成績評価の方法

演習は教員の説明を聞いてノートをとる形式とは異なり、学生自身が実際に調査・報告・討論を行う。よって欠席回数が多いと多く続くと履修不可能となる場合がある。定期試験は行わないが、レポートを提出してもらう。報告内容、討論参加の態度、レポートを総合的にながめたいうで評価する。

教科書

東郷克美・吉田司雄編『近代小説【都市】を読む』(双文社出版、2,000円)

参考書等

その都度教場で紹介する。

国
文

科目名

担当者名

国語国文学演習 I

かつ はら はる き
勝 原 晴 希

国文学演習 I

講義のねらい

近現代の詩歌について学ぶとともに、研究報告と討論を通して、作品についての自分の考えをまとめ、発表する力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

近現代(明治～平成)の詩歌を読む。対象とする詩人・歌人・俳人は各参加者の希望によるが、場合によっては振りあてることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。

昨年度、採りあげた詩人は以下の通り。

島崎藤村・北原白秋・高村光太郎
三好達治・中原中也・国木田独歩
河井醉駱・室生犀星・萩原朔太郎
宮澤賢治・立原道造・武者小路実篤
寺山修司・茨木のり子・吉原幸子
大槻ケンヂ・町田康

履修上の留意点

各人の積極的な参加を求める。

成績評価の方法

発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に随時指示する。

科目名	担当者名
国語国文学演習Ⅰ 国文学演習Ⅰ	このえりのこ 近衛典子

講義のねらい

古典文学読解のための基本的な力を養うことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

上田秋成の『藤篋冊子』(つづらぶみ)を読む。短文の中に織り込まれた和歌、物語、漢詩などを的確に把握し、秋成の和文の妙味をじっくりと味わいたい。授業は受講者による発表形式をとり、質疑応答によって読みを深めていく。

履修上の留意点

発表者は担当部分の語彙の用例調査、典拠の検討、登場人物の伝記的調査等の結果を踏まえて、正確な読みを提示すべく試みる。受講者は積極的に質疑応答に参加すること。

成績評価の方法

演習発表資料、演習内容、出席状況、レポート、その他を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

新日本古典文学大系『近世歌文集(上・下)』(岩波書店)、『上田秋成全集』(中央公論社)

科目名	担当者名
国語国文学演習Ⅰ 国文学演習Ⅰ	さくらいようこ 櫻井陽子

国
文

講義のねらい

古典文学の調査・研究の方法の基礎を学びつつ、中世文学を代表する軍記物語に親しむ。

講義の内容・
授業スケジュール

『平家物語』巻五を読む。一回の発表で、一人一章段を採り上げる。章段を選び、自分でテーマを設定して調査し、報告する。必要に応じ、諸本の比較、周辺作品との比較を行う。発表後の討議の中で自分の問題意識を掘り下げる。後日、レポートにまとめて提出する。

1～3 「平家物語」と巻五の説明

4 担当章段の決定

5～ 発表と討議

履修上の留意点

学生自身が、些細であっても自分なりの問題点や関心を持つこと。また、自身の発表時以外には積極的に質疑・討論に参加すること。

成績評価の方法

口頭発表、レポート、出席、質疑への参加の様子を踏まえて総合的に判断する。

教科書

『平家物語』二(岩波文庫)

参考書等

授業中に適宜指示する。

科目名	担当者名
国語国文学演習Ⅰ	たが だ ち なみ 高 田 知 波
国文学演習Ⅰ	

講義のねらい

年間テーマは「太宰治を読む」。太宰治は青年層の間で人気の高い作家であるが、「太宰治」という神話が作品の読みを著しく束縛してきたことも確かである。作中人物の言葉をただちに「太宰」の肉声だと決め込んでしまうようなバイアス（先入観、偏見）からいかにして作品を解き放ち、自由に豊かな《読み》を生産していくか。学生相互による壮大な共同作業を追求する演習を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

『魚服記』『駆け込み訴え』『お伽草紙』『斜陽』『ヴィヨンの妻』『人間失格』の6作品を学生グループが分担し、年間スケジュールを立てる。グループによる発表と学生全員によるディスカッションを軸にして、原則として1作品4週間のペースで読んでいく。校学演習、演習合宿も実施する予定。

履修上の留意点

毎時間テキストを読んで出席することは最低限のルール。そして「演習の主役は学生である」という原則に則って、活発な発言を行うという姿勢で演習に臨んでほしい。

成績評価の方法

平常点と、期末のレポートの採点結果とを総合的に評価する。

教科書

『晩年』、『走れメロス』、『お伽草紙』、『斜陽』、『ヴィヨンの妻』、『人間失格』（いずれも新潮文庫）

参考書等

教場で指示する。

国
文

科目名	担当者名
国語国文学演習Ⅰ	たが はし ぶん じ 高 橋 文 二
国文学演習Ⅰ	

講義のねらい

平安時代の仮名日記を読み、女流日記文学の特質を考える。

講義の内容・授業スケジュール

受講者の研究発表を軸にして進める。最初の3回ほど日記文学について概説し、最後の2回ほどは「まとめ」と今後の展望について言及する。

履修上の留意点

予習には特に時間をかけてほしい。用語の調査、注釈書の検討などは当然の前提となる。

成績評価の方法

研究発表の内容、発表資料、レポート、出席状況などを踏まえて行なう。

教科書

秋山虔校注『更級日記』（新潮日本古典集成）

参考書等

授業中、必要のある都度紹介する。

科目名	担当者名
国語国文学演習 I	たなか のりさだ 田中徳定
国文学演習 I	

講義のねらい

古典文学を読解・調査していくための基本的な文献を学び、それらの文献によって実際に古典文学作品を読解する方法を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

『徒然草』をとりあげ、語彙調査の方法や歴史的史料の扱い方を学ぶ。また、関連する物語・説話にも広く眼を向けて、中世の人々の思想や信仰、及び平安時代以来の貴族文化の美意識について探究する。

成績評価の方法

授業時間内に行なう口頭発表とその内容をまとめたレポートによる。

教科書

鈴木知太郎・西一祥編『新注 徒然草』（おうふう）1,800円

参考書等

授業中に随時指示する。

科目名	担当者名
国語国文学演習 I	どいこう ゆう 土井光祐
国語学演習 I	

講義のねらい

日本語の史の変遷を文献資料で具体的に確認し、国語史の基礎知識と国語学的な処理方法とを習得する。

講義の内容・授業スケジュール

1593年刊行の天草版金句集を国語史の観点から分析する。天草版金句集は、天草版平家物語、同伊曾保物語と共に合綴されて、ロンドン大英図書館に所蔵されているローマ字本キリシタン資料の一種である。漢籍等に典拠を持つ故事成句に室町時代末期の口語訳を付したもので、当代の好個の言語資料として著名である。規範性の強い漢文訓読語と室町時代口頭語とを対照させて、その国語史的意義を具体的に確認していく。

当初数時間は天草版金句集の概要を講義し、その後、担当箇所を割り当てて、音韻、語彙、語法、文体、出典との関係等の諸点から分析していく。

履修上の留意点

積極的な取り組みを期待する。

成績評価の方法

出席点30%、質問等の積極性10%、発表内容30%、レポート内容30%
但し、自分の発表日に欠席した場合、レポート未提出の場合は単位を認定しない。

教科書

福島邦道解説『金句集四種集成』（勉誠社文庫18、勉誠出版）定価2,520円
ISBN4-585-10118-7

参考書等

授業中に紹介する。

その他

可能であれば「国語学史」「国語学研究」「国語学特講 I・II」を併せ履修することを勧めたい。

科目名

担当者名

国語国文学演習 I

なか じま しん や
中 嶋 真 也

国文学演習 I

講義のねらい

『万葉集』をよむことを通じて、古典文学研究の実際を体得し、また自身の理解したことを他の人に正確に伝えるための発表技術（資料作成ならびに口頭発表）を習得することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

『万葉集』は大型書店に赴けば感じられるように、世間的には人気のある古典作品の1つである。ただ、それは4500首以上の『万葉集』全ての歌をよむことで得られた人気ではなく、抄出されたダイジェスト的なものに親しむことで感じ取られたものといえる。そのような抄出された『万葉集』は作品の一面しか見ない危険性をはらみつつ、一方でその古典作品が現代に生きていることを知る格好な場を提供しているのである。抄出された歌は、選んだ人々の好みもあろうが、人口に膾炙した歌が採録されているというのも事実である。おそらく『万葉集』を本格的によむのは初めてという学生がほとんどであろうが、抄出された『万葉集』は、その作品を知るには格好な素材である。

最初の数回の授業で、『万葉集』に関する概説と、演習において求める調査方法などの解説を極力丁寧に行う。また、現在刊行されているものに、具体的に抄出されている『万葉集』歌のリストを配布し、それらの中から、各自が調べてみたいと思う歌を取り上げてもらう。

発表者は、原文・訓みの確定、歌人に関する情報、歌の内容理解を宗とした発表を行ってもらう。その上で受講者全員での討議へとうつる。

履修上の留意点

演習の主体は、学生の側にある。自分が発表ではない回も欠席は慎むこと。また、討議にも積極的に参加すること。

成績評価の方法

発表、質疑、それに対する応答、提出物、出席状況によって総合的に評価する。

教科書

鶴久・森山隆『万葉集』（おうふう）

参考書等

授業中に適宜指示する。

国
文

科目名

担当者名

国語国文学演習Ⅰ

はやし
林

たつ
達也

国文学演習Ⅰ

講義のねらい

- ・芭蕉の『奥の細道』を読む。
- ・本講義は基礎演習的な要素をもつ。テキストを理解するとはどういうことか、理解のためにはどのような手続きが必要か、などのことがらについて、身をもって修得することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・『奥の細道』を最初の章段から読み進める。
- ・『奥の細道』の通釈書は多数ある。その中から必読文献を指定し、解釈の比較を行い、その過程を通して自分の読みを定めてゆく。一字一句にこだわって、丁寧に読む。
- ・適切な辞書の使い方を覚える。
- ・参考文献の探し方・利用方法を身につける。
- ・参考文献を踏まえながら自分の考えを展開する習慣を身につける。
- ・効果的な発表方法を考え、実行する。

履修上の留意点

- ・演習であるので、出席を義務とする。
- ・授業には積極的に参加しなければならない。
- ・発表者は、参考資料（レジュメ）を作成する。

成績評価の方法

- ・発表時の方法・成果・資料の作成の仕方、学年末提出のレポート、授業への参加姿勢の三点によって評価する。

教科書

『奥の細道』（岩波文庫）

参考書等

『新訂 おくのほそ道』 顥原退蔵・尾形侑 角川文庫
 『おくのほそ道』 板坂元・白石梯三 講談社文庫
 『おくのほそ道 全訳注』 久富哲雄 講談社学術文庫
 『おくのほそ道』 安東次男 岩波書店
 『古典鑑賞講座 奥の細道』 林達也 日本通信教育連盟
 『芭蕉文集』 日本古典文学大系 岩波書店
 『芭蕉文集』 新潮日本古典集成 新潮社
 『松尾芭蕉集』 新編日本古典文学全集 小学館
 『芭蕉 旅へ』 上野洋三 岩波新書
 『芭蕉自筆 奥の細道』 岩波書店

その他

- ・授業はレポーターの発表を中心に進める。
- ・発表資料作成にあたっては、広く資料を探し、具体的にわかる方法（例えば、図録・絵画活用等）をとること。

国
文

科目名**担当者名**

国語国文学演習Ⅰ

まつ い けん じ
松 井 健 児

国文学演習Ⅰ

講義のねらい

平安時代物語の研究を自律的に展開できる基礎的な方法および意識を養う。具体的には、『源氏物語』を対象とし、その物語内容を理解するのみではなく、その内容を導き出す、古代物語の方法や構造をとらえることに主眼を置く。

講義の内容・授業スケジュール

受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』『葵』の巻を直接の対象として、巻の前後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、たんなる感情移入や印象批評におわることなく、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえでの分析的な研究を展開できる技術を養う。

履修上の留意点

演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報量と質が、この科目の成否を決定する。

成績評価の方法

受講者による (1) 演習発表資料 (2) 発表内容 (3) レポート (4) 出席状況 (5) その他を総合して行なう。

教科書

石田穰二・清水好子・校注、新潮日本古典集成『源氏物語 二』(新潮社)

参考書等

参考書は授業時に紹介する。

科目名**担当者名**

国語国文学演習Ⅱ

おか だ ひな
岡 田 豊

国文学演習Ⅱ

講義のねらい

昭和30年から平成までに発表された小説をいくつかとりあげて読む。西岸良平『三丁目の夕日』で描かれている時代を始点とする。

昭和31年の『経済白書 日本経済の成長と近代化』に「もはや「戦後」ではない」と書かれているのはよく知られている。近代化が進み、生活が急変し始めるこの時期から現代までに発表された作品をいくつか取り上げることになる。授業はディスカッション形式をとる。そして、演習Ⅰに比して、教員が関与する度合いが低くなる。学生ひとりひとりが積極的にディスカッションに参加し意見をぶつけ合う。学生の自主性を高めることに重点をおく。

講義の内容・授業スケジュール

2人ないしは3人でチームを組んで報告する。そして、演習生全員で報告者が提起する問題をめぐって討論する。司会進行係も学生からその都度選出する。扱う作家は、石原慎太郎・松本清張・古井由吉・中上健次・田辺聖子・村上春樹・村上龍・田中康夫・原田宗典・山田詠美・吉本ばなな・辻仁成・町田康・柳美里・江國香織・宮部みゆき・山本文緒・唯川恵等を予定している。

履修上の留意点

現代小説の研究は、まずテーマを設定するのが困難であり、また参考文献も少ない。読みやすさのなかに何らかの問題を探し、読みを展開できるようにしなければならない。現代小説の研究にはそのような難しさがある。しかし、われわれが生きている現代が抱えるホットな問題を扱うという意味で、魅力的な研究領域でもあるのだ。援助交際、ドラッグ、ひきこもり、性の問題、家族の崩壊など。ふだん身近にあって考えることのない問題を、改めて皆で深く掘り下げて考えていく絶好の機会なのだ。何について、いまどう問い、そしてどう考えるのか、それを各自が持ち寄って欲しい。

成績評価の方法

出席状況、報告内容はもちろんのこと、発言回数やその内容等の演習参加の態度、を総合的にながめた上で判定する。発表点と発言点が占める割合が大きい。

教科書

文庫本をテキストにする。

参考書等

その都度教場で紹介する。

科目名	担当者名
国語国文学演習Ⅱ	かつ はら はる き 勝 原 晴 希
国語学演習Ⅱ	

講義のねらい	近現代の詩歌について学ぶとともに、研究報告と討論を通して、作品についての自分の考えをまとめ、発表する力を深める。
講義の内容・授業スケジュール	近現代(明治～平成)の詩歌を読む。対象とする詩人・歌人・俳人は参加者の希望によるが、場合によっては振りあてられることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。 昨年度、採りあげた詩人は以下の通り。 谷川俊太郎・三好達治・新川和江 宮澤賢治・萩原朔太郎・高村光太郎 辻仁成・金子みすゞ・小野十三郎 若山牧水・島崎藤村・中原中也
履修上の留意点	各人の積極的な参加を求める。
成績評価の方法	発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。
教科書	プリント配布。
参考書等	授業時に指示する。

国
文

科目名	担当者名
国語国文学演習Ⅱ	この え のり こ 近 衛 典 子
国文学演習Ⅱ	

講義のねらい	近世文学読解のための基本的な方法を身につけ、本文の正確な読解の力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	井原西鶴の浮世草子『西鶴名残の友』を読む。授業は受講者による発表形式で進める。
履修上の留意点	出席を重視する。受講者は常に問題意識を持って臨み、積極的に質疑応答に参加すること。
成績評価の方法	演習発表資料、演習内容、出席状況、レポート、その他を総合して評価する。
教科書	プリント配布。
参考書等	授業時に指示する。

科目名**担当者名**

国語国文学演習Ⅱ

さくら い よう こ
櫻 井 陽 子

国文学演習Ⅱ

講義のねらい

平家物語は鎌倉時代に成立したと考えられているが、作者・成立年代のみならず原態もすべて不明であり、その解明に向けて研究が進んできたと言っても過言ではない。
平家物語の作品世界を知り、内容を精読し味わうことと、研究上の問題がどのように関わるのか、具体的な問題に触れつつ考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

『平家物語』に登場する人物、あるいは事柄をとりあげ、研究上の諸問題についてまとめ、その上で自分なりの問題点を設定し、調べ、調査し、発表する。
全体を追ってもよいし、部分に絞ってもよい。但し、絞る場合でも、必ず全体を見通した上での発表となるように。
覚一本を中心とし、精読する中で生み出される疑問を出発点とすること。その際、なるべく他種の異本も視野に入れること。
1～3『平家物語』の説明
4～発表

履修上の留意点

問題点は書誌学・国語学・芸能・和歌・説話・音楽・宗教他、多方面にわたり、また、歴史との関わりにも注意を向ける必要がある。学生自身が自分なりの関心と問題意識を掘り下げる機会となることを願う。
発表の前週に資料を配っておくこと。
授業中の討論に積極的に参加し、必ず一回は発言すること。

成績評価の方法

口頭発表、レポート、出席、質疑への参加の様子を踏まえて総合的に判断する。

教科書

授業中に適宜指示する。

参考書等

授業中に適宜指示する。

科目名**担当者名**

国語国文学演習Ⅱ

たか だ ち なみ
高 田 知 波

国文学演習Ⅱ

講義のねらい

年間テーマは、「近代100年の小説を読む」。明治前期から1960年代末頃までを対象範囲とする。森鷗外、樋口一葉、泉鏡花、島崎藤村、夏目漱石、志賀直哉、芥川龍之介、谷崎潤一郎、川端康成、太宰治、宮本百合子、三島由紀夫、遠藤周作、大江健三郎等々、近代100年間の代表的作家たちの代表的作品（小説に限定）を読んでいく。各作品を表現と構造に即して精読することと、100年の文学的流れを体感することを目指す演習である。

講義の内容・授業スケジュール

年度始めに教員側が提示する作品リストの中から、学生の希望にもとづいて11作品を選んで発表分担当チームを編成し、年間スケジュールを決定する。1作品2週を標準ペースとし、1週目を発表と質疑、2週目を演習生全員によるディスカッションにあてる。

履修上の留意点

毎時間、必ずテキストを読んで出席することが最低限のルールである。自分が発表を分担しない作品についても、積極的に発言する姿勢を全員に強く求めたい。

成績評価の方法

平常点と年度末レポートの採点結果とを総合して成績評価を出す。

教科書

取り上げる作品ごとに発表チームがテキストを指定するが、入手の容易な文庫本を原則とする。

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名
国語国文学演習Ⅱ 国文学演習Ⅱ	たか はし ぶん じ 高 橋 文 二

講義のねらい	『源氏物語』の「野分」の巻を読み、そこに表れた自然観、人間観、宗教観を考え、『源氏物語』の表現の特質や平安朝の物語文学の文学史上に定める意味あいについて考える。
講義の内容・授業スケジュール	受講者の研究発表を軸に授業を進める。「野分」の巻の「玉鬘十帖」の中における意味あいについても考えていく。最初と最後の2～3時間は担当者の側から『源氏物語』の概説をし、問題点の指摘などをする。
履修上の留意点	発表にあたっては用語の調査を綿密にし、註釈書等を比較検討し、読みの充足を図る。
成績評価の方法	研究発表の内容、提出資料やレポートの内容、出席状況を踏まえて判断する。
教科書	担当者の方でプリントを用意する。
参考書等	必要のあるたびごとに指示し、また紹介する。

科目名	担当者名
国語国文学演習Ⅱ 国文学演習Ⅱ	た なか のり さだ 田 中 徳 定

講義のねらい	院政期に成立した代表的説話集である『今昔物語集』を読みながら、説話の伝承や改変の様相について考える。同時に、説話が描き出す時代や社会のありようを探究し、さらには人々の思想・信仰について考察する。
講義の内容・授業スケジュール	『今昔物語集』の説話について、鬼・天狗・陰陽道・狐、また笑話等、興味を持ったテーマを設定して、当時の人々の生活や信仰のありようを調査、研究し、その様相を探っていく。
履修上の留意点	専門科目の演習授業であるため、出席を基本とする。また、授業において、必ず口頭発表を行なってもらう。
成績評価の方法	授業中に行なう口頭発表と、それをまとめたレポートによる。
教科書	今野達編『新注 今昔物語集選』（大修館書店）1,260円
参考書等	授業中に随時指示する。
その他	受講生に発表担当する説話を割り当てる。受講生は、担当する説話について調査・考察を行ない、その結果をレジュメに作成し、授業中に口頭発表を行なう。

科目名

担当者名

国語国文学演習Ⅱ

どいこうゆう
土井光祐

国語学演習Ⅱ

講義のねらい

本演習は、特定の文献を国語史的観点から具体的に考察することによって、国語史の基礎知識、研究方法、文献学的な処理の方法を身に付けることを目標とするものである。

講義の内容・
授業スケジュール

中世は、現代語に通じる日本語の大転換期と言われ、近代語の芽生えの時代とされている。本演習は、言語資料として鎌倉時代に活躍したカリスマ的学僧である明恵上人の言行録である「脚癩忘記（きゃくはいもうき）」鎌倉時代（1235年）写本の写真版を対象とする。「脚癩忘記」は、明恵上人の没後三年を経て、弟子が明恵上人存命中に発言した言葉をそのまま文字化した可能性を有する希有の口語資料として知られ、漢字片仮名交り文で記されている。文献学的手続きを厳密に適用して、古代語から近代語への過渡期にあたる鎌倉時代の言語の実態を表記史、音韻史（和語、漢字音）、文法史、語彙史、文体史の諸点から考察していく。

履修上の留意点

積極的な取り組みを期待する。

成績評価の方法

出席点30%、質問等の積極性10%、発表内容30%、レポート内容30%
但し、自分の発表日に欠席した場合、レポート未提出の場合は単位を認定しない。

教科書

プリント配布。

参考書等

○高山寺典籍文書総合調査団編『明恵上人資料第二』（東京大学出版会）
○田中久夫他『鎌倉旧仏教』（日本思想大系）（岩波書店）
○高橋秀栄他『大乘仏典 中国・日本篇第20巻 栄西・明恵』（中央公論社）
※その他授業中に指示する。

その他

他の言語資料の用例などを広く調査することになるので、図書館の利用方法に習熟しておく必要がある。

科目名

担当者名

国語国文学演習Ⅱ
国文学演習Ⅱ

なか じま しん や
中 嶋 真 也

講義のねらい

『万葉集』と『新古今和歌集』の比較を行なう。『万葉集』の訓みの問題を浮き彫りにしながら、『万葉集』『新古今和歌集』の表現の様相を感じ取りたい。
日本古典文学を考える上で極めて重要な韻文であるが、時代の異なる二つの作品を見比べることで、精読することが何よりも肝要であるということもつかんでもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

『万葉集』歌で、『新古今和歌集』に収められたとされる63首の中から1首以上取り上げて発表してもらおう。

『万葉集』は漢字のみで書かれ、「訓み」が挿れている例は今なお少なくない。現在の万葉研究の大きな礎といえるのは、鎌倉時代の学僧仙覚による校訂だが、『新古今和歌集』の成立は仙覚以前である。『新古今和歌集』は万葉歌の訓みの多様性をうかがい知る上で見落とせない作品なのである。

また、『新古今和歌集』は作品の配列にも緻密な配慮があり、万葉歌が採録されるのはそれなりに所以があると思われる例も少なくない。表現などの分析を通じて、そのようなあたりも感受していきたい。

開講当初は、『万葉集』と『新古今和歌集』に関する概説と、発表にあたって求める調査事項などを極力丁寧に解説する。その上で発表に移る。

履修上の留意点

演習の主体は、学生の側にある。自分が発表ではない回も欠席は慎むこと。また、討議にも積極的に参加してほしい。

成績評価の方法

発表、質疑、それに対する応答、提出物、出席状況によって総合的に評価する。

教科書

鶴久・森山隆『万葉集』（おうふう）、佐佐木信綱校訂『新訂 新古今和歌集』（岩波文庫）

参考書等

授業中に適宜指示する。

国
文

科目名

担当者名

国語国文学演習Ⅱ

はやし 林 たつ や 達 也

国文学演習Ⅱ

講義のねらい

- ・近世（江戸時代）女性の日記・紀行を読み、近世女性文人の様相、文事をめぐる環境・状況等について考察する。
- ・近世の文書・記述に慣れることもねらいの一つである。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近世の女性を書いた日記・紀行は意外なほど多く残っている。その中から、適宜幾つかの作品を選んで、丁寧に読みたい。近世の女性がどのような旅をしたのか、近世以前の女性の紀行などどのように違うのか、近世女性の文学にはどのような背景があるのか、和歌・俳諧・漢詩文との関わりはどのようなのか、考えることは様々にある。担当者の発表を中心として読み、考える。
- ・テキストを一字一句にこだわって、丁寧に読む。
- ・適切な参考書・文献を使いこなし、読解へ結び付けてゆく方法を身につける。
- ・効果的な発表方法を考え、実行する。

履修上の留意点

- ・演習であるので、出席を義務とする。
- ・授業には積極的に参加しなければならない。
- ・発表者は参考資料（レジュメ）を作成する。
- ・地誌類など多様な資料にも広くあたり、観念的ではなく、具体的に読み解く。
- ・聞き手の反応を出来るだけ引き出すように工夫をこらされたい。

成績評価の方法

- ・発表時の方法・成果・資料の作成の仕方、学年末提出のレポート、授業参加の積極性の三点によって評価する。

教科書

プリントでテキストを作成して配布する。時には、版本も使いたい。

参考書等

- テキスト
- 古谷知新編『江戸時代女流文学全集』巻一～四（日本図書センター）昭和54年（大正七年九月～大正八年正月 古谷知新編）
 - 津本信博編著『近世紀行日記文学集成』一・二（早稲田大学出版部）平成6年
 - 井上通女全集修訂委員会編『井上通女全集』（丸亀高等学校頒布）昭和48年（初版 明治44年）

- 一般
- 高群逸枝『大日本女性人名辞典』（厚生閣）昭和17年改訂版
 - 前田淑『江戸時代女流文芸史』（笠間書院）平成10年
 - 門玲子『江戸女流文学の発見』（藤原書店）平成11年
 - 『日本女性人名辞典』（日本図書センター）

その他

- ・授業はレポーターの発表を中心に進める。
- ・発表資料作成にあたっては、広く資料を探し、具体的にわかる方法（たとえば、図録・絵画活用等）をとること。

国
文

科目名	担当者名
国語国文学演習Ⅱ 国文学演習Ⅱ	まつ い けん じ 松 井 健 児

講義のねらい

『源氏物語』にあらわれる、王朝貴族の美意識や生活様式を探り、その作品世界への文芸化の方法を考察する。古代物語を形成するうえでの基礎的な構造の把握と、その制度的な構造から逸脱する、一回的な感覚世界との緊張関係を読み解くことによって、作品自体が常に新たなものとして生成していく、動態としての『源氏物語』観を獲得する。

講義の内容・授業スケジュール

受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』の「賢木」の巻を直接の対象として、巻の前後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえでの分析的な研究を行ない、それらによって得られた知見を論理的に構成し、批評できる力を養う。

履修上の留意点

演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報量と質が、この科目の成否を決定する。

成績評価の方法

受講者による (1) 演習発表資料 (2) 発表内容 (3) レポート (4) 出席状況 (5) その他を総合して行なう。

教科書

石田穰二・清水好子・校注、新潮日本古典集成『源氏物語 二』（新潮社）

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名
国語国文学演習Ⅲ 国文学演習Ⅲ	おか だ かつ 岡 田 豊

講義のねらい

学生各自が興味を持っているテーマに沿って、自主的に研究を進め、論文として記述していく力を養っていくことをねらいとする。あわせて、日本の近現代文学を対象とした卒業論文の作成指導も行う。参考文献の蒐集の仕方、それらを整理してどう踏まえるのか、作品や作家の論じ方などについて指導する。(卒業論文は、演習に参加し面談を受けて作成するものである。)

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文の論題提出までに研究対象とする作品や作家を絞り込む。扱う作品は、卒業論文に関連するものを学生が選定して発表を行うという方式をとる予定である。つまり、演習生自らが発表スケジュールや作品を決める。

前期、論題提出前に必ず個人面談を行う。ここで対象作家や作品についての相談をする。後期に2回は必ず面談しなければならない。

卒論作成計画書、レポートの提出を義務付ける(レポートは添削して返却する)。詳細は授業時に説明する。

履修上の留意点

卒業論文関連の重要な情報を発信したり、助言指導をする授業でもある。トラブルや事故を未然に回避するためにも、積極的、意欲的な授業への参加が望まれる。

あれもこれもと欲張ってしまい、論じる範囲を拡大しすぎると失敗する場合がある。捨てる勇気も大切だ。絞り込んで、どのような構成で論じていくのかまで、後期の面談の中でつめていく。つまり、面談も大切な授業のうちであることを忘れないで欲しい。

成績評価の方法

出席状況、発表内容、研究計画の立て方やレポートの出来具合等を見、さらに卒業論文の完成度をも参考にする。

なお、卒業論文の評価には、口頭試問での返答も大きく関わってくることを付記しておく。

教科書

その都度教場で指示する。

参考書等

その都度教場で紹介する。

科目名	担当者名
国語国文学演習Ⅲ 国文学演習Ⅲ	かつ はら はる き 勝 原 晴 希

講義のねらい	近現代の詩歌・児童文学を読むことを通じて、作品を読み味わう力を養い、また研究の方法を学ぶ。
講義の内容・ 授業スケジュール	近現代の詩歌・児童文学を読む。対象とする作家・詩人・作品は学生の希望（原則として卒業論文に関連するもの）を尊重するが、場合によっては振りあてることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。
履修上の留意点	各人の積極的な参加を求める。
成績評価の方法	発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。
教科書	授業時に指示する。

科目名	担当者名
国語国文学演習Ⅲ 国語学演習Ⅲ	この え のり こ 近 衛 典 子

国
文

講義のねらい	近世文学で卒業論文を作成する学生を対象に、実践的な指導を行なう。卒業論文は各自がそれぞれの問題意識を持って主体的に取り組むべきものであり、本演習はそれを援助するものである。
講義の内容・ 授業スケジュール	各自の研究テーマに応じて個別指導・助言を行なう。また、夏休み終了後に、中間報告としてレポートを提出してもらう。
履修上の留意点	積極的な取り組みを望む。
成績評価の方法	口頭発表、レポート、及び卒業論文の内容により評価する。
その他	ゼミ形式。

科目名	担当者名
国語国文学演習Ⅲ 国文学演習Ⅲ	さくら い よう こ 櫻 井 陽 子

講義のねらい	卒業論文作成の指導を行う。
講義の内容・ 授業スケジュール	学生自身の問題意識の先鋭化と具体化を助け、研究方法と実際の論文作成にあたっての助言を行う。 1～3 卒業論文の書き方・諸注意 4～ 学生自身の発表と討議
履修上の留意点	学生自身の自主的な活動に負う。
成績評価の方法	卒業論文の内容と完成に至る過程。
参考書等	授業時に適宜指示する。

科目名	担当者名
国語国文学演習Ⅲ 国文学演習Ⅲ	たか だ ち なみ 高 田 知 波

講義のねらい	各自の小説の読みを深めることと、卒業論文制作のために生きる相互学習を行うことを2本柱にした演習である。両者が有機的に結びつくことによって成果のあがることを目指したい。
講義の内容・ 授業スケジュール	年間を前半と後半に分ける。前半は学説の違いの大きな近代小説を共同で読み、後半は学生の選んだ作品を読む。発表は1人、年1回。くわしくは教場で指示する。
成績評価の方法	平常点と年度末リポートの採点結果とを総合して成績評価を出す。

科目名	担当者名
国語国文学演習Ⅲ 国文学演習Ⅲ	たか はし ぶん じ 高 橋 文 二

講義のねらい	平安時代の文学作品を対象とした卒業論文作成の指導と助言をねらいとする。
講義の内容・ 授業スケジュール	受講者の研究対象に応じて具体的に指導、助言をする。卒論提出までに3～4回程度レポートを提出し、また2回程度の研究発表をして卒論の問題の所在と進行状況を確認する。
履修上の留意点	4年間の総決算である。積極的かつ自主的に問題を追究してほしい。
成績評価の方法	研究発表の内容、レポートの内容、出席状況などで評価する。
教科書	授業中適宜指示する。

科目名	担当者名
国語国文学演習Ⅲ	たなかのりさだ
国文学演習Ⅲ	田中徳定

講義のねらい	卒業論文作成のための指導を行なう。
講義の内容・授業スケジュール	年度始めに「卒業論文研究計画書」を提出してもらう。その研究計画に沿いながら、授業中に口頭発表を行なってもらい、その都度、発表内容をまとめたレポートを提出してもらう。また、論文の作成方法について、随時、具体的に指導を行なう。
履修上の留意点	専門科目の演習授業であるため、出席を基本とする。
成績評価の方法	授業中に行なう口頭発表と、それをまとめたレポートによる。
参考書等	授業中に随時指示する。

科目名	担当者名
国語国文学演習Ⅲ	どいこうゆう
国語学演習Ⅲ	土井光祐

国
文

講義のねらい	卒業論文執筆のための具体的な手続きについて、発表を繰り返して検証していく。
講義の内容・授業スケジュール	<p>以下の手続きを段階的、相互補完的に整理して、発表してもらう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、卒論の候補となる仮設的なテーマを設定する。 2、研究史の確認（リスト化して、コピー、ファイリングし、読む）。 3、学問体系の中での研究の意義を確認する。 4、研究対象とする言語資料を設定する。 5、具体的な研究方法を設定する。 <p>以上をその都度文章化し、ある段階からサンプリング調査、ボーリング調査を試験的に行って、研究の適切性の検証を繰り返していく。1～5はそのまま卒論内の序論となる。</p>
履修上の留意点	1～5の検証を経ずして論題の設定はあり得ない。徹底した調査が不可欠である。熱意ある取り組みには真摯に応える。
成績評価の方法	出席点50% 発表内容50%
教科書	特になし。
参考書等	授業時に随時指示する。
その他	原則として全員が一週間の成果を毎時間発表することになる。

科目名	担当者名
国語国文学演習Ⅲ 国文学演習Ⅲ	なか じま しん や 中 嶋 真 也

講義のねらい	上代文学で卒業論文を作成する学生を対象に指導を行う。
講義の内容・ 授業スケジュール	卒業論文作成に向け、求められる調査方法や具体的な作業について、指導・助言を行なう。演習として、前期・後期それぞれ最低1回の発表を義務とし、個別面談も随時行なう。
履修上の留意点	自主的かつ積極的な取り組みを求める。
成績評価の方法	出席、提出物、討議への参加などを総合的に評価する。
教科書	坂本信幸・毛利正守編『万葉事始』（和泉書院）
参考書等	その都度、授業時に指示する。

科目名	担当者名
国語国文学演習Ⅲ 国文学演習Ⅲ	はやし たつ や 林 達 也

講義のねらい	近世文学(十八世紀中頃まで)・中世文学の和歌、韻文で卒業論文を書く学生を対象とする。授業は、個別指導を中心とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	全講義期間を、基礎・展開・完成の3期に分け、それぞれの期間でレポートを提出し、スムーズに卒業論文の執筆へ結びつける。
履修上の留意点	対象とする作品・作家への関心を積極的に持続させること。年間数回提出するレポートを怠らないこと。自分の書いたものに責任をもつこと。
成績評価の方法	卒業論文執筆へ向けての調査・思考等の姿勢によって評価する。
参考書等	授業時に示す。

国
文

科目名	担当者名
国語国文学演習Ⅲ	まつ い けん じ 松 井 健 児
国文学演習Ⅲ	

講義のねらい	平安時代文学を対象とした、卒業論文作成の指導、助言。
講義の内容・授業スケジュール	卒業論文は学生生活の総決算ともいえる重要な課題である。対象の決定－問題設定－問題への効果的な取り組み方－参考文献の検索の方法－論文目録の作成－現時点における研究史および研究状況の把握－具体的な論述にいたるための資料作成－口頭による中間的な研究報告－具体的な論述の方法－など、いくつかの段階を設定して、文学研究としての要件を備えた論文の作成を自律的におこなえるよう指導、助言する。
履修上の留意点	自主性と積極性。
成績評価の方法	受講者による (1) 演習発表資料 (2) 発表内容 (3) レポート (4) 出席状況 (5) その他を総合して行なう。

科目名	担当者名
国語学演習Ⅳ	ど い こう ゆう 土 井 光 祐

国
文

講義のねらい	卒業論文の指導を継続的に実施する。
講義の内容・授業スケジュール	テーマに対する研究方法、研究対象とする言語資料等の相互の有効性を検証しつつ、進行に応じて個別に指導する。
履修上の留意点	熱意ある取り組みには真摯に応える。
成績評価の方法	研究への取り組み態度を総合的に評価する。
教科書	特になし。
参考書等	授業時に随時指示する。

科目名	担当者名
国文学演習Ⅳ	まつ い けん じ 松 井 健 児

講義のねらい	卒業論文作成の指導、助言。
講義の内容・授業スケジュール	受講者の研究対象に応じた実践的、具体的な指導と助言を行なう。
履修上の留意点	自主性と積極性。
成績評価の方法	卒業論文の内容とその完成に至る過程によって評価する。

科目名	担当者名
中国文学 中国歴史文学	田熊信之

講義のねらい

広大な中国の大地には古くからさまざまな民族が隆替を繰り返したが、その隆替の中心にいた漢民族は、音、義、形を備える特異な書写言語である“漢字”を生み育て、これを駆使して多岐にわたる独特な表現世界を発展させた。本講座は、中国の大地に生きた人々によって育まれた表現世界の実態を把握し理解するため、伝存する作品や再発見された遺文等を選出して読み解き、赏析していこうとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期にわたり、適宜中国文学史上の個々の作品を選読する。中国文学の世界には、例えば、歌謡や巫歌に由来する韻文の流れや、卜辞、告誓、記事などに始まる散文の流れがあり、このもとは、社会生活を営む個々人の離合集散する哀歓こもごもの人間模様が、各々の時代の思潮や思想、信仰に彩られながら、さまざまな形で綴り残されている。本年度は、漢字、漢語を用いて綴られる中国文学のあやどりの世界の一面を具体的に理解して行くために、歌謡、詩偈等をも含めた韻文や、人伝、僧録などをも含めた史伝、碑文、墓誌等の散文を読み進めて行きたい。

履修上の留意点

中国の地理、風土、歴史等については、各自概説書や関連著作などを参看して、基礎的知識を得ていて欲しい。

成績評価の方法

評価は、受講の状況を重視しながら、課題等への対応のさま、レポート或いは試験等の結果を併せて、総合的に行なう。

教科書

テキストについては、プリントを配布してこれを使用する予定。

参考書等

参考書、資料等については、授業時に説明、紹介する。

その他

授業は、講義及び演習の両方式を混ぜて行なう。

国
文

科目名	担当者名
比較文学	木村朗子

講義のねらい

はじめに比較文学がなにをどのように研究することなのか、また比較文学は、どのような歴史的背景のなかではじまった学問なのかについて確認し、その上で比較文学の方法を実際に用いながらさまざまな文学を実際に検討する。

比較の方法は、異なる国の文学を比較するだけでなく、翻訳の問題、文学を絵画化した場合、映像にした場合などさまざまに可能性がある。授業ではとくに小説を映画化したケースを中心課題として分析を進めながら、比較文学の方法を学ぶ。

成績評価の方法

出席と授業内レポートあるいは学期末のテストによる。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

授業中に指示する。

科目名

担当者名

児童文学

くにまつとし ひで
国松俊英

講義のねらい

童話や児童文学といえば、かつては「子どものためになる文学」という考えが中心だった。大人が子どもに与えるもので、子どもを健全な社会的人間に育て導いていくためであるとされた。子どもが感動したり楽しむよりも、その教育性が特に大切にされた。しかしその考えは時代とともに変わってきた。現代では、児童文学は「大人も子どもも共有できる文学」だと考える人がふえてきた。ミヒヤル・エンデの作品、ハリー・ポッターのシリーズなどファンタジーのいくつかの作品、絵本などには大人たちの熱心な愛読者がついている。大人の文学との境界がなくなってきたともいえる。
この時間では、児童文学とはどんなものか、どんなジャンルがあって、どんな作品が書かれてきたのか、などを探っていく。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 児童文学とは何か (2) 児童文学のジャンル (3) 絵本 (4) ファンタジー
(5) ノンフィクション (6) 少年詩 (7) 昔話
後期 (8) 日本児童文学の流れ (9) 赤い鳥の時代 (10) 宮沢賢治 (11) 新美南吉

履修上の留意点

講義を聞くだけでは、児童文学の世界は理解できない。授業で紹介する文学作品をできるだけ読んでほしい。

成績評価の方法

出席状況と年4回のレポート、期末試験によって評価する。

教科書

なし

参考書等

なし

国
文

科目名

担当者名

有職故実

こん どう よし かず
近藤好和

講義のねらい

10世紀後半以降の平安貴族社会で、和様化した公事（朝廷の儀式・政務）のマニュアルとして、令・格・式・儀式などを基礎に成立したのが有職故実である。従って、その扱う範囲は本来多岐にわたり、前近代では、有職故実研究はそのまま歴史研究でもあった。ところが、明治以降、有職故実が扱う範囲は、服飾・武具・調度・乗用具などの限定されたものになってしまった。しかし、これらが有職故実が扱う重要な分野であることは確かである。特にかかる「モノ」を実用の道具として即物的に扱うのが有職故実の特徴であり、「モノ」を現在の歴史学に取り込むためには、有職故実的な手法が不可欠と考える。また、それらの「モノ」を正しく理解することで、古典文学の理解もより深まる。そうしたなかで、本講義では、公家・武家の装束と中世の武具について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、装束について、公家・武家の順に講義する。後期では、武具について、甲冑・弓箭・刀剣等について講義する。

成績評価の方法

前・後期各一回の試験で判定する。

教科書

特になし。授業ごとにプリントを配布する。

参考書等

必要に応じて提示する。

科目名	担当者名
日本民俗学	谷口貢

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

国
文

科目名	担当者名
民間信仰論	谷口貢

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしなが、民間信仰の構造と機能を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮本袈裟雄著『庶民信仰と現世利益』（東京堂出版）の2冊を紹介しておきたい。

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを見る予定にしている。

科目名

担当者名

東洋思想史

すえ き やす ひこ
末 木 恭 彦

講義のねらい

中国の伝統思想、特に儒学のあり様について理解を深めることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

直線的に歴史把握を行うのではなく、儒学の根本文献（経）についての理解を深め、各経の歴史的展開を並行的に把握することにする。経理解の手掛りとしては、江戸時代の儒者、荻生徂徠の『経史子要覧』を用いる。『経史子要覧』の言説を読み、それに現代の視点からの補説を行う。この作業を通じて、儒学の経とは何か理解を深め、それがどう読まれて来たか歴史的認識を試みる。なお、『経史子要覧』は必要箇所を複写して配布する。

履修上の留意点

予習をして来て欲しい。テキストの疑問点を整理して授業に臨んで欲しい。その疑問点の解明を中心として、授業を展開する予定である。

成績評価の方法

平常の受講態度に学年末のレポートを加味して成績をつける。

科目名

担当者名

西洋思想史

しば の ひろ こ
柴 野 博 子

講義のねらい

カント以後の西洋思想の流れをたどりながら、よりよく生きるための話題を提供したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに古代と中世思想を概観し（4・5月）、その後カントに入ります。前期は、カントの思想を中心に、ドイツ観念論までお話しする予定です（6・7月）。後期は、ショーペンハウアー、ニーチェ（9・10月）、ベルクソン、デールタイ（11月）など、生の哲学者の思想を見ていきます。そして最後に、現代の西洋思想を代表するガダマーの解釈学の一端にも触れたいと思っています（12月）。

成績評価の方法

年2回の試験と出席状況、学習態度などを総合して評価します。

教科書

久保陽一・河合淳『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

国
文

講義のねらい

日本絵画の流れを主要なジャンルや流派ごとに概観する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・授業スケジュール

前期 平安時代から室町時代の絵画

- (1) ガイダンス
- (2) 絵画に関する基礎知識
- (3) ～ (4) 仏教絵画
- (5) ～ (7) 絵巻物
- (8) ～ (9) 肖像画
- (10) ～ (13) 室町時代の水墨画

後期 室町末から江戸時代の絵画

- (14) ～ (17) 狩野派
- (18) ～ (21) 琳派
- (22) ～ (24) 南蘋派と洋風画
- (25) ～ (26) 江戸から明治へ

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

参考書等

スライドで映写した作品を確認するには、下記のような美術全集があり、いずれも駒澤大学図書館に所蔵されている。

- 『原色日本の美術』（小学館）
- 『日本美術全集』（学習研究社）
- 『日本美術絵画全集』（集英社）
- 『日本美術全集』（講談社）

科目名

担当者名

演劇概論

もり 井 直 子
森 井 直 子

講義のねらい

明治時代以来、日本の演劇は同時代の社会の空気を呼吸し、それに反応して何度も大きな変容を遂げてきた。それらの変遷は、現在上演される演劇作品にも、演劇を取り巻く状況にも刻印されている。

演劇と文学との関わり、演劇と政治との関わりなど、明治以降の演劇の歴史を辿る。同時に、それぞれの時代、それぞれの問題意識の中から生まれた戯曲作品の鑑賞も行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 前期
- 1、日本近代演劇の黎明（2回）
 - 2、明治40年代の演劇（2回）
 - 3、日本近代戯曲の模索（2回）
 - 4、大正戯曲の時代（2回）
 - 5、築地小劇場（2回）
 - 6、政治と演劇（2回）
 - 7、まとめ（1回）
- 後期
- 1、戦後新劇の活動（2回）
 - 2、小劇場運動の隆盛—1960年代（2回）
 - 3、小劇場運動の展開—1970年代（2回）
 - 4、私さがしとメタシアター—1980年代（2回）
 - 5、静かな演劇—1990年代（2回）
 - 6、今日の演劇（1回）
 - 7、まとめ（1回）

履修上の留意点

授業の進行に従い、5、6本の戯曲作品をとりあげます。その戯曲については、あらかじめ読んでから出席することが必要。（扱う作品は、授業の中で指示する。）また、1年のうちに2度、劇場へ行って観劇してもらおうので、留意されたい。

成績評価の方法

前期末、後期末の観劇レポート、出席点、平常点から評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義形式の授業。

国
文

科目名

担当者名

書道概論

かねこ だいぞう
金子 大蔵

講義のねらい

中国・日本の書道史を学び、また現代書の誕生と歴史、現況を研究し、書の意義や芸術性に対する知識と理解を高める。

講義内容は主に書道理論と、ビデオや拓本、複製品などを使つての名品や現代書の鑑賞である。

前期では主に、中国書道史の概要を学ぶ。最古の文字「甲骨文」から「金文」、「木簡」へと移行する古代文字の変遷と、書の芸術性を高めたといわれる書聖王羲之の書と人の研究。

後期では主に、日本書道史と現代書の概要を学ぶ。書が中国から日本へと伝来してきた背景と経緯、そして“現代書の父”といわれる比田井天来から現在の現代書7部門までを理解し、実際に数回書の展覧会を見てレポートを提出する。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 書とは? (2・3) 甲骨文について (4・5) 金文について (6・7) 簡牘について (8・9) 漢代の隸書について (10・11) 王羲之の書と人について (12・13) 北魏の楷書について

後期 (14・15) 初唐の三大家について (16・17) 顔真卿の書と人について (18~20) 日本書道史について (21・22) 現代書の父比田井天来について (23・24) 上田桑鳩、金子鷗亭など現代書を広めた書家について (25・26) 現代書7部門と今後の書の展開

履修上の留意点

講義では主に頭から入る知識を学ぶが、常日頃から展覧会や博物館等に足を運び、目で親しむ時間をつくることが望まれる。

成績評価の方法

年数回行う展覧会等のレポート提出の内容と、講義中に行う小テストの結果に依拠して行う。

教科書

『書Ⅱ』高等学校芸術科(書道)文部科学省検定済教科書(光村図書出版)

国
文

科目名

担当者名

書道史

なす たかよし
那 須 隆 吉

講義のねらい

東洋文化は今、世界の注目を集めている。中でも書道は文字を芸術にまで高めた特異な文化である。本講では、書道が古代よりいかなる変遷をたどってきたかを通覧し、東洋独自の文化への理解が深まるよう、出来るだけ分かりやすく講じたい。

講義の内容・授業スケジュール

殷代の亀甲獣骨文字を始めとし、時代と共に著しく変遷していく、書体、書風、書法をテキストによる書の古典、及びコピー資料により中日両国の書道史を講ずる。全授業数の約3分の2を中国書道史、残りを日本書道史にあてたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出、年度末に行なう筆記試験等を総合して評価する。

教科書

伏見冲敬著『書の歴史』(二玄社) 日本書道史のテキストは後期に指示する。

参考書等

随時紹介する。

科目名

担当者名

書道実習Ⅰ

かねこ だいぞう
金子 大蔵

講義のねらい

書道とはただ文字をきれいに書き写すというだけではない。中国、日本における古代からの名品といわれる古典の臨書を重ねることにより、パソコンやワープロでは表現することができない書き手の心や顔が見ることができる書表現を身につける。

本講座では主に書の基本ともいえる楷書と行書の古典を中心に半紙を使って学び、それにより多彩な線表現を会得し、独自の臨書感を持って書に取り組みをする。また最後に漢字仮名交じりの書を学ぶことにより、我々が今現在使用している言葉を用いた書表現にも挑戦する。

前期では主に楷書の臨書を行う。「高貞碑」等の北魏の楷書から、「九成宮醴泉銘」等の唐の楷書まで幅広く学ぶ。後期では書聖王羲之の最高傑作「蘭亭序」や唐代能書家の名品、日本の空海書「風信帖」まで古今東西の古典を学ぶ。最後3回の講義にて漢字仮名交じり書の作品を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期・楷書の研究 (1) 用具・用材の説明と臨書について (2・3) 高貞碑の臨書 (4・5) 牛欄造像記の臨書 (6・7) 孔子廟堂碑の臨書 (8・9) 九成宮醴泉銘の臨書 (10・11) 雁塔聖教序の臨書 (12・13) 顔氏家廟碑の臨書
後期・行書の研究と漢字仮名交じりの書 (14~16) 蘭亭序の臨書 (17) 集王聖教序の臨書 (18・19) 枯樹賦の臨書 (20・21) 祭姪文稿の臨書 (22・23) 風信帖の臨書 (24~26) 漢字仮名交じりの書

履修上の留意点

書道の上達は筆を持つ時間の長さにと関係するところが大きいです。予習復習以外にも日頃から筆を持つ機会を多くすることが大切です。

成績評価の方法

毎講座後に提出する作品の内容の評価と夏休みの宿題の内容の評価を総合判断して行う。

教科書

『書Ⅰ』高等学校芸術科(書道)文部科学省検定済教科書(光村図書出版)

国
文

科目名

担当者名

書道実習Ⅱ

なす だか よし
那 須 隆 吉

講義のねらい

世界で唯一、古代から一貫して同じ文字を使用し、それを鑑賞に耐えうる芸術にまで高めた「書」の美しさを味わい、そのよってきたるところを理解し、更に応用力を身につけたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・漢字仮名の書の古典名跡により、書の基本的技法を習得する。
- ・書の基本的知識(書式、文房四宝、篆刻、拓本、表装、書論、写経等)について理解を深める。
- ・中国日本の書道史(文字の歴史)を概観する。

履修上の留意点

テキスト、用具は常に整備しておく。(墨汁は使用しない。硯、筆は常に洗っておく。)

成績評価の方法

出席点、平常点(遅刻等)、清書、レポート等による。

教科書

『書の世界』(中教出版)約1,200円

科目名	担当者名
書道実習Ⅲ	那須隆吉

講義のねらい

一口に書道といっても多様なジャンルがある。本講では、隷書法、篆書法、篆刻法を実習する。

講義の内容・授業スケジュール

隷書、篆書の学習は、古典の臨書を中心に行ない、基礎的知識と技法を習得し、鑑賞力を養いたい。篆刻は基礎的技法を習得することと、併せてその歴史も概観し、東洋文化の粋ともいわれる、この「方寸の世界」の奥深い楽しみをさぐりたい。

履修上の留意点

文房具を愛することは、古来文人のたしなみであるので、用具を忘れて人に借りるなどということのないよう注意されたい。

成績評価の方法

出席及び清書提出、随時レポートの提出等を総合して評価する。

教科書

コピーによる。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名
編集実務	長谷川孝

講義のねらい

編集とは、＜誰かに——何かを——伝える＞過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、取捨選択（評価）し、再構成して、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で、「どう」伝えるかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを考える力、いわば“知的基礎体力”が必要です。そのための自分なりの「目のつけどころ」（視点・視角・視野）をつくることを目指します。また、編集のはたらかしは生活の中で誰もが日常的に行っていることなので、それを意識的に適用してみることで「編集力」を育てたいと思います。情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」であるために役立つことを願っています。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の執筆や読み取り・整理、レイアウトと編集姿勢など、実際の知識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や編集をする上での意思や責任などについて考えます。とくに、ものごと・できごと・文章やデータなどから「何か」（そのテーマと意味）をよみとり、感じとり、問い返し、取捨選択（評価）して、自分の表現をつくり出し発信する力を養えるよう考えます。

履修上の留意点

授業を「取材」する（「教わる」ではなく）という構えで参加してください。また、授業で「取材」した「自分なりに感じ気づき考えた」こと（つまり「編集」したこと）を、毎時、短い文章にして提出してもらいます（「イケン文」と呼びます）。授業を受け止め取捨選択するという過程そのものが、編集作業をたくさん含んだプロセスですから、こういう姿勢は「編集の実践」でもあると考えています。

成績評価の方法

自己評価点を重視します。それと、課題作品（B4版2つ折4ページの個人紙・誌を制作）と、授業で書いた「イケン文」など平常の提出物によります。

教科書

プリントを使用します。

参考書等

必要により、授業で紹介します。

国

文

II 專 門 教 育 科 目

2 英 米 文 学 科

英
米
文

英
米
文

Ⅱ. 専門教育科目

(2) 英米文学科

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
作品講読Ⅰ	英米文1必	通年	2	東雄一郎	383
作品講読Ⅰ	英米文1必	通年	2	高野正夫	383
作品講読Ⅰ	英米文1必	通年	2	佐藤真二	383
作品講読Ⅰ	英米文1必	通年	2	河崎征俊	384
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅠ	英米文1必	通年	2	サンダース, L. P.	384
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅠ	英米文1必	通年	2	レイン, R. V.	385
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅠ	英米文1必	通年	2	マーティン, S. F.	385
作品講読Ⅱ	英米文2必	通年	2	河崎征俊	386
作品講読Ⅱ	英米文2必	通年	2	佐藤千春	386
作品講読Ⅱ	英米文2必	通年	2	逢見明久	387
作品講読Ⅱ	英米文2必	通年	2	東雄一郎	387
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	英米文2必	通年	2	ブランケン, D. L.	388
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	英米文2必	通年	2	サンダース, L. P.	389
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	英米文2必	通年	2	ハバード, W. D.	389
英語学概論	英米文2必	通年	4	佐藤真二	390
英語表現法	英米文2必	通年	4	高野正夫	390
英語表現法	英米文2必	通年	4	河崎征俊	391
英語表現法	英米文2必	通年	4	佐藤千春	391
英語表現法	英米文2必	通年	4	逢見明久	392
英語史	英米文3必	通年	4	久保内端郎	392
3年次ゼミ	英米文3必	通年	4	川崎明子	393
3年次ゼミ	英米文3必	通年	4	久保内端郎	393
3年次ゼミ	英米文3必	通年	4	逢見明久	394
3年次ゼミ	英米文3必	通年	4	河崎征俊	394
3年次ゼミ	英米文3必	通年	4	高野正夫	395
3年次ゼミ	英米文3必	通年	4	サンダース, L. P.	395
3年次ゼミ	英米文3必	通年	4	東雄一郎	396
3年次ゼミ	英米文3必	通年	4	佐藤千春	396
3年次ゼミ	英米文3必	通年	4	佐藤真二	397
3年次ゼミ	英米文3必	通年	4	富士川義之	397
アメリカ文学史	英米文2・3選必	通年	4	佐藤千春	398
イギリス文学史Ⅰ	英米文2・3選必	通年	4	河崎征俊	398
イギリス文学史Ⅱ	英米文2・3選必	通年	4	富士川義之	399
イギリス文学特講Ⅰ	英米文2・3・4選	通年	4	石原孝哉	400
イギリス文学特講Ⅱ	英米文2・3・4選	通年	4	高野正夫	400
イギリス文学特講Ⅲ	英米文2・3・4選	通年	4	岡崎寿一郎	401
イギリス文学特講Ⅳ	英米文2・3・4選	通年	4	川崎明子	401
イギリス文学特講Ⅴ	英米文2・3・4選	通年	4	富士川義之	402
イギリス文学特講Ⅵ	英米文2・3・4選	通年	4	丸小哲雄	403
演劇特講(イギリス・アメリカ)	英米文2・3・4選	通年	4	落合和昭	404
演劇演習(イギリス・アメリカ)	英米文2・3・4選	通年	4	逢見明久	404

アメリカ文学特講Ⅰ	英米文2・3・4選	通年	4	東雄一郎	405
アメリカ文学特講Ⅱ	英米文2・3・4選	通年	4	サンダース, L. P.	405
アメリカ文学特講Ⅲ	英米文2・3・4選	通年	4	足田和人	406
アメリカ文学特講Ⅳ	英米文2・3・4選	通年	4	逢見明久	406
アメリカ文学特講Ⅴ	英米文2・3・4選	通年	4	西原克政	407
イギリス文学演習Ⅰ	英米文2・3・4選	通年	4	サンダース, L. P.	407
イギリス文学演習Ⅱ	英米文2・3・4選	通年	4	川崎明子	407
イギリス文学演習Ⅲ	英米文2・3・4選	通年	4	高野正夫	408
イギリス文学演習Ⅳ	英米文2・3・4選	通年	4	増田恵子	408
イギリス文学演習Ⅴ	英米文2・3・4選	通年	4	富士川義之	409
アメリカ文学演習Ⅰ	英米文2・3・4選	通年	4	川崎浩太郎	409
アメリカ文学演習Ⅱ	英米文2・3・4選	通年	4	サンダース, L. P.	410
アメリカ文学演習Ⅲ	英米文2・3・4選	通年	4	川崎笑佳	410
アメリカ文学演習Ⅳ	英米文2・3・4選	通年	4	古富猛	410
アメリカ文学演習Ⅴ	英米文2・3・4選	通年	4	休講	
時事英語	英米文2・3・4選	通年	4	サンダース, L. P.	411
商業英語	英米文2・3・4選	通年	4	杉山清彦	411
ラテン語	英米文2・3・4選	通年	4	上野勝広	412
ギリシャ語	英米文2・3・4選	通年	4	長谷川岳男	412
英米文化	英米文2・3・4選	通年	4	広川治	413
外国文学	英米文2・3・4選	通年	4	遠山博雄	413
英米思想史	英米文2・3・4選	通年	4	麻生享志	414
現代美術	英米文2・3・4選	通年	4	矢野陽子	414
日本文化史	英米文2・3・4選	通年	4	吉田政博	567
放送英語	英米文3・4選	通年	4	大庭直樹	415
英作文演習	英米文3・4選	通年	4	東雄一郎	416
英作文演習	英米文3・4選	通年	4	川崎明子	416
英語学演習Ⅰ	英米文3・4選	通年	4	菅原勉	417
英語学演習Ⅰ	英米文3・4選	通年	4	ピアス, D. M.	418
英語学演習Ⅱ	英米文3・4選	通年	4	久保内端郎	419
英語学演習Ⅲ	英米文3・4選	通年	4	町田尚子	419
英語学演習Ⅳ	英米文3・4選	通年	4	久保内端郎	420
英語学演習Ⅴ	英米文3・4選	通年	4	ブランケン, D. L.	421
オーラル・イングリッシュ	英米文3・4選	通年	2	ハバード, W. D.	422
オーラル・イングリッシュ	英米文3・4選	通年	2	リアーディ, N.	423
オーラル・イングリッシュ	英米文3・4選	通年	2	レイン, R. V.	424
オーラル・イングリッシュ	英米文3・4選	通年	2	ナトウシュ, B. A.	424
4年次ゼミ	英米文4選	通年	4	東雄一郎	425
4年次ゼミ	英米文4選	通年	4	逢見明久	425
4年次ゼミ	英米文4選	通年	4	川崎明子	425
4年次ゼミ	英米文4選	通年	4	河崎征俊	426
4年次ゼミ	英米文4選	通年	4	久保内端郎	426
4年次ゼミ	英米文4選	通年	4	佐藤真二	427
4年次ゼミ	英米文4選	通年	4	佐藤千春	427
4年次ゼミ	英米文4選	通年	4	サンダース, L. P.	428
4年次ゼミ	英米文4選	通年	4	富士川義之	428
4年次ゼミ	英米文4選	通年	4	高野正夫	429

科目名	担当者名
作品講読Ⅰ	あづま 東 ゆういちろう 雄一郎

講義のねらい

アメリカの名作(小説)を通じて英語の読解力を高める。20世紀初頭のアメリカ、「ジャズ・エイジ」を疾風の如く、駆け抜けた悲劇の天才作家、スコット・フィッツジェラルドの短篇小説を精読します。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、2人から3人に発表してもらいます。前期は「バビロン再訪」(20ページ程度)を読みます。毎回、3ページ程度読み進めます。後期の作品は未定ですが、プリントを配布します。

履修上の留意点

必ず予習をした上で、授業に参加すること。遅刻は正当な理由のない限り認めない。通年、4回以上の欠席がある者は評価対象外者とする。

成績評価の方法

月に2、3回程度、授業内で小テストを行う。前期、後期各1回ずつテスト(総合テスト)を行う。小レポートを数回提出してもらう。これらの結果を総合的に判断して評価を下す。

教科書

植村郁夫解説注釈『フィッツジェラルド短篇集』(研究社小英文学叢書)900円程度

参考書等

開講時に指示します。

科目名	担当者名
作品講読Ⅰ	たかの 高野 まさお 正夫

講義のねらい

イギリス20世紀の短編小説を精読しながら、現代のイギリス国民の諸相を考察していく。

履修上の留意点

発表の時以外にもできる限り予習をして、授業に出ること。

成績評価の方法

前期、後期の試験だけでなく、授業における発表や出席状況を考慮しながら評価する。

教科書

教場にて指示します。

その他

授業は演習形式で行います。

英
米
文

科目名	担当者名
作品講読Ⅰ	さとう 佐藤 しんじ 真二

講義のねらい

英米文学の様々な作品を読む事によって、作品を味わい、解釈する力を養うとともに、作品を一人で読んでいくことのできる英語力の向上を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は英米の短編小説を読む。後期では、劇を一本通読する予定。また、夏休みに、原書を一冊以上読む課題を出す。

履修上の留意点

英語力の向上には予習・復習が不可欠である。必ず予習をして授業に臨むこと。欠席は慎むこと。

成績評価の方法

前期末・後期末の試験のほか、授業内の発表およびレポートで評価する。

教科書

テキストは開講時に指示する。

その他

授業は演習形式で行う。実際の進め方については教場において指示をする。

科目名	担当者名
作品講読 I	かわさき まさとし 河崎 征俊

講義のねらい	P.J. ジェニングズの『中世ヨーロッパ物語集』を読みながら、中世ヨーロッパの文学的伝統を考察する。
講義の内容・授業スケジュール	Amleth's Revenge, Guigemar, Erec and Enide, The Story Merlin 等の順で読む予定。
履修上の留意点	演習形式をとるため、出席を重視する。遅刻は認めない。予習に専念していただきたい。
成績評価の方法	年2回の試験、演習態度、及び出席等を中心に総合的に評価する。
教科書	英文ジェニングズ『中世ヨーロッパ物語集』（英宝社）1,311円
参考書等	授業時に指示する。
その他	参考資料のプリントを時々配布する予定。

科目名	担当者名
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	サンダース, L. P.

講義のねらい	This course is designed to give students basic listening and speaking skills needed for effective communication in English.
講義の内容・授業スケジュール	Each class will consist of practical listening exercises, and/or short videos on related topics. Follow-up activities for speaking practice will include screen English dialogs for pair work, role plays, short speeches and recitations.
成績評価の方法	Attendance, participation in class activities, speech and/or recitation, two tests (one at the end each semester).
教科書	教材は教室にて配布する。
その他	ビデオを使用する。

科目名**担当者名**

スピーチ・アンド・コミュニケーション I

レイン, R. V.

講義のねらい

This course will help students to : 1] use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2] improve their presentation - giving skills.

講義の内容・
授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities [done in pairs] to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in front of the class on topics selected by the instructor.

履修上の留意点

Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home. Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1 / 3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.

教科書

Steven Molinsky and Bill Bliss *Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4* Longman 2003
ISBN0-13-183937-3 OR ISBN0-13-026888-7

科目名**担当者名**

スピーチ・アンド・コミュニケーション I

マーティン, S. F.

講義のねらい

Speech and Communication I will be organized around modes of communication, as well as content. Most classes will be organized so as to have students preparing for projects through small groups. But when practical, individual participation will be encouraged and will be included in overall student evaluation.

講義の内容・
授業スケジュール

No textbook is required, but students will need to have a file holder or notebook for student generated materials and handouts from the instructor. Material to be covered will be comprised of roughly 50% practical conversation, and 50% will be drawn from a variety of lectures and discussions of academic or cultural interest.

履修上の留意点

Attendance is required, and with few exceptions, the instructor will hold students accountable for the minimum attendance required by the Ministry of Science and Education (Monkasho). Final student evaluation will be based on year long attendance, and a willingness to communicate as exemplified by completion of homework assignments and active participation in classroom exercises.

成績評価の方法

Students will be evaluated according to attendance, in class Participation, occasional written tests, and occasional written homework assignments.

教科書

Students are required to buy 'Get Real - Student Book 2', written by Angela Buckingham and Miles Craven, published by Macmillan Language House, ISBN4-89585-393-4 C3082

参考書等

Students should try to other English source material as much as possible. Any source is acceptable - newspapers, novels, magazines.

英
米
文

科目名	担当者名
作品講読Ⅱ	かわ 崎 征 俊 か さま まさ とし

講義のねらい	Jane Austen の <i>Pride and Prejudice</i> を読みながら、19世紀英語文学の本質を考察する。
講義の内容・ 授業スケジュール	19世紀の小説の手法（特に女性文学者）はどのような特質をもっているのか、また、それは所謂「偉大な伝統」の流れの中でどのような位置を占めているのか、この授業ではこのような問題を中心に考えながら19世紀英文学の読み方を習得していく予定。
履修上の留意点	演習形式をとるため、出席を重視する。遅刻は認めない。予習に専念していただきたい。
成績評価の方法	年2回の試験、演習態度、及び出席等を中心に総合的に評価する。
教科書	Penguin 版等をコピーにて配布する予定。
参考書等	授業時に時々指示する。
その他	参考資料をプリントを数回配布する予定。

科目名	担当者名
作品講読Ⅱ	さ とう ち はる 佐 藤 千 春

講義のねらい	本年度はアメリカ文学の古典といわれる短編を読む。
講義の内容・ 授業スケジュール	作品の音読に始まり、訳読、文法的説明等、文章の構造を解明し、内容の把握に努める。
履修上の留意点	あらかじめ発表部分をあておくので、十分な予習をもって授業に臨むこと。授業時内における発表内容、授業に臨む姿勢、遅刻・欠席はマイナスの評価として扱うので注意すること。
成績評価の方法	「履修上の留意点」での注意点を考慮し、前期・後期のテストの結果で決定する。尚、遅刻・欠席が多い場合には、受験資格を失うので留意しておくこと。
教科書	Classic American Short Stories 『古典アメリカ短編集』（成美堂）1,365円
参考書等	授業内で指示する。

科目名	担当者名
作品講読Ⅱ	逢見明久

講義のねらい

文学を愉しみながら読解力を養うことを主な目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

英語で書かれた短編小説・随筆・戯曲を扱う予定。原語朗読を重視し、作品毎に心に残る表現と鍵言葉を選び小レポートにまとめる。

履修上の留意点

欠席や遅刻は禁物。作品世界を知るための準備を惜しまないこと。

成績評価の方法

毎回の受講態度と発表内容、小レポート、2回の期末テストで総合的に評価する。

教科書

開講時に知らせる。

科目名	担当者名
作品講読Ⅱ	東雄一郎

講義のねらい

アメリカの名作(小説)を通じて、英語の速読・精読の力(読解力)を高める。1980年代のアメリカ小説(『ミニマリズムの文学』)を代表するボビー・アン・メイスン、人間の内面のグロテスクさを写實的に語るJ・C・オーツ、SFの名手アイザック・エシモフなどの短篇を読みます。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回2~3人に発表してもらい、訳や内容理解についての質疑応答を行います。毎回、3~4ページ程度を読み進めます。

履修上の留意点

必ず予習をした上で、授業に参加すること。遅刻は理由のないものは認めない。年間、4回以上の欠席がある者は評価対象外者とする。

成績評価の方法

授業内での小テスト(ほぼ毎回)、前期、後期各1回ずつの総合テスト、年間数回提出の小レポート、出席点などを総合的に判断して評価を下す。

教科書

『現代アメリカ短篇コレクション』(南雲堂出版)1,800円程度

参考書等

開講時に指示します。

講義のねらい

To (a) increase student aural-oral proficiency, (b) abet vocabulary mastery, and (c) promote willingness to speak English. Students will produce spoken English through memorized passages, dialogs and readings—they will record themselves in various speaking situations—and conversation with the instructor.

講義の内容・
授業スケジュール

The schedule will be as follows.:

Spring Semester	Fall Semester
Week 1 : Vetting of student oral proficiency	Fall Semester overview
Wks 2 & 3 : English on the Move (EOM), Unit 1	EOM, Unit 5
Wks 4 & 5 : EOM, Unit 2	EOM, Unit 6
Wks 6 & 7 : Outside material & activities (1)	EOM, Unit 7
Wks 8 & 9 : EOM, Unit 3	Outside material & activities (3)
Wks10&11 : EOM, Unit 4	EOM, Unit 8
Wks11&12 : Outside material & activities (2)	EOM, Unit 9
Week13 : Book check : makeup work	Book Check : makeup work
Week14 : Final Examination	Final Examination

履修上の留意点

Two class periods will be allocated for each of the nine units in the textbook, English on the Move. Four such units will be covered in the first semester, and the remaining five in the second. The goal is to cover some five pages of the text per class period. Four weeks are reserved for both supplementary material and taping activities. This material will augment the contents of the text: it will take the form of puzzles, games, music and simple reading - and - speaking activities.

The presentation of English on the move will proceed sequentially from unit to unit, with pauses for supplemental material as indicated above in the schedule for the semester. Within any given unit, however, the teaching may be entirely non - sequential.

The text provides for weekly listening and speaking activities (role playing) as a matter of course: students are obliged to prepare and perform the latter.

成績評価の方法

Students will be evaluated and graded according to these criteria : (1) classwork, using English on the Move : 30% : (2) classwork, using supplemental materials : 20% : (3) attendance and weekly speaking performance : 30% ; and final Examination : 20%

教科書

Name : English on the Move
 Authors : Baxter and Pustulka
 Publisher : Metropolitan English Publications, 1999
 Price : 2,200円

参考書等

A suitable English - English dictionary is strongly recommended, but not required: the instructor will address this issue during the first class meeting, when course goals and contents will be outlined.

科目名	担当者名
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	サンダース, L. P.

講義のねらい

This course will be based on developing practical speaking skills and listening comprehension for the intermediate level student.

講義の内容・授業スケジュール

Each class will consist of listening exercises and videos on related topics, followed by conversation practice and discussions related to cultural studies topics.

成績評価の方法

Class participation, attendance, punctuality, and two tests

教科書

教材は教室にて配布する。

その他

ビデオを使用する。

科目名	担当者名
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	ハバード, W. D.

講義のねらい

This course is designed to help university students improve their speech and communication abilities. Various dialogues, topics, sentence patterns, and rhythm practices are used to introduce the student to new ideas and vocabulary and to improve the student's speech and communication abilities. This course can be used for vocabulary enhancement, preparation for STEP (EIKEN) level 2 or 3 tests, as well as an introduction to basic speech and communications skills in English.

講義の内容・授業スケジュール

In the first semester (class periods 1 - 12), dialogues with new sentence patterns and vocabulary will be introduced and practiced. Then, general questions will be provided to help the students judge their comprehension of the material and familiarity with any new vocabulary and situations introduced through the dialogues. After this, general exercises will be introduced. These exercises are designed to help the students improve their intonation, stress, rhythm, and pronunciation, ability to express themselves, and comprehension in general. During the next class period, students will be asked to show their competence in using this material.

In the second semester (class periods 13 - 24), a more concentrated effort will be placed on improving stress, intonation, rhythm, pronunciation, and speaking ability in general. Students will give a short presentation on the material provided. Useful hints will then be given to help the students improve their ability to express themselves in an understandable way. This material is S. T. E. P (EIKEN) oriented and will help the student prepare for such tests as the EIKEN level 2 or 3.

履修上の留意点

Students will be evaluated (graded) according to their attendance, homework, class work, other assigned work, and tests (2)

教科書

No textbook. New text material will be handed out during each class session.

科目名	担当者名
英語学概論	佐藤真二

講義のねらい

英語学の諸項目に関する基礎的な知識を身につける事を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

主な講義内容は以下の通り。

- 1) What is linguistics? (言語学とは何か)
- 2) Phonetics (音声学)
- 3) Phonology (音韻論)
- 4) Morphology (形態論)
- 5) Lexicology (語彙論)
- 6) Syntax (統語論)
- 7) Semantics (意味論)
- 8) Linguistic schools in the twentieth century (20世紀の諸言語学派)
- 9) Branches of linguistics (言語学の諸分野)

成績評価の方法

前期末及び学年末の試験によって評価する。

教科書

J.D.O'Connor, *Better English Pronunciation*, (Cambridge University Press) 1980, (Paperback)

参考書等

参考文献は教場にて紹介する。

科目名	担当者名
英語表現法	高野正夫

英
米
文

講義のねらい

いわゆる英作文の学習において基本となるのは、英語の文法的な知識である。どのような易しい英文を書く場合にも、この文法的な知識なくしては、それが不可能なことは言うまでもありません。このような自然な英作文を書くのに必要な文法は、「生きた英文法」と言われるものであり、単なる書かれた知識としての文法ではなく、現実の生活の様々な場面で使われる言語表現に不可欠な文法的な知識である。それ故、基本的な英文法の知識を再確認しながら授業を進めていく予定です。

履修上の留意点

授業は、毎回演習形式で行うので、あつた時には十分準備をすること。

成績評価の方法

前期、後期の試験だけでなく出席を重視する。また、あつた時の発表など、総合的に判断しながら評価する。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名
英語表現法	河崎 征俊

講義のねらい

平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英文作成を目指した授業を行う。英語表現の熟達を望む人は、一般に、ややもすると日本語から英語へといった機械的かつ単純な方式を踏む傾向があるが、一方において、より優れた模範的英文に触れることも必要である。また、使用する辞書も英和辞典や和英辞典を用いるだけではなく、英英辞典を多用することも大切である。日本語から英語へと文章を変換すること自体、困難な作業なので、できるかぎりわれわれの頭の中でイメージの拡散を起こさないようにすべきであろう。英語で英文のイメージをまとめ、英語で直接思考し、発音し、そしてライティングへと向かうべきである。そのような問題意識をもって着実な努力を重ね、多くの英文に触れながら、さまざまな場面や角度から英文の表現法を習得してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、日常的レベルの内容の英文作成から、一歩すすんだ内容の英文作成を目標とし、テキストとプリント類を使用しながら大体1年間で終了できるような形をとっていく。

履修上の留意点

すべて演習形式をとるので、予習・復習を必須とする。従って、出席を重視し、積極的に意欲的な授業への参加が求められる。

成績評価の方法

年2回の筆記試験および平常時の授業態度・出席状況などをもとにして、総合的な角度から評価する。

教科書

緒方勲『英語表現への道』（成美堂）1,545円

参考書等

授業の進行に合わせて紹介する予定。

科目名	担当者名
英語表現法	佐藤 千春

英
米
文

講義のねらい

ここで扱う英文はすべて日常会話のものばかりで、いわゆる書き言葉なるものは一つもない。口語英作文と考えてもらえばよい。はじめに基本となる英文の表現を確認する。次に口頭で答えてもらえる程度の短い文を練習し、基本が身に付いているかどうかのトレーニングを行う。次にコミュニケーションの実際の場面を想定し、これはあらかじめ分担を決めておくので1人1問の分量を板書してもらう。この授業で扱う表現はすべて実生活を土台としたもので、できるだけ簡単な表現で巧みな自己表現が出来るようになることをねらいとしている。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれ定められた場面に必要とされる表現の例文、Useful Expressionの説明、およびテキストに収録されているもの以外の表現を簡単に説明し、その後はすべて学生諸君に1問ずつ質問に答えてもらう。Writing Practice はあらかじめあてておくので準備をし板書してもらう。またテキストとは別に、アメリカのColloquialismについて学び、自由作文をしてもらうことも考えている。本年度は下記テキストのPART II, College Life から始める。

履修上の留意点

授業に臨むにあたっての注意事項は授業開講時に説明をする。毎回出欠をとることは言うまでもない。遅刻・欠席はマイナス評価、Assignmentは必ずやってくるように。

成績評価の方法

毎回あてるQuiz、出欠の結果、各学期末に行うテスト等、総合的に判断し評価を行う。遅刻・欠席はマイナス評価となり、試験の点数が良くても、最終評価は必ずしもこれに一致することはないので注意すること。

教科書

THE ROAD FROM WRITING TO SPEAKING『コミュニケーションのための口語英作文』（成美堂）1,680円

参考書等

授業内にて紹介して行く。

科目名

担当者名

英語表現法

おうみあきひさ
逢見明久

講義のねらい

多様な英語表現の用例に触れて、言葉遣いのニュアンスを学び、英語の音声表現を磨き、文章表現の上達を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期は短編小説・戯曲・映画などを利用し、リスニングや朗読を通じて、英語の音感を磨き、音声表現を学ぶ。後期は平易な英語で、身近なことを題材にしたエッセーを書き、上達に応じて短い対話劇や物語を創作し、自作を音読して発表する。

履修上の留意点

成果を出すために、十分に予習をして授業に臨むなど、意欲的な態度が求められる。

成績評価の方法

毎時間の発表と授業態度、および前期と後期のテストの結果から総合的に判断。

教科書

教場で知らせる。

参考書等

必要に応じて紹介。

科目名

担当者名

英語史

くぼうちただお
久保内端郎

講義のねらい

英語は今でこそ「世界語」と呼ばれるほどになっていますが、5世紀頃のその成立時はゲルマン語に属する一つの地方言語にすぎず、またその初期の段階ではその存続自体危うくなったことが一度ならずありました。英語の過去の姿、そしてその後の変化の過程を見ることによって、英語の何が変わり、何が変わらなかったのかを知ることは、現在の英語の特質を理解する上で重要です。講義では『アングロサクソン年代記』、『ベーオウルフ』、各期の聖書翻訳など実際の文章例の読解に重点をおきます。前期は古英語(700-1100年頃の英語)を中心に、中英語期(1100-1500年頃)の半ばまで、後期は中英語期の後期から活版印刷術導入期を経て北米大陸などへの拡張期までが中心になります。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期)
- (1~2) 英語の始源と特徴
- (3~7) 古英語の綴り字、音韻の推定、語尾変化と語順
- (8~10) 英語の語彙 外国語の影響
- (11~13) 中英語期への移行期の文献読解
- (14~15) 『カンタベリー物語』
- (16~17) 「英語散文の連続性」と外来語の影響
- (18~19) 近代英語への移行期 活版印刷術
- (20) 標準英語の形成と英語の方言
- (21~22) 『欽定訳聖書』とシェイクスピア
- (23) アメリカ大陸などへの拡大

履修上の留意点

授業への積極的な参加と予習を強く要望します。

成績評価の方法

成績評価は平常点とレポート、試験の成績による。

教科書

David Crystal, *The History of English* (金星堂)

参考書等

講義の中で随時指示。

英
米
文

科目名

担当者名

3年次ゼミ

川崎明子

講義のねらい

19世紀に出版されたイギリス小説と、後にそれらに呼応して書かれた小説を読み、イギリス小説を中心とする芸術作品の Intertextuality について考察します。具体的には Jane Austen の *Pride and Prejudice*、Charlotte Brontë の *Jane Eyre*、Emily Brontë の *Wuthering Heights* とこれらを意識して書かれた20・21世紀の英語・日本語小説群を比較します。

講義の内容・授業スケジュール

第一回目の授業で示します。

履修上の留意点

上に挙げた三作品を通読した上で臨んでください。

成績評価の方法

出席、授業中の発言、発表、ディスカッションの内容とレポートや試験を総合して評価します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

適宜指示します。

科目名

担当者名

3年次ゼミ

久保内 端 郎

講義のねらい

英語学とりわけ英語史に関心をもつ諸君の歴史的・通時の研究への関心をさらに深めていただくためのゼミとなればと願っています。前期のテキストには Robert McCrum ほかの *The Story of English* (BBC Publications, 1986) のテキスト版を用います。BBCで放映されたものが原本になっています。ビデオも適当な時期に少しずつ見たいと思っています。後期はこれの後半を読むか他の本に移るか、参加の諸君の希望を聞きたいと思っています。

英
米
文

講義の内容・授業スケジュール

- (前期)
- (1) 英語の歴史を学ぶとは
 - (3～6) 英語の系統
 - (7) バイキングの侵入とバイリンガル
 - (8～10) ノルマン人の征服の影響
 - (11～13) チョーサーとウィクリフ
 - (14～16) ルネサンス期の英語
 - (17) 以後の箇所は参加者の希望による。
 - (18～22) 未定
 - (23) まとめ

履修上の留意点

授業への積極的な参加を強く要望します。

成績評価の方法

成績評価は平常点とレポートによる。

教科書

Robert McCrum ほか『BBC：英語ものがたり』（英宝社）1,850円

科目名

担当者名

3年次ゼミ

おみあきひさ
逢見明久

講義のねらい

英米演劇における映画化作品研究。

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカ劇壇を代表する劇作家アーサー・ミラーの家庭劇『セールスマンの死』(1949)を取り上げる予定。前期は、テキストを精読したうえで、映像作家の作品解釈をその演出から探り、夏期休暇に各々の切り口でレポートをまとめ(400字10枚程度)、後期はレポートを発表し、ほかのメンバーと意見を交換しながら問題点を整理する。

履修上の留意点

毎回全員に発表の機会があるので、準備は怠らないこと。

成績評価の方法

毎時間の発表姿勢と、レポートの結果から判断する。

教科書

Miller, Arthur. Death of a Salesman: Text and Criticism (Viking Critical Library)
ISBN:0140247734

参考書等

荒井良雄著『英米文学映画化作品論』(新樹社、1996年) ISBN:4787584588
ベラ・バラージュ著 佐々木基一訳『映画の理論』(学藝書林、1992年)
ISBN:4905640857

科目名

担当者名

3年次ゼミ

かわさきまさとし
河崎征俊

講義のねらい

イギリスの14世紀は、百年戦争、農民一揆、黒死病の流行、政治的闘争など、多彩な時代であった。と同時に、英語が復権し、騎士道精神華やかなりし時代でもあった。この時代に現れた詩人ジェフリー・チョーサーはこのような時代の特質をすべて吸収し、その独特なパーソナリティーをとおして、イギリス文学の特性ともなるヒューモアとか風刺の精神を、いわゆる、デタッチ・ドな態度で描いている。そして、この詩人は当時の宮廷と深く関わりながら、ウェルギリウス、オウィディウスといったラテン詩人や、ダンテ、ボッカチオといったイタリア詩人、およびギョーム・ド・ロリス、ジャン・ド・マン、ジャン・フロワサルといった中世フランス詩人たちの古典文学に通じ、当時のイギリスに初めて文学らしきものを確立したと言われている。この詩人の作品を精読しながら、イギリス文学および英語のものと姿をとらえ、学習・研究の幅を広げるのが、このゼミのねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

チョーサーの作品を中心に、14世紀の英語の発音の仕方や文法を学習し、当時の英語が基本的に読めるように授業を進めたい。ある段階において、各自に課題を課し、自発的なゼミ運営を計りたい。

履修上の留意点

ノート整理を怠らず、着実な研究姿勢を身につけてもらいたい。

成績評価の方法

年1回の筆記試験およびレポート課題が中心であるが、平常時の学習態度をもとにして総合的に判断する。

教科書

教科書は、A.C.Baugh 版をコピーにして使用する予定。

参考書等

参考書は、授業の進行に合わせて紹介する予定。

科目名	担当者名
3年次ゼミ	たかのまさお 高野正夫

講義のねらい

1930年代に最も活躍し、そして最も典型的な詩人であった W.H.Auden は、1939年1月にアメリカに渡った後、アメリカに住み続け、1946年伝統にとらわれない自由な社会にあこがれてアメリカに帰化した。激動の時代を常に放浪者として生きながら、故国イギリスを離れて自由の地アメリカで新たな詩作の生活を歩み出した1939年以降のオーデンの愛をテーマとした詩を中心に読んでいく予定です。

さらに、このオーデン以外にも、イングリッシュ・ラインと呼ばれる、イギリスの伝統にしたがって詩を書いている現代のイギリス詩人のなかでも、最も知られた、最も人気のある詩人、フィリップ・ラーキンについても読んでいきます。

講義の内容・
授業スケジュール

毎時間、1、2名に発表してもらいながら授業を進めていきます。

履修上の留意点

積極的に提起された問題をそれぞれの視点から捉えるようにして下さい。

成績評価の方法

レポートや、出席状況を見ながら総合的に評価する。

教科書

W.H.Auden, Collected Shorter Poems 1927~1957 (Faber) を使用します。

科目名	担当者名
3年次ゼミ	サンダース, L. P.

講義のねらい

このセミナーは、カルチャー・スタディのアプローチをもとに、1980年代から現在までのコンテンポラリー文学を学ぶ。

そして次の3つの点に注目する——technology, media and literature.

今年度は、“サイバー・スペース”のクリエイターであるウイリアム・ギブソンの代表作『ニューロマンサー (1984)』などを学習する。

成績評価の方法

後期にレポート提出とする。

その他

ビデオを使用する。英語で授業を行う。

科目名	担当者名
3年次ゼミ	あずま 東 ゆういちろう 雄一郎

講義のねらい

19世紀のアメリカの女性詩人エミリー・ディキンソンの作品並びに手紙を精読・味読します。また、彼女に関連した評論を読みます。ゼミ内発表は英語で行い、その発表内容についてディスカッションを行います。後期からは質疑応答も英語で行いますので、発表者以外の者も、自分の意見や主張を英語でまとめ、ゼミに参加して下さい。研究発表者は、英語のハンドアウトを用意し、他のゼミ生に配布して下さい。

履修上の留意点

欠席をせずに、予習を必ず行うこと。

成績評価の方法

研究発表（プレゼンテーション）、ディスカッションへの参加・貢献度などの平常点と小レポート（数回）、年末の総合テスト（1回）の結果を考慮し、評価を下す。

教科書

テキストは
新倉俊一編注『エミリー・ディキンソン詩抄』（研究社）
亀井俊介編『ディキンソン詩集』（岩波文庫）
を使用します。

参考書等

開講時に指示します。

科目名	担当者名
3年次ゼミ	さ 藤 ち 春 あ 佐 藤 千 春

講義のねらい

アメリカ文学史上、1830年頃から40年の中頃にかけて、(Transcendentalism) という文芸思潮が頂点に達していた。これは宇宙の本質、神と人間の内部とは究極的に同質のものだとし、人間の精神、自我そのものが神であると主張した。当然そこには、個人こそあらゆるものの根源であるという徹底した個人主義思想が生まれてきた。そして超絶主義はこの神と自我のつながりを認識する媒体能力として直観を重んじた。理性というワクをとりはずし、いっさいの経験、悟性に先立つ直観能力、想像力に信頼をよせ、無限者神との合一を求めた。そこには明るい未来像、世界像が描かれていた。しかしこれに疑問を持ち、その未来像を否定的にさえ眺めていた作家もいた。ナサニエル・ホーソーン (Nathaniel Hawthorne, 1804-64) である。ここでは彼の作品を精読し、さらにはほかの作家との比較も行いながら、その人間観、世界観などを探っていくことにする。あわせて、この時代、アメリカ・ルネッサンスという時代も展望してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

ホーソーン作品を精読し、その間、これらの作品と共通、あるいは対照的な他の作家の作品なども紹介して行く。本年度扱う作品は、"Wakefield" "Ethan Brand" "The Birthmark" "Rappaccini's Daughter" etc. を予定しているが、読む順序は必ずしも上記の通りとは限らず、また時間によってすべての作品に当れるかも決まてはいない。

履修上の留意点

あらかじめ発表部分をあておくので十分な予習をもって授業に臨んでほしい。作品の訳読、内容の分析、ならびに難解な部分の解説や説明を行ったり、説明を求めたりする形式で進めて行く。遅刻・欠席は厳に慎むこと。人数によって教場変更もあるので4月の開講時に注意していただきたい。

成績評価の方法

分担して発表してもらい姿勢と内容、作品の内容と分析に関するテスト、あるいはレポートを課題として出す予定。出席が重視されるのは当然と考えてほしい。

教科書

プリントを使用する。4月の開講時に各自に手渡すので注意されたい。

参考書等

参考書、翻訳書など多数にのぼるので授業内において、その都度紹介して行く。

科目名	担当者名
3年次ゼミ	佐藤 眞二

講義のねらい	Accents of English (地域や社会階級、年齢、性別等による発音の違い) を、音声資料を用いて研究する。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) International Phonetic Alphabet、地域による相違、社会階級による相違、性別、年齢による相違。研究予定地域：イングランド南部 (ロンドン等)、イングランド北部 (リヴァプール等)、スコットランド、アイルランド、ウェールズ、オーストラリア、カナダ等。使用予定資料：インタビュー、ニュース、テレビ番組、映画、音楽等。学生の研究発表を中心とする。
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 履修には、英語音声学全般に関する基礎知識が必要である。 音声資料の分析等のために、プラクティカルな英語力も要求される。 参考書や資料は、英語のもののみ使用予定。 後期には、学生各自が、自ら選択したテーマで夏期に研究した結果の発表を行う。 口頭発表は、英語で行うことも視野に入れている。(希望者のみ) 後期の発表のためには、前期の授業に毎回出席し、テキストの要約発表や ear-training などの基礎学習が不可欠となる。毎回予習の上出席すること。
成績評価の方法	授業内の発表とレポートによって評価する。
教科書	教場にて指示する。
その他	夏期に、音声学をテーマにした合宿を行う予定。

科目名	担当者名
3年次ゼミ	富士川 義之

英
米
文

講義のねらい	ラファエル前派の文学と絵画の関連性についてさまざまな角度から考察してみたい。ブラウニングの詩についてもふれる予定。
講義の内容・授業スケジュール	適宜課題を与えて発表してもらおうつもり。レポートなど論文の書き方についても最低限必要な知識についてもふれる。
履修上の留意点	辞書をよく引いて授業に出てほしい。毎回出席をとる。
成績評価の方法	試験と発表態度と出席回数を総合的に判断して評価する。
教科書	『対訳ブラウニング詩集』(岩波文庫) とプリント
参考書等	適宜指定する。

科目名**担当者名**

アメリカ文学史

佐藤 千春

講義のねらい

一般にアメリカの歴史は17Cから始まると言えるが、この地への植民がどのような夢を抱いてなされたものかという序論から論じ、ある意味ではその夢が各作家の様々な作品の中に具現されていると考えて行くのがこの講義のねらいである。一口で言えば、アメリカの夢なるものが、どのような作家の、どのような作品の中に見られるか、またはその夢の挫折の表われは何か、等を探って行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカへの移民の動機、すでにその中にアメリカの夢の原型はあったとするのが出発点である。この植民地時代の思想にふれ、次に18C 合理主義の時代、これはアメリカ独立革命の時代であるが、これを経てアメリカ・ルネッサンスと呼ばれる文学史上の時期に入る。講義はできるだけ作家、作品の羅列を避け、作家の主要作品に込められた中心思想、テーマなどに焦点をしばり、分析と解説を行ってみる。もちろん時代の動向や文芸思潮をからませ講義を進めて行く。

履修上の留意点

講義は必ずしもテキスト通りに進むとは限らないし、内容も異なることもある。したがって講義内容を適宜ノートにとり、内容をまとめておくこと。

成績評価の方法

期末に筆記試験を行うが、ノート、参考書等、持ち込みは許可していない。筆記試験に関しては、毎時間必要と思われる箇所を説明するので注意しておくこと。年度の終り近くになって特別に試験にあたっての注意をするわけではない。

教科書

西田実『アメリカ文学史』（成美堂）2,205円

参考書等

講義を進めて行く間、適宜紹介して行く。

英米文

科目名**担当者名**

イギリス文学史Ⅰ

かわさき まさとし
河崎 征俊**講義のねらい**

18世紀までのイギリス文学の流れを概観し、時代思潮および主要作家・作品等に触れながらイギリス文学の特質について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義は次のような順序で行う。
- (1) アングロ・サクソン文学以前のイギリス
 - (2) アングロ・サクソン文学の内容と特質
 - (3) 中世後期の文学の内容と特質
 - (4) チョーサー文学
 - (5) ルネッサンス前期の文学の内容と特質
 - (6) ルネッサンス後期の文学の内容と特質
 - (7) シェイクスピア文学
 - (8) 17世紀前半の文学の内容と特質
 - (9) ジョン・ダン文学
 - (10) 清教徒革命期の文学の内容と特質
 - (11) ジョン・ミルトン文学
 - (12) 17世紀後半の文学の内容と特質
 - (13) 新古典主義文学
 - (14) 18世紀前半の文学の内容と特質
 - (15) アレキサンダー・ポープ文学
 - (19) 市民社会と小説の隆盛
 - (20) 18世紀後半の文学の内容と特質
 - (21) ロマン主義文学への曙光

履修上の留意点

最近遅刻が増えているので、遅刻しないよう努めること。出席を取る予定であるが、ただ授業に出席するだけではなく、授業内容をしっかりとノートにとり、テキストや他の参考書を正確に読んでいただきたい。

成績評価の方法

レポート（夏期）、1月の定期試験、および出席状況等を中心に総合的に評価する。

教科書

相島倫嘉『イギリス文学の流れ』（南雲堂）3,689円

参考書等

授業の進行に合わせてながら随時教場にて指示する予定。

その他

参考資料を時々配布する予定。

科目名

担当者名

イギリス文学史Ⅱ

富士川 義之

講義のねらい

19世紀から20世紀にいたるイギリス文学の流れを、主として小説と詩の代表作に即して説明する。
とくに19世紀と20世紀の代表的な小説に関しては、随時幾つかの作品の映画をビデオで鑑賞する予定。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は次のような順序で行う予定。

- (1) ロマン主義とは何か
- (2) ロマン主義の詩——ワーズワスとコールリッジ
- (3) ロマン主義の詩——キーツとシェリー
- (4) ゴシック小説の内容と特質
- (5) ジェイン・オースティンの小説
- (6) プロンテ姉妹の小説
- (7) チャールズ・ディケンズの世界
- (8) ジョージ・エリオットからトマス・ハーダイへ
- (9) ラスキン、ペイター、ワイルドの文学
- (10) モダニズムとは何か
- (11) モダニズムの詩——パウンドとエリオット
- (12) モダニズムの小説——ジェイムズ・ジョイス
- (13) モダニズムの小説——D.H. ロレンス
- (14) 1930年代の文学と思想
- (15) 1940年代の文学と思想
- (16) 1950年代の文学と思想
- (17) 1950年代以後の文学と思想

履修上の留意点

出席は必ずとるので留意すること。授業内容をしっかりノートにとり、テキストや他の参考書や教材コピーなどをきちんと勉強してほしい。

成績評価の方法

試験（夏期）、レポート（冬期）、および出席状況等を中心に総合的に評価する。

教科書

川口喬一『イギリス小説入門』（研究社）

参考書等

上田和夫編『イギリス文学辞典』（研究社）

その他

教材コピーを随時配布する予定。

英
米
文

科目名	担当者名
イギリス文学特講Ⅰ	いし ぼら こう 石 原 孝 哉

講義のねらい

イギリスルネッサンス期の文学について、講義します。ヨーロッパ文学と古典、イギリスのルネッサンス、シェイクスピアの劇場、シェイクスピアの生涯、シェイクスピアの作品論、シェイクスピアの歴史劇、歴史劇と歴史などが中心的な課題です。このほかに Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, Ben Jonson, John Bunyan, John Milton など取り上げます。

講義の内容・授業スケジュール

最初の授業で説明します。

履修上の留意点

この時代に関心のある意欲的な学生の受講を望みます。

成績評価の方法

成績評価は、レポートと筆記試験によります。

教科書

『シェイクスピア喜劇の世界』（三修社）2,800円、配布プリント

参考書等

『同一性の寓話』（法政大学出版局）

その他

ビデオ、スライドなど補助教材を利用します。

科目名	担当者名
イギリス文学特講Ⅱ	たかの まさお 高 野 正 夫

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、Dryden や Pope などに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomson のように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward Young や Robert Blair そして Thomas Gray などのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年に William Wordsworth と Samuel Taylor Coleridge によって出版された *Lyrical Ballads* という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

科目名**担当者名**

イギリス文学特講Ⅲ

おかざきとしちろう
岡崎 寿一郎**講義のねらい**

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernityという言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T.S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD.H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名**担当者名**

イギリス文学特講Ⅳ

かわさきあきこ
川崎 明子**講義のねらい**

ヴィクトリア朝の小説の特徴と当時の文化と社会について知識を得ることを目的とします。小説については、ディケンズ、ブロンテ姉妹、エリオット、ギャスケル、サッカレー等の代表的な作品を取り上げます。並行して、これらの作品が出版された当時の歴史的背景について解説します。

講義の内容・授業スケジュール

第一回目の授業で示します。

履修上の留意点

上に挙げた作家一人につき最低一つの作品を読んだ上で臨んでください。

成績評価の方法

出席、小レポート、レポート、試験に加え、授業中の発言およびディスカッション等の内容により総合的に評価します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

随時指示します。

英
米
文

科目名

担当者名

イギリス文学特講V

ふじかわ よしゆき
富士川 義之

講義のねらい

英国文化史についての講義。イングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランドの特質と歴史、王室と宗教、カントリー・ハウスと風景式庭園、鉄道と旅、ジャーナリズムの誕生、子供の文化史などの話題について述べる予定。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 4つの文化圏
- 2 王室と宗教
- 3 貴族の城館とカントリー・ハウス
- 4 シェイクスピアと劇場
- 5 産業革命の影響
- 6 ジャーナリズムと出版の進展
- 7 子供の文化史
- 8 騎士道からジェントルマン教育へ
- 9 女性と文学
- 10 大英帝国の光と影
- 11 パラダイム・シフト

履修上の留意点

授業に積極的に取り組んでもらいたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教科書

『概説イギリス文化史』（ミネルヴァ書房）

参考書等

適宜指定する。

その他

教材コピーを随時配布する予定。

講義のねらい

外国文学を研究するにあたっては以下の4つの前提があります。一つ目の前提は英米文学を学ぶ受講生にとっては生得でない英語に依存しなければならない宿命的なハンディキャップがあること、二つ目の前提は近代においては日本・日本人・日本語・日本文化（文学）はあたかも一体であると考えることには錯覚があること、三つ目の前提は世界に共通する美的で倫理的な文学の一致はありえないこと、そして最後の前提は文学テキストの読みについての論議のためにはテキストの読み・解釈・批評についてのさまざまな方法論を整理することです。

文学はそもそも主観性が強いゆえに、その分だけ読み込みと思考の精確さが求められます。批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあつて、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、読み手がテキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。

本講義は、文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、文学テキストの演習を行い、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 自然言語と虚構言語の相違について
- 2) 英米文学の制度の成立と文学研究の意義について
- 3) 文学と批評の基本的用語について
- 4) 文学テキストの基本的要素、作品テキストの機能、作品テキストの力について
- 5) さまざまな批評方法について
 - ・ 伝統批評、伝記批評、ロシア・フォルマリズム、ニュー・クリティシズム、テーマ批評、受容理論、精神分析批評、構造主義、記号論、ポスト構造主義、ニュー・ヒストリシズム、ポストコロニアル批評

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

出席、翻訳課題、リーディング課題、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。

教科書

- 1) *R. Scholes "Elements of fiction"* (英宝社)
- 2) プリント使用：多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること

参考書等

随時指示します。

科目名

担当者名

演劇特講(イギリス・アメリカ)

おち あい かず あき
落 合 和 昭

講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。

アメリカの劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀の 아일랜드 やイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主なる劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Eugene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Arthur Miller (1915-2005)、Shirley Jackson (1919-65)、Edward Albee (1928-), Sam Shepard (1943-), David Mamet (1947-), 아일랜드 では、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley (1894-1984)、Peter Shaffer (1926-), Harold Pinter (1930-), 等である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚(ワープロの場合は、2000字から4000字)とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『楽しく読める英米演劇』(ミネルヴァ書房)
- 2) プリント

英
米
文

科目名

担当者名

演劇演習(イギリス・アメリカ)

おち み あき ひさ
逢 見 明 久

講義のねらい

主に映画化された現代英米演劇の秀作を扱う。原作から立ち上がる演劇空間を模索して、映像作家の作品解釈を探る。

講義の内容・授業スケジュール

前期に米劇作家デイヴィッド・マメット作『暗号』と英劇作家ハロルド・ピンター作『背信』を、後期に米劇作家ウィリアム・インジ作『ピクニック』他を扱う予定。

履修上の留意点

原作の疑問点や、原作を踏まえた映像分析を、毎回全員で発表し、討論することになるので、テキストの読み込みが前提となる。また、扱う事柄の性質上、遅刻や欠席は禁物。

成績評価の方法

毎回の発言内容と姿勢、及び作品ごとのレポート(各2000字程度)で総合的に評価。

教科書

『暗号』プリント配布
『背信』プリント配布
Inge, William. Four Plays (Grove) ISBN : 080213209X

参考書等

荒井良雄著『英米文学映画化作品論』(新樹社、1996年) ISBN : 4787584588
ベラ・バラージュ著 佐々木基一訳『映画の理論』(学藝書林、1992年)
ISBN : 4905640857

科目名	担当者名
アメリカ文学特講Ⅰ	あずま 雄一郎 東 雄一郎

講義のねらい

アメリカ文学・文化を貫く根本的な問いは、「アメリカ人とは一体何者なのか」、「アメリカとは一体何か（どんな国なのか）」であり、こうした自意識の強さは新奇さや独自性の強調を生みだす。アメリカ文学の（アメリカ芸術一般の）根源的な特徴（根源的衝動に近いもの）は、アメリカ的なものの必要以上の定義と強調である。国民的な叙事詩の欠落、これは逆に、ホイットマンの『草の葉』に始まる叙事詩的な文学への強い憧れを生み出してきた。つまり、ハート・クレイン、ウィリアムズ、ビートのギンズバーグらのアメリカと自分（詩人）の自我を高らかに歌う詩人たち（預言者的詩人）を生み出してきたのである。この講義では、アメリカの詩、映画、音楽などを取り上げ、アメリカの自意識について多様な考察を試みる。アメリカの詩は、口誦的な詩のジャンルから自然発生的に出発したものではなく、本来が実用的な文学なのである。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、数人の詩人とその作品を取り上げ、精読します。時には作品に関する小レポートを授業内に書いてもらいます。

履修上の留意点

毎回、出欠をとりますので、遅刻をしないように（遅刻者は出席カードに記入できません）。

成績評価の方法

年間2回のレポート（2000字程度）、小レポート、出席点などで総合的に評価します。

教科書

新倉俊一著『アメリカ詩入門』（研究社）2,000円程度

参考書等

開講時に指示します。

科目名	担当者名
アメリカ文学特講Ⅱ	サンダース, L. P.

英
米
文

講義のねらい

このコースはアメリカンゴシックフィクションを学習する。アーバン・テクノ・サイバーゴシックの3つのエリアにねらいを定める。まずは最近出版されたジョイス・キャロル・オーツの作品から取り組んでいく。

成績評価の方法

前期にテストを行い、後期はレポート提出とする。

教科書

教材は教室にて配布する。

その他

ビデオを使用する。英語で授業を行う。

科目名	担当者名
アメリカ文学特講Ⅲ	あし だ かず ひと 足 田 和 人

講義のねらい	ロスト・ジェネレーションといわれる作家の特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。
講義の内容・授業スケジュール	それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら講義を行う。
履修上の留意点	あらかじめ指定されたテキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。
成績評価の方法	毎時間の小レポート、及び前後期2回の期末レポートで評価する。
教科書	プリントを配布する。
参考書等	必要に応じて配布・紹介する。

科目名	担当者名
アメリカ文学特講Ⅳ	おう み あき ひさ 逢 見 明 久

講義のねらい	現代アメリカ小説を映画で読む。原作を踏まえたうえで、映像作家の作品解釈を探り、個の在り方がどのように扱われているかを考える。
講義の内容・授業スケジュール	ヘミングウェイ作『老人と海』、マイケル・カニンガム作『めぐりあう時間たち』、E・アニー・プルー作『 SHIPPING・ニュース』、ダニエル・キイス作『アルジャーノンに花束を』他を扱う予定。
履修上の留意点	扱う事柄の性質上、遅刻や欠席は禁物。原作と映画版について気づいたことをまとめた小レポートを毎回提出することになる。
成績評価の方法	毎回の小レポートと、前期と後期の期末課題レポート（各2000字程度）で評価。
教科書	随時紹介する。
参考書等	荒井良雄著『英米文学映画化作品論』（新樹社1996年） ISBN：4787584588 ベラ・バラージュ著 佐々木基一訳『映画の理論』（学藝書林1992年） ISBN：4905640857

科目名	担当者名
アメリカ文学特講Ⅴ	にしはらかつまさ 西原克政

講義のねらい	ウォルト・ホイットマンによって発展するアメリカ自由詩の展開を、主として20世紀モダニズムの詩人たちに辿りながら、各詩人の特質を考えてゆく。
講義の内容・授業スケジュール	前期は19世紀のホイットマンのアメリカ的達成の遺産として、20世紀のエズラ・パウンドとハート・クレインへの影響を考察する。後期はポーからフランス象徴派を経由して、アメリカに帰還する、アメリカ的象徴派と呼んでいいウォーレス・ステイヴンズの詩を考える。
履修上の留意点	アメリカ現代詩に多少興味があること。
成績評価の方法	出席重視。授業回数の3分の2以上の出席が必要。レポートによる成績評価。
教科書	Walter Sutton <i>American Free Verse: The Modern Revolution in Poetry</i> (New Directions, 1973年) 残念ながら絶版のため、プリントを配布。
参考書等	最初の授業で、参考書等適宜指示する。
その他	授業は講義形式で進めるつもりだが、まず詩を読むことに慣れてもらいながら、その詩の料理法をいろいろと考えてもらう。

科目名	担当者名
イギリス文学演習Ⅰ	サンダース, L. P.

講義のねらい	This course is designed to give students an introduction to Seventeenth Century English Literature adopting a cultural studies approach. The focus will be John Milton's <i>Paradise Lost</i> (1667).
成績評価の方法	前期にテストを行い、後期はレポート提出とする。
教科書	プリントを配布する。
その他	授業は英語で行う。

英
米
文

科目名	担当者名
イギリス文学演習Ⅱ	かわさきあきこ 川崎明子

講義のねらい	ギヤスケル、サッカレー、ディケンズの短編を読みながら、英文読解力の向上とテキスト分析の基礎技術の習得を目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	第一回目の授業で示します。
履修上の留意点	毎回辞書をよく引き十分な予習をした上で臨んでください。
成績評価の方法	出席、授業中の参加態度、発表や提出物の内容と試験やレポートを総合して評価します。
教科書	<i>Victorian Short Stories</i> (研究社)

科目名	担当者名
イギリス文学演習Ⅲ	たかのまさお 高野正夫

講義のねらい	イギリスの1950年代に登場した'Angry Young Men'とほぼ同じ時期に現われた一群の詩人たちについて読んでいく予定です。'The Movement'と呼ばれた彼らは、イギリス人の日常生活を分かりやすい率直な言葉で描写していたが、彼らが自らの詩という表現方法によってどのように20世紀後半のイギリス社会とのつながりを認識していったのかなどについて考察していきます。
講義の内容・授業スケジュール	'The Movement'に属する詩人たちを何人かとりあげ、前、後期でできるだけ多くの作品を読んでいきます。
履修上の留意点	演習ですので予習を欠かさずに受講して下さい。
成績評価の方法	前期のレポートや後期の試験、出席状況、平常点などによって成績評価をする。
教科書	教場にて指示する。
参考書等	Philip Larkin "Collected Poems" (faber and faber, 1988)
その他	それぞれの詩人の作品を精読しながら、彼らの詩的特質や伝記的な側面について考えていきます。

科目名	担当者名
イギリス文学演習Ⅳ	ますだけいこ 増田恵子

講義のねらい	19世紀イギリスの散文作品を読みながら、当時の文体や表現方法に親しみ、時代の精神性や風潮を体感する。さらに精読を通して、学生が自主的に作品の分析的研究をおこない、その特徴などを議論し合い、独自の「読み」に到達することをねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	単語をきちんと調べたうえで、音読と独自の訳をしてもらう。また作家や作品、時代背景についても予習し、自分の意見を発表できるようにしておくことが望ましい。
履修上の留意点	授業は徹底した「演習形式」をとるので、発表者以外の者も綿密なテキストの予習と積極的な参加姿勢が必要である。
成績評価の方法	出席回数、発表や提出物、前期後期レポートを総合的に判断して評価する。
教科書	Elizabeth Gaskell, <i>The Life of Charlotte Bronte</i> (Penguin Classics)

科目名	担当者名
イギリス文学演習V	富士川 義之 <small>ふじかわ よしゆき</small>

講義のねらい	アイルランドの20世紀作家 James Joyce の短篇小说を読みながら文章を正確に読みとる訓練をしたい。いずれも粒よりの短篇ばかりで、内容面でも読みごたえがあり、おそらく語学的にも相当骨の折れることがあるかもしれない。だが、たとえ少々歯ごたえがあっても投げ出さないうで、辞書と知性と想像力を十分に活用して積極的に読解に挑んでほしい。
講義の内容・授業スケジュール	精読が中心になるが、作家と作品などについて折にふれて説明する。
履修上の留意点	辞書をよく引いて授業に出てほしい。毎回出席をとる。
成績評価の方法	レポートと試験と出席回数を総合的に判断して評価する。
教科書	James Joyce, "Dubliners" (南雲堂)

科目名	担当者名
アメリカ文学演習I	川崎 浩太郎 <small>かわさき こうたろう</small>

講義のねらい	アメリカ詩の精読を通して、特定の作家、作品について論じる能力の向上を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	アメリカ詩を毎時間2～3編ずつ読んでいきます。作品は、植民地時代の詩から、ポストモダンの詩まで、時代を追って扱って行く予定です。 前期は、時代背景や作家の略歴等についてこちらで解説した上で、詩の内容に関して質問します。その上で短い鑑賞文を書いてもらいますので、自分なりの回答を見出してください。後期は簡単なテーマを与えるので、それについて調べてきたことを発表してもらう予定です。
履修上の留意点	演習科目ですので、「教えてもらう」という受動的な姿勢ではなく、「自分で考える」という能動的かつ積極的な姿勢で授業に臨んでください。活発な発言を期待しています。
成績評価の方法	毎時間提出する小鑑賞文と、レポートあるいは授業中の発表をもとに評価する。
教科書	プリントを配布
参考書等	『アメリカ詩入門』新倉俊一著（研究社出版） 『アメリカ名詩選』（岩波文庫） 『アメリカの詩を読む』川本皓嗣著（岩波書店）

英
米
文

科目名	担当者名
アメリカ文学演習Ⅱ	サンダース, L. P.

講義のねらい	1980年代のコンテンポラリー文学と映画や文化、言語との関係を最近のポストモダン作家の作品を通して学ぶ。本年度は下記の作品も学習する。William Gibson. また、最近のアメリカンフィクションとニューハリウッドをジャンル別に学ぶ。
成績評価の方法	前期にテストを行い、後期はレポート提出とする。
教科書	プリントを配布する。
参考書等	ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名
アメリカ文学演習Ⅲ	川崎笑佳

講義のねらい	J. D. Salinger の作品を講読し、それぞれの作品を通して彼の思想や作風、時代精神などを考察する。毎回数名の学生に作品を音読、和訳してもらう。その際、重要と思われる箇所や疑問点があればその都度それらについて全員で考えていく。また、同時進行で毎回学生にプレゼンテーションを行ってもらう。
講義の内容・授業スケジュール	予習の段階で英文の意味などを辞書で確認するのは勿論、内容を吟味して授業に臨むこと。
履修上の留意点	積極的な授業態度が必須である。出席と授業中の態度（発表を含む）、小レポートをもとに総合的に評価する。
成績評価の方法	3分の2以上の出席および毎回の提出物、発表内容、授業態度をもとに総合的に評価する。
参考書等	必要に応じて紹介する。

英
米
文

科目名	担当者名
アメリカ文学演習Ⅳ	古富猛

講義のねらい	アメリカ社会の特殊性＝文学の独自性を基本とし、主に資本主義導入による産業革命によって病んでゆくアメリカ社会を、テーマとしている19Cのソローと20Cのフォークナーを主体として、その作品を扱いたい。
講義の内容・授業スケジュール	講座の性質上、学生諸君に予習発表してもらい、作品上も重要である、アメリカ・インディアンや黒人奴隷問題にも触れ、さらにアメリカ文化の主流であるクレオール主義についてや、それから派生したブルースからジャズへの進展、また文学への影響性は何なのかを述べてみたい。
履修上の留意点	最近の学生諸君の語学力低下を教壇から、痛感しているので、もう一度けんきよになって、高校からの文法事項を復習してもらいたい。
成績評価の方法	成績はあくまでもテキストによる予習発表を平常点とし、前後期のペーパー・テストによって判断する。
教科書	テキストは教場にて指示する。

科目名	担当者名
時事英語	サンダース, L. P.

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TV ニュース、雑誌、タブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。
media studies のメソッドで行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名
商業英語	すぎ 山 やす ひこ 杉 山 泰 彦

講義のねらい

総合商社の実務で実際に行っている居た貿易のステップを教え込み、それに沿った代表的な手紙の書き方の型を暗記させて、基本に従った文章が楽に書ける様にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期の初期に貿易の形態と商売の流れを教え、基本文体を10~15パターン覚えさせる。後期は具体的に自分で作文することを反復する。

履修上の留意点

学習姿勢即ち出席率をよくさせ、貿易実務に則した文型を反復して一人で海外出張先でも安全な文章が書ける様に育てたい。

成績評価の方法

学期毎の7月、12月の年2回の試験の成績と出席率を重視した受講態度も考慮する。

教科書

田中武雄『初めて学ぶビジネス英語』（成美堂）2,000円（税別）

参考書等

参考書は日商岩井株が使っていた社内教育用の参考書よりプリントを作り参考としたい。

その他

大手商社が法的にしっかり考えた文例をプリントして Time to Time 配布して参考とした
い。

英
米
文

科目名	担当者名
ラテン語	うえのかつひろ 上野勝広

講義のねらい	ラテン語の基礎文法を概説し、理解できるようにします。
講義の内容・ 授業スケジュール	下記のテキストを用いて基礎文法の要点を順次説明し、必要に応じてテキストにない文例も補充してゆきます。その後、各課末にあるラ文和訳の練習問題に取り組みます。 前期は序論から第12課まで、後期は第13課から第24課までを学習します。
履修上の留意点	練習問題については、毎回出席者に指名し和訳例を発表してもらいます。受身でなく、自ら学び取る姿勢をもって授業に臨みましょう。 1回でも欠席してしまうと追いつくのが容易ではありません。授業そのものに加え、自習の負担が大きい科目です。
成績評価の方法	年間2回（前期末・後期末）のテストの結果（60％）に平常点（40％）を合わせて評価します。
教科書	松本悦治『ラテン語入門』（駿河台出版社）1,500円
参考書等	辞書と共に初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名
ギリシャ語	ほせがわたけお 長谷川 岳 男

英
米
文

講義のねらい	本講義の対象となる古代ギリシア語はラテン語とともに現在の世界では使用されていない死語であるが、欧米をはじめとする全世界で学ばれている。なぜならば、まず第一に今日の欧米文化に多大な影響を与えた古代ギリシア文明を理解するために必要であり、第二に現在使用されている様々なヨーロッパの言語のルーツにあたり、文字こそ違おうが、語彙や文法の基本となっているからである。この点をふまえて本講義は古代ギリシア語の基礎を習得することを目的とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	上記の目的を達成するために、まず我々にはなじみの薄い古代ギリシア語に慣れることから始め、最終的には基本的な語形変化を理解し、辞書のある程度使用できるようになることをめざしたい。学習意欲を高めるために、随時ギリシア文化の諸相や後世への（特に近代以降の欧米文化）影響も紹介する予定である。
履修上の留意点	ヨーロッパの古典文学（例えばヘッセの『車輪の下』）でもおなじみのように、ギリシア語習得は多大な困難をとまなうと見なされている。本講義では受講生諸君に基本的なギリシア語の習得を達成してもらいたいのので、その困難に臆することなく立ち向かえる姿勢を望みたい。
成績評価の方法	どの程度ギリシア語を理解しているかを問うテストを何度かに分けて実施し、それ以外にも授業中に練習問題を答えてもらったり、課題を提出してもらい、その結果を勘案して成績評価する予定である。
教科書	田中利光著『新ギリシア語入門』（大修館書店）1994
参考書等	参考となる資料は随時、配布する。

科目名	担当者名
英米文化	ひろかわ 治 広川 治

講義のねらい

「映画・演劇に見る英米文化」を中心テーマとして講義を進める。今年度4月から12月の公開映画、上演の舞台のうち何本かをレポート対象作品に指定し、テーマ別に数作品を組み合わせて比較し、レポートにまとめる課題を数多く設定するので、受講者は可能な限り多くの作品を演劇・映画・ビデオ（DVD）などのジャンルから選び、レポートにまとめて随時提出することになる。

講義の内容・授業スケジュール

- (4月) レポートの書き方、対象作品についての説明
- (5月) 米アカデミー賞授賞式について～賞の制度・歴史と今年度のノミネート・受賞作品
- (6・7月) 英米の映画・演劇あるいは美術・音楽からテーマを設定し、講義予定
- (9・10月) イギリス現地で撮影してきたビデオ（街の表情、劇場、観光地、映画のロケ地などを収録）を見ながらイギリス文化の諸相について学ぶ。
- (11・12月) 様々なテーマ（歴史・言語・芸術・生活等）を映画・演劇等にさらに探っていく。

履修上の留意点

出席は取らないが、授業中に見たビデオなどの感想を書いて提出してもらうことがある。12月に成績の申請日を設けるので必ず出席すること。この申請がない者はレポート提出が無効になることがある。

成績評価の方法

提出したレポートの数で基本的に成績が決まる。点数の詳細は初回の授業で説明するが、最低でも演劇1公演、映画館の映画1作品、ビデオ（DVD）4作品程度は見てレポートをまとめることになる。（配布する試験用紙に書いて提出すること。）

教科書

プリント配布の予定。

参考書等

授業内に紹介する。

科目名	担当者名
外国文学	とよやま ひろお 遠山 博雄

講義のねらい

自分の眼で作品を読むことで、19世紀（特に後半）のパリを中心としたフランス社会の動きを背景に練り上げられる想像世界の一端に触れること。

講義の内容・授業スケジュール

19世紀フランスの、文学を中心とする諸芸術について、前期は社会の姿を映し出す写実的な小説を主に、後期は社会に背を向けて夢や幻想の世界に展開する詩や演劇、美術、音楽について、具体的な作品を取り上げてお話ししていきます。

履修上の留意点

指定された作品を自分で読むこと。

成績評価の方法

前後期2回のレポート。

教科書

テキストはプリントを用意します。

参考書等

参考書はそのつど指示します。

その他

ビデオやCDなどを用いて視聴覚表現に接する機会を随時導入します。

科目名

担当者名

英米思想史

あさお たかし
麻生 享志

講義のねらい

英米の思想家について、幅広く思想と生涯を紹介し、興味を持てるようになることを目標とします。さらに、ひろく英米文化に関心を深められればいいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

哲学史の議論を骨格にしますが、隣接諸学問から思想にかかわる著述家を広く選び、「哲学」だけに偏らないようにする方針です。例えばエマーソンやアダム・スミスやカーライルなどを考えています。また時代的には、中世から19世紀までを予定します。

履修上の留意点

最低限の常識的なルールを守ってもらい、あとは、興味に応じて講義を聞く事を「楽しんで」もらいたいと思っています。

成績評価の方法

成績は、出席による平常点（65%前後）、および後期のレポート（レポート試験）によって評価します。

教科書

久保・河谷編麻生ほか著『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

参考書は、講義中に指示した図書を、各自が自発的に選択して下さい。講義で必要なものについては、基本的に、コピーを使用します。

その他

英米の哲学史に、やや広く思想史的内容を加えた講義を行います。
初日はガイダンスとし、定時に開始し、五分間程度、資料を配布して質問を受け付けます。（その間は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要なので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。このガイダンス資料および質問受付は、初回授業終了時5分程度にも行います。

英米文

科目名

担当者名

現代美術

やの ようこ
矢野 陽子

講義のねらい

この授業では20世紀の美術を「現代美術」として取り上げます。20世紀初頭から次々と展開された大胆で革新的な試みは、従来の美術、すなわち外界の再現を目的とした絵画や人体を主たる題材とした彫刻とは大きく異なる作品を生みだしてきました。20世紀の主要な美術運動、芸術家とその作品を見て理解しながら、美術が技術革新やマスメディアの発達、大量消費型の生活といった同時代の様相とどのように関わっているのかも考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

現代美術を理解するにあたって、まず19世紀後半の美術の状況を簡潔に概観します。
前期は20世紀初頭の二大運動であるフォーヴィスムとキュビズムを中心に話を進めます。色彩の使い方を大きく変えたフォーヴィスムと形態を問題にしたキュビズムが、その後の美術運動に与えた多大な影響を追っていきます。
後期はダダとシュルレアリスムから抽象美術、ポップアート、さらに近年の動向を紹介します。

履修上の留意点

美術館や展覧会に行ったり、画集など見るなどして、現代美術に積極的に触れるように心がけてください。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験、出席率、授業態度を合わせて評価します。

教科書

講義時にプリントを配布します。

参考書等

美術出版社編『現代美術入門』（美術出版社）2,000円
そのほか授業中適宜紹介します。

その他

授業では毎回スライドを使用します。

講義のねらい

このクラスでは、コンピューターを使って、マルチメディアによって英語を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

前半における第一の課題は、インターネットから流れてくる最新の報道から、「放送英語」を学ぶことである。世界中の最新の報道（CNN, New York Times）をコンピューターでアクセスする。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく（例えば、ニュース・サイト Pathfinder (<http://pathfinder.com/>) にある Time 誌、アメリカの日刊紙 USA Today, New York Times, あるいはエンターテイメント・サイト (<http://www.imdb.com/>) にある映画のデータベース、そして CNN ニュースなど）。受講生は、欲しい情報をリアルタイムで直接手に入れ、それをサーバーの自分のフォルダに入れて、情報内容を要約する訓練をする。

後半の課題は、Word と電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。そして、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウを体得する。コンピューターによる自動翻訳を利用して、自動翻訳の問題点、なども考えていきたい。また、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピューターを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが第一条件である。

履修上の留意点

受講生は、インターネットの語学学習のホームページを使って、英会話、英文読解、英文作成、TOEFL、TOEIC の問題に挑むことができる。教室では、コンピューターを使った語学教材を紹介していくので、受講生は、それらを自主的に利用する。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に 20 程度のドキュメントを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

その他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝 9 時より夜 9 時まで開館）で補修すること。

科目名	担当者名
英作文演習	あずま 雄一郎 ゆういちろう 雄一郎

講義のねらい

「仕事の帰り私はにわか雨にあった」、ほとんどの日本の学生はこの日本語から、“On my way home from work, I was caught in a shower.”の英文を書きます。もちろん、これは正しい英文ですが、この他に「にわか雨にあった」は“it started pouring”や“the rain started coming down in buckets”とも表現できます。「私のカメラは故障している」、この日本語については“My camera is out of order”の英文にする学生が多くいます。しかし、“out of order”は機械や公共物について使用するイディオムで個人的なものには使用しませんから、通常は“My camera doesn't work”や“My camera is broken”の英語になります。この演習では、以上のような点を再検討し、日本人が英語を書く際におちいり易い間違いを正し、自然な英語表現ができるようなトレーニング（ドリル）を積み重ねてゆきます。また、役に立つイディオムを多く暗記し、それらを自由に使いこなせるようにします。あわせて、ヒアリング（リスニング）やディクテーションの力も向上させましょう。

履修上の留意点

予習を必ずし、欠席をしないように。

成績評価の方法

授業内に毎回小テストを行います。また前期・後期のまとめのテストを各1回行います。時に、小レポートを提出してもらいます。以上の結果を総合的に判断し、成績評価を下します。年間、4回以上欠席した者は採点外対象者とします。

教科書

テキストはプリントを配布します。

参考書等

開講時に指示します。

科目名	担当者名
英作文演習	かわ さき あき こ 川 崎 明 子

講義のねらい

正しい英文を書くための基礎知識を習得し、文章、パラグラフの構成法を学び、最終的にはパラグラフを書く能力を養うことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

第一回目の授業で示します。

履修上の留意点

英英辞典、コロケーション辞典、活用辞典など数種類の辞書を必ず頻繁に使用すること。また毎回必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席、小テスト、テスト、提出物の内容により総合的に評価します。

教科書

Cushman,『Write It Right. 解説書』（開文社）
Cushman,『Write It Right. 練習問題Ⅰ』（開文社）

参考書等

適宜指示します。

講義のねらい

全ての言語は構造上、音声、意味、文法から成り立っています。英語もこれらの三つの要素が複雑にからみ合っており、ひとつの要素だけで成立はしていません。この授業では音声に焦点を当てて、英語の音声の特徴について分析をしていきます。相手に意思が伝わるように発音できることが先決です。英文のテキストや資料に応じて Reading や Speaking も取り入れま

講義の内容・授業スケジュール

- 《前期予定》
- I 音声によるコミュニケーションについて
音声というのは
言葉が通じるということと通じないということ
 - II 英語の歴史概観
英語の先祖はどうなっているか
 - III 英語の標準語は
英国英語と米国英語
地域方言と階級方言
 - IV 音声器官解説
音声はどのようにして作られるのか
音声はどのようにして聞き取られるのか
・前期分試験
- 《後期予定》
- V 音声をどのようにして表記するか
 - VI 英語の単音について
英語の母音と子音
英語と日本語の比較
 - VII 英語の母音や子音が連続したらどんな音になるのか
英語の音節構造について
英語のイントネーションについて
・後期分試験

履修上の留意点

- ・1年間絶対に休まないという執着心を授業に対して持ち続けること
- ・授業を通して自分の好きなことを必ず見つけ出そうとする好奇心を持つこと
- ・どうしても授業を休みたい時や面白くないと感じた時は、その旨申し出ること

成績評価の方法

- ・年2回の試験(25×2)とレポート(10)、リアクションペーパー(10)及び出席(30)を参考にして総合評価をする

教科書

- ・最初の授業で紹介する。外国発行の原書(英語)を使用することもありうる

参考書等

- ・授業展開中に適宜紹介する

その他

- ・基本的には講義であるが、履修者の数により、ゼミ形式に移行することもありうる
- ・実践的な側面と授業に参加する意欲を重視する

科目名

担当者名

英語学演習 I

ピアス, D. M.

講義のねらい

The members of this class are very special students. Since you are majoring in English - American Literature, I expect that you want to use English your whole lives as English teachers, Professors, interpreters, translators, travel agents, and international businessmen. The course is therefore career - oriented for students who seek careers as specialists in English. Over the years my overwhelming impression has been that you have not learned how to speak English fluently; it is a deeply worrisome pitfall that threatens to ruin the benefit of all four years of your other study of English. Without the ability to speak English, you cannot be successful as an English specialist. Therefore, the course takes drastic efforts to teach you to learn to speak English effectively. You will be speaking English for the full ninety minutes of every period. There is no passive participation in this class; at every moment you will be producing and improving yourself. Choose this class only if you sincerely want to improve your ability to speak English; great effort is required, and the instructor will not tolerate laziness. To the purpose of scoring well in TOEFL, TOEIC, EIKEN, etc., there will also be intensive practice in lecture comprehension and composition. The course furthermore prepares you to extend your English proficiency with intensive English study programs overseas and foreign exchange programs.

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received. Apart from the two final - semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will be able to get better employment if you improve your English.

教科書

We will probably use Sociological Notes, Adam Pelagius, Themis Research Group, as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English - Japanese dictionary or a battery - powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

英
米
文

科目名	担当者名
英語学演習Ⅱ	久保内 端 郎 <small>くぼうち ただ お</small>

講義のねらい

英語学とりわけ英語史に関心をもつ諸君の歴史的・通時的研究への関心をさらに深めていただくための演習をと考えています。ただ、歴史ばかりに話が終わるのではなく、共時的な問題にも踏み込んでみたいと考えています。テキストとして英語史の古典となっている下記のテキストを読みます。英語の「原点」を知ることになります。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期)
- (1-8) 第6章「文法の諸問題」
- (9-12) 「スカンジナビア語の影響」
- (13) 前期のまとめ
- (14-25) 「フランス語の影響」
- (26) まとめ

履修上の留意点

授業への積極的な参加と予習を強く要望します。

成績評価の方法

成績評価は平常点とレポートの成績による。

教科書

O. イェスベルセン著『英語の成長と構造』(英文) (南雲堂)

参考書等

参考書は講義の中で随時指示します。

科目名	担当者名
英語学演習Ⅲ	町田 尚 子 <small>まち た なお こ</small>

講義のねらい

世界共通語としての英語と多様な英語の双方を視野に入れ、中学校高校の英語教師を目指す学生が知っておくべき英語と英語の歴史に関する基本的な知識の修得と考察が中心です。語彙数の多さ、多義表現の多さ、語形変化・活用で文法関係を示す機能がほとんど消失したのはなぜだろうか、等を特に古英語時代からの他言語との言語接触の観点から考えてみます。母音の発音と文字の基本的な一対一対応が歴史的に崩れていった過程、また、特に大母音推移を考察することで、現代英語の基本的な母音(長母音・2重母音)と表記文字との対応関係の規則性をみます。

講義の内容・授業スケジュール

前期:(1) R. L. Trask, *Language: The Basics* 第2版で英語学の基本知識の復習。(2) David Crystal, *The English Language* およびプリント資料で世界共通語としての英語の概観と、さらに多様性の現状—地理的な広範さ・地域差、母語・第一言語、第二言語としての英語使用者の多様性—とその歴史的由来を主として英語の外史から説明。
後期:(3) 前期のテキストからの抜粋およびプリント教材・資料を使い、英語の変化を音韻、形態、文法・統語、語彙・意味から概観し、講義のねらいであげた、他のヨーロッパの言語と英語を異ならせている、英語の特徴に焦点を当てて考察します。

履修上の留意点

欠席する場合はメール等で連絡し、プリント教材、課題の指示を受けること。連絡変更事項はKOMSYの講義内容詳細修正に記載します。授業前に必ず確認して下さい。

成績評価の方法

授業中の課題発表評価点、年3回程程度の作業課題(レポート)成績、定期試験期間中に提出するエッセイ・レポートを総合して成績評価点を出します。

教科書

プリント使用予定。

参考書等

David Crystal, *The English Language* 第2版(2002年) Penguin Books
ISBN0-14-100396-0
R. L. Trask, *Language: The Basics* 第2版(1999年、2001年リプリント) Routledge
ISBN0-415-20089-X
その他の参考書は教室で指示します。

科目名

担当者名

英語学演習Ⅳ

くぼうち ただお
久保内 端 郎

講義のねらい

英語を歴史的に見ることによって、英語の中の何が変わり何が変わっていないかを知ることとは現代英語の理解にきわめて重要な視点を与えてくれるはずです。下記のテキストを用いて古英語（Old English：700-1100年頃の英語）を中心に初期の英語を概観します。

講義の内容・
授業スケジュール

古英語の綴りと音声、品詞毎の語形と活用、文法の初歩から始めてテキストの読解へと進みます。中世イギリスの文化史的、社会史的側面に対する理解もあわせて深めてもらいたいと願っています。

前期

(1-8) 古英語の綴りと音声、形態、文法の概略

(9-12) テキストの部から最初の聖書の古英語訳の抜粋を読む。

後期

(13-20) 『アングロサクソン年代記』などからの抜粋

(21-24) 『ベオウルフ』などの詩作品に触れる。

成績評価の方法

平常点とレポートによる。

教科書

Bruce Mitchell and F. C. Robinson, *A Guide to Old English*, 6th edition (Oxford: Blackwell, 2001). 最初はプリントで。

参考書等

教室で随時指示します。

講義のねらい

To develop listening and reading skills for English proficiency tests like TOEFL, TOEIC and the STEP (EIKEN) series. The specific goals are to (1) develop student aural-oral ability: (2) abet vocabulary mastery necessary for reading ability: and (3) underpin these skills with relevant grammatical knowledge.

講義の内容・
授業スケジュール

Spring Semester	Fall Semester
Week 1 : TOEIC materials & methods	TOEIC materials & methods
Week 2 - 6 : Presentation of topics : drills	Presentation of topics : drills
Week 7 : Sample TOEIC Test 1	Sample TOEIC Test 1
Week 8 - 12 : Presentation of topics : drills	Presentation of topics : drills
Week 13 : Sample TOEIC Test 2	Sample TOEIC Test 2
Week 14 : Analysis of test performance	Analysis of test performance

Homework is a major part of this course. This means doing sample exercises and reading passages from the textbook and prints for 30-45 minutes a day. Homework will be checked: the more you do, the better your progress. Also, the instructor will suggest further materials for each student. It is optional, but highly recommended.

履修上の留意点

Half of each class will cover listening, the other half reading. Several points & concepts will be introduced each week. Aural testing will proceed each week: reading and grammar testing will occur every second week.

Two full sample TOEIC tests will be given in class in the first semester, and two full TOEIC tests in the second. Students will also be encouraged to register for actual TOEIC tests in the second semester or afterwards.

To the students: You will be expected to attend class on time and do your best to understand the material. Be positive in class and study regularly at home. About 30-45 minutes each day is enough—you will lose concentration if you work longer.

成績評価の方法

Students will be evaluated and graded as follows: (1) classwork, the use of the textbook & prints, 25%; (2) classwork, attendance and performance, 25%; (3) homework, amount of exercises and readings done, 25%; and (4), test performance in terms of progress

教科書

To be announced in class and supplied by the instructor. Also, there will be printed exercises and readings given each week.

参考書等

Materials: Each student must bring an English-English dictionary to class. The instructor will give advice on suitable dictionaries in the first meeting.

Students are urged to have Internet access or E-mail addresses. The instructor will post information and news, and students may access TOEIC and TOEFL, as well as EIKEN and even SAT sites for materials.

科目名

担当者名

オーラル・イングリッシュ

ハバード, W. D.

講義のねらい

The two main goals of this course are : (1) to provide students with expressions and strategies necessary for successful communication and (2) to teach students to be sensitive to cultural differences and to interact successfully so that their intercultural experiences can be more satisfying.

講義の内容・
授業スケジュール

This course is discussion oriented and requires a fair amount of group work. Students are first presented with information on how to be an effective group leader and group participant. Current social issues or sociopoints serve as a central focus for all class activities. Some activities raise student awareness of issues in social interaction. Addition exercises are designed to teach them how to interact appropriately. Each sociopoint is divided into a warming up, a talking task, a listening exercise, a summing up, and a vocabulary learning section. This course is useful for ESL learners who desire to improve their English, but usually do not have access to interaction with native speakers of English.

履修上の留意点

Students who take this course should have completed an Oral English II or equivalent class.

成績評価の方法

Final grades will be based on attendance, class participation, preparation, and tests.

教科書

DESIRE by Robert M. Homan and Christopher Jon Poel, Macmillan LanguageHouse, Tokyo

講義のねらい

To improve the student's listening and speaking ability to a degree where they are able to take the STEP Test Grade 1 by the end of the academic year or early in the following year :

講義の内容・授業スケジュール

The first semester will be concerned with improving the student's Listening and Speaking ability. As listening seems to be one of the rather weak points of most students, they will be taught in such a way that they should be able to listen and comprehend a variety of English sentences with comparative ease.

The second semester will place emphasis on speaking and writing.

Here, the students will be given ample opportunity to construct compositions on a wide variety of subjects and present them individually to the class as a whole. Any mistakes in grammar, intonation, reading speed and pronunciation, etc. will be corrected by the instructor during the above - mentioned presentations.

Thus, by the end of the year, most students should be ready to sit for the STEP Test and pass it with confidence.

The method of improving the student's listening ability in the first semester will be attained by individual and group training. We will be using a textbook and tapes during this time in order to train the student's ear in listening to and comprehending English spoken at normal speed.

In the second semester, individual presentations should serve to break down any inhibitions that the student might have with regard to speaking before a group of people.

As the student is giving his or her presentation, the instructor will carefully correct any mistakes being made as mentioned above.

成績評価の方法

There will be two principle tests during the academic year : one in the first semester and one in the second. However, the student will be able to earn additional points for the content and quality of his or her presentations given in the second semester.

At the end of the academic year, all grade will be added together and divided by two. This will constitute the final grade.

教科書

In the first semester we will be using a textbook [the level of which will be decided on the ability of the class as a whole]. There is a set of tapes that come with the textbook, and copies of these can be obtained from the instructor before the end of the semester.

In the second semester, we will probably be using the materials for the STEP Test Grade I. These will be supplied by the instructor.

The only article that the student is required to purchase is the textbook used in the first semester. All other materials : tapes, STEP Test materials, etc. will be supplied by the instructor.

科目名**担当者名**

オーラル・イングリッシュ

レイン, R. V.

講義のねらい

This discussion-oriented class will provide students with the opportunity to improve their ability to think logically, make opinions and express those opinions effectively in English.

講義の内容・授業スケジュール

Each week students will be given a copy of a script for a 20 minute episode of the American TV show, *The Wonder Years*, and are expected to read the script at home and look up any unfamiliar words. In class the following week, students will ask questions about the script, watch and discuss the episode. For homework, students will be given a question to answer in an approximately one-page essay.

履修上の留意点

Students must come to class prepared, having carefully read the script at home. This is a discussion-oriented class so class participation is essential. Students should also be aware that attendance is important. If the student is absent for 1 / 3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be graded on the basis of class participation and weekly written answers to essay questions.

教科書

none

科目名**担当者名**

オーラル・イングリッシュ

ナトウシュ, B. A.

講義のねらい

To improve students' productive proficiency in speaking.

講義の内容・授業スケジュール

Warm Up Activities
Students converse using simple telephone dialogues to practise listening, note taking pronunciation and speaking skills. (Pair work)
Vocabulary Expansion
Quizzes on word definitions and synonyms based on a weekly theme to extend active vocabulary usage. (Pair and team work)
Fluency Development
Exercises using fixed expressions to develop fluency. (Pair and group work)
Listening for Main Points
Retelling a news item after 2 - 3 repetitions of a short talk. (Individual)

成績評価の方法

Class attendance, quiz performance, participation in asking questions, communicative performance, two oral presentation projects, two written tests at end of Semesters 1 and 2.

教科書

『*Real Life Spoken English Series 2*』 (3 small workbooks)
『*A Dictionary of Communicative Expressions*』 (Nanundo)
Photocopied materials will also be used.

科目名	担当者名
4年次ゼミ	あずま 雄一郎 東 雄一郎

講義のねらい	卒業論文の指導を行います。具体的には、夏休み前には、詳細な構想がたてられ、それに関連したテキスト、参考書（研究書）がそろっているようにして下さい。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、ジャンル別のグループ指導（論文の書き方・書式等）を中心に進めます。夏休み以降の後期は、各自のテーマに則した個別指導を中心に進めます。年間スケジュールは開講時に配布します。
履修上の留意点	各自のテーマに真剣に取り組むようにして下さい。また、欠席のないようにして下さい。夏休み前には、ほぼ下書きが出来あがるように努力して下さい。
成績評価の方法	成績評価は、平常点を中心に下します。文献、参考書等は、開講時に授業内にて指示します。
教科書	開講時に授業内にて指示します。
参考書等	開講時に授業内にて指示します。

科目名	担当者名
4年次ゼミ	おう み あき ひさ 逢見明久

講義のねらい	英米演劇における映画化作品研究。
講義の内容・授業スケジュール	3年次ゼミの研究テーマを基礎に卒業論文を書くことを目的とする。開講時に論文の要旨（400字5枚程度）と章立ての構想を必ず提出のこと。前期はこれをもとに論文の方向性を明確にして6月の論題提出に備え、夏期休暇を利用して全体を書き上げる。9月中旬に原稿の写しを一部提出のこと。後期は、原稿を推敲して論文の完成を目指す。
履修上の留意点	論文作成の経過報告を忘れずに、論文の完成に向けて必ず指導を受けること。
成績評価の方法	卒業論文を評価。
参考書等	適宜指示。

英米文

科目名	担当者名
4年次ゼミ	かわ きき あき こ 川崎明子

講義のねらい	卒業論文作成の指導をします。
講義の内容・授業スケジュール	これまでの勉強を最高の形で成果にする手助けをすると同時に、参考文献の選択、論理的な構成方法、剽窃回避のための註のつけ方など、学術論文執筆の実践面についても指導します。英文で執筆する場合はフォーマットの指導もします。
履修上の留意点	自分の研究テーマに熱意を持つと同時に分析的な態度で臨んでください。
成績評価の方法	論文の進行、提出物の内容、授業への参加態度により評価します。
参考書等	適宜指示します。

科目名

担当者名

4年次ゼミ

かわさきまさとし
河崎征俊

講義のねらい

3年次ゼミで習得した中世英国の文学を精読し、当時の政治的、経済的ならびに社会的背景を探る予定。入手可能な文献を実際に扱いながら、英文学の源流となった詩人たちの特性に焦点を当ててみたい。なお、卒業論文の作成作業をも考慮しながら、作品の読み方や文献の収集法にも触れる予定。

講義の内容・授業スケジュール

14世紀後半に書かれたとされる作者不詳の *Pearl* という作品を読みながら、中世英国における宗教的テーマを追究していく。ある段階において各自に課題を課し、自発的なゼミ運営を計りたい。

履修上の留意点

作品を精読するため、ノート整理が常に要求される。着実な研究姿勢を身につけてもらいたい。

成績評価の方法

演習回数および年一回のレポート課題が中心となるが、平常時の学習態度や意欲をもとに総合的に判断する。

教科書

教科書は Oxford 版の *Pearl* をコピーにして使用する。

参考書等

参考書は、授業の進行に合わせて随時紹介していく。

科目名

担当者名

4年次ゼミ

くぼうちただお
久保内端郎

講義のねらい

英語を理解するためには、英語そのものを熟読し、味読し、聴解し、響きを楽しむといったことに加えて、英語について英語とはどんな特徴をもつ言語であるか、構造的に、音韻的に、綴り字的に、語彙的に、歴史的になどなど、英語を英語たらしめている特徴は何かといったことに対する理解を深める必要があります。そのような問題に関心をもつ諸君の参加を希望します。テキストには Sidney Greenbaum and Randolph Quirk, *A Student's Grammar of the English Language* (Longman, 1990) を用います。その中でとくに重要と思われる問題を扱う章を重点的に精読したいと思っています。前期は第18章「主題、焦点、情報処理」を中心に、後期は第19章「センテンスからテキストへ」ほかを読む予定です。卒論の制作と同時進行ですから忙しいこととなりますが、頑張ってください。実際の例を見るために *My Fair Lady* をあわせて読みます。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期)
 (1) 英語のセンテンスの構造
 (3-7) 第18章前半
 (8-12) 第18章後半
 (14) 節と節の結合と文と文の結合 テキストの成立条件
 (15-22) 第19章前半
 (23) まとめ

履修上の留意点

授業への積極的な参加を強く要望します。

成績評価の方法

成績評価は平常点とレポートによる。

教科書

Greenbaum and Quirk (1990) のテキストはプリントで。
My Fair Lady (英光社) は購入して下さい。

科目名	担当者名
4年次ゼミ	佐藤真二

講義のねらい

3年次にゼミで研究した事項（音声学）を基礎として、それを発展し、卒業論文へまとめあげることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）研究方法の再確認。テーマの決定。資料の収集。卒業論文の書き方。アウトライン作成。卒業論文指導が中心となる。9月下旬序章（或いは第1章）提出、10月下旬第1章（或いは第2章）提出の予定。

履修上の留意点

卒業論文の指導を希望するものは必ず履修すること。
履修者は必ず第1回目の授業に出席し、担当教員と連絡を取ること。
5月末からの論題提出期間までには、テーマを決定し、論題の案を用意し、その上で担当教員に連絡の上、相談にくること。
教育実習に行く学生は早めに論題の準備をしておくこと。
就職活動で忙しい場合でも、何らかの方法で担当教員に連絡すること。

成績評価の方法

レポートにより評価する。

参考書等

渡部昇一他『論文・レポートの書き方』スタンダード英語講座8（大修館書店）1984年 他

科目名	担当者名
4年次ゼミ	佐藤千春

講義のねらい

卒業論文作成の基本となるゼミと考えてほしい。作家・作品その他論題の決定、そのための準備、そして完成への助言、助力を行う。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカ・ルネッサンス期の作家を中心として指導を行う。研究室で行うが、人数によりグループ別に分けて隔週でこれを行う予定。6月までにテーマを決め、その研究方針・報告を受け、それに従ってスケジュールをたてる。尚、4年ゼミの曜日、時限は、佐藤研究室にて連絡、発表し、そこでスケジュール表を渡すことにする。4年ゼミを希望する学生は早めに上記研究室（1441）に来られたし。

履修上の留意点

決められたスケジュールに従って報告をしてもらうので十分な準備をさせていただくことになる。

成績評価の方法

報告の内容、論文の内容などを考慮し評価を出す。

教科書

とくに使用せず。

参考書等

研究対象によって異なるので、その都度指摘することにする。

科目名

担当者名

4年次ゼミ

サンダース, L. P.

講義のねらい

このコースでは卒業論文の書き方について学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 4段階とする。
1. Developing a topic
 2. Conducting research
 3. Writing process
 4. Checking。

成績評価の方法

論文の進み具合などによって評価する。

教科書

教材は教室にて配布する。

その他

ビデオを使用する。

科目名

担当者名

4年次ゼミ

富士川 義之

講義のねらい

卒業論文作成にむけて書き方の指導を中心に行なう。

講義の内容・
授業スケジュール

論文の書き方、文献の選び方、読み方などについて指導するほか、短編小説を題材にして分析方法を学ぶ予定。

履修上の留意点

真面目に自分の課題と取り組んでほしい。

成績評価の方法

発表態度と内容を最も重視したうえで総合的に判断して評価する。

教科書

コピーを用いる。

参考書等

適宜指示する。

その他

講義と演習を組み合わせる。

英
米
文

科目名**担当者名**

4年次ゼミ

たがのまさお
高野正夫**講義のねらい**

4年次の卒業論文の執筆に向けて様々な指導を行ないます。どのようにして卒論を書いたらよいかということについて、具体的な例をあげながら説明していきます。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前期は、卒論の論題受付に向けて、どのようなジャンルやテーマを選んだらよいか、そしてどのような作家や作品を選んだらよいかなどについて、相談しながら論題を決定する作業を行います。

後期は、論文を書く時の具体的な原稿用紙の書き方などについて説明し、さらに下書きの段階で提出された論文を訂正するなどして、論文の完成に向けての細かな作業を行います。

履修上の留意点

卒論の作成は長期間にわたるものなので、粘り強く様々な作業を進めることが必要であり、授業の時だけでなく日頃から自主的な姿勢で研究作業を進めていくことが望まれる。

成績評価の方法

授業への積極性や論文の進み方などにより評価する。

教科書

授業開講時に教場で指示する。

英
米
文

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

3 地 理 学 科

地
理

Ⅱ. 専門教育科目

(3) 地理学科

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
自然地理学概論	地文1必 環境2・3・4必	通年	4	長沼信夫	437
自然地理学概論	環境1必(環境・地文2年) 地文2・3・4必	通年	4	平井幸弘	437
人文地理学概論	地文1必(地文・環境2年) 環境2・3・4必	通年	4	佐藤哲夫	438
人文地理学概論	環境1必(環境・地文2年) 地文2・3・4必	通年	4	桜井明久	438
自然地理学実習(地図学実習含む)	地文1必(地文・環境2年) 環境2・3・4必	半期	1	田中靖	439
自然地理学実習(地図学実習含む)	地文1必(地文・環境2年) 環境2・3・4必	半期	1	平井幸弘	439
自然地理学実習(地図学実習含む)	地文1必(地文・環境2年) 環境2・3・4必	半期	1	早船元峰	440
自然地理学実習(地図学実習含む)	環境1必(環境・地文2年) 地文2・3・4必	半期	1	田中靖	440
自然地理学実習(地図学実習含む)	環境1必(環境・地文2年) 地文2・3・4必	半期	1	江口卓	441
自然地理学実習(地図学実習含む)	環境1必(環境・地文2年) 地文2・3・4必	半期	1	長沼信夫	441
人文地理学実習(地図学実習含む)	地文1必(地文・環境2年) 環境2・3・4必	半期	1	橋詰直道	442
人文地理学実習(地図学実習含む)	地文1必(地文・環境2年) 環境2・3・4必	半期	1	須山聡	442
人文地理学実習(地図学実習含む)	地文1必(地文・環境2年) 環境2・3・4必	半期	1	小田匡保	443
人文地理学実習(地図学実習含む)	環境1必(環境・地文2年) 地文2・3・4必	半期	1	桜井明久	443
人文地理学実習(地図学実習含む)	環境1必(環境・地文2年) 地文2・3・4必	半期	1	佐藤哲夫	444
人文地理学実習(地図学実習含む)	環境1必(環境・地文2年) 地文2・3・4必	半期	1	土谷敏治	445
地域文化研究概説	地文2必	通年	4	土谷敏治 小田匡保 桜井明久 須山聡 高橋健太郎 橋詰直道	446

地域環境研究概説	環境 2 必	通年	4	田中靖 江口卓 高木正博 長沼信夫 早船元峰	448
地域概論	地文・環境 2・3・4 選必	通年	4	須山聡	449
地理思想史	地文・環境 2・3・4 選必	通年	4	休講	
地図学	地文・環境 2・3・4 選必	通年	4	野々村邦夫	450
村落地理学	地文 2・3・4 選必 環境 2・3・4 選	通年	4	高橋健太郎	451
都市地理学	地文 2・3・4 選必 環境 2・3・4 選	通年	4	橋詰直道	452
交通地理学	地文 2・3・4 選必 環境 2・3・4 選	通年	4	土谷敏治	453
文化地理学	地文 2・3・4 選必 環境 2・3・4 選	通年	4	小田匡保	454
文化生態学	地文 2・3・4 選必 環境 2・3・4 選	通年	4	中俣均	454
歴史地理学	地文 2・3・4 選必 環境 2・3・4 選	通年	4	小田匡保	455
リモートセンシング	環境 2・3・4 選必 地文 2・3・4 選	通年	4	田中靖	455
環境地理学	環境 2・3・4 選必 地文 2・3・4 選	通年	4	早船元峰	456
計量地理学	環境 2・3・4 選必 地文 2・3・4 選	通年	4	土谷敏治	456
応用地理学	環境 2・3・4 選必 地文 2・3・4 選	通年	4	高木正博	457
地域計画論	環境 2・3・4 選必 地文 2・3・4 選	通年	4	原昭夫	458
地理情報論	環境 2・3・4 選必 地文 2・3・4 選	通年	4	村山祐司	458
地域文化調査法 (現地調査含む) A	地文 3 選必	通年	4	土谷敏治	459
地域文化調査法 (現地調査含む) B	地文 3 選必	通年	4	休講	
地域文化調査法 (現地調査含む) C	地文 3 選必	通年	4	休講	
地域文化調査法 (現地調査含む) D	地文 3 選必	通年	4	小田匡保	460
地域文化調査法 (現地調査含む) E	地文 3 選必	通年	4	佐藤哲夫	460
地域文化調査法 (現地調査含む) F	地文 3 選必	通年	4	須山聡	461
地域環境調査法 (現地調査含む) A	環境 3 選必	通年	4	休講	
地域環境調査法 (現地調査含む) B	環境 3 選必	通年	4	江口卓	461
地域環境調査法 (現地調査含む) C	環境 3 選必	通年	4	休講	
地域環境調査法 (現地調査含む) D	環境 3 選必	通年	4	長沼信夫	462
地域環境調査法 (現地調査含む) E	環境 3 選必	通年	4	休講	
地域環境調査法 (現地調査含む) F	環境 3 選必	通年	4	平井幸弘	462
地域文化演習 A	地文 3 選必	通年	4	高橋健太郎	463
地域文化演習 B	地文 3 選必	通年	4	橋詰直道	463
地域文化演習 C	地文 3 選必	通年	4	休講	

地域文化演習D	地文3選必	通年	4	休講	
地域文化演習E	地文3選必	通年	4	休講	
地域文化演習F	地文3選必	通年	4	休講	
地域環境演習A	環境3選必	通年	4	早船元峰	464
地域環境演習B	環境3選必	通年	4	高木正博	464
地域環境演習C	環境3選必	通年	4	休講	
地域環境演習D	環境3選必	通年	4	休講	
地域環境演習E	環境3選必	通年	4	休講	
地域環境演習F	環境3選必	通年	4	休講	
地理学演習	環境・地文4必	通年	4	江口卓	465
地理学演習	地文・環境4必	通年	4	小田匡保	465
地理学演習	地文・環境4必	通年	4	桜井明久	465
地理学演習	地文・環境4必	通年	4	佐藤哲夫	466
地理学演習	地文・環境4必	通年	4	須山聡	466
地理学演習	環境・地文4必	通年	4	高木正博	467
地理学演習	地文・環境4必	通年	4	高橋健太郎	467
地理学演習	環境・地文4必	通年	4	田中靖	468
地理学演習	地文・環境4必	通年	4	土谷敏治	468
地理学演習	環境・地文4必	通年	4	長沼信夫	469
地理学演習	地文・環境4必	通年	4	橋詰直道	469
地理学演習	環境・地文4必	通年	4	早船元峰	470
地理学演習	環境・地文4必	通年	4	平井幸弘	470
巡検A	地文・環境2・3・4選	半期	1	桜井明久	470
巡検B	地文・環境2・3・4選	半期	1	休講	
巡検C	環境・地文2・3・4選	半期	1	休講	
巡検D	環境・地文2・3・4選	半期	1	田中靖	471
図学実習	環境・地文2・3・4選	半期	1	清水長正	471
日本地誌	地文・環境2・3・4選	通年	4	橋詰直道	472
外国地誌特講	地文・環境2・3・4選	通年	4	梅原弘光	473
アジア地誌	地文・環境2・3・4選	通年	4	前期：高橋健太郎 後期：須山聡	474
アメリカ地誌	地文・環境2・3・4選	通年	4	佐々木緑	474
ヨーロッパ地誌	地文・環境2・3・4選	通年	4	桜井明久	475
経済地理学	地文・環境2・3・4選	通年	4	矢延洋泰	476
産業地域論	地文・環境2・3・4選	通年	4	須山聡	477
地形学	環境・地文2・3・4選	通年	4	平井幸弘	478
地形学実習	環境・地文2・3・4選	半期	1	清水長正	479
社会地理学	地文・環境2・3・4選	通年	4	宮口侗勉	479
外書講読	地文・環境2・3・4選	通年	4	佐藤哲夫	480
気候学	環境・地文2・3・4選	通年	4	江口卓	480
気候学実習	環境・地文2・3・4選	半期	1	江口卓	481
水文学	環境・地文2・3・4選	通年	4	長沼信夫	481
水文学実習	環境・地文2・3・4選	半期	1	高木正博	482
人口地理学	地文・環境2・3・4選	通年	4	山内昌和	482
歴史地理学実習	地文・環境2・3・4選	半期	1	小田匡保	483
地球物理学	環境・地文2・3・4選	通年	4	柳田誠	483
土壌地理学	環境・地文2・3・4選	通年	4	漆原和子	484

生物地理学	環境・地文 2・3・4 選	通年	4	清水善和	485
計量地理学実習	環境・地文 2・3・4 選	半期	1	土谷敏治	486
測量学	環境・地文 2・3・4 選	通年	4	田中靖	487
第四紀学	環境・地文 2・3・4 選	通年	4	鈴木毅彦	488
現代地理学特論	環境・地文 2・3・4 選	通年	4	佐藤哲夫	488
地理学特講 I	環境・地文 2・3・4 選	半期	2	橋詰直道	489
地理学特講 II	地文・環境 2・3・4 選	半期	2	長沼信夫	489
地理学特講 III	地文・環境 2・3・4 選	通年	4	澤渡貞男	490
地理学特講 IV	地文・環境 2・3・4 選	通年	4	休講	
地理学特講 V	環境・地文 2・3・4 選	通年	4	平井史生	491

科目名	担当者名
自然地理学概論	なが ぬま のぶ お 長 沼 信 夫

講義のねらい	地理学科地域文化研究専攻の学生諸君のために、自然地理学的な立場から基礎的知識の一端を提供しようとするものである。
講義の内容・授業スケジュール	本講義では、第四紀時代における自然環境の変遷を中心に行っていく。その講義概要は次の通りである。 1) 地理科学における自然（地理学）とは 2) 最新の地質時代である第四世紀の特徴とその自然環境 3) 身近な地形の在り方とその生い立ち：丘陵地、台地、低地 世田谷南部地域と渋谷駅付近、東京とその周辺地域を事例に概説 4) 第四紀時代の地殻変動と氷河性海面変動 5) 自然環境の変貌に伴う災害の諸問題 6) 世界と日本における地理学的な自然誌論
履修上の留意点	高校までの地理教育において、自然分野に費やす時間は少なく、自然系は不得意であるという学生諸君も多いと思われる。そこで我々の生活舞台となる身近な土地の成り立ちなどから理解を深めていき、地理学に対する見方、考え方が広がることを期待する。
成績評価の方法	筆記試験を前期と後期に各1回実施する。また、前期には地理学書2冊以上を読み、レポートを作成してもらう。これらを基に評価する。
教科書	田淵 洋編『自然環境の生い立ち〔第三版〕—第四紀と現在』（朝倉書店）3,000円
参考書等	講義中に適時紹介する。
その他	講義に必要な資料は随時配布する。

科目名	担当者名
自然地理学概論	ひら い ゆき ひろ 平 井 幸 弘

講義のねらい	私たちが普段目にする山、川、平野などの「風景」を切り口として、自然地理の基本的な視点と考え方を学ぶことを目的とする。講義ではまず、「自然環境とは何か？どのように捉えたらよいか？」について考えてみたい。そして具体的に、おもに日本列島における火山、森と丘陵、川と平野、湖と海岸などを対象とし、その自然と人間・社会との関係について学ぶ。その際、それぞれの風景の物理的側面だけでなく、開発や環境、環境保全・再生、資源利用と言った「自然と人間の関わり」についての内容も積極的に取り上げたい。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 1. 自然環境と地域、2. 火山の自然、 3. 河川的作用と洪水、4. 森の自然と丘陵地の開発 (後期) 5. 平野の自然景観と生い立ち、6. 湖の景観・開発と環境問題、 7. 海岸の自然景観と海面上昇
履修上の留意点	現実の様々な環境問題に、広い視野から関心を持ち学ぼうとする意欲を期待したい。
成績評価の方法	授業中複数回のミニテストと、学年末の試験を総合して成績評価する。
教科書	杉谷隆・平井幸弘・松本淳『風景のなかの自然地理<改訂版>』（古今書院）2005年
参考書等	大矢雅彦ほか『自然災害を知る・防ぐ』（古今書院）1996年 小池一之『海岸とつきあう』（岩波書店）1997年
その他	高校で使う程度の地図帳（二宮書店や帝国書院発行のものなど）と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

科目名	担当者名
人文地理学概論	佐藤哲夫

講義のねらい

この授業は、地域文化を研究するために知っておかなければならない人文地理学の専門領域全般について解説した入門的講義です。高校の地理を復習しながら、地域文化を担う人々の暮らしを理解するために必要な地理学的な知識や、地域の見方を身につけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

授業では以下の各項目について、教科書を参照しながら1～2回で解説します。ただし教科書の順番どおりに学習するわけではありません。地域調査を念頭において、とくに日常的な生活の場に焦点をあてて講義を進めます。教科書で説明が不足している部分は、配布資料で補います。

1. 生活様式と地図：地理学の研究方法に特徴的な地域スケールと地図について説明します。
2. 人口の地域構造：日本の人口分布と構成の変化を、人口動態と人口移動から説明します。
3. 都市景観の形成：日本における都市の発達と形態について説明します。
4. 都市の内部構造：現代の都市内部における地域分化について説明します。
5. 商業地区の類型：商業施設の立地と、商業地区の機能・形態について説明します。
6. 工業地区の性格：工業の立地と集中、地域社会との関わりについて説明します。
7. 農村空間の構成：日本における村落の立地条件と土地利用について説明します。
8. 畑作農村の変化：畑作農村のとらえかたについて、産地形成の観点から説明します。
9. 稲作農村の現状：稲作農村の現状について、日本農業の変化に注目して説明します。
10. 山村と漁業集落：山村の特徴を林野利用、漁村の特徴を漁場利用から説明します。
11. 外国地誌の研究：観光地理と都市システム分析の方法を例にして説明します。

成績評価の方法

成績は前期末および学年末試験（60％）と出席・小テスト（20％）、夏休みの課題（20％）で評価します。

教科書

浮田典良『人文地理学総論』（朝倉書店）（総観地理学講座9.）

科目名	担当者名
人文地理学概論	桜井明久

地
理

講義のねらい

専門としての人文地理学のオリエンテーションである。講義全体を通じて、人文地理学とは何か、その方法上の特色はどこにあるかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、「地図」で考えるという意味について考察し、ついで専門ともっとも関係の深い、人文地理学における環境研究と、重要な調査法の基礎である野外観察についても概説したい。後期には、具体的な研究を例として挙げながら、分布、地域、地域分化、地域構造などについて考え、人文地理学の各研究分野のおおよそを紹介し、人文地理学を深く学ぶための助けとなるよう、情報を提供したい。

履修上の留意点

授業の最後に、または教科書のある部分を読んだ後に、疑問や質問をミニ教場レポートという形で書いてもらい、次時にはその疑問や質問を取り上げて考察を深めたい。授業に積極的に参加するよう望みたい。

成績評価の方法

出席とミニレポート30点、レポート（読書レポートなど2回ないし3回）20点、夏休みレポート20点、試験30点といったバランスで評価したい。

教科書

『地理学講座1 地理学への招待』（古今書院）2,500円

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名
自然地理学実習(地図学実習含む)	田中靖

講義のねらい	自然地理学の学習・研究に必要な基礎的な技術と考え方を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	1. 天気図の作成 2. 現地調査実習(大学周辺) 3. 基礎統計 4. Computer Mapping 5. レポートの作成
履修上の留意点	必ず出席し、課題は期限を守って提出すること。
成績評価の方法	課題・レポートの質と出席状況、参加態度で判断する。
教科書	適宜紹介する。
参考書等	適宜紹介する。
その他	定規や色鉛筆、地形図等を準備する必要がある。適宜指示する。

科目名	担当者名
自然地理学実習(地図学実習含む)	平井幸弘

講義のねらい	様々な「地域」が持っている自然地理学的な特質を明らかにし、それぞれの地域における開発と環境問題、あるいは災害と防災の問題などに取り組むために、基本的な地形図の読図、様々な地形分類図の読図、簡単な地形分類の実習、簡単な空中写真判読、ハザードマップの試作などを行う。
講義の内容・授業スケジュール	1) 地形図の読図と作業、2) 地形分類図の読図、3) 簡単な地形分類の実習 4) 簡単な空中写真判読、5) ハザードマップの試作
履修上の留意点	実習科目なので、課題に対する成果品(作業した地図類)を提出することが必要条件である。
成績評価の方法	授業への出席および提出物を総合して成績評価する。
教科書	教科書は指定しない。課題に対するプリントを用意する。
参考書等	大矢雅彦ほか『地形分類図の読み方・作り方』(古今書院)1998、2002年改訂増補
その他	高校で使う程度の地図帳(二宮書店や帝国書院発行のものなど)と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

科目名

担当者名

自然地理学実習(地図学実習含む)

はや 船 げん ぼう
早 船 元 峰

講義のねらい

地理学を修める上に必要な自然関係の基礎的作業を中心に行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・ 2.5万分の1あるいは5万分の1地形図を用いた主題図の作成（切峰面図・起伏量図・帯状平行投影地形断面図など）
- ・ 試料の収集・分析・整理の方法（粒度分析など）
- ・ 調査器材・器具の使用法
- ・ 空中写真判読
- ・ 地形断面図（実測）の作成

履修上の留意点

地形図や製図用具は各自用意してもらおう。
出席をこころがけ、成果の提出期限を守ること。

成績評価の方法

出席状況・提出物の内容などにより評価する。

その他

実習に必要な資料は随時配布する。

科目名

担当者名

自然地理学実習(地図学実習含む)

た なか せし
田 中 靖

講義のねらい

自然地理学の学習・研究に必要な基礎的な技術と考え方を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 天気図の作成
2. 基礎統計
3. 地形図の読図、地形計測
4. 空中写真
5. レポートの作成

履修上の留意点

必ず出席し、課題は期限を守って提出すること。

成績評価の方法

課題・レポートの質と出席状況、参加態度で判断する。

教科書

適宜紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

定規や色鉛筆、地形図等を購入する必要がある。適宜指示する。

地
理

科目名	担当者名
自然地理学実習(地図学実習含む)	江口卓

講義のねらい	自然地理学のフィールド調査を行う際に必要となる基礎的調査手法および調査で得られたデータの解析手法を身につけることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	<p>実習の内容は次の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 地図と実体視 2) 簡易測量 3) 天気図の書き方、読み方 4) 気候データの処理(分布図の作成、簡単な統計処理)
履修上の留意点	毎回出席し、レポートの提出期限は厳守すること。
成績評価の方法	レポートと出席状況を総合して評価する。
教科書	教科書は使用しない。
参考書等	授業中に適宜紹介する。
その他	<p>授業はプリントを配布して進める。</p> <p>気候データの処理にはパソコンを使用する。</p>

科目名	担当者名
自然地理学実習(地図学実習含む)	長沼信夫

講義のねらい	この実習は自然地理学的立場から、専門領域を深めるために必要な基礎的諸作業を修得する目的で実施する。この実習を通して種々の資料蒐集・整理、その結果から図表の表現化、作成した図表の読み方などを行う。さらに野外調査の際に必要な技術的作業の方法についても実習する予定である。
講義の内容・授業スケジュール	<p>実習内容としては、次のような作業を予定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 地形図の読図、地形図を用いて地形計測(水系分布図、起伏量図などの作成) 2) 海図の読図、海図を用いて海底地形や底質の分布図作成 3) 地質図の読図、描き方、地層の厚さの求め方 4) 各種の統計・調査資料の検討とその整理方法 5) 簡易測量(高さ・距離などの測定、平板測量)
履修上の留意点	地形図や図版作成のために必要な器具などを用意してもらうことになるが、これらは実習の時間に適時指示する。
成績評価の方法	出席を重視し、定期的に提出する図版やレポートなどを基に総合的に評価する。
教科書	特に指定しない。
参考書等	谷岡武雄ほか著『新訂 地理実習』(大明堂) 2,520円
その他	実習に必要な資料は随時配布する。

地
理

科目名

担当者名

人文地理学実習(地図学実習含む)

はしづめ なおみち
橋 詰 直 道

講義のねらい

人文地理的諸現象を調査・分析し、レポートにまとめるための基礎的手法を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

①②地理学文献の検索方法、地図・空中写真・地理データの入手方法、③④地理情報の判読(地形図判読、空中写真判読)、⑤⑥地理データの処理(パソコンを用いたグラフ化)、⑦⑧地理データの分析手法(基礎統計分析手法)、⑨⑩調査課題の設定(地理的課題と地域の設定)、⑪⑫現地調査の方法(フィールドノートのとり方、アンケート調査用紙の作成)、⑬⑭調査レポート(プレゼンテーション・文献レビュー)
授業の多くは総合情報センターのパソコン教室を使用する。

履修上の留意点

必修科目であり、毎週新たな課題が出されるので、特に課題への積極的な取り組みが必要である。もちろん、出席(遅刻をしないこと)状況や授業への参加態度も重視する。課題レポートはパソコン使用。課題の提出期限を厳守すること。

成績評価の方法

期間中に出される課題・レポートなどの成果品、授業への出席(一定基準以上)や授業への参加状況などを総合的に評価する。

教科書

とくに定めない。なお、毎時間の課題についてはプリントを配布する。

その他

総合情報センター利用登録を4月中に済ませておくこと。

科目名

担当者名

人文地理学実習(地図学実習含む)

すやま まこと
須 山 聡

地
理

講義のねらい

人文地理学における基本的な分析手法を習得するとともに、最低限必要な表現(図的表現・文章表現)技法を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 文献検索・文献リストの作成
 - (2) 統計データと統計地図の種類と利用法
 - (3) 要約文の作成*
 - (4) 土地利用調査(野外観察の基礎)
 - (5) 土地利用図の作成(口頭表現のトレーニング)
 - (6) 景観観察と地図表現
 - (7) コロプレスマップの作成*
 - (8) ドットマップの作成*
 - (9) サンプリングと土地利用の分析(修正ウイバー法)
 - (10) ネットワークの分析(最大流動法)
 - (11) 人口の静態的分析(人口構造・ランクサイズルール)
 - (12) 人口の動態的分析(コーホート分析)
- *は2回行うこともある。

履修上の留意点

各回に与えられる課題は次回までにレポートとして提出する。本実習では、日本語表現を地理学で学ぶ上での重要な能力と位置づけている。したがって作成した課題に基づき、レポート上でいかに説得力のある論理を構築できるかが重視される。
課題未提出者はノルマが雪だるま式に増えて首が回らなくなるおそれがある。

成績評価の方法

毎回の授業で課されるレポートをもとに判断する。レポートは要求水準に到達するまで何度でも書き直しを求める。具体的には合格したレポートは1点、不合格は0.5点、未提出は0点とし、それらの合計点に基づいて評価する。したがって、不合格または未提出であっても再提出して合格すればよい。

教科書

毎回資料を配布する。

参考書等

製図ペン・電卓を利用する。

科目名**担当者名**

人文地理学実習(地図学実習含む)

おだまさやす
小田 匡 保

講義のねらい

この科目では、人文地理学の研究調査に必要な資料について学習し、さらに基本的な図表の作成ができるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 文献紹介
2. 手書きによる地図の作成
3. 情報検索
4. エクセルによる表の作成
5. エクセルによるグラフの作成
6. 統計データの地図化

履修上の留意点

毎回課題を出すので、出席はもちろんのこと、課題を遅れずに提出すること。ただし、不十分な内容の場合は再提出を求める。授業の途中から総合情報センターを利用するので、利用者IDを手元に用意しておくこと。コンピュータ基礎科目を履修するなどして、パソコンの基本的な使い方に慣れておくこと（ワープロが使えるという前提で授業を進める）。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、課題の提出状況（遅れずに提出したかどうか）によって行なう。提出された課題のできばえも勘案する。ただし、提出されない課題がある場合は、単位認定は保証できない。

教科書

担当教員作成のプリントを配布する。

参考書等

授業中に紹介する。

その他

定規・地形図などを用意する必要がある。詳細は、授業時に随時指示する。

科目名**担当者名**

人文地理学実習(地図学実習含む)

さくら いあき ひさ
桜 井 明 久地
理

講義のねらい

人文地理学の研究・調査のための基礎的な方法を学ぶための実習である。

講義の内容・
授業スケジュール

地形図の利用、土地利用図の作成、分布図の作成、統計資料の収集、統計図表の作成、統計地図の作製、統計手法の利用、表計算ソフトの利用、データベースの意味と利用などについて実習する。

履修上の留意点

実習であるから、授業に出席し、ともに作業をすることが前提である。なお、事前に準備すべきものは前もって伝える。欠席した場合は、次の授業で準備すべきものを、出席した同級生に聞くなどして確認しておくこと。

成績評価の方法

授業で制作、作成する作品・レポートとその提出状況で評価される。

その他

様々な地域の地形図、色鉛筆、定規などを準備する必要がある。詳細は授業開始時に指示する予定。

科目名**担当者名**

人文地理学実習(地図学実習含む)

佐藤哲夫

講義のねらい

この実習では、パソコンを用いて人文地理学のレポートが作成できるようになることを目標にします。図表やレポートの体裁、統計分析や地図作成などの基礎的技術について学びます。

講義の内容・授業スケジュール

以下の予定を基本にしますが、受講者の理解度を見て内容を調整しながら進めます。

1. 写真レポート：写真を利用したレポートの作成
2. 地図のトレース：土地利用図の編集・作図の作業
3. 地形図の計測：地図上の長さ、面積の計測作業
4. 文献情報の検索：インターネットによる文献の検索
5. 論文要旨の作成：ワープロによるレジュメ作成
6. パソコンで作図：作図ソフトによる主題図作成
7. 統計情報の整理：地理統計と表計算ソフトの利用
8. 基本的統計処理：平均と標準偏差、特化係数の計算
9. 統計のグラフ化：表計算ソフトによるグラフの作成
10. 回帰分析と予測：表計算ソフトによる回帰分析

履修上の留意点

毎回課題を出します。授業時間内に終わらなかった課題は、持ち帰って仕上げてもらいます。自宅でウィンドウズPCを利用できない場合は、大学の自習室を利用してください。

パソコンやソフトの操作法についてはあまり時間をかけずに、作業の意味や原理について説明します。従って、すでにパソコンの操作に習熟している人は、進んで初心者の方の手助けをしてください。わからなくなったら、いつでも誰にでも遠慮なく質問してください。

成績評価の方法

課題の提出状況で評価します。出席も取りますが、これは受講者の進度を把握するためのものです。課題提出の最終的な締め切りは7月15日で、遅れた場合は不可になります。

教科書

教材と作業課題は授業時間に配布する。

講義のねらい

人文地理学の調査・分析に必要な資料の収集・整理方法、統計的分析方法、製図技術を身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

9～11月上旬：コンピュータを用いて、レポートの作成方法、文献検索方法、統計データの処理・グラフ化を行う。

11月中旬～12月：資料の整理、図表・地図の作成の実習を行うとともに、分析・考察能力を身につける。

主な実習項目は、次のとおりである。

1. ワードソフトによる文書作成：レポート、論文の作成に備えて、作文能力を高め、ワードソフトを使いこなせるようにする。
2. 文献の検索と読解：文献検索能力を身につけるとともに、地理学に関する文献を読んで、書評を書くことにより、読解力を身につける。
3. 作表実習：表計算ソフトにより、作表技術を身につける。
4. 統計分析：表計算ソフトを使用して、統計データの集計、分析、グラフ作成の実習を行う。
5. 地図作成：コンピュータによって統計データを地図表現する能力を身につける。
6. 製図：製図技術を身につける。

履修上の留意点

毎回必ず出席し、授業で説明を聞いた上で、各課題について実習する。上記のスケジュールにしたがって課題を与えるので、その結果の図・表と分析・考察を必ず提出する。コンピュータを使用するので、総合情報センターのユーザーID、パスワードを用意しておく必要がある。コンピュータ使用の経験者・未経験者を問わず、基礎から使用方法を学習することを原則とするので、未経験者もとくに心配する必要はない。ただし、経験者ならびに希望者は総合情報センターの設備のみでなく、地理学科の地理分析用コンピュータやソフトウェアを使用して、さらに高度な分析方法を学習することも可能である。

成績評価の方法

すべての提出物を点数化して評価する。提出物の図・表と分析・考察は1：1の比重とする。書評、地図の作製は、多くの時間を必要とすることから、他の課題の2倍の比重で評価する。また、実習としての授業の性格上出席を重んじ、出席率が7割に達しない者は単位を認定しない。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

地理学の基礎的な調査・研究方法を学ぶ上で、たとえば次のような文献が参考となろう。

浮田典良編『ジオ・バル21 地理学便利帖』（海青社）

中村和郎・高橋伸夫編『地理学講座1 地理学への招待』（古今書院）

菅野峰明・安仁屋政武・高阪宏行著『地理学講座2 地理的情報の分析手法』（古今書院）

高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』（古今書院）

科目名

担当者名

地域文化研究概説

つちたに としはる おだ まさやす
 土谷 敏治・小田 匡保
 まくろい あきひさ す やま
 桜井 明久・須山 聡
 たかはしけん たろう はしづめ
 高橋健太郎・橋詰 直道

講義のねらい

地理学の視点から地域の文化と社会をとらえる方法を学ぶことを主なねらいとする。地域に暮らす人々の生活や行動に隠されているパターンすなわち地域文化が、地域の風土や歴史、社会のしくみによって、どのように生み出されてきたのか考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

地域文化を研究するための地理学の方法について、6人の教員がそれぞれの視点から講義を行う。統一的なテーマとして「地域文化へのアプローチ」を意図している。各教員の講義のテーマとして、次のものを予定している。

1. 風土と日本人
2. 空間と時間のスケール
3. 都市と歴史と文化
4. 景観の見方・読み方・考え方
5. 民族文化を考える
6. 文化地理学いろいろ

履修上の留意点

次のスケジュールで、1人の教員が4回ずつ担当する予定である。毎回テーマが変わるので、必ず出席することが必要である。

- | | |
|---------------|-------|
| 4月11日 | 担当者全員 |
| 4月18日～5月9日 | 橋詰直道 |
| 5月16日～6月6日 | 桜井明久 |
| 6月13日～7月4日 | 土谷敏治 |
| 7月11日 | 担当者全員 |
| 9月19日～10月17日 | 須山 聡 |
| 10月24日～11月14日 | 高橋健太郎 |
| 11月21日～12月12日 | 小田匡保 |
| 12月19日 | 担当者全員 |

地
理

成績評価の方法

評価は、各担当者が指定するレポート、および授業時間中に実施する課題と、出席点を合計して行う。6人の担当者の合計点が総合評価となるので、毎回の出席点に加え、レポート、課題を必ず提出すること。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

- 橋詰
 和辻哲郎『風土—人間学的考察—』（岩波文庫）
 祖父江孝男『県民性—文化人類学的考察—』（中公新書）
 市川健夫『ブナ帯と日本人』（講談社現代新書）
 佐々木高明『照葉樹林文化の道』（NHK ブックス）
 渋谷昌三『人と人との快適距離』（NHK ブックス）
 小林秀樹『集住のなわばり学』（彰国社）
 大谷晃一『大阪学』『新大阪学』（新潮文庫）
- 櫻井
 尾留川正平編著『沿岸集落の生態』（二宮書店）
 市川健夫・山本正三・斎藤功編『日本のブナ帯文化』（朝倉書店）
 桜井明久『西ドイツの農業と農村』（古今書院）
 高橋伸夫・ジャン・ロベール＝ピット・手塚 章編著『パリ大都市圏—その構造と変容—』（東洋書林）
 桜井明久『地理教育学入門』（古今書院）
- 土谷
 早川東三・工藤幹巳『ドイツを知るための60章』（明石書店）
 浜本隆志・高橋 憲『現代ドイツを知るための55章』（明石書店）
 大西健夫編『ドイツの政治—連邦制国家の構造と機能—』（早稲田大学出版部）
 平井 正『ベルリン 歴史の道』光人社
 宇都宮浄人『路面電車ルネッサンス（新潮社新書034）』（新潮社）
 土居靖範・近藤宏一・榎田基明『LRTが京都を救う 都大路まちづくり大作戦』（つむぎ出

版)

須山

青山高義・小川 肇・岡 秀一・梅本 亨編『日本の気候景観—風と樹 風と集落—』(古今書院)

中島峰広『日本の棚田—保全への取り組み—』(古今書院)

須山 聡『在来工業地域論—輪島と井波の存続戦略—』(古今書院)

山下晋司編『観光人類学』(新曜社)

山と地図のフォーラム『富士山展望百科』(実業之日本社)

古沢 保『風景印散歩—東京の町並み再発見—』(日本郵趣出版)

千田 稔・前田良一・内田忠賢編『風景の事典』(古今書院)

中村和郎・手塚 章・石井英也『地理学講座4 地域と景観』(古今書院)

高橋

高橋仲夫ほか『文化地理学入門』(東洋書林)

佐々木信彰編『現代中国の民族と経済』(世界思想社)

可児弘明ほか編『民族で読む中国』(朝日新聞社)

松村嘉久『中国・民族の政治地理』(晃洋書房)

山下清海『東南アジア華人社会と中国僑郷』(古今書院)

小田

鈴木秀夫・久保幸夫『日本の食生活』(朝倉書店)

山村順次『新観光地理学』(大明堂)

杉浦芳夫『文学・人・地域—越境する地理学』(古今書院)

徳川宗賢『日本の方言地図』(中公新書)

平山輝男『日本の方言』(講談社現代新書)

科目名

担当者名

地域環境研究概説

たなか やすし えぐち とかし
 田中 靖・江口 卓
 たかぎ まさひろ ながゆま のぶお
 高木 正博・長沼 信夫
 はやふね 早船 げんぼう
 元峰

講義のねらい

地理学の視点から環境をとらえることを主なねらいとする。地球環境から地域環境まで、個々の地域に特有な人間活動と環境とのかかわりにも注目し、さまざまな環境形成要因を考える。

講義の内容・授業スケジュール

5人の教員により視点を変えて環境の諸問題について学ぶ。意図するテーマは、「地域環境を読む」である。年間の授業スケジュールは次のとおり予定している。

1. 地球環境問題の気候学的側面【4月11日～5月16日 江口 卓】
 気候変化の概要／地球温暖化問題とは？／地球温暖化の予測／地球温暖化の日本への影響
2. 第四紀の気候変動と地殻変動【5月23日～6月20日 田中 靖】
 気候変動と地形の関係／地震と活断層／地殻変動とは？／日本の山地形成／地形シミュレーション
3. 扇状地における自然と人間のかかわりあい【6月27日～9月26日 早船元峰】
 扇状地とは—黒部川扇状地、大間々扇状地を事例地域として—／地形発達史／土地利用と水利用／集落の立地
4. 都市域の環境を水循環の視点から考える【10月3日～11月7日 高木正博】
 都市の水収支／都市の河川／都市における新たな水災害／都市の水環境／都市の水循環を回復させるには
5. 地理学における地域環境研究【11月14日～12月19日 長沼信夫】
 土地環境の在り方／地域の環境変化—川崎市など—／地域環境を南西諸島で考える—自然環境と生活環境—

成績評価の方法

定期試験は行わず、評価は小テスト（江口・田中・長沼）およびレポート（早船・高木）、出席状況を考慮して行う。出題・採点は各担当者が行い、その結果を総合して評価する。

参考書等

- シリーズ『自然景観の読み方』全12冊（岩波書店）
 シリーズ『自然環境とのつきあい方』全7冊（岩波書店）
 西岡秀三、原沢英夫編『地球温暖化と日本—自然・人への影響予測—』（古今書院）
 原沢英夫、西岡秀三編『地球温暖化と日本 第3次報告—自然・人への影響予測—』（古今書院）
 樽谷修編『地球環境科学』（朝倉書店）
 IPCC編『IPCC地球温暖化第三次レポート—気候変化2001—』（中央法規）
 山田安彦編著『総合 地域の科学—水と地域のかかわり合い—』（古今書院）
 都市環境学シリーズ2『都市の水文環境』（共立出版）

科目名	担当者名
地域概論	須山 聡

講義のねらい

本講義では地域を理解するための基本的な視点・概念・方法論を紹介する。とくに、地域把握のための重要な概念である景観と、地域と人間の関係を理解する上で不可欠な、人間の知覚・行動について重点的に講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 地域概念 (キーワード；地誌学、人文地理学、地域、等質地域、結節地域)
2. 景観の諸相 1 (キーワード；景観、自然景観、文化景観、集落景観)
3. 景観の諸相 2 (キーワード；江戸、風水思想、ディズニーランド、観光資源)
4. 景観の諸相 3 (キーワード；富士山、風景印、写真、読みの強要)
5. 人間の空間的行動 (キーワード；行動の記述、時間地理学、Quality of Life)
6. 空間の認知 (キーワード；メンタルマップ、選好地図、アクションスペース)
7. 空間の評価 (キーワード；都市のデイリーリズム、空間構成の要素)

履修上の留意点

毎回出席をとる。また、随時簡単なエッセイを課する。試験は(考えようによっては)大変に難しいので、受講者は講義内容のみで満足することなく、さらなる学修のきっかけと捉えて欲しい。

成績評価の方法

学年末試験 (50%)、出席状況 (50%) で判定。

教科書

適宜資料を配布する。

講義のねらい

地図を利活用する能力を養うことを視野に入れつつ、地形図の作成技術に関することを含め、地図に関する基礎知識について講義をする。更に、防災、環境等の分野における応用を含め、地図を利活用する能力の養成を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

講義で取り上げるテーマは、次のとおりである。1つのテーマについて、1～2回の講義を行う。学生による発表を主体とする授業を行うこともある。

(前期のテーマ)

1. 地図とは何か
2. 地図と測量
3. 地球の形と大きさ
4. 位置表示の方法
5. 投影と座標系
6. 地形図の作成
7. 地形図の規格と図式
8. 主題図
9. 数値地図

(後期のテーマ)

1. 地図の基礎知識
2. 地形図の維持管理と刊行システム
3. 旧版地形図の利用
4. 地理情報システム (GIS)
5. さまざまな分野における地図の利用
6. 防災分野における地図の利用
7. 環境分野における地図の利用
8. 地球規模の地理情報
9. 地図の歴史と楽しみ

履修上の留意点

毎回の授業では、受講報告 (小レポート) を提出してもらう。その内容は、キーワードの解説、小論文等である。講義の内容を鵜呑みにするのではなく、自分なりの考えや意見を持つことを心がけて受講し、その結果を受講報告に反映させて欲しい。

講義を欠席した場合、または、原則としてあってはならないことではあるが、やむを得ず遅刻または早退した場合は、講義に出席した場合よりはるかに多くの努力を払って自習をすることが必要である。

成績評価の方法

毎回の授業で提出してもらう受講報告と学期末に行う試験 (場合によりレポートや本格的な論文で代替することもある) とを併せ、成績を評価する。

教科書

特定の教科書は使わず、毎回の授業でプリントを配布する。

参考書等

参考書、参考文献は、授業の中で紹介する。

科目名**担当者名**

村落地理学

たかほしけんたろう
高橋健太郎**講義のねらい**

日本と中国の村落を比較しながら、村落の形態・構造・機能、および農業や村落地域活性化に関する行政や住民の取り組みについて理解を深める。

**講義の内容・
授業スケジュール**

まず村落のとらえ方、村落の立地と変容について説明し、次に日本の村落の事例として、中山間地域、沿岸地域、都市近郊地域などを取り上げ、それらの地域の特徴と行政や住民の取り組みを紹介する。グリーンツーリズムについても説明する。

中国の村落については、改革開放政策と農村の変容、地域間格差、貧困問題、環境問題などのテーマについて解説する。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法

教場レポートの内容（30%）と定期試験の結果（70%）で採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

主な参考書は次のとおり（授業スケジュール順に掲載）。その他については、授業中に随時紹介する。

山本正三ほか『日本の農村空間』（古今書院）

宮崎 猛編『グリーンツーリズムと日本の農村』（農林統計協会）

中島峰広『日本の棚田』（古今書院）

高橋 誠『近郊農村の地域社会変動』（古今書院）

河原昌一郎『詳解中国の農業と農村』（農山漁村文化協会）

張 玉林『転換期の中国国家と農民』（農林統計協会）

王 文亮『中国農民はなぜ貧しいのか』（光文社）

石田 浩『中国農村の構造変動と「三農問題」』（晃洋書房）

地
理

科目名

担当者名

都市地理学

はしづめ なおみち
橋 詰 直 道

講義のねらい

モノ・ヒト・情報の交換や文化の創造空間として変化しつづけている現代都市のシステムやその機能及び都市の抱える諸問題をさぐる。

講義の内容・
授業スケジュール

年間の講義内容は、次の項目を予定している。①②都市の概念(都市とは・都市研究とは)、③④都市システム(中心地理論・日本の都市システム)、⑤⑥都市機能の分類(アメリカと日本での研究)、⑦⑧都市の内部構造(都心の機能・都心の構造)、⑨⑩都市化と大都市圏(郊外化・スプロール)、⑪⑫都市の居住空間(居住地移動・都心の再開発)、⑬⑭郊外の居住空間(郊外住宅地・郊外の生活)、⑮⑯都市と高齢化(団塊世代・少子高齢化社会と女性)、⑰⑱都市の環境(生活環境と犯罪)、⑲⑳都市住民の行動(生活時間と生活行動)、㉑～㉓都市空間の認知(メンタルマップ・居住地選好)、㉔㉕都市環境の整備(都市計画・田園都市)、㉖まとめ(テスト)

これらの項目について最近の都市地理学と関連分野の研究成果を中心に講義する。

履修上の留意点

毎時間の出席や授業への参加状況も重視する。

成績評価の方法

中間試験(7月最終授業日)及び学年末試験の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験(課題を含む)の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

高橋伸夫・菅野峰明・村山祐司・伊藤 悟『新しい都市地理学』(東洋書林) 2,500円
石水照雄編『都市空間のシステム』(古今書院) 3,605円
森川 洋『日本の都市化と都市システム』(大明堂) 3,800円
荒井良雄・川口太郎・岡本耕平・神谷浩夫訳『生活の空間都市の時間』(古今書院) 3,000円
荒井良雄・岡本耕平・神谷浩夫・川口太郎『生活の空間と時間』(古今書院) 3,090円
若林芳樹・神谷浩夫ほか編著『シングル女性の都市空間』(大明堂) 2,800円
その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

その他

講義は、配布プリント及びOHP、PC画像を中心に行い、課題や小テストも実施したい。

地
理

科目名

交通地理学

担当者名つち なたに とし はる
土 谷 敏 治**講義のねらい**

現代社会において、1 地域は人・物資・情報をはじめとする各種の相互作用によって他の地域と密接に結びついており、相互に依存し合っているといえよう。本講義では、(1)前期は、これらの地域間の結びつきを反映する都市システム構造と、これらの結びつきから都市システム構造を分析する方法を解説すること、(2)後期は、現在の交通システムの特色とその問題点を明らかにし、今後の交通政策に求められることを考えること、の2点をねらいとしている。

講義の内容・授業スケジュール

前期はこれまでの交通地理学の研究成果を中心に、後期は具体的な事例を中心に次のような内容を予定しているが、講義担当者も少しは勉強していきたいと考えているので、その成果によっては多少の変更が生じるかもしれない。

前期

1. 交通と都市システム
2. 交通ネットワーク
3. 交通とアクセシビリティ

後期

4. 都市圏内部における公共交通の現状と課題
5. 鉄道交通の現状と問題点

履修上の留意点

多少の数字・数式等を用いて講義を進めるので、了解しておくこと。ただし、その内容は中学校程度のものであり、数学の専門的知識はとくに必要としない。

成績評価の方法

前期最終回(7月)の中間試験と、1月の定期試験時の2回の試験を実施する。2回の試験は、それぞれ100点満点で採点し、その合計点で成績を評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

井田仁康『航空旅客流動と空港後背地』(大明堂)
奥井正俊『自動車交通の地域分析』(大明堂)
奥野隆史『交通と地域』(大明堂)
奥野隆史『計量地理学の基礎』(大明堂)

その他

後期は、具体的な事例を示すため、スライド・ビデオを使用する。

地
理

科目名	担当者名
文化地理学	小田 匡 保

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 信仰圏
5. 宗教集落・宗教都市
6. 巡礼・社寺参詣
7. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、夏休みレポート、試験（前期・後期の2回、持込不可）によって行なうが、試験の点数が基本である。ただし、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が低い時はもちろんだが、出席回数が足りない場合、レポートが受理されない場合も、単位は認定されない。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名
文化生態学	中 俣 均

講義のねらい

いわゆる「伝統的」な文化地理学の一分科として「文化生態学」を位置づけ、その内実を説明する。特に日本の文化地理学における主流派としての文化生態学という側面を強調したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、学説史をふまえた文化生態学の概説、後期には、応用編として「島 (island)」の文化生態学を語る。

履修上の留意点

教室内での私語は厳に慎まれない。

成績評価の方法

前期・後期とも、レポートの提出を求め、それによって成績を評価する。なお、レポートは提出期限厳守で、いかなる例外も認められないので、授業中になされる指示および掲示等によく注意していること。今のところの予定では、前期レポートは夏休み後、後期レポートは学年末試験期間中に回収する予定。

教科書

講義開始時に詳しく指示する。基本的に決まった教科書の採用は予定していない。(参考書も同様)

その他

講義によって授業を進める。ただし、なるべく教員側からの一方的な情報提供に終わらないような工夫をしたいと考えている。

科目名	担当者名
歴史地理学	小田 匡保

講義のねらい

主に日本の歴史地理について講じる。昨年度までと違って、今年度は前期に歴史時代の村落・都市について概観し、後期に、特に近代以降の歴史地理学の資料について述べる。歴史地理学の範囲は非常に広いので、「浅く広く」を基本に授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール

1. 歴史地理学とその概要
 2. 歴史時代の村落（先史から近代まで）
 3. 歴史時代の都市（古代から近代まで）
 4. 歴史地理学の資料
- *受講生が少ない場合は、大学周辺のミニ巡検を1回行ないたい。
*前期は、今年度はじめての内容を盛り込む予定なので、授業スケジュールは不確定の部分がある。

履修上の留意点

この科目は、地理学科・歴史学科両方の専門科目であるが、教員は地理学の人間であるので、地理学的内容が中心になる。地理学科の学生も、ある程度の日本史の知識を持っていることが望まれる（覚えることが多い）。歴史が苦手な人には向いていない科目である。ただし、古文書が読める必要はない。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、夏休みレポート、試験（前期・後期の2回、持込不可）によって行なうが、試験の点数が基本である。ただし、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が低い時はもちろんだが、出席回数が足りない場合、レポートが受理されない場合も、単位は認定されない。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名
リモートセンシング	田中 靖

地
理

講義のねらい

リモートセンシングとは、離れた所から非接触で対象物を同定あるいは計測し、その性質を分析する技術の総称である。このうち、主に空中写真の判読や衛星画像解析から、地理学的に意味のある空間データを抽出する研究は、リモートセンシング研究の最も重要な一分野として位置付けられている。そこで本科目では、デジタル化された空中写真画像や人工衛星画像データを用いて、画像解析の基礎を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. リモートセンシング入門
2. 電磁波
3. リモートセンシングで用いられるデータ
4. 画像分類による土地利用図の作成
5. 植生指数の計算
6. 地表面温度分布図の作成

履修上の留意点

地図の読図・作図作業およびコンピュータによるデータ処理が好きな学生に向いている。コンピュータや数学の現在の能力は問わないが、積み上げが大切な科目なので出席を重視する。

成績評価の方法

出席点と授業内で行なうテスト、および最終成果物で評価する。

教科書

田中邦一ほか著『フォトショップによる衛星画像解析の基礎』（古今書院）3,600円

参考書等

適宜紹介する。

その他

授業はPC教場での実習を中心に行う。

科目名**担当者名**

環境地理学

早船元峰

講義のねらい

自然の人間への影響、人間の自然へのはたらきかけについて、土地利用・災害などを通じ歴史的観点をふまえて論じる。

講義の内容・授業スケジュール

前半
・北海道美瑛町・富良野市の傾斜地（観光資源“丘”）における土地利用の変化と環境保全（土壌侵食防止など）について。

後半
・多摩川上流域の山腹斜面における日本古来の伝統農法と環境保全について。
・ビオトープ・環境基本計画について。

成績評価の方法

課題（主題図の作成）・レポート・出席状況などによる平常点。

科目名**担当者名**

計量地理学

土谷敏治

講義のねらい

地理学の分析に必要な統計的方法・計量的方法を理解するとともに、それらの方法を用いて実際にデータを処理・分析し、さらにその結果を解釈する能力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、下記の各項目について解説する。

1. 統計データの種類と特色
2. 統計データの集計
3. 基礎統計量
4. 代表的な度数分布の型
5. データの検定
6. 相関・回帰分析
7. 多変量解析

後期は、前期に学習した分析方法について、実際にデータを処理・分析・考察することによって、それぞれの方法の理解を深める。そのため、提示されたデータや受講者各自が収集したデータを分析・考察して、結果をレポートとして提出する。また、担当者を決めて分析結果の発表を行い、全員で討論する。なお、計量的分析にはコンピュータの使用が必要であり、総合情報センターと地理学科のコンピュータを使用する。

履修上の留意点

この授業は実習的側面ももっているため、毎回の出席と、後期においては課題の提出が重要である。なお、コンピュータを使った分析では、Microsoft WindowsとMicrosoft Excelをおもに使用するため、これらを使いこなせることが履修の条件である。ただし、これらの未経験者であっても、前期において「計量地理学実習」をあわせて履修する場合は、本講義を履修することができる。また、総合情報センターを使用するため、その利用者登録を行う必要がある。

成績評価の方法

前期：7月の最終回に試験を実施する。

後期：試験は行わず、提出されたレポート・発表内容・討論への参加状況を得点化する。
成績評価は、前期試験の得点、後期のレポート・発表・討論の評価点に出席率を加味して行う。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

奥野隆史『計量地理学の基礎』（大明堂）
野上道男・杉浦芳夫『パソコンによる数理地理学演習』（古今書院）

その他

教場の関係で受講生を制限することもあるので、4月第1回目の授業に必ず出席すること。

科目名

担当者名

応用地理学

たかぎまさひろ
高木正博

講義のねらい

この科目は地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水文学などの成果をふまえつつ、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域(地域)における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあいを、水災害・水資源・河川環境などの視点から講ずる。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれの河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について考える。年間の授業内容は下記の通り予定している。

1. 河川と関連学問分野 2. 河川流域の水収支 3. 日本の河川流況特性 4. 河成平野の地形分類と防災 5. 河道治水から流域治水へ 6. 水防の再構築 7. ダムと森林 8. 日本の水利用 9. 農業用水の利用と問題点 10. 渇水とは… 11. 水資源の有効利用 12. 農業用水を考える 13. 多摩川における水利権の変遷 14. 地域用水と環境用水 15. 河川環境など

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

試験は、年末(授業最終日)に実施予定の教場試験1回。その他、夏休みのレポート、授業中の課題など平常点も加算する。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

配布プリントをとおり随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

地
理

科目名	担当者名
地域計画論	原 昭 夫

講義のねらい	地域とは、立地・規模・歴史・自然・生産形態などにより多様な姿を持ち多様な課題を表出している。そうした地域を見る眼を養う。
講義の内容・授業スケジュール	1) 前期：i) 4～5月／地域を知る：地域や都市の姿、成り立ち、現況、動態等を把握する。 ii) 6～7月／課題を発見する：地域や都市がどのような課題を抱えているか発見し考察する。 2) 後期：i) 9～10月／課題を考える：それらの課題がどのような原因を持つかを考える。 ii) 11～12月／地域を計画する：地域の課題を解決する方策を考え、将来像を描き提案する。
履修上の留意点	現代日本および世界の地域や都市全般の動向について幅広い関心を持ち、そこでの課題や困難の改善や克服について強い意欲を有し、その解決案を「計画」として提示できること。
成績評価の方法	出席（授業への積極性の評価）およびレポート（年数回、折々の社会や環境についての自己の意見・論評・提案等の独自性の評価）。
教科書	原昭夫著『自治体まちづくり』（学芸出版社）2,800円＋税
参考書等	『都市計画』（共立出版）3,800円＋税 『都市計画論』（NHK出版）2,400円＋税 その他授業の都度に提示する。
その他	講義形式を基本とし、テーマによってはスライドも使用。聴講人数によっては共同作業型演習（「地域計画作成ワークショップ」）なども考えたい。（前年度は実施した。）

科目名	担当者名
地理情報論	村 山 祐 司

地
理

講義のねらい	地理情報の収集と空間解析の方法について説明するとともに、近年注目を集める地理情報システム GIS について概説する。 GIS は、地図（地域）情報と属性（主題）情報を一元的に取り扱う。多様な情報源から大量の空間的データを取り込み、地図情報を主体としたデータベースを作成する。それを効率的に蓄積・検索・変換・解析して、地図出力やレポート作成などを行い、ユーザの意思決定を支援する。 GIS は、国土、県域、都市などの計画管理・行政支援、ビジネスをはじめ、多くの分野で活用され始めている。極めて将来性に富んだ分野である。
講義の内容・授業スケジュール	1. 地理情報の収集方法（文献） 2. 地理情報の収集方法（統計データ） 3. 地域分析に有用な統計パッケージ 4. 地理情報と空間分析 5. 多変量解析 6. 地理情報システム GIS とは 7. GIS のハードウェア 8. GIS の発展史 9. GIS のデータ構造 10. アナログ地図とデジタル地図 11. ラスターデータとベクターデータ 12. 社会モニタリング 13. GIS の空間解析機能（オーバーレイ・バッファリング） 14. GIS の空間解析機能（ネットワーク分析・テッサレーション） 15. GIS の社会的応用（環境問題・防災） 16. GIS の社会的応用（行政・民間） 17. インターネットによる GIS・地理情報の入手 18. インターネット GIS 19. GIS の将来 20. 地理学と GIS（まとめ）
成績評価の方法	期末テストの結果に出席回数を加味して行う。
教科書	村山祐司編『地理情報システム』（朝倉書店）2,800円 2005年
その他	1) 駒澤大学「総合情報センター」において、GIS のデモを行う。 2) GIS 関連の企業・行政機関を訪問し、地理情報システムの使われ方に関して実地見学を行う。

講義のねらい

地理学の調査・研究においては、もちろん現地調査は最も重要なものの1つである。しかし、事前に関連する既存の文献をよく読んだ上で、まず調査・研究の手順を学んでおく必要がある。それを踏まえて、調査の目的・調査地域・調査スケジュールの設定を行うとともに、統計資料等を用いて調査地域の特色を把握する。現地調査後は、収集資料を整理・分析し、調査結果をまとめる必要がある。このような視点から、本授業では都市の問題を主要テーマとして、まず文献検索・文献研究を行い、調査・研究の仕方を学ぶとともに、現地調査前後の準備段階から最終的な報告書作成までの総合的能力を身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のようなスケジュールに沿って授業を行う。

〈前期〉

- ①現地調査で取り上げようとするテーマに関連する論文を読み、その内容をまとめて発表する。
- ②各種統計資料などによって、調査地域の特色について分析を行いレポートにまとめる。
- ③各自の調査目的、調査地域を決定する。なお、複数人で共同研究してもよい。

〈後期〉

- ④現地での調査内容や調査スケジュールを決定する。
- ⑤現地調査。
- ⑥調査結果の整理・分析、図表化を行う。
- ⑦調査結果をレポートとしてまとめる。
- ⑧調査結果を発表し、全員で討論する。
- ⑨各自のレポートをまとめて、報告書を作成する。

調査対象地域：北海道、青森県、秋田県、愛知県、岐阜県、岡山県、高知県にある都市のうち1都市を選択する予定である。詳細は授業の中で、受講者の希望を聞きながら決定する。
現地調査日程：10月の上旬を予定している。

履修上の留意点

現地調査はもちろんであるが、その前提となる論文研究や事前の計画・準備、調査後の資料整理や分析が重要である。とくに、毎回の出席は不可欠であり、出席率が8割を下回った場合は、単位を認定しないことがあり得る。また、積極的な討論への参加、事前・事後の発表、レポートの提出、報告書作成作業への参加も必要である。

成績評価の方法

文献のまとめ方、事前調査のレポート、現地調査状況、調査結果の整理・分析と口頭発表の内容、討論・報告書作成作業への参加状況、授業への出席を総合して評価する。

教科書

とくに指定しない。

その他

事前の準備、現地調査では、1人、あるいは3・4人からなるグループに分かれて、それぞれの担当内容を決めて行う。

科目名	担当者名
地域文化調査法(現地調査含む)D	小田匡保

講義のねらい	1. 人文地理の諸テーマについて地域調査の経験をすること。 2. 収集した資料を、体裁の整ったレポートにまとめる練習をすること。
講義の内容・授業スケジュール	現地調査に出かける前に、文献・統計などの資料を収集・分析し、簡単な事前レポートにまとめる。現地では、聞き取り調査・観察調査を中心に行なう。その後、集まった資料を分析・整理し、最終的な報告書をまとめる。
履修上の留意点	体裁・内容の不十分な報告書原稿は、現地の方に送って見ていただいても恥ずかしくないよう、何度でも修正してもらう。修正する教員にとっても大変な作業であり、受講生も頑張ってもらいたい。
成績評価の方法	成績評価は、授業の出席状況、現地での調査態度、提出されたレポート・報告書原稿の内容などを総合して判断する。
教科書	使用しない。
参考書等	使用しない。
その他	調査地は宮城県、現地調査の期日は9月下旬または10月上旬を考えている。詳細は4月のオリエンテーション時に発表する。

科目名	担当者名
地域文化調査法(現地調査含む)E	佐藤哲夫

地
理

講義のねらい	土地利用や景観を手がかりに、地域の特色を研究する方法を学びます。
講義の内容・授業スケジュール	沖縄県那覇市内の市街地について、この数年間の変化を調査します。いくつかのグループに分けて、現地調査はグループごとにテーマを決めて、市内の何か所かを比較調査します。 現地調査は11月上旬(3泊4日)の予定です。 調査前には地図や写真などの情報や、統計情報を処理する技術について学び、調査後、直ちに調査報告会を行ないます。その後、グループごとに調査結果をまとめます。
履修上の留意点	レポートは全てワープロなどで作成してもらいます。
成績評価の方法	出席状況、発表内容、現地での調査の積極性、調査報告の内容などを総合的に評価します。
参考書等	必要な資料は配布します。

科目名	担当者名
地域文化調査法(現地調査含む) F	須山 聡

講義のねらい

本授業はフィールドワークを主体とした卒業論文の作成を前提とし、研究課題の設定・事前調査・調査計画の立案、現地でのフィールドワーク、収集資料の分析、報告書の作成といった一連の過程を経験し、そのなかから地理学調査の具体的な方法を学びとることを目的とする。要は卒業論文を書くときにまごつかないようにするための授業である。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は鹿児島県の奄美大島を対象地域とし、7月上旬に5泊程度の現地調査を実施する予定である。現地調査実施前には、研究課題の設定(文献講読を含む)および調査計画の立案(調査票の作成などの具体的な準備を含む)までを行う。後期は現地で収集した資料の分析、報告書の執筆を行う。報告書原稿は最低でも3回以上チェックするので、教員・学生ともどもかなりの負担となることが予想される。

履修上の留意点

交通費・宿泊費に多額の出費(8万円程度か?)が見込まれるので、本当に関心のある学生のみ参加してもらいたい。現地調査は、数人のグループを単位としてそれぞれテーマを設定する。当該地域には膨大な研究蓄積があるので、先行研究を参照してテーマを決めてもらいたい。興味本位で安易なテーマを選ぶと苦勞するのは本人たちである。

成績評価の方法

参加の積極性と報告書の達成度を規準とする。

参考書等

正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル—よりよい地理学論文作成のために—』(古今書院)1994年、214p
市川健夫『フィールドワーク入門—地域調査のすすめ—』(古今書院)1985年、237p
上野和彦編『地域研究法』(大明堂)1990年、191p

科目名	担当者名
地域環境調査法(現地調査含む) B	江口 卓

講義のねらい

フィールド調査による環境研究の基礎的な流れを理解することを目標とする。つまり、問題設定、調査計画の策定、調査、調査のまとめ、報告書の作成という一連の流れを実際経験する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は調査地域に関連する文献や各自の調査テーマに関連する文献を読んだり、地図の分析やデータの解析を行い、調査の事前準備を行う。
後期は、調査を行った後、調査のまとめと報告書の作成を中心に行う。

履修上の留意点

毎回出席し、レポートの提出期限は厳守すること。

成績評価の方法

レポートおよび出席状況を総合して評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

授業中に適宜指示する。

地
理

科目名

担当者名

地域環境調査法(現地調査含む)D

なが ぬま のぶ お
長 沼 信 夫

講義のねらい

下記の地域を題材に、地理学の調査方法の修得と共に現地調査で得られた資料などから、その地域的な特色を把握・検討することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

この科目では現地調査を中心に行う。
 前期 4月～6月事前調査 資料収集、図上作業、調査テーマの決定など
 7月現地調査 次の要領で実施する予定
 主要テーマ：島嶼における自然と生活環境の現状
 地域：鹿児島県大島郡喜界町（喜界島）
 期間：平成18年7月3日（月）～7日（金）〔4泊5日〕
 後期 9月～10月資料整理の作業、11月レポート（報告書）の作成および研究調査の成果報告会、12月研究成果の報告書（作成→印刷→完成）

履修上の留意点

特に出席を重視するので、遅刻・欠席をしないよう望む。

成績評価の方法

口頭発表、レポートの提出、出席回数などによって総合的に評価する。

教科書

必要な地形図、文献・資料などは現地調査前の準備段階で指示する。

参考書等

必要な地形図、文献・資料などは現地調査前の準備段階で指示する。

その他

各自の調査テーマや内容は、学生諸君の自主性に委ねる。調査地域が遠方のため、交通費（飛行機利用）は多額となる。

科目名

担当者名

地域環境調査法(現地調査含む)F

ひら い ゆき ひろ
平 井 幸 弘

地
理

講義のねらい

地理学の研究でとくに環境問題に関するテーマを掲げる場合、まずは現場を訪ねることが必要不可欠である。その場合、具体的なテーマの設定、事前の学習、現地での調査や資料の収集、テーマに関する課題の分析と考察、レポートのまとめなど、しかるべき調査方法を習得しておくことが重要である。本授業では、夏期休暇明けに数日間の現地調査を実施するが、前期はその準備を、後期は取りまとめを中心に、上記の各点について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）野外調査の基本的な方法論、調査地域の概観、基礎的な文献・資料の収集と地図作業
 （夏季休暇明け）現地調査：日本国内の海跡湖（ラグーン：サロマ湖、ウトナイトウ、小川原湖、浜名湖、中海など）のうち1カ所を取り上げ、その周辺地域で、湖をめぐる開発や環境問題等について現地調査を行う。具体的な日程と調査地域はガイダンス時に明示する。
 （後期）現地調査にもとづくテーマに関する課題の分析と考察、レポートのまとめ

履修上の留意点

自らのテーマを見出し、積極的に現地調査に参加することが望まれる。

成績評価の方法

授業・現地調査への出席および1年を通して各自のテーマへの取り組み状況を総合して成績評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名
地域文化演習A	高橋 健太郎

講義のねらい	農山村地域の生活文化や地域社会の特徴、および地域活性化の取り組みへの理解を深め、さらに聞き取りや資料収集の手法の基礎を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	この授業のおおよそのスケジュールは以下のとおり。 前期：研究論文の精読、調査テーマの設定、文献資料の収集と検討、調査計画の立案、フィールドワーク（聞き取り調査）の準備、世田谷区役所訪問 後期：フィールドワーク、調査資料の整理と分析、調査結果の発表、PCによる地図の作成、調査報告書の作成 まず、村落地理学関連の研究論文を輪読し、内容を順番に報告する。その後、フィールドワークの準備に入る。 フィールドワークは、世田谷区と交流がある群馬県川場村の農山村地域において3-4泊程度で実施する予定である。調査項目の詳細は受講者と相談して決めるが、主に次のようなテーマが考えられる。山村における農林業の取り組み、グリーンツーリズムと都市・農村交流、少子高齢化と地域社会の変容、UターンやIターンの地域社会への影響、観光開発と地域振興など。選択したテーマにしたがって、グループ別に調査計画の立案から調査報告書の作成までを行う。 事前の準備やフィールドワーク、調査報告書の作成など、年間を通して相当量の作業が見込まれ、調査旅費もかかる。そのため、問題意識をもち、自分から積極的に行動できる方のみ受講されたい。 加えて、過去に「村落地理学」を受講したことがあるか、今年度に受講することが望ましい。 出席状況、授業中の発表内容、討論への参加状況、フィールドワークでの活動状況、調査報告書の内容で評価。 浮田典良ほか『ジオ・パル21-地理学便利帖-』、海青社。
履修上の留意点	
成績評価の方法	
参考書等	

科目名	担当者名
地域文化演習B	橋詰 直道

地
理

講義のねらい	近年の人文地理学に関する専門分野の論文をレビューし、発表することで地域の課題や調査方法を学び、実際に地域調査を実施することで人文地理学研究の課題を探る。
講義の内容・授業スケジュール	人文地理学に関する課題論文レビューと地域調査を中心に行う。全員が人文地理学の課題論文を複数編レビューし、レポートにまとめ、発表・議論することで、今日の研究動向を把握する。夏休み課題は、各自のテーマに沿って現地調査を行いレポートを作成し提出する。後期は関東地方の小都市において地域調査を行い、分析方法やプレゼンテーション（報告書の作成を含む）の方法などについて学ぶ。課題論文は、原則として2000年以降の人文地理、地理学評論、地理科学、季刊地理学などに掲載された地域調査に基づく実証的研究論文の中からレビューすることになる。
履修上の留意点	課題論文が多く出されるので、出席状況や授業への参加姿勢も重視する。課題論文の発表は、年間スケジュールを作成して行うので、欠席・遅刻をしないこと。
成績評価の方法	期間中に提出される課題論文に関するレポートや発表内容、夏休み中の課題、現地調査報告書作成への取り組み姿勢や授業への出席状況などを総合的に評価する。
参考書等	特に定めないが、課題論文の詳細は5月に決定する。夏休み中の課題の詳細、及び後期の現地調査先（関東地方の小都市）は5月以降に決定する。
その他	課題論文のレビューは、指定された様式のレポートにまとめ、ゼミ員全員に配布（各自で印刷）した上で、発表する。『地理学文献目録』（図書館）などを利用した十分な文献調査が必要である。

科目名

担当者名

地域環境演習 A

はや 船 げん ぼう
早 船 元 峰

講義のねらい

自然が破壊された主に都市部における自然環境の復元の技術を、ビオトープの創出や雑木林の手入れなどの実体験を通して学ぶ。さらに、地理写真撮影の技法を室内外において修得する。

講義の内容・授業スケジュール

前半：各人興味のある分野に関する論文を読み、その内容を要約して発表し、所感を述べる。

履修上の留意点

班別もあるので、欠席なきよう努めること。

成績評価の方法

出席状況・発表・レジュメなどで評価する。

その他

基本を学ぶため、35mm カメラではライカ、中判カメラではハッセル、ビューカメラではリソフなど手動操作の旧タイプを主に使用する。

科目名

担当者名

地域環境演習 B

たか ぎ まさ ひろ
高 木 正 博

講義のねらい

主として水文学や水利用に関する研究分野を対象とする。授業では研究論文を読み、内容を理解し、研究・調査の方法、論文の書き方などを具体的に学ぶことを目的とする。受講者全員に年2回、論文の紹介と各自の研究テーマに関する発表を義務づける。場合によっては現地調査（巡検）も考慮する。卒業論文を意識した研究テーマを探してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は研究テーマを探すことに重点を置く。現在関心あるテーマについて調べた結果を発表し、研究テーマとなりうるかを討論する。発表テーマ・発表日は事前に決めておき、当日は発表者がまとめたレジュメをもとに、全員でその内容を討論する。

後期も同様に発表形式をとるが、論文紹介に重点を置く。論文は各自の研究テーマと関連したものを選択し、その内容および各自のテーマとの関連性について詳しく説明する。または、夏休みの調査結果などを報告してもよい。

履修上の留意点

受講者は日頃から積極的に発表・討論に加わる意識が求められる。発表者は無断欠席しないこと。

成績評価の方法

発表内容、レジュメ（レポート）、討論への参加状況など平常点を評価する。

参考書等

肥田 登『秋田の水—資源と環境を考える—』無明舎出版

科目名	担当者名
地理学演習	江口卓

講義のねらい	地理学における論文の作成の流れを、卒業論文の作成を通して理解することを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、各自の卒業論文の方針発表、関連文献の発表、調査の中間報告を行う。 後期は、各自、卒業論文の報告を中心に進める。
成績評価の方法	出席を含む平常点で評価する。
教科書	教科書は使用しない。
参考書等	授業中に適宜指示する。

科目名	担当者名
地理学演習	小田匡保

講義のねらい	1. 卒業論文の作成を通じて、論文・レポートがきちんと書けるようになること。 2. 人前でわかりやすく発表できること。 3. 他の人の発表・報告に対して、質問したり、自分の意見を言えるようになること。
講義の内容・授業スケジュール	前期：従来の研究例を参考に、自分の卒論の構想について発表する（2回）。 後期：現地調査・データ整理の結果をふまえた発表を行なう（2回）。 1月：卒論発表会。
履修上の留意点	発表の後は、受講者の間で互いにディスカッションをする。素朴な質問でよいから、受講者全員がディスカッションに参加することを期待する。もちろん、担当教員もできる範囲で助言する。就職活動・教育実習などで忙しいだろうが、できるだけ出席して他の人の発表を聞き、討論に参加すること。 4月最初の授業は、発表スケジュールを決定するので、必ず出席すること。
成績評価の方法	成績評価は、出席状況と発表・討論内容によって行なう。 卒業論文の評価とは別である。
教科書	使用しない。

地
理

科目名	担当者名
地理学演習	桜井明久

講義のねらい	ある地域の事象ないしはある地域の人文地理学的課題について、討論を通じて、その調査方法を考え、資料を集め卒業論文として完成させる。
講義の内容・授業スケジュール	前期については課題を解くための方法、調査法を中心に考える。後期については、収集した資料から説明すること、もしくはその説明のための統計資料の加工や表現方法について考えたい。
履修上の留意点	自分の卒論研究について考えるのは当然であるが、仲間の研究の討論に積極的に参加することが重要である。そのことによって自分の研究の仕方にも刺激が得られるであろう。
成績評価の方法	ゼミへの参加の状況と討論への参加の状況、並びに各自の研究への取り組みを総合的に評価する。

科目名	担当者名
地理学演習	佐藤哲夫

講義のねらい

この演習では卒業論文を作成するための調査の方法、資料の収集整理の方法、報告の発表方法などについて学びます。

講義の内容・授業スケジュール

4月の第1回の授業までに研究対象を決定します。国内の地域を研究する場合は、調査地域をカバーする地形図や住宅地図などを直ちに入手し、現地を踏査して概況の把握をしてください。海外の地域を研究する場合は、関連文献を徹底的にリストアップし、その所在を確認します。

その後は、おおむね次のようなステップに従って研究を進めます。

- 1 研究対象を決定し、その概況を把握して研究テーマの方向付けを行います。(5月)
- 2 文献リストを作成し、重要な文献を読んで研究の目的・方法を限定します。(6月)
- 3 仮説(あるいは暫定的な解釈)を設定します。(7月)
- 4 現地調査または資料調査により、仮説の検証に必要なデータを収集します。(8月)
- 5 収集した情報を整理し、章立てによって論文の構成を組み立てます。(9月)
- 6 論文の構成を修正しつつ、執筆を進めます。(10・11月)

合同での指導を発表会形式で数回実施します。それ以外は各自の都合に合わせて対応しますので、各自が責任をもって研究を進めてください。発表会の日程は、最初の授業時間に相談して決めます。

共通のテーマをもった受講者がいる場合には、グループで分担して文献を輪読することも予定していますが、これについては、参加者と相談して決めます。

履修上の留意点

緊密なコンタクトをとって相談を重ねることが重要です。Eメールを通じた指導も可能なので、積極的に利用してください。報告・相談する場合には、必ずB5またはB4版の報告メモを作成してきてください。文章にすることで頭の中を整理できます。口頭での説明は、その場しのぎに過ぎません。

成績評価の方法

参加の積極性で評価します。

科目名	担当者名
地理学演習	須山聡

講義のねらい

卒業論文の作成を指導する。

講義の内容・授業スケジュール

毎回1人ずつ進捗状況を発表する。前期はテーマの決定、対象地域・方法・調査計画の立案、予備調査の実施までに到達することを目標とする。テーマは各自の構想を提示してもらい、参加者全員の討論でより緻密な内容に仕上げる。もちろんこれらの作業が早く進行すれば、前期中に現地調査やデータの分析にとりかかることも可能である。フィールドワーク主体のテーマを設定した者は、夏休みが勝負となる。後期は収集したデータの分析・整理を前期に立てた予定にたがって遂行する。その経過は逐次発表し、参加者全員からの意見やサジェスチョンを盛り込み、内容を高度化させる。執筆段階においては、原稿のチェックを随時行う。

履修上の留意点

多くの参加者にとって卒論は学校教育の締めくくりとなるものであろう。これ以上「勉強」することはないのであるから、これまで得てきた能力のすべてを傾注されることを望む。就職活動などで4年生は多忙であろうが、中途半端な「やっつけ仕事」として卒論を捉えられることをもっとも危惧する。最初の授業までに卒業論文の構想を立案しておくことを希望する。

成績評価の方法

演習であるので、発表内容はもちろんのこと、質疑参加の状況も評価の対象となる。

教科書

とくに定めず、各自に適切なものを紹介する。

その他

授業時間内で不足な場合、個別指導を行う。

科目名	担当者名
地理学演習	たかぎ まさひろ 高木 正博

講義のねらい

卒業論文の作成指導を主体とする。とくに、1. 適切な論文のテーマを設定すること、2. 研究成果の要旨をまとめて発表すること、3. 論文作成の具体的な方法を指導することなどである。

授業では、文献講読、資料の収集・選択・整理、現地調査や主題図作成を課題として指示する。また、年2回の発表を義務づけ、出席者相互の活発な討論をとおして問題意識を高めてゆく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は卒論題目の決定を目指す。各自がこれまでに描いてきた研究構想について発表し、その内容に応じた適切なテーマを考える。現地における調査研究の方法についても検討する。

後期は、現地調査や文献・資料などから得た結果を整理・考察して発表する。その際、研究上重要な主題図を示す必要がある。これについて、出席者全員で討論しあい内容の充実をはかる。このほか、執筆要領など論文作成上の諸事項についても指導する。

履修上の留意点

テーマに沿った研究・調査は、早くから手掛けることが重要である。

受講者は、日頃から積極的に発表・討論に加わってほしい。自分に関係ないと思われるテーマでも、議論してゆくと参考になる事柄があるので無関心ではいられないはずである。場合によっては調査に協力してもらえらるであろう。授業を欠席する場合は、必ず事前に連絡すること。

成績評価の方法

課題の提出状況、口頭発表や討論への参加状況など、平常点で評価する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

基本的には教場を使用するが、少人数の時や文献調査が必要な時は教員研究室も使用する。

科目名	担当者名
地理学演習	たか ほん けん たろう 高橋 健太郎

地
理

講義のねらい

卒業論文の作成を進めながら、フィールドワークや文章執筆の方法を習得し、加えて地域社会を理解する力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前期：研究論文の精読と報告、研究テーマの設定、研究計画の立案、調査地域の設定、文献資料の収集と検討、フィールドワーク

後期：フィールドワーク、調査結果の整理と分析、地図の作成、論文執筆、研究成果の発表

履修上の留意点

卒業論文作成についての相談にはできる限り対応するが、卒業論文は最終的には自己責任で完成させるものであるということを、受講者には認識してもらいたい。

成績評価の方法

出席状況、授業中の発表内容、討論への参加状況、卒業論文発表会での発表内容で評価。

参考書等

浮田典良ほか『ジオ・パル21-地理学便利帖-』、海青社。

科目名	担当者名
地理学演習	田中靖

講義のねらい	卒業論文を完成させることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	4月：研究テーマの設定 5月～7月：共通テーマでの勉強会、巡検など 夏休み前：方針発表 夏休み：調査、解析作業 10月：中間発表 12月：卒業論文提出
履修上の留意点	相談には可能な限り対応するが、できるだけ主体的に取り組むこと。
成績評価の方法	平常の研究姿勢で評価する。
教科書	適宜紹介する。
参考書等	適宜紹介する。

科目名	担当者名
地理学演習	土谷敏治

講義のねらい	3年間に学習した成果をふまえ、各自が卒業論文作成のスケジュールをつくり、そのスケジュールにしたがって、卒業論文の目的設定、研究の意義づけ、研究対象地域の選択、資料収集、現地調査、資料整理、分析、図表化、考察を行い、論文を完成させるための演習・指導を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	4月：これまでの学習成果と卒業論文の題目・目的について発表する。5・6月：各自の研究の参考となる論文を紹介するとともに、自分の研究の目的と意義、研究対象地域の概要、分析資料・調査方法について発表し、全員で討論する。7月：夏休み中の研究・調査計画について討論する。8月：夏休み中に各自が資料収集、現地調査、データの分析を行い、中間報告をまとめる。9～10月：研究の中間報告を行い、各自の研究の長所や問題点について討論することにより、今後の研究の方向づけをする。11～12月：最終的な分析・研究内容について討論し、卒業論文の完成をめざす。1月：卒業論文の発表会を実施し、討論を通じて全員の研究結果の総括をするとともに、各自が研究成果を自己評価する。
履修上の留意点	授業の開始時に発表担当者のスケジュールを決定し、毎回2～3名が発表を行い、その内容について全員で討論する。発表のための資料は、事前に作成し、申し出れば必要部数を学科で準備することができる。討論の際の司会・進行役も受講生が交代で行う。このため、毎回の出席がとくに重要である。就職試験、教育実習などでどうしても出席が不可能な日については、事前に本授業専用の欠席届によって、申し出ることが必要である。発表担当日がこれらの日程に重なるときは、他の受講者と発表担当日を交替すること。
成績評価の方法	発表内容が最も重要であるが、演習としての授業の性格上、出席率、討論への参加や発言回数とその内容を総合して評価する。出席していても発言がない場合は、出席者として認定しない場合もありうる。また、出席率が7割を下回った場合は、単位の認定をしない。
教科書	とくに指定しない。
参考書等	卒業論文のテーマの選定やスケジュールのたてかた、書式などについては、次の文献が参考となろう。 高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』(古今書院) 正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル よりよい地理学論文作成のために』(古今書院)

地
理

科目名	担当者名
地理学演習	ながぬまのぶお夫 長沼信夫

講義のねらい

卒業論文の作成指導を中心に行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文献・資料の蒐集・整理、調査・研究の方法、論文の書き方、さらに各自のテーマに関連する文献の紹介などについてゼミ形式で行う。
後期は、各自のテーマによる調査・研究の成果を踏まえて、主に口頭発表の形式で中間報告および討論を行っていく。

履修上の留意点

最近の卒業年次生諸君は、就職活動のためと称して頻繁に欠席する。最後の年度であるので、極力出席するよう努力してもらいたい。

成績評価の方法

出席回数、文献紹介（口頭）、レポート、卒論中間発表内容などを基に総合的に評価する。

教科書

必要に応じて、文献・資料の紹介やプリントの配布を行う。

参考書等

必要に応じて、文献・資料の紹介やプリントの配布を行う。

その他

この演習では、卒論作成に関する話題提供や討論が中心となるため、自主的に努力することが期待される。また、後期には卒論の中間発表会のための合宿（2泊3日）を予定している。

科目名	担当者名
地理学演習	はしづめなほみち 橋詰直道

講義のねらい

卒業論文の作成のための具体的指導を中心に行う。

講義の内容・授業スケジュール

4～5月は、卒業論文の研究テーマ、地域の設定、研究方法、研究計画などについて十分検討した上で、文献・資料調査法や現地調査法についての指導を行う。具体的な演習の授業は、提出された年間スケジュールを基に次のように行う。

6～7月は、それまでの文献レビューや事前調査などの成果をもとに中間発表会を個人別実施する。

9～11月は、夏休み中およびその後の調査成果をもとにした中間報告会を行い、議論を積み重ねながら、論文の書き方について具体的に指導する。

論文提出後、内容・構成など卒業論文として不完全なものは書き直しを要求する。

1月には卒論要旨集用の原稿の提出、同要旨集の印刷・製本を行う。1月末（2005年度は1月26日）に卒論発表会を行う。発表では各自パワーポイントを使用する。発表会には次期地理学演習（橋詰ゼミ）履修者の3年生も全員参加してもらう。

履修上の留意点

卒業論文の提出後、1月に卒業論文要旨集の作成と卒業論文発表会も行うので、積極的な研究への取り組み姿勢が重要である。

成績評価の方法

授業（卒論発表会を含む）への取り組み方、出席状況などを総合的に評価する。

参考書等

正井泰夫・小池一之『卒論作成マニュアル』（古今書院）2,060円

その他

事前に『地理学文献目録』（図書館）など地理学データベースを利用した十分な文献（論文）調査が必要である。

科目名	担当者名
地理学演習	はや 船 げん ぼう 早 船 元 峰

講義のねらい	卒業論文の作成および口頭発表の指導を行う。
講義の内容・授業スケジュール	前半は論文の作成・現地調査・文献資料の収集・整理・写真撮影などの方法について講じる。後半は各自テーマにしたがって調査研究した成果の発表（中間発表）や関連した論文の内容の紹介およびコメントをしてもらう。
履修上の留意点	就職活動や教育実習などで多忙であろうが、努めて出席のこと。活発な討論がなされるよう積極的態度をのぞむ。
成績評価の方法	出席状況・口頭発表・レジメなどで評価する。

科目名	担当者名
地理学演習	ひら い ゆき ひろ 平 井 幸 弘

講義のねらい	自然地理学、とくに地形学およびその関連分野から、各自が自ら興味・関心のあるテーマを発見し、それを調査・分析、さらに考察を加えて、最終的に卒業論文としてまとめるまでの諸段階について、受講生の自主性を重んじつつ、全員参加の発表および討論の場とする。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 1) 各自のテーマの設定、2) 基礎的な文献・資料の収集、3) 基礎的な地図作業・統計分析 (夏期休暇を中心に) 4) フィールドワーク (後期) 5) 現地調査をもとに課題の整理、分析、考察、6) 中間報告と討論、7) 卒業論文の取りまとめ・執筆
履修上の留意点	自主的にかつ着実に取り組むことが重要。約1週間ほどのフィールドワークは必須。
成績評価の方法	演習への出席および1年を通して各自のテーマへの取り組み状況を総合して成績評価する。
教科書	指定しない。
参考書等	適宜紹介する。

地
理

科目名	担当者名
巡検 A	さくら い あき ひさ 桜 井 明 久

講義のねらい	地域調査の方法、ないしは人文地理学の調査方法について実践を通じて学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	調査地域は未定であるが、その調査方法の概略を学ぶ。まず、おおよその調査を計画し、地域（未定）で調査方法の実習をしながら、現地調査を行い、その結果をレポートにまとめる。
履修上の留意点	実習・演習型の授業であり、グループでの活動が多くなるので、欠席は厳しく扱う。
成績評価の方法	出席、討論への参加の状況、作成された報告書を総合的に評価する。
教科書	正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル』（古今書院）1994年
参考書等	必要なものについては適宜授業の中で指示する。

科目名**担当者名**

巡検D

田中靖

講義のねらい

地域環境調査の基礎を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・調査地に関する文献調査・データ解析
- ・現地調査（一泊～二泊程度）
- ・調査結果の発表（簡単なレポートをまとめる）
調査地は、糸魚川―静岡構造線を予定している。

履修上の留意点

現地調査の場数を踏むことを最重要視する。したがって、授業時間の枠を超えた積極的な取り組みが必要である。

成績評価の方法

勉強への姿勢と提出物の内容で評価する。

科目名**担当者名**

図学実習

清水長正

講義のねらい

2万5千分1地形図は、環境・文化にかかわらず地理学のいろいろな調査・研究に欠くことはできません。そうした利用者からみて、地形図に表現されている内容についてよく知ることは重要なことです。この実習では、地形図の内容や作製過程などについて『地形図図式』を中心に、利用者として理解を深めてもらうのが目標です。また、近年普及しはじめたデジタルマップの情報やそれを利用した編集作業などを紹介します。

講義の内容・授業スケジュール

2万5千分1地形図を作製するにあたって、基準となる事項をまとめたものが『地形図図式』です。これは本来、プロの地形図作製者が使用する規程書ですが、ここではそれを詳細に解説します。その間にデジタルマップを利用した簡易な編集作業もやってみましょう。その他、日帰り地形図に関する現地調査実習を実施する予定です。

履修上の留意点

地形図の最新情報・地図業界の動向など知りたい学生は履修するといいでしょう。なお、10月下旬ころに開催されるデジタルマップフェアは見学する予定。

成績評価の方法

図式に関するミニ試験、地図編集作業の成果品の作製などから評価します。

教科書

『平成14年2万5千分1地形図図式』（日本測量協会）

参考書等

利用しやすいデジタルマップや関連ソフトなどは、実習中に紹介します。

その他

現地実習・見学は受講学生の都合により日時を決めましょう。

地
理

科 目 名**担 当 者 名**

日本地誌

ほしづめ なおみち
橋 詰 直 道**講義のねらい**

日本の農村はいかに変容してきたか。この地域変容に関する最近の研究事例を紹介しながら、日本列島の地域的特色とその変容過程を明らかにする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

年間の講義内容は、次の項目を予定している。(1)(2)日本の風土(自然環境・生活文化)、(3)(4)自然環境と生活(気候景観・水の利用)、(5)(6)自然環境と生活(地下資源の利用・植物の利用)、(7)(8)日本の災害(自然災害・環境保全)、(9)(10)都市化と農業地域(兼業化の進展・自立型農業地域)、(11)(12)農業地域の変容(近郊農業地域・輸送園芸地域)、(13)(14)農業地域の変容(果樹園芸地域・茶業地域)、(15)(16)地場産業地域の変容、(17)～(19)中山間地域の変容(林業地域・まちおこし)、(20)～(22)余暇活動地域の変容(ふるさと運動・農村観光)、(23)～(25)リゾート開発(スキーリゾート地の諸問題)、(26)まとめ(テスト)

これらの項目について各地の事例研究成果を中心に概説する。

履修上の留意点

毎時間の出席や授業への参加状況も重視する。

成績評価の方法

中間試験(7月最終授業日)及び学年末試験の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験(課題や小テストを含む)の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

山村順次編『図説日本地誌』(大明堂) 2,750円
石井素介・浮田典良・伊藤喜栄編『図説日本の地域構造』(古今書院) 2,527円
市川健夫『風土の中の衣食住』(東書選書) 960円
原 剛『日本の農業』(岩波新書) 620円
平松守彦『地方からの発想』(岩波新書) 550円
田村明『まちづくりの実践』(岩波新書) 660円
その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

そ の 他

講義は、配布プリントと OHP、PC、ビデオ画像を利用して行い、課題や小テストも実施したい。

科目名**担当者名**

外国地誌特講

うめ はら ひろ みつ
梅 原 弘 光**講義のねらい**

世界の諸地域をどう認識するかによって、われわれの当該地域に対する態度が傲慢になったり、関係における重要課題を看過したり、国家・民族間の差別を無意識のうちに容認する結果になる。地誌を講じる目的は、こうした弊害をなくして人びとがお互いを尊重し共生できるような世界地域認識の確立を目指すことにある。ここではフィリピン共和国を取り上げて、第2次世界大戦後同国が歩んだ軌跡を検討し、われわれが依拠している「発展」思想にもとづく地域認識の問題点を明らかにする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

全体は5部から構成される。
 第Ⅰ部 フィリピンと近隣地域との関係（地体構造、民族構成、生活様式、東西交易）
 第Ⅱ部 戦後共和国が直面した社会問題とその淵源（社会不安、土地問題）
 第Ⅲ部 問題克服のための近代化政策（工業化、農地改革、緑の革命）
 第Ⅳ部 農村社会変容（農業・農村の商業化、農村階層分化、労働力移動、都市化の進展）
 第Ⅴ部 地域分化（国土利用パターンの激変、マニラ首都圏のEMR化、森林の後退、農地の拡大、地理的不均等発展）

履修上の留意点

日ごろからフィリピンのみならず東南アジアの国々に対して関心をもつことが望まれる。

成績評価の方法

夏休みの課題レポートと期末試験で評価する。ただし、授業への出欠状況も参考にする。

教科書

とくになし。

参考書等

オスワルド・デ・リベロ『発展神話の仮面を剥ぐ：グローバル化は世界を豊かにするのか？』（古今書院）2005年

その他

授業方法は講義形式

地
理

科目名	担当者名
アジア地誌	須山 聡・高橋健太郎

講義のねらい	中国および朝鮮半島の地誌について講義する。前期は高橋が中国を、後期は須山が朝鮮半島を担当する。
講義の内容・授業スケジュール	<p>前期（高橋）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中国の行政区域と地域性 2. 地域間の経済・生活格差 3. 1人っ子政策と人口移動 4. 都市構造と生活空間 5. 民族政策と文化変容 <p>後期（須山）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 朝鮮半島の自然環境 2. 主題図でみる韓国 3. 都市誌—ソウル・釜山大都市圏、地方都市— 4. 農村の近代化と農業—セマウル運動と全国総合開発— 5. 製造業・サービス業—漢江の奇跡とIT革命— 6. 生活文化と日常生活—ウリ主義と個人主義— 7. 朝鮮民主主義人民共和国
成績評価の方法	前後期各50%のウェイトで評価する。前期は、教場で作成してもらう小レポート（10%）と筆記試験（40%）で評価する。後期はレポートと出席を等分に評価する。
教科書	とくに指定しない。
参考書等	随時資料を配付する。

科目名	担当者名
アメリカ地誌	佐々木 緑

地
理

講義のねらい	本講義では、アメリカ合衆国の地域的特徴を自然環境、経済、社会、文化の多面的視野から総合的に理解する力を養います。前期は、アメリカ合衆国の全体像を把握するため、自然環境、歴史、産業、交通、民族について講義します。後期は、よりミクロな視点で地域を捉えるため、アメリカ合衆国中西部を対象として講義を進めます。その際、風土や産業、景観、環境問題を取り扱います。
講義の内容・授業スケジュール	<p>【前期スケジュール（予定）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 自然環境（1） 3. 自然環境（2） 4. 歴史（1） 5. 歴史（2） 6. 人口と分布 7. 都市と産業（1） 8. 都市と産業（2） 9. 農業 10. 都市の発達と交通 11. 民族と文化（1） 12. 民族と文化（2）
履修上の留意点	中学・高校などで使用した地図帳を持参してください。授業ごとに出席確認を兼ねた簡単なリアクションペーパーを書いてもらいます。
成績評価の方法	成績は、試験70%、出席（リアクションペーパー）30%で評価します。
教科書	特に指定しません。講義ごとに資料を配布します。
参考書等	授業にて適宜、紹介します。
その他	配布資料、写真、インターネットをもとに講義します。

科目名**担当者名**

ヨーロッパ地誌

桜井明久
まくら い あき ひさ**講義のねらい**

自然環境と人間活動との関係、文化の地域的多様性と共通性、経済活動の多様性に着目しながらヨーロッパ全体を眺め、その核心部である北西ヨーロッパの農業と農村の地域的問題を考える。なお、読図の練習・訓練を行うつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文化地域としてのヨーロッパの共通性と多様性を様々な分布図の重ね合わせから考える。後期は、中核部としての北西ヨーロッパ、とくにドイツについて、具体的な地域、村落を例に引きながら、近年における農業の変化、その地域性、近年の農村景観の変化などの状況を、日本のそれらと対比しながら考えていきたい。同様に、都市関係の問題については、パリ、ケルン、ボンなどを例に考えたい。

履修上の留意点

授業の中で地図や統計図表をともに読みながら授業を進めるつもりである。すなわち、事実も重要ではあるが、事実を発見する方法の学習を重視したい。なお、学年末試験はここで配布した資料をもとに解答する形で試験を行うので、配付資料を紛失しないようにすること。

成績評価の方法

出席とミニレポート30点、読書レポート20点（ヨーロッパ自由研究）、夏休みレポート20点（各自のヨーロッパ自由研究）、学年末試験30点といったバランスで評価したい。

教科書

ジョーダン著・山本・石井訳『ヨーロッパ文化』（大明堂）5,160円
桜井明久『西ドイツの農業と農村』（古今書院）4,800円

地
理

科目名

担当者名

経済地理学

矢延洋泰

講義のねらい

地域の空間構造の中で経済の諸活動の地理的現象は、大旨経済地理学の対象となる。その対象領域は大変広く、網羅的にとり上げることは不可能であり、また余り意味もない。従ってここでは世界が構造的変化をみせる中で、とりわけ大きな動きをみせる東アジアを視座に、多面的に分析してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

(カッコ内は時数)

- A アジア経済発展の系譜 (前期)
 - 1. 植民地遺制の光と陰 (2)
 - 2. 「儒教・漢字文化圏」はプロテスタンティズムに替わり得るのか (2)
 - 3. 経済開発と人権・秩序 (2)
 - 4. NICS から NIES への変化 (2)
 - 5. ASEAN 諸国の開発政策 (2)
 - 6. 非難される開発独裁 (1)
 - 7. ハブ&スポークスの夢競争 (1)
 - 8. 21世紀の開発戦略：シンガポールの OHQ 制度と“ビジネス・ハブ”を考える (2)
- B 国際化と地域化 (後期)
 - 1. ASA から ASEAN へ (2)
 - 2. 冷戦後の構造変化：新世界秩序の模索 (2)
 - 3. EAEC 構想から AFTA 誕生まで (2)
 - 4. APEC10年 (2)
 - 5. FTA (Free Trade Agreement) 締結の流れ (2)
 - 6. アジア経済開発の課題 (2)

履修上の留意点

積極性と意欲を期待したい。

成績評価の方法

成績評価は学年末試験結果に出席を加味。

教科書

教科書はなし。適宜プリントを配布。

参考書等

矢延洋泰著『インサイト東南アジア』(勁草書房)
鶴見良行著『東南アジアを知る』(岩波新書)

地
理

講義のねらい

日本の在来工業地域を事例に、地域に展開する諸産業の地域的な分析方法を提示する。講義の最初では、経済地理学的な分析の枠組みを批判的に提示する。工業は従来よりその経済的側面が強調され、立地・集積といった分布現象や工業地域に内包されたメカニズムもまた、経済的ロジックに基づいて説明される傾向が強かった。そのため、工業地理学は経済地理学の枠組みに押し込められ、地域を構成する諸要素との有機的な関係性といった地理学に独自の観点を捨象するに至った。

産業は、その地域の経済のみならず、地域社会や文化の構成要素でもある。本講義では、地域社会や文化の担い手としての産業の側面を強調する。具体的には土地利用、景観、コミュニティ、労働力、社会組織・制度などと工業（産業）の関係を検討し、工業を地域的構成要素のなかに位置づけ直すことを眼目とする。その際、従来の工業地理学ではあまり用いられてこなかった分析手法についても論ずる。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の予定で講義を進める。

- 1 経済地理学の論理による工業現象の説明様式
- 2 古典的経済地理学のアプリケーション（輪島漆器業、地域構造論）
- 3 分布・集積の新たな説明（輪島漆器業、インキュベータ「仮説」）
- 4 在来工業地域における人口移動パターン（輪島漆器業、ライフパスの援用）
- 5 在来工業とコミュニティ（輪島漆器業、産業地域社会）
- 6 在来工業による新たな景観形成（井波木彫業、景観の「演出」、「伝統」の誤謬）
- 7 在来工業を支える「制度」（結城紬、イエ制度）
- 8 おまけ：文学の中の地理空間（結城紬、有吉佐和子『鬼怒川』）
- 9 生産と生活—中小企業集積地域に対する視点—

履修上の留意点

出席を厳格にとる。授業中携帯電話を鳴らした者、妄りに私語を交わす者は即刻退席させる。

成績評価の方法

出席状況（50%）と試験（50%）を規準とする。

教科書

須山 聡『在来工業地域論—輪島と井波の存続戦略—』（古今書院）2004年
購入を義務づけるものではないが、あった方が絶対に便利。

科目名

担当者名

地形学

ひら い ゆき ひろ
平 井 幸 弘

講義のねらい

私たちが今生きている社会において、ある「地域」を理解し、そこでの様々な開発や環境問題、あるいは災害などを的確に理解し、さらに適切な対応策を講じるためには、その場所がもっている自然的諸条件の特質を明らかにしておくことが、まず重要である。この講義では、そのような自然的諸条件のなかで、「地域」の場の条件となっている様々な地形について、地形発達史的側面と地形環境誌的な側面の両方から理解し、様々な環境問題について学び、その解決策についても考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 1. 地形発達のバックグラウンド
気候変動 海水準変動 地殻変動
- 2. 様々な地形：関東地方を例に
火山地形 河岸段丘 丘陵地 扇状地と自然堤防 三角州と干潟 海跡湖
- (後期) 3. 日本各地の水辺の環境問題—応用地形学の視点から—
中海・飯梨川デルタ 吉野川・第十堰 那賀川の旧河道 加茂湖周遊 宍道湖一周 浜名湖の湖底伝説

履修上の留意点

現実の様々な環境問題に、広い視野から関心を持ち学ぼうとする意欲を期待したい。

成績評価の方法

出席とレポート及びその発表。受講生が多数の場合は試験を行う。

教科書

平井幸弘『水辺の環境ガイド—歩く・読む・調べる—』（古今書院）2005年。

参考書等

貝塚爽平ほか『日本の地形 4 関東・伊豆小笠原』（東大出版会）2000年
加藤 真『日本の渚—失われてゆく海辺の自然—』（岩波新書）1999年
五十嵐敬喜・小川明雄『公共事業は止まるか』（岩波新書）2001年

その他

高校で使う程度の地図帳（二宮書店や帝国書院発行のものなど）と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

科目名	担当者名
地形学実習	清水長正

講義のねらい

地形とは簡単に言えば地べたの形のこと。我々はこの地形上で活動し生活しているのに、最近ではアーバンライフが定着したせいか、地形を見る目が一般に退化していると言わざるをえません。いわんや地理学科の学生までも地形の見方が苦手?。環境・文化を問わず地理的現象の大半は地形上に立脚しているのですから、地理学を勉強した中で地形のことも少しでも知っておこうよ、というのがこの実習の目標です。さらに地形を見ることによって、その土地が地震や洪水などの災害にあう度合いの予測評価も可能なので、これは一生役にたつワザになるかもしれません。

講義の内容・授業スケジュール

実習の内容として、空中写真判読、現地調査に重点を置きます。空中写真判読は、各種地形形態の写真上での把握のこと。難しそうに思うかもしれませんが、まずやってみることが肝心で、あとは「習うより慣れる……」でしょう。現地調査については、休日を利用した半日2回程度と、夏休み前半に1泊2日の巡検を行います。現地における地形の実測と、地形を構成する物質（とくに第四紀地質）の露頭調査など、これもやってみることにしましょう。

履修上の留意点

地形学、地球物理学、第四紀学などの地形に関する講義は、同時に履修することが望ましいが、ただし各自の都合によって履修できない場合は仕方ないでしょう。また、空中写真実体視については経験済みかもしれませんが、もう一度、コツを手ほどきします。

成績評価の方法

空中写真判読図・巡検レポートなどにより評価。

教科書

テキストは使用しない。

参考書等

参考書は実習中に指示します。

その他

とにかく地形を敬遠せずに、まずはやってみなければ話にならないよ。

科目名	担当者名
社会地理学	宮口侗迪

地理

講義のねらい

社会地理学は、地域の人間集団の社会的な主体性を重視して、地域の性格形成とその発展ないし衰退を考えるものである。長年にわたって形成された文化地理学的性格の上に、日本の地方社会がどのような動きを示しているかを講義したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、日本の農村社会の特徴がヨーロッパや他のアジアと対比してどのように位置づけられるか。さらに日本がどのような地域から成り立っているかを説明する。
後期は、日本の農山村の過疎化の意味を考えながら、地方社会の発展のための取組みの紹介の中で、その発展のあり方を考えたい。

履修上の留意点

写真を多用するので、出席することが第1である。

成績評価の方法

前期に講義内容についてのレポートを課し、後期に試験を行うが、レポートに代えることもある。5分の3以上の出席がないものは、原則単位を与えない。

教科書

現在改訂中なので、でき上がり次第使用する予定である。

参考書等

文献等については、その都度紹介する。

科目名	担当者名
外書講読	佐藤哲夫

講義のねらい

この授業では、簡単な英文の地理資料を読み、地理でよく用いられる英語に親しみます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、中学生が使う日本地理の教科書の英訳本です。内容が身近で、英語もあまり難しくないので、語彙を増やしながらなるべく速く読むことを目標にします。参加者にワンセンテンスずつ逐次訳をしてもらい、重要な部分に解説を加えながら読み進めます。順不同で毎回少なくとも1度はあてます。英作文の添削によってその英語表現を身につけることにも心を配りたいと思います。なお授業範囲は大学院地理学専攻の英語の試験範囲に含まれています。時間があれば、後期には地理学の学術論文または専門書の読解にも挑む予定です。

履修上の留意点

下の文章は最初に用いるテキストの preface です。この意味が理解できる程度の英語力を持っている諸君を、受講対象者として想定します。

This book is intended to provide a geographical overview of Japan to readers who are unfamiliar with Japan's regional geography. The book consists of two parts. Chapters one through six present the physical, historical, cultural, economic, and social features of Japan. Chapters seven through thirteen deal with regional geography by dividing the country into seven districts. The chapters on regional geography are based largely on a Japanese geography textbook written by H. Sato and others. The first six chapters were newly written for this book by the editor. I hope that this book will be of help in understanding the regions and regionality of Japan.

毎回必ず、英和辞典を持ってきてください。

受講希望者が多数（30人以上）の場合は人数制限を行いますので、第1回目の授業には必ず出席して下さい。

成績評価の方法

成績は出席100%で評価します。定期試験はしません。またレポートによる救済もしません。

教科書

テキストはコピーして配布します。出所は下記のとおりです。

YAGASAKI, Noritaka ed. 2002. *Japan-Geographical Perspectives on an Island Nation Third Edition*. TEIKOKU-SHOIN

地
理

科目名	担当者名
気候学	江口卓

講義のねらい

日本および世界の気候の成り立ちとその地域的・季節的な違いを理解することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、最初に世界と日本の気候区分をとりあげ気候学の考え方の流れについて講義する。その後、日本の気候の季節変化とその地域性について、季節ごとに順に講義を行う。後期は世界の気候の基礎について講義を行った後、世界の各地域の気候について講義する。各地域について講義する中で、関連する砂漠化などの環境問題についても触れる。

履修上の留意点

気候に関する予備知識は必要としないが、ステップアップの講義であるので、講義の概要は復習のうえ理解し、次の講義に臨むこと。

成績評価の方法

各学期末の筆記試験と出席を含む平常点を総合して評価する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

中村和郎・木村竜治・内嶋善兵衛『日本の気候』（岩波書店）
気候影響・利用研究会編『日本の気候Ⅰ』『日本の気候Ⅱ』（二宮書店）
鈴木秀夫『風土の構造』（原書房）

その他

講義は、プリントを配布して行う。適宜、スライドやビデオを使用する。

科目名	担当者名
気候学実習	えぐち ながし 江口卓

講義のねらい

気候を研究する上で必要となる調査の方法およびデータの解析手法を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

実習は次の内容に即して行う。

- 1) 気候観測：測器の使い方、観測の実施、観測データの処理
- 2) 気候データの解析：テーマを決め、気象庁観測データの解析を行う。
- 3) 天気図の解析：上記のデータ解析によって明らかになった現象の原因を天気図によって分析する。

履修上の留意点

本実習では学外において気候観測を行う。これは自由参加ではなく、正規の授業の一環なので、必ず参加することが必要である。日程・場所等は、授業の最初に案内する。気候学の講義を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

レポートおよび出席状況を総合して評価する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

実習中に適宜指示する。

その他

気候データおよび天気図の解析に際しては、パソコンを使用する。

科目名	担当者名
水文学	ながし のぶ お 長沼信夫

講義のねらい

地理学の一分野でもある水文学の基本的な見方・考え方、水文環境の現状などについて講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次に示す通りである。

- 前期：1) 水の科学としての海洋学、陸水学、水文学：地理学的立場から水圏科学の現状について概説する。
 2) 地球上の水循環と水量：地球上の水の一部は常に循環している。その循環過程と水量、さらに地球上の水の総量などについて概説する。
 3) 陸地における水の基本的在り方：陸水は、それぞれの場によって河川水、湖沼水、地下水などに区分することができる。そこで河川・湖沼・地下水の存在状況などについて概説する。
- 後期：4) 水文学の中心概念である水収支の見方・考え方：横浜市域などを事例に、降水～流出の過程を水文調査で得られた資料を基に言及する。
 5) 水と地域と人間活動：横浜・川崎市域や南西諸島などを事例に、水環境の現状とその問題点について水文学的立場から考える。

履修上の留意点

選択科目であるため、水文学に興味ある学生諸君の受講を希望する。

成績評価の方法

授業期間内に2～3回程度の筆記試験を実施し評価する。

教科書

地学団体研究会編『地球の水圏—海洋と陸水—』（東海大学出版会）2,625円

参考書等

講義中に適時指示する。

その他

必要に応じて、教材プリントの配布やOHPなどを使用する予定である。

地
理

科目名	担当者名
水文学実習	高木正博

講義のねらい	河川や地下水・湧水などの調査をとおして、都市の水文環境を明らかにする。野外での水量や水質調査及び採水試料の分析実験に重点をおく。
講義の内容・授業スケジュール	調査の準備段階として、河川や地下水・湧水の水量・水質などに関する基礎的な学習を行う。調査目的、水域・地点の選定、調査項目、計測器材の特徴と使用方法などについて検討する。 調査後は、試料の分析、図表の作成、結果の整理・考察などをとおして総括する。野外での測水調査は、2回程度予定している。
履修上の留意点	野外での調査、実験室での分析など授業時間以外にもかなりの時間を必要とする。時間に制約されるが、積極的に参加してほしい。
成績評価の方法	授業・調査中の実習態度を基礎点とし、提出物の成果と合わせて評価する。
教科書	新井 正『水環境調査の基礎』改訂版（古今書院）2,500円
参考書等	日本地下水学会編『名水を科学する』、『続・名水を科学する』（技報堂出版） 半谷高久・小倉紀雄『水質調査法』（丸善） 日本分析化学会北編北海道支部『水の分析』（化学同人）、その他随時紹介する。

科目名	担当者名
人口地理学	山内昌和

地
理

講義のねらい	人口現象が社会問題として表出する際には、少子化、高齢化、過密・過疎といった形をとるが、これらの理解のためには、出生、死亡、移動、世帯に関する概念や諸指標を理解する必要がある。とくに、地域の人口問題を扱う際には、人口の地域分布変動にもっとも大きな影響を与える地域間の人口移動についての理解が不可欠である。前期では、各種概念や指標に関する基礎的な学習を中心に行い、後期では、日本の人口問題に関する様々な論点について、人口移動を中心に、理解を深めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	〔人口分析の基礎〕人口学的方程式、人口構造の把握（性比、年齢構造） 〔少子化問題と出生の分析〕出生の指標（合計特殊出生率）、出生率の低下とその要因 〔人口高齢化と死亡の分析〕死亡の指標（生命表、平均寿命）、人口高齢化とその要因 〔人口移動の概念とデータ〕人口移動の概念、人口移動データとその特徴 〔世帯の分析〕人口と世帯の関係、世帯データとその特徴、世帯構造の把握 〔日本国内の人口移動〕戦後日本の人口移動の概観、地方圏と大都市圏の間の人口移動 〔日本人の居住地移動〕地方圏出身者の居住地移動プロセス、Uターン移動とその要因 〔将来人口の推計〕将来人口推計ならびに世帯数の将来推計の理論、コーホート変化率法による人口推計の実際、世帯主率法による世帯数の将来推計の実際
履修上の留意点	あらゆる地域において、現在の人口ピラミッドの形は将来の地域人口のあり方を大きく規定する。例えば郊外のニュータウンにおいては今後急激な高齢化が不可避である。このような地域人口変化のメカニズムを本講義を通じて理解してほしい。
成績評価の方法	授業時間内に複数回の試験を実施し、その結果に基づき成績評価を行う。
教科書	とくに指定しない。
参考書等	授業時間内に適宜指摘する。

科目名	担当者名
歴史地理学実習	小田 匡保

講義のねらい	歴史地理学の研究では、古い時代の史料を扱うことが必要になる。この科目では、歴史地理学の史料(あるいは研究対象)として利用されることの多い古地図に親しむことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書として挙げた『江戸時代古地図をめぐる』には、全部で95枚の古地図が掲載されている。これらの古地図を、記載文字・地図表現などを頼りに、履修者が分担して読んでいく。その作業の中で、くずし字や古文書特有の表現に慣れる。あわせて、古地図に関する学習も行なう。また、博物館等での古地図見学も1、2回実施する。
履修上の留意点	旧漢字の知識があることが望ましい。
成績評価の方法	成績評価は、出席状況・報告内容とレポートで行なう。無断欠席が3回になった段階で、単位不要と判断する。
教科書	山下和正『江戸時代古地図をめぐる』(NTT 出版) 1,650円
参考書等	林英夫監修『増訂近世古文書解読字典』(柏書房) 2,524円
その他	教科書が品切になって入手できない場合は、別の授業内容を考える。

科目名	担当者名
地球物理学	柳田 誠

講義のねらい	この講義は地理学専攻の学生を対象として地球物理学のなかでも地理学や第四紀学に関連する分野について論じる。地球の構造や性質について触れ、プレートテクトニクス、地震、活断層、アイソスタシーなどを説明する。いろいろな事象について、「なぜ？」を考える。
講義の内容・授業スケジュール	<p>前期1. 地球の構造/地球の大きさ、内部構造について説明し、それと地表に起こる出来事との関係をみる。地球の化学組成や物性(粘性)について説明する。</p> <p>2. プレートテクトニクス/地球表面のいろいろな地殻変動はプレートテクトニクスで合理的に説明できる。基礎的な知識について説明し、プレートテクトニクスが学問のなかで市民権を得てきた歴史を振りかえる。</p> <p>後期3. 地震と火山/日本列島周辺に起こる地震について説明する。地震予知の現状を取り上げ、社会に対する地球科学の貢献についても考えてゆきたい。また、日本列島における火山とその活動について説明する。</p> <p>4. 活断層とは何か?/内陸部の浅い所で地震を発生させる活断層についても説明し、具体的な調査例を示す。</p> <p>5. 地球の年代/地球の年齢は?どうやって決まっているのか?月の年齢は?</p> <p>6. 山はなぜ高いか?/山はなぜ高いのか、いろいろな形をしているのはなぜか?高くしているのはなにか?なにが山を削るのか?いろいろと考えてみたい。</p>
履修上の留意点	地形学、第四紀学を履修していることが望ましい。また、基本的な数式や元素記号は理解すること。
成績評価の方法	年度末におこなう筆記試験によって、講義内容が理解できているかどうかを検討し、評価を行う。講義内容が理解できていない場合は単位は認定しない。
教科書	授業中に紹介する
その他	OHP やスライドを多く使用する。

科目名**担当者名**

土壤地理学

うるし ぼら かず こ
漆 原 和 子**講義のねらい**

土壤を用いて、世界の自然環境の地域差を明らかにする。特に土壤を生態系の一要素としてとらえ、土壤生成作用に及ぼす、気候、植生などの条件についても理解を深め、世界の地域差を把握する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前期は、土壤の定義と土壤生成作用について詳しく述べる。特に土壤生成作用に欠くことのできない水収支と土壤特性の関係を論ずる。土壤特性と、それを生み出す植生と、気候条件についても考える

後期は、世界の気候帯・植生帯の分布様式について考え、特性の異なる土壤型が世界的にどのように分布しているのか、について考察する。また、農業や開発によって土壤特性が変質したり、利用不可能になる場合があり、人間活動と土壤の関連についても、問題のある例について述べる。

履修上の留意点

第四紀の地形と、植生についての基礎知識が必要であり、地形学、第四紀学を履修したか、平行して履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的に試験により判定するが、授業の際に出席を取り、この資料を参考にする。

教科書

E. M. ブリッジズ著『世界の土壤』（古今書院）3,600円 ISBN4-7722-5076-X

参考書等

授業中に直接関連する参考書をその都度紹介する。

その他

講義形式で進める。必要に応じて土壤そのものの観察方法や、調べ方の実習を行う。テキストを補うプリントは授業中に配布する。

講義のねらい

現在、地球上には1000万種を越える生物が存在していると推定されている。これらの種の一つ一つが地球上で特有の分布を有している。種の分布は、現在の様々な環境条件に規定されているのみならず、過去の環境の変化やその種がたどってきた進化の道筋を反映して定まったものである。一方、個々の種はバラバラに分布するのではなく、地域の歴史や環境条件のまとまりに応じて特有の分布パターンを作り、それらが集まって大小様々な生物地理区を形成している。生物の分布の裏側にはさまざまな情報が隠されているわけである。そこで、本講義では「生物の分布」をキーワードにして、その背景にある生物進化のプロセスや生物と環境との関わりについて、具体的な地域や生物グループを取り上げながら考えていく。また、生物を取り扱う上で必要な生物進化や分類学、生態学の基本的な知識を解説し、実際のフィールド・ワークに役立つように、生物図鑑の検索方法、植物標本の作り方、植生調査の方法などについても説明する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 生物の分布と移動
 - (1) 生物地理学とは (2) 生物の分布 (3) 分散と移動 (4) 生態系とニッチ
- 第2章 生物分類体系
 - (1) 学名 (2) 分類体系 (3) 生物五界説 (4) 種の定義と属性 (5) 図鑑と同定
- 第3章 生物進化と進化論
 - (1) 地質年代図 (2) 初期の生命 (3) カンブリアの爆発 (4) 生物の上陸 (5) 進化のメカニズム
- 第4章 区系生物地理学
 - (1) 分布パターンと区系 (2) 世界の生物地理区 (3) 日本の生物地理区 (4) 琉球列島の生物相 (5) 分布境界線と移行帯
- 第5章 生態生物地理学
 - (1) 大気の大循環と気候帯 (2) 群系と湿量指数 (3) 世界の植生帯 (4) 日本の植生帯 (5) 植物社会学と植生調査法
- 第6章 系統生物地理学
 - (1) 分子時計の原理 (2) 系統系統と分布パターン (3) 分子系統地理の研究例
- 第7章 絶滅
 - (1) 絶滅の様式 (2) 大量絶滅 (3) 大型哺乳類の絶滅 (4) 人為による絶滅
- 第8章 大陸移動と生物分布
 - (1) プレートテクトニクス (2) ゴンドワナ起源の生物 (3) 南北米大陸の交流 (4) ヒマラヤ造山 (5) 魚類の進化と分布
- 第9章 氷河期と生物分布
 - (1) 氷期と気候変動 (2) ビュルム氷期の環境 (3) 後氷期の生物移動 (4) 海面変動と生物分布
- 第10章 大洋島の生物
 - (1) 大洋島と大陸島 (2) 長距離散布と定着 (3) 動的平衡モデル (4) 種分化の原理 (5) 島症候群 (6) 島大陸と古代湖
- 第11章 帰化生物
 - (1) 人為移動と定着 (2) 在来生物への影響 (3) 都市化と生物

地
理

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

前期のレポート、講義の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義の内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして使用できる。

参考書等

[web版教科書]で章ごとに紹介する。

その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科目名**担当者名****計量地理学実習**つち なた とし はる
土 谷 敏 治**講義のねらい**

今日、多くのデータを統計的・計量的方法を用いて、客観的に分析するためには、コンピュータを活用できることが前提条件となっている。本実習では、パーソナルコンピュータをベースとして、これらの分析手法を活用できるようになるため、基本的なソフトウェアの使用方法を習得するとともに、計量地理学の学習の準備をすることを目的とする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

次のようなスケジュールに基づいて、実習を進める。

1. Microsoft Excel の使用方法
2. データの入力方法
3. データの加工方法
4. 統計的分析方法
5. グラフ作成方法
6. Adobe Illustrator による地図作成
7. Adobe Photoshop による写真データの加工
8. Microsoft Power Point の使用方法
9. コンピュータによるプレゼンテーション

履修上の留意点

計量地理学の受講を希望しているが、Microsoft Excel・Power Point・Adobe Photoshop・Adobe Illustrator を使用して、統計的分析やグラフ・地図作成・プレゼンテーションができない学生を対象としている。これらのソフトウェアを十分活用できる学生は受講の必要がない。また、コンピュータの基本操作や Microsoft Windows の操作を習得していることを前提とする。ただし、これらの未習得学生の受講も可能とするため、未習得者は必ず第1回目の授業に出席すること。実習科目であるため、毎回の出席と課題の提出が不可欠である。

成績評価の方法

各課題を得点化して合計し、さらに出席状況を加味して評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

駒澤大学総合情報センター【KOMAnet 利用ガイド】

その他

教場の関係で受講生を制限することもあるので、4月第1回目の授業に必ず出席すること。

科目名**担当者名**

測量学

田中靖

講義のねらい

測量学は、地球表面の任意の点の位置関係を正確に把握する技術を研究する学問である。しかし最近では、旧来の「測る」技術にとどまらず、空間データを効率的にマネジメントすることも含めて「空間情報工学」としてその範囲を広げている。そこで本講義では、測量の基礎から国土数値情報の素養を得ることまでを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---------|---------------------------|
| 0. 基礎数学 | 5. 距離の測定 |
| 1. 地球の姿 | 6. 水準測量 |
| 2. 誤差論 | 7. GPS 測量 |
| 3. 地理座標 | 8. 空中写真測量・空中写真判読 |
| 4. 角測量 | 9. GIS (デジタルマッピングと国土数値情報) |

それぞれの項目に2～3時限程度をあてる予定。年5回程度課題を出すので必ず提出すること。

履修上の留意点

この講義は国家資格である測量士補取得(国家試験免除)のための必修科目である。したがって成績評価は厳しい。高校教科書レベルの数学(特に三角関数、対数および確率・統計)を十分に復習しておくこと。

成績評価の方法

学年末試験の点数で評価する。ただし、課題を提出していない場合には、試験の点数から未提出分を差し引く。

教科書

包国・茶畑・平田著『絵とき 測量』(オーム社出版局) 2,700円+税

参考書等

村井俊治著『空間情報工学』(日本測量協会) 2,286円(税別)

その他

授業は講義中心に行うが、年間数回の課題実習を行う。

科目名

担当者名

第四紀学

鈴木 木 毅 彦

講義のねらい

第四紀とは最近約200万年間のことをさす。この地質時代は、人類、動植物、気候、地形などが現在みられる姿となった時代でもある。このような最近の地質時代を理解することは、人類の動向も含めた地球の将来予測につながる。本講義のねらいはこのような問題意識のもとに、第四紀の概要を理解することである。とくに全地球的な規模での現象と日本列島特有な第四紀の諸現象についての理解を深めることに目的をおく。

講義の内容・授業スケジュール

講義前半では第四紀の各種基礎的概念を解説する。主なテーマは第四紀の概要、氷河作用、地形・地質、気候変化、火山灰編年などである。後半では日本列島の第四紀の主要な現象である、火山活動と第四紀地殻変動などに焦点をあてる。

講義の流れをキーワードで示すと以下のとおりである。

前半

第四紀の定義・概要、学際科学としての第四紀学、氷期認定の歴史、大陸氷床の発達と海面変化、氷期・間氷期サイクル、酸素同位体比と氷期・間氷期サイクル、地球上各域における気候変化、ミランコビッチサイクル、数値年代と放射年代、古地磁気編年とレス編年、火山灰編年、日本列島の海面変化

後半

日本列島の火山（分布と第四紀火山の概念）、各種噴火様式と火山災害、関東地方の地震活動と第四紀地殻変動、活断層、山地形成、人類の誕生、日本列島の人類史

履修上の留意点

とくになし。

成績評価の方法

主には前期末のレポートと後期末の筆記試験

教科書

教科書は特に指定しない

参考書等

参考書として、町田ほか編『第四紀学』（朝倉書店）、日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）、成瀬『第四紀学』（岩波書店）をあげる。それ以外は講義中に紹介する。

その他

授業の方法：講義

地
理

科目名

担当者名

現代地理学特論

佐藤 哲夫

講義のねらい

東南アジアの環境問題や地域問題について知ると同時に、地形図やリモートセンシング画像を利用して、海外地域を調査する技術も学びます。

講義の内容・授業スケジュール

タイなどを題材にして講義を行います。地形図の読図やリモートセンシング画像の判読、土地利用図の作成などの実習的な作業課題も課します。

履修上の留意点

地図の読図・作図作業の嫌いな人には向いていません。

成績評価の方法

課題の提出（50%）と前期末・後期末の試験（50%）によって評価します。

参考書等

授業に必要な資料は配布します。

科目名	担当者名
地理学特講 I	橋詰直道

講義のねらい

今日わが国の都市が抱える諸問題について「都市計画と社会資本整備」という視点から考える。ここでは特に、都市生活者のための生活環境整備手法の歴史とその課題について紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

今年の講義（半期＝後期）内容は、次の項目を予定している。①②都市計画（都市計画と地理学・都市計画の概要）、③④東京の都市計画史（戦前・戦後）、⑤⑥都市緑地の整備と保全（生産緑地・公園緑地計画と緑地保全政策）、⑦⑧エコ・シティ（環境共生都市・住宅）、⑨⑩英国の田園都市運動（ガーデンシティ・ガーデンサブurb）、⑪～⑬郊外住宅地建設（アメリカ・日本の郊外住宅地建設史）、⑭まとめ（テスト）

これらの項目について最近の研究成果を中心に概説する。

履修上の留意点

「都市地理学」の単位を取得した後の受講が望ましい。出席状況や授業への参加状況も重視する。

成績評価の方法

定期試験の成績及び授業への出席日数が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

五十嵐敬喜・小川明雄『都市計画』（岩波新書）580円
 五十嵐敬喜・小川明雄『都市再生を問う』（岩波新書）740円
 越澤明『東京都市計画物語』（ちくま学芸文庫）1,300円
 石田頼房『都市計画と都市生活』（自治体研究社）700円
 その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

その他

講義は、参考書と配布プリント及びOHP、PC画像を利用して行う。

科目名	担当者名
地理学特講 II	長沼信夫

地
理

講義のねらい

水文地理学的な視点から地中に存在する水—地下水、温泉（水）—について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次に示す通りである。

- 1) 水資源としての地下水の在り方：一般的な特徴
- 2) 地下水の存在状態：地下水の流動、水理、水質など
- 3) 地下水の存在量と使用量
- 4) 地下水を取り巻く環境問題：開発と保全、地下水利用に伴う障害（地下水位の低下、塩水化、地盤沈下、水質汚染など）
- 5) 温泉の定義、温泉法、温泉の成因など
- 6) 温泉の存在状態：温泉の3要素、水質など
- 7) 温泉利用と地熱開発の諸問題

履修上の留意点

地下水や温泉に興味のある学生諸君の受講を希望する。また、選択科目の「水文学」を同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

授業期間内に2回程度の筆記試験を実施し評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

必要に応じて適時指示する。

その他

受講者が少人数の場合、講義のみでなくゼミ形式で実施することもある。

科 目 名**担 当 者 名**

地理学特講Ⅲ

さわ 渡 貞 男
さわ と さだ お**講義のねらい**

文学部地理学科学生の学問的専門履修科目の応用と実践を意図して通年課程で設置された「特講Ⅲ」は、観光産業の中核である運輸・宿泊・旅行業に共通する国家資格「旅行業務取扱管理者試験」の受験を目指す学生への補助的講座として設置されたものである。

講義の内容・授業スケジュール

管理者試験には総合と国内の区別があり、受験科目は、①旅行業法及びこれに基づく命令についての知識 ②旅行業約款、運送約款及び宿泊約款 ③国内旅行実務(運賃料金、観光地理、旅行実務) ④海外旅行実務(国内と同項目に加え出入国関連法令及び手続実務、観光英語)で、国内は上記①②③科目で例年9月に実施、総合は上記全科目で10月に実施される。これを踏まえ、総合及び国内に共通する「業法」「約款」については、それらの理解に必要な関連事項も含めて前期に重点的に講義し、実務については「旅程管理業務(添乗員業務)」を軸として旅行業界の業務内容及びその理解に必要な関連業種(航空・ホテル等)の諸知識、また、地理学科学生の関心ある外国生活事情等につき、実際の経験を基にした講義を後期に行う。

履修上の留意点

業法約款の理解には旅行業の現状理解が不可欠との立場から、冒頭に業界の現状・歴史等について概括的な講義を行うので必ず出席のこと。また、各自の経験に照らして考えると理解し易いので、日頃から業法・約款的な見方で接するように心がけてほしい。受験科目の学習については、学生の専門的・集中的学習を通信講座或いは専門講座により受験対策を講じられるようお勧めする。

成績評価の方法

前期及び後期の出席率並びに定期試験の成績をそれぞれ評価のうえ、単位付与並びに成績評価とする。なお総合国内旅行業務取扱管理者試験合格者には無条件4単位付与とする。

教 科 書

中央書院編集部『総合または国内旅行管理者試験合格ハンドブック』2006年版(株中央書院)東京都千代田区猿樂町2-8-11

参 考 書 等

業法・約款は上記教科書に編纂されている。国際・国内の航空・鉄道時刻表、旅行業小六法、観光白書、旅行会社の制作する広告・宣伝印刷物。必要に応じプリント配布。

科目名

地理学特講Ⅴ

担当者名平井史生
ひら い ふみ お**講義のねらい**

「オゾンホール」「地球温暖化」「台風・集中豪雨」など社会的に関心の高い時事問題を題材とし、現象の空間的な把握や分布図の重ね合わせ等の地理学的手法を用いて分析していきます。卒業論文の主題選定に役立つ話題や切り口を多く提供することをめざしています。気象学の題材を多く設定します。気象予報士試験の受験を希望している学生には興味深い内容を提供します。

講義の内容・授業スケジュール

参考までに2005年の題材をお知らせします。2006年も同様な話題を取り上げます。「スギ花粉の大飛散とその背景」「ハリケーン・カトリナ」「雷雲群とダウンバースト」「梅雨の特性」「地球温暖化は進行中?」「台風と高潮」「新潟・福井集中豪雨」「成層圏オゾンと有害紫外線」「エルニーニョ現象」「ヒートアイランド」「スキー場の気候学」「カシミール地震」「スマトラ沖地震とインド洋大津波」など。大きな自然災害が発生した場合には速報的にすぐに取り上げる予定です。

履修上の留意点

選択科目の「気候学」と最も関連が深く、「水文学」「都市地理学」「地図学」など地理学全体が興味の対象となります。講義レジュメについては、ウェブサイトに掲載し、講義はコンピューター教場で実施します。レポートなどの成果品は電子媒体で提出を求める場合があります。実習の性格が強いため、欠席が多くなりそうな方には向かない講義です。

成績評価の方法

作図実習の成果品、提出課題、筆記試験の内容で総合的に評価をします。特に図の作成にあたっては、重箱の隅をつつくような口うるさいことを言いますが、ご容赦ください。

教科書

特に定めません。講義中に資料を配布する場合があります。

参考書等

必要に応じて講義中に指示します。参考ウェブサイトを示す場合もあります。

その他

気象予報士試験の受験を希望している学生には個別に相談にのります。WEBサイトにレジュメを掲載しています。質問・相談等もメールで受けつけています。

地
理

II 專 門 教 育 科 目

4 歷 史 學 科

歷
史

Ⅱ. 専門教育科目

(4) 歴史学科

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本史学基礎演習 基礎歴史学	日本史1必 歴史1必	通年	4	熊本史雄	503
日本史学基礎演習 基礎歴史学	日本史1必 歴史1必	通年	4	小泉雅弘	503
日本史学基礎演習 基礎歴史学	日本史1必 歴史1必	通年	4	中野達哉	504
西洋史学基礎演習 基礎歴史学	外国史1必(西洋史) 歴史1必	通年	4	大城道則	504
西洋史学基礎演習 基礎歴史学	外国史1必(西洋史) 歴史1必	通年	4	佐々木真	505
東洋史学基礎演習 基礎歴史学	外国史1必(東洋史) 歴史1必	通年	4	杉山清彦	505
東洋史学基礎演習 基礎歴史学	外国史1必(東洋史) 歴史1必	通年	4	中村淳	506
考古学基礎演習 基礎歴史学	考古学1必 歴史1必	通年	4	設楽博己	507
日本史概説 日本史概説Ⅰ(古代・中世)	日本史1必 外国史・考古学1・2・3・4選必 歴史1・2・3・4必(日本史) 歴史1・2・3・4選必(日本史以外)	通年	4	松本信道	507
日本史概説 日本史概説Ⅱ(近世・近代)	考古学1・2・3・4選必 歴史1・2・3・4必(日本史) 歴史1・2・3・4選必(日本史以外)	通年	4	出口宏幸	508
日本史概説 日本史概説Ⅱ(近世・近代)	考古学1・2・3・4選必 歴史1・2・3・4必(日本史) 歴史1・2・3・4選必(日本史以外)	通年	4	小泉雅弘	508
東洋史概説 東洋史概説Ⅰ(古代・中世)	外国史1必(東洋史) 外国史(西洋史)・日本史・考古学1・2・3・4選必 歴史1・2・3・4必(東洋史) 歴史1・2・3・4選必(東洋史以外)	通年	4	石井仁	509
世界史概説 東洋史概説Ⅱ(近世・近代)	考古学1・2・3・4選必 歴史1・2・3・4必(東洋史) 歴史1・2・3・4選必(東洋史以外)	通年	4	小林惣八	509
西洋史概説 西洋史概説Ⅰ(古代・中世)	外国史1必(西洋史) 外国史(東洋史)・日本史・考古学1・2・3・4選必 歴史1・2・3・4必(西洋史) 歴史1・2・3・4選必(西洋史以外)	通年	4	佐々木真	510
日本考古学概説 考古学概説Ⅰ(日本)	考古学1・2必 日本史・外国史1・2・3・4選必 歴史1・2・3・4必(考古学) 歴史1・2・3・4選必(考古学以外)	通年	4	酒井清治	511

外国考古学概説	考古学1・2必 日本史・外国史1・2・3・4選必	通年	4	飯島武次	511
考古学概説Ⅱ(外国)	歴史1・2・3・4必(考古学) 歴史1・2・3・4選必(考古学以外)				
世界史概説	考古学1・2・3・4選必	通年	4	井村行子	512
西洋史概説Ⅱ(近世・近代)	歴史1・2・3・4必(西洋史) 歴史1・2・3・4選必(西洋史以外)				
史学概論	考古学1必 日本史・外国史1・2・3・4選必 歴史2・3・4必	通年	4	伏島正義	513
日本史学史	日本史1・2必 外国史・考古学2・3・4選 歴史2・3・4必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	通年	4	湯淺隆	513
考古学史	考古学1・2必 日本史・外国史2・3・4選 歴史2・3・4必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	通年	4	小柳美樹	514
日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	日本史3必 歴史3必	通年	4	久保田昌希	514
日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	日本史3必 歴史3必	通年	4	熊本史雄	515
日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	日本史3必 歴史3必	通年	4	小泉雅弘	515
日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	日本史3必 歴史3必	通年	4	瀧音能之	516
日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	日本史3必 歴史3必	通年	4	中野達哉	516
日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	日本史3必 歴史3必	通年	4	廣瀬良弘	517
日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	日本史3必 歴史3必	通年	4	松本信道	517
日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	日本史3必 歴史3必	通年	4	湯淺隆	518
東洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	外国史3必(東洋史) 歴史3必	通年	4	石井仁	518
東洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	外国史3必(東洋史) 歴史3必	通年	4	中村淳	519
東洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	外国史3必(東洋史) 歴史3必	通年	4	杉山清彦	519
西洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	外国史3必(西洋史) 歴史3必	通年	4	大城道則	520
西洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	外国史3必(西洋史) 歴史3必	通年	4	佐々木真	520
西洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	外国史3必(西洋史) 歴史3必	通年	4	伏島正義	521

考古学演習Ⅰ 演習Ⅰ	考古学3必 歴史3必	通年	4	飯島武次	521
考古学演習Ⅰ 演習Ⅰ	考古学3必 歴史3必	通年	4	酒井清治	522
考古学演習Ⅰ 演習Ⅰ	考古学3必 歴史3必	通年	4	設楽博己	522
演習Ⅱ	歴史4必	通年	4	久保田昌希	523
演習Ⅱ	歴史4必	通年	4	熊本史雄	523
演習Ⅱ	歴史4必	通年	4	小泉雅弘	523
演習Ⅱ	歴史4必	通年	4	瀧音能之	524
演習Ⅱ	歴史4必	通年	4	中野達哉	524
演習Ⅱ	歴史4必	通年	4	廣瀬良弘	525
演習Ⅱ	歴史4必	通年	4	松本信道	525
演習Ⅱ	歴史4必	通年	4	湯淺隆	526
演習Ⅱ	歴史4必	通年	4	石井仁	526
演習Ⅱ	歴史4必	通年	4	中村淳	527
演習Ⅱ	歴史4必	通年	4	杉山清彦	527
演習Ⅱ	歴史4必	通年	4	大城道則	528
演習Ⅱ	歴史4必	通年	4	佐々木真	528
演習Ⅱ	歴史4必	通年	4	伏島正義	529
演習Ⅱ	歴史4必	通年	4	飯島武次	529
演習Ⅱ	歴史4必	通年	4	酒井清治	530
演習Ⅱ	歴史4必	通年	4	設楽博己	530
考古発掘実習	考古学3必 歴史3必	通年	2	酒井清治 飯島武次 設楽博己	531
日本史史料講読Ⅰ	日本史2選必 外国史・考古学2・3・4選 歴史2選必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	通年	4	瀧音能之	531
日本史史料講読Ⅱ	日本史2選必 外国史・考古学2・3・4選 歴史2選必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	通年	4	久保田昌希	532
日本史史料講読Ⅲ	日本史2選必 外国史・考古学2・3・4選 歴史2選必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	通年	4	中野達哉	532
日本史史料講読Ⅳ	日本史2選必 外国史・考古学2・3・4選 歴史2選必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	通年	4	小泉雅弘	533
古文書研究Ⅰ 古文書講読Ⅰ	日本史2・3・4選必 外国史・考古学2・3・4選 歴史2・3・4選	通年	4	廣瀬良弘	533

古文書研究Ⅱ	日本史2・3・4選必 外国史・考古学2・3・4選	通年	4	湯淺隆	534
古文書講読Ⅱ	歴史2・3・4選				
記録史科学Ⅰ	日本史2・3・4選必 外国史・考古学2・3・4選	通年	4	松本信道 久保田昌希 中野達哉	535
古文書学	歴史2・3・4選				
記録史科学Ⅱ	日本史2・3・4選必 外国史・考古学2・3・4選	通年	4	前期：小泉雅弘 後期：熊本史雄	536
東洋史文献史料講読Ⅰ	外国史2・3選必（東洋史） 外国史2・3・4選（西洋史） 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	休講	
東洋史史料講読Ⅰ	歴史2選必（東洋史） 歴史2・3・4選（東洋史以外）				
東洋史文献史料講読Ⅱ	外国史2・3選必（東洋史） 外国史2・3・4選（西洋史） 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	石井仁	537
東洋史史料講読Ⅰ	歴史2選必（東洋史） 歴史2・3・4選（東洋史以外）				
東洋史文献史料講読Ⅲ	外国史2・3選必（東洋史） 外国史2・3・4選（西洋史） 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	休講	
東洋史史料講読Ⅰ	歴史2選必（東洋史） 歴史2・3・4選（東洋史以外）				
東洋史文献史料講読Ⅳ	外国史2・3選必（東洋史） 外国史2・3・4選（西洋史） 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	中村淳	537
東洋史史料講読Ⅰ	歴史2選必（東洋史） 歴史2・3・4選（東洋史以外）				
東洋史文献史料講読Ⅴ	外国史2・3選必（東洋史） 外国史2・3・4選（西洋史） 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	休講	
東洋史史料講読Ⅰ	歴史2選必（東洋史） 歴史2・3・4選（東洋史以外）				
東洋史文献史料講読Ⅵ	外国史2・3選必（東洋史） 外国史2・3・4選（西洋史） 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	杉山清彦	538
東洋史史料講読Ⅰ	歴史2選必（東洋史） 歴史2・3・4選（東洋史以外）				
東洋史文献史料講読Ⅶ	外国史2・3選必（東洋史） 外国史2・3・4選（西洋史） 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	休講	
東洋史史料講読Ⅱ	歴史2選必（東洋史） 歴史2・3・4選（東洋史以外）				

東洋史文献史料講読Ⅷ	外国史2・3選必(東洋史) 外国史2・3・4選(西洋史) 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	渡邊義浩	538
東洋史史料講読Ⅱ	歴史2選必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)				
東洋史文献史料講読Ⅸ	外国史2・3選必(東洋史) 外国史2・3・4選(西洋史) 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	休講	
東洋史史料講読Ⅱ	歴史2選必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)				
東洋史文献史料講読Ⅹ	外国史2・3選必(東洋史) 外国史2・3・4選(西洋史) 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	石川重雄	539
東洋史史料講読Ⅱ	歴史2選必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)				
東洋史文献史料講読Ⅺ	外国史2・3選必(東洋史) 外国史2・3・4選(西洋史) 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	休講	
東洋史史料講読Ⅱ	歴史2選必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)				
東洋史文献史料講読Ⅻ	外国史2・3選必(東洋史) 外国史2・3・4選(西洋史) 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	山口洋	539
東洋史史料講読Ⅱ	歴史2選必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)				
西洋史文献史料講読Ⅰ	外国史2・3選必(西洋史) 外国史2・3・4選(東洋史) 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	休講	
西洋史史料講読Ⅰ	歴史2選必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)				
西洋史文献史料講読Ⅱ	外国史2・3選必(西洋史) 外国史2・3・4選(東洋史) 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	伏島正義	540
西洋史史料講読Ⅰ	歴史2選必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)				
西洋史文献史料講読Ⅲ	外国史2・3選必(西洋史) 外国史2・3・4選(東洋史) 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	休講	
西洋史史料講読Ⅰ	歴史2選必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)				
西洋史文献史料講読Ⅳ	外国史2・3選必(西洋史) 外国史2・3・4選(東洋史) 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	佐々木真	540
西洋史史料講読Ⅰ	歴史2選必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)				

西洋史文献史料講読V	外国史2・3選必(西洋史) 外国史2・3・4選(東洋史) 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	休講	
西洋史史料講読I	歴史2選必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)				
西洋史文献史料講読VI	外国史2・3選必(西洋史) 外国史2・3・4選(東洋史) 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	大城道則	541
西洋史史料講読I	歴史2選必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)				
西洋史文献史料講読VII	外国史2・3選必(西洋史) 外国史2・3・4選(東洋史) 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	休講	
西洋史史料講読I	歴史2選必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)				
西洋史文献史料講読VIII	外国史2・3選必(西洋史) 外国史2・3・4選(東洋史) 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	石田恵子	541
西洋史史料講読II	歴史2選必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)				
西洋史文献史料講読IX	外国史2・3選必(西洋史) 外国史2・3・4選(東洋史) 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	休講	
西洋史史料講読II	歴史2選必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)				
西洋史文献史料講読X	外国史2・3選必(西洋史) 外国史2・3・4選(東洋史) 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	菊池紘一	542
西洋史史料講読II	歴史2選必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)				
西洋史文献史料講読XI	外国史2・3選必(西洋史) 外国史2・3・4選(東洋史) 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	休講	
西洋史史料講読II	歴史2選必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)				
西洋史文献史料講読XII	外国史2・3選必(西洋史) 外国史2・3・4選(東洋史) 日本史・考古学2・3・4選	通年	4	土方史織	542
西洋史史料講読II	歴史2選必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)				
考古学実習(写真)	考古学2・3・4選必 歴史2・3・4選必(考古学)	通年	2	塚原明生	543
考古学実習(測量)	考古学2・3・4選必 歴史2・3・4選必(考古学)	通年	2	古庄浩明	543
考古学実習(実測)	考古学2・3・4選必 歴史2・3・4選必(考古学)	通年	2	上敷領久	543

考古学実習 (情報)	考古学 2・3・4 選必 歴史 2・3・4 選必 (考古学)	通年	2	小柳美樹	544
日本古代史	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	瀧音能之	544
日本中世史	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	久保田昌希	545
日本近世史	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	中野達哉	545
日本近代史	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	熊本史雄	546
日本史特講 I (古代)	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	加藤謙吉	546
日本史特講 II (古代)	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	古谷紋子	547
日本史特講 III (中世)	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	休講	
日本史特講 IV (中世)	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	黒田基樹	547
日本史特講 V (近世)	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	桜井邦夫	548
日本史特講 VI (近世)	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	出口宏幸	548
日本史特講 VII (近代)	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	熊本史雄	549
日本史特講 VIII (近代)	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	岸本昌也	549
東洋史各説 I (古代史)	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	山口洋	550
東洋史各説 II (古代史)	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	休講	
東洋史各説 III (中世史)	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	石田肇	550
東洋史各説 IV (近世史)	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	佐藤文俊	551
東洋史各説 V (近・現代史)	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	趙軍	552
東洋史各説 VI (アジア諸民族史)	外国史・日本史・考古学 2・3・4 選	通年	4	奈良修一	553
東洋史学史	歴史 2・3・4 必 (東洋史) 歴史 2・3・4 選 (東洋史以外)				
東洋史特講 I (古代史)	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	石井仁	553
東洋史特講 II (中世史)	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	中村淳	554
東洋史特講 III (近代史)	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	杉山清彦	554
東洋史特講 IV (近・現代史)	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	藤谷浩悦	555
東洋史特講 V (アジア諸民族史)	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	片岡一忠	556
東洋史特講 VI (アジア諸民族史)	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	松本弘	557
西洋史各説 I	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	休講	
西洋史各説 II	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	庄司啓一	557
西洋史各説 III	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	長谷川岳男	558
西洋史各説 IV	外国史・日本史・考古学 2・3・4 選	通年	4	佐々木真	559
西洋史学史	歴史 2・3・4 必 (西洋史) 歴史 2・3・4 選 (西洋史以外)				
西洋史特講 I	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	伏島正義	560
西洋史特講 II	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	休講	
西洋史特講 III	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	白川耕一	561
西洋史特講 IV	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	休講	
西洋史特講 V	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	大城道則	562
西洋史特講 VI	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	休講	
西洋史特講 VII	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	早川理穂	562
西洋史特講 VIII	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	休講	
考古学各説 I	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	近藤英夫	563
考古学各説 II	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	休講	
考古学各説 III	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	三宅俊彦	564
考古学各説 IV	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	休講	
考古学特講 I	日本史・外国史・考古学・歴史 2・3・4 選	通年	4	酒井清治	565

考古学特講Ⅱ	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	休講	
考古学特講Ⅲ	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	設楽博己	565
考古学特講Ⅳ	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	休講	
考古学特講Ⅴ	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	上敷領久	566
考古学特講Ⅵ	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	休講	
考古学特講Ⅶ	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	矢野和之	566
考古学特講Ⅷ	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	休講	
日本仏教史	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	松本信道	567
日本文化史	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	吉田政博	567
西洋文化史	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	石田恵子	568
有職故実	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	近藤好和	370
日本民俗学	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	谷口貢	371
歴史地理学	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	小田匡保	455
人文地理学概説	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	若林宏宗	568
地誌学	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	川元豊和	569
地誌学	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	山口太郎	570
地誌学	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	新井祥穂	571
哲学史	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	山口祐弘	571
中国歴史文学	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	田熊信之	369
仏教美術	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	村松哲文	572
西域美術史	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	松平美和子	572
美術史概説	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	北野良枝	373
ラテン語	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	上野勝広	412
ギリシャ語	日本史・外国史・考古学・歴史2・3・4選	通年	4	長谷川岳男	412

科目名	担当者名
日本史学基礎演習 基礎歴史学	くまもと 小みお 熊本史雄

講義のねらい	大学で歴史学を専攻していくうえで基礎となる、「歴史を読み解く作法」を学んでいく。
講義の内容・授業スケジュール	公文書史料や外交官・政治家の日記などを講読する。また、それら素材を複合的に組み合わせ活用することを通じて、史料批判の方法、歴史認識の生成とその意味、などについて考えていく。 今年度は、『日本外交の過誤』もしくは『岐路に立つ外交官』（いずれも未公刊）をテキストとして使用する。
履修上の留意点	歴史には「問」がある。「暗記する歴史」ではなく、「考える歴史」、「発見する歴史」を身につけるきっかけをつかんで欲しい。
成績評価の方法	夏期休暇中に課すレポートと後期の報告内容、さらには出席状況、授業態度を総合的に勘案して判断する。
教科書	とくに指定しない（教師側で準備する）。
参考書等	適宜紹介する。
その他	前期は講義形式で進め、後期は演習形式で行う。解説・補足説明などは随時織り交ぜていく。

科目名	担当者名
日本史学基礎演習 基礎歴史学	こいづみ まさひろ 小泉雅弘

講義のねらい	歴史研究を行うための基礎的方法を習得することを目的とし、あわせて社会における歴史学の活用について理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	史料批判・史料解釈・史料操作について、具体的な例をあげながら学び、日本史研究の方法論を学習する。さらに後半では、歴史研究と博物館展示、歴史学と文化財、史料の保存問題、歴史学の応用と地域社会など、テーマを設けて講義する。
履修上の留意点	歴史資料は情報やデータと言い換えることが可能である。そのような資料を基にしてどのような結論を導き出していくのか。歴史研究を学ぶということは考え方を学ぶことであり、この点に留意して授業にのぞんでほしい。
成績評価の方法	出席状況とレポートによって評価する。
教科書	特になし。必要に応じてプリントを配布する。
参考書等	小泉雅弘『下町の学芸員奮闘記—文化財行政と生涯学習の最前線—』（文芸社）。その他適宜紹介する。

歴史

科目名	担当者名
日本史学基礎演習 基礎歴史学	なかの たつ や 中 野 達 哉

講義のねらい	歴史研究の現状について紹介し、大学で学び研究する「歴史学」がいかなる学問であるか、各自が認識し、考えることを目的とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	高校の教科書の記述の変化、史料や先行研究の調べ方、歴史と歴史学・歴史研究、日本人の歴史観、自国史(日本史)と世界史、時代区分の再検討、地域と歴史研究など、いくつかのテーマを設け、それについて講義する。なお、夏期休暇にあたってはレポートを課す。
履修上の留意点	授業は必ず出席すること。遅刻をしない。
成績評価の方法	夏期休暇中・年度末などに課すレポートによる。出席状況・授業への態度も重視する。
教科書	必要な資料を授業時に配布する。教科書はなし。

科目名	担当者名
西洋史学基礎演習 基礎歴史学	おお しろ みち のり 大 城 道 則

講義のねらい	大学で西洋史学を学習し、4年間で立派な卒業論文を仕上げるために必要な、基礎的な技術を習得することを目的とした授業である。
講義の内容・ 授業スケジュール	1年間を通じて、以下のような内容を扱う。 a) 図書館の使い方 b) インターネットの利用方法 c) 歴史学に関する文献(書籍や研究論文)の探し方 d) レポートの書き方と提出されたレポートの添削 e) 授業での発表 f) 外国語文献の講読
履修上の留意点	西洋史コースの出発点となる授業であり、履修者にレポートの提出や発表などを行ってもらい、担当教員との交流の中で必要な技術や知識の習得を目指す。そのため、受講生の授業への積極的な参加が重要であり、必ず毎時間出席すること。原則として欠席は認めない。
成績評価の方法	成績は授業中の発表やレポート、必要に応じて行うテストの結果などを総合し、判定する。
教科書	教科書は特に指定しない。
参考書等	必要に応じて指示する。
その他	授業は担当教員による解説と、それに対応して受講生が行う具体的な作業を繰り返すことにより進行する。

科目名**担当者名**西洋史学基礎演習
基礎歴史学ささき まこと
佐々木 真**講義のねらい**

大学で西洋史学を学習し、4年間で立派な卒業論文を仕上げるために必要な、基礎的な技術を習得することを目的とした授業です。

講義の内容・授業スケジュール

- 1年間を通じて、以下のような内容を扱います。
- a) 図書館の使い方
 - b) インターネットの利用方法
 - c) 歴史学に関する文献（書籍や研究論文）の探し方
 - d) レポートの書き方と提出されたレポートの添削
 - e) 授業での発表
 - f) 外国語文献の講読

履修上の留意点

西洋史コースの出発点となる授業であり、履修者にレポートの提出や発表などを行ってもらい、担当教員との交流の中で必要な技術や知識を習得してもらいます。そのため、受講生の授業への積極的な参加が重要であり、必ず毎時間出席して下さい。原則として欠席は認めません。

成績評価の方法

成績は授業中の発表やレポート、必要に応じて行うテストの結果などを総合し、判定します。

教科書

教科書は特に指定しません。

その他

授業は担当教員による解説と、それに対応して受講生が行う具体的作業を繰り返すことにより進行します。

科目名**担当者名**東洋史学基礎演習
基礎歴史学すぎ やま きよ ひこ
杉 山 清 彦**講義のねらい**

東洋史学とは「東洋」を対象とする「歴史学」である。では、「東洋」とは何か。「歴史学」とは一般にいう「歴史」と何が、どう違うのか。どのような方法でそれに取り組むのか、また先人はどう取り組んできたか。このようなことを念頭に、1年間をかけて、大学において「東洋史」を学びかつ自ら研究していくための基本的な知識と技術の修得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

内容は、おおむね以下を予定している。

- ・「歴史」と「歴史学」
- ・東洋史学とは何か
- ・史料とは何か
- ・文献・用語の調べ方：図書館と工具書
- ・論文・レポートの書き方
- ・漢籍・漢文の基礎知識

講義を中心に進めつつ、受講生にも辞書を引く、文献を探すなど実際に作業を行ないその結果を報告してもらおう。受講生には、積極的に参加する姿勢を求める。

履修上の留意点

今後4年間の基礎となる知識と技術の獲得が目的であるので、4月初回から必ず出席し、毎回出席を怠らないこと。欠席は原則として認めない。

成績評価の方法

出席点と平常点、および随時課すレポート・課題作業等を総合して評価する。

教科書

特に指定しない。必要な資料は配布し、参考書等は適宜紹介する。

その他

図書館・専門書店など学内外に出かけて実地学習することもある。

科目名

担当者名

東洋史学基礎演習

なかむら じゅん
中村 淳

基礎歴史学

講義のねらい

4年間、大学において東洋史を学び、研究していく上で必要となる基本的な知識と技術を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は、教員が基本事項等を説明する講義形式と、学生がそれに基づいて実際に作業を行なう演習形式との二本立てで進める。内容はおおむね以下の通りを予定している。

[前期]

- ・ガイダンス——4年間の流れとこの1年間の位置
- ・図書館の利用法——見学と情報機器体験
- ・電腦東洋史学——インターネットと東洋史学
- ・論文ができるまで——学問としての東洋史学
- ・テーマ発表(1)——テーマを決めて発表をしてみる
レポートの書き方——情報をまとめ相手に伝えるということ

[夏期]

- ・夏期レポートの作成——実際に作成してみる

[後期]

- ・レポートへの総評——到達点を確認する
テーマ発表(2)——発表と質疑応答に慣れる
- ・最終レポートの作成——「4分の1」の成果
- ・東洋史学史——東洋史学にも歴史がある
- ・史籍解題——史料の海で溺れないように

履修上の留意点

とにもかくにも出席重視。4月1回目の授業から必ず出席すること。また随時、発表やレポート等を課す。

成績評価の方法

出席点に、テーマ発表等の平常点と、レポートの評価を加味して、総合的に判断する。

教科書

教科書はとくに指定しない。必要な資料は配付する。

参考書等

授業中に随時、参考書を紹介する。

その他

随時、図書館やパソコン教場を使用する。

科目名	担当者名
考古学基礎演習 基礎歴史学	したらひろみ 設楽博己

講義のねらい

考古学の諸問題 標記のテーマにもとづいて、研究発表の方法と実際を学ぶ。研究発表に際しては、問題提起、学史の理解、適切な資料の提示、論理的な分析によって、結論を明快に述べる必要がある。そのためには、わかりやすいレジュメの作成、プレゼンテーションなど他人を納得させる客観的な技術を身につける必要がある。また、司会のしかたを学んだり、他人の発表を聞いて、質問をする癖を身につける。考古学は、発掘調査などにもとづく資料を丹念に分析して歴史を復元する実証的な学問である。発掘調査は日々おこなわれ、新たな資料が続々と現れるので、常に新しい情報に敏感になる必要があり、そうした力も養う。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、前期は私がいくつかの研究発表をおこなって、それに対する質疑応答をおこなう。前期の後半から後期は、受講者が研究発表を行ない、討論する。発表は、『文化財発掘出土情報』の中から、好きな記事を選び、それについて調べておこなう。

履修上の留意点

講義中の私語は控えるように。真剣に聞いている者の迷惑になる者は退席を願うので、要注意。

成績評価の方法

発表及び中間レポートと、出席などによる評価。

教科書

とくになし。

参考書等

図書館備え付けの『文化財発掘出土情報』。

科目名	担当者名
日本史概説 日本史概説 I (古代・中世)	まつもと のぶ みち 松本 信 道

講義のねらい

日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

本講座では、飛鳥・奈良・平安・鎌倉・室町・戦国時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通じて概観したい。

履修上の留意点

受動的でなく、主体的に学習してほしい。

成績評価の方法

前期・後期の2回の試験の総合点で成績を評価する。

参考書等

『史料による日本の歩み 古代編』(吉川弘文館)
青木和夫『日本古代史』(日本放送出版会)
笹山晴生『日本古代史講義』(東京大学出版会)
佐々木潤之介『概論 日本歴史』(吉川弘文館)

その他

授業の方法は講義形式で進める。

科目名**担当者名**

日本史概説

でくちひろゆき
出口宏幸

日本史概説Ⅱ(近世・近代)

講義のねらい

日本史概説といいながら、戦国時代～近代初期までを中心にした内容です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期の授業は、戦国時代から近世前期を中心に講義する予定です。戦国時代を混乱と見るだけでなく、あらたな社会を創り出す過程という視点から、戦国の世に生きた様々な人々の姿を追ってみたいと考えています。そして、戦国の世が閉じられ、近世社会へ移行する過程で、どのような社会的変化がおこったのか。都市と村落という視点をもちつつ話を進めます。

後期の授業は、近世中後期から近代初期にかけて講義する予定です。近世社会が成熟し、諸制度が整備されると、文書による支配が展開します。これは、近世社会の特徴のひとつで、領主は文書による支配を実現します。財政基盤である年貢を、村からいかに徴収するかは最重要課題で、そのための仕組みが村に構築されます。行政村として存在した近世村に着目することで、近世社会における村の重要性を解説します。また、近代社会についても近世社会の諸制度が、いかに変容し受け継がれたのか、また否定されたのか考えます。

歴史学では、史(資)料に基づき、時代像を実証的に構築することが重要です。古文書を読むことは、当時の人との「会話」であり、追体験することといえます。歴史と向き合う時間は、貴重かつ重要な「体験」といえるでしょう。

成績評価の方法

試験80%、平常点20%

教科書

必要に応じ、授業中に指示します。

科目名**担当者名**

日本史概説

こいずみまさひろ
小泉雅弘

日本史概説Ⅱ(近世・近代)

講義のねらい

近世から現代にいたる日本の歴史について概説する。その際、政治・社会・文化・経済・外交などの関連性を重視したい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では幕藩体制の成立から幕末期までを対象とし、近世国家の形成過程と解体について講義する。後期では、明治維新を契機とする近代国民国家の成立、展開過程を取り扱う。

履修上の留意点

歴史的事象を個別のものとして捉えるのではなく、広い視野で考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験で評価し、出席状況を加味する。

教科書

特になし。

参考書等

講義内容にあわせて随時紹介する。

科目名	担当者名
東洋史概説 東洋史概説Ⅰ(古代・中世)	いし い 石 井 仁

講義のねらい

歴史教科としての「東洋史」は、近代日本におけるアジア・オリент研究＝東洋学を母胎としており、この学問・研究の成立と発展は、明治以来の日本の対アジア政策と密接にリンクしています。講義では、東洋史の生い立ちをたどりつつ、アジアの歴史を中国古代・中世史、ならびに日中関係史を柱に考察します。

講義の内容・
授業スケジュール

- (前期) (1～3) 東洋史の誕生
(4～6) 時代区分論争
(7～9) 黄河文明と長江文明
(10～13) 漢の武帝とその時代
(後期) (14～16) 三国志の世界(1)
(17～19) 三国志の世界(2)
(20～22) 六朝貴族制
(23～26) 隋唐帝国の成立

履修上の留意点

講義を通して、歴史を学ぶことの意味を考えて欲しい。

成績評価の方法

学期末試験・レポート(1～2回)の成績、および出席状況を総合的に評価します。

教科書

熊本崇編著『中国史概説』(白帝社)
適宜、プリント資料も配付します。

参考書等

講義で随時紹介します。

科目名	担当者名
世界史概説 東洋史概説Ⅱ(近世・近代)	こ ぼやし そう 小 林 惣 八

講義のねらい

アジア史を基点に世界史の歩みを多角的にとらえることを主眼とする。

講義の内容・
授業スケジュール

その場合の取り扱い方法として、同時代史に力点を置いて講義する。
例えば、
・中国の秦漢時代史とローマ帝国の盛衰
・モンゴル民族の発展とヨーロッパ騎士団との対立
・清の黄金時代とヨーロッパの市民革命…など10項目を設定する。ときに、ディスカッションや課題学習も考慮に入れる。

成績評価の方法

前期・後期のレポート提出と試験・出欠状況の総合評価とする。

教科書

特別定めないが、世界史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを勧める。

その他

出席を重視する。

歴
史

科目名**担当者名**

西洋史概説

ささき 眞

西洋史概説 I (古代・中世)

講義のねらい

ヨーロッパ史の流れのなかで、いくつかの題材をとりあげて、その内容についての歴史学上の見解の変遷を解説します。それにより、歴史学の学問的特質や、現在を生きる我々と過去との関係について検討を加えていきます。

**講義の内容・
授業スケジュール**

(前期)

- (1) はじめに
- (2) ギリシア史の理解
- (3) ローマ帝国の意義
- (4) アレクサンドロス大王の帝国
- (5) 前期のまとめ

(後期)

- (1) 中世社会について
- (2) キリスト教徒民間信仰について
- (3) 近代ヨーロッパの成立
- (4) 近代ヨーロッパへの視点
- (5) まとめ

履修上の留意点

週1回の講義で、具体的な事件を挙げつつヨーロッパ史全体の流れを述べることは不可能であり、講義では抽象的な解説が多くなります。そのため、ヨーロッパ史に関する具体的な歴史知識をある程度有していることを前提として講義をするので、高等学校の世界史程度の知識は自ら身につけておいて下さい。また、講義中に紹介された書籍をなるべく多く読むことを希望します。

成績評価の方法

成績は前期末のレポートと学年末試験および出席により判定します。

教科書

教科書は特に指定しません。

参考書等

参考書等は講義中に、必要に応じて紹介します。

その他

授業は講義形式で行い、随時参考資料を配布します。

科目名	担当者名
日本考古学概説 考古学概説Ⅰ(日本)	まか い きよ じ 酒 井 清 治

講義のねらい	日本の考古学は発掘も膨大にあり日々新しい資料も蓄積されている。その資料はどのような意味があるのか、資料からどのようなことが分かるのか、日本の考古学の中に位置づけ考古学とは何かを理解してもらう。
講義の内容・授業スケジュール	考古学の遺跡・遺物を時代を追って取り上げ、日本考古学を時代史的に概観する。講義は最初に考古学とは何かにあふれて前期は研究史や研究法、考古学とは何かを中心に述べる。後期には旧石器時代から縄文時代・弥生時代・古墳時代・歴史時代を概観する。また、前期には授業の始めに最新の発掘資料を見ながら考古学の理解を深めてもらう。
履修上の留意点	遅刻厳禁、私語厳禁。
成績評価の方法	定期試験とレポートで採点。平常点も加味する。
参考書等	鈴木公雄『考古学入門』(東大出版社) 安藤雅雄『考古学キーワード』(有斐閣) 江上波夫『考古学ゼミナール』(山川出版社) そのほか授業中に解説しながら紹介する。
その他	講義の中で OHP を使用し、図や写真あるいは実物資料を利用し理解を深める。

科目名	担当者名
外国考古学概説 考古学概説Ⅱ(外国)	い じま たけ づか 飯 島 武 次

講義のねらい	東洋考古学概説の講義を行う。地域的には中国を中心に話をし、中国考古学研究の現状を理解してもらう。
講義の内容・授業スケジュール	時代的には、旧石器時代から開始して、新石器時代・殷周時代・秦漢時代・南北朝時代を経て、隋唐時代までの講義を完了することを目標に授業をすすめていく。
履修上の留意点	欠席・遅刻をしないこと。
成績評価の方法	成績評価は学年末の試験で行うが、授業内容および試験の内容は、考古学専攻者としては一般的な常識であるのでよく勉強して臨むこと。
参考書等	飯島武次『夏殷文化の考古学研究』(山川出版社) 1985年 飯島武次『中国新石器文化研究』(山川出版社) 1991年 飯島武次『中国周文化考古学研究』(同成社) 1998年 飯島武次『中国考古学概論』(同成社) 2003年
その他	スライドやビデオを多用する予定である。

科目名

担当者名

世界史概説

井村 行子

西洋史概説Ⅱ(近世・近代)

講義のねらい

西洋史を中心に世界史を概説する。できるだけ情報量を制限して、考え方の筋道がつかみやすい授業を心がけたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1講 古代地中海世界(1)
- 第2講 古代地中海世界(2)
- 第3講 中世ヨーロッパ世界(1)
- 第4講 中世ヨーロッパ世界(2)
- 第5講 ビザンツ帝国と正教世界
- 第6講 近世ヨーロッパ(1)
- 第7講 近世ヨーロッパ(2)
- 第8講 近世ヨーロッパの社会経済(1)
- 第9講 近世ヨーロッパの社会経済(2)
- 第10講 オスマン帝国と東ヨーロッパ
- 第11講 革命の時代
- 第12講 自由主義と発展主義
- 第13講 諸国民の春
- 第14講 帝国と国民統合
- 第15講 ベル・エポック
- 第16講 ハプスブルク帝国とラテンアメリカ
- 第17講 世界戦争の衝撃
- 第18講 大衆動員の時代
- 第19講 大恐慌と一国主義的分立状況の出現
- 第20講 社会主義的ユートピア
- 第21講 戦後世界と冷戦
- 第22講 冷戦の終結と新世界秩序
- 第23講 エスニシティとジェンダー

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績による。

教科書

近藤和彦編『西洋世界の歴史』(山川出版社、1999) 3,200円

参考書等

開講時に世界史全般に関する文献目録を配布する。個々のテーマについてはその都度、必要性に応じて適宜紹介する。

その他

歴史映画のビデオ等によって歴史的なイメージの喚起に努めたいが、扱わなければならない事項は多く、時間は限られているので、現実にはなかなかむずかしい。

歴
史

科目名

史学概論

担当者名

伏島正義

講義のねらい

「歴史とは何か。」「歴史学は学問たりうるのか。」等の質問にたいする答えには公式な正解があるわけではない。各人が自身で探求するほかない。本講では、歴史はどのように認識されてきたのかについて、古代以来のその道筋を概略し、辿ってみる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、現代における歴史認識の一般的な例として、たとえば、ドロイゼン、クローチュエ、ブロック、フェーブル、ラッツェル、ブラーシュ、ホイジンガー、カーなどの見解を紹介する。次に、古代から近代までの歴史認識の展開と概略を、順次中国、日本、西洋においてみる。もとより各地域それぞれにおける詳細な史学的論点は、当該の授業に委ねるものの、本講ではそれぞれの地域においては、それぞれ歴史認識の特徴のあることを理解したい。そしてその特徴の意義を考え、広く古代から現代、そして未来に続く人間の歴史を考えたい。

履修上の留意点

本講は「歴史とは何か。」を自身で考えるために、その参考となるように古代以来の考え方を概観するものであり、歴史についての狭義の知識を詰め込もうという性格のものではない。したがって本講を受講するに当たって必要なのは自分自身で考えようとする心構えであり、特別な歴史の知識の多寡ではない。

成績評価の方法

これまでは概して、前期終了のころ提出していただくレポートと、学年末テストに拠って成績の評価をした。

教科書

教科書は特に定める必要はない。前期の講義開始の最初の授業で掲げる参考書、また講義の進行の途上でその都度必要に応じて指摘する参考書を読んでいただきたい。

科目名

日本史学史

担当者名

湯淺隆

講義のねらい

歴史の捉え方は、時代によって変わってきました。この科目では、これまで変化し続けてきた日本史の認識を、時代を追って説いていきます。日本史学における現在までのありようを理解することは、各自が自らの歴史像を構築していくために必須の要件になります。そのための基礎科目です。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 戦国時代までの史学の変遷を述べていきます。内容は、記憶の保存と継承、過去への認識、中国の正史、8世紀以前の修史(『古事記』、『日本書紀』)、朝廷の修史事業、古代における私撰の修史、中世の史書とその背景(『愚管抄』、『神皇正統記』、『太平記』)となります。
- (後期) 江戸時代から現代にいたる史学の変遷を述べていきます。内容は、近世における修史(幕府・儒者の修史事業、『大日本史』、国学者の歴史認識)、近代歴史学の輸入、アカデミズム実証主義史学、唯物史観と皇国史観、20世紀後半の日本史学、現代の日本史学、となります。

履修上の留意点

日本史学の潮流を知識としてではなく理解として記憶するように心懸けてください。

成績評価の方法

いくつかの事項については、授業中に各自の見解を尋ねます。前期末および後期末には、論述試験をします。評価は、すべてを合算して算出します。

教科書

特定のものは使用せず、プリントを配付します。

参考書等

その都度、提示します。

その他

授業は講義形式となります。

歴史

科目名**担当者名**

考古学史

小柳美樹
こやなぎ よしき**講義のねらい**

日本考古学研究の歴史を通して、研究の方法や論理構築の仕方、議論・論争の展開について学ぶ。また近年の考古学の発見が、そうした学史に照らし合わせれば、どのような意義を有しているのかも確認する。そして、自己の研究への姿勢、理念、方法論の確立を構築する一助となることを望む。

講義の内容・授業スケジュール

日本考古学の歩みを発見・発掘調査・研究者列伝・論争などを軸に論じる。
前期は明治時代までの考古学史
後期は大正時代以降の考古学史を論じる。

履修上の留意点

限られた時間内では全てを言及することができないため、授業の中で取りあげられた文献や調査報告書に自主的に積極的に目を通し、博物館などで実物資料を観察して復習して欲しい。授業の理解度や興味の深さが一層増すはずである。
学生諸君には考古学という枠組みをこえたさまざまな領域に興味を持つことを期待したい。

成績評価の方法

夏季休暇のレポート作成（試験を受けることができる条件）
学年末の試験
出席はあくまで参考

教科書

なし（レジュメを準備し、授業時に配布している）

参考書等

授業時に随時紹介していく

科目名**担当者名**日本史学演習Ⅰ
演習Ⅰ久保田昌希
くぼた まさき**講義のねらい**

本講座は特定の史料の講読を受講者自身が担い発表形式で行い、他の受講者との内容討論を行うことによって、受講者（発表者）自身はもちろん受講者全体の研究方法や問題意識を高めることを目的としている。受講される皆さんは積極的に取り組んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

本講座では数年来、戦国大名関係の文書と取り組んでおり、そのなかでもとくに東国戦国大名（今川・武田・北条・上杉氏）を対象としている。その理由は発給文書の数も多く、また内容も多岐にわたっており、しかも研究史としての蓄積も比較的多いと思われるからである。演習では一点の文書を中心に、発表担当者には、そこから読み取れることを研究史も含めて、できるだけ調べてくることを課したい。それによって来るべき卒論への準備段階として、史料への認識を大いに持っていただきたいと考えている。

履修上の留意点

受講人数によっては補講を実施することがある。

成績評価の方法

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

適宜史料コピーを配布する。

参考書等

適宜紹介する。また大いに図書館を利用してほしい。

その他

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

歴史

科目名	担当者名
日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	くまもと ふみお 熊本史雄

講義のねらい

昭和期を中心とする近代日本の政治と外交につき、配布史料を読解、検証する作業を積み重ねることで、歴史像を自ら構築する力を養う。これら作業を、翌年に控えた卒業論文作成の準備に役立てたい。

講義の内容・
授業スケジュール

具体的には、外交史料館所蔵記録（公刊物としての『日本外交文書』を含む）や外交官、政治家の日記などを講読対象史料・文献とする。

報告者は、事項、人物、問題の背景など基礎的事項を把握したうえで、報告者自らが設定した問題となるテーマに沿って報告をする。その際、必要に応じて先行研究や関連史料なども踏まえること。さらに、参加者全員で討論し、問題に対する理解を深めていく。

履修上の留意点

配布史料や課題図書 of 参照指定箇所には、必ず事前に目を通すように。授業冒頭には、配付史料・図書に対する感想や問題点、疑問などを、「1分間コメント」として参加者全員に手短かに述べてもらう。

成績評価の方法

出席、報告内容、授業態度などを基に総合的に判断する。

教科書

適宜史料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名
日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	こいずみ まさひろ 小泉雅弘

講義のねらい

幕末から明治期を対象とし、受講者が当該期の研究方法を習得することを目的とする。さらに、討論を通じて日本近代史に関する理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は『大久保利通文書』を教材として史料講読を行う。講読は受講者が分担し、史料解釈、当該史料の歴史的背景、先行研究などを調べて報告する。後期では各自が興味あるテーマを決めて、研究史や問題点の報告・討論を行い、卒業論文作成の準備としたい。

履修上の留意点

報告・討論での積極的な発言を期待する。

成績評価の方法

出席状況、発言内容、学習態度などにより総合的に評価する。

教科書

該当史料をプリントして配布する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名

担当者名

日本史学演習Ⅰ
演習Ⅰ

たき おと よし ゆき
瀧 音 能 之

講義のねらい

『古事記』と共に、日本古代史の研究の不可欠の史料である『日本書紀』をテキストにして、史料の読解力や扱いかたを養成すると共に、史料を通して古代社会を構築する力を養いたいと考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめの数回は、私が、『日本書紀』についてのガイダンスをします。そのあとは、参加者に担当した部分の報告をしてもらいます。

履修上の留意点

演習は、講義とことなり、みなさんの参加の度合いが強い授業形態です。こうした形態をプラスにするのもマイナスにするのもみなさんの熱意次第です。積極的な参加を期待します。

成績評価の方法

担当個所の報告内容、および他者の報告に対する意識によって評価します。

教科書

はじめの授業のさいに、指示します。

科目名

担当者名

日本史学演習Ⅰ
演習Ⅰ

なか の たつ や
中 野 達 哉

講義のねらい

史料の解説・分析力、関連資料・文献の調べ方、先行研究の理解・批判力をつけ、日本近世史（織豊期～幕末期）研究のための基礎的な力を養うことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本近世史の史料は各地に所在し、しかも膨大な量があり、その多くは活字になっていない。そのため、研究にとりかかるとき、史料調査やくずし字の解説から始める必要がある。この点を踏まえ、前期は、草書で記された『朝野舊聞哀藁』（幕府が編纂した徳川氏創業の歴史書）などを取り上げて講読し、古文書に慣れるとともに、近世の社会について考える。講読は受講者が分担して解説し、関連資料・文献を調べ、授業で発表・討議する。また、後期には、各自が研究テーマを設け、研究史の整理と研究課題についてまとめ、授業で発表・討議する。なお、後期授業での発表の準備として夏期休暇中にレポートを課す。

履修上の留意点

前期の講読に際しては必ず予習し、前後期とも積極的に討議に参加することが望まれる。

成績評価の方法

授業での発表と討議、出席状況、夏期のレポートにより評価する。定期試験はなし。

教科書

前期に使用するテキストは、コピーを配布する。教科書はなし。

その他

史料の見学・調査実習なども考えたい。

歴
史

科目名	担当者名
日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘

講義のねらい

中世史料の講読を通じて、戦乱の世をしたたかに生きた人びとの生活・文化・宗教等について考えます。また、人びとのものの考え方、慣習、しぐさと芸能、主従の関係、男女の関係、人びとの信仰と神や仏などについても考えたいと思います。例えば、中世の村々の寺院は文字通り駆込み寺化しておりましたが、どのような人物が駆込んで身の安全を図ろうとしたのでしょうか。敗戦者・殺人犯・離縁希望者・逆心者（反逆者）・博徒など様々です。また、「女房の密懐」（不倫）にプライド高い男たちはどのように対応したのでしょうか。戦国大名は家臣同士が争うような「困った」問題にいかに対応しようとしたのでしょうか。史料に基づく事実の究明はとても興味深いものです。少し難しいが、すぐにおもしろくなる授業にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

どのようなものを読み進めて行くか、受講者の希望を生かしたものにしますが、以下のような授業を予定しています。

前期の第1回から14回は室町幕府法や戦国大名の分国法の中から不入・走入り（駆込）・無縁所や密懐（不倫）に関するものなど、文化史に関する条文を中心に読み進めます。

後期の第15回から26回も引き続き戦国大名の分国法を講読していきますが、さらに、戦国時代に嫁ぐ者に対して、求められる「嫁」像を説く「幻庵覚書」、弾丸が飛び交った乱世を生き抜いた「おあむ」「おきく」の物語などにも触れたいと思います。

履修上の留意点

最初は少し難しいが、すぐに興味深いものになります。探究心をもって史料に臨んでほしいと思います。

成績評価の方法

担当した史料に対する発表状況、他者の発表に対する質問等での積極的な参加などを考慮します。試験は行いません。

教科書

随時、史料のコピーを配布します。

参考書等

随時紹介してゆきますが、『くずし字解読辞典』（東京堂出版）2,200円などがあるとよいと思います。

科目名	担当者名
日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	まつ もと のぶ みち 松 本 信 道

歴
史

講義のねらい

日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の養成と史料を通して当該時代の歴史的状況を把握することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は『日本後紀』をテキストとして用い、輪読しながら平安時代初期の政治・経済・文化の諸様相について再検討してみたい。後期は卒業論文作成の準備過程として正倉院文書・木簡・金石文・律令その他の性格の異なる史料を輪読し、史料読解力を養成するとともに、文献の検索・収集・読解の方法と研究の進め方などについても指導する。

履修上の留意点

受講生は必ず予習して出席すること。

成績評価の方法

平常点と出席点の総合で行う。

教科書

当該部分をコピーして配布します。

参考書等

『新字源』（角川書店）

その他

授業の方法は輪読と討論のゼミ形式で行う。

科目名	担当者名
日本史学演習 I 演習 I	湯 浅 隆 あさ ながし

講義のねらい	日本近世史のうち、都市・文化・宗教などのテーマを中心とした演習となります。具体的なテーマに基づいて、先行する研究成果の整理、検討すべき課題の探索、史料に接し文言の解釈、歴史像の構築などを行なっていきます。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 史料を輪読しながら、江戸時代後半の社会のありようを大きく把握することをめざします。テキストには『日暮硯』を用います。 (後期) 江戸町方にかんする文献史料を講読し、近世史研究の実際に触れていきます。それと併行して、各自の卒業論文作成に向けての課題の絞り込みを行います。
履修上の留意点	『日暮硯』(岩波文庫)は4月授業開始前に入手し、78ページまでは読んでおいてください。
成績評価の方法	授業中の発表・討論における発言に基づきます。
教科書	前期は『日暮硯』(岩波文庫)、後期はプリントを配付します。
参考書等	その都度、提示します。
その他	教場における授業に加えて、都内もしくは近郊へ実踏に出かけます。

科目名	担当者名
東洋史学演習 I 演習 I	石 井 仁 いし い ひとし

講義のねらい	中国史、ことに隋唐時代以前の歴史を研究する際の基本史料は、歴代王朝によって公式の記録と認定された歴史書—「正史」です。正史は司馬遷『史記』から『明史』まで24あり、「二十四史」と呼ばれています(中華民国の時に正史に加えられた『新元史』をあわせて「二十五史」ともいう)。正史はすべて本紀(帝王の伝記、および在位中の諸事件の記録)と列伝(帝王以外の重要人物の伝記、もしくは諸外国の記録)を柱とする、いわゆる紀伝体の形式で書かれています。二十四史中、魏・蜀・呉—三国時代(3世紀)を記録したものが、有名な『三国志』(西晋の歴史学者、陳寿の撰)です。講義では、この『三国志』の講読を通して、正史の読み方、あるいは正史を用いた研究方法などについての理解を深めることを目的とします。なお、『三国志』のどの巻から講読するかについては、開講後、相談のうえ決定します。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) (1・2) ガイダンス (3~13) 講読演習 (後期) (14~26) 講読演習
履修上の留意点	予習・復習に十分な時間をとって講義に臨んでください。
成績評価の方法	講義に対する取り組み方を総合的に評価しますが、レポートを課すこともあります。
教科書	中国・中華書局刊行の標点本をテキストに使用します(コピーを配付)。
参考書等	随時紹介します。
その他	テキストを受講者が輪番で漢文訓読します(必要に応じて現代語訳)。

科目名	担当者名
東洋史学演習 I 演習 I	なかむら じゅん 中村 淳

講義のねらい

清の趙翼が著した『二十二史劄記』の宋・遼・金・元の部分を中心に講読しながら、漢文読解能力を養成し、受講者各自がより具体的な問題意識を持つきっかけとなることをねらう。

講義の内容・
授業スケジュール

具体的にどの箇所を読むかは、受講者の希望する研究テーマを勘案して、授業開始時に指示したい。毎回、担当者を決め、担当者にはレジメを作成し、それに基づいて報告してもらう。また夏期休業期間中には研究テーマに関するレポートを作成してもらう。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席点と平常点にレポートの評価を加味し、総合的に評価する。

教科書

必要な史料はプリントで配布。

参考書等

必要な史料はプリントで配布。

その他

必要な史料はプリントで配布。

科目名	担当者名
東洋史学演習 I 演習 I	すぎやま きよ ひこ 杉山 清彦

講義のねらい

漢文史料・研究文献の講読を通して、史資料の読解力・扱い方を身につけるとともに、近世中国史・内陸アジア史の基礎知識を獲得することをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

歴代正史の考証である清・趙翼著『二十二史劄記』、および清の故事・制度を記した清・礼親王著『嘯亭雜録』をテキストとして明・清代の政治・制度に関する記事を選読し、あわせて関連する研究論文を講読する。受講者全員に漢文の訓読・現代語訳を課し、必要に応じて担当者にレジメを作成・報告してもらう。

履修上の留意点

各自、漢和辞典など基本工具書必携(電子辞書は不可)。詳しくは開講時に紹介・指導する。

成績評価の方法

出席状況を含む平常点とレポートにより評価する。演習であるので、毎回の出席はもちろん、事前の十分な予習と演習時の積極的参加姿勢とが求められる。

教科書

テキストは両書とも中華書局刊の標点本を使用し、講読箇所のプリントを配布する。参考書等は適宜紹介する。

その他

テキストは漢籍であるが、モンゴルなどアジア諸地域に関連する箇所も取り上げるので、中国史以外の専攻を志望する学生の受講も歓迎する。

科目名	担当者名
西洋史学演習 I 演習 I	おおしろみちのり 大城道則

講義のねらい	最終目標である卒業論文作成の準備のために、文献の読み方、資料の集め方と扱い方を学ぶのが講義のねらいである。
講義の内容・授業スケジュール	①卒業論文作成の手始めとして、西洋古代史に関する文献史料の集め方を知る。 ②各自が決定した卒業論文(仮題)作成のために必要な文献を収集し、その内容紹介を行う。 ③後期には、各自が選んだ卒業論文のテーマについての発表・報告を行い、意見交換を行う。
履修上の留意点	まずは演習に参加し、他の学生の考え方・発表の仕方などを知ることが重要である。
成績評価の方法	講義に対する取り組み姿勢(個々人の発表内容と他の生徒の発表に対する質問など)と出席率により評価する。
教科書	なし。
参考書等	必要があれば適時紹介する。
その他	前期・後期にそれぞれ一回ずつ行う発表・報告は1時間に2~3人を予定している。

科目名	担当者名
西洋史学演習 I 演習 I	まさきまこと 佐々木 眞

講義のねらい	西洋近代史を対象として卒業論文を書こうとする学生のための演習です。授業では西洋近代史に関する英語文献をテキストとし、その輪読により授業を進め、外国語文献・史料の読解力を養うと同時に、卒業論文作成の準備を行います。
講義の内容・授業スケジュール	テキストは、授業開始時に受講生と相談して決定します。また、夏休みを利用して、各自が関心を持っている分野に関する文献の調査レポートを作成する課題を出します。卒業論文作成の準備としては、後期のあいだに、各受講生に、自分が論文のテーマにしようとする分野に関する報告を義務づけます。
履修上の留意点	発表の分担を事前に指定することはないので、毎時間確実に予習してきて下さい。
成績評価の方法	成績は授業中の各自の発表内容に出席を加味して決定します。テキストを正確に読むためには、内容を常に理解することが肝要であり、それには前後関係の理解が重要となります。そのため、欠席は原則として認めません。また、文中に出てくる固有名詞は、できる限り事前に調べておくこと。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となり、出席はあくまでも必要条件でしかないことに留意して下さい。
教科書	授業開始時に、講読する文献のコピーを用意します。
その他	授業はゼミ形式で行い、文献講読の場合には輪読で、1時間に2人~3人に発表をしてもらいます。また、年度最初の授業には必ず出席して下さい。

歴史

科目名	担当者名
西洋史学演習 I 演習 I	ふせ しま まさ よし 伏 島 正 義

講義のねらい

まず第1に、当該演習Iは4年次に課される卒業論文の作成のための第1次準備段階であることからして、各人は自己の卒論テーマを具体的に決定し、その研究に着手しなければならない。したがってそのための文献、史料の収集方法に習熟することである。第2に、受講生にとって共通となる文献を輪読し、相互の意見交換などにより、歴史研究を深める機会とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず各自の設定した卒論のテーマに添って、文献、史料の収集と読解に努める。次に前期においては受講生の共通となる論文、専門書などの文献を、とりわけ西欧史研究では依然として共通語の1つである独語、仏語、英語のいずれかで書かれた文献を、発表などを交えながら輪読する。後期は、前期から各人の進めてきた卒論のテーマの研究を1人1時限を使って発表、質疑応答する。

履修上の留意点

卒論のテーマに該当する言語に習熟することは言うまでもなく、当該演習の共通言語にも読解力をつけておくことが必要である。研究文献、史料の検索、収集、さらにその解読には多大の時間を必要とするものである。したがってそのための気概が期待される。

成績評価の方法

演習にいかにか積極的に且つ熱心に参加しているかが基本的な基準である。具体的方法は受講生と相談し、決める。

教科書

共通するテーマ及びテキストは受講生と相談し、決める。

参考書等

必要に応じて随時指摘する。

科目名	担当者名
考古学演習 I 演習 I	い飯 しま たけ づぐ 飯 島 武 次

講義のねらい

中国語原典『新中国考古五十年』（1999年）および『新中国的考古発現和研究』（1984年）の講読。

講義の内容・授業スケジュール

1時間当たり半頁を読む予定。テキストは授業開始後コピーして渡す。中文講読は、発音と内容解釈からなり、講読部分の引用関連文献にも目を通しておく必要がある。

履修上の留意点

発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと、発表者の欠席・遅刻は他の学生の大変な迷惑になる。発表者の欠席・遅刻に関しては、教師側の判断で落第にする場合がある。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

教科書

『新中国考古五十年』（文物出版社）1999年
『新中国的考古発現和研究』（文物出版社）1984年

参考書等

飯島武次『中国考古学概論』（同成社）2003年

その他

授業方法は学生による原典講読と研究発表。

科目名	担当者名
考古学演習 I 演習 I	酒井清治

講義のねらい	将来卒業論文を作成するための基礎的な力を養うため、日本考古学の論文の読み方、論文作成のための資料収集法、執筆の方法を学ぶ。また、論文作成の基礎知識を養う。
講義の内容・授業スケジュール	いくつかの日本考古学の論文を選び、文献や資料の使い方、図版の作り方などを学び、その問題点などについて全員で論議する。各自で将来卒論の題材として選んだテーマを、研究レポートを書く。それを授業で資料収集方法などを含め、発表要旨を添えて発表してもらう。それについての問題点を質疑応答する。
履修上の留意点	受講者はそれぞれが積極的に論文を読み、発表に対する質疑にも積極的に参加すること。また関連する遺物・遺跡を自ら積極的に見学することを心がけること。
成績評価の方法	研究レポート、発表要旨、報告者へのコメント、出席状況。特に授業で発表者に質問した回数は重視する
教科書	研究する上に必要な論文等は授業の中で指摘する
参考書等	論文掲載の引用文献
その他	授業はゼミ形式で

科目名	担当者名
考古学演習 I 演習 I	したらひろみ 設楽博己

講義のねらい	縄文・弥生文化の諸問題 縄文時代・弥生時代の文化に興味のある受講生を対象に開講する講義。この演習を通じて、縄文・弥生文化についての最先端の研究を把握し、理解を深めると同時に、卒業時に製作する卒業論文のテーマを探し、卒論作成の足がかりとすることをねらう。
講義の内容・授業スケジュール	縄文・弥生文化にかかわるさまざまな問題あるいは興味のあるテーマについて、毎回1～2名の受講生にその研究成果を発表していただき、議論する。
履修上の留意点	下調べを綿密に行い、レジュメをていねいに製作してわかりやすい発表を心がけ、それを卒業論文へとつなげる。
成績評価の方法	発表内容と質疑応答、中間レポート、出席などにより評価する。
教科書	なし。
参考書等	その都度用意するが、当面縄文・弥生文化を理解するために、(佐原真1987『大系日本の歴史1 日本人の誕生』小学館、佐々木高明1991『日本史誕生 日本の歴史1』集英社)をよく読んでおくこと。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	久保田 昌 希 <small>くぼた まさき</small>

講義のねらい

本講座では、3年次での演習Ⅰの成果に立って、特定の史料や受講者自身の研究テーマについて、それぞれ発表し、且つ他の受講者とのそれらに関する討論を行いたい。そしてそのことで、受講者（発表者）自身はもちろん、受講者全体の研究方法や問題意識の高揚を一層はかることを目的としている。受講される皆さんは積極的に取り組んでほしい。
なお、本講座ではあわせて卒業論文の指導も行う。

講義の内容・授業スケジュール

まず本講座の最初に、講読する史料を決めるか、卒業論文に関する個人研究にするかを話し合いたい。その結果により年度の方針を決めたいと思う。

履修上の留意点

卒業論文は、本学科に学んだ成果の現れでもある。大いに尽力してほしい。

成績評価の方法

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

とくに指定しない。特定の史料が決定次第そのコピーを配布する。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	熊本 史 雄 <small>くまもと し お</small>

講義のねらい

卒業論文作成の指導を主として行う。
大正～昭和期を中心とする日本近代史研究の状況を把握しつつ、各種公文書（内閣、外務省、陸軍省、海軍省など）や私文書（日記や手紙）についての史料状況を解説する。また、関連する先行研究を読むことも併せて行う。これらを踏まえた後、受講生が自らのテーマについて研究を深め、卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は上記についての解説と先行研究の確認を行う。前期の後半より後期にかけて、受講生各自が報告を行い、それに基づき参加者全員で討論を行う。

履修上の留意点

各自の選んだ研究テーマに真摯に取り組んで欲しい。

成績評価の方法

報告、授業態度などを基に総合的に判断する。

歴
史

科目名	担当者名
演習Ⅱ	小泉 雅 弘 <small>こいずみ まさひろ</small>

講義のねらい

卒業論文作成の指導を通じ、幕末～明治期における諸問題について検討する。

講義の内容・授業スケジュール

受講者各自が研究テーマに基づいた発表を行う。前期は研究史、後期は卒業論文の内容を踏まえて発表し、受講者全員で討論を行う。

履修上の留意点

卒業論文でオリジナルかつ説得力のある論文を書くということは、社会に出て必要とされる能力を身につけることである。常に問題意識を持つこと。

成績評価の方法

出席状況、発言内容、学習態度などにより総合的に評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	たき おと よし ぬき 瀧 音 能 之

講義のねらい

日本古代史に関する卒業論文指導をおこなうつもりです。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は討論・報告形式をとり、前期には各人の卒業論文のテーマの決定・目次の作成・文献目録の作成をめざします。後期には研究史の整理、そして実際に卒業論文を作成するための準備をおこないます。

履修上の留意点

卒業論文は4年間のしめくりです。各人がはっきりとした自覚をもって積極的にとりくむ意欲をみせて下さい。

成績評価の方法

授業における報告・討論、そして、卒業論文の内容によって評価を決定します。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	な が の たつ や 中 野 達 哉

講義のねらい

大学生活の最も大きな成果の一つとなる卒業論文の作成とともに、史料の調査方法と解読・分析力、論理的に考察・論述する方を身につけることを目的とする。そして、それを、歴史研究のみならず、社会生活においても役立てて欲しい。

講義の内容・
授業スケジュール

各人が卒業論文のテーマに基づき、前期・後期に各1回程度報告し、受講者による討論を行う。また、随時、卒業論文の指導を行う。

履修上の留意点

本講座は日本近世史(織豊期～幕末期)を対象とするものである。第1回目の授業において、各人の卒業論文のテーマの方向性を考え、報告する日程(順番)を決めるので出席すること。

成績評価の方法

授業での報告と討議、出席状況により評価する。定期試験はなし。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	ひろ せりょう こう 廣 瀬 良 弘

講義のねらい

史料の読解・分析力を養い、より高い水準の卒業論文の完成をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

受講者各自が提示した卒業論文テーマ・関連研究論文等に対して、受講生全員によるディスカッションを行い、卒論の論題を確定し、各自卒論の中心的史料・文献等の講読・分析を通じて、論点を明確にし、卒論の完成をめざしていきます。授業スケジュールとしては、
 (1・2) 卒業論文のテーマの提示 (4月～) (3～6) 研究史の整理 (5月～)
 (7・8) 卒論論題の確定 (6月10日論題提出) (9・10) 研究史の整理と参考文献の検討
 (11～13) 中心的史料等の分析と論点の明確化 (14) 卒論の章立に関する作業
 (17・18) 卒論の概要に関する発表 (9月～) (19・20) 中間報告
 (21) 卒論作成に関する技術的なアドバイス (22) 最終報告
 (23・24) 下書の提示に基づく指導と添削
 (25・26) 清書・完成・提出 (12月11日提出) (27) 卒論をふりかえる
 の順で、論題提出日、卒論提出日等に合わせて進めていくが、全体として、発表・相互のディスカッション・指導という形式で進めていきます。

履修上の留意点

よりよい卒業論文を完成させる意欲を持って臨んでほしい。随時、発表を求めるとして早めに作業・研究を進めて授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

卒業論文の内容とともに、完成に至る過程も重視して評価します。

教科書

各自の卒論のテーマに応じて随時示していきます。

参考書等

随時、示していきます。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	まつ もと のぶ みち 松 本 信 道

講義のねらい

日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の習熟と史料解釈を通じての歴史的諸様相の把握を目的とし、必要に応じて卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、『令義解』所収の「職員令」をテキストとして用い、輪読・討論しながら奈良時代の官僚組織について再検討してみたい。
 後期は、各自の卒業論文の研究テーマについての発表と討論を行い、それをもとに卒業論文を完成させる。

履修上の留意点

受講生は必ず予習をして出席すること。

成績評価の方法

平常点と出席点の総合で行う。

教科書

『令義解』の当該部分をコピーして配布します。

その他

授業の方法は輪読・討論のゼミ形式で行う。

歴
史

科目名	担当者名
演習Ⅱ	湯浅隆

講義のねらい

日本近世史で卒業論文を作成しようとする4年生のうち、都市・文化・宗教などのテーマを主たる対象とした演習となります。
卒業論文を4年間の生活が凝縮するものとして捉え、それへ向かってオリジナルの作品を悔いなく創りあげていくことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 卒業論文のテーマを確定し、先行する研究成果を把握し、さらに論点を明確にしたうえで、論文構成の骨格を確定させていきます。
(後期) 史料に基づき、内容に関する個々の論証を加えつつ、論文の作成にあたります。

履修上の留意点

自己の卒業論文のみならず、ゼミ構成員全般のテーマ・方法に関心をもつことが必要です。

成績評価の方法

授業中の研究発表・討論時における発言に基づいて行います。

教科書

使用しません。

参考書等

その都度、提示します。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	石井仁

講義のねらい

東洋史(中国史)に関する卒業論文の作成を指導します。研究テーマの設定から、参考文献や基本史料の調査・収集・解説、具体的な論文執筆の方法・手順に至るまで、全般的にバックアップします。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) ガイダンス (2~13) 演習
(後期) (14~26) 演習

履修上の留意点

講義時間外も、可能なかぎり、相談に応じます。「自分の研究なのだ」という自覚をもち、一生に一度の卒業論文の執筆に情熱を傾けましょう。

成績評価の方法

卒業論文の作成に対する取り組み方を総合的に評価します。

その他

前期では、各自の問題関心にかかわる基本的な研究、ないしは注目する研究について調査し、輪番で報告します。そのうえで、これまでの研究の問題点や精査を要する事項などをチェックしつつ、研究テーマをしばらくこみ、論文作成の手順を確認します。後期では、できるだけ早い時期に、各自の研究テーマを輪番で中間報告し、作業手順を再確認します。進捗度によっては、作業手順(あるいはテーマ自体)の補足・修正などについてもアドバイスします。ただし、受講者が極端に少ない場合には、前期・後期とも個別指導をおこないません。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	中村淳

講義のねらい

主に宋・遼・金そして元代を対象とする卒業論文に関する指導をする。併行して文献講読を行ないたい。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文の相談会・中間発表を随時行なう。前期にテーマ紹介1回、中間発表1回、後期に構想発表1回を予定している。具体的なスケジュールについては、最初の講義の際に受講生と相談しながら決める。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席点と平常点とを総合して評価する。

教科書

必要な史料はプリントで配布。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	すぎやまきよひこ 杉山清彦

講義のねらい

卒業論文、とくにアジア諸地域の近世～近現代史を扱う卒業論文の作成を指導する。大学での4年間の学業の集大成である卒業論文とは、自分の問題意識と興味関心に基づいてテーマを設定し（問題設定）、それを解くための史資料を収集・検討し（史料読解・批判）、自分の検討結果・見解を論理的に他者に提示する（構想報告・論文執筆）という一連の過程である。受講生各人がこの過程を体験し、かつ朋輩の報告・討論に参加することによって、問題発見・解決の力とプレゼンテーションの力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文へ向けての構想発表とそれに対する討論・指導を主として進め、受講生は輪番で研究報告する。並行して東アジアの近世～近代史に関する秀れた研究論文を講読し、それらの過程において史資料の調査・収集・読解の方法や論文の構想・執筆法について指導する。スケジュールについては、開講後受講者の人数・テーマを勘案して相談する。

履修上の留意点

演習であるので、毎回の出席はもちろん、発表・討論に積極的に参加する姿勢が求められる。

成績評価の方法

出席状況を含む平常点による。

その他

卒業論文作成に関しては、演習の時限に関わりなく指導するので、積極的に質問・相談されたい。

歴
史

科目名	担当者名
演習Ⅱ	大城道則

講義のねらい	演習Ⅰで行った基礎作業を踏まえ、最終目標である卒業論文の完成に向けての指導を行う。
講義の内容・授業スケジュール	前期は各自がそれぞれ選んだ外国語文献を読み、その内容について講義中に紹介を行う。後期は各自が準備を進めている卒業論文のテーマについての発表を行う。その際に準備状況についての最終的な確認を行う。
履修上の留意点	就職活動を優先することはいたしかたないが、発表者は必ず欠席しないこと。あるいは事前に伝えること。
成績評価の方法	各自の発表内容と授業への積極的な参加・出席（率70%以上）を重視する。
教科書	教科書は無いが、発表者各自がレジュメを作成し、それをコピーし配布する。
参考書等	必要があれば適時紹介する。
その他	発表・報告は1時間に2～3人（前期）、4～5人（後期）を予定している。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	佐々木真

講義のねらい	外国語文献の輪読を中心として授業を進め、随時必要に応じて卒業論文作成の指導を行います。
講義の内容・授業スケジュール	テキストは昨年度使用したものの続きを読むことを予定しています。また、必要に応じて各受講生の卒業論文の準備状況を報告してもらいます。
履修上の留意点	発表の分担を事前に指定することはしないので毎時間確実に予習してきて下さい。
成績評価の方法	成績は授業中の各自の発表内容に出席を加味して決定します。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となり、出席はあくまでも必要条件でしかないことに留意して下さい。
その他	授業はゼミ形式で行い、文献講読の場合には輪読で、1時間に2人～3人に発表をしてもらいます。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	伏島正義

講義のねらい

演習Ⅰで進めてきた卒論のテーマに添った研究を最終的に完成するよう指導することが最大のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰの段階で読むことのできなかった文献の入手と解説に全力を尽くすとともに、これまでの研究上の不備な点を再検討し、万全を期す。これに並行して各人が進めてきた研究の進捗状況、成果を順次発表する。

履修上の留意点

上記の諸点は夏期休暇の期間内に履行し、ほぼ完了することが望ましい。なぜならば、卒業後就職しようとする者にとっても、さらに上級の大学へ進学しようとする者にとっても当該演習Ⅱの4年生はなすべきことはあまりにも多く、したがって忙殺のため当初掲げたさまざまな課題を十分に満足することのできなかった例をこれまで少なからず見てきたからである。なお、演習に出席することは当然であるが、万一就職活動その他の理由により欠席する場合は、必ずその理由を報告していただきたい。

成績評価の方法

演習にいかに関心を持って参加しているかが基本的な基準である。

その他

他人（教師）による評価にとどまるのではなく、自身にとっても、大学生活の、最後にして最大の、忘れ難い記念碑となるような卒業論文を作成すべく、心がけてください。自身が心をこめて自身におくった贈り物ほど、いとおしく、尊いものはない。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	飯島武次

講義のねらい

卒業論文の指導。

講義の内容・授業スケジュール

考古資料の調査研究を行う。毎時間、履修者の研究発表となるが、発表者は配布資料等を十分に準備して発表に臨むこと。

履修上の留意点

発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと。発表者の欠席・遅刻は他学生の大変な迷惑になるので、発表者の欠席・遅刻に関しては、教師側の判断で落第になる場合がある。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

その他

授業方法は、学生による研究発表。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	酒井清治
講義のねらい	卒業論文をどのように書くのかを指導する。
講義の内容・授業スケジュール	前半は論文の書き方について説明し、各自自分のテーマと関連ある主要論文を読み込み、研究の方向性を決め、各自のテーマに沿った卒業論文の構成作りを行う。後半は各自のテーマに基づいた研究発表を行い、皆で論議しながら論文としてまとめられるよう指導する。
履修上の留意点	発表者は事前に発表する日を知らせるので、準備するとともに、当日発表者は遅刻、欠席をしないこと。欠席した場合は単位が取れないと考えてほしい。
成績評価の方法	卒論の進行状況を把握するためにも出席を重視する。発表要旨、発表者への質問も考慮し、授業で発表者に質問した回数は重視するので積極的に発言してほしい。
参考書等	授業の中で紹介する。
その他	授業はゼミ形式。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	したら博己

講義のねらい	卒業論文の指導を行なう。論文は、先行研究を咀嚼しているか、適切な素材を用いているか、正確な分析を行なっているか、妥当な結論に達しているかが要求される。数回にわたる中間発表によって、そうした手続きが論理的に行なわれているかどうか、自分自身で確認できるようにする。論文は、章立ての階層構造の論理性、文体の統一や図表の適切なレイアウトなども要求される。人が読んでわかりやすい論文を仕上げるよう指導する。
講義の内容・授業スケジュール	前期2回、後期2回ほどの中間発表を行なう。前期はまず、6月のテーマ提出を目指し構想を発表した後、学史を中心とした研究発表を行なう。後期は資料分析について研究発表を行なった後、章立てを完成させて各章ごとにその要約を発表する。質疑応答も行なう。
履修上の留意点	与えられた課題をスケジュールどおりにこなすこと。評価でも触れるように、自分自身でこつこつと資料を収集することが重要なので、早くから課題を明確にし、資料収集をおこない、既存の関連研究に目を通しておくようにしたい。
成績評価の方法	発表内容や質疑応答、出席で評価する。収集する資料は人様のコピーなどではなく、自分自身でおこなうことを心がけるようにすれば、高い評価が与えられる。
教科書	なし。
参考書等	その都度指示。

歴史

科目名

担当者名

考古発掘実習

酒井 清治・飯島 武次
さかい きよし しいじま たけつぐ
 したら ひろみ
 設楽 博己

講義のねらい

考古学の基本は発掘した資料から人類の歴史を考えることであるが、発掘技術の優劣により発掘資料の情報量も異なってくる。発掘現場で対応できる発掘技術の習得を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

考古発掘実習の授業は、通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。

履修上の留意点

夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり、夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが通例である。従って履修者は、博物館実習等との関係をよく考えあわせ、夏休みの計画の中に、発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は、発掘実習と館務実習の期間が決定した後には計画を作ること。

授業と野外考古発掘実習においては、授業連絡・授業教程の関係から無届けの欠席、遅刻は一切認めない。またいかなる理由があっても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては、教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで、履修学生の協力をお願いする。

成績評価の方法

成績評価は出席点と平常点および発掘実習の態度と発掘日誌などを総合して判断する

教科書

『考古学調査ハンドブックス1 野外編』（雄山閣）1984年

参考書等

授業の中で資料を配付する

その他

通常は講義で、夏休みに野外発掘実習を行う

科目名

担当者名

日本史史料講読 I

瀧 音 能 之
たき おと よし ゆき

講義のねらい

8世紀のはじめに成立した『常陸国風土記』をテキストにして、それを読みながら、古代の常陸および東国の社会のさまざまな様相について考えてみたいと思っています。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回、テキストを使って、その解説をおこないますが、単に私だけが、講義をするのではなく、質問などを通して出席者とのコミュニケーションを大事にしたいと考えています。また、できれば、ビデオなどの視覚教材も使いたいと思っています。

成績評価の方法

筆記試験をおこない、その結果を重視しますが、それに授業での平常点を加えて評価します。

教科書

はじめの授業のさいに、指示します。

その他

ただ、授業をきくのではなく、積極的に参加しようという熱意を期待します。

歴
史

科目名

担当者名

日本史史料講読Ⅱ

くぼた まさき
久保田 昌 希

講義のねらい

言うまでもないが歴史研究には史料が必要である。それ故に歴史(日本史)研究の出発点(基本)は史料を読むことと解釈にあるといつてよい。それによって、各自が歴史像を構築していくのである。そうした積み重ねが大事である。その過程で各自が新たな発見を通して、楽しさや意義を見出すことができるだろう。

史料講読は、3・4年次の演習Ⅰ・Ⅱで行うが、より早い段階から史料への取り組みに慣れておく必要があるということで、本講座では中世史分野に関する基礎史料を対象とする。

それでは中世に関する史料にはどのようなものがあるのだろうか。前代までの朝廷・寺社関係に加えて新たに鎌倉・室町幕府、守護・戦国大名その他在地領主といった武士階層による文書や記録、さらに農民・惣村や町・都市に伝わった文書・記録が増えてくる。

また、最近の中世史研究が明らかにしているように、例えば絵図や絵画・絵巻物、板碑・鰐口をはじめとする金石文、中世考古遺物・遺跡の有効な活用は、文書・記録の多角的な解釈とともにこれまでの既成の中世社会像への再検討を提起するにいたっている。

これらの史料は今日、多くのものが活字化されてきており、わたくしたちも容易に見られるようになってきている。そしてそのことが中世史研究の発展につながっているとさえいえる。

講義の内容・授業スケジュール

本講座としては、上に掲げた中世史料をすべて対象とすべきであろうが、もとより中世史料は前時代とくらべて多く、その一端に止めざるをえない。史料の講読・紹介につとめつつ、史料所蔵機関や閲覧についても解説していきたい。

1. 中世史料入門
2. 吾妻鏡を読む
3. 御成敗式目・建武式目を読む
4. 中世史料所蔵機関の紹介
5. 中世民衆史料を読む
6. 公家日記を読む
7. 棟札や金石文を読む
8. 中世史料・遺跡保存への視点

履修上の留意点

本講座に限ったことではないが、本学図書館には多くの活字化(刊行)された史料がある。そういったものに早く、自分なりに問題関心にそって目を通そうとすることが大切だと思う。

成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

とくに指定しない。適宜必要に応じて資料を配布する。

参考書等

『史料による日本の歩み(中世編)』(吉川弘文館)2,936円

歴
史

科目名

担当者名

日本史史料講読Ⅲ

なか の たつ や
中 野 達 哉

講義のねらい

歴史の研究は、いかに理論を組み立て、それを実証していくかにある。そして、そのためには、先人たちの足跡として残された史料を読み解くことが必要である。本講義では、日本近世の史料を正確に読み込み、判断する力をつけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

織豊期～幕末期にかけてのさまざまな史料を取り上げて読み、分析していく。いうまでもなく、近世については、武家文書・町方文書・村方文書・寺社文書など多様な分野にわたり膨大な量の史料が伝えられている。授業では、いくつかのテーマを設けて行っていくが、読むための基礎的な力をつけるだけでなく、その史料の背景にある社会情勢などについても考えていく。

また、近世史料のなかには、活字になっていないものも多くあり、その所在も個人宅や図書館・博物館・文書館など多様である。史料の所在や調査方法などについても触れていきたい。

履修上の留意点

難解なものとは怖がらず、親しみをもって史料を読んでほしい。

成績評価の方法

授業での平常点および年度末に行う定期試験により評価する。

教科書

教科書はなし、必要な資料は適宜プリントして配布する。

科目名	担当者名
日本史史料講読Ⅳ	小泉まさひろ こいずみ まさひろ

講義のねらい	実証に裏づけされた歴史研究を行うために、その基礎となる日本近代史史料の読解力を養成する。
講義の内容・授業スケジュール	幕末期から明治期における諸史料(公文書・書簡・日記など)を教材として、史料の読み方、解釈、内容分析などを行う。また、各史料保存機関の所蔵資料についても紹介する。
履修上の留意点	必ず予習すること。
成績評価の方法	定期試験によって評価し、出席状況を加味する。
教科書	史料をプリントして配布する。
参考書等	児玉幸多編『くずし字解読辞典』(東京堂出版)

科目名	担当者名
古文書研究Ⅰ 古文書講読Ⅰ	ひろせりょうこう 廣瀬良弘

講義のねらい	<p>古代・中世古文書の読解力と分析力を身につけることと、その楽しさを知ることを目的とします。歴史の研究は資料の解読に始まることは、言うまでもありません。なかでも、多くの情報を含んでいる古文書史料の解読の能力を持つことは、歴史を云々する以前の問題であり、歴史学のスタートラインと言えます。合わせてアーカイブ(史資料)に関する知識・意識を高めます。</p> <p>前期では古文書の概要と形式を把握し、人名や度量衡の単位などが多数記載されている検地帳や戦国期のパターン化されている比較的読みやすいものからはじめます。後期には平安鎌倉・南北朝期の古文書の読解に努め、古文書のバリエーションに対応できる力を養います。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>(前期) (1・2) 古文書の概要と形式 (3～6) 検地帳を読む(人名・度量衡) (7～10) 戦国大名文書に親しむ(禁制・印判状) (11～13) 天下人の書状を読む(信長・秀吉・家康) (14) 古代文書を読む(太政官府・院庁下文) (15・16) 女房奉書を読む (17) 頼朝下文を読む (18・19) 関東下知状 (20・21) 室町將軍家御教書を読む (22・23) 文書伝達のシステム(遵行・打渡状) (24・25) 戦国時代の文書を読む (26) まとめ</p>
履修上の留意点	古文書の読解力は、慣れ親しむことから身につきます。予習復習はもちろんのこと、授業の時だけでなく、日頃から文書に接する時間をつくることが望まれます。
成績評価の方法	学年末試験の結果と受講者の提出物の内容に依拠して行います。問題作成および成績評価にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるよう配慮します。
教科書	『演習古文書選様式編』(吉川弘文館) 1,365円(税込)
参考書等	『くずし字解読辞典』(東京堂出版) 2,200円、『古文書解読辞典』(柏原書房) 2,500円の携帯を望みます。

科目名**担当者名**古文書研究Ⅱ
古文書講読Ⅱ

湯 浅 隆

講義のねらい

江戸時代に作成された古文書・記録類・典籍（以下、江戸時代史料と記します）を対象として、その読解力の習得をめざします。文書の形を知ること、文字を解読すること、そのうえで文言・様式から歴史事実を読みとる力の養成を目的とします。

江戸時代史料には、歴史学がこれまでに蓄積してきた成果の総量を遙かに超える豊富な事実が詰め込まれています。解読の扉を自ら開き、さらに広げていくことで、江戸時代への興味が限りなく広がっていくきっかけとなることを期待しています。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）江戸時代史料に幅広く接するようにします。

・武家の史料（幕府、大名、旗本、高札） ・町方の史料（沽券状、借用証文、引札など）
・村方の史料（年貢割付状、村明細帳など） ・寺社の史料（往来手形、寺請証文など）

（後期）内容にまとまりをもった史料を読み進めていきます。

・一件記録を読むことで、江戸時代の言葉の表現に慣れ、内容から文字を推定できるようにしていきます。

履修上の留意点

江戸時代史料の表現に慣れることが肝要で、文書および活字史料にできるだけ多く接するようしてください。したがって、授業時間以外における自習が必要です。

成績評価の方法

授業における取り組み、学年末の試験などを合算して行います。

教科書

教材として、史料のプリントを配付します。

参考書等

その都度、提示します。

その他

授業は、輪読形式となります。

科目名

記録史料学 I
古文書学

担当者名

まつもと のぶみち くぼた 昌希
松本 信道・久保田昌希
なかの たつや
中野 達哉

講義のねらい

古代から近世にいたるわが国の史料保存の歴史や史料論について講義する。とかくおちいりがちな、ひとつの時代に片寄った史料論ではなく全時代を対象とした古文書学をめざす。また、文書を後世に残していこうという姿勢を国家レベルで打ち出した公文書館法（昭和62年制定）やアーキビスト（文書士）養成問題などもふまえて史料の保存と利用に関する問題にもふれるつもりである。さらに、古文書のみならず歴史資料として絵画や出土遺物・金石文なども視野に入れて考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) ガイダンス……（担当教員全員）。
- (2) 古代の文書様式、木簡、漆紙文書・墨書土器などの利用法、金石文の有効性…（松本担当）。
- (3) 中世古文書の形態・様式、中世古文書学の発達と保存・伝来とその利用法…（久保田担当）。
- (4) 近世の古文書学、古文書の整理・分類方法、史資料の保存・利用法…（中野担当）。
- (5) ※以上とは別途に文書館・史料館等への見学を実施する予定。

履修上の留意点

古代から近世までの古文書の全体について学びたいと思っている学生、また、従来の古文書学に加えて史資料の保存・利用といった観点に興味をもっている学生の履修を期待する。

成績評価の方法

試験・レポートの成績によって評価する。

教科書

教科書は特定のものを用いず、必要に応じて担当教員が指示する。

参考書等

各担当教員が教場において指示・紹介する。

その他

講義が中心となるが、必要に応じてビデオ・スライド・OHP などを使用する。

講義のねらい

現在、各地の文書館などで記録史料を取り扱う専門職（アーキビスト）の設置が検討されており、その必要性が広く認識されているが、本講義では、記録史料を取り扱う基本的な知識を取得する事を目的としている。ここでは、明治維新以降に作成された様々な「近代史料」について、史料の収集や整理、保存さらに修復など、さらには近年注目される「オーラルヒストリー」の方法など、「記録史料（アーカイブ）」の全般について講義する。前期は、とくに公文書の読解における作法を学び、後期は、「近代史料」の取り扱い方全般について学ぶ。前期では具体的には外交文書（電報、公信）を主として採り上げ、そこから窺い知れる文書処理や政策決定の過程、さらには「記録」として保存されることの意味につき検証する。これらを踏まえ、階層構造をなす文書群の固有の体系性について考える。また、「記録史料学」の授業の中では、教室での講義にとどまらず、実際に文書館を訪ね、現物の史料にふれると共に史料整理や保存などの現場を見学し、実践的な学習を重視する。

講義の内容・
授業スケジュール

第一回：講義の概要

前期（担当：熊本）公文書の世界／国民国家形成とアーカイブズ／外交文書の生成過程〔記録管理論〕／府県文書の生成過程〔記録管理論〕／文書保存と廃棄〔評価・選別論〕／近代史料学の方法と射程／情報公開法と近代史料学
後期（担当：小泉）「記録史料学」とは／史料収集について／史料の整理／史料の保存／史料の修復／史料閲覧の考え方／「オーラルヒストリー」の方法

履修上の留意点

積極的に授業に参加し、史料に接する事の喜びを感じ取ってほしい。また、「公文書」がもつ「固有の体系性」を学び取って欲しい。

成績評価の方法

出席と授業態度、前後期授業における試験の結果を総合的に判断する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

「記録史料学Ⅰ」と合わせての履修が望ましい。

科目名	担当者名
東洋史文献史料講読Ⅱ 東洋史史料講読Ⅰ	いし い ひと 石 井 仁

講義のねらい

北宋の司馬光（1019－1086）が編纂した『資治通鑑（しじ・つがん）』294巻は、周の威烈王二十三年（西暦紀元前403年）から五代後周の世祖顯徳六年（紀元後959年）までの1362年間を編年体で叙述した歴史書です。司馬光は各時代の基本史料を整理収集し、事実と考えられる記事を採用しました。内容は政治過程を基調としつつも、社会経済・文化など、多岐にわたり、各時代の概況が通観できるように工夫されています。また、元の胡三省が『資治通鑑』にほどこした精密な注釈（＝胡注）は、単なる字句の解釈にとどまらず、政治制度・地理などの各分野ですぐれた見解を提示しています。

以上のような特色を兼ね備える『資治通鑑』の講読を通して、漢文史料読解力の向上はもとより、研究のための各種実用書－工具書（辞典・年表・地図・索引類など）の使用方法や、文献の検索方法など、中国史研究に不可欠の基本知識と作業手順の修得をめざします。なお、『資治通鑑』のどの時代、何巻から講読するかについては、開講後、相談のうえ決定します。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）（1・2）ガイダンス （3～13）講読
（後期）（14～26）講読

履修上の留意点

予習・復習に十分な時間をとって講義に臨んでください。

成績評価の方法

講義に対する取り組み方を総合的に評価しますが、レポートを課すこともあります。

教科書

中国・中華書局刊行の標点本をテキストに使用します（コピーを配付）。

参考書等

随時紹介します。

その他

テキストを受講者が輪番で漢文訓読します（必要に応じて現代語訳）。

科目名	担当者名
東洋史文献史料講読Ⅳ 東洋史史料講読Ⅰ	なか むら じゅん 中 村 淳

講義のねらい

本講では、モンゴル時代（モンゴル帝国・元朝の時代）を対象とする漢文を、英語訳を補助資料としながら輪読する。漢字を普段から用いている日本人は、ややもすれば漢文を雰囲気だけで読んでしまうことがある。英語訳と対照させながら漢文を読むことで、一文字一文字を大切にしながら史料を読む習慣を身につけてもらいたい。同時に、モンゴル時代を研究する際の基本的な知識や技術を合わせて修得してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、輪読の中心となる担当者を決める。具体的なスケジュールは、受講者の人数によってはじめて決まるので、授業開始時に受講者と相談して決めたい。担当者は担当箇所の漢文と英語訳を日本語に翻訳・対照し、関連データを整理したレジユメを作成して授業に臨み、それに基づいて報告する。レジユメの作成方法や発表・報告の仕方は、授業開始時にガイダンスを行なって説明する。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

出席点・平常点により総合的に判断する。

教科書

特に指定しない。必要な資料はコピーして配布する。

参考書等

特に指定しない。

科目名	担当者名
東洋史文献史料講読Ⅵ	すぎ やま きよ ひこ 杉 山 清 彦
東洋史史料講読Ⅰ	

講義のねらい

清末、19世紀後半に著された清の掌故の書である福格『聽雨叢談』を選読し、漢文史料読解力を養成するとともに、清代の制度・史実について知識と理解を深める。あわせて、辞書・索引・年表など各種工具書の利用法や史料・研究文献の検索法など歴史学研究のための基本的な知識と技術の修得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初回はガイダンス。以降、講読。受講者全員で漢文を訓読・現代語訳し、輪番で担当者に関連事項に関するレジュメを作成・報告してもらう。また、テキストの内容に関連する研究論文も講読する。

履修上の留意点

各自、漢和辞典など基本工具書必携(電子辞書は不可)。詳しくは開講時に紹介・指導する。

成績評価の方法

出席状況を含む平常点とレポートにより評価する。講読演習であるので、毎回の出席はもちろん、事前の十分な予習と演習時の積極的参加姿勢とが求められる。

教科書

テキストは中華書局刊の標点本を使用し、講読箇所プリントを配布する。参考書等は適宜紹介する。

その他

テキストは漢籍であるが、モンゴルなどアジア諸地域に関連する内容も扱うので、中国史以外の専攻を志望する学生の受講も歓迎する。

科目名	担当者名
東洋史文献史料講読Ⅷ	わた なべ よし ひろ 渡 邊 義 浩
東洋史史料講読Ⅱ	

講義のねらい

東洋史の研究、就中、中国古代史の研究に必要な漢文読解力の涵養を目標とする。近年の高等教育における漢文学習の不足に鑑み、第一に漢文を講読するための基礎知識を説明し、第二に基本的な漢文の文法を学ぶ。そのうえで、第三に実際の歴史史料として『三国志』文帝紀を取り上げ、その精読を通じて漢文の訓読・現代語訳への訓練を行うものである。

講義の内容・授業スケジュール

第一回～第二回 漢文を訓読するための基礎知識
 第三回～第六回 漢文文法
 第七回～ 『三国志』文帝紀の訓読・現代語訳

履修上の留意点

漢和辞典(電子辞書ではないもの。角川書店の『新字源』が好ましいが、新たに購入する必要はない)を持参すること。

成績評価の方法

第七回以降の『三国志』文帝紀の訓読・現代語訳は、参加者の輪番で行う。それを以て評価を定める。

教科書

プリントを配布する。

その他

ゼミ(輪読)形式で行う。

科目名	担当者名
東洋史文献史料講読Ⅹ 東洋史史料講読Ⅱ	いし かわ しげ お 石 川 重 雄

講義のねらい	本講義は清の趙翼『廿二史劄記』を読みながら、史科学や史料批判などについて学ぶことを目的といたします。まず各自が関心のある項目をいくつか選択し、原文筆記、返り点、訓読、日本語訳をつくってもらいます。その過程で趙翼が引用した記事と正史の記事との校合、人物・地名・官職・歴史事項等の検討をおこない、簡単な「訳注」を完成させたいと思います。このほか講義の合間に、「正史のはなし」「暦のはなし」「年号のはなし」「諱を避ける」等の基本事項についても言及する予定です。
講義の内容・授業スケジュール	<p>【前期】</p> <p>1) テキスト・辞書の説明 2) 担当者の輪読、発表 3) 正史のはなし 4) 訳注レジュメの作成</p> <p>【後期】</p> <p>5) 担当者の輪読、発表 6) 年号のはなし 7) 諱を避ける 8) 訳注レジュメの作成、総括</p>
履修上の留意点	担当者を決めて発表形式です。各自予習が必要となります。講義の際には適当な漢和辞典を持参して下さい。
成績評価の方法	平常の発表内容、出席率、提出レジュメによって行います。
教科書	テキストは、講義時にプリントを配布いたします。
参考書等	必要に応じてそのつど紹介します。

科目名	担当者名
東洋史文献史料講読Ⅺ 東洋史史料講読Ⅱ	やま ぐち りし 山 口 洋

講義のねらい	漢文史料の読解能力と調査技術の習得。中国の隋唐時代と同時期の北アジア史の知識習得。
講義の内容・授業スケジュール	<p>遊牧騎馬民族である突厥は、中国の南北朝時代において、北アジアから大きな影響を与えた勢力である。しかし、隋が成立すると、その巧みな外交戦術が効を奏して、突厥は分裂弱体化してしまう。その陰には、対突厥政策を専門に担った長孫晟の存在がある。本授業では、長孫晟の列伝を読みながら、彼の活躍の姿を浮き彫りにするとともに、南北朝時代から隋唐時代にかけての北アジア遊牧勢力と中国王朝の関わりかたについても考えたい。</p> <p>授業スケジュール：第1回ガイダンス、第2回調査方法指導、第3回～第10回周書長孫晟関連資料講読、第11回前期まとめ、第12回～第22回隋書長孫晟関連資料講読、第23回まとめ、第24回筆記試験</p>
履修上の留意点	講読は、史料を自らの力で読むことに意味がある。毎回出席すること当然であるが、必ず予習をすること。また、漢和辞典（電子辞書は望ましくない）を毎回持参すること。なお、出席不良者には単位修得を認めない。
成績評価の方法	筆記試験、レポート、及び平常点
教科書	『周書』及び『隋書』長孫晟伝（プリント配布）。適宜他の正史関連史料を配布。
参考書等	護雅夫『古代トルコ民族研究』Ⅰ～Ⅲ（山川出版社）
その他	授業方法はゼミ形式。漢文史料を全員で輪読する。後期からは、レジュメ作成など準備、報告を課す。

歴史

科目名

担当者名

西洋史文献史料講読Ⅱ

伏島正義

西洋史史料講読Ⅰ

講義のねらい

西洋史を学ぼうとする場合、それが人文・社会科学の1部門であるとの立場に立つ限り、その根拠として、史料は必要不可欠であり、必須の前提条件であることは言うまでもない。しかも史料を読むことにより、それを包む社会がいかなるものであったのかについて、さまざまな角度からの検討を可能とさせる。なぜならば、史料は自身からはなんら自動的に語り出すものではなく、我々の史料への問いかけ次第で、多くの事柄について汲めども尽きないヒントを与えてくれるはずだからである。

講義の内容・授業スケジュール

具体的にいかなる史料を扱うかについては受講生と相談のうえ、決める。但し本講では西欧諸国を対象とし、概して前近代をその範囲とする。また史料は翻訳に拠ることなく原典それ自体を読むこととしたい。なぜならば、翻訳は翻訳者の一定の見解を濾過したものである限り、それに依存することは我々各人の自由で、独創的な解釈を阻害する危険があるからである。したがって初歩的な原典の原語を学びたい。これまでは初歩のラテン語を学び、次にラテン語の史料を読んだ。昨年度は9世紀初頭パリのサン＝ジェルマン＝デ＝プレ修道院の院長イルミノンによる所領明細帳の一部を読んだ。これは西洋中世における領主―農民関係を議論する場合の根拠とされる第一次史料である。

履修上の留意点

歴史を原典史料に降り立って、じっくりと研究しようとする志を持つ、地道な姿勢が期待される。

成績評価の方法

演習形式で授業を進めるため、毎回授業に出席し、いかに積極的にして熱心に参加しているかが基本的な基準である。学期末にテストを実施し、決める。

教科書

D. A. Kidd, *Collins Gem Latin Dictionary Latin-English ; English-Latin*
その他必要な史料等はプリントして、配布する。

参考書等

授業に合わせて、その都度指摘する。

科目名

担当者名

西洋史文献史料講読Ⅰ

佐々木真

西洋史史料講読Ⅰ

歴史

講義のねらい

フランス語で文献を購読してみたい人のための授業です。フランスの絶対王政期から革命期にかけての文献をフランス語で講読します。同時に、テキストの背景となる歴史状況についての解説も行います。

講義の内容・授業スケジュール

授業は履修者の輪読による演習形式で進めます。進行方法については、受講者の数やレベルを考慮して授業を行うなかで決めていきます。

履修上の留意点

外国語を講読する授業なので、フランス語の基礎的な知識は必要となります。また、フランス史についてのある程度の知識が必要となるので、授業中に紹介する参考文献や概説書を必要に応じて読んでください。テキストを精確に読むためには、内容を常に理解することが肝要であり、それには前後関係の理解が重要となります。そのため、欠席は原則として認めません。

成績評価の方法

成績は授業への出席と、授業にタイする各受講生の取り組みを中心に評価し、必要が認められた場合には学年末に試験を実施します。

教科書

テキストは授業開始時にコピーを配布します。

参考書等

参考文献は必要に応じて授業の中で紹介します。

科目名**担当者名****西洋史文献史料講読Ⅵ**おお しろ みち のり
大 城 道 則**西洋史史料講読Ⅰ**

講義のねらい

西洋史をテーマとして卒業論文を書く場合、外国語を読むことは避けることが出来ない。そこで本講義では、西洋史研究の基礎となる外国語文献および外国語史料の扱い方・読み方を学ぶ。また外国語文献に接する機会を数多く持つことにより、常日頃から外国語を読むことに慣れるのがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

古代西洋史・古代オリエント史に関する外国語文献を輪読し、必要があれば適時その内容について講義中に解説、及び受講者間での討論を行う。

履修上の留意点

毎回の出席を望む。本講義は語学ではなく歴史学の講義であり、内容の理解度を重視するため、テキスト中に登場する固有名詞（人名・地名）などについても調べてくること。事前に訳者を割り当てたりはしないため、必ず毎時間予習してくることを心がけること。

成績評価の方法

授業への積極的な参加・出席を重視し、学年末の試験により総合的に評価する。予習がなされていない場合は欠席扱いとする。

教科書

受講生と相談して決定する予定である。講読する文献のコピーは全て講義前に配布する。

参考書等

必要があれば適時紹介する。毎回辞書を持参すること。

科目名**担当者名****西洋史文献史料講読Ⅶ**いし だ けい こ
石 田 恵 子**西洋史史料講読Ⅱ**

講義のねらい

西洋文明の基層には古代メソポタミア文明にその源を発する要素が多々ある。古代メソポタミア文明を紹介し、西洋文明や現代文明を見つめ直す。

講義の内容・授業スケジュール

古代メソポタミアに関する数冊の英文概説書から適宜抜粋し、毎授業時に輪読しつつ、内容の補完説明も行う。

履修上の留意点

英語文献ではあるが、高度な内容も含むため、理解しにくい点があるかもしれないが、予習は不可欠。

成績評価の方法

出席点を重視。前期は課題レポート。後期は試験。

教科書

講読資料はその前の授業時に適宜配布する。

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名
西洋史文献史料講読Ⅹ	まくちこういち 菊池 紘一
西洋史史料講読Ⅱ	

講義のねらい

西洋史の基本テーマに関する欧語——ここでは英語——文献を読む力をつけることにより西洋史理解のレベルを上げるための訓練を兼ねますが、今日のわれわれにとって切実な意味を持つ歴史に臨場感を持ってもらうことが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストとして、David Herlihy (ed. by Samuel K. Chorn, Jr), *The Black Death and the Transformation of the West*, Harvard University Press, 1997を予定しています。序文・本文合わせて80頁ほどの小品ながら、西洋世界の変容を決定づけた14世紀の黒死病の実態と影響を解説した基本文献です。これを完読し、黒死病以後の西洋史を展望するなかでどのような歴史的課題が出てくるか検討していきます。

履修上の留意点

基礎的な知識があつて理解が進むわけですから、参考文献の読書も疎かにしないこと。

成績評価の方法

授業への取り組みと期末試験の成績を合わせて評価します。

教科書

上記テキストからプリントしたものを使用する予定です。

参考書等

開講時に紹介し、読み方を指示します。

その他

逐語訳ではなく大意をつかむことを重視し、参考書の利用と併せてプレゼンテーションしてもらい、講師が適宜コメントを加えます。

科目名	担当者名
西洋史文献史料講読Ⅺ	ひじかたしおり 土方 史織
西洋史史料講読Ⅱ	

講義のねらい

英語文献をテキストにして、内容を把握し、読解力の向上を図る授業です。単なる英単語から日本語への置き換えをするのではなく、時代背景など文脈をふまえて、文献を正しく理解出来ることを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

イギリス近代史の二次文献を読み進めます。また、こちらから解説を適宜加えていきます。

履修上の留意点

イギリスを含む西洋近代史の知識を持っていることが求められます。英語文献をテキストにしますので、和英大辞典や英英辞典の使い方にも慣れておいて下さい。

成績評価の方法

出席は毎回とりますが、基本的には発表・発言など、授業に対する貢献度で評価を行います。直接の発表者でなくとも授業への積極的な参加が認められた場合は評価の対象になります。また、期末には試験をおこない、夏休み前には課題を出します。

教科書

開講時に発表します。

参考書等

村岡健次、川北稔編著『改訂版 イギリス近代史：宗教改革から現代まで』（ミネルヴァ書房）2003年
竹岡敬温、川北稔編『社会史への途』（有斐閣選書）1995年

その他

授業では、テキストの和訳を発表してもらいます。出来るだけ多くの受講生に発表してもらうためにも、予習は必ずしてきて下さい。

科目名	担当者名
考古学実習(写真)	塚原明生 つかはらあきお

講義のねらい	考古学における、発掘現場写真撮影出土遺物写真撮影について基礎より学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	写真撮影の為のカメラ機材及び写真用品の解説とその使用方法、用途や目的に応じたその利用方法を写真専門用語と共に基礎より学び、撮影実習暗室実習を通して写真記録の重要性を考える。
履修上の留意点	受講生は実習を円滑に進める為、原則的に35mm判一眼レフカメラを所持する事を条件とする。(デジカメ及びコンパクトカメラは不可)
成績評価の方法	課題写真提出、出席点(どちらが欠けても評価の対象外とする)
その他	前期に講義を中心とし撮影実習(屋外)後期に撮影実習(屋内)及び暗室実習を行なう。

科目名	担当者名
考古学実習(測量)	古庄浩明 ふるしょうひろあき

講義のねらい	発掘調査に必要な測量技術を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	測量機器を使って野外で測量活動をおこなう。
履修上の留意点	野外での作業を伴うので、作業しやすい服装で受講すること。
成績評価の方法	出席を最も重視する。また、一定の技術を習得したか試験を行う。
その他	男女とも野外作業に適した服装

科目名	担当者名
考古学実習(実測)	上敷領久 かみしきりょうひさひ

講義のねらい	考古学の基本は遺跡の発掘と出土遺物の実測です。特に遺物実測は単に土器や石器を模写するのではなく、先人が作った道具に込められた技術の復元や機能の推定等を行う重要な基礎作業です。本講義では上半期を土器、下半期で石器の実測を行い、出土資料の持つ情報をどのように図化するか、実測の手順を習得することを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	上半期は実測概念の講義と実技の基礎習得を行います。4～5月は実測の概念と遺物観察方法についての講義。6～7月は土器・石器の模型等を使って基礎技術の習得を行います。下半期は遺跡から出土した実物の石器・土器を使って実測図を作成します。
履修上の留意点	本講義は考古学を専門に目指す学生を対象としています。出席はとりませんが、土器と石器あわせて4枚の実測図の完成を以って評価の対象としますので継続して受講する必要があります。
成績評価の方法	年度末定期試験・レポート提出は行いません。土器と石器あわせて4枚の実測図の完成を以って評価の対象とします。
参考書等	講義中に適宜レジユメを配布します。

歴史

科目名

担当者名

考古学実習(情報)

こやしき
小柳美樹

講義のねらい

この授業は、パソコンを利用しながら考古学上の調査および整理、研究を進めていく際に必要な基礎的知識や考え方を理解していくものである。

講義の内容・
授業スケジュール

基本的なパソコンソフトである文章作成機能、数値統計機能、図画作成、写真加工機能、インターネット環境などを使用し、与えられた課題を処理していく。そのため、授業時間の大半は、パソコンを活用しながらの作業になる。

履修上の留意点

履修する学生はパソコン利用が初心者であるものを優先したい。すでにパソコンに慣れている学生には物足りなく感じてしまう恐れがある。ご注意願う。

課題は考古学に関するものである。そのため、基礎的な考古学用語などを把握している学生が望ましい。

成績評価の方法

きちんと出席していること。
課題を全て提出していること。

教科書

指定する教科書・参考書はない。

その他

開講時までに学内パソコン利用の登録を済ませておくこと。

科目名

担当者名

日本古代史

たきおとよしゆき
瀧音能之

講義のねらい

時代的には古代を対象とし、地域的には出雲に注目して、そこに展開されたであろう歴史的要素をとりあげるつもりです。古代史における出雲地域の特殊性については、しばしば指摘されることです。記紀神話にみられる出雲系神話のウェイトの大きさに加えて、近年の神庭荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡の発見は古代における出雲の重要性を再認識させました。こうしたことをふまえて古代史の再構成をめざしたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストをもとにして、毎回、ひとつのテーマをとりあげて、それについて述べていくつもりです。

履修上の留意点

古代の特に地域史に興味をもっている学生の積極的な参加を期待しています。

成績評価の方法

成績の評価は、隔年末のテストを重視しておこないますが、それに加えて出席状況などの平常点を考慮して総合評価とします。

教科書

瀧音能之著『古代の出雲の世界』(白鳥舎)

参考書等

瀧音能之著『古代出雲と風土記世界』(河出書房新社)

その他

授業は講義形式でおこないますが、何回かはビデオなど使用して、立体的な授業にしたいと思っています。

科目名	担当者名
日本中世史	久保田 昌希

講義のねらい

本講座は中世社会の構造を概観し、日本史上に占める位置を考えることを目的とする。日本中世史の研究は、明治期における原勝郎の『日本中世史』によって提起された、いわば武家社会発展史(公家政権の衰退史)が伝統的史観であり、それは戦後日本中世史研究の出発点となった石母田正の『中世的世界の形成』へ継承されていく。

それから約60年を経つつある段階の今日、中世史研究はまことに活況である。さまざまな視点や方法論による史料解釈などがその多彩性を生み出している。しかしそれは同時に研究の細分化をとまなうことになった。ここではそうした研究の現状を追いかけるのではなく、中世社会の基礎的な構造について紹介する。

その目的は、はたして中世という社会は、古代から近世社会の間でいかなる構造をもち、いかなる展開を遂げたのかという、いわば中世社会の「枠組み」を考えることの大切さを強調したいからである。本講座ではこれらの視点に立って、研究史も紹介しながら概観していく。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

1. 古代から中世へ
2. 鎌倉幕府と朝廷
3. 武家と公家の法秩序
4. 鎌倉中・後期の幕府と朝廷
5. 建武新政をめぐる
6. 室町幕府と守護体制
7. 惣的結合と一揆の時代
8. 戦国大名領国の形成
9. 豊臣政権
10. 近世(幕藩制)社会へ

履修上の留意点

細かな政治史、事件等の経緯については、各自で中世史関係の論文や図書を読んでほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

とくに指定はしない。適宜史料コピーを配布することがある。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名
日本近世史	中野 達哉

講義のねらい

近世前期の領主支配と地域社会の形成・変容について、関東、とくに武蔵国を中心に、現在の研究上の問題点に触れながら考えることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

関東転封より江戸幕府開幕までの関東領有期の徳川氏の領国整備の過程を中心に、おおよそ享保期までの在地支配と地域社会について、具体的に史料をあげながら講義する。徳川氏の関東転封、近世初頭の江戸および江戸城の状況とその建設、徳川氏の家臣団の知行割と初期検地、代官頭および代官の支配と村社会、近世社会の基礎を支えた村の構造、村社会の慣行と秩序、そして、それらによる地域社会の形成と変容などについて触れていく。

履修上の留意点

「知識としての日本史」を深めるために受講するのではなく、日本史あるいは近世の社会を大局的に捉え、考えるための糧とすべく講義を受講して欲しい。

成績評価の方法

基本的には、年度末の定期試験により評価する。試験は論述方式をとる。なお、授業の出欠状況も参考とする。

教科書

必要な資料は、授業時に配布する。教科書はなし。

科目名	担当者名
日本近代史	くまもと ともみ お 熊本史雄

講義のねらい

幕末から明治、大正、昭和を経るなかで、近代日本は国民国家を如何にして形成・発展させてきたのか、その過程について政治、外交、文学、ことば（「国語」の形成）などを切り口に講述する。これら各テーマは、近代日本が西洋を中心とした外の世界との接触において、その対向たる「内」の問題として還元されていったものである。
本講義では、そうした諸相における個々の検討を積み重ねることによって、「対外関係」という視点から全体を通して近代日本像の提示を試みる。

講義の内容・授業スケジュール

前期：近代日本と国民国家形成（「国語」の創出／「国語」の海外進出と植民地政策）
後期：近代日本の対外政策と外交思想（山県有朋／内藤湖南／内村鑑三／牧野伸顕／幣原喜重郎／石橋堪山／佐藤尚武／吉田茂）

履修上の留意点

歴史には「問」がある。「暗記する歴史」ではなく「考える歴史」、「発見する歴史」を。

成績評価の方法

前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

伊藤 隆『昭和史をさぐる』（朝日文庫）1991年
中野日徹『書生と官員－明治思想史点景－』（汲古書院）2002年
細谷千博『日本外交の軌跡』（NHK ブックス）1993年
三好行雄編『漱石文明論集』（岩波書店）1986年
E. H. カー著 清水幾太郎訳『歴史とは何か』（岩波新書）1962年
イ・ヨンスク『「国語」という思想』（岩波書店）1996年

その他

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

科目名	担当者名
日本史特講 I (古代)	かとう けん きち 加藤謙吉

歴史

講義のねらい

大和政権の発展段階を、豪族層の動向を通して解明する。畿内の豪族や渡来人が、王権によって掌握され、その支配機構の中に位置づけられていく過程を追い、最終的には大和政権の権力構造の実態について述べる。

講義の内容・授業スケジュール

前期…①ウジの性格 ②5世紀の王権と葛城氏 ③ワカタケル大王と軍事的専制王権の誕生
④大伴氏と物部氏 ⑤王権と渡来人支配
後期…⑥東・西漢氏と「今米漢人」 ⑦蘇我氏の台頭 ⑧オホマヘツキミ・マヘツキミ制の成立
⑨蘇我・物部両氏の抗争 ⑩古代豪族論
以上、王権と豪族とのかかわりを、時代ごとに段階的に検討する。その前提として、①でウジとは何かという点を述べ、⑩では大和政権下での豪族層の政治的なあり方とその変動について明らかにする。

履修上の留意点

5・6世紀を中心に講義を進めるので、あらかじめ概説書などを読み、当該時代に関する基礎知識を身に付けておくことが望ましい。

成績評価の方法

積極的な授業参加が必要。成績は年2回の定期試験の結果と出席状況に基づき、評価。試験は、前・後期の講義内容に沿って、論述式の問題を出題する。

教科書

加藤謙吉『大和の豪族と渡来人』（吉川弘文館）1,700円

参考書等

特になし。

その他

授業は講義形式で進める。史料や図表は講義の進度にあわせて、適宜、プリントを配布する。

科目名	担当者名
日本史特講Ⅱ(古代)	古 ^{ふる} 谷 ^や 紋 ^{あや} 子 ^こ

講義のねらい

平安時代は日本の古代及び中世の間に位置し、古代社会の変質時期であると同時に中世社会へと移行する重要な時期にあたる。本講義は平安時代の貴族社会について理解を深めてもらうことを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

平安時代の幕開けといわれる平安京遷都から講義を始め、まずは六国史をはじめとする歴史史料に親しんでもらう。つぎに平安時代の政治文化について講義するのであるが、その際には当該期の貴族日記＝古記録や文学作品を引用する。古記録は六国史と較べると、扱いにくい史料群ではあるものの、平安時代を研究する者にとって、さらには中世の公家社会を研究する者にとって古記録を引用し解釈を加えることは重要なことである。
史料の検討を通じて平安社会を概観する。

履修上の留意点

毎回プリントを配布。

成績評価の方法

出席状況と、前期・後期の講義最終日に試験を行なう。

教科書

教科書はなし。

科目名	担当者名
日本史特講Ⅳ(中世)	黒 ^{くろ} 田 ^だ 基 ^{もと} 樹 ^き

講義のねらい

15C後半～17C前半は、日本史上における大きな転換期にあたる。これまで中世と近世という形で分断されてきたこの時期を、一つの時代として認識するとともに、「中世の戦争と飢饉」から「近世の平和」へ、という観点から、この時代の歴史的段階としての特質について追求していきたい。
近年の中世史研究における村落論の進展によって、社会を村落・民衆の視点から認識できるようになった。ここではその視点をさらに発展させるべく、人々の生存・生活という側面に迫り、そこから15C後半～17C前半（いわゆる戦国～江戸初期）という時代の特質を考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、15Cから展開した徳政問題を取り上げる。まず徳政問題の実態について、村落・民衆の視点から追究し、その歴史的意味を明らかにする。次いで16Cから登場してくる戦国大名の徳政問題への対応について、多くの事例を検討しながら、戦国期における徳政問題の展開と、その帰結の状況を明らかにする。さらにその後の徳政の在り方について見直し、15～17C列島社会の歴史的な特質を提示したい。

履修上の留意点

授業中に示した参考文献についても、なるべく読むようにしていただきたい。また授業のなかで不明な点があれば、積極的に質問されるよう望む。

成績評価の方法

レポート、出席状況などから判断する。

教科書

教科書はなし

参考書等

参考書として、
黒田基樹『戦国大名の危機管理』（吉川弘文館）2005年
神田千里『土一揆の時代』（吉川弘文館）2004年
を、あらかじめ読んでおいてほしい。

その他

授業は、史料を講読しながらすすめていく。その都度、プリントを配布する。

歴
史

科目名

担当者名

日本史特講Ⅴ(近世)

桜井邦夫

講義のねらい

近世における庶民の旅を中心に講義する。旅という問題を通して、この時代の社会や交通の実態を探っていく。

講義の内容・授業スケジュール

- ①旅のうつりかわり
- ②旅活発化の背景
- ③旅日記の見方
- ④旅日記から見えること (講義全体の中心)
- ⑤江戸近郊の旅
- ⑥旅と宿場
- ⑦旅と街道
- ⑧旅と関所・川越
- ⑨女性の旅
- ⑩武士の旅
- ⑪旅の道具
- ⑫旅の変質

成績評価の方法

出席回数、授業中の態度、授業へのかかわり方、期末試験の成績などを総合的に判断して評価する。

参考書等

授業中に随時紹介する。

その他

授業で用いる史資料のコピーは、必要に応じ随時配布する。

科目名

担当者名

日本史特講Ⅵ(近世)

出口宏幸

講義のねらい

この授業では、近世における漁業社会を中心に話を進めます。従来、近世史研究にあって注目度が低く、農業の補完的位置付けがなされてきましたが、近年非農業的側面の重要性が指摘され、近世社会における新たな評価がなされはじめています。この分野を取り上げることで、近世社会の多様性を、漁業という分野を通して浮き彫りにしたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

前期の授業では、漁業史研究の流れと、漁業・海付村落(漁村)を概観します。特に、①直接生産者(漁民)の漁場認識から近世的漁業権の成立、②海付村落の実態などについて解説します。

後期の授業では、中後期以降に顕著となる漁獲物流通(商品流通)への関与が、いかに村落を変容させたのかについて、様々な事例を通して解説します。江戸日本橋の肴問屋の資本流入や漁業生産がもたらす社会的影響、さらには漁場争論などです。

ほとんどの村落が農業に従事するなか、漁業が村落運営にいかなる規定性をもったのか。とくに、江戸に近接する関東漁業の発展を通して考えます。

成績評価の方法

試験80%、平常点20%

教科書

必要に応じ、授業中に指示します。

歴史

科目名	担当者名
日本史特講Ⅶ(近代)	くまもと 熊本史雄

講義のねらい

第一次大戦から第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約締結に至るまでの日本外交につき史料を交えて講述し、その外交方針の根底に潜む思想を解明する。戦前期の外交については、対外機構の改変問題も関連づけながら当該期日本外交の中心であった対中関係を考察しつつ、日本が如何なる途を模索し最終的には戦争に進んでいったのかを検討する。戦後期の外交については、占領下において、当時の外務省さらには戦後日本の政治指導者として大きな役割を担った吉田茂が如何にして日本再生の途を模索したかを、条約締結交渉とその準備過程を通じて検証する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：第一次大戦と日本／「新外交」の模索／対中文化政策への視線／ワシントン体制の成立と対米英関係／満州事変から日中戦争へ／日米交渉と太平洋戦争
後期：終戦工作／占領の開始／「自主外交」の模索／平和条約締結の準備／サンフランシスコ平和会議／安保条約と行政協定

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法

前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

科目名	担当者名
日本史特講Ⅷ(近代)	ましもと まさや 岸本昌也

講義のねらい

本講義では、近代日本における宗教の役割（宗教外交）について論ずる。近年の中東問題などをみるまでもなく、相手国（地域）が宗教的一体性を持つ場合、外交目的を達成するために、国内においてその宗教を保護したり、国内の宗教者や信徒を派遣したり、或はその宗教のネットワークを使った宣伝を行うなどの活動が想定されよう。宗教外交とはこれらの諸活動を指す。一方我が国は憲法上国教を持たず、条件付とはいえ信教の自由が認められていたことから、宗教外交は国家ではなく民間の宗教団体が担うことになり、したがって宗教外交の発動には宗教団体の思惑とその国内的立場とが反映する。このような宗教外交の顛末を、昭和期の外交政策とキリスト教（カトリック）を軸に語ってみようというのが本講義のねらいである。さらに時間の許す範囲で他の宗教（仏教やイスラム教）についても言及したい。

講義の内容・授業スケジュール

- 大体以下の論点を踏まえて講義を進めていきたいと考えている。
1. 近代日本と宗教（帝国憲法と神社非宗教論）
 2. 日本とバチカン
 3. 昭和初期の国際関係（満州事変と国際連盟脱退）
 4. 連盟脱退後の日本の外交政策（リットン報告書と帝国政府意見書）
 5. カトリック教徒外交官
 6. 日本におけるカトリック
 7. アジアにおけるカトリック
 8. マニラ・万国聖体大会（宗教外交の発動）
 9. 教皇代理の訪日

成績評価の方法

レポートにより評価する。

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名
東洋史各説Ⅰ(古代史)	山口洋

講義のねらい	中国王朝と周辺諸国との関係について、如何なる問題点が存在し、どの様に研究が進められているのかを知ると共に、自ら問題に取り組めるようになること。
講義の内容・授業スケジュール	前漢王朝以来、中国王朝にとって北アジアの遊牧民族勢力との関係は非常に重要であった。遊牧勢力は時には中国世界の奥深く進入し、やがて王朝をうち立てることもあった。北魏や北朝諸王朝、隋、唐などもその王族は鮮卑系である。また、西域諸国と中国王朝との交流は、それ自体が中国王朝に様々な影響を与えたが、その過程では北アジア遊牧勢力との力関係が影響していた。本講義では、北アジア史や中央アジア史の視点から中国史を再検討する。また、後期は隋王朝を中心に東アジア史の視点から、高句麗・日本との関係も視野に入れたい。対象時代は、中国王朝で言えば秦から唐まで。以下の予定で進める。第1回-第2回：アジアの地理と風土 第3回：冊封 第4回-第5回：西域と漢王朝 第6回-第7回：匈奴 第8回-第9回：鮮卑 第10回-第11回：柔然 第12回-第13回：隋の統一 第14回-第17回：突厥 第18回-第19回：吐谷渾 第20回-第21回：隋王朝と西域 第22回：高昌国 第23回：高句麗 第24回：日隋関係
履修上の留意点	出席不良者には単位修得を認めない。課題は必ず提出すること。
成績評価の方法	レポート(数回)、及び平常点(出席、授業態度)を総合して評価する。
教科書	授業時間内に史料をプリントを配布。
参考書等	池田温〔ほか〕著『中国史』(山川出版社)1996.7(世界歴史大系)
その他	授業方法は講義

科目名	担当者名
東洋史各説Ⅲ(中世史)	石田肇

歴史	講義のねらい	〈唐宋変革期の諸問題〉と題して講義します。唐から宋にかけては唐宋変革期といわれ、中国史上の大きな転換期として、ひいては東アジア史上の転換期として認識されており、時代区分の問題とも絡んで重要な時期ですので、様々な議論がなされています。そこでこの変革に絡めて講義します。
	講義の内容・授業スケジュール	前期では時代区分論について紹介し、ついで唐宋変革期を概説し、後期では前期をふまえていくつかのテーマについてお話する予定です。現段階ではテーマは決まっていますが、思想史・士大夫論・史学史・科学論といった私の関心のある分野から選んで講義することになると思われます。昨年度は科挙について話しましたので、今年度は金石学の可能性があります。この場合、唐から宋のいくつかの石碑、たとえば大秦景教流行中国碑や元祐党籍碑をとりあげ、それぞれの時代を考えることになります。
	履修上の留意点	講義ではなるべく史料を示して解説してゆきますので、配布史料は必ず持参すること。
	成績評価の方法	出席ならびに課題提出によります。
	教科書	なし
	参考書等	適宜、講義中に示します。
その他	講義を中心としますが、なるべく受講生に発言を求めます。	

科 目 名**担 当 者 名**

東洋史各説Ⅳ(近世史)

佐 藤 文 俊

講義のねらい

本講義の扱う時代は宋・元・明・清四王朝を対象とし、特に明朝時代を詳説する。漢民族王朝の宋・明、非漢民族王朝の元・清の継起の中で、今日いう中華民族国家が清代に形成された。明清時代に形成された政治・経済・社会・文化等の内容は、現代中国に継承されている側面も多い。又、最近の研究動向にも留意しつつ、世界史の動向と関連する東アジア史の中で、明朝時代を位置づけたい。

**講義の内容・
授業スケジュール**

1. 風土と歴史的特徴
2. 宋・遼・金の時代
3. 元朝史
4. 洪武帝時代
5. 永楽帝時代
6. 明代中期史
7. 明代後期史 (a) 嘉靖～万暦前期 (b) 万暦後期～崇禎期
8. 明朝の滅亡 (a) 満洲族の興起 (b) 明末農民反乱
9. 清朝の中国統一
10. 清朝の盛期——康熙・雍正・乾隆期
11. 嘉慶白蓮教の乱
12. 特殊テーマ

履修上の留意点

遅刻をしないこと。

成績評価の方法

試験による成績評価を軸とする。なお受験資格は実授業数の3分の2以上の出席を要する。

教 科 書

授業でその都度紹介する。

科 目 名**担 当 者 名**

東洋史各説Ⅴ(近・現代史)

趙ちよう 軍ぐん

講義のねらい

数千年にわたる中国の歴史の中で、近・現代史は一番身近な歴史で、しかも今日の東アジアおよび世界情勢に対して大きな影響を及ぼしているものである。本講義は政治・経済・外交・文化などの方面を通して、近代以来の中国の歴史を概要的に解説し、中国の歴史と現代を正しく理解できる知識や教養を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は1840年のアヘン戦争から1949年中華人民共和国の成立までの歴史を解説し、後期は中華人民共和国成立以来の歴史を解説する。

1. アヘン戦争と中国の「開国」
2. 「太平天国」農民運動
3. 洋務運動と日清戦争
4. 士紳らの救国運動－戊戌維新－
5. 農民らの救国運動－義和団事件－
6. プルジョア階級による救国運動－辛亥革命－
7. 北洋軍閥統治下の中国
8. 国民革命の開始と挫折
9. 日本の満洲侵略と紅軍の長征
10. 中国の抗日戦争
11. 解放戦争と新中国の誕生
12. 1950年代前期の中国
13. 「反右派闘争」前後
14. 「文化大革命」の嵐
15. 鄧小平と改革開放政策

履修上の留意点

受講者とのコミュニケーションを図るため、毎回出席カードを配り、授業内容に関する質問・感想・提言などはそのカードの裏に積極的に記入して提出してほしい。

成績評価の方法

年に2回レポートの提出を要求し、課題は数週間前に提示する。成績評価には出席日数を参考にする。

教 科 書

小島晋治・丸山松幸著『中国近現代史』（岩波新書336）岩波書店

参 考 書 等

授業の中で指示する。

科目名**担当者名**

東洋史各説Ⅵ(アジア諸民族史)

な たら しゅう いち
奈 良 修 一

東洋史学史

講義のねらい

東南アジアという地域は、古来よりインド、中国の両文明に挟まれ交易により潤ってきている。しかし、日本との関係が深いにも関わらず、この地域に対する理解が深いとは言えないのが現状である。故に、この地域の歴史、文化を再確認したい。そのためには、単に歴史的な知識だけを入れるのではなく、歴史の流れと見方を学んでいきたい。

普通、東南アジア史というと、各国史の総合のような形で説かれることが多いが、近代的な国家概念では、前近代の国を理解することができない。それゆえ、世紀割りに歴史を見ていき、各王朝の変遷を追いながら、歴史の流れを把握していく方法をとる。また、歴史を研究する時に盲点になりやすい、文化、宗教、技術の点にも触れていく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 東南アジアの定義 (2) 時代区分について、特に「近世」の説明
(3・4) 12世紀までの歴史 (5～13) 世紀ごとの近世史
(後期) (14～17) 宗教を含む文化史 (18～21) 19世紀の歴史
(22～25) 20世紀の歴史 (26) まとめ

履修上の留意点

東南アジア史は各地の自発的な発展の歴史であると同時に東西交流の場として世界史的な動きの影響を色濃く受けている。それだけに、基本的な世界史の知識を確認しておいていただきたい。また、授業中には地図帳を持ってきてもらいたい。

成績評価の方法

成績はレポートによって評価する。

教科書

必要な資料はコピーを配布する。

参考書等

石澤良昭、生田滋『世界の歴史13 東南アジアの伝統と発展』（中央公論社）
石井米雄『東南アジア史』全9巻、別巻1（岩波書店）

科目名**担当者名**

東洋史特講Ⅰ(古代史)

いし い ひとし
石 井 仁**講義のねらい**

いわゆる三国志には、3世紀末、西晋の歴史家、陳寿によって編纂された正史『三国志』と、14世紀の元末明初期に大衆芸能をもとに書かれた『三国志演義』とがあります。後者は脚色が施された小説であって史実ではありませんが、現代の日本では、中国史の専門家も含め、これをもとに三国時代の歴史が語られる場合が少なくありません。講義では、『三国志演義』の強い影響のもと、これまで誤解・曲解されてきた三国時代の歴史や人物像を再構成することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1～3) 近代日本と三国志 (4～6) 秦漢帝国史概説
(7～13) 2世紀の東アジアと三国の鼎立
(後期) (14～16) 曹操の出自と魏王朝 (17～19) 劉備と劉氏の物語
(20～22) 孫呉の江南経略と外交政策 (23～26) 諸葛孔明と関羽

履修上の留意点

受講前に、三国時代の簡単な歴史や主要人物について、一通り勉強しておいて下さい(小説・マンガ・映画などでも構いません)。

成績評価の方法

学期末試験(60%)と前期レポート(40%)の成績をもとに評価します。

教科書

使用しません。配布プリントをもとに講義を進めます。

参考書等

渡邊義浩『諸葛亮孔明』（新人物往来社）、同上『図解雑学・三国志』（ナツメ社）、石井仁『曹操一魏の武帝』（新人物往来社）など。
このほか、講義で随時紹介します。

科目名	担当者名
東洋史特講Ⅱ(中世史)	なかむらじゅん 中村淳

講義のねらい

中世のアジアも、分断された歴史世界が並立した状態ではなく、また単純に「中国」が中心にあった時代と言うわけでもなかった。唐王朝の時代から説き起こし、13～14世紀のモンゴル時代(モンゴル帝国・元朝の時代)の歴史を中心に、中央ユーラシア世界から中世のアジア世界史像を見てみたい。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下のような授業内容を予定している。
 [前期] 舞台となる世界、唐と突厥・安祿山、ウイグルと吐蕃、契丹(遼)と沙陀そして宋
 [後期] 西夏と金、モンゴル時代のイメージと実際、モンゴル時代が残したもの

履修上の留意点

できるだけ平易な言葉を用い、わかりやすい講義を心がけるが、授業に臨む際はやはり高校世界史程度の知識は最低限必要であろう。不安がある人は事前に高校時の教科書等で予習をするなどして授業に臨み、また授業時には高校で用いていた歴史地図などを持参することをお勧めする。

成績評価の方法

出席点に論述筆記試験の評価を加味し、総合的に評価する予定。

教科書

必要な史料はプリントで配布。

参考書等

参考書については授業時に随時紹介する。

科目名	担当者名
東洋史特講Ⅲ(近代史)	すぎやまきよひこ 杉山清彦

講義のねらい

アジアの近世・近代は、一面において、16～17世紀に形成された諸帝国が18～19世紀に変容していく過程であり、近現代における地理的・文化的枠組や住民構成も、この過程で形づくられていった。本講義では、ユーラシア東方における最大最後の帝国であった大清帝国(清朝)を対象とし、その統治機構と支配構造を、時系列的な中華王朝の系譜としてではなく、比較史の観点から同時代ユーラシア各地域の諸帝国と対比しつつ検討する。それによって、大清帝国の特質を中国史とは異なる観点から浮き彫りにするとともに、近現代における中国はじめとしたアジア諸地域の命運の分岐にも新しい視点を提示する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 大清帝国の形成・発展過程
 2. 大清帝国の統治機構と支配構造
 - ・八旗制の支配構造
 - ・帝国の統合と支配：皇帝のいくつもの顔
 3. ユーラシア近世帝国としての大清帝国
 - ・オスマン朝・サファヴィー朝・ムガル朝の支配体制
 - ・武家政権としての大清帝国・江戸幕府
- 結 ユーラシアの大清帝国から東アジアの「中国」へ

履修上の留意点

講義形式で進め、随時アンケート等を実施して受講生との疎通を図る。高校世界史程度の知識を前提として進めるので、講義中随時紹介する参考文献などを手がかりに、必要な知識は自分でフォローすること。

成績評価の方法

前後期各1回課すレポートを基本とし、平常点を参考とする。

教科書

特に指定しない。参考書は適宜紹介する。

科目名

担当者名

東洋史特講Ⅳ(近・現代史)

ふじや 藤谷 浩悦

講義のねらい

本講義では、東アジアの近代の歩みについて、清末中国における社会と文化を中心に考察する。テーマは前期が「民衆反乱」、後期が「文化摩擦」である。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は以下の通りである。

- (1) 問題提起 (2) 18世紀の世界 (3) 白蓮教徒の乱 (4) 民間諸宗教
- (5) 反乱の世界 (6) 会党と近代 (7) 太平天国1 (8) 太平天国2
- (9) 太平天国3 (10) 義和団1 (11) 義和団2 (12) 義和団3
- (13) 辛亥革命 (14) (予備) (15) (予備)
- (1) 問題提起 (2) お茶と文化 (3) 茶の世界史 (4) 病気の歴史
- (5) 茶とアヘン (6) アジアの近代 (7) アヘン戦争1 (8) アヘン戦争2
- (9) 上海と横浜 (10) 上海の歴史 (11) 留学生と日本 (12) 文化と政治1
- (13) 文化と政治2 (14) (予備) (15) (予備)

履修上の留意点

当該時期に関心を抱くことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は試験に出席率を勘案して行う。

教科書

教科書や参考書は授業の中で指示する。

その他

適宜、史料を配付する。

科目名**担当者名**

東洋史特講Ⅴ(アジア諸民族史)

かた おか かず ただ
片 岡 一 忠**講義のねらい**

中国の西方、すなわち西域は諸民族の活躍した舞台である。その西域と中国の関係は、絹の西方への伝播や仏教の中国への伝来等、平和的な関係もあったが、中国王朝にとって西域は政治軍事上きわめて重要な位置にあった。講義では、西域をめぐる中国と北方の遊牧民との関係からはじめ、主に18世紀以降の問題について検討し、今日の中央アジア情勢の背景をさぐる。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1 西域とは
- 2 西域の地理的環境
- 3 オアシス世界の政治経済的特徴
- 4 遊牧民と西域
- 5 中国と遊牧民
- 6 中国と西域
- 7 中国王朝の西域政策
- 8 清朝の西域征服とその統治政策
- 9 19世紀の世界情勢と西域
- 10 清朝の政策の変更
- 11 辛亥革命と西域(新疆)
- 12 20世紀中央アジア—ソ連と中国
- 13 今日の中央アジア

履修上の留意点

とくに予備知識を必要としない。中国の辺境や西域(中央アジア)に関心のある学生の聴講を期待する。

成績評価の方法

小テストや後期末試験の成績に平常点・出席点を加算する。

教科書

とくに指定しない。関係資料を配布する。

参考書等

授業の中で指示する。

その他

講義形式

科目名

担当者名

東洋史特講Ⅵ(アジア諸民族史)

まつもと 弘
松本 弘

講義のねらい

本講義は中東史であり、一般にイスラーム期と呼ばれる中世と、近現代がその内容となる。近年、日本における中東やイスラームに関わる研究は急速に拡大、充実しているものの、一般にはその理解は未だ十分ではない。それゆえ、講義の対象には初学者を想定し、中東及びイスラームの基礎的な理解のための情報提供を第一の目標とする。
しかし同時に、中東に関する一般的な興味、関心が、現在報道されている様々な事件にあることを考慮し、それらの解説や論評も行なう。これが、第二の目標となる。当然、両者は別々のものではなく、中東史に関わる基礎的・一般的理解と、その現状に関わる個別的な理解との総合が、本講義の大きな枠組みとなる。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) 授業の目的と予定 (2~5) 中東の地域概念、国や民族・宗教の構成、中東一神教世界(ユダヤ教、キリスト教、イスラーム)などの概説 (6・7) イスラームの成立 (8・9) ウマイヤ朝・アッバース朝 (10・11) イスラーム法学 (12・13) イスラーム神学 (14~15) オスマン帝国 (16・17) 中東の近代概説 (18・19) ナショナリズムの時代 (20~22) 中東和平問題の歴史と現状 (23~25) イスラーム原理主義の史的展開 (26) 現代中東の民主化

履修上の留意点

中東の歴史を、現代の状況や諸問題からも考えていく作業となるので、中東やイスラームに関わる新聞報道(特に国際面)の見出しだけでも、毎日見る習慣を身につけて欲しい。

成績評価の方法

前期末および学年末のテストによって、評価する。

教科書

特に用いない。

参考書等

適宜、プリントなどで指示する。

科目名

担当者名

西洋史各説Ⅱ

しょうしげい 一
庄 司 啓 一

講義のねらい

アメリカ合衆国の歴史
アメリカ合衆国について情報は氾濫している。それは日本と政治・経済・文化などの分野において最も密接な関係がある国だからである。そればかりではない。アメリカは世界最強の軍事・経済・文化帝国であり、世界のあらゆる出来事に強い影響を与えている。しかしながら、アメリカ合衆国の全体像、その基本的な性格を理解するには、その歴史に遡らなければならない。「アメリカ史」を日本の若者はどのようにして学んできたのだろうか。日本の若い人々ととり生活の一部となっており、わざわざ勉強しなくてもいい、と考えられていないだろうか。
アメリカはヨーロッパの植民地として歴史がはじまり、原住民であるインディアンを追い払いながら、ヨーロッパから多様でたくさんの人々を受け入れてきた「移民国家」である。黒人はアフリカ大陸から強制的に奴隷として連行されてきたのであり、決して自由な移民ではない。また、アジアからも中国、日本、フィリピンなどからの移民は人種・民族的な差別を体験しながらアジア系アメリカ人としてのアイデンティティを模索している。このような世界各地の人々が自らを「アメリカ人」として自己認識するには長い歴史的な時間が必要であった。
世界の辺境の地に植民地として歴史がはじまったアメリカ合衆国が世界最大の工業国家に成長し、世界に君臨するようになり、その歴史的な限界をも露呈するようになった今日、アメリカの歴史の基本線を勉強することは、日本人にとっても大切なことだと考える。

成績評価の方法

前期・後期ともに論述試験実施。

教科書

開講時に指示します。

歴史

講義のねらい

西洋世界の源流に位置すると考えられてきた古代ギリシア・ローマ世界の認識も、新たな世紀を迎え2001年の9月11日の同時多発テロに端を発する西洋中心的世界観の見直しに連動して、大きな修正を求められている。そのような現状を前提に本講義においては、現在ギリシア・ローマ世界をいかに捉える必要があるのかを、特にギリシア人の生活の実態やローマ支配下での変化を中心に考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は主としてギリシアの諸コミュニティの実態を文献史料からはうかがいしれない考古学的成果を取り入れ、また文献史料の再検討をしながら、生活景観、スパルタ社会の幻影と現実を考慮していく予定である。後期はギリシア人と神々の関係を、神域の問題に注目して考えて、ギリシア人の生活実態を見ていったうえで、ヘレニズム諸王国やローマの進出が彼らの生活の変化にいかなる影響を与えたのかという問題をローマ帝国論を中心に分析してみたい。そのうえで古代ギリシア・ローマ世界を考察する現代的な意義を模索したいと考えている。

履修上の留意点

ただ情報を得るだけではなく、講義内容を土台に西洋古代世界とは現実的にはいかなる社会であったのかを自分なりにイメージし、自らが所属する現代社会とはいかに違うのかを考えるという積極的な姿勢で講義に参加して貰いたい。なお基本的な概説は行うので、西洋古代史の知識のない学生の参加も歓迎する。

成績評価の方法

講義をした上で年度末に試験かレポートを行って評価するが、出席が前提となる。

教科書

使用しない。

参考書等

なお参考書は講義中に随時、指示する。

科目名

担当者名

西洋史各説Ⅳ

ささき まこと
佐々木 真

西洋史学史

講義のねらい

フランス絶対王政から革命までの歴史をこれまでにどのような研究がなされてきたのかを中心に解説します。これにより、史実の変遷を提示するとともに、対象についての歴史学上の解釈の変化を解説して、19世紀以降の歴史学のあり方の変化を解説します。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期)

- (1) 問題点の提示
- (2) 絶対王政概観
- (3) 絶対王政研究①：実証史学
- (4) 絶対王政研究②：マルクス主義
- (5) 絶対王政研究③：比較経済史
- (6) 絶対王政研究④：社団国家論
- (7) 絶対王政研究⑤：社会史

(後期)

- (1) フランス革命概説
- (2) フランス革命研究①：ブルジョワ革命論
- (3) フランス革命研究②：修正主義
- (4) フランス革命研究③：新しい文化史
- (5) フランス革命研究④：国民国家とフランス革命
- (6) フランス革命研究⑤：新たな潮流
- (7) まとめ

履修上の留意点

授業中に紹介する参考文献をなるべく多く読み、広い知識を身につけて下さい。

成績評価の方法

成績は学年末に行う筆記試験の成績に、不定期に調査する出席点を加えて判定します。

教科書

教科書は特に指定しません。

参考書等

参考文献は必要に応じて講義中に紹介します。

その他

授業は講義形式で行い、随時参考資料を配布します。

歴
史

科目名

西洋史特講 I

担当者名

伏島正義

講義のねらい

中世史に興味がひかれる契機は、ある伝説的物語のもつ魅力に負うところが少なくない。本講ではそうした物語を選んでみたい。そして、そうした物語がある特定の歴史的背景を反映したものであるとの認識に立ち、それがいかなる社会的背景に基づくものであるかについて考えてみたい。具体的にはどのような物語を扱うかについては、受講生と相談のうえ決める。

**講義の内容・
授業スケジュール**

文献、関係論文、史料などを読み、それを演習形式により授業を進める。なお、本講では論文をその数において多く読むことよりも、その1つ1つを丁寧、正確に読むことを心がけることにより、当該論文の筆者の主張を深く理解し、合せて歴史研究の方法を学ぼうとするものである。昨年度はドイツ語による論文を読んだが、具体的には受講生と相談し、決める。

履修上の留意点

本講は西洋史一般の知識を広く、そして多く獲得することを単に目的とするものではなく、むしろ歴史の深部を探求し、考求しようとするものである。したがって授業は演習形式で行うため、受動的な態度ではなく、地道にして、しっかりした心構えを持つ受講生を希望します。

成績評価の方法

毎回授業にどれ程熱心に、積極的に参加しているかが基本的な基準となることは言うまでもない。授業で毎回とる出席と期末テストで評価する。

教科書

教科書は特に定めない。必要な論文、史料はプリントとして配布する。

参考書等

参考書は授業の進行に合わせて、その都度指摘する。

科目名**担当者名**

西洋史特講Ⅲ

しらかわ こういち
白川 耕一

講義のねらい

テーマ「20世紀前半におけるドイツの青少年」
講義では20世紀前半ドイツの青少年を在り様を多面的に考察し、それを通じて現在の青少年の状況を見る目を養いたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

前期の講義では、19世紀末以降、工業都市における若者の存在が注目され、1920年代までに国家の介入によって若者の行動を規制しようとする考えが制度化されていったその過程を跡づける。後期の講義では、1930年代から60年代までの青少年の動向を検討する。特に、注目するのは1920年代半ば以降に生まれた「ヒトラー・ユーゲント世代」、「高射砲補助員世代」である。彼らはナチ時代に人格形成を遂げ、戦後西ドイツ社会の建設において中心的な役割を果たした。

履修上の留意点

日本でなじみのない概念を紹介しつつ講義をすすめなければならないので、連続して講義に出席すること。

成績評価の方法

毎回出席をとり、試験（70%）、出席点（30%）で成績評価を決定する。

参考書等

参考文献は講義時に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名
西洋史特講Ⅴ	おおしろみちのり 大 城 道 則

講義のねらい	人類の歴史の中でも異彩を放つ古代エジプト王国は、約2000年前に既に滅亡したにもかかわらず、その文化は消滅することなく、現在においても未だその輝きを失っていない。本講義は、その古代エジプトの文化に焦点を当て、いまだ我々を魅了する古代エジプト文化とはいったいどのようなものであったのかについて理解を深めることがねらいである。
講義の内容・授業スケジュール	古代エジプト文化がどのように形成され、拡散し、そしてどのように現代世界にまで影響を及ぼしているのかを具体例を用いながら講義を行う。時代的には新王国時代以前を扱う。以下のような講義内容を予定している。 ①古代エジプト文化の形成期について ②ヒエラコンポリス第100号墓の彩色壁画について ③クストゥル・インセンス・バーナーとファラオの図像学 ④ピラミッドテキストにみる古代エジプトの宗教観 ⑤文学作品にみる古王国時代の終焉 ⑥アメンエムハト1世のクーデター ⑦異民族ヒクソスの実態
履修上の留意点	15分以上の遅刻には出席を認めない。
成績評価の方法	後期試験の結果および出席を重視する。
教科書	大城道則『古代エジプト文化の形成と拡散—ナイル世界と東地中海世界—』（ミネルヴァ書房）。必要に応じて講義内容に関する資料をコピーし、配布する予定である。
参考書等	必要があれば適時紹介する。
その他	パワーポイントで映像資料を用いながら講義形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名
西洋史特講Ⅶ	はやがわりのほ 早 川 理 穂

歴
史

講義のねらい	本講義では、フランスのアンシャン・レジームから19世紀を中心として、「下から」の視点で歴史を見るべく、民衆運動に焦点をあてていく。具体的事例としては、アンシャン・レジーム期に起こった、「小麦粉戦争」と呼ばれる食糧暴動や、革命期の民衆運動などをとりあげていく。一見無秩序に見える暴動の中にも、ある種の秩序が見られる点などから、「上から」の視点だけでは見過ごされてしまう側面が、浮かび上がってくるであろう。
履修上の留意点	授業は講義形式で行う。
成績評価の方法	成績評価の方法としては、学年末にレポートを提出してもらう予定である。
教科書	教科書は特に指定しないが、西洋史概説・フランス史概説などに目を通しておくことが望ましい。
参考書等	授業内で随時紹介していく。

科目名	担当者名
考古学各説Ⅰ	近藤 英夫 <small>こん どう ひて お</small>

講義のねらい

授業の内容であるが、南アジア最古の都市文明であるインダス文明の解説を中心におき、講義をすすめる。授業各時限に個別のテーマ（「都市と農村」や「交易」など）を設定し、都市を存立させたさまざまな基盤について検討していく。その際、インダス文明と並行する年代のメソポタミアや湾岸地域の動向についても紹介していく。これらの作業を通して、「都市とはなにか」「文明とはなにか」について考えていく。

履修上の留意点

授業では極力、視聴覚資料を多用し理解をはかる。また、授業中に参考文献等を示していくので、事前にそれに目を通して授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

授業の進行に従い、数度のレポートを課し、それを総合して成績評価を行う。

参考書等

辛島昇他『インダス文明』（日本放送出版協会）1980年
 近藤英夫編『四大文明〔インダス〕』（日本放送出版協会）2000年
 『ORIENTE』23（古代オリエント博物館）2001年
 その他の文献については、授業の進行に応じ適宜、示していく。

科目名

考古学各説Ⅲ

担当者名

三宅俊彦

講義のねらい

「中世・東アジアの錢貨流通」について講義を行う。
 日本の中世にあたる時期は、東アジアでもっとも錢貨の流通した時期である。それらの多くは中国で鑄造された銅製の方孔円錢（四角い孔が中央に空いた銅錢）であり、日本にも渡来錢として輸入され大量に流通していた。これらは、どのような時代背景のもとに、日本へもたらされたのであろうか？
 本講義では、当時の錢貨流通を東アジア規模で復元することを試みる。あつかう対象は、考古資料である出土錢が主である。時期はほぼ日本の中世（鎌倉～戦国時代）に相当し、中国の王朝で言えば宋・元・明が中心となる。対象範囲は日本・中国はもちろん、モンゴル・沿海州・朝鮮半島など、中国錢貨の流通した範囲すべてが対象となる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は「中国の出土錢」について概観する。まず、中国の貨幣の歴史を通史的に把握した後、宋～明を中心に中世の錢貨流通の状況を探っていきたい。講義で特に取り上げるのは、窖藏錢（こうぞうせん）と呼ばれる一括大量出土錢である。
 後期は、「東アジアの錢貨流通」を探る。前期に検討した窖藏錢を基礎資料として、東アジアの出土錢との比較を行い、それぞれの地域における錢貨流通の特徴を明らかにしたい。特に、日本の一括出土錢との比較は詳細に行いたい。

履修上の留意点

授業に積極的に参加することを希望する。
 何回かの授業においては「当日レポート」を作成して提出していただく。授業は時間を区切って進行し、その時間内にレポートを仕上げることになるので、遅刻をしないよう注意してほしい。
 また、レポートのない回でも「小テスト」を実施するので、欠席をしないように。

成績評価の方法

当日レポートと小テストの結果によって評価する。

教科書

三宅俊彦『中国の埋められた錢貨』世界の考古学12 同成社 2005年 ¥2,800+税 ISBN4-88621-309-X

参考書等

特にない。授業において、その都度指示する。下記の論文の内容は、授業中に触れる予定である。
 三宅俊彦「中国窖藏錢の諸問題—宋・元・明を中心として—」『考古学雑誌』第88巻第3号（2004年3月）
 三宅俊彦「10-13世紀の東アジアにおける鉄錢の流通」『日本考古学』第20号（2005年10月）

その他

教科書の内容を中心に講義していくので、教科書を購入しておくことが望ましい。
 授業では、その都度プリントやレジュメなどを配布し、授業理解の助けとなるようにしたい。また、必要に応じてスライド上映なども行う予定である。
 なお、当日レポートと小テストはその都度返却するが、年度末にすべて綴じ合わせて再提出していただくので、決して紛失しないように保管していただきたい。大きさをA4に統一するので、専用のファイルを用意して、綴じ合わせておくことを勧める。

歴史

科目名	担当者名
考古学特講Ⅰ	さか井 清治

講義のねらい

5世紀初頭に朝鮮半島から伝わった須恵器は、古墳時代の畿内政権あるいは各地の首長層と密接な関連があり、古墳時代あるいは古代を考える重要な土器である。この須恵器は全国各地で詳細な編年ができて、考古学的な年代決定の重要な資料となっている。また、生産地である窯跡や工房が発見されており、消費地との需給関係が分かる。さらに須恵器生産は古墳時代においてきわめて政治的に生産が開始されており、須恵器生産地から生産体制を解明する材料となっている。

当時の手工業史としての須恵器生産史や流通史を解明することにより須恵器から古墳時代、古代を考える。また、朝鮮半島の土器生産と比較し、土器から見た生産体制の違いを考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

須恵器や窯跡に関する論文を紹介しながら、須恵器生産・流通・歴史的背景を概観する。

履修上の留意点

遅刻しないこと。授業内容は考古学専攻生を対象とした特講の授業であるのでやや難しいが解説を加えるようにする。

成績評価の方法

レポートと平常点。

教科書

授業の中で適宜紹介する。

参考書等

中村浩『須恵器』（ニュー・サイエンス社）
中村浩『和泉陶邑窯の研究』（柏書房）
山田邦和『須恵器生産の研究』（学生社）

その他

授業はOHPを利用して講義で行うが、遺物の観察法についても実物を見ながら解説する。

科目名	担当者名
考古学特講Ⅲ	したらひろみ 設楽博己

講義のねらい

顔の考古学 現代日本人の祖先はどこに求められるのか。それを解く手がかりは、縄文・弥生・古墳時代の人々にある。彼らはどのような顔立ちをしていたのか。そうした形質の起源はどこに求められるのか。その答えがヒントになる。また、彼らはたくさんの顔にかかわる造形を残した。土偶や埴輪などは、その代表的な遺物である。本講義では、古代人の顔にまつわるさまざまな問題を取り上げ、日本古代文化とそれを担った人々を掘り下げる。

歴史

講義の内容・授業スケジュール

前期は縄文・弥生・古墳時代の人骨を取り上げ、その形質的な特徴、DNA分析の結果などに関する研究の現状を解説し、現代日本人とのかかわりを考える。さらに縄文時代の土偶や仮面など顔にまつわる造形品をとりあげ、その特徴や性格について考える。後期は弥生・古墳時代の線刻人面絵画や埴輪を取り上げ、その特徴や縄文時代の造形からの変化とその意味するところを考える。また、古代の人面墨書についても取り上げる。

履修上の留意点

講義中の私語は慎むようにしてください。

成績評価の方法

年度末の試験と中間レポートやミニ試験、出席によって総合評価する。

教科書

とくになし。

参考書等

その都度指示するが、当面原始絵画にかかわる参考書として、(佐原真・春成秀爾1997『原始絵画 歴史発掘5』講談社)に目を通しておくこと。

科目名	担当者名
考古学特講Ⅴ	かみしきりょう ひろし 上敷領 久

講義のねらい

本講義では日本旧石器時代の研究史を再検討することによって、研究の現状と課題を俯瞰し、旧石器時代研究法の基礎的知識を習得する。また旧石器時代遺跡が数多く調査されている野川源流域の代表的な遺跡から出土する石器群の変遷を観察しながら、先史時代社会の構造について考える。

講義の内容・授業スケジュール

4・5月は日本旧石器時代研究史を概観する。
6・7月は研究史で紹介した、代表的な研究方法について検証する。
9・10月は野川源流域の代表的な遺跡から出土する石器群の変遷を観察する。
11・12月は特に多摩蘭坂遺跡出土の石器群を中心に武蔵野台地の後期旧石器時代初頭の石器群とその社会について考察する。

履修上の留意点

本講義は主として考古学を専攻する学生を対象とし、特に時代を旧石器時代に限定して講義する。そのため授業中に紹介する当該期の発掘調査現場への自主的見学や、博物館等で展示されている関連資料の見学を行う事が望ましい。

成績評価の方法

授業時の出席を重視し、夏期休暇中のレポートを1本。および論述形式の期末試験によって総合的に評価する。

参考書等

講義中に適宜参考図書・論文等を紹介する。

科目名	担当者名
考古学特講Ⅶ	や の かず ゆき 矢 野 和 之

講義のねらい

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学、歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
 - ・日本建築史（古代）概要
 - ・遺構とその上部構造体の復元
 - ・保存計画概論
 - ・保存科学、保存工学概論
 - ・まちづくりと文化財
 - ・計画策定の実務
 - ・国内の事例
 - ・海外の事例、文化財保存の国際機関
- 以上を一部演習を混じえながら講義する。

履修上の留意点

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

成績評価の方法

試験、演習提出物

教科書

なし

参考書等

適宜指示

その他

講義は、スライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。

科目名	担当者名
日本仏教史	まつもと のぶ みち 松本 信道

講義のねらい

本講座は、「仏教の日本的受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

成績評価の方法

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。

教科書

随時、プリントにて配布します。

参考書等

速水侑『日本仏教史 古代編』（吉川弘文館）

科目名	担当者名
日本文化史	よしだ まさひろ 吉田 政博

講義のねらい

日本の文化の歴史が、当時の社会の生産という問題や、政治・経済・宗教などと深くかかわっていたことに留意しながら、朝廷・公家・武家のみならず民衆が文化の創造に大きな役割を果たしていたことを、明らかとしていく。また現代生活への影響や比較などについて検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、鎌倉期以降の中世を中心としながら江戸期にかけての文化様相と特色などについて講述する。次のような順序で授業を進めていく。

- ・中世文化史研究の動向
- ・鎌倉新仏教と文化
- ・山岳信仰と文化
- ・禅宗と五山文化
- ・南北朝から室町期の文化
- ・北山文化の展開
- ・東山文化とその基盤
- ・中世の職能民
- ・知識人の思想とその行動
- ・庶民信仰と生活
- ・連歌師の旅
- ・京と鄙の交流
- ・大名領国の文化
- ・統一政権とその文化
- ・近世文化史研究の動向

履修上の留意点

講義内容の復習が必要であることはもちろんであるが、例えば日本文化や歴史、宗教などをテーマとする博物館・美術館などの展示会を積極的に観覧し、できるかぎり「実物」に接する機会を持ってもらいたい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用することをすすめたい。なお、本学の禅文化歴史博物館での文化史関連展示会の見学と学芸員による説明会を実施する。

成績評価の方法

後期に実施する定期試験の結果による。これに授業の出欠状況とレポートなどを加味する。

教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参考書等

講義内容に関する研究所などを随時提示していく。

科目名

西洋文化史

担当者名いしだ けいこ
石田 恵子**講義のねらい**

東洋に対する西洋文化のルーツをたどっていくと、ギリシャ・ローマの地中海世界を経て、古代西アジア地域の文化にまでたどっていくことが出来る。特に西アジアに起源する印章文化の展開を柱として、それにまつわる古代オリエントの歴史、印章の種類、役割の多様性などを紹介しつつ、ヨーロッパ世界に伝えられていった指輪型印章や封ロウをルネサンス時代まで追いつき、今日まで残る印章の意義を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期はメソポタミアで誕生したスタンプ印章の使用開始から円筒印章の登場、メソポタミアに栄えた円筒印章の変遷、その素材と技術、メソポタミア周辺の印章文化も紹介する。後期は書写材料・文字の変遷による円筒印章の終焉とスタンプ印章の復活、ギリシア・ローマ世界、ビザンチン・イスラム世界、中世ヨーロッパ及びそれ以降の印章及び印章に関わる文化を概観する。

履修上の留意点

広く興味を持って本や展覧会など見るようにすること。

成績評価の方法

出席点と課題レポート、試験

科目名

人文地理学概説

担当者名わかばやし ひろむね
若林 宏宗**講義のねらい**

地理学とは、人文地理学とは何か？からスタートし、自然環境、社会環境を基盤とした人間活動とその現象を日本、世界の現代社会の中で捉え、人文地理学として分析する。

さらに、将来の人間活動のあるべき姿を人文地理学的に考察できるようになるまで講義・課題導入したい。また、教職教科でもあるので、高校等での地理授業や郷土研究の指導の要点、留意点なども適宜加えたい。

以上の中で、日本の全都道府県訪問（自転車）、南極を含む地球上全七大陸踏破、教職38年間の経験などによる観察、考察を適宜加えたい。

講義の内容・授業スケジュール

①前期

- ・地理学とは？ 人文地理学とは？ ・地図の読み方と活用。
- ・身の周り（地域）の人間活動を捉える。何が、どうしているか？
- ・身の周り（地域）の人間活動を分析する。なぜ、いつから、これからは？
- ・人の分布、移動の状態。 ・農村と都市、それぞれの役割、活動、変貌など。
- ・都市の内部構造。 ・都市計画。

②後期

- ・工業活動の分析。 ・商業活動の分析
- ・観光産業の成立と発展、現代社会における余暇の活用。
- ・日本各地における人間活動の現状。 ・世界各地における人間活動の現状。
- ・世界の将来を人文地理学で分析。 ・地理学はどのようにして活用できるか？
- ・教職における地理学。

履修上の留意点

出席を第一に、第二に静聴を。

成績評価の方法

- ・定期試験を実施。課題・レポートをそれに準じて加味する。
- ・出席（2/3以上）を重視し、平常点として加味する。

教科書

高橋伸夫・谷内達・阿部和俊・佐藤哲夫編『ジオグラフィー入門』（古今書院）2,500円（税別） ISBN4-7722-4001-2

参考書等

高橋伸夫ほか編『現代地理学入門 身近な地域から世界まで』（古今書院）1,900円（税別） ISBN4-7722-3049-1
C.J. ラインズほか著 伊藤喜栄ほか訳『大学の地理学2 人文地理学の基礎』（古今書院）2,300円（税別） ISBN4-7722-5042-5

その他

講義形式を基本とする。

科目名

担当者名

地誌学

川元豊和

講義のねらい

南アジア・東南アジアの地誌について授業を進める。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定している。前期は、まず、アジアの地域的特色を主として、人口・農業・宗教の側面から概観する。次に、バングラデシュの村落を対象とし、1960年代後半以降の「緑の革命」にともなう農耕の変化や農業開発の過程で生じる地主・小作関係に根ざす土地問題や小作制度の変更、労働力の問題などについて考えてゆきたい。後期は、主にマレーシアを対象とし、多民族社会の地理的特徴や工業化・都市化にともなう村落の変貌などについて、最近の地域研究の成果を紹介してゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

①はじめに ②アジアの人口動態 ③稲作における「緑の革命」 ④アジアの宗教 ⑤バングラデシュ農村における近年の農業の変化 ⑥バングラデシュ農村における土地所有と小作制度 ⑦半島マレーシアにおける多民族社会の形成 ⑧半島マレーシアにおける地方都市の発展 ⑨サラワク州におけるイバンの生活 ⑩まとめ

履修上の留意点

高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席（授業回数の2/3以上）及び9月末のレポート提出を前提とし、学年末の筆記試験と併せて総合的に評価する。

教科書

特に定めず、プリントを配布する。

参考書等

授業内において、その都度紹介する。

その他

講義形式。

科目名

担当者名

地誌学

やまぐち たろう
山口太郎

講義のねらい

地誌学は、ある特定の地域の地形、気候、植生などの自然事象や、集落、人口、産業、文化、社会などの人文社会事象を、総合的に理解しようとする地理学の一分野である。また、中学校、高等学校での地理の学習において大きな割合を占める分野でもある。本講義ではまず、地誌学のあゆみ、地誌学の対象となる「地域」の概念を説明する。次に、日本の地域性を概説した後、住まい、まちに焦点を当てて地誌を展開していく。これらを通じて、地域の見方を習得してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

1. イントロダクション、地理という言葉
2. 地誌書の紹介
3. 地誌学の成立過程
4. 地理教育としての地誌、地誌学方法論
5. 「地域」の概念（等質地域、結節地域）、スケール
6. 地域区分、地域性、地域差
7. 日本の地域性（自然環境、歴史、人口、国土計画、文化、社会、民族）

(後期)

1. 住まい、まちから地域を読み解く（住まいの地域部分、集落や都市の形態）
2. 住まい、まちから地域を読み解く（北海道～沖縄までの事例）
3. 住まい、まちから地域を読み解く（郊外論、歴史的町並み）
4. 郷土の地誌

履修上の留意点

毎回出欠を取る。また、不定期に教場での小レポートを課す。出欠は、出席票で確認することもあれば、小レポートを提出してもらうことで確認することもある。

成績評価の方法

出欠と小レポートの内容という平常点で50点、後期末に提出してもらうレポートで50点、あわせて100点満点で評価する。

教科書

特に指定しない。配布プリントを用いる。

参考書等

講義中に随時紹介していく。

その他

講義中心だが、毎回授業の前半は、地図の読図や、中学・高校・大学の地理の入試問題を解くといった作業に時間を当てる予定。

科目名	担当者名
地誌学	新井 穂

講義のねらい	日本および世界の農山村が直面する問題について、正確な現場理解に基づいた考察を行う。
講義の内容・授業スケジュール	<p>地方自治・行財政改革や規制緩和の推進といった変革の波によって、今日の地域社会は大きく変容しようとしている。しかし、変革の結果として地域社会に何か起こりつつあるのかについては、理念やイメージが先行し、現場の本質的な情報は少ない。</p> <p>本講義では、日本と世界の農山村の内実、現在生じている変化と課題について、具体的で正確な理解を目指し、将来の教育活動に役立ててもらおうことを目指している、特に、これらの社会と公共政策との関わりを詳しく論じる。前半は日本社会（稲作農村、山村、河川の管理）、後半は亜熱帯・熱帯地域の社会（沖縄の振興、発展途上国の農業開発）を対象とする予定である。</p>
履修上の留意点	参加者には、休暇等を利用して自主的に農山村や海外を旅行し、何らかの具体的な現象に注目した上で自分なりの理解や判断を編み出す努力を期待したい。
成績評価の方法	中間試験及び学年末試験の両方を受験し、かつその成績が基準以上であることを求める。
教科書	特に指定しない。
参考書等	適宜紹介する。
その他	講義形式をとる。

科目名	担当者名
哲学史	山口 祐弘

講義のねらい	<p>カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確かな思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。</p>
成績評価の方法	定期試験は行なわない。小論文を課し、評価する。平常点も加味する。
参考書等	山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

歴史

科目名**担当者名**

仏教美術

むら まつ てつ ふみ
村 松 哲 文**講義のねらい**

日本の仏教美術について、歴史的な背景と照らし合わせながら概観する。一つのモチーフが時代によって変化してゆく過程を考察し、仏像・仏画の基本的な鑑賞法を身につけてもらいたい。

また本講義では、美術作品から制作者の心情に迫り、芸術という側面だけではなく、信仰という側面に留意して話を進める。なおインド・中国・朝鮮半島の仏教美術については「総合Ⅰ(3) 仏教と芸術」で講義する。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

仏教美術の世界 (1)
飛鳥時代の仏像 (2～7)
白鳳時代の仏像 (8～10)
天平時代の仏像 (11～15)

〔後期〕

平安時代の仏像 (16～20)
鎌倉時代の仏像 (21～25)
仏教美術の荘厳 (26～30)

以上は予定で、適時仏教美術関係の展覧会について解説を予定している。

履修上の留意点

美術館・博物館・寺院に行き、多くの仏像を観察するように努めてもらいたい。仏教美術関連の展覧会には、必ず足を運ぶこと。

成績評価の方法

定期試験と出席率、レポートなどで総合評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

科目名**担当者名**

西域美術史

まつ だいら みわ こ
松 平 美和子

歴史

講義のねらい

唐の僧、玄奘三蔵は法を求めて629年長安を出発、玉関門から西域へ進み、タクラマカン砂漠のオアシス都市、カラコルム山脈、パミール高原を経てついにインドに至った。17年に及ぶ玄奘の旅の西域部分をその著書『大唐西域記』と伝記『大慈恩寺三蔵法師伝』によって辿り、訪れた土地の美術を中心に、シルクロードにおける文化の東西交流を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期 玄奘の旅した高昌国、亀茲、サマルカンド、バクトラ、バーミヤン、カピシ、ハッダ、タキシラ、その他西域各地の美術を旅程にそって辿る。

後期 玄奘の時代を中心に、シルクロードの美術工芸やそのモチーフの展開を考察する。

成績評価の方法

夏期休暇後のレポート、学年末のレポート試験、講義時の提出物、出席状況から総合的に評価する。

教科書

プリントを随時配布する。

参考書等

『三蔵法師の歩いた道―巡歴の地図をたどる旅』青春新書
『大唐西域記』平凡社

その他

毎時間スライドを、必要に応じてビデオも使用する。

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

5 社 会 学 科
社 会 学 專 攻

社
会
学
会

社(社会学)
会

Ⅱ. 専門教育科目

(5) 社会学科 (社会学専攻)

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
社会学概論	社会1必	通年	4	坪井健	577
社会調査	社会1必	通年	4	牛島千尋	578
社会学基礎研究	社会1必	通年	2	坪井健 牛島千尋 松信ひろみ 李妍炎 片岡栄美	579
情報処理実習	社会1必	通年	4	軽部幸浩	580
調査統計基礎演習	社会2必	通年	4	片岡栄美	581
社会学史	社会2必	通年	4	李妍炎	582
社会学演習Ⅰ	社会3必	通年	4	牛島千尋	582
社会学演習Ⅰ	社会3必	通年	4	片岡栄美	583
社会学演習Ⅰ	社会3必	通年	4	川本勝	583
社会学演習Ⅰ	社会3必	通年	4	坪井健	584
社会学演習Ⅰ	社会3必	通年	4	松信ひろみ	584
社会学演習Ⅰ	社会3必	通年	4	李妍炎	585
社会学演習Ⅱ	社会4必	通年	4	牛島千尋	585
社会学演習Ⅱ	社会4必	通年	4	川崎賢一	586
社会学演習Ⅱ	社会4必	通年	4	川本勝	586
社会学演習Ⅱ	社会4必	通年	4	坪井健	587
社会学演習Ⅱ	社会4必	通年	4	松信ひろみ	587
社会学演習Ⅱ	社会4必	通年	4	李妍炎	588
理論社会学	社会2・3・4選	通年	4	李妍炎	588
外書講読	社会2・3・4選	通年	4	川崎賢一	589
現代社会論	社会2・3・4選	通年	4	片岡栄美	590
政治社会学	社会2・3・4選	通年	4	岩瀬庸理	591
家族社会学	社会2・3・4選	通年	4	松信ひろみ	591
法社会学	社会2・3・4選	通年	4	小林弘人	592
文化社会学	社会2・3・4選	通年	4	休講	
宗教社会学	社会2・3・4選	通年	4	芳賀学	592
地域社会学	社会2・3・4選	通年	4	休講	
災害社会学	社会2・3・4選	通年	4	小嶋直子	593
マス・コミュニケーション論	社会2・3・4選	通年	4	休講	
産業・職業社会学	社会2・3・4選	通年	4	小川慎一	594
社会心理学	社会2・3・4選	通年	4	休講	
社会病理学	社会2・3・4選	通年	4	山本功	595
社会学原論	社会2・3・4選	通年	4	橋爪敏	596
教育社会学	社会2・3・4選	通年	4	伊藤茂樹	596
宗教人類学	社会2・3・4選	通年	4	矢野秀武	696
社会調査演習	社会2・3・4選	半期	2	李妍炎	597
社会統計学演習	社会2・3・4選	半期	2	牛島千尋	598

社会学理論研究Ⅰ	社会2・3・4選	半期	2	坪井健	599
社会学理論研究Ⅱ	社会2・3・4選	半期	2	牛島千尋	600
社会学特殊講義Ⅰ	社会2・3・4選	半期	2	坪井健	601
社会学特殊講義Ⅱ	社会2・3・4選	半期	2	休講	
社会調査実習	社会3・4選	通年	4	松信ひろみ	602
社会調査実習	社会3・4選	通年	4	片岡栄美	603
行政法	社会1・2・3・4選	通年	4	鷄徳啓登	604
法学（福祉）	社会1・2・3・4選	通年	4	小林弘人	615
社会保障論	社会1・2・3・4選	通年	4	長尾讓治	635
老人福祉論	社会1・2・3・4選	通年	4	東條光雅	629
児童福祉論	社会1・2・3・4選	通年	4	村田一昭	627
地域福祉論	社会1・2・3・4選	通年	4	豊田宗裕	633
児童心理学	社会1・2・3・4選	通年	4	横山剛	686
産業心理学	社会1・2・3・4選	通年	4	小野公一	687
環境心理学	社会1・2・3・4選	通年	4	大野隆造	686
老年心理学	社会1・2・3・4選	通年	4	中里克治	687
社会政策	社会1・2・3・4選	通年	4	竹下睿騏	605
労働法	社会1・2・3・4選	通年	4	藤本茂	606
民法	社会1・2・3・4選	通年	4	大宮隆	607
経済原論	社会1・2・3・4選	通年	4	鈴木伸枝	608

科目名

社会学概論

担当者名

つばい 井 健

講義のねらい

この講義は、社会学を初めて学ぶ学生を対象に、社会学の見方・考え方の基礎を学ぶことを目的とする。具体的には、社会現象特有の性格の社会的分析例、社会学の基礎的概念の使い方、さらに現代社会の諸問題をトピックスとして取り上げ、さまざまな領域の社会学的研究を具体的研究例を通じて理解する。そして、2年次以後の社会学研究の基礎づけと方向づけに資する内容の講義を行う。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. はじめに - 講義の方針と受講の仕方 -
2. 社会学とは何か - 3つの方法 -
3. 私の社会学観 - 人生と社会学の経験 -
4. 社会現象の不思議1 - 予言の自己成就 -
5. 社会現象の不思議2 - 自殺的予言と潜在的機能 -
6. 社会現象の不思議3 - 社会的ジレンマ -
7. 社会現象の不思議4 - 歴史のパラドックス -
8. 社会現象の不思議5 - 組織のパラドックス -
9. 社会現象の不思議6 - 犯罪のパラドックス -
10. 社会現象の不思議7 - 情報社会のパラドックス -
11. 社会学の基礎概念1 - 社会的行為 -
12. 社会学の基礎概念2 - 相互作用 -
13. 社会学の基礎概念3 - 社会的地位 -
14. 社会学の基礎概念4 - 社会的役割 -
15. 社会学の基礎概念5 - 文化 -
16. 社会学の基礎概念6 - 価値と規範 -
17. 社会学の基礎概念7 - 集団と組織 -
18. 社会学の基礎概念8 - パーソナリティと社会化 -
19. 社会学の基礎概念9 - 社会的性格と消費社会論 -
20. 現代社会論1 - グローバル化する世界 -
21. 現代社会論2 - フリーターの現実 -
22. 現代社会論3 - 大衆社会とファシズム -
23. 現代社会論4 - 高齢社会の生き方 -
24. まとめ - 社会学の仕方 -

履修上の留意点

1. 授業時間中の私語は厳禁する。目に余る場合は、出席停止とし単位を与えない。
2. 毎回、授業の感想や意見を記入するリアクションペーパーを配布するので、積極的に記入すること。
3. 個別質問は、講義後、積極的に尋ねてもらいたい。
4. 各テーマは1時間で完結の予定である。内容や順序は変更することもある。なお、年数回ビデオ教材を使って、社会認識を深める工夫をする予定である。
5. 授業中は配布プリントを参考にノートを取り、さらに深く研究する人は、紹介した文献を参考に自主的に学習することが望ましい。

成績評価の方法

1. 出席+毎時間の受講態度、感想、意見、質問など (30%)
 2. 課題レポート・期末試験 (70%)
- なお、この授業は、出席は遅刻も含めて厳密にカウントしています。また、成績評価の具体的方法は、3回(初回講義時・夏休み前講義時・最終回講義時)説明し、受講生に公表しています。ご注意ください。

教科書

特定の教科書は使用しない。毎回講義内容をプリントで説明する。

参考書等

その都度、指示する。

(社会学)

科目名

担当者名

社会調査

うし じま ち ひろ
牛 島 千 尋

講義のねらい

社会調査とは、私たちの周囲に生起する社会的現象を解明することを目的として、データを収集し、記録・整理し、分析するという一連の過程を指す。本講義は社会学の重要な方法としての社会調査を学習していくが、しかし、単に技法の習得だけでは社会学の真の研究にはつながらぬ。本講義では、技法の講述に加えて、これまでに行われた実証的研究を紹介しながら、履修者の理解を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 実証主義の精神と社会調査
2. 社会調査の範囲と系譜 1—行政目的の統計調査、社会福祉（事業）目的の調査—
3. 日本における社会調査の始まりと発展—ビデオ—
4. 社会調査の範囲と系譜 2—市場調査、世論調査、研究目的のための調査—
5. 理論化の道程—帰納法と演繹法、命題・仮説・検証—
6. 社会調査の二つの方法 1—量的方法と質的方法—
7. 社会調査の二つの方法 2—量的方法と質的方法—
8. 量的方法を使用した実証的研究—デュルケームの「自殺論」—
9. 質的方法を使用した実証的研究—デュルケームの「社会分業論」—
10. 仮説の修正と新たな発見—メーヨーの「ホーソン実験」—
11. 社会調査のさまざまな技法 1—横断的調査と縦断的調査—
12. 社会調査のさまざまな技法 2—モレノのソシオメトリーとその応用—
13. 社会調査のさまざまな技法 3—ホワイトの「ストリート・コーナー・ソサエティ」と参与観察—
14. 既存データ、既存資料の収集と使い方 1—国勢調査データ、官公庁統計
15. 既存データ、既存資料の収集と使い方 2—各種民間調査データと公開個票データ—
16. 調査実施過程の説明—フィールド・ノート作成、調査票を使用した面接調査の手順—
17. 資料の収集とリスト作成
18. 作業仮説の設定と質問項目の作成
19. 調査方法の選定と準備 1—非構成的技法と構成的技法—
20. 調査方法の選定と準備 2—全数調査と標本調査、母集団、標本数と誤差—
21. 調査票の作成 1—質問文作成の注意点—
22. 調査票の作成 2—選択肢作成の留意点—
23. 調査票の作成 3—回答形式の種類、コードブック作成の留意点—
24. 質問文を使用した調査の方法—個人面接調査・留置き調査・郵送調査法・電話調査・集合調査・インターネット調査—
25. 標本抽出の方法 1—単純無作為抽出法、系統抽出法—
26. 標本抽出の方法 2—層化抽出法、多段抽出法、有意抽出法—
27. データの整理と集計の準備 1—データの整理とデータ入力—
28. データの整理と集計の準備 2—データのクリーニング、論理チェック、アフター・コーディング—
29. まとめ—社会調査をする際の心構え—
30. 後期試験

社会（社会学）

履修上の留意点

必修科目であるので、オリエンテーションぬきで第一回から講義に入ります。

成績評価の方法

出席状況、授業中のレポート提出、後期試験（持ち込み不可）によって評価します。

教科書

森岡清志編『ガイドブック・社会調査』日本評論社、1998年

参考書等

谷岡一郎『「社会調査」のウソ』（文春新書）
K. プラマー『生活記録の社会学』（光生館）
渡辺久哲『調査データにだまされない法』（創元社、1,500円）

その他

授業は講義形式で行いますが、テキストに書かれている内容よりもはるかに多くのことを講述するので、ノートをしっかりとってください。

科目名

担当者名

社会学基礎研究

つぼい 健・牛島 千尋
 坪井 栄美・松信 ひろみ
 かたおか えみ まつのぶ
 片岡 李 けんえん
 妍炎

講義のねらい

社会学的研究法について、社会学研究の実際例と研究法の基礎をマスターすることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、全教員リレー方式で社会学研究例の講義をする。後期は、ゼミ形式で研究法（文献へのアクセス・レポートの書き方・プレゼンテーションの仕方など）を学ぶ。

履修上の留意点

毎回出席が義務付けられている。また前期と後期に必ずレポート提出の義務がある。

成績評価の方法

出席点と2回のレポートにより評価される。

教科書

こちらで指定し配布する。

参考書等

安藤喜久雄編『わかりやすい論文レポートの書き方』（実業之日本社）1999年

講義のねらい

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは知的作業を行う上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したものも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するものとしてのコンピュータの利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめ本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者が独力でコンピュータを活用して社会学のレポート等を作成する能力を養う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば購入することを薦める。

講義の内容・授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題と授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

- ・パソコンの基本操作とOSの基礎
- ・MS-Windowsの習得
- ・タッチタイプの完全習得 (Type Quick を利用して)
- ・日本語ワープロの習得 (MS-Word)
- ・スプレッド・シートの習得 (MS-Excel)
- ・統計パッケージの習得 (SPSS for Windows)
- ・プレゼンテーションの実際 (MS-PowerPoint を利用したプレゼンテーションの基礎)
- ・応用実習 (データの収集、解析、プレゼンテーションの総合実習)
- ・データベースの習得
- ・情報処理の基礎
- ・コンピュータ・ネットワークとインターネットの現状
- ・Internet 利用の実際と注意 (マナーやモラルについて)
- ・電子メールおよび WWW の利用

履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。学校行事等との衝突がなくても年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2~3回 (1回平均約2時間程度) の実習が必要となる (昨年度実績では週平均約5時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである)。

また、Type Quick, MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint, SPSS の習得は、単位取得のための必須条件である。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末におこなう筆記試験と併せて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進捗についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なお、この科目は1年次必修科目であるため単位の認定を受けられない者は、翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。したがって1年次に履修を完了することを希望する。

教科書

授業中に適宜紹介する。教材は、授業の中で全て配布する。配布された資料は、授業に際して常に持参してくること。

参考書等

年間約5枚程度の3.5インチ両面高密度フロッピーディスクが必要となる。また、近年ではUSBフラッシュメモリも比較的安価で購入できるのでそれを利用する方法もある。

その他

年間20数回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回 (1回2時間程度) の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、4号館にある総合情報センタ1Fの自習室を利用する。独自に購入するのであれば、MS-Windows 対応のパソコンでMS-Windows と MS-Office が導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

科目名

調査統計基礎演習

担当者名

かた 片 ねが 岡 栄 美

講義のねらい

社会調査によって得たデータの分析法として統計学を学ぶ。社会統計学の基礎的な知識の習得と、統計を正しく用いる方法、データの読み方などを中心に、講義と演習形式で授業を行なう。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1 社会調査と統計
- 2 度数分布と統計図表
- 3 中心傾向の測度：代表値
- 4 得点の散布度
- 5 正規分布と相対的位置の測度
- 6 2変数間の関連をみる クロス集計表
- 7 因果関係と相関関係
- 8 擬似相関と変数の統制
- 9 クロス集計のエラボレーション
- 10 確率論の基礎
- 11 確率分布と仮説検定の考え方
- 12 平均の差の検定、比率の差の検定
- 13 カイ二乗検定
- 14 順序尺度変数間の関連
- 15 連続変数間の関連：相関係数
- 16 単回帰分析
- 17 重回帰分析
- 18 まとめ

成績評価の方法

出席重視。試験と平常点（演習問題の提出など）によって、総合的に評価する。

教科書

ロウトリー（加納訳）『新・涙なしの統計学』（新世社）2002年 1,600円＋税

参考書等

ボンシュテッド&ノーキ『社会統計学』（ハーベスト社）1990年
山内光哉『心理・教育のための統計法』第2版（サイエンス社）2,500円＋税

その他

講義形式ではあるが、演習問題などを解いてもらいながら進める。

科目名**担当者名**

社会学史

李妍炎
り けん えん**講義のねらい**

学史を学ぶ目的は、社会学の理論や人物に関する知識を得るためだけではない。むしろ社会学者の発想法を学び、現代社会の諸事象を鋭く描き出すための道具を身につけるためである。従ってこの講義では、社会学を学んでいく上で必要となる基本的な諸概念を理解してもらうと同時に、社会的な思考法を学んでもらうことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、時系列の軸に従って、社会学の誕生から今日に至るまでの各発展段階を踏まえて、主要な社会学者とその理論を紹介していく。社会学理論の特徴と構成、主要な流派を受講者に理解してもらう。前期の講義は「総論」という位置づけで考えてもらいたい。社会学理論の全体の流れを把握することが目的である。

後期では、「社会学は近代という時代の申し子である」という視点から、近代社会の基本的な特徴及び価値である「合理性」や「自由・平等・民主主義」を軸に進めていく。具体的には「合理性の検討」「自由・平等・民主主義のダイレンマと可能性」「モダンとポストモダン」という3つのセッションに分けて、それぞれにおいて、主要な社会学者の理論を取り上げて、今までの社会的理論の蓄積を示していき、近代という時代、そして現代という時代を説明する上で、社会学はいかなる思考の道具をわれわれに提供しているのかを明らかにしていく。

履修上の留意点

私語をしない、携帯電話の電源を切るなど、基本的なマナーを守ること。

成績評価の方法

平常点（小テストを含む）と期末レポートで評価を行う。

教科書

指定しない。授業中にプリントを配布する。

参考書等

新陸人ほか『社会学のあゆみ』、『社会学のあゆみパートⅡ』（有斐閣新書）1979

その他

主に講義形式で授業を進めるが、毎回リアクションペーパーで受講者の意見や感想を聞き、それを講義に取り入れながら進める。

科目名**担当者名**

社会学演習Ⅰ

牛島千尋
うし じま ち ひろ**講義のねらい**

履修者は「都市」に関するテーマを絞りこみ、論文という形に完成させるまで研究を進めていく。他者に理解できるような発表の仕方についても学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテーマを絞り込み、洗練させ、文献検索と資料収集をする（基礎研究の復習）。後期は、研究論文の骨子を考え、引き続き、文献検索と資料収集を行い、発表を重ねていく。

履修上の留意点

履修者は、大学での演習と、さらに合宿での研究発表を併せて年に3回以上の発表を行う。

成績評価の方法

出席回数、発表内容、演習中の発言にて評価します。

教科書

特になし。

参考書等

随時、紹介していく。

その他

「沈黙は金」ではなく、「発言は金」であることを自覚して演習に臨んでください。

科目名	担当者名
社会学演習 I	片岡 栄美

講義のねらい

《現代の文化と社会》

文化現象を社会学的視点で考察し、現代社会と現代文化を解説する。さまざまな文化現象(ポピュラー文化と芸術文化、音楽、ファッション、スポーツ、ジェンダー、教育など)を題材に、人々の行動様式や価値観、ライフスタイルが、社会空間上の位置とどのような関係をもつのか、また、人々は自らの趣味や文化、ライフスタイルにいかなる意味を見出しているかを明らかにする。社会生活(学校生活、家庭文化、職業生活)のなかでの、ジェンダーによる文化の意味作用の違いなども扱う。人々の文化消費や価値観、ライフスタイルの差異に目をむけ、それがどのような社会的メカニズムであらわれてくるのかを考察する。

成績評価の方法

出席と平常点を総合的に評価する。

教科書

なし。

参考書等

授業時に適宜、指示する。

その他

身近な日常生活や興味のもてる題材から研究アイデアをみつけだし、仮説をたてて資料を集め、研究論文にまで高めるための方法を教える。基礎ができれば、次は文献を読んだり、議論をしたり、テーマを追求する。社会の隠された「しくみ」を発見してもらいたいし、新しい発見をする喜び、つまり研究の「おもしろさ」を経験してもらいたい。

科目名	担当者名
社会学演習 I	川本 勝

講義のねらい

社会学の理論と方法を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

マス・コミュニケーションの社会学を中心に扱う。

前期は、マス・コミュニケーション論に関する論文を読みながら、理論の整理を行い、メディアと社会生活を分析する社会学的視点を修得する。

後期は、内容分析などを行い、方法論を修得する。理論と方法論を学んで、卒業論文のテーマを見つける。

年2回のゼミ合宿を行います。

成績評価の方法

出席、レポートによる報告、議論への参加によって評価する。

科目名	担当者名
社会学演習 I	坪井 健

講義のねらい

このゼミでは、社会学・社会心理学の学習を通して、我々が生きている世界の認識能力を高め、社会の中で自己を活かす能力の育成をめざして、理論的・実践的な相互学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、地域・集団、対人関係、世代（青年・高齢者）、国際交流、異文化理解など研究領域から、具体的な共同研究テーマを設定して、①文献研究、②データ収集、③整理分析、④報告書作成まで、グループ学習と集団討議を通して実際的な研究をする。

具体的な共同研究テーマは、毎年変わる。

<坪井ゼミの年間行事予定>

「新歓コンパ」(4月) / 「ゼミOB会」(7月) / 「ゼミ合宿」(9月) / 「4年生卒論発表会」(12月) / 「追い出しコンパ」(1月) / 「卒論構想春合宿」(3月)

履修上の留意点

ゼミは、知識伝授型の学習ではなく、問題発見型の学習を基本とする。従って、ゼミ学習の主体は、学生自身であることを認識すること。ゼミ学習の場は、教室内に限らない。街頭や国内・海外を含む。そうした積極的な行動力を養ってもらいたい。また、ゼミでは、自分の個別の学習目標を持つこと。相互啓発を喚起すること。ゼミの集団文化育成に協力すること。

成績評価の方法

①ゼミ活動への参加度、②レポートや報告などの課題達成度、により総合的に評価する。

教科書

特に、事前に指示しない。必要に応じて指示する。

参考書等

授業時間中に指示する。

その他

ゼミは、少人数授業ですので、全員参加が前提です。遅刻・欠席は教師に直接事前連絡することを義務づけます。ゼミ行事も多彩ですが、ゼミ生が共有する集団文化育成の集団活動ですので全員参加が前提です。

科目名	担当者名
社会学演習 I	松信 ひろみ

講義のねらい

本演習では、現代家族やジェンダーにかかわる諸現象・諸問題に焦点を置き、基礎文献の講読、グループでの研究報告や討論、レポートの作成などを行う。一連の作業を通じて、卒業論文に向けての研究手法を習得するとともに、卒業論文のテーマの絞込みと研究の基礎固めを行うことが目的となる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、いくつかのグループを作り、前期は基礎文献の輪読を行う。文献の読み方、レジメの作成や報告の仕方など、ゼミの基本を確認するとともに、後期の研究テーマの発見に努める。後期は、各々のグループごとに研究テーマを設定して調査研究を進め、レポートの作成を行う。なお、夏季休暇中に4年生と合同で合宿を実施し、卒業論文のテーマについての検討を行う予定。

履修上の留意点

履修者は前期、後期各々最低1回ずつの報告が期待される。なお、本演習履修者は、家族社会学の講義も同時履修することが望ましい。

成績評価の方法

平常点およびレポート。

教科書

輪読する文献は開講時に指示する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

ゼミは、出席することはもちろん、参加しなければ意義がない。「恥じはかき捨て」のつもりで積極的に自分の意見を発言するように心がけて欲しい。

科目名	担当者名
社会学演習 I	李妍炎

講義のねらい

この演習には2つの目的がある。第1に、検索力、理解力と表現力を高めることである。そのために前期には演習メンバーをグループ分けし、各グループメンバーの希望に応じて主にNPOやNGO、ボランティア、コミュニティビジネス、社会的企業などの新しいタイプの組織をテーマに調査と実験活動を行ってもらい、定期的に発表を行う。それによって特定のテーマに関する検索作業、実地調査、文献読み、プレゼンテーションの力を高める。第2の目的は演習メンバーが各自卒業研究に向けて準備作業を行うことである。それぞれが卒業研究で行いたい分野を見つけ、テーマを絞り、研究対象と課題を見つけるために一連の必要な作業を行う。特に文章力を高めるための作業に力を入れていく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は演習の進め方、演習テーマである「新しいタイプの組織」に関する知識と情報、研究の進め方などの基本的な情報を共有した後に、3-4人単位のグループに分けて、それぞれグループの課題を遂行してもらい、交替でグループ発表を行う。

後期は卒業研究の準備を中心に、文献検索やテーマの構想、資料収集などを行っていく。また、文章力を鍛えるためにいくつかのレポートをこなし、4年生の卒論をみんなで読む作業も行う。1月に合宿を行い、卒業研究の中間発表を予定している。

履修上の留意点

演習でMLやHPを作って運営し、メンバー同士でEメールのやりとりを行うことが多くなるため、自宅でもネット環境があったほうが望ましい。

成績評価の方法

平常点。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しない。

その他

外部講師による特別講義も予定している。また、メンバーの希望に応じてNPOやNGOでのボランティア活動、インターン活動の情報を紹介し、活動へのサポートも行う。

科目名	担当者名
社会学演習 II	牛島千尋

講義のねらい

演習Iでは、すでに自分の研究テーマを絞り込み、論文作成のために文献を収集し、章立てと各章の概要をまとめているはずである。演習IIでは、各自の研究テーマを引き続き深め、卒論完成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、卒論のおおよその骨子をまとめ、順に発表していく。後期は、細部にわたって論文の修正を行っていく。

成績評価の方法

出席回数、授業内での発表、発言、レジュメの内容、定期的な提出物によって総合的に評価する。

教科書

特になし。

参考書等

随時、紹介する。

（社会学）

科目名**担当者名**

社会学演習Ⅱ

川崎賢一
かわ さき けん いち

講義のねらい

卒業論文を作成するために必要な指導が中心となる。

講義の内容・
授業スケジュール

最初に、卒論の書き方、そのマネジメントを教える。それから、各自の進具合に即して、個人指導を中心に行う。なお、時間が足りない場合は、別途アポイントメントをとって補足する予定である。

履修上の留意点

卒論への取り組みは早め早めにおこなうこと。

成績評価の方法

平常点・論文の出来、を勘案して評価する。

教科書

特になし。

参考書等

各自の必要性に応じて教示する。

科目名**担当者名**

社会学演習Ⅱ

川本勝
かわ もと まさる

講義のねらい

卒業論文の作成に向けた議論と指導が中心となります。

講義の内容・
授業スケジュール前期は、卒業論文のテーマと内容について検討します。
夏合宿で、卒業論文の構成を考え、章、節だてを行います。
後期はドラフトを検討し、論文を書き上げていきます。

成績評価の方法

出席と議論への参加、レポート、論文の内容によって評価する。

参考書等

卒業論文のテーマによって適宜紹介する。

科目名	担当者名
社会学演習Ⅱ	坪井 健

講義のねらい

このゼミでは、三年の「社会学演習Ⅰ」に引き続き、大学における社会学学習の総括として自分自身のオリジナルな社会学研究「卒業論文」作成のための指導を行うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、3年次3月の「卒論構想春合宿」で卒論構想を固め、4月以降、①文献研究、②調査の企画と実施などを行い、9月中旬の「卒論中間報告」で主要研究結果を口頭発表する。10月以降、補充研究と下書きおよび清書して、12月卒論を提出する。提出後、3年ゼミ生を対象に「卒論報告会」(12月)。最後に「坪井ゼミ卒業論文集」を作成。1月末の「口頭試問」で坪井ゼミを終了する。

〈坪井ゼミの年間行事予定〉

「新歓コンパ」(4月) / 「ゼミOB会」(7月) / 「卒論中間報告ゼミ合宿」(9月) / 「卒論発表会」(12月) / 「新年会」(1月) / 「追出しコンパ」(1月末) /

履修上の留意点

最終学年のこのゼミは、就職活動などと競合することもあるが、卒業論文を書かなければ卒業できないことをしっかり認識し、卒論研究ノートを常に携帯して、空き時間等を上手に利用して、図書館等で自主的・計画的に研究を進めることが肝要です。

成績評価の方法

①卒論への取り組み方、②中間報告などの課題達成度、により総合的に評価します。

教科書

なし

参考書等

その都度、適切な参考文献を指示する。

その他

教師との積極的な相談を厭わないことをお勧めします。

科目名	担当者名
社会学演習Ⅱ	松信 ひろみ

講義のねらい

本演習では、卒業論文の作成を目指し、個人研究の指導を行う。各々の学生のテーマに沿った研究に基づき、無事卒業論文を執筆できることが最終的な目的となる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、家族社会学・ジェンダー社会学の基本的な分析枠組みを教授するとともに、個々人の研究の進捗状況について報告してもらう。後期は、執筆中の論文についての報告をしてもらい、その内容についての議論、指導を行う。なお、夏季休暇中に3年生と合同で合宿を実施し、卒業研究の中間報告をしてもらう予定である。

履修上の留意点

論文作成のためには、ゼミへの出席ばかりでなく、自ら行動を起こすことが要求される。文献・資料収集、調査など、自分の足を使い、積極的に行動して欲しい。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しない。

その他

大学生活最後のゼミである。論文の作成はもちろんだが、コンパや合宿を通じてゼミ生同士の交流も図り、有意義な時間として欲しい。

(社会学)

科目名	担当者名
社会学演習Ⅱ	李 妍 炎

講義のねらい	この演習は、メンバーが各自充実した卒業研究を行うためのサポートを目的とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	前半では、メンバーそれぞれが定期的に各自の卒業研究について発表を行い、それを巡って全員で議論していく。後半では、各自のテーマと研究方法および進行状況に応じて、個別指導を中心に行う。
履修上の留意点	他人の研究に関心を持つように心がけること。
成績評価の方法	平常点。
教科書	特に指定しない。
参考書等	特に指定しない。

科目名	担当者名
理論社会学	李 妍 炎

講義のねらい	この講義では近年注目されている social capital の理論を取り上げ、社会的な人間関係を資本として捉える考え方の意味について、受講生と共に理解していきたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	前期ではまず社会的な人間関係の重要性を明らかにした上で、近年人々の社会的な人間関係に生じている種々の問題点を提示していく。次に、social capital の理論が注目された背景を探り、social capital の概念やその理論の主要な論者について整理して、簡潔に紹介していく。 後期では、social capital 理論についてより詳細なサーベイを行う。重要な論者として特にブルデューとコールマン、そしてパットナムを取り上げる。それらの理論について理解が進んだ段階で、social capital 理論と関連するコンセプトとして、コラボレーションとコーディネーションについても触れていきたい。
履修上の留意点	基本的マナーを守ること
成績評価の方法	平常点と期末レポートで評価する。
教科書	特になし。
参考書等	授業時に指示する。
その他	毎回リアクションペーパーに記入してもらい、受講生の意見や感想を授業に取り入れていくように工夫する。また、「理論」という堅いイメージを払拭してもらうために、できるだけ具体的な事例や詳しい実践活動の内容を授業中で取り上げながら進めていく。ビデオ教材等も活用する。

社(社会学)
会

科目名**担当者名****外書講読**かわ さき けん いち
川 崎 賢 一**講義のねらい**

現代社会学を理解するうえで、必要な英語を読む力をつけることを目的とする。単に、古典を読むことはしない。むしろ、前半は、実用的な読解力を新聞・雑誌・入門書でつけて、後半は、実際に、現代社会学を代表する文献の一部を購読する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前半は、新聞(朝日新聞英語版・インターナショナルヘラルドトリビューン)・雑誌(News Week)、入門書(GiddensのSociologyかKohenらのGlobal Sociology)等を使い、日本に関連する記事や論文の一部を読む力をつける。後半は、現代社会学代表する理論の一部(Giddens, The Transformation of Intimacy, 1992; Naoki Sakai, You Asians, 2002, 等)を使い、読解力や解釈力を高める。

履修上の留意点

授業の性格から、ゼミ形式をとり、事前に読むべき文献のコピーを渡し、それを読んだ上で授業に出席することが前提である。なお、何度もレポーターが回ってくることも承知しておいてもらいたい。

成績評価の方法

平常点を中心として、最後に簡単なレポートを課す予定である。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業の中で指示する。

その他

社会学辞典(日本語と英文)を前もって購入しておくこと。また、出来る限り、英英辞典を使用すること。必要があれば、相談すること。

講義のねらい

現代社会における不平等や文化による支配・服従の諸問題を、具体的な社会現象を取りあげながら読み解いていく。前期はジェンダー問題の文化的な側面を中心に講義を行なう。後期は、現代がリスク化する不安定社会、二極化する社会となっているのかどうか、社会階層および不平等研究の観点から現代社会の変容を問う。勝ち組・負け組といわれるような現代社会の格差問題を取り上げ、地位や学歴をめぐる競争社会の問題、家族のあり方の変容、教育を通じた二極化問題とその背景など、変貌する現代社会の諸相を読み解く。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 人はなぜ従うのか？
日常生活に潜む支配と服従の諸問題
2. ジェンダーからみた現代社会
 - (1) ジェンダー秩序、ジェンダーの諸理論
 - (2) 学校文化とジェンダー
 - (3) メディアとジェンダー：少女小説や少年マンガを題材に
 - (4) 男性支配の象徴性
 - (5) 男らしさのジレンマ
 - (6) 感情労働とジェンダー
 - (7) 世界の不平等とジェンダー
3. 教育の不平等からみた現代社会
 - (1) 象徴的暴力としての教育
 - (2) 学校化された社会
 - (3) だれが進学するのか：学力格差と社会的不平等
 - (4) 学歴達成メカニズム
 - (5) ゆとり教育改革のゆくえと不平等問題
 - (6) だれのための子育て支援か？
4. リスク化する社会と社会的不平等
 - (1) 日本社会は平等か？
 - (2) 不平等をめぐる諸理論
 - (3) 二世ブームにみられる再生産問題
 - (4) 下流社会
 - (5) 不平等の形成メカニズム
 - (6) 女性の階層的地位はどのように決まるか
 - (7) グローバル化と新たな不平等問題
5. 文化による支配とは

成績評価の方法

平常点及び試験（もしくはレポート）を総合的に評価する。

参考書等

授業時に適宜指示する。

科目名	担当者名
政治社会学	いわせ のぶただ 岩瀬庸理

講義のねらい

政治社会学の講義目標は、社会学の理論と概念を用いて「市民社会」と「政治社会」の相互関係を理解し、説明する能力を育成することである。

講義の内容・授業スケジュール

1. 政治社会学の対象と方法
政治社会学の分析視角、政治社会学の学説史、システム理論と行学理論、政治社会学の現状
2. 政治的社会化
政治的自我的形成、政党支持態度の学習、社会化機関の比較、社会化パターンの変容
3. 参加行動
投票行動の変化、階層の非構造化、社会移動の効果、社会運動の類型
4. 権力構造
支配構造の特徴、大衆社会の権力構造、地域社会の権力構造、多元的権力構造
5. イデオロギー
イデオロギーの構造、イデオロギーとパーソナリティ、イデオロギーと市民社会

履修上の留意点

共に考えるという姿勢をもって出席して欲しい。

成績評価の方法

試験。

教科書

教室で指示する。

参考書等

教室で指示する。

その他

講義形式とする。

科目名	担当者名
家族社会学	まつ のぶ 松信ひろみ

講義のねらい

本講義では、現代の結婚と家族にかかわる諸現象や問題を社会的な観点から考察する。シングルや共働き家族の増加、少子化、高齢化など結婚や家族をめぐる諸現象を社会的に分析し、現代の結婚と家族の実態、そしてこれからの結婚と家族のゆくえについても検討してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

現代の結婚と家族の現状、およびそれらの分析に必要な家族社会学の基礎についても講義する。テキストを使用し、以下のような内容について検討する。①家族とは、②家族の変化、③ライフコースの変化、④地域と家族、⑤現代における恋愛と結婚、⑥性別役割分業、⑦仕事と家庭生活の調和、⑧少子化、⑨高齢化、⑩ドメスティックバイオレンス、⑪欧米諸国にみる多様な家族とこれからの結婚・家族のかたち

(社会学)

履修上の留意点

「家族」は私たちにもっとも身近な社会集団であるため、あまりに「あたりまえ」すぎて問題意識をもちにくいものである。しかし、だからといって漫然と講義に出席するのではなく、自分に身近な問題でかまわないので、常に何らかの問題意識をもって講義に臨んで欲しい。

成績評価の方法

夏休み中のブックレポートと学年末の筆記試験、平常点（出席、コメントペーパー）によって評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

随時指示する

その他

基本的にテキストを使用するが、必要に応じてプリント資料も配布する。

科 目 名

担 当 者 名

法社会学

こばやし ひろ ひと
小 林 弘 人

講義のねらい

法社会学の概念についての理解、法社会学の対象と方法、具体的事例についての解説が授業の主たる内容である。

講義の内容・授業スケジュール

日本および諸外国の法社会学史について前期一杯講義する。具体的には、まず日本の法社会学の学説史について解説する。その後、ヨーロッパおよびアメリカの法社会学史について説明する（例えば、モンテスキュー、イエーリング、マックスウェーバー、マリノウスキーやギユルヴィッチ、ホームズ、パウンドなどの学説の紹介である。）

次いで、法社会学の方法論について解説する。また、法社会学に関連する法学の諸分野と社会諸科学との関連についても解説する。

後期からは、法と社会との関連性について全体社会と法、部分社会と法について、具体的事例をあげながら説明する。立法過程、司法過程、農村、都市のかかえる課題の対応には時間をさきたい。

履修上の留意点

とくになし。資料の配布については、該当日以外は、配布しないので、注意すること。

成績評価の方法

レポートと期末テストを勘案して行う。

教 科 書

及川伸著『法社会学講義』（法律文化社）2,781円

参 考 書 等

講義初日に説明する。

科 目 名

担 当 者 名

宗教社会学

は が ぎん ぶ ぶ
芳 賀 学

講義のねらい

古今東西、人間社会には（形の違いこそあれ）何らかの宗教が存在し、それぞれの社会や時代の状況に対応してさまざまな役割を果たしてきました。この授業では、アイデンティティをキーワードとして、そもそも人間にとって宗教が必要である根本的な理由と、われわれの住むこの日本社会において宗教（及び宗教周辺現象）が果たしてきた（または果たしている）役割について概括的に理解することを目指しています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) オリエンテーション (2~5) アイデンティティと宗教
(6~8) 新宗教とは何か（発達段階・思想・組織・活動）
(9~13) 時代の中の新宗教（幕末から現在まで）(14・15) 宗教周辺現象の拡大
(16・17) 心理療法的な活動
(18~20) ネットワークビジネスとエステ
(21・22) 占いとヒーリング (23・24) オウム事件と危機管理
(25・26) 自分探しのパラドックス

履修上の留意点

本講義を履修するにあたっては、以下の二点に留意してください。(1) 有用な情報を用意しているので、可能な限り講義には出席すること。(2) 多くの情報をどん欲に吸収すると同時に、それを鵜呑みにしないで、自分に引き付けてじっくりと考える態度を意識的に維持すること。

成績評価の方法

成績については、基本的に、夏期休暇に課すレポート(4000字程度)と年度末に行うペーパーテスト(筆記式)との総合評定で決定しますが、不定期に課すリアクションペーパーの提出状況によってはその結果に若干の加点措置を講じる予定です。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

授業開始後に適宜紹介する。

そ の 他

授業方法の中心は講義であるが、ビデオ映像なども折にふれ積極的に活用する予定である。

講義のねらい

自然災害研究には、自然科学と社会科学の双方からのアプローチがあるが、本講義では社会学、社会心理学および都市科学を含めた社会科学的観点から講義する。地震、風水害といった自然災害に関する災害時の情報と人間行動、災害後の復興計画などの諸問題について概説する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・オリエンテーション
- ・「災害社会学」概説
- ・災害史（天災～都市災害）1. 2
- ・災害研究史
- ・災害の持つ諸次元
- ・災害文化と災害観1. 2
- ・災害と大衆行動1. 2
- ・災害と流言飛語1. 2
- ・災害と報道1. 2. 3
- ・災害と地域特性1. 2
- ・組織論
- ・ボランティア
- ・災害の社会文化に対する長期的影響1. 2
- ・災害復興と社会システム1. 2

履修上の留意点

とくになし

成績評価の方法

平常点と定期試験により評価する。

教科書

使用せず

参考書等

授業中に指示する。

その他

過去の災害研究を踏まえ、災害に関わる様々なトピックを挙げながら講義を進める。また、近年の災害を事例として災害時における諸問題を明らかにする。必要に応じてビデオテープの使用や資料配付を行う。

科 目 名**担 当 者 名**

産業・職業社会学

おがわしんいち
小 川 慎 一**講義のねらい**

日本の仕事のありかたを、社会学や隣接領域の知見に基づき説明する。日本的雇用慣行や、そのライフスタイルや技術革新との関係についても触れる予定である。

**講義の内容・
授業スケジュール**

各トピックスにつき1～2回程度の講義をおこなう。括弧内は教科書の該当する章を示す。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 前期 | 後期 |
| ①イントロダクション | ①前期分の小テスト |
| ②若者と仕事（第7章） | ②技術革新と仕事の変化（第3章） |
| ③年功制の変化と実態（第1章） | ③女性の就業構造（第4章） |
| ④長期安定雇用（第1章） | ④雇用形態の多様化（第9章） |
| ⑤失業と転職（第5章） | ⑤ライフスタイルと就業意識（第6章） |
| ⑥労働組合（第11章） | ⑥ライフスタイルと生活時間（第8章） |
| ⑦労力開発（第2章） | ⑦仕事からの引退（第10章） |
| ⑧中間まとめ | ⑧最終まとめ |

履修上の留意点

迷惑行為や虚偽の出席申告をする者には、事前の警告なしに単位を与えないことがある。

成績評価の方法

出席（30点）＋小テスト（20点）＋最終テスト（40点）＋発言（10点）。

教 科 書

佐藤博樹・佐藤厚編『仕事の社会学——変貌する働き方』（有斐閣）2004年 2,000円＋税
ISBN4-641-18313-9

参 考 書 等

講義中に指示する。

そ の 他

講義形式だが、受講者の発言を求めるとし出席もとる。レジメを配布するが板書もする。

科目名

社会病理学

担当者名山本 功
やまもと いさむ**講義のねらい**

まず、社会病理学の基本的概念・方法・研究領域について概観する。まず、従来のオーソドックスな社会病理学の概念・学説史をとりあげ、最後に近年注目を集めている社会構築主義について紹介する。

ついで、様々な「社会病理現象」のうち、犯罪・非行を中心に取り上げ、犯罪学を紹介する。少年の「凶悪化」が叫ばれ、2000年秋に少年法が改正されたが、少年が「凶悪化」したと言えるのだろうか。また、何かしら事件が起こるたびにメディアでは「親が」「学校が」「社会が」と様々な原因が論じられるが、それらは妥当なのだろうか。そもそも、犯罪や非行についてどうして人は語りえるのだろうか。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】第1回 イントロダクション「社会病理」とは何か 第2～4回 「社会病理」の基礎概念と社会病理学史 第5～8回 「社会病理」現象の具体的諸相 第9～13回 「社会問題」論と社会構築主義

【後期】第14～16回 「犯罪」「非行」概念 第17～19回 人はどうして犯罪について語りえるのか：犯罪報道、公式統計、暗数問題 第20～24回 実証主義的犯罪原因論 第25～26回 ラベリング論と社会構築主義

履修上の留意点

webに参考資料をアップする。ネット環境が整っていることが望ましい。携帯電話では不可。

成績評価の方法

定期試験結果で評価。

教科書

矢島正見他編『よくわかる犯罪社会学入門』（学陽書房）1,995円
ISBN4-313-34008-4

参考書等

澤登俊雄『少年法』（中公新書）2000年
鮎川潤『少年犯罪』（平凡社新書）2001年
中河伸俊『社会問題の社会学』（世界思想社）1999年
平英美・中河伸俊編『構築主義の社会学』（世界思想社）2000年
矢島正見『少年非行文化論』（学文社）1996年
法務省編『犯罪白書』
警察庁編『警察白書』

科目名	担当者名
社会学原論	橋爪敏

講義のねらい	<p>本講義の対象は社会学科の2・3・4年生、ならびに「社会・地理・公民科」にかかわる教職科目の受講者である。したがって、「社会学」とは何か、いかなる学問かにはじまり、さらに「社会・地理・公民科」の基礎をなす学問としての、<社会科学としての「社会学」>とは何かにかかわる問題を取り上げたい。</p> <p>いずれにせよ、社会的なモノの見方、考え方を理解し、それを踏まえて、社会現象を理解し、説明する<社会科学>についての認識を深めたい。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>前期には社会科学とは何か、社会科学としての社会学とは何かと言う問題からはじめたい。科学的であるとはどういうことかと言う、基本的な点から問題を考えたい。</p> <p>後期はこうした点を踏まえて、社会学の歴史的な展開を振り返り、社会現象にたいする科学的取り組みについて若干の検討をしていきたい。</p>
成績評価の方法	学年末の定期試験で評価する。
教科書	安藤喜久雄ほか『社会学概論』（学文社）
参考書等	適宜指示する。

科目名	担当者名
教育社会学	伊藤茂樹

講義のねらい	<p>教育社会学は、教育を社会現象ととらえ、社会学の手法を用いてアプローチする学問であり、教育や学校、子ども、青少年などに関するあらゆる現象が対象となる。分析のレベルも国の教育政策といったマクロレベルから、教室内での人間関係や相互作用といったマイクロレベルまで多岐にわたる。そして、私たちがともすれば自明視しがちな「常識」を相対化して批判的なまなざしを向けたい。実態の客観的な分析をふまえて実践や政策に寄与する知見を得る学問である。この学問についての基礎知識を持ち、それを用いて現代社会の教育について考えていく。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>とりあげるテーマとして、教育社会学の対象と方法、学校の歴史と機能、社会化とその変容、情報化社会と青少年、教育制度、カリキュラムと知識、学校の組織と文化、階層と教育、教育問題と教育改革、などを予定している。</p>
履修上の留意点	授業への積極的な参加を求める。
成績評価の方法	課題とレポートにより評価する。
教科書	教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

科目名**担当者名**

社会調査演習

李妍炎

講義のねらい

社会調査の方法は、統計調査（量的調査法）と事例調査（質的調査法）に大別される。この社会調査演習では、後者の質的なデータの収集、分析の方法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション：社会調査演習の目的と進め方について。
2. 質的調査法の特徴と意義（1）
統計調査（量的調査法）と対比し、質的調査法の特徴を整理する。
3. 質的調査法の特徴と意義（2）
質的、インテンシブ、インフォーマルな研究方法の必要性和意義について考える。
4. 質的データ収集の方法（1）
参与観察、ヒヤリング調査、内容分析など質的調査の方法、種類について。
5. 質的データ収集の方法（2）
データ収集上の注意点。特に現地への入り方、協力のもとめかた、聞き取りなどについて。
6. ヒヤリング（聞き取り）をやってみよう
課題を設定して、学内でヒヤリングを実施してみる。
7. データの整理と分析（1）
質的データの整理、分析や解釈の方法とその問題点。
8. データの整理と分析（2）
実施したヒヤリングの内容を整理分析する。
9. 内容分析の方法。
内容分析とは何か。内容分析の目的、手続き。内容分析の研究例。
10. 内容分析の課題の設定
内容分析であきらかにする課題の検討。新聞かテレビ番組を対象にして検討する予定。
11. 内容分析の対象の選定
調査対象（分析するメッセージ）の決定、分析単位とそのカテゴリセットの検討。
12. ゴーディング（1）
コード表を作成した後、コーディング作業を実施する。
13. ゴーディング（2）
コーディング作業の実施。
14. 結果の集計：集計、分析を行う。分析の妥当性、信頼性について。
15. まとめと課題

履修上の留意点

社会調査士の認定科目になる予定なので、毎回参加できること。

成績評価の方法

出席、討論・作業（演習）への参加、貢献の度合いなど平常点によって評価。

教科書

特に使用しない。

参考書等

その都度紹介する。

（社会学）
社会

講義のねらい

この演習では、一年次必修科目の「社会調査」を履修した学生に対して、社会調査データのより高度な分析法について、その考え方と主要な計量モデルを解説し、習得していくことをねらいとしている。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション-さまざまな多変量解析の紹介
2. 回帰分析法の解説とデータの準備
3. 国勢調査データを使用して重回帰分析に挑戦 1
4. 国勢調査データを使用して重回帰分析に挑戦 2
5. 国勢調査データを使用して重回帰分析に挑戦 3
6. 因子分析の解説とデータの準備
7. 生活意識調査データを使用して因子分析に挑戦 1
8. 生活意識調査データを使用して因子分析に挑戦 2
9. 生活意識調査データを使用して因子分析に挑戦 3
10. クラスタ分析の解説とデータの準備
11. 事業所統計データを使用してクラスタ分析に挑戦 1
12. 事業所統計データを使用してクラスタ分析に挑戦 2
13. 事業所統計データを使用してクラスタ分析に挑戦 3
14. 分析結果の発表
15. 分析結果の発表とレポート作成の諸注意

履修上の留意点

本演習は、社会調査士資格の多変量解析の習得に関わる認定科目です。すでに社会調査や統計学の基礎を学んだことを前提に進めていきます。

成績評価の方法

出席状況、発表、レポートによって評価します。

教科書

石村貞夫『SPSS による多変量データ解析の手順』（東京図書）2001年

参考書等

遠藤健治『Excel、SAS、SPSS による統計入門』（培風館）2003年
必要に応じて資料を配布します。

その他

演習時間だけで SPSS の習熟は不可能なので、空いた時間を利用して、学内パソコンにインストールされている SPSS に慣れてください。

講義のねらい

この講義は、＜異文化コミュニケーション＞というテーマで、異文化コミュニケーションと異文化交流に関する研究と実際を紹介する。

「世界は多文化で出来ている。」この当たり前の事実が、日本のような単一文化社会に住んでいるととかく忘れがちである。しかし、近年、バイト先で、学校で、地域で、電車で、繁華街で、そしてメディアの中で外国人に接する機会が急速に拡大している。海外旅行や語学留学、海外駐在員の家族として海外経験した人も多い。

こうした異文化接触機会の増大は、対人コミュニケーションの拡大を意味し、多文化社会に生きる我々には、異文化コミュニケーションスキルの必要性を投げかけている。グローバル化する社会の変化に適応的に生きていくために、異文化コミュニケーションの理論と実際を学ぶことで、社会的アイデンティティ基盤の拡大と知的柔軟性を育てよう。

講義の内容・
授業スケジュール

1. はじめに —この講義の方針と進め方—
2. 文化とコミュニケーション
3. 異文化コミュニケーションの基礎
4. 言語メッセージと非言語メッセージ
5. 対人関係と異文化コミュニケーション
6. カルチャーショックと異文化適応
7. 文化摩擦とコミュニケーション
8. おわりに —異文化コミュニケーション能力を高める—

履修上の留意点

上記講義の構成は、適宜変更する場合がある。授業は、異文化コミュニケーション問題への気づきに焦点を当てて、なるべく具体的な事例や実験例などを紹介しつつ進める予定であるが、実際に心理テストやエクササイズを行う場合もある。講義内容はレジュメや資料を用意するが、下記の文献は、この講義を理解する助けになるので事前に準備することを期待する。なお、授業中も関連文献はその都度紹介する。

成績評価の方法

1. 毎回、リアクションペーパーを配布するので、授業内容への意見・感想を記入すること。
2. 評価は、このテーマに関連した課題レポートの提出を求める。
3. 平常点（出席＋リアクションペーパー＋授業参加度）30%、課題レポート等70%

参考書等

古田暁監修／石井・岡部・久米著『異文化コミュニケーション』（有斐閣選書）1996年

講義のねらい

この授業は、都市社会学の基本的理論について、文献を講読し、受講者全員で議論する形で進めていく。日本（主に東京圏）における都市化、郊外化とこれらに関連しておきた事象を理解していく。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) シカゴ学派の都市社会学理論とその継承
- (2) 郊外の成立過程と
- (3) 都市コミュニティとアーバニズムの下位文化理論
- (4) 国際的人口移動とエスニシティ論
- (5) 東京圏と都市サイクル論

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

授業中の発表、期末レポートによって評価する。

教科書

高橋勇悦監修・菊池美代志、江上渉編『21世紀の都市社会学』（学文社）
ISBN：4-7620-1152-5、2002.5
上記テキストに掲載されている入門書、専門書。

参考書等

上記テキストに掲載されている入門書、専門書。

その他

主に演習形式で行う。

講義のねらい

この講義は、<戦後日本の学生文化>というテーマで、一部のエリート文化から大衆文化に変容した日本の学生文化の歴史的過程を実証的・理論的に明らかにすると共に、国際比較をしながら日本の学生文化の現在を考察することを目的とする。身近なテーマであるので楽しみながら受講できると共に、大学生としての生き方を考える上でも役立つであろう。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに - 大学レジャーランド化論 -
2. 戦後大学改革と大学生 - エリートから大衆へ -
3. 学生文化から若者文化へ - エリート学生文化の崩壊 -
4. 学生文化の諸相① - 授業と自主学習 -
5. 学生文化の諸相② - サークル活動 -
6. 学生文化の諸相③ - アルバイト -
7. 学生文化の諸相④ - 資格・講座 -
8. 高度消費社会とキャンパス文化の変容
9. 国際比較から見た日本の学生 - その特異性と普遍性 -
10. 大学冬の時代と大学改革 - 多様化する大学と学生文化 -
11. おわりに - 大学における学びとは何か -

履修上の留意点

授業は、上記各テーマに準じて進行する予定である。履修状況によっては、参加者の実体験を踏まえた討議を多く取り入れながら進行することもある。

講義内容の概要や資料は、プリントにして配布するので、テキストは使わない。しかし、下記の参考文献を読んで参加すると一層理解が深まり楽しい授業になるのでお勧めする。

成績評価の方法

1. 毎回のリアクションペーパーに意見や感想を記入すること。
2. このテーマに関連した課題レポートの提出を求める。
3. 平常点（授業参加度＋リアクションペーパー）40%、課題レポート60%。

教科書

なし

参考書等

1. 坪井健『国際化時代の日本の学生』学文社、1995年
2. 坪井健他『日本人と国際化』学文社、1998年
3. 溝上慎一『大学生論』ナカニシヤ出版、2002年
4. 竹内清編『キャンパスライフの今』玉川大学出版部、2003年
5. 溝上慎一『現代大学生論』NHK ブックス、2005年

科目名**担当者名**

社会調査実習

まつのぶ
松信 ひろみ

講義のねらい

1, 2年次で学んだ社会調査に関する知識を生かし、実際の社会調査にかかわることによって、現実の社会を分析する手法を会得することを目的とする。受講生は、自らの問題意識を仮説化し、調査の企画・設計から調査票の作成、サンプリング、データの収集と分析、報告書の作成など社会調査の一連のプロセスを経験する。具体的には、学生を対象とした量的調査を実施し、受講生各々の問題意識を生かした調査票を作成して、受講生が相互に協力しあいながら、データの収集から報告書の作成までを実践的に学習してゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はまず受講生の討議に基づき、①調査テーマの決定と調査の設計、②仮説の検討、③調査票の作成、を行う。調査票の作成においては、調査企画と照らし合わせながら、項目の調整、配置、ワーディングの検討も行い、さらに依頼文、あいさつ文の作成についても学ぶ。また、④駒澤大学の社会科学の在学生名簿からランダムサンプリングを実施し、標本抽出についても体験する。⑤抽出された対象者について、調査票の配布、回収を行う。後期は、回収した調査票のチェック、データ入力とデータのクリーニングをまず実施し、その後は各自の仮説に基づいたデータの分析をSPSSを用いて行う。さらに、それらの分析結果に基づき、報告書の執筆、作成を行う。報告書の作成にあたっては、各自で執筆した原稿について受講生全員で検討する。

履修上の留意点

問題意識を明確にもち、社会調査のすべての過程について、自ら積極的に取り組むことのできる姿勢をもって欲しい。

成績評価の方法

平常点（出席、および調査への取り組み方）、報告書用のレポート

教科書

適宜指示する

参考書等

適宜指示する

その他

毎回の出席が基本である。自ら調査に取り組む姿勢を忘れないで欲しい。

講義のねらい

社会調査の企画・設計からデータ収集、データ分析、報告書の作成法など調査の一連のプロセスを実践的に学習する。ねらいは、①仮説をたてて論理的に考える能力をつける ②社会調査のノウハウを理解し、実際に企画し分析できるよう実践的な力をつける ③よい調査とそうでない調査を見分け、調査結果の数字にだまされない知識を身につける ④コンピュータに慣れ、データ解析の方法と分析のセンスをみがく。

学生対象の調査を行う予定である。体験しながら、仮説の構成、良いデータの集め方、優れた分析の手法などを参加型の授業により学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

第1回	社会調査とは	第16回	データの作成、入力
第2回	量的調査・質的調査	第17回	データ・クリーニングの方法
第3回	理論と仮説の構成	第18回	SPSS 統計パッケージによるデータ分析
第4回	面接調査の実際	第19回	変数とラベル
第5回	質問文・調査票の作り方	第20回	データ解析の基礎(1)
第6回	調査票の作成	第21回	データ解析の基礎(2)
第7回	調査票の作成	第22回	データ解析の基礎(3)
第8回	調査実施のプロセス	第23回	推定と検定
第9回	母集団とサンプル	第24回	データ分析応用編：原因を探る
第10回	サンプリングの実際 (1)	第25回	データ分析応用編：分類する
第11回	サンプリングの実際 (2)	第26回	データ分析応用編：関連性をみる
第12回	サンプリングの誤差	第27回	報告レポート作成(1)
第13回	調査員マニュアルの作成	第28回	報告レポート作成(2)
第14回	数字や結果にだまされない方法	第29回	報告レポート作成(3)
第15回	調査の実施	第30回	まとめ

履修上の留意点

参加型の授業なので出席が重要となる。知識だけにとどまらず、効率的に体得してもらうため、クイズ形式等で練習問題を解くこともあるが、とくに準備は必要ない。

成績評価の方法

出席重視であるが、平常点、報告レポートを総合的に評価する。

参考書等

適宜、指示する。

その他

学生調査にとどまらず、調査会社で実際に行われている大規模な世論調査の実施プロセスや調査管理の仕方、問題解決法など、一般的な教科書には書かれていない部分についても具体的に紹介する。

科目名

担当者名

行政法

けい とく ひろ とう
鶏 徳 啓 登

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 行政とは何か 2. 行政の原則 3. 行政法の意義と解釈 4. 行政作用の分類と内容・効力 5. 行政行為の瑕疵と効力 6. 行政手続 7. 行政上の強制の方法と制裁 8. 国家による賠償と補償 9. 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教科書

原田尚彦著 『行政法要論』(学陽書房) 3,000円
『小六法』 出版社・定価各種

参考書等

塩野宏著『行政法Ⅰ・Ⅱ』(有斐閣) 4,000円 その他、教場にて説明。

科目名

社会政策

担当者名

竹下 睿 麒

講義のねらい

社会政策は、資本主義社会の維持・安定化を図るために国家が労働力の担い手（労働者）が抱える労働・生活上の諸問題に対応して実施する公的政策（労働力政策）として展開してきた。その後、社会保障制度にみられるように、労働力政策の枠をこえて、国民全体の社会福祉と社会サービスの向上をめざす福祉国家の公共政策に発展していった。近年、各国の経済、財政事情から福祉国家の再編がすすみ、社会政策の総合化が試みられている。

さらに、現代の社会政策は、労働・生活上の諸問題ととりまく構造的環境の急激な変化によって、新しい局面を迎え、従来の枠組み・パラダイムの転換（全面的な労働改革）を迫られている。

講義では、まず、社会政策の本質、発生の必然性と変化の過程を明らかにする。ついで、現代日本の社会政策の実体に焦点をあてて、その特徴を主要な具体的政策に即して検討することにする。さいごに、社会政策のさまざまな考え方の流れを跡づけ、最近の新しい動向を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ. 社会政策の概念と分析視角—1. 社会政策とは何か、2. 労働問題研究と社会政策研究、3. 社会政策の問題領域、Ⅱ. 資本主義と社会政策の歴史的展開—1. 資本主義と賃金労働者、2. 生成期資本主義の社会政策、3. 産業資本主義段階の社会政策、4. 独占資本主義段階の社会政策。

後期は、Ⅲ. 現代日本の社会政策—1. 戦前日本の社会政策、2. 戦後日本の社会政策、① 労使関係（労働組合）政策、② 賃金政策、③ 労働時間政策、④ 労働市場（雇用・失業）政策、⑤ 労働者保護政策、⑥ 高齢化政策、⑦ 女性労働と社会政策、⑧ ME・IT 技術革新と社会政策、⑨ 国際化と社会政策、Ⅳ. むすび—現代社会における社会政策の意義、社会政策論の検討。

履修上の留意点

出席を重視する。教場での私語を慎むこと（退場を求めることもある）。毎回、講義についての感想文を書いてもらう。

成績評価の方法

成績は、①定期試験を基本に、②出席率、③授業に取り組む姿勢、④感想文を加味して、総合的に評価する。試験の採点は、設問の意味を正確に理解し、論証が論理的に展開されているか否かを重視して行う。評価基準は、①が70%、②③④が30%の割合とする。

教科書

石畑良太郎・牧野富夫編『新版社会政策—構造改革の新展開とセーフティネット』（ミネルヴァ書房）2003年 3,400円

参考書等

西村 裕通^{ひろみち}・荒又重雄編『新・社会政策を学ぶ』（有斐閣）1999年 2,000円

その他

講義形式。資料をできるだけ配付する。

（社
会
学）

科 目 名**担 当 者 名**

労働法

藤 本 茂

講義のねらい

今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、人事異動などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

講義の内容・授業スケジュール

下記事項について、基礎的知識を学びつつ、現代的課題に言及します。詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 集团的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo。そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、レポートなどとともに、総合的に評価します。追試験は実施します。

教 科 書

道しるべとして、浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参 考 書 等

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。六法は最新のもの（法律改正や制定があるので特に注意）。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。

そ の 他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を揚げながら授業を進めます。

科目名**担当者名**

民法

大宮 隆

講義のねらい

家族を研究対象とするとき、哲学・心理学・社会学・歴史・経済・医学など、さまざまな角度からアプローチすることが可能である。これを法律の視点からみると、民法という法律の中に、講学上家族法とよばれる法分野があり、民法第4編・第5編がこれに該当する。家族法は、我々の生活の中でも、結婚・離婚・親子・相続といった日常的で、親しみやすい家族生活に関する法律である。各種試験（たとえば家庭裁判所調査官）に対応できる講義をしたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 親族
親族の概念、範囲、効果
2. 婚姻
成立、効果、解消、婚約及び内縁
3. 親子
親子の種類、実子、養子
4. 親権
成立、効力、消滅
5. 後見及び保佐
機関、事務、終了
6. 相続
相続制度の基礎、開始、相続人、効力、承認放棄、遺留分、相続人の不存在
7. 遺言
方式、効力、執行

履修上の留意点

六法を常に持参すること。

成績評価の方法

年2回程度の小テストと年度末の定期試験による。

教科書

『新民法概説（3）親族・相続〔改訂版〕』（有斐閣双書）1,800円

参考書等

適宜紹介する。

社
会
学
会

科目名

担当者名

経済原論

鈴 木 伸 枝

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を解説します。また、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう問題演習を行います。

講義の内容・
授業スケジュール

- マクロ経済学
1. 国民経済計算
 2. 国民所得の決定
 3. 資産市場と貨幣
 4. IS-LM分析
 5. 消費と投資の理論
 6. 失業とインフレーション
 7. マクロ経済学論争
 8. 経済成長理論
 9. 国際金融・国際マクロ経済学

- ミクロ経済学
1. 消費者理論
 2. 生産者理論
 3. 部分均衡分析
 4. 一般均衡分析
 5. 不完全競争市場
 6. 市場の失敗
 7. ゲーム理論

マクロ（途中まで）→ミクロ→マクロ（続き）の順でやります。

成績評価の方法

定期試験およびレポート。

教科書

- W セミナー『公務員試験地方上級・国家2種バイブル5 経済原論1 ミクロ』早稲田経営出版
W セミナー『公務員試験地方上級・国家2種バイブル6 経済原論2 マクロ』早稲田経営出版

Ⅱ 専門教育科目

6 社会学科 社会福祉学専攻

社会福祉学
社
会

Ⅱ. 専門教育科目

(6) 社会学科 (社会福祉学専攻)

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
社会福祉原論	福祉1必	通年	4	伊藤秀一	615
法学(福祉)	福祉1必	通年	4	小林弘人	615
情報処理論	福祉1必	通年	4	軽部幸浩	616
社会福祉援助技術総論	14以降入学生/福祉1必 13以前入学生/福祉2必	通年	4	荒井浩道	617
社会福祉基礎演習	福祉2必	通年	4	小畑和	618
社会福祉基礎演習	福祉2必	通年	4	桐原宏行	618
社会福祉基礎演習	福祉2必	通年	4	小林弘人	619
社会福祉基礎演習	福祉2必	通年	4	佐藤光正	619
社会福祉基礎演習	福祉2必	通年	4	東條光雅	620
社会福祉専門演習Ⅰ	福祉3必	通年	4	荒井浩道	620
社会福祉専門演習Ⅰ	福祉3必	通年	4	伊藤秀一	621
社会福祉専門演習Ⅰ	福祉3必	通年	4	小畑和	621
社会福祉専門演習Ⅰ	福祉3必	通年	4	桐原宏行	621
社会福祉専門演習Ⅰ	福祉3必	通年	4	小林弘人	622
社会福祉専門演習Ⅰ	福祉3必	通年	4	佐藤光正	622
社会福祉専門演習Ⅰ	福祉3必	通年	4	東條光雅	622
社会福祉専門演習Ⅰ	福祉3必	通年	4	長尾譲治	623
社会福祉専門演習Ⅱ	福祉4必	通年	4	伊藤秀一	623
社会福祉専門演習Ⅱ	福祉4必	通年	4	小畑和	624
社会福祉専門演習Ⅱ	福祉4必	通年	4	佐藤光正	624
社会福祉専門演習Ⅱ	福祉4必	通年	4	東條光雅	624
社会福祉専門演習Ⅱ	福祉4必	通年	4	桐原宏行	625
社会福祉専門演習Ⅱ	福祉4必	通年	4	小林弘人	625
社会福祉専門演習Ⅱ	福祉4必	通年	4	長尾譲治	625
ソーシャルワーク・リサーチ論	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉1必	通年	4	石川久展	626
家庭福祉論	福祉1・2・3・4選	通年	4	武山梅乗	626
児童福祉論	福祉1・2・3・4選	通年	4	村田一昭	627
障害者福祉論	福祉1・2・3・4選	通年	4	桐原宏行	628
老人福祉論	福祉1・2・3・4選	通年	4	東條光雅	629
女性福祉論	福祉1・2・3・4選	通年	4	堀千鶴子	630
医療福祉論	福祉1・2・3・4選	通年	4	宮本博司	631
公的扶助論	福祉1・2・3・4選	通年	4	伊藤秀一	632
保健福祉論	福祉1・2・3・4選	通年	4	山本哲也	632
地域福祉論	福祉1・2・3・4選	通年	4	豊田宗裕	633
外書講読	福祉1・2・3・4選	通年	4	東條光雅	634
社会保障論	福祉1・2・3・4選	通年	4	長尾譲治	635
社会福祉援助技術各論ⅠA	福祉1・2・3・4選	半期	2	北島英治	636
社会福祉援助技術各論ⅠB	福祉1・2・3・4選	半期	2	北島英治	636
社会福祉援助技術各論ⅡA	福祉1・2・3・4選	半期	2	川廷宗之	637

社会福祉援助技術各論ⅡB	福祉1・2・3・4選	半期	2	川廷宗之	638
社会学(福祉)	福祉1・2・3・4選	通年	4	武山梅乗	639
心理学(福祉)	福祉1・2・3・4選	通年	4	高橋良博	639
医学一般	福祉1・2・3・4選	通年	4	小林臻	640
介護概論	福祉1・2・3・4選	半期	2	金美辰	640
介護技術	福祉1・2・3・4選	半期	2	金美辰	641
精神医学	福祉1・2・3・4選	通年	4	黄ミンシユク	690
精神保健学	福祉1・2・3・4選	通年	4	坂村雄	641
精神保健福祉論Ⅰ	福祉1・2・3・4選	通年	4	佐藤光正	642
精神保健福祉論Ⅱ	福祉1・2・3・4選	半期	2	佐藤光正	642
精神保健福祉援助技術各論	福祉1・2・3・4選	通年	4	上野容子	643
社会福祉発達史	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	通年	4	休講	
国際社会福祉論	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	通年	4	休講	
社会福祉計画論	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	通年	4	川廷宗之	644
リハビリテーション論	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	通年	4	向後礼子	645
家族療法	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	通年	4	治田哲之	645
社会福祉学特講Ⅰ〔児童〕	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	通年	4	山本哲也	646
社会福祉学特講Ⅱ〔老人〕	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	通年	4	橘内真里子	646
社会福祉学特講Ⅲ〔障害児・者〕	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	通年	4	向後礼子	647
社会福祉学特講Ⅳ〔相談・援護〕	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	通年	4	大須賀力	648
社会福祉学特講Ⅴ〔福祉事務所〕	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	通年	4	船水浩行	649
社会福祉学特講Ⅵ〔家族〕	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	通年	4	小畑和	650
家族社会学	福祉1・2・3・4選	通年	4	松信ひろみ	591
法社会学	福祉1・2・3・4選	通年	4	小林弘人	592
社会病理学	福祉1・2・3・4選	通年	4	山本功	595
心理検査法	福祉1・2・3・4選	通年	4	稲富正治	650
環境心理学	福祉1・2・3・4選	通年	4	大野隆造	686
社会政策	福祉1・2・3・4選	通年	4	竹下容騏	651
行政法	福祉1・2・3・4選	通年	4	鶏徳啓登	604
労働法	福祉1・2・3・4選	通年	4	藤本茂	606
民法	福祉1・2・3・4選	通年	4	大宮隆	607
経済原論	福祉1・2・3・4選	通年	4	鈴木伸枝	652
社会福祉援助技術現場実習Ⅰ	14以降入学生/福祉2選 13以前入学生/福祉2必	通年	2	荒井浩道	653
社会福祉調査実習	福祉2・3・4選	通年	2	東條光雅	654

社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	福祉3選	通年	4	伊藤秀一 小畑和 桐原宏行 長尾謙治 東條光雅	655
社会福祉援助技術演習Ⅰ	福祉3選	通年	2	荒井浩道	656
社会福祉援助技術演習Ⅰ	福祉3選	通年	2	北島英治	657
社会福祉援助技術演習Ⅰ	福祉3選	通年	2	讃岐真佐子	657
社会福祉援助技術演習Ⅰ	福祉3選	通年	2	長尾謙治	658
社会福祉援助技術演習Ⅰ	福祉3選	通年	2	村田一昭	659
社会福祉援助技術演習Ⅱ	福祉3選	通年	2	荒井浩道	660
社会福祉援助技術演習Ⅱ	福祉3選	通年	2	北島英治	660
社会福祉援助技術演習Ⅱ	福祉3選	通年	2	讃岐真佐子	661
社会福祉援助技術演習Ⅱ	福祉3選	通年	2	長尾謙治	661
社会福祉援助技術演習Ⅱ	福祉3選	通年	2	村田一昭	662
精神科リハビリテーション学	福祉3・4選	通年	4	城田晴夫	662
精神保健福祉援助演習	福祉3・4選	通年	4	佐藤光正	663
精神保健福祉援助実習	福祉3・4選	通年	6	佐藤光正	663

社(社会福祉)
会

科目名	担当者名
社会福祉原論	伊藤秀一

講義のねらい

社会福祉は、かつて、慈善事業、社会事業と呼ばれていたものが、今日では、社会を構成する「社会制度」のひとつになったものである。そして、その制度の内容は、今日的貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉の理念、概念、歴史、制度等広く概観することを目的とする。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、社会福祉の基礎知識を整理するとともに、制度的改革の続く社会福祉の今日的な動向と課題についても把握する。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- ①社会福祉の理念
- ②社会福祉の概念
- ③社会福祉の歴史 (イギリス・日本)
- ④社会福祉の制度
- ⑤社会福祉の分野
- ⑥社会福祉の方法

履修上の留意点

講義の内容は極めて広範囲にわたるので、指定されたテキスト以外の参考文献等を活用しながら各自学習を深めてほしい。

成績評価の方法

評価は、前期・年度末の定期試験と出席状況等を勘案して行う。

教科書

仲村優一著『社会福祉概論』(誠信書房)

参考書等

随時紹介する。

その他

ビデオ教材を活用したり、受講者による意見発表会等も行う。

科目名	担当者名
法学(福祉)	小林弘人

講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

講義の内容・授業スケジュール

[目標]

- 1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。
- 2 憲法、民法及び行政法の基礎を理解させる。

[内容]

- 1 社会生活と法
- 2 憲法
 - 1) 基本原理 2) 基本的人権 3) 地方自治
- 3 民法
 - 1) 総則 2) 物権 3) 契約 4) 不法行為 5) 親族 6) 相続
- 4 行政法
 - 1) 行政行為 2) 行政不服審査 3) 行政訴訟 4) 行政手続き 5) 地方行政組織

成績評価の方法

出席状況と年三回位のレポートの提出および定期試験を勘案し、総合評価する。

教科書

小林弘人著『高齢化社会における社会福祉の法』(創成社)

参考書等

授業時間中に指示する。

科目名

情報処理論

担当者名

かるべ ゆきひろ
軽部 幸浩

講義のねらい

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは知的作業を行う上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したものも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するものとしてのコンピュータの利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめ本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者が独力でコンピュータを活用して社会学のレポート等を作成する能力を養う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば購入することを薦める。

講義の内容・授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題と授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

- ・パソコンの基本操作とOSの基礎
- ・MS-Windowsの習得
- ・タッチタイプの完全習得 (Type Quick を利用して)
- ・日本語ワープロの習得 (MS-Word)
- ・スプレッド・シートの習得 (MS-Excel)
- ・プレゼンテーションの実際 (MS-PowerPoint を利用したプレゼンテーションの基礎)
- ・応用実習 (データの収集、解析、プレゼンテーションの総合実習)
- ・データベースの習得
- ・情報処理の基礎
- ・コンピュータ・ネットワークとインターネットの現状
- ・Internet 利用の実際と注意 (マナーやモラルについて)
- ・電子メールおよび WWW の利用

履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。学校行事等との衝突がなくても年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2~3回 (1回平均約2時間程度) の実習が必要となる (昨年度実績では週平均約5時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである)。

また、Type Quick, MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint, SPSS の習得は、単位取得のための必須条件である。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末におこなう筆記試験と併せて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進捗についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なお、この科目は1年次必修科目であるため単位の認定を受けられない者は、翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。したがって1年次に履修を完了することを希望する。

教科書

授業中に適宜紹介する。教材は、授業の中で全て配布する。配布された資料は、授業に際して常に持参してくること。

参考書等

年間約5枚程度の3.5インチ両面高密度フロッピディスクが必要となる。また、近年ではUSBフラッシュメモリも比較的安価で購入できるのでそれを利用する方法もある。

その他

年間20数回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回 (1回2時間程度) の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、4号館にある総合情報センタ1Fの自習室を利用する。独自に購入するのであれば、MS-Windows 対応のパソコンでMS-Windows と MS-Office が導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

科目名

社会福祉援助技術総論

担当者名

あら い ひろ みち
荒 井 浩 道

講義のねらい

この講義では社会福祉援助技術の意義、歴史、体系、理論・方法、価値・倫理、専門職の役割について学習します。

講義の内容・ 授業スケジュール

〈前期〉

- ・社会福祉士と社会福祉援助技術
- ・社会福祉における援助活動の意義
- ・社会福祉専門職と社会福祉援助活動
- ・社会福祉援助技術の理論と動向
- ・社会福祉援助技術の体系
- ・社会福祉援助技術の概念と意義
- ・社会福祉援助技術と直接・間接援助技術の関係
- ・社会福祉援助技術の展開過程
- ・社会福祉援助技術の共通課題

〈後期〉

- ・社会福祉援助技術の理論・方法
- ・個別援助技術
- ・集団援助技術
- ・地域援助技術
- ・社会福祉調査法
- ・社会福祉計画法
- ・社会福祉活動法
- ・社会福祉運営管理法
- ・社会福祉援助技術と関連援助技術
- ・社会福祉援助技術の価値・倫理

履修上の留意点

授業への主体的参加を期待します。

成績評価の方法

出席、レポート、試験等により総合的に評価します。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術論Ⅰ（社会福祉士養成講座⑧）』（中央法規出版）2,500円

参考書等

授業のなかで随時指示します。

その他

この授業は社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な指定科目のひとつです。

科目名	担当者名
社会福祉基礎演習	小畑和

講義のねらい	社会福祉専攻の学生が専門分野を学ぶ上で必要な基礎的事項について広く学習する。
講義の内容・授業スケジュール	演習の内容は『厚生労働白書』に準拠して行う。 内容は、「多様な高齢者、高齢者と家族、高齢者の経済の実像、高齢者と健康、高齢者と社会・地域、介護制度、社会福祉構造改革、少子化と子育て支援施策等…」である。
履修上の留意点	講義の形態は演習であり、討論学習を主とする。演習が明るく、活発に行われるために初回講義で一定の約束をする。
成績評価の方法	出席状況・日常の課題に対する取り組みの状況及びテスト、提出されたレポートの内容などを勘案して評価する。
教科書	『厚生労働白書』
その他	日本社会福祉実践理論学会編『社会福祉基本用語辞典』（川島書店）2,400円をいつも携帯することが望ましい。

科目名	担当者名
社会福祉基礎演習	桐原宏行

講義のねらい	この演習は、社会福祉学専攻の学生が研究を行っていく上で必要不可欠となる基礎的知識・技術の獲得及び問題意識の形成をはかることを目的とするものである。
講義の内容・授業スケジュール	[前期] 文献検索の方法はじめとした資料収集方法、資料の読み方、研究論文の構成、プレゼンテーションに関する基礎的事項、代表的研究方法（文献研究、調査研究、事例研究等）等への理解を深めていく。可能であれば、基礎レベルのデータ処理演習も行う。 [後期] 前期に学習した知識・技術を踏まえて、各自が研究課題を設定し、レジユメを作成する。個別のプレゼンテーションを行いつつ、議論していく。
履修上の留意点	本演習での取り組みは、後の専門演習、卒業論文へのステップに多大な影響を持つものである。積極的に取り組むことはもちろんのことであるが、学習事項を確実に成果に結びつけることが重要である。
成績評価の方法	出席状況、ショートレポートの提出、個人研究のプレゼンテーション等を総合的に勘案して評価する。
教科書	特に指定しない。
参考書等	演習の中で随時紹介する。

科目名**担当者名****社会福祉基礎演習**小林 弘人
こばやし ひろひと**講義のねらい**

社会福祉学専攻の2年生が、社会福祉学専門の学習をする前段階としての基礎学習が中心となる。

**講義の内容・
授業スケジュール**

クラスを小人数に分け、それぞれのグループに与えられたテーマについて、それぞれのグループが報告し、討論するという方式で授業を行う。

成績評価の方法

グループごとの報告内容と年度末に各自に課されたレポートおよびテストによって評価する。

教科書

授業開始の初日に指示する。

参考書等

授業開始の初日に指示する。

科目名**担当者名****社会福祉基礎演習**佐藤 光正
さとう こうせい**講義のねらい**

社会福祉学専攻の学生が、今後、専門分野を学ぶ上で必要な基礎知識について幅広く学習する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前期は、ビデオ等の教材を用いて、教義の福祉の枠にとらわれず幅広く心を動かされるものについて「感じたこと」や「気づき」を深め言語化する演習を行う。後期は厚生労働白書等を用いて、内容をまとめたり「事実」と「意見」を区別し、プレゼンテーションする基礎を身につける。

履修上の留意点

授業への主体的な参加が必須である。

成績評価の方法

平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）を中心に総合的に評価する。

教科書

必要に応じて指示する。

参考書等

必要に応じて随時紹介する。

科目名

担当者名

社会福祉基礎演習

とうじょうみつまさ
東 條 光 雅

講義のねらい	本演習は、専門演習へ入る前の導入的位置付けであり、資料収集の仕方、資料のまとめ方、分析の仕方、発表の仕方等を実際に体験しながら体得してもらう。
講義の内容・授業スケジュール	履修学生の研究関心によりクラスを小グループ（3～4名）に分け、グループ研究課題を設定してもらう。前期終了時点と後期終了時点の2回、グループ毎の研究報告をしてもらう。演習であり、グループ活動でもあるので、出席は非常に重視する。 こうした作業の過程で、研究課題の設定の仕方、文献検索の仕方、研究のまとめ方、各種機器の使い方、発表の仕方等の指導を行う。
履修上の留意点	出席は勿論、演習であるから自主的・主体的・積極的な参加を重視する。 研究報告会では、エクセルやパワーポイントを使うことになるので、1年次の「情報処理論」の授業でしっかりと会得しておくこと。
成績評価の方法	評価は、クラスワークへの出席率、討議への参加度・貢献度、年2回の研究報告会の発表内容等により、総合的に行なう。
教科書	特には指定しない。
参考書等	適宜紹介する。

科目名

担当者名

社会福祉専門演習 I

あらいひろみち
荒 井 浩 道

講義のねらい	この授業では社会福祉研究を実施していくうえで求められる、研究テーマの選定、研究計画の立案、文献研究、調査研究、実践研究、論文執筆等の一連の研究方法の習得を目指し、4年次の卒業論文に繋げていきます。
講義の内容・授業スケジュール	この授業では、各自の研究テーマの選定から、年度末のゼミ論文執筆までを総合的に指導します。各自の研究計画に沿って、年間数回のプレゼンテーションを行い、それに基づいたディスカッションを通して問題関心を深めていきます。年度末のゼミ論文執筆を目指し、4年次の卒業論文に繋げていきます。
履修上の留意点	授業への主体的参加を期待します。
成績評価の方法	出席、プレゼンテーション、ディスカッション、ゼミ論文等により総合的に評価します。
教科書	特に指定しません。
参考書等	授業のなかで随時指示します。
その他	担当教員の研究テーマは「認知症高齢者と介護家族への支援」です。主に以下のことに関心があります。 社会福祉援助技術／ソーシャルワーク理論・方法論、認知症高齢者、介護家族、ポストモダン／脱近代、構成主義（構築主義）、ナラティブ、語り（物語）、地域包括支援センター、社会福祉士、総合的相談・支援、専門職／専門性、利用者主体／専門職支配、セルフヘルプグループ、呆け老人をかかえる家族の会、質的調査法、エピソードインタビュー（ナラティブインタビュー）、フォーカスグループインタビュー、グラウンデッドセオリーアプローチ

社会福祉学

科目名	担当者名
社会福祉専門演習 I	伊藤 秀一

講義のねらい

卒業論文で扱いたいテーマを選定する際の留意事項を学習するとともに、報告・討論をとおして各自の問題意識の深化を図ることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

狭い意味の社会保障の分野だけでなく、社会福祉を広く解して、その中から、各自のテーマを自己の意志で選択し、それぞれの考究を進めることとしたい。当初は、討議のための共通基盤をつくっていくために適当なテキスト・文献を使用し、これを共同で解読する。その後、3年次において、具体的な卒論テーマを設定し、卒論作成への準備に入っていく。

履修上の留意点

ゼミを「出る杭を育てる」という方針で考えたいので、学生には主体的・積極的な学習への取り組みが要求される。

成績評価の方法

出席状況をはじめ、報告、討論への参加等、クラシックのあり方をもとに総合的に評価する。

科目名	担当者名
社会福祉専門演習 I	小畑 和

講義のねらい

少子・高齢化の構造を持つ社会は本源的に永続的な効果を持たなくなり、経済の停滞により社会は閉塞化し、社会保障制度を維持することが困難になる。

少子化問題は、他面では男女共同参画社会の構築の問題でもあり、女性の生き方の問題でもある。演習では「少子化社会の社会保障政策」を基調にしながら、このような問題も取り上げていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

『厚生労働白書』を参考にしながら、少子高齢社会に対する知識を深め、各自の選んだ研究テーマにそった報告と討論を通して問題意識を深めていく。年度末には小論文の提出を義務付ける。

履修上の留意点

出席状況及び積極的学習態度、レポートなどを総合的に勘案して評価する。

成績評価の方法

出席状況や積極的学習態度を勘案して評価する。

科目名	担当者名
社会福祉専門演習 I	桐原 宏行

講義のねらい

卒業論文を作成するために必要とされる基礎的事項（文献研究、調査研究、事例研究、実験研究等の研究方法）の習得を目指す。演習では各自が研究課題を決定し、年間研究スケジュールを設定して、それに沿って成果を数回に分けて発表し、議論を通して問題意識を深めていく。

講義の内容・授業スケジュール

演習では、障害者及び特別なニーズのある子どもの福祉（子どもの発達保障の問題も含む）に関する諸問題を中心に取り扱っていく。具体的には「障害児・者の福祉サービス」「所得保障」「QOL」「家族支援」「地域支援」「バリアフリー」「福祉教育」などの問題の中から、各自が研究課題を選択、決定し、研究を進めていくこととなる。

成績評価の方法

出席状況、レポートの作成と年間数回のプレゼンテーションを総合して評価する。

参考書等

『社会福祉研究の課題と方法』（田研出版）2,200円

科目名**担当者名**

社会福祉専門演習 I

小林弘人

講義のねらい

この演習は、社会福祉学専攻者の3年生を対象とする。この演習の年間予定は、前半において両専攻に関連する文献を講読する。後半は各自の興味(どんな事柄でもよい)を卒業論文テーマにリンクさせ、合宿等によって、卒論テーマを確定する作業を予定している。

成績評価の方法

出席を重要視し、平常点で処理する。

科目名**担当者名**

社会福祉専門演習 I

佐藤光正

講義のねらい

この演習では、学生それぞれの“関心テーマ”が“研究テーマ”へと進化し、いくつかのプロセスを経て「卒業論文」としてまとめられる基礎を学ぶ。出発点である“関心テーマ”は社会で起こっている様々な事柄に対して幅広く、また素朴に“どうしてだろう”という問題意識(ズレを感じる心)から出発してほしい。特に精神保健領域(精神に障害のある人をはじめ、広く人の精神機能や心の問題など)の福祉、障害種別や年齢等を越え地域生活を支える相談支援体制(ケアマネジメント)などに関心のある学生の履修が望ましい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、各自の関心領域からテーマを絞り込むための演習および論文作成の基礎を演習する。後期は、各自のテーマを深めるために必要な演習を行う。ゼミ合宿(9月と3月を予定)では各自の成果のプレゼンテーションを行う。

履修上の留意点

グループでのディスカッションを中心にゼミを展開するため、主体的な参加が必須である。

成績評価の方法

平常点(出席状況、授業態度、課題提出状況)を中心に総合的に評価する。

参考書等

特に指定しない。必要に応じて随時紹介する。

科目名**担当者名**

社会福祉専門演習 I

東條光雅

講義のねらい

本演習では、福祉関連雑誌、新聞記事、インターネット等を活用しながら、高齢者保健福祉の制度・サービス・処遇に関する基礎的な知識の修得を目指す一方、研究報告会や集団討議等を通して、自己表現能力を磨いてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

高齢者福祉ならびに処遇方法論を主テーマとするゼミではあるが、4月にゼミ履修学生の意向を確認した上で、1年間の進め方等を決定する。基本的には、演習であるので、学生の主体的な研究活動が中心となる。したがって、主体的・積極的な姿勢が求められる。夏と春にそれぞれゼミ合宿を行い、各自の研究報告を行ってもらう。

なお、12月10日までに、各自の研究テーマで400字×30枚のゼミ論文を提出してもらう。

履修上の留意点

出席ならびに積極的なコミットメントを重視する。なお、年2回(9月と3月頃)の合宿研修を実施している。

成績評価の方法

評価は、クラスワークやゼミ合宿への出席率、討議への参加度・貢献度、ゼミ論文の内容等により、総合的に行なう。

教科書

特には指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

科目名**担当者名****社会福祉専門演習Ⅰ**なが お じょう じ
長 尾 譲 治

講義のねらい

この演習では、保健や福祉に関する身近で興味深いテーマを題材として、ゼミを展開してゆく。いのちと生活に関連した社会問題に関心を深めるとともに、これらの問題を通じて客観的な思考方法とコミュニケーション能力、またわかりやすい文章の書き方を身につけることを目指している。具体的には、ディベートやディスカッションを通していろいろなテーマを一緒に考えながら、ゼミ論・卒論に向けての準備を行っていくことになる。ゼミの運営は、学生の意見・希望を随時聞きながら、皆の合意の上で進めていく。このような「グループワーク」としての運営の性格上、授業への出席と主体的参加が何より求められる。従って、ゼミ選択時及び成績評価等には出席点が重視されることに留意して頂きたい。

**講義の内容・
授業スケジュール**

(今年度の例)

- 1 保健・福祉に関連するテーマのディベート授業（出生前診断、代理母、脳死、安楽死、死刑、遺伝子組換え、少年法改正、介護保険、身体拘束、措置制度 等）
- 2 グループ発表・ディスカッション（夫婦別姓、癌告知、喫煙、ドナーカード、温室効果ガスに関する京都議定書、精神障害者と犯罪・措置入院 等）
- 3 週間福祉ニュース（福祉時事問題に関するグループ発表とディスカッション）
- 4 ゼミ論に向けての個別指導

履修上の留意点

本ゼミは、グループ作業が中心となる。上述のように、出席と各自の主体的参加がゼミの成否を左右する。楽しく充実したゼミにするために、協力的に行動してほしい。

成績評価の方法

平常点（出席、授業態度、課題提出状況）により評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しないが、授業中に随時紹介する。

科目名**担当者名****社会福祉専門演習Ⅱ**い どう しゅう いち
伊 藤 秀 一

講義のねらい

3年次の専門演習Ⅰの学習成果を踏まえ、各自のテーマにもとづき、報告と討論をとおして卒業論文作成の指導を行う。

**講義の内容・
授業スケジュール**

各自のテーマにそった報告をもとに、ゼミメンバー間での討議をとおして考察を深めていく。なお、全員参加を前提とする年2回のゼミ合宿においても卒業論文作成のための集団討議および個別指導を行う。

成績評価の方法

出席状況をはじめ、報告、討論への参加等、クラスワークのあり方とともに、卒業論文の内容を含めて総合的に評価する。

社 会 福 祉 学 会

科目名	担当者名
社会福祉専門演習Ⅱ	お ぼた かず 小 畑 和

講義のねらい

専門演習Ⅰの継続授業として、少子・高齢の構造を持つ社会について学ぶ。演習では「少子社会の社会保障政策」を基調にしながら、各自の選んだ研究テーマにそった報告と討論を通して問題意識を深め、卒業論文の作成に結びつけていく。

講義の内容・授業スケジュール

少子問題は、他面では男女共同参画社会の構築の問題でもあり、女性の生き方の問題でもある。演習では「少子社会の社会保障政策」を基調にしながら、このような問題も取り上げていきたい。
『厚生労働白書』を参考にしながら、少子高齢社会に対する知識を深め、各自の選んだ研究テーマにそった報告と対論を通して問題意識を深めていく。

履修上の留意点

出席率 8 割以上を演習参加の必要条件とする。

成績評価の方法

出席状況や積極的学習態度を勘案して評価する。

科目名	担当者名
社会福祉専門演習Ⅱ	さ とう こう せい 佐 藤 光 正

講義のねらい

必修科目である卒業論文の指導が中心となる。社会福祉専門演習Ⅰで土台を固めた各自のテーマが、論文としてより完成するよう必要な指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期・後期ともに各自の進行状況に合わせた個別指導を中心に行う。

履修上の留意点

授業への主体的な参加が必須である。

成績評価の方法

平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）を中心に総合的に評価する。

参考書等

必要に応じて随時紹介する。

科目名	担当者名
社会福祉専門演習Ⅱ	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅

講義のねらい

本演習は、3年次の社会福祉専門演習Ⅰの持ち上がりであり、「講義のねらい」に関しては、専門演習Ⅰの内容の延長上にある。

講義の内容・授業スケジュール

必修科目である卒業論文の個別指導が主な内容となるが、学生の要望があれば卒業論文の指導とは別に、テーマを設けてクラスワークを行なうこともある。夏と春にそれぞれゼミ合宿を行ない、各自の研究報告を行なってもらおう。

履修上の留意点

原則的に、出席状況と積極性を重視する。

成績評価の方法

評価は、クラスワークやゼミ合宿への出席率、討議への参加度・貢献度等により、総合的に
行なう。

教科書

特には指定しない。

参考書等

必要に応じて紹介する。

社
会
（社会福祉学）

科目名	担当者名
社会福祉専門演習Ⅱ	桐原宏行

講義のねらい

この演習では、前年度の「社会福祉専門演習Ⅰ」での各自の成果を基礎として、卒業論文の作成・提出に向け必要となる事項に関して学習をすすめるものである。
具体的には、それぞれの設定している課題に沿って、文献・資料分析、調査や事例のデータ分析を行い、その結果に関して議論を重ねつつ展開していく。

成績評価の方法

出席状況、研究進行過程での数回のプレゼンテーションを総合して評価する。

参考書等

研究の進行に応じて、随時指示する。

科目名	担当者名
社会福祉専門演習Ⅱ	小林弘人

講義のねらい

4年次生は、各自の論題についての指導をする。

成績評価の方法

出席を重要視し、平常点で処理する。

科目名	担当者名
社会福祉専門演習Ⅱ	長尾譲治

講義のねらい

この演習は、専門演習Ⅰに引き続いて4年次に開講される。3年次終了時に各自が決定した卒業論文のテーマにそって、個別指導を行うとともに、そのテーマに関するディスカッション等のグループ作業を行う。
4年次のゼミは、3年間の学習の総仕上げである。文章力・自己表現力（発言力）をしっかりと身につけて、社会に通用する自己を形成することをめざしている。自己の成長の場として、授業を大いに活用してほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

（今年度の例）

- 1 卒業論文指導（個別面談授業）
- 2 各自のテーマに関するグループ・ディスカッションの設定とその実施
- 3 就職その他、進路に関する個別相談

履修上の留意点

本ゼミは、3年次のゼミと同じメンバーで開講される。仲間関係を有効に活かし、積極的・協力的に履修してほしい。

成績評価の方法

平常点（出席、授業態度、課題提出状況）により評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しないが、必要なものは授業中に紹介する。

科目名	担当者名
ソーシャルワーク・リサーチ論	石川久展

講義のねらい

本講義は、社会福祉に従事する専門家に必要と思われる社会調査あるいは社会福祉調査の基礎的な知識を養うことを目的とする。
つまり、社会福祉調査の入門編となる講義である。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、社会福祉分野においてなぜ調査が必要なのか、その目的や意義といった理念的なところからスタートし、調査の目的や方法、プロセスなど、基本的な調査の枠組みを学ぶ。次に、仮説や理論モデルの設定の仕方、概念化や操作化あるいは尺度や変数について学ぶ。
前期は、調査の基礎的な内容が中心となる。
後期は、前期の基礎的な知識をベースにして、尺度の妥当性や信頼性、質問紙法、観察法、実験計画法など、調査の具体的な内容を学ぶことになる。

履修上の留意点

基本的には、講義形式が中心である。ただし、レポートの際には、グループに分かれての取り組みを予定しているため、一部、ディスカッション形式・発表形式を取り入れることになる。講義形式であっても、演習・ディスカッション形式であっても、学生の積極的な姿勢が求められる。

成績評価の方法

評価方法については、①出席、②中間レポートとグループ発表、③定期試験、の3つによって行う。出席は全体の20%を占めることになるので、出席するよう注意されたい。なお、出席については、授業の3分の1以上休むと定期試験を受けることができなくなることを注意しておきたい。その他の祭典については、中間レポートは全体の30%、定期試験は50%の配分となる。これらの詳細については、授業の中で逐次説明していく。

教科書

特に指定無し。

参考書等

- ①古谷野巨・長田久雄『実証研究の手引き』（ワールドプランニング）1992年
- ②坂田周一『社会福祉リサーチ』（有斐閣アルマ）2003年

科目名	担当者名
家庭福祉論	武山梅乗

講義のねらい

家族の諸問題を女性、子ども、高齢者という観点から概観した上で、〈家族福祉〉の限界を指摘し、家族という枠組みを超えて地域、行政、NPO、企業等を巻き込みながら展開される〈家庭福祉〉の可能性について模索することを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) I. 家庭福祉の視点：(1) 家庭福祉の視点、(2) 世帯構造と核家族化、(3・4) 家族制度とは、(5) 核家族の機能と構造、(6) 家族周期とライフコース、(7) イエ制度と〈近代家族〉
- II. 女性と家庭福祉：(8・9) フェミニズムからみた家族—母性、専業主婦、中絶、(10) 女性労働と育児、(11) 母子家庭の諸問題、(12・13) 夫婦別姓と婚姻の意義
- III. 子どもと家庭福祉：(14) 児童福祉の体系にみる〈子ども〉観、(15) 消費としての子育てと〈地域〉における子育て、(16) 児童虐待
- IV. 高齢者と家庭福祉：(17) ライフサイクルの変化にみる高齢者の諸問題、(18・19) 家族と高齢者介護、(20) 高齢者にとっての居住福祉
- V. 国家・地域と家庭福祉：(21) 日本における家族政策と福祉国家論、(22) 在宅福祉と〈地域〉、(23) 家庭—地域福祉という枠組み
- VI. 民間社会福祉と家庭福祉：(24) 家庭福祉の市場性、(25・26) 非営利セクターと家庭福祉—配食サービスを事例として

成績評価の方法

出席状況、講義期間中に課すレポートの内容、定期試験の結果から総合的に評価します。

教科書

教科書は特に指定しません。随時配布するプリントに従って講義を進めます。

参考書等

参考書は講義期間中に随時指示します。

科目名

児童福祉論

担当者名むら た かず あき
村 田 一 昭**講義のねらい**

1989年に国連子どもの権利条約が採択されて以降、「子どもの最善の利益」の追求を基本とした子どもの権利擁護サービスが重視され、伝統的な児童福祉から新たな児童福祉へと制度や実践の変革が進められてきています。本講座では、そういった動向を踏まえつつ、子どもと家庭のウェルビーイング（well-being）をめざす新たな児童福祉である子ども家庭福祉の基本的枠組およびソーシャルワーク実践についての理解を深めることを目的としています。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前期：子ども家庭福祉の基本的枠組み

①子ども家庭福祉を取り巻く状況、②子ども家庭福祉の理念、③子ども家庭福祉の法体系と実施体制、④子ども家庭福祉の歩み、⑤子ども家庭福祉の最近の動向

後期：子ども家庭福祉の各領域とソーシャルワーク実践

①子ども家庭福祉施策の現状と課題、②子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践の実際

履修上の留意点

可能な限り、受講生とのコミュニケーションを図りながら授業を進めたいので、質問や意見など積極的な発言を求めます。

成績評価の方法

以下の内容で半期ごとに評価し、その平均を年間評価（最終評価）とします。

前期：出席（40点）、テスト（40点）、映画鑑賞感想文（20点）

後期：出席（40点）、レポート（40点）、読書感想文（20点）

教科書

高橋重宏・山縣文治・才村 純編「子ども家庭福祉とソーシャルワーク（第2版）」（社会福祉基礎シリーズ⑥児童福祉論）（有斐閣）2,000円

※授業内容により、随時プリントも配布します。

参考書等

随時、紹介します。

その他

受講人数に応じて、講義形式、討議形式のいずれかを選択します。

科目名**担当者名****障害者福祉論**桐原宏行
きり ほん ひろ ゆき**講義のねらい**

障害者福祉は、障害者が一人の人間として生活していく過程のなかで、その固有の問題をとらえ、それを権利の視点に立って把握していくことが必要になる。

この授業では、障害者援助を担うための専門職に必要な基礎的事項の学習が中心となる。具体的には、現代社会における障害の概念、障害者福祉の理念などの基礎となる考え方についての理解の促進、現行の障害者施策や障害者の相談援助活動の原則等についての知識の獲得などを旨とする。

講義の内容・授業スケジュール

<前期内容>

- ・障害特性の理解(視覚障害、聴覚言語障害、運動障害、内部障害、知的障害・精神障害)(第1回～第8回)
- ・障害者福祉の理念(ノーマライゼーション、リハビリテーション等)(第9回～第11回)
- ・障害の概念(障害の構造的理解)(第12回)
- ・障害者の実態(第13回)
- ・障害者福祉の歴史(第14回)

<後期内容>

- ・障害者福祉の施策(障害者福祉に関連する法律の理解、障害者福祉における行政の役割、障害者プラン等)(第1回～第6回)
- ・障害者福祉サービス(身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児の各領域別福祉サービスの理解)(第7回～第10回)
- ・障害者福祉の分野別課題(保健・医療、教育、雇用、権利擁護、所得保障、バリアフリー等)(第10回～第14回)

成績評価の方法

前期終了時点での中間評価試験(あるいはレポートの提出)及び年度末試験を総合して評価する。

教科書

- ・新版 社会福祉士養成講座③『障害者福祉論』(中央法規)2,625円
- ・授業内容により補足資料を配布する。

参考書等

授業のなかで随時指示する。

講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、高齢年金支給開始年齢の引上げ、介護保険制度の導入等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、今世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その時に高齢者となるのは、現在「青・壮年期」にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人保健福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- ・人口高齢化の意味
 - ・高齢者問題の背景
社会変動、家族変動
 - ・高齢者の生活問題
 - ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
 - ・高齢者の保健福祉ニーズ
ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期
- ・老人保健福祉法制と関連施策
近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
 - ・老人保健福祉の供給システムと財源
供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
 - ・在宅サービスの制度と処遇
在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
 - ・施設サービスの制度と処遇
入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
 - ・地域及び住環境の整備と福祉機器

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、適宜受講生に対して講義内容に関する質問をしたり、意見発表をしてもらうことがある。近年、富に私語や居眠りをする学生が目立つので、授業態度に問題がある場合には退室してもらう。履修学生は、気を引き締めて授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

原則的には、前期試験と年度末定期試験の平均点をもって評価する。また、出席点は特に考慮しない。

教科書

教科書は初回講義時に指示する。

参考書等

出版社は問わないが、最新の「社会福祉小六法」は購入しておくこと。また、その他の参考書等については必要に応じてその都度紹介する。

その他

ほぼ毎回プリント資料を配布する。

科目名**担当者名**

女性福祉論

ほり
堀 ちづこ
千鶴子**講義のねらい**

この講義では、ジェンダーの視点から女性福祉論を展開する。ジェンダーとは社会的・文化的に規定された性別であり、ジェンダーのアンバランスが歴史的にも女性の生活問題、生活困難の背景となっており、ジェンダーの視点に立つことは問題の理解に大きく寄与するものである。

講義では、特に婦人保護事業を中心とする。婦人保護事業を歴史的に把握すると共に、対象者の変化を理解し、現代的課題を明らかにすることから、女性福祉を考える。

**講義の内容・
授業スケジュール**

1. ジェンダーの視点とは
 - ・ジェンダー、女性学、フェミニズム等の用語の登場の背景を理解し、社会福祉に導入する意味について理解する。
2. 女性福祉の定義・対象理解
3. 「女性に対する暴力」とは
 - ・定義、内容・取り組みの動向
 - ・ドメスティック・バイオレンスについての理解
4. 婦人保護事業の歴史
5. 婦人保護事業の動向

成績評価の方法

試験方法＝レポート（50%）
出席確認を毎回行う（出席50%）

教科書

林千代編著『女性福祉とは何か』（ミネルヴァ書房）2004年

参考書等

講義内に紹介する。

科目名

医療福祉論

担当者名

みやもとひろし
宮本博司

講義のねらい

医療の現場での福祉の担い手は「医療ソーシャルワーカー（MSW）」である。医療福祉論では、医療ソーシャルワークの歴史、理論、技術について学び、医療ソーシャルワークのあり方について議論を深め、医療ソーシャルワーカーがどのような倫理観・価値観に基づいて、ソーシャルワーク実践を重ねているか、考察することを目的としている。また、現場を目指す学生にとって、医療ソーシャルワークの現場をリアルに議論できるような授業を目指す。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期) 医療ソーシャルワークの歴史と課題

- 1 医療ソーシャルワークとは
- 2 医療ソーシャルワークの歴史
- 3 ソーシャルワーク理論
- 4 医療ソーシャルワークと医療経済について
- 5 医療ソーシャルワークの課題について

後期) 医療ソーシャルワークの技術と実際

- 1 急性期における医療ソーシャルワーク事例
- 2 亜急性期における医療ソーシャルワーク事例
- 3 慢性期における医療ソーシャルワーク事例
- 4 終末期における医療ソーシャルワーク事例
- 5 病院・施設の医療ソーシャルワーク事例
- 6 在宅ケアにおける医療ソーシャルワーク事例
- 7 ケアマネジメントと医療ソーシャルワーク
- 8 医療サービスと医療ソーシャルワークの課題

履修上の留意点

授業への主体的な参加を望む

成績評価の方法

定期試験、課題レポート、授業参加貢献度により採点

教科書

- (社) 日本社会福祉士会 (社) 日本社会医療事業協会編集『保健医療ソーシャルワーク1』
中央法規出版社2,940円
(社) 日本社会福祉士会 (社) 日本社会医療事業協会編集『保健医療ソーシャルワーク2』
中央法規出版社2,940円
(社) 日本社会福祉士会 (社) 日本社会医療事業協会編集『保健医療ソーシャルワーク3』
中央法規出版社2,940円

参考書等

授業の中で紹介

科目名	担当者名
公的扶助論	伊藤秀一

講義のねらい	本講の中心的テーマは、わが国の社会保障制度体系における生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。このような問題意識のもとに、慈恵的救済から権利的保障へと歩んできた公的扶助の歴史を始め、現行法の目的、原理、原則、現行制度の組織機構、行政運営等を、総合的に検討する。また、近年、注目されている権利擁護、ソーシャル・インクルージョン等にも言及する。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) ①開講にあたって ②公的扶助とは何か(社会保障制度体系における位置を中心として) ③公的扶助の歴史的発展過程(イギリス・日本) ④公的扶助の法制度(目的・原理・原則・扶助の種類・動向・最低生活保障水準) ⑤福祉事務所の制度運営と相談援助 ⑥低所得対策の概要 ⑦イギリスにおける福祉権活動・運動の動向
履修上の留意点	指定されたテキスト以外の参考文献や新聞記事等を活用しながら学習を深め、『学生参加』型の授業を心掛けたいと考えているので、貧困問題に対する関心をもってほしい。
成績評価の方法	評価は、レポート課題及び年度末の定期試験と出席状況等を勘案して行う。
教科書	福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座6 公的扶助論』(中央法規)
参考書等	随時紹介する。
その他	ビデオ教材を活用したり、受講者による意見発表会等も行う。

科目名	担当者名
保健福祉論	山本哲也

講義のねらい	本講義では、地域保健、地域福祉の実践に欠かすことのできない、保健・福祉の連携システムの概要と、同システムにおける保健・福祉従事者の役割を学び、そこでの福祉従事者の活動内容について理解することをねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	本講義では、保健・福祉の連携システムの実際について、事例をとおして学習していく。具体的には、まず、保健・福祉が連携して関わる必要のある事例を呈示する。次に、その事例の中に登場する用語等について概説する。また、事例に登場する対象者を理解する事、事例に関わる制度について知る事を目的に講義を行う。最後に、その事例対象者を支える保健・福祉の連携システムについて概説する。
履修上の留意点	講義のみでなく、各自が考え、学び、理解できるよう、各自の意見を問う内容を含む授業を行うので、そのつもりで受講すること。
成績評価の方法	出席状況、授業中のミニレポート、課題レポート及び試験の結果により総合的に評価する。
教科書	必要に応じ、授業時に指定する。
参考書等	必要に応じ、その都度指示する。
その他	・30分以上の遅刻は入室を認めないので、そのつもりで受講すること。 ・4年次生で、就職活動により欠席する場合も、特別な配慮はしないので、そのつもりで受講すること。

講義のねらい

地域福祉論で学習すべきポイントは、大きく分けて以下の3点である。本講義ではこれらについて、われわれが生活している地域そのものの持つ特色を明らかにしたうえで、福祉問題の出現過程について学び、その解決のための手段や考え方を理解する。

- (1) 総論としての地域福祉の枠組み（地域福祉とはどのようなものか。何故必要なのか）
 - ①地域福祉論の概念、②地域福祉の歴史的展開、③コミュニティの捉え方・考え方
 - ④現在の地域福祉施策の特徴
- (2) 各論としての地域福祉の各種制度や援助方法（地域福祉施策の内容と提供方法）
 - ①地域福祉サービスの種類とその提供方法、②サービス提供組織やその仕組み
 - ③福祉ニーズの把握や組織化活動の展開方法
- (3) 現在および将来的な地域福祉に関連した施策の動向と展望
 - ①地域福祉に関連した、経済的・社会的な動向と展望、②計画づくりと福祉制度
 - ③これからの方向性

講座には、様々な年次の学生がいることを考慮し、なるべく具体的な、かつ実践に役立つ内容を盛り込んで、講義を進めたいが、内容や使用する用語が難解な場合もあるので、各自学習をして理解を深めてほしい。併せて、本科目は社会福祉士試験の指定科目ということもあり、試験の内容も考慮して講義を行いたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義スケジュール（番号は授業回数ではない）

- ：講義テーマ：講義内容
- 1：地域福祉と生活問題：地域福祉の考え方と現代の生活問題
 - 2：地域福祉とコミュニティ：地域社会の変遷とコミュニティの形成◆住民の社会参加の状況とコミュニティ 他
 - 3：地域福祉理念の変遷：地域福祉理念の歴史的変遷
 - 4：地域福祉の概念とその範囲：地域福祉の代表的な考え方とその類型
 - 5：地域福祉のサービス体系：地域福祉サービス体系の考え方とその基本理念◆地域福祉活動の体系とその内容 他
 - 11：地域福祉の推進方法：地域援助技術の必要性和社会福祉計画 他
 - 16：福祉教育の推進：福祉教育の考え方とその推進
 - 17：地域福祉の財源：地域福祉の財源と共同募金の理解 等
 - 21：地域福祉の推進組織：社会福祉協議会、行政、各種団体・機関◆非営利団体の活動とNPO法 他
 - 24：地域福祉のマンパワー：ボランティア活動とその動き◆地域における地域福祉のマンパワー（民生委員を中心に）

履修上の留意点

地域福祉論は、他の福祉系科目の横断科目として理解する必要がある。できる限り2年次以降の履修が望ましい。

成績評価の方法

出席回数、試験期間内の定期試験および授業時間中に課すレポートの提出（随時）の双方の状況により、判定する。

教科書

社会福祉士養成講座7 地域福祉論（中央法規出版）

参考書等

授業時間内に指示する。

その他

講義形式で行う。出席確認およびレポートも実施する。

科目名

担当者名

外書講読

とう じょう みつ まさ
東 條 光 雅

講義のねらい

英語の文献に慣れてもらうと共に、訳すのではなく何が書かれているのかを理解してもらえよう、授業を進めてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

社会福祉に関する英語の外国文献あるいは学術論文を講読してゆく予定である。訳すということは目的ではなく手段であり、そこに書かれている内容を吟味してゆくことが目的である。進め方としては、授業当初に履修学生に担当箇所割り当てを行い、以降順次報告してもらうことになる。履修学生数によって、進度を調整する。

履修上の留意点

基本的な英文読解能力は必要であろうが、語学としての英語の授業ではないので、臆することなく積極的に授業に臨んでももらいたい。なお、出来れば英和中辞典を所持することが望ましい。

成績評価の方法

毎回の報告内容やそれに対する討議内容などを総合して行う。また、前期と後期の終わりに、英文和訳の小テストを考えている。

教科書

履修学生が決定した時点で、学生の意向も考慮しながら決定する。

その他

英語に強い関心があったり、大学院への進学を考えているような学生の履修を望む。

講義のねらい

本科目は、社会福祉士指定科目の1つであり、ソーシャルワーカーを目指す諸君にとって必要で十分な社会保障制度・理論に関する知識を習得すること、及びソーシャルワークの現場においてその知識を生かす応用能力を身につけることを第一の目的としている。

社会保障制度は、一見すると複雑・多岐にわたっており、わかりづらいつと感じる学生が多いのも事実である。しかし、社会保障は人間の基本的なニーズに対応したものであって、原理・原則は単純明快である。社会保障論の学習にあたっては、まずその原理・原則を理解した上で、制度上の例外を身につける方法が有効である。

本講義では、身近な実例を多用し、社会保障がいかに私たち国民にとってかけがえのないものであるかを実感してもらうと同時に、具体例を通じて実践的な社会保障の知識を身につけていく。また、社会保障の各制度の現状はどうなっているのか、これからどうしていくべきなのかについて、国民の福祉の維持・推進の役割を担う福祉専門職の立場から、考察していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1：社会保障とは（社会保障の必要性、日本の社会保障制度の体系）
- 2：各制度の詳細な解説（事例、Q&A、モデルケース試算等を多用）
 - (1) 年金保険制度
 - (2) 医療保険制度
 - (3) 労働保険制度（雇用保険、労災保険）
 - (4) 介護保険制度
 - (5) 民間の保険（生命保険、損害保険、その他の保険）
- 3：こんなときどうする？－ライフサイクルと社会保障－
 - (1) 病気・けがをしたら
 - (2) 妊娠・出産・育児とその支援
 - (3) 身体障害を負ったら
 - (4) 知的発達障害への対応
 - (5) 精神不調に陥ったら
 - (6) 寝たきり・認知症などで介護が必要になったら
 - (7) ターミナル・ケアを受けるには
 - (8) 生活に困窮したら
- 4：各国の社会保障制度
- 5：社会保障制度の現状と課題
- 6：福祉士国家試験問題（社会保障論）を解いてみよう

成績評価の方法

学年末試験の成績に、出席状況等を加味して評価する。

教科書

特に指定しないが、必要に応じて参考書等を紹介する（授業は毎回の詳説プリントを通じて行う）。

参考書等

福祉士養成講座編集委員会編『新版社会福祉士養成講座5 社会保障論』（中央法規）
長尾譲治『ライフサイクルと保健福祉』（春風社）
週刊社会保障編集部編『社会保障便利事典』（法研）
その他、随時紹介する。

科目名

担当者名

社会福祉援助技術各論 I A

きたしまえいじ
北島英治

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助に焦点が置かれる。ソーシャルワークの視点から、人を理解するとは、また、人へのかかわり方はどのようなものであるか、理解する。

講義の内容・ 授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「技術論 IA」に関して講義を通して学ぶ。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教科書

野村豊子・北島英治・田中尚・福島寛子著『ソーシャルワーク・入門』（有斐閣）
北島英治・副田あけみ・高橋重宏・渡部律子編『ソーシャルワーク実践の基本理論』（有斐閣）

科目名

担当者名

社会福祉援助技術各論 I B

きたしまえいじ
北島英治

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助とともに集団援助を加えて、社会福祉実践にともなう専門価値、専門役割、専門知識、専門技術の総体を概観する。ソーシャルワークの視点から、個人と集団を理解するとは、また、個人と集団のかかわり方はどのようなものであるか、理解する。

講義の内容・ 授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門について学ぶ。この専門をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「技術論 IB」に関して講義を通して学ぶ。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教科書

野村豊子・北島英治・田中尚・福島寛子著『ソーシャルワーク・入門』（有斐閣）
北島英治・副田あけみ・高橋重宏・渡部律子編『ソーシャルワーク実践の基本理論』（有斐閣）

科目名

社会福祉援助技術各論Ⅱ A

担当者名

かわていもと
川 廷 宗 之

講義のねらい

- (1) 社会福祉援助技術の中で、小集団援助技術を修得する事が、この科目の学習目的である。
- (2) 小集団援助技術は、個人を援助する場合に小集団を活用する技術と、小集団そのものの援助技術を含む。
- (3) 小集団の背景となる理論として、特にグループ・ダイナミクスの理論などを学ぶ。
- (4) 実際の小集団援助場面での、活動テーマとしての様々な素材やその活用方法を修得する。
- (5) 専門職としての所属機関の概要とともに小集団援助専門職としての役割を学ぶ。

講義の内容・ 授業スケジュール

- ①前半は、個人を援助する場合の小集団活用の技法(特に、様々な状況での援助技術)を、後半は小集団そのものの援助技法(特に、援助計画立案等の援助技術)を中心に学習を進める。
- ②主な学習内容としては、理論面からは、a 集団援助技術の意義・沿革・定義、b 集団援助技術の構造、c 集団援助技術の実践原則、d 集団援助技術の展開過程、e 集団援助技術の実際とその応用展開などが中心になる。
- ③技術面からは、a 小集団観察技術、b 小集団援助の概要計画作成技術、c メンバー決定技術、d 地域資源の活用技術、e グループワークの全体プログラム作成技術、f 毎回のグループワーク援助プログラム作成技術、g ソシオメトリー作成技術、等が中心となる。

履修上の留意点

- (1) この科目を履修する前に、社会福祉援助技術総論の単位を取得しておくことが望ましい。
《各論Ⅰとの並行履修は差し支えない》
- (2) 社会福祉援助技術Ⅱ A の修得は、理論と同時にその理論を実践に適用する技術の修得を行う。特に、グループを課題とするこの科目においては、実際にグループワーク計画を作成する演習も並行して進めるので、欠席すると、何をやっているのか判らなく成りがちである。当然だが、欠席は極力避けること。
- (4) この授業を履修し学習を進めるために必要な事項について、第1回目の授業で説明するので第1回目の授業は必ず出席すること。万一、欠席の場合はその後の履修が困難になり兼ねない。やむを得ず欠席の場合はあらかじめ友人等を通じて、万全の代替措置を講じておくこと。

成績評価の方法

- (1) 成績は、授業中(および宿題)に作成する課題40%、期末の学習効果測定点40%、授業への参加度20%のウェイトで評価する。
- (2) 授業中の課題は、修得した知識や技術を実際の場面で活用できるかどうか、援助内容についてどれだけ豊かにイメージを広げられるか、が評価の視点となる。
- (3) 学習効果測定は、この科目で取り上げる専門分野の基礎知識や理論が修得されているか、が評価の視点となる。
- (4) 授業への参加度は、単なる出席点ではなく、授業中にどれだけ主体的にかかわっているか、また、しばしば行われる意見交換

教科書

久保絃章他編著「社会福祉援助技術論」上・下 川島書店
米本秀仁他編著「社会福祉援助技術演習」建邦社

参考書等

大塚達雄他編著『グループ・ワーク論』(ミネルヴァ書房)
その他、授業中に適宜指示する。

その他

この授業は、授業資料を Web 上で授業前に提供するシステムで展開する。大学のパソコンに習熟するなど、インターネット環境を整えておいてください。

社
会
福
祉
学

科目名**担当者名****社会福祉援助技術各論ⅡB**

かわ 川 いてい 廷 とも もと 宗 ぬぎ 之

講義のねらい

- (1) 社会福祉援助技術の中で、間接援助技術に分類されている地域援助技術（コミュニティワーク）および社会福祉運営管理と社会福祉計画技術について学習する事が、目的である。
- (2) コミュニティの背景となる理論として、特に地域社会学の業績にその理論を学ぶ。
- (3) 実際のコミュニティ援助場面での、援助技術や、援助計画の策定について学ぶ。
- (4) 専門職としての所属機関の概要とともにコミュニティ援助専門職としての役割を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ①最初に、個人を援助する場合の資源としてのコミュニティ活用技法を学び、次に、社会福祉運営管理と社会福祉計画の技術を学び、最後にそれを統合して、実践的なコミュニティ援助計画をまとめる。
- ②主な学習内容としては、理論面からは、aコミュニティ援助技術の意義・沿革・定義、bコミュニティ援助技術の構造、cコミュニティ援助技術の実践原則、dコミュニティ援助技術の展開過程、eコミュニティ援助技術の実際とその応用展開などが中心となる。
- ③技術面からは、aコミュニティ課題の発見方法としてのインタビュー技術、b数値化されないデータの集約技術、c統計からの問題発見（予測）技術、dコミュニティ診断技術、e問題の構造分析と解決効果予測技術、f資源確認発見技術、g計画技術、hコミュニティ集団運営のための技術、i広報技術、等を、課題の作成を通して細かく学ぶ。

履修上の留意点

- (1) この科目を履修する前に、社会福祉援助技術総論、社会福祉援助技術各論ⅠA およびⅠBの単位を取得しておくことが望ましい。
- (2) 特に社会福祉援助技術各論ⅠBの単位取得以前に履修する場合や、並行して履修する場合はかなり困難が予想されるので、その対応方法を考えておくことが望ましい。
- (3) 社会福祉援助技術Ⅱの修得は、理論と同時にその理論を実践に適用する技術の修得を行う。特に、コミュニティの課題を対象とするこの科目においては、実際のコミュニティをベースにした授業を行うので、欠席すると、何をやっているのか判らなくなりがちである。当然だが、欠席は極力避けること。
- (4) この授業を履修し学習を進めるために必要な事項について、第1回目の授業で説明するので第1回目の授業は必ず出席すること。万一、第1回目の授業を欠席した場合は、その内容に関して友人等に聞くなど、万全の代替措置を講じておくこと。

成績評価の方法

- (1) 成績は、授業中（および宿題）に作成する課題40%、期末の学習効果測定点40%、授業への参加度20%のウェイトで評価する。
- (2) 授業中の課題は、修得した知識や技術を実際の場面で活用できるかどうか、援助内容についてどれだけ豊かにイメージを広げられるか、が評価の視点となる。
- (3) 学習効果測定は、この科目で取り上げる専門分野の基礎知識や理論が修得されているか、が評価の視点となる。
- (4) 授業への参加度は、単なる出席点ではなく、授業中にどれだけ主体的にかかわっているか、また、しばしば行われる意見交換

教科書

佐藤豊道他編著『社会福祉援助技術論（下）』（川島書店）

参考書等高田真治・著『地域福祉計画論』（誠信書房）
その他、授業中に適宜指示する。**その他**

特になし。

科目名	担当者名
社会学(福祉)	たけやまのり 武山梅乗

講義のねらい

主として社会福祉士及び社会福祉主事を目指す学生を対象に社会学の基礎的な知識を提示し、現代社会における今日的な諸問題について理解することを通じて、より広い視点から〈社会福祉〉を展望する視点を養ってもらうことを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) I. 社会学の基礎概念：(1) 行為論 (2) 役割論、(3) 自我とアイデンティティ、(4・5) 組織と官僚制、(6) ネットワークとボランティア、(7) 社会階層と社会移動
 II. 現代社会論：(8・9) 逸脱とラベリング、(10・11) ジェンダーとフェミニズム、(12・13) 医療化と差別論
 III. 現代家族論：(14) 家族制度と核家族化、(15) ライフサイクルとライフコース、(16) 未婚化と結婚の意義
 IV. 地域社会論：(17) アーバンイズムとコミュニティ、(18) 国土計画と過疎・過密、(19) まちづくりとQOL
 V. 国家とエスニシティ：(20) 国民国家としての〈日本〉、(21) エスニシティとしての〈沖縄〉
 VI. 社会変動論：(22) 近代化と資本主義、(23) 大衆社会論と社会的性格、(24) 産業社会論、(25) 消費社会と企業文化・福祉文化、(26) 公害と環境問題

成績評価の方法

出席状況、講義期間中に課すレポートの内容、定期試験の結果から総合的に評価します。

教科書

教科書は特に指定しません。随時配布するプリントに従って講義を進めます。

参考書等

参考書は講義期間中に随時指示します。

科目名	担当者名
心理学(福祉)	たかやし 高橋良博

講義のねらい

本講義のねらいとして以下の項目を目標としている。

- 1 心理学の基本概念をふまえ、人間理解のための基本的知識の理解と習得。
- 2 乳幼児期・児童期・青年期・壮年期・高齢期など人間の発達段階のそれぞれの時期に特有な身体的、心理的特徴についての理解。
- 3 援助を要する人々とかかわって行くための心理的援助技術の概要の理解と習得をはかり、援助者としての資質を高めるための自己理解をもとめる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、以下の項目についてふれて行く予定である。

- 1 人間の心理学的理解 ①心理学の定義と、領域および研究法 ②欲求・動機づけ ③感情・情動 ④感覚・知覚・認知 ⑤学習・記憶・思考 ⑥知能・創造性 ⑦人格 ⑧適応と不適応
- 2 人間の成長・発達の心理 ①発達段階と生涯発達 ②発達課題と高齢期 ③発達の障害と発達援助
- 3 人間理解のための心理学理論と技法 ①基礎理論；心理学的援助技術の基本的人間観 ②心理測定と診断
- 4 心理的援助技法の概要 ①心理療法（総論）心理療法の歴史と種類 ②心理療法（各論）精神分析・カウンセリング・家族療法・行動療法・認知療法・森田療法・自律訓練法など

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを総合して評価を行う。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉士養成講座 心理学』（中央法規）2,500円（税別）

科目名	担当者名
医学一般	小林 稔

講義のねらい	健常者、病弱者および高齢者に対する医学・保健学の基本的な知識を体得し、ひいては社会福祉士を目指す者にも役立つ内容とする。
講義の内容・授業スケジュール	人体の構造と機能、現代社会と疾病、老化と身体的変化、精神保健、リハビリテーション、公衆衛生、保健医療対策、医療行政、医事法制等について、講義の予定。
履修上の留意点	出席はきわめて重視する。緊急の場合を除き、欠席については連絡をすること。
成績評価の方法	筆記試験、課題提出、授業姿勢、出席状況、自己表現の良否、などから総合判断して評価する。
教科書	『医学一般』（中央法規）2,500円
参考書等	講義開始時に連絡する。
その他	一方通行の講義でなく、学生諸君と時間を共有する姿勢で、討論や質疑を中心にすすめてゆく予定である。

科目名	担当者名
介護概論	金美辰

講義のねらい	介護の役割と福祉サービスの援助者に求められる倫理観を踏まえ、援助者としての基本的姿勢を理解する。
講義の内容・授業スケジュール	<p>介護とは何かについて考え、介護福祉の概念や福祉サービスの援助者に求められる倫理について法律や専門性の観点から学習し、利用者主体の介護とその具現化としての実践の技法について学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（自己紹介・授業内容） 2. 介護とは何か 3. 介護の歴史 4. 利用者理解 5. 自己覚知：他者から見た自己。自己の知る自己 6. 利用者主体とは何か（事例検討） 7. 介護福祉士に求められる倫理 8. 介護福祉士に求められる倫理（事例検討） 9. 施設介護 10. 在宅介護 11. 介護保険について 12. 施設における危機管理 13. チームアプローチ 14. まとめ
成績評価の方法	出席状況：20% 授業態度：20% 定期試験：60%
教科書	『介護概論 社会福祉士養成講座』（中央法規）
参考書等	『介護福祉学 介護福祉学研究会』（中央法規）

科目名	担当者名
介護技術	まむら 美辰

講義のねらい

高齢や障害によって阻害されている生活上のニーズや課題に対して利用者の個別性を配慮し、自立支援の視点にたった援助方法を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

介護技術の基礎知識や介助時の留意点についての講義やグループでの演習を通して、利用者の自立支援の視点にたった介護技術を学ぶ。

1. オリエンテーション
2. 援助に必要な技術：コミュニケーション・観察・アセスメント
3. 環境整備：居住環境の安全
4. 運動・移動の技法：ボディメカニクス・上方移動・水平移動
5. 運動・移動の技法：体位変換
6. 運動・移動の技法：移乗・移動介助
7. 食事介助（講義）
8. 食事介助（演習）
9. 排泄介助
10. 排泄介助
11. 衣生活の支援
12. 福祉機器と活用法
13. まとめ

履修上の留意点

グループでの演習授業であり、前後授業の関連性が高いので出席・授業態度を重視する。

成績評価の方法

出席状況：30% 授業態度：30% レポート：40%

教科書

『介護技術ⅠⅡ 介護福祉士養成講座』（中央法規）

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

実技演習授業であるので動きやすい服装が望ましい。

科目名	担当者名
精神保健学	まかむら ゆう 雄

講義のねらい

精神保健とは精神の健康に関する公衆衛生であり、狭義には精神疾患の予防と治療、リハビリテーション、広義には精神的健康の保持と増進を目的とする諸活動である。精神医学、心理学等、精神保健に関するバックグラウンドは広いので、精神障害、異常心理などの解説をしながら、理解を深められる様に講義するが、精神保健福祉士の実践にも役立つ様、臨床の内容とし、単なる学問的知識でなく、実際に現場で働いていくために必要な知識を与えたいと思っている。

成績評価の方法

出席、レポート、試験などを総合的に評価したい。

教科書

『精神保健入門』改訂第2版（八千代出版）

科目名**担当者名****精神保健福祉論Ⅰ**

佐藤 光正

講義のねらい

障害者福祉の理念と施策の理解を踏まえた上で、精神障害者の障害特性（疾病と障害の共存）、処遇の歴史を学ぶ。特に偏見や差別の対象とされている現状認識を深める。また精神障害者の社会生活、社会参加を援助、支援する精神保健福祉士の役割と実践について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 障害概念 精神障害者とは？
- (2) 障害者福祉における精神障害者福祉
- (3) 精神障害者福祉の歴史と現状～関係法との関係～
- (4) 精神保健福祉士とは？
 - ・活動の歴史的経過とその意義
- (5) 精神障害者の地域生活支援と社会参加の促進をめざす活動

履修上の留意点

問題意識と関心をもち「精神保健福祉論Ⅱ」と併せて履修すること。主体的な参加が必須である。

成績評価の方法

平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）および授業中のテストなどにより総合的に評価する。

教科書

『精神保健福祉論』（へるす出版）

参考書等

『精神保健福祉法詳解』（中央法規出版）6,000円（税別）
その他必要に応じて随時紹介する。

科目名**担当者名****精神保健福祉論Ⅱ**

佐藤 光正

講義のねらい

地域において、精神保健福祉活動がどのように行われているか、また精神障害者の地域生活の実態を学び地域生活支援システムの重要性を認識する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 新聞、マスコミで報道される精神障害者
- (2) 精神障害者の生活実態～当事者の声～
- (3) 精神障害をもつ子どもの家族の思い～家族の声～
- (4) 地域における精神保健福祉活動～実践家の話～
 - ・保健所、社会復帰施設、ボランティア活動、ホームヘルプなど

履修上の留意点

問題意識と関心をもち「精神保健福祉論Ⅰ」と併せて履修すること。主体的な参加が必須である。

成績評価の方法

平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）および授業中のテストなどにより総合的に評価する。

教科書

必要に応じて指示する。

参考書等

必要に応じて随時紹介する。

講義のねらい

精神保健福祉援助技術の具体的な方法やそのあり方、倫理感について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①～②・精神障害者の生活状況
- ③～⑤・ケースワークの定義、原理と原則
 - ・ケースワークのプロセス
 - ・具体的な事例
- ⑥～⑧・グループワークの定義、原理と原則
 - ・グループワークの展開
 - ・具体的な事例
- ⑨～⑩・当事者活動とその支援
- ⑪～⑫・家族に対する支援
- ⑬～⑰・コミュニティワークの定義と原則
 - ・コミュニティワークの展開プロセス
 - ・コミュニティワークの課題
 - ・ボランティア活動
- ⑱～㉑・ケアマネジメントの歴史的背景
 - ・ケアマネジメントの定義と構成要素
 - ・精神障害者に対する福祉サービスとしてのケアマネジメントの特徴
 - ・ケアマネジメントのプロセス
 - ・具体的な事例
- ㉒～㉓・チームアプローチと連携
 - ・チームアプローチにおける精神保健福祉士の役割
- ㉔～㉕・スーパービジョンの意義と構造

履修上の留意点

- ・精神保健福祉論、精神医学を履修済みの前提で授業を進めます。
- ・グループでの演習をとり入れるので、話し合い、発表、レポートがあります。

成績評価の方法

- ・演習毎のレポート、平常点（出席状況）

教科書

『精神保健福祉援助技術各論』（中央法規）2,500円
『精神保健福祉援助技術演習』（中央法規）

科目名

担当者名

社会福祉計画論

かわていもとゆき
川 廷 宗 之

講義のねらい

- (1) この科目では『社会福祉』と『社会計画』の二つの問題を扱う。
- (2) 社会福祉計画論は、本来は社会福祉援助技術の内容の一つを構成する専門的領域であるが、この授業では、専門に直接ふれるのではなく、その前提としての社会福祉の基本的な問題を含めて解説する。
- (3) 社会福祉計画を必要とする現代日本の社会福祉問題について、その内容の理解を図る。
- (4) 問題対応的なサービス提供から予防福祉的な側面が強調され、その結果、計画化が促進される現代の状況について理解を図る。
- (5) 『社会福祉計画』は、市民個人々の『福祉 (Well Being)』の保障を目指すのであるから、個人々の『福祉計画』を前提にした統合としての『社会福祉計画』として、総合的な理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

- ①前期は、『社会福祉計画』の前提となる『日本の社会福祉』が扱おうとしている様々な福祉課題について学ぶ。
- ②後期は、福祉問題の解決を目指す『社会福祉計画』の詳細について学ぶ。

履修上の留意点

- (1) この講義では、開講第1回目に全体のスケジュール等を説明するので、第1回には必ず出席していただきたい。
- (2) 講義を中心として進めるが、時に授業中に討論を行うこともあるので、積極的主体的な参加を期待します。
- (3) 学習者である皆さんの主体的な学習態度を尊重すべく、質問重視の授業を進めるので、関連事項について積極的な質問を期待します。

成績評価の方法

- (1) 前期末、後期末のレポートの成績を中心に、主体的な出席への評価を含めて成績評価を行う。
- (2) 前期末のレポート課題は、前期の講義に含まれる社会福祉計画が対応することになる「日本の福祉問題」を自分自身の生活課題に引きつけて論じる課題が出題される。
- (3) 後期のレポート課題は、社会福祉計画論の理論的課題について、テキストの課題の中から各自自由を選択して、まとめる課題が出題される。
- (4) 前期レポートと後期レポートは、それぞれ40%と50%の比率で成績評価に反映される。残り10%は、出席状況等を勘案す

教科書

定藤丈弘・坂田周一・小林良二編集『社会福祉計画』(有斐閣) 定価2,200円

参考書等

- (1) 高田真治『社会福祉計画論』(誠信書房) 1979年
- (2) R. パールマン A. グリン著 岡村重夫 監訳 『コミュニティ・オーガニゼーションと社会計画』(全国社会福祉協議会) 1980年
- (3) 全社協編『地域福祉計画——理論と方法——』(全国社会福祉協議会) 1984年

その他

本来は専門科目であるが、社会福祉の全体像の理解も含めて、平易で楽しい、皆さんとともに夢を描ける(計画ですから)授業を展開したい。

科目名	担当者名
リハビリテーション論	向後 礼子

講義のねらい

リハビリテーションには、医学・教育・職業・社会の4領域があるが、本講義では、職業リハビリテーションを中心に障害者が社会の中で働くということの意味を考える。併せて、障害者の就労を支える仕組みについて学ぶ。また、バリアフリーや障害理解の問題に関して、自分なりの考えを深めていく。

履修上の留意点

履修者には、リハビリテーション論で採りあげられるさまざまな問題を単なる知識として覚えるのではなく、自らの問題として考えてほしい。

成績評価の方法

講義中の小課題に対する回答と試験により評価する。なお、出席状況を加味する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義中に随時指定する。

その他

基本的に講義形式で進める。履修人数によっては、履修者に発表などの活動を行ってもらおう。また、ビデオ等の視聴を含む。

科目名	担当者名
家族療法	はる た てつ 治 田 哲 之

講義のねらい

心理臨床の現場では、学派や技法にかかわらず、家族に関する視点を持たずに仕事を進めることはできない。一方、家族療法に基盤を持つ心理臨床家も、家族という観点にとらわれない幅広い臨床のスタンスを持って仕事をすることが必要である。

本講座では、このような心理臨床の現場を出発点とし、家族療法という一つの体系を切り口としながら、心理臨床の基本から家族療法の実際までを実践的に扱う。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・心理臨床と治療構造
- ・家族療法の、心理臨床における位置づけ
- ・心理臨床の基礎理論
(その1～その5)
- ・家族療法の諸理論
(その1～その3)
- ・心理臨床の技法論
(その1～その3)
- ・家族療法の技法論
(その1～その3)
- ・心理臨床の実践(家族療法的視点から)
(その1～その3)

成績評価の方法

レポート、試験に、出席等の状況を加味する。

教科書

履修者の実態(予備知識等)に合わせて決定し、授業において指示する。

科目名	担当者名
社会福祉学特講Ⅰ〔児童〕	山本哲也

講義のねらい	近年、子どもを取り巻く諸問題は、複雑化、多様化し、深刻化してきている。本講では、子どもを取り巻く諸問題を整理、理解すること、支援を必要とする子どもを理解することをねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、子どもを取り巻く諸問題について、受講生のレポートをもとに、ディスカッションを織り交ぜながら、問題の理解を深めていく。 後期は、支援を必要とする子どもについて、演習課題等をとおして、理解を深めていく。
履修上の留意点	具体的な講義内容は、受講生の興味にあわせて決定していく。なお、受講生によるレポートをもとに、受講生とともに、「考えること」を重視した授業とするので、受講生は主体的・積極的に参加することを望む。
成績評価の方法	出席状況と課題レポートに加えて、ディスカッションへの参加状況など受講姿勢・意欲によって、総合的に評価する。

科目名	担当者名
社会福祉学特講Ⅱ〔老人〕	橋内真里子

講義のねらい	・高齢者福祉の現場で求められる知識・技術を習得する。 ・社会福祉専門職（対人援助職）としての資質を自ら育て、確実なものとする。
講義の内容・授業スケジュール	1回目 前期の予定、目標など 2・3回目 高齢者の身体的・心理的特性 4・5回目 高齢者のライフサイクルからみる特性 6・7回目 高齢者ケアの視点、目的 8～11回目 高齢者ケアの現場を理解する 12回目 前期のまとめ 13回目 前期の確認、後期の予定について 14～17回目 高齢者ケアの現場を理解する 18～22回目 いろいろな専門職について考える 23・24回目 社会福祉専門職としての技術について考える 25・26回目 社会福祉専門職としての資質について考える
履修上の留意点	新聞や本を読んで下さい。気にかかるものや興味を持ったもの、必要と思ったものはメモしたり、スクラップしておいて下さい。講演会や研修会にも積極的に参加して下さい。それらをもとにグループワークなども予定しています。「考える」、「発言する」、「見る」、「聞く」、「書く」、「提案する」などに慣れましょう。
成績評価の方法	出席状況、グループワークへの参加状況、レポートなどを総合的に評価します。
教科書	未定ですが、毎回の講義の始まりか終わりに、読んで欲しい本や聞いて欲しい講演会なども紹介したいと思います。随時資料を配付し、ビデオの視聴も予定しています。

社会福祉学
会

科目名

担当者名

社会福祉学特講Ⅲ〔障害児・者〕

向後礼子

講義のねらい

障害の特性について学ぶと共に、健常者と障害者の双方の立場から「障害理解とは何か」について考える。また、障害の特性について理解するために心理検査等についても学習する予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、障害についての基本的な理解を目指す。対象障害は、主として知的発達障害ならびに精神障害である（1～4）。また、いくつかの心理検査の実施方法とその解釈について学ぶ（4～7）。併せて、「障害理解」と「障害受容」とは何かについて事例を基に検討する（8～13）。

後期は、受講生毎に興味のある障害を定め、その障害についてより深く理解できるよう、個別もしくはグループ毎に課題を設定する。経過については、随時、講義の中で発表し、全体で討論する。

履修上の留意点

履修者には、障害に関わる問題を自らの問題として考えてほしい。

成績評価の方法

講義中の小課題に対する回答と試験により評価する。なお、出席状況を加味する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義中に随時指定する。

その他

履修者には発表などの活動を行ってもらおう。

科目名

担当者名

社会福祉学特講Ⅳ〔相談・援護〕

おおすか
大須賀 力

講義のねらい

今日の相談・援助のシステムは多面多様化しており、それだけ国民の生活全般に対する不安・課題が拡大されてきているように思えます。

児童相談所をはじめ各所で行われている相談援助（電話相談など含め）の実態は、虐待をはじめ、いじめ・不登校など児童の周辺に起きている深刻な問題に対して、また国民の生活問題に対してどのように応えてきているのであろうか。

この講義では、まず相談内容の実態を明らかにし、その問題性と課題について追究していきたい。

つぎに、そのことに従事しているケースワーカーの専門性について、児童相談所で実際相談援助に従事している児童福祉司の活動及び事例等を検討する過程で明らかにしていきたい。

専門性の第一に必要なとされることは、相談者（利用者）とどのように向き合えるかにあると考える。そのことは「自分とどのように向き合うか」ということに他ありません。

「自分を知る」「相手を知る」ことです。

相談を受けた時に適格にニーズを把握するために、また援助の方法を具体化するための援助技術を習得する必要が欠かせない要件となっています。

ワーカーにとって、複雑重層化した諸問題に対しどのような向き合いをしていったら良いかが問われています。

専門性の第二に必要なとされることは、権利擁護の立場で相談者（利用者）に向き合えるかどうかということです。

権利侵害の実態把握、発達障害としての視点、最善の利益の尊重、意見表明の保障等権利の回復及びそのための実践活動が問われています。

その他、専門性と資格問題、支援と自立の問題、地域支援の実態、ネットワークの意義、フィールドワークの位置付など共に学ぶなかで考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

1. 相談・援助の実際
 2. 児童相談所の役割・機能・援助活動
 3. 職員の専門性について
 1. ケース事例から学ぶ相談援助
 2. 処遇困難ケースへの対応
 3. 児童の自立・家族の自立・家族再統合へのとりくみ
 4. チーム処遇のあり方
- 関係機関との連携

履修上の留意点

職員の専門性に関して
(1) フィールドワークの必要性
(2) 権利擁護への視点
をもって学習に臨んでほしい。

成績評価の方法

レポート・討論・発表などの総合評価

教科書

『最新・社会福祉援助技術』（樫みらい）2,000円

参考書等

柏女霊峰編『新しいこども家庭福祉』（ミネルヴァ書房）
尾崎新『対人援助の技法』（誠信書房）

その他

授業の方法
講義・演習・討論を中心に

科 目 名

社会福祉学特講Ⅴ〔福祉事務所〕

担 当 者 名船 水 浩 行
ふな みづ ひろ 浩行**講義のねらい**

福祉事務所は、1951（昭和26）年の社会福祉事業法により制度が発足し、半世紀をこえた。敗戦直後の窮乏の中で制度化されたこの制度は、生活保護を中心に、国民の生活水準の確保に大きな貢献をしてきたと言える。

この間、福祉事務所を巡る行政の環境等は変容し、そのたびに運営のあり方、組織体制等が問われてきた。最近においても、「社会保障構造改革」の名の下での「介護保険制度の創設と実施」「年金保険や医療保険制度の改正」「社会福祉基礎構造改革の具現化」「生活保護制度の見直し」などの実施、さらには「地方分権」等が進められる中で、新たな時代の行政や社会福祉のあり方に向け、福祉事務所の運営等も一つの転機を迎えようとしている。

この授業では、福祉事務所の発足とその後の展開過程等の基本的事項を踏まえつつ、今後のわが国社会福祉行政における福祉事務所のあり方について考察していく。

**講義の内容・
授業スケジュール**

現代社会と福祉事務所の運営 福祉事務所の成立と展開
福祉事務所を巡る法制度 福祉事務所の業務と組織 福祉事務所と社会資源
社会福祉主事とその専門性 社会福祉主事の業務と社会福祉援助技術の展開
福祉事務所における自立支援の現状と課題

履修上の留意点

福祉事務所実習希望者の履修を勧める。

成績評価の方法

レポート（随時、5課題程度）90%、出席状況等平常点10%

教 科 書

宇山勝儀編著『福祉事務所運営論』（ミネルヴァ書房）2005年 2,000円

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名
社会福祉学特講Ⅵ(家族)	お ば た か ず 小 畑 和

講義のねらい

出生減退現象と言うのは社会に現れたひとつの表徴である。その社会現象は別の面から見れば、胎児の生命をどのように考えるかという生命倫理に関する側面を持っている。つまり、出生前診断による産み分けや世界的な人工妊娠中絶(abortion)の容認の傾向は、言い換えれば、Prolife か Prochoice かの問題であり、また、この現象を家族の側面から論ずれば、親子関係が希薄化し、家庭の崩壊、家庭の教育力の低下や学校教育の崩壊に繋がる。また社会的側面から見れば消費の停滞、人口の減少、経済の停滞と不安定、犯罪の増加、社会の崩壊に連動していくことの要因になっている。

講義では出生減退現象を通して生命倫理の問題、家族の変貌、社会保障制度などを取り扱うつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

成熟社会では成長が頂点に達し社会が袋小路(blind alley)に突入する。一方、限界生活費は増大するために、家族を益々制限し少子化や小さな核家族を促し、他方では三世代家族減少や老人問題を発生させている。また、人間関係は本質的關係よりは手段の關係になりシビアーでドライになる。個々人の間に緊張感を生じ孤立化するのは家族間でも同じである。

このような観点から以下のような項目で講義する。

- ① 経済社会のマクロ的な説明
- ② Prolife (胎児の生まれる権利) か Prochoice (産む、産まないは女性の権利) か
- ③ 資本蓄積と出生減退の關係、出生減退原因の諸説の紹介
- ④ 家族の変貌 (血縁、結婚・離婚問題、住居、経済的基盤などの家族の構成要素の変化)
- ⑤ 家族に関する福祉制度 (年金、生活保護、保育・育児の制度、エンゼルプラン、児童手当、児童扶養手当…)
- ⑥ 家庭裁判所制度 (調停制度、特別養子縁組制度…)
- ⑦ 教育制度 (学校教育、家庭教育、社会教育…)
- ⑧ 就業問題 (雇用制度、ホームレス問題、雇用保険制度、労働災害保険制度…)

履修上の留意点

初回の講義で説明する。

成績評価の方法

5段階2乗方式によるが、その内容は初回講義で説明する。

教科書

講義の中で必要に応じて紹介する。

その他

授業形態は講義形式であるがビデオや OHP が使用可能ならば利用する。

科 目 名	担 当 者 名
心理検査法	い な と み ま き はる 稲 富 正 治

社会福祉学

講義のねらい

人の身体の状態を示すものに「健康診断」というものがあるように、人の性格、情緒性、精神発達状態、知能、人間関係、病理性などを知る方法には「心理検査」があります。検査の種類によってそのやり方も理論背景も違いますが、人の心を安易に扱う場面も少なくない現代社会の中で、授業では心理検査の技術の習得と理論背景の理解と同時に、人と真剣に向き合う「臨床」を学んで欲しいと思っています。

心理検査の中には、質問紙法(Y-G、TEGなど)、投影法(ロールシャッハ、P-Fスタディなど)、作業検査法(知能検査など)と大きく分けると3つの分野があります。この講義では、その中の代表的なものを扱いながらも、心理検査全体を網羅した授業を行いたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

パーソナリティ論、心理検査の存在性などから入り、質問紙法、作業検査法、投影法という流れで進めていきます。

履修上の留意点

福祉という立場から、直接心理検査に携わる人は少ないかもしれませんが、この講義を通して、心理検査という角度からの人間観察を行う目を養ってもらいたいと思っています。

成績評価の方法

出席はもちろんのこと平常点（授業態度など）は重視します。また、単に心理検査の結果を数字で見ただけではなく、自分の感性を大事にして欲しいので、自分の言葉を使っていかに自己分析するかを大事な評価にしたいと思います。

教科書

今のところ特に考えていませんが、必要に応じて紹介します。

参考書等

教科書同様、必要に応じて紹介します。

その他

心理検査を体験してもらう実習形式やグループ討議やレポート提出なども行う予定です。机上の空論にならないように心がけたいと思っています。

科目名

担当者名

社会政策

竹下 睿 麒

講義のねらい

社会政策は、資本主義社会の維持・安定化を図るために国家が労働力の担い手（労働者）が抱える労働・生活上の諸問題に対応して実施する公的政策（労働力政策）として展開してきた。その後、社会保障制度にみられるように、労働力政策の枠をこえて、国民全体の社会福祉と社会サービスの向上をめざす福祉国家の公共政策に発展していった。近年、各国の経済、財政事情から福祉国家の再編がすすみ、社会政策の総合化が試みられている。

さらに、現代の社会政策は、労働・生活上の諸問題を取りまく構造的環境の急激な変化によって、新しい局面を迎え、従来の枠組み・パラダイムの転換（全面的な労働改革）を迫られている。

講義では、まず、社会政策の本質、発生の必然性と変化の過程を明らかにする。ついで、現代日本の社会政策の実体に焦点をあてて、その特徴を主要な具体的政策に即して検討することにする。さいごに、社会政策のさまざまな考え方の流れを跡づけ、最近の新しい動向を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ. 社会政策の概念と分析視角—1. 社会政策とは何か、2. 労働問題研究と社会政策研究、3. 社会政策の問題領域、Ⅱ. 資本主義と社会政策の歴史的展開—1. 資本主義と賃金労働者、2. 生成期資本主義の社会政策、3. 産業資本主義段階の社会政策、4. 独占資本主義段階の社会政策。

後期は、Ⅲ. 現代日本の社会政策—1. 戦前日本の社会政策、2. 戦後日本の社会政策、① 労使関係（労働組合）政策、② 賃金政策、③ 労働時間政策、④ 労働市場（雇用・失業）政策、⑤ 労働者保護政策、⑥ 高齢化政策、⑦ 女性労働と社会政策、⑧ ME・IT 技術革新と社会政策、⑨ 国際化と社会政策、Ⅳ. むすび—現代社会における社会政策の意義、社会政策論の検討。

履修上の留意点

出席を重視する。教場での私語を慎しむこと（退場を求めることもある）。毎回、講義についての感想文を書いてもらう。

成績評価の方法

成績は、①定期試験を基本に、②出席率、③授業に取り組む姿勢、④感想文を加味して、総合的に評価する。試験の採点は、設問の意味を正確に理解し、論証が論理的に展開されているか否かを重視して行う。評価基準は、①が70%、②③④が30%の割合とする。

教科書

石畑良太郎・牧野富夫編『新版社会政策—構造改革の新展開とセーフティネット』（ミネルヴァ書房）2003年 3,400円

参考書等

西村 裕通^{ひろみち}・荒又 重雄編『新・社会政策を学ぶ』（有斐閣）1999年 2,000円

その他

講義形式。資料をできるだけ配付する。

社会福祉学

科目名

担当者名

経済原論

すずきののぶえ
鈴木伸枝

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を解説します。また、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう問題演習を行います。

講義の内容・
授業スケジュール

- マクロ経済学
1. 国民経済計算
 2. 国民所得の決定
 3. 資産市場と貨幣
 4. IS-LM分析
 5. 消費と投資の理論
 6. 失業とインフレーション
 7. マクロ経済学論争
 8. 経済成長理論
 9. 国際金融・国際マクロ経済学

- ミクロ経済学
1. 消費者理論
 2. 生産者理論
 3. 部分均衡分析
 4. 一般均衡分析
 5. 不完全競争市場
 6. 市場の失敗
 7. ゲーム理論

マクロ（途中まで）→ミクロ→マクロ（続き）の順でやります。

成績評価の方法

定期試験およびレポート。

教科書

- Wセミナー『公務員試験地方上級・国家2種バイブル5 経済原論1 ミクロ』早稲田経営出版
Wセミナー『公務員試験地方上級・国家2種バイブル6 経済原論2 マクロ』早稲田経営出版

科目名

社会福祉援助技術現場実習Ⅰ

担当者名

荒井 浩道

講義のねらい

- ・社会福祉援助技術現場実習の意義の理解
- ・社会福祉専門職の業務の理解
- ・社会福祉施設・機関の特徴・役割の理解
- ・配属実習に向けた心構え／倫理観の形成
- ・各自の配属実習希望分野の明確化

講義の内容・ 授業スケジュール

この授業では、社会福祉援助技術現場実習の意義を理解するとともに、社会福祉専門職の業務、社会福祉施設・機関の特徴・役割について理解を深めます。また、この授業は配属実習を含む3年次の社会福祉援助技術現場実習Ⅱの準備学習であるため、配属実習に向けた心構え／倫理観の形成を目指し、また各自の配属実習希望分野を明確にすることが求められます。授業形態としては、ビデオ教材の視聴、グループディスカッション、プレゼンテーション、福祉現場の専門従事者からの話題提供、配属実習修了者との意見交換を行います。なおこの授業において、配属実習のスクリーニングが実施されます。

履修上の留意点

授業への主体的参加を期待します。原則として、無断欠席は認められません。

成績評価の方法

出席、レポート、授業への参加状況等により総合的に評価します。

教科書

特に指定しません。必要な資料を随時配布します。

参考書等

授業のなかで随時指示します。

その他

この授業は社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な指定科目のひとつです。
この授業の単位未修得者は、原則として社会福祉援助技術現場実習Ⅱ、精神保健福祉援助実習の履修を認めません。

科目名**担当者名**

社会福祉調査実習

とうじょうみつまさ
東 條 光 雅**講義のねらい**

研究方法論としての調査法を実際に会得してもらうことが目的である。特に、調査法の中でも量的データの収集・分析に関する手続きを理解し習得してもらう。また、学生の要望があれば、質的データについても扱う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、学生自身が実際に調査を行ってみることが要求される。自分の関心・興味に基づく調査を企画・設計し、作業仮説を検証出来るような調査票を作成し、実査を行い、パソコンを使って集計し、最終的に結果を報告書の形式でレポートにまとめ上げるという、社会調査の一連の手続きを体得することが目的である。履修学生の数にもよるが、基本的には5～6名を単位とする班を構成してもらい、班ごとの作業を進めてゆく。ただし、報告書は個人ごとに提出してもらう。なお、調査内容としては、「社会福祉調査実習」であるので、社会福祉に関するテーマ設定、福祉コードの測定などといったものが望ましい。

[前期の内容]

班の決定、調査テーマの決定、作業仮説の設定、調査対象の選定、既存・先行調査のレビュー、調査票の作成、プリテスト

[後期の内容]

調査票の修正・印刷、調査実査、回収票の点検、コーディングガイドの作成、コーディング、データ入力、集計プログラムの作成、集計・分析、報告書の作成

履修上の留意点

本授業では、授業時間内だけでなくそれ以外の時間も使って情報センターのパソコンを使用することになるので、情報センターの利用説明会に参加したり、利用手続きを行う必要がある。現時点で、パソコンの使用方法が分からなくても問題はない。授業の進展にしたがって必要に応じ教授するので、その点を心配する必要はない。

成績評価の方法

基本的には班による作業が中心となるため、出席率も重視するが、それ以上に作業参加・貢献度が重要となる。なお、最終的には提出される個人ごとの報告書の内容が評価の中心となる。

教科書

特に定めない。

参考書等

古谷野巨著『多変量解析ガイド－調査データのまとめかた－』（川島書店）
柳井晴夫・岩坪秀一著『複雑さに挑む科学－多変量解析入門－』（講談社）

その他

必修科目である卒業論文で調査をしようと思う学生は、是非履修してもらいたい。

科目名

担当者名

社会福祉援助技術現場実習Ⅱ

伊藤 秀一・小畑 和
 桐原 宏行・長尾 譲治
 東條 光雅

講義のねらい

本授業は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。将来、福祉事務所等の公的機関におけるソーシャルワーカーや児童施設・老人施設・障害者施設等の生活指導員、社会福祉協議会におけるコミュニティーワーカーなどの専門職として従事していくために必要不可欠となる実践的知識、専門的援助者としての対人態度、職業的倫理観の形成を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

授業の内容は、1年間のクラスワークと4週間の配属実習から構成される。クラスワークでは、主に、事前学習として各自が配属予定となっている諸機関・施設に関する検討、配属実習における達成課題の設定と自己評価の視点の確立（これらに関しては実習Ⅰにおける基礎学習をさらに発展させるものである）を行い、配属実習後に事後指導として、実習終了者の報告とそれに対するディスカッションを行う。

また、実習終了者は「現場実習総括レポート集」の原稿作成が義務づけられる。

履修上の留意点

受講の条件として、前年の「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。

成績評価の方法

成績は、学内でのクラスワークへの参加状況、配属先からの評価、総括レポートを総合して行う。

参考書等

『社会福祉施設現場実習指導マニュアル』、日本社会事業学校連盟・全国社会福祉協議会編、全国社会福祉協議会
 『社会福祉基本用語辞典』、日本社会福祉実践理論学会編（川島書店）

科目名**担当者名****社会福祉援助技術演習 I**あら 井 浩 道
あらい ひろみち**講義のねらい**

この授業では対人援助の基礎を中心に、社会福祉援助技術における直接援助、間接援助、関連援助の各技法を体験的に学習します。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- ・自己覚知
- ・価値観と他者理解
- ・援助的コミュニケーション
- ・個別援助の技法
- ・集団援助の技法
- ・地域援助の技法
- ・社会福祉調査の技法
- ・その他関連援助の技法

履修上の留意点

授業への主体的参加を期待します。

成績評価の方法

出席、レポート、授業への参加状況等により総合的に評価します。

教科書

特に指定しません。必要な資料を随時配布します。

参考書等

授業のなかで随時指示します。

その他

この授業は社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な指定科目のひとつです。
この授業は社会福祉援助技術現場実習Ⅱの履修を許可された学生だけが登録できます。
この授業は演習形式で行われます。したがって授業内容は、事例検討、ロールプレイ、ディスカッション、プレゼンテーションが中心となります。

科目名

社会福祉援助技術演習Ⅰ

担当者名

北島英治

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助を強調しながら、社会福祉実践にともなう専門価値、専門役割、専門知識、専門技術を修得する。ソーシャルワークの視点から、個人を理解するとは、また、個人へのかかわり方はどのようなものであるか、演習を通して体験的な理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「演習Ⅰ」に関して演習形式で学ぶ。ビデオを見たり、事例研究やロールプレーを行う。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教科書

『ソーシャルワーク演習（上）』（有斐閣）
社会福祉教育方法・教材開発研究会編集『新社会福祉援助技術演習』（中央法規）

科目名

社会福祉援助技術演習Ⅰ

担当者名

讃岐真佐子

講義のねらい

社会福祉に携わる場面では、何よりもその目の前の人をどう理解して関わるか、そしてどのように対応していくかというその質が問われてくると思われる。この演習では他者に援助していくとはどういうことかを、主にまず「いかに人の話を聴くか」という観点から、いくつかの体験的学習を通して徹底的に学んでいきたいと思う。また本演習は国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は「聴く事」をめぐる諸講義、そしてまず自分自身により気づくためのワーク・プログラムを経て、受講者がベアールを組み各々がワーカーとクライアント役割を取るロールプレイ（役割演技法）を実施していく。後期もさらにそれを深めていくと同時に、社会福祉に役立つ臨床心理的知見（心の健康に関する諸知識や様々な症状、問題行動など）を折にふれて伝えていきたい。

履修上の留意点

出席を重視し、各ワークへの参加が不可欠となる。ロールプレイは逐語録を作成して自分の発表日に資料として配布する。発表日は前もってわかるので、各自の責任において実施する事（万一発表の出来ない場合は評価対象外となる）。また本演習に引き続き同じクラスで同演習Ⅱを行うので、同時に取得することが望ましい。

成績評価の方法

出席状況、授業への参加度、レポート提出に基づいて評価する。

教科書

必要な資料は随時配布する。

参考書等

- ・尾崎新著『対人援助の技法』（誠信書房）
- ・尾崎新編著『「現場」のちから』（誠信書房）
- ・河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）
- ・鎌幹八郎著『試行カウンセリング』（誠信書房）

その他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

社会福祉学
会

科目名**担当者名**

社会福祉援助技術演習Ⅰ

ながお じょうし
長尾 譲治**講義のねらい**

本演習は、社会福祉士指定科目の1つであり、ⅠとⅡを同時に履修することになる。社会福祉に必要な専門援助技術について、他の援助技術関連の講義及び現場実習と関連させながら、実技指導を中心とする演習形態によって身につけることを目的としている。また、高齢者・障害者・児童等への援助に関する具体的事例を取り上げ、福祉倫理や知識、方法についても深く検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 対人コミュニケーション技術
社会福祉専門職に求められるコミュニケーション技術の実践トレーニング
- 2 ケースワーク技術の習得
事例研究／ロールプレイ
- 3 グループワーク技術の習得
グループワークの計画と実践
- 4 間接援助技術の習得
コミュニティ・ワーク、ソーシャルワーク・リサーチ、ケアマネジメントの模擬実践

履修上の留意点

技術演習であるため、実技への参加やディスカッションなど、学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動することが求められる。

成績評価の方法

毎回の授業への出席が前提である（実習等による公欠を除く）。その他、受講姿勢や随時実施する課題の提出状況等を総合的に判断する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

学生諸君の技術習得に役立つ図書を講義中、随時紹介する。

その他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名**担当者名****社会福祉援助技術演習Ⅰ**むら たく かが あき
村 田 一 昭**講義のねらい**

社会福祉援助技術演習は、ソーシャルワーク実践に必要な基本的援助技術の理解と習得を目的とした科目です。そこで本演習では、ソーシャルワーカーとして身につけておきたい基本的援助技術について、子ども家庭福祉領域を中心に、担当者の実体験も交えつつ、実技や討議、事例検討などの個別的・集団的な体験学習を通して、その理解を深めるとともに、実践力として習得することを目指します。併せて、子どもと家庭のウェルビーイング（well-being）をめざすソーシャルワーク実践についての考察も深めていきたいと思ひます。

なお、本演習は、「社会福祉士」の受験資格取得に必要な指定科目のひとつです。

講義の内容・授業スケジュール

前期：ソーシャルワーカーの基礎的援助技術

①自己理解と他者理解、②援助的コミュニケーション、③面接技法、④個人の価値と専門職の価値

後期：子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践事例から学ぶ援助技術

履修上の留意点

演習は、個人ワークと5名前後のグループワークを組み合わせで行ひます。演習が明るく、活発に行われるためには、受講生の主体的・積極的な参加が不可欠です。さらに受講生相互の参加意欲を高め、学習効果を上げるためにも、お互いに尊重しあい、受容的な姿勢で接することを求めます。

成績評価の方法

出席と実技および討議への参加状況、小レポート（各演習の振り返り）によって評価します。

参考書等

- ・社会福祉教育方法・教材開発研究会編『新社会福祉援助技術演習』中央法規 ￥2,500（税別）
 - ・福祉士養成講座演習委員会編『社会福祉援助技術演習』（新版社会福祉士養成講座⑤）中央法規 ￥2,500（税別）
 - ・北島英治・副田あけみ他編著『ソーシャルワーク実習（上）』（社会福祉基礎シリーズ④社会福祉援助技術演習）有斐閣 ￥1,900（税別）
- ※その他、随時紹介します。

その他

授業は、実技（ロールプレイなど）やグループ討議とその振り返りが中心となります。

本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録できます。クラス分けは事前に提示されるので、注意しておいてください。

科目名	担当者名
社会福祉援助技術演習Ⅱ	あら 井 ひろ 道 荒 井 浩 道

講義のねらい	この授業は社会福祉援助技術演習Ⅰに引き続いて行われ、同様に対人援助の基礎を中心に、社会福祉援助技術における直接援助、間接援助、関連援助の各技法を体験的に学習します。
講義の内容・授業スケジュール	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照してください。
履修上の留意点	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照してください。
成績評価の方法	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照してください。
教科書	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照してください。
参考書等	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照してください。
その他	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照してください。

科目名	担当者名
社会福祉援助技術演習Ⅱ	きた しま えい し 北 島 英 治

講義のねらい	社会福祉援助技術における個別援助に加え集団援助を強調しながら、社会福祉実践にともなう専門価値、専門役割、専門知識、専門技術を修得する。ソーシャルワークの視点から、個人と集団を理解するとは、また、個人と集団へのかかわり方はどのようなものであるか、演習を通して体験的な理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「演習Ⅱ」に関して演習形式で学ぶ。ビデオを見たり、事例研究やロールプレーを行う。
成績評価の方法	授業参加とレポート提出により評価を行う。
教科書	『ソーシャルワーク演習(下)』(有斐閣) 社会福祉教育方法・教材開発研究会編集『新社会福祉援助技術演習』(中央法規)

科目名	担当者名
社会福祉援助技術演習Ⅱ	讃岐真佐子

講義のねらい	本演習Ⅱは社会福祉援助技術演習Ⅰに引き続いて行われ、Ⅰと同様ソーシャルワークの基本的援助技術について体験的に学習し、その技術を習得することをその目的としている。また本演習Ⅱも国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。
講義の内容・授業スケジュール	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照
履修上の留意点	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照
成績評価の方法	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照
教科書	必要な資料は随時配布する。
参考書等	・尾崎新著『対人援助の技法』（誠信書房） ・尾崎新編著『「現場」のちから』（誠信書房） ・河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』（誠信書房） ・鏑幹八郎著『試行カウンセリング』（誠信書房）
その他	なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	担当者名
社会福祉援助技術演習Ⅱ	ながお じょうじ 長尾 譲治

講義のねらい	本演習は、社会福祉士指定科目の1つであり、ⅠとⅡを同時に履修することになる。社会福祉に必要な専門援助技術について、他の援助技術関連の講義及び現場実習と関連させながら、実技指導を中心とする演習形態によって身につけることを目的としている。また、高齢者・障害者・児童等への援助に関する具体的事例を取り上げ、福祉倫理や知識、方法についても深く検討する。
講義の内容・授業スケジュール	1 対人コミュニケーション技術 社会福祉専門職に求められるコミュニケーション技術の実践トレーニング 2 ケースワーク技術の習得 事例研究／ロールプレイ 3 グループワーク技術の習得 グループワークの計画と実践 4 間接援助技術の習得 コミュニティ・ワーク、ソーシャルワーク・リサーチ、ケアマネジメントの模擬実践
履修上の留意点	技術演習であるため、実技への参加やディスカッションなど、学生個人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動することが求められる。
成績評価の方法	毎回の授業への出席が前提である（実習等による公欠を除く）。その他、受講姿勢や随時実施する課題の提出状況等を総合的に判断する。
教科書	特に指定しない。
参考書等	学生諸君の技術習得に役立つ図書を講義中、随時紹介する。
その他	なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	担当者名
社会福祉援助技術演習Ⅱ	むら 村 田 一 昭

講義のねらい	本演習は、社会福祉援助技術演習Ⅰと同じく、ソーシャルワーク実践の基本的援助技術について、子ども家庭福祉領域を中心として、実技や討議、事例検討を通じて理解するとともに、その習得を目的としています。併せて、子どもと家庭のウェルビーイング (well-being) をめざすソーシャルワーク実践についての考察も深めていきたいと思ひます。 なお、本演習は、「社会福祉士」の受験資格取得に必要な指定科目のひとつです。
講義の内容・授業スケジュール	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照してください。
履修上の留意点	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照してください。
成績評価の方法	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照してください。
参考書等	・社会福祉教育方法・教材開発研究会編『新社会福祉援助技術演習』中央法規 ￥2,500 (税別) ・福祉士養成講座演習委員会編『社会福祉援助技術演習』(新版社会福祉士養成講座⑤) 中央法規 ￥2,500 (税別) ・北島英治・副田あけみ他編著『ソーシャルワーク実習 (上)』(社会福祉基礎シリーズ④社会福祉援助技術演習) 有斐閣 ￥1,900 (税別) ※その他、随時紹介します。
その他	授業は、社会福祉援助技術演習Ⅰと連続で行います。内容は実技 (ロールプレイなど) やグループ討議とその振り返りが中心となります。 本演習は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録できます。クラス分けは事前に掲示されますので、注意しておいてください。

科目名	担当者名
精神科リハビリテーション学	しろ 城 田 晴 夫

講義のねらい	この授業では、精神障害をもつ人々が職場や住み慣れた地域の中で障害のない人々と共に働き、暮らしていける力、市民社会を共に築いていける力を最大限に持てるように援助する精神科リハビリテーションを学ぶ。近年国家資格となった精神科ソーシャルワーカー (PSW) に関心のある学生を主に対象とする。学問としてはまだまだ新しく耳慣れないが、一部アメリカで行なわれているリハビリテーションの実状並びにその技法を紹介しつつ、より良いリハビリテーションを考えていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	授業は、精神科リハビリテーションの概念、精神科リハビリテーションの構成、精神科リハビリテーションのプロセスと技術、精神科リハビリテーションにおける連携と統合、精神科リハビリテーションの関連領域、の順に教科書に沿って進めていく。
履修上の留意点	履修する学生は、積極性、活動性のあると思うもの・人の世話をすることに関心のあるものが期待される。
成績評価の方法	成績評価については、出席、試験、レポートなどの総合評価とする。
教科書	『精神科リハビリテーション学 (第3巻：精神保健福祉士養成セミナー)』(へるす出版) 3,200円
参考書等	『こころの科学、精神保健福祉士、88巻』(日本評論社) 1,143円

科目名	担当者名
精神保健福祉援助演習	佐藤光正

講義のねらい	精神保健福祉士は、精神障害者の保健福祉に関する専門的な知識及び技術をもって、精神障害者の社会復帰、社会参加や自立を促進する相談業務を担う。そのための具体的な援助技術を習得するための演習を行う。
講義の内容・授業スケジュール	援助に必要な（１）利用者の理解（２）コミュニケーション技術（３）ケースワーク援助（４）グループワーク援助（５）コミュニティワーク援助（６）ケアマネジメント援助（７）自己点検と自己覚知などを演習する
履修上の留意点	授業への主体的な参加が必須である。
成績評価の方法	平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）を中心に総合的に評価する。
教科書	必要に応じて指示する。
参考書等	必要に応じて随時紹介する。

科目名	担当者名
精神保健福祉援助実習	佐藤光正

講義のねらい	実習は、精神保健福祉士をめざす者にとって大事な体験学習となる。そこでは、まず第一に現場の状況を知りそこで展開される現場での援助とこれまで学習してきた知識としての援助を結びつけて体験的に習得する必要がある。そして自己覚知を行った上で、今後自分が精神保健福祉領域のソーシャルワーカーとしてやっていく基礎を体験的に学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 精神障害者と精神医療の理解 a 精神疾患の理解 b 医療機関・社会復帰施設の理解 c 精神保健福祉法の理解 PSW 業務の理解 a PSW が配置されている意味の理解 b PSW が行う業務の理解 c 活用する社会資源の把握 援助関係のあり方についての洞察 a ケースワーク技術 b グループワーク技術 c リハビリテーション技術 d コミュニティワーク技術 e ケアマネジメント技術 実習目標の設定～まとめ a 実習目標の明確化 b 実習記録作成 c 実習レポート作成 d 実習報告
履修上の留意点	すでに精神保健福祉に関して基礎的な科目を修めていることを前提とする。授業および実習への主体的な参加が必須である。なお受講の条件として前年度までに「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。
成績評価の方法	平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）、および実習報告の評価、配属実習先の評価等総合的に評価する。
参考書等	『精神保健福祉法詳解』（中央法規出版）6,000円（税別） その他必要に応じて随時紹介する。
その他	「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の単位未修得者は、原則として「精神保健福祉援助実習」の履修を認めない。

社(社会福祉)
会

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

7 心 理 学 科

心
理

Ⅱ. 専門教育科目

(7) 心理学科

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
心理学概論	心理1必	通年	4	間島英俊	669
心理統計学	心理1必	通年	4	杉澤武俊	670
コンピュータ実習	心理1必	通年	2	大塚秀治 軽部幸浩 牧野晋	671
人格心理学	心理1・2選必	通年	4	鈴木常元	672
学習心理学	心理1・2選必	通年	4	小野浩一	673
社会心理学	心理1・2選必	通年	4	有光興記	674
臨床心理学	心理1・2選必	通年	4	勝俣映史	674
生理心理学	心理1・2選必	通年	4	谷口泰富	675
認知心理学	心理1・2選必	通年	4	佐藤理晴	676
発達心理学	心理1・2選必	通年	4	間島英俊	676
心理学基礎実験	心理2必	通年	2	有光興記 鈴木常元 間島英俊 佐藤理晴 名取志保 仲渡江美	677
心理学研究法	心理2必	通年	4	小野浩一	678
禅心理学	心理3必	通年	4	茅原正	679
心理学実験演習Ⅰ	心理3選必	通年	2	休講	
心理学実験演習Ⅱ	心理3選必	通年	2	深堀友覚	680
心理学実験演習Ⅲ	心理3選必	通年	2	鈴木常元	680
心理学実験演習Ⅳ	心理3選必	通年	2	佐藤理晴	680
心理学実験演習Ⅴ	心理3選必	通年	2	小野浩一	681
心理学実験演習Ⅵ	心理3選必	通年	2	軽部幸浩	681
心理学実験演習Ⅶ	心理3選必	通年	2	間島英俊	682
心理学実験演習Ⅷ	心理3選必	通年	2	休講	
心理学実験演習Ⅸ	心理3選必	通年	2	有光興記	682
演習	心理4必	通年	4	有光興記	683
演習	心理4必	通年	4	茨木博子	683
演習	心理4必	通年	4	小野浩一	683
演習	心理4必	通年	4	勝俣映史	684
演習	心理4必	通年	4	佐々木雄二	684
演習	心理4必	通年	4	鈴木常元	684
演習	心理4必	通年	4	谷口泰富	685
演習	心理4必	通年	4	茅原正	685
演習	心理4必	通年	4	間島英俊	685
環境心理学	心理2・3・4選	通年	4	大野隆造	686
児童心理学	心理2・3・4選	通年	4	横山剛	686
産業心理学	心理2・3・4選	通年	4	小野公一	687

老年心理学	心理2・3・4選	通年	4	中里克治	687
宗教心理学	心理2・3・4選	通年	4	葛西賢太	688
健康心理学	心理2・3・4選	通年	4	稲松信雄	689
比較行動学	心理2・3・4選	通年	4	幸島和子	689
精神医学	心理2・3・4選	通年	4	黄ミンシユク	690
心理学特講Ⅰ	心理2・3・4選	通年	4	佐々木雄二	690
心理学特講Ⅱ	心理2・3・4選	夏季集中	4	鈴木順一	691
心理学特講Ⅲ	心理2・3・4選	通年	4	萩原滋	691
心理検査法Ⅰ	心理2・3・4選	通年	4	前期：西脇淳 後期：佐藤尚代	692
心理検査法Ⅱ	心理2・3・4選	通年	4	稲富正治 加藤博己	693
カウンセリング	心理2・3・4選	通年	4	茨木博子	694
情報処理Ⅰ	心理2・3・4選	通年	4	中丸茂	694
情報処理Ⅱ	心理2・3・4選	通年	4	牧野晋	695
宗教人類学	心理2・3・4選	通年	4	矢野秀武	696
心理学特殊演習	心理3選	通年	4	有光興記	696
心理学特殊演習	心理3選	通年	4	茨木博子	697
心理学特殊演習	心理3選	通年	4	小野浩一	697
心理学特殊演習	心理3選	通年	4	勝俣暎史	698
心理学特殊演習	心理3選	通年	4	鈴木常元	698
心理学特殊演習	心理3選	通年	4	谷口泰富	698
心理学特殊演習	心理3選	通年	4	茅原正	699
心理学特殊演習	心理3選	通年	4	間島英俊	700
マス・コミュニケーション論	心理1・2・3・4選	通年	4	休講	
産業・職業社会学	心理1・2・3・4選	通年	4	小川慎一	594
社会病理学	心理1・2・3・4選	通年	4	山本功	595
家族社会学	心理1・2・3・4選	通年	4	松信ひろみ	591
宗教社会学	心理1・2・3・4選	通年	4	芳賀学	592
行政法	心理1・2・3・4選	通年	4	鶏徳啓登	604
障害者福祉論	心理1・2・3・4選	通年	4	桐原宏行	628
老人福祉論	心理1・2・3・4選	通年	4	東條光雅	629
児童福祉論	心理1・2・3・4選	通年	4	村田一昭	627
労働法	心理1・2・3・4選	通年	4	藤本茂	606
民法	心理1・2・3・4選	通年	4	大宮隆	607
経済原論	心理1・2・3・4選	通年	4	鈴木伸枝	701

講義のねらい

心理学は人間理解を科学的に究明する学問であるといえるでしょう。研究方法はさまざまであるが、その目的は同じであり、人間理解をとおして自己理解に結びつくものと思われます。講義では、諸君等がその問題を考えるための基本的事実にのみ限定して話していくことにします。心理学は科学であるために多くの近接領域の学問と関わっているがために、これらの事実もやがて過去の遺物になるかも知れません。そのためにも諸君等は科学の基礎としての心理学を学び、興味と向学心をもって、さらなる目標追求に役立ててほしいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容ならびに授業スケジュールは以下のとおりである。

- 1 ひととなりを考える
- 2 発達—自己から自己へのタイムトラベリング
- 3 “こころ”のゆきづまり
- 4 人と人との絆（家族と社会）
- 5 みること・きくこと
- 6 学ぶこと・考えること
- 7 ここを動かす・行動を起こす
- 8 人・仲間とかかわる
- 9 ことばとコミュニケーション

これらのテーマに基づいて、講義を中心に簡単な調査、検査、小実験を行なう予定です。

成績評価の方法

基本的には12月最終講義にて行う試験にて評価しますが、出席はもとより調査、検査、実験への参加状況からも補助的に評価されます。

教科書

根本・小島編著『理解とふれあいの心理学』（ミネルヴァ書房）2,300円

参考書等

講義内にて紹介します。資料はその都度配布しますが、欠席したものへの後日配布はしません。

科目名

心理統計学

担当者名すぎさわ たけし
杉澤 武俊**講義のねらい**

心理学研究を行う上で統計学の知識は不可欠です。統計学を理解していなければ2年生以降、実験レポートや卒業論文で苦勞するだけでなく、心理学の研究論文を読んでも理解することができません。本講義では単に計算の仕方を覚えるのではなく、統計学の基本的な考え方や結果の読み取り方を身につけることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) ガイダンス・心理学における統計学
(2～5) 1変数に関する記述的指標 (度数分布・代表値・散布度)
(6～8) 2変数に関する記述的指標 (共分散・相関係数・連関係数)
(9～13) 推測統計の基礎 (母集団・標本・標本分布)
- (後期) (14・15) 統計的仮説検定の考え方
(16・17) 相関係数の検定・独立性の検定
(18・19) 平均値に関するt検定
(20～26) 分散分析 (1要因・2要因) ・まとめ

履修上の留意点

中学校程度の数学的知識を前提に講義を進めます。扱う内容の易しいものではなく量も多いので、かなりの努力が必要であることを覚悟してください。また、一度学習した内容はその後の内容の基礎となる「積み上げ式」ですので、毎回学習した内容はそのつど復習して確実に身につけていってください。

成績評価の方法

前期に中間試験、後期に期末試験を行います。

教科書

山田剛史・村井潤一郎『やわらかアカデミズムわかるシリーズ・よくわかる心理統計』(ミネルヴァ書房)

参考書等

南風原朝和『心理統計学の基礎－総合的理解のために－』(有斐閣アルマ)
吉田寿夫『本当にわかりやすいすごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』(北大路書房)
その他、講義中に適宜紹介します。

その他

原則として講義形式で進めます。

科目名

担当者名

コンピュータ実習

おおつか ひではる かるべ ゆきひろ
 大塚 秀治・軽部 幸浩
 まきの
 牧野 晋

講義のねらい

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは知的作業を行う上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したものも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するものとしてのコンピュータの利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめ本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者が独力でコンピュータを活用して心理学実験レポート等を作成する能力を養う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は全て実習形式で行う。1つのテーマごとに1から5時限をあて、毎回課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・パソコンの基本操作
- ・タッチタイピングの完全習得 (Type Quick を利用して)
- ・大学生として必要なドキュメント処理能力の習得 (MS-Word)
- ・スプレッドシートの習得 (MS-Excel による集計、グラフ、データベース)
- ・プレゼンテーションの実際 (プレゼンテーションの基礎技術)
- ・電子的コミュニケーション (電子メールの利用法)
- ・Internet 利用の実際と注意 (マナーやモラルについて)
- ・情報処理の基礎

履修上の留意点

年間約22回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回 (1回2時間程度) の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、情報教育センターを利用するとよい。自分で所有しているパソコンでも自習は可能である。詳細は開講時に説明する。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進捗についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なおこの科目は必修科目であるため単位の認定を受けられないものは翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。従って1年次に履修を完了すること。

教科書

教材は授業の中で全て配布する。それまでに配布された資料は授業に際して常に用意しておくこと。そのためにフォルダやファイルを用意するとよい。その他にフロッピーディスク数枚が必要となる。

参考書等

授業中に最新のものを指示する。

その他

パソコンを独自に購入するのであれば、MS-Windows 対応のパソコンで MS-Windows と MS-Office が導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。なお、実習に必要な記憶メディアは学科が用意する。

科目名

担当者名

人格心理学

すずき つねもと
鈴木 常元

講義のねらい

人格心理学の歴史的背景、理論について学ぶとともに、人格の測定技法についても習得することを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、人格心理学の歴史的背景について学ぶ。その上で、人格心理学のさまざまな理論を紹介していく。すなわち、精神分析等をはじめとする臨床心理学的な立場、人格形成に重点をおいた発達心理学的な立場、人間関係や社会・文化的な文脈から捉える社会心理学的な立場などである。また、これらに加えて、観察法、面接法、テスト法など、人格を測定するための、さまざまなアプローチについても紹介していく。

成績評価の方法

学期末のテストの成績に、授業への出席を加味し、総合的に評価する。

講義のねらい

心理学でいう「学習」は単にものを覚えたり技術を習得することではなく、もっと幅広い「行動の変化」全体を含んでいる。毎日同じような生活を繰り返しているように見えても、数ヶ月あるいは数年前の自分の行動と今の自分の行動は異なっている。たとえば、「前は嫌いだった中島みゆきの曲を聴くようになった」、「朝早く起きるようになった」、「最近友達に会うのがつらい」などいろいろな変化に気づくだろう。

学習心理学の目的は人間の行動の成り立ちや行動変化の原因を科学的に明らかにすることである。さらに望ましい行動を増加させたり問題行動を減少させたり、あるいは快適な社会関係を築く方法を探究する。従って、人間や人間の行動そのものに興味がある人はもちろんだが、将来ヒューマンサービスの仕事をめざす人にとっても学習心理学の知識は必須である。本講義は行動変化の2つの代表的な手続きであるレスポナント条件づけとオペラント条件づけを中心に、基礎的な知識から興味深い最新の研究までAV機器やビデオを併用して分かりやすく説明するつもりである。しかし、もともとテクニカルターム（専門用語）が多く内容も多岐にわたる領域なので、少しばかりの覚悟は必要である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 人間と行動：行動とは何か
 - ①人間は機械ではない——「元気が出たり」「へこたれる」生体である
 - ②行動は身体の変化である、そして、身体変化の原因は環境にある
2. 学習についての基礎知識
 - ①3種類の環境変化がある
 - ②2種類の行動に注目しよう：レスポナント行動とオペラント行動
3. レスポナント行動（刺激に誘発される行動）の学習
 - ①レスポナント条件づけの仕組み
 - ②レスポナント条件づけの基本現象：般化、弁別、消去
 - ③レスポナント条件づけはパブロフの条件反射だけではない：評価条件づけ、免疫機構の条件づけ、意識、感情の条件づけ
 - ④レスポナント条件づけについての新しい発見と考え方：味覚嫌悪学習、関係性の学習、複合刺激の学習
4. オペラント行動（結果によって変化する行動）の学習
 - ①結果の重要性——通行禁止！「忠告」「貼り紙」はなぜ効かない？
 - ②オペラント条件づけの基本：行動随伴性（強化と弱体化）
 - ③新しい行動の獲得：動物実験に学ぶ
 - ④行動を変化（増加、減少、維持、消失）させる手続き
 - ⑤行動は時と場所そして状況によって変化する：刺激統制
 - ⑥嫌悪刺激による行動の変化
5. ことばと行動——言語はオペラント行動である
 - ①ことばの基本：聞き手としての行動、名前づけ、刺激等価性
 - ②ことばの働き——どんなときに何を言うのだろうか
 - ③ことばによる行動の制御：ルール支配行動と言行一致訓練
6. オペラント条件づけ研究の展開
 - ①不確実場面における行動：確率学習、迷信行動
 - ②選択行動——今の10万円と3年後の15万円では？
 - ③なぜ行動はマンネリ化するのか：獲得と遂行、行動変動性
 - ④性格は行動パターン：遺伝と過去経験
7. 社会的行動

競争や協力関係は環境によって作られる
8. 応用行動分析

オペラント条件づけの知見を自分自身や社会に活かす

成績評価の方法

出席と定期試験による総合評価

教科書

小野浩一著『行動の基礎＝豊かな人間理解のために』（培風館）

科目名	担当者名
社会心理学	ありみつこう 有光興記

講義のねらい	社会心理学と臨床—カウンセリング心理学の接点に焦点をあて、感情的、行動的問題の発現・診断・治療の過程を理解するために必要な社会心理学の基本的概念および理論について論ずる。
講義の内容・授業スケジュール	他者の「まなざし」をきっかけに、我々は恥、あがり、罪悪感を体験し、行動を制御するが、過度な内気から人づきあいが困難になることがある。また、他者への意識は、化粧、ダイエットなどの外見への配慮や様々な自己アピールにつながる。前期では、こうした他者の存在と我々の心理状態の関係について講義を行う。また、集団と組織の中での心理状態についても触れる。後期では、主として「あがり」をテーマに、社会的状況、感情状態、その結果の関係を明確にして、対策としてストレスマネジメント、メンタルトレーニング、認知行動療法などの手法を紹介する。
履修上の留意点	特になし。
成績評価の方法	筆記試験を前期、後期に行う。また、授業中の課題の提出を評価する。試験と課題提出を総合して成績評価をする。
教科書	前期：菅原健介編『ひとの目に映る自己』（金子書房） 後期：有光興記『“あがり”とその対処法』（川島書店）
参考書等	坂本真士・佐藤健二編『はじめての臨床社会心理学』（有斐閣）
その他	授業の方法は講義とする。

科目名	担当者名
臨床心理学	かつまたてるちが 勝俣映史

講義のねらい	近年、社会的構造の変化に伴い、幼児から高齢者に至る種々な年齢層において、かつてない種々な問題が多発しており、臨床心理学に対する関心・期待も高まっている。本講では、臨床心理学の歴史展望を踏まえて、臨床心理学とは何か、臨床心理学の果たすべき課題は何か、臨床心理学はどのような貢献ができるか、などに関する基礎的知見について概観する。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> I. 臨床心理学の歴史 II. 臨床心理学とは：（1）心理学とは、（2）臨床心理学の定義、（3）問題行動の意味、（4）臨床心理学の領域 III. 心理アセスメント（査定）：（1）問題行動の心理アセスメント、（2）行動観察によるアセスメント、（3）面接法によるアセスメント、（4）心理検査によるアセスメント IV. 心理療法の理論と実際：（1）心理療法とは、（2）認知的コンピタンス焦点療法、（3）身体的コンピタンス焦点療法、（4）社会的コンピタンス焦点療法、（5）生活コンピタンス焦点療法、（6）総合的自己評価コンピタンス焦点療法
履修上の留意点	一連の講義は連続したものであり、実習形式の授業も行うので欠席しないよう留意されたい。
成績評価の方法	出席、レポートおよび定期試験成績を総合して行う。
教科書	勝俣映史『コンピタンス心理学—教育・福祉・ビジネスに活かす』（培風館）2005年
参考書等	岡堂哲雄監修『臨床心理学入門事典』（至文堂）2005年 必要に応じて資料を配布する。

心理

講義のねらい

生理心理学は生理学と心理学とにまたがる領域で、行動の心理的機能と生理的機能の対応関係を研究する科学である。古くは、この問題は心と体の関係として、あるいは心身問題として多くの哲学者によって論じられてきたのであるが、今日の生理心理学は心理学的事象の生理学的解釈あるいは心理学的事象の生理学的研究を目的としている。本講は、統合的有機体としての人間の行動を解明するための生物学的基礎について学ぶことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 精神身体観とその歴史
2. 行動の生理学的基礎（神経系の構造と機能）
 - ① 中枢神経系と末梢神経系
 - ② 大脳皮質の構造と機能
 - ③ 大脳辺縁系の機能
 - ④ 下位脳幹の主たる機能
 - ⑤ 自律神経系と体性神経系
3. 感情・情動と生体反応
 - ① 情動理論
 - ② 感情・情動と生体反応
4. 慣れ
5. 人間や動物の行動と脳活動
6. 生理心理学的測定（実習を含む）
 - ① 脳波測定とその心理学的活用
 - ② 呼吸測定とその心理学的活用
 - ③ 心拍測定とその心理学的活用
 - ④ 脈波測定とその心理学的活用
 - ⑤ 皮膚電気活動測定とその心理学的活用

履修上の留意点

中学校で学習する程度の理科的教養（物理・化学・生物）が欲しい。
視聴覚教材を使用した授業や、実習形式の授業があるので欠席をしない。

成績評価の方法

出席、レポートおよび定期試験による総合評価とする。ただし、レポートの未提出者および本講での実習（模擬実験）に出席していない学生は成績評価をしないので注意すること。

教科書

参考資料（プリント）を配布するので教科書は使用しない。

参考書等

参考書は随時紹介する。

科目名**担当者名**

認知心理学

佐藤まさはる
佐藤まさはる**講義のねらい**

認知とは生体の能動的な情報収集・処理の活動であり、このような観点から心理学的事象を捉えようとする心理学は認知心理学とよばれる。本講義では環境からの情報取得(感覚・知覚)と保持(記憶、知識の表象)、獲得した情報を加工して新たな知識を作り出す過程(問題解決、推論、概念形成)およびこれらの発達過程などについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では認知心理学の歴史を概観した上で、各分野における近年の動向を、実験のデモンストレーションを交えて説明する。

履修上の留意点

講義時間内にデモンストレーション、小テストなどを行う予定なので、出席状況を重視する。

成績評価の方法

筆記試験、出席状況などにより評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

授業中に随時紹介する。

科目名**担当者名**

発達心理学

間島ひでとし
間島英俊**講義のねらい**

本講義はエリクソン、E.Hの発達理論を中心に展開する。エリクソンの中心的概念である自己同一性(Self-identity)理論は、青年後期における自己確立を発達課題となす。彼は人間の一生を誕生から死に至るライフサイクル理論ならびにそれに対応する心理・社会的危機論にて説明している。それらライフサイクルを概観することにより、諸君は「自己」についての過去-現在-未来へのタイムトラベリングが可能になるのである。講義では各ライフサイクル上にて起こるライフイベントを紹介しながら発達理論を展開する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 発達理論(認知発達理論、社会的学習理論、精神分析理論)
 2. 胎児期
 3. 乳児期(信頼 VS 不信)
 4. 歩行期(自律 VS 恥・疑惑)
 5. 学童前期(積極性 VS 罪悪感)
 6. 学童中期(勤勉性 VS 劣等感)
 7. 青年前期(集団同一性 VS 疎外)
 8. 青年後期(個人的同一性 VS 役割拡散)
 9. 成人前期(親密性 VS 孤立)
 10. 成人中期(生殖性 VS 停滞)
 11. 成人後期(統合 VS 絶望)
 12. エピローグ(今日の問題に対する心理学的知識の応用として)
- 以上のスケジュールにそって講義を進めていく。

成績評価の方法

成績は12月最終講義にて行う試験にて基本的に評価しますが、年に1~2回課せられるレポート・出席も補助的評価として参考にします。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

参考書は資料としてプリントされたもののなかで紹介しします。なお配布されるプリントについては後日再配布はされませんので、各自で補うこと。

心理

科 目 名

担 当 者 名

心理学基礎実験

ありみつ 有光
 こうき 興記
 まじま 間島
 なとり 名取
 こうき 興記
 ひでとし 英俊
 しほ 志保
 すずき 鈴木
 さとう 佐藤
 なかと 仲渡
 つねもと 常元
 ままはる 理晴
 えみ 江美

講義のねらい

現代心理学は実験という方法を取り入れることにより、飛躍的に発展してきた。言葉をかえて言えば、現代心理学の主要な部分は実験によって得られた知識によって成り立っていると、いっても過言ではない。従って、心理学を学ぶものは、どのような領域に関心があるものでも、必ず実験について十分習熟していることが求められる。

本実習は、心理学の各領域から5つの代表的実験を選び、実験デザイン、実施方法、結果の処理法等を実習を通して身につけることを目的とする。さらに、実験レポートの作成方法について詳しく指導する。

講義の内容・授業スケジュール

ミューラー・リエル錯視 暗記学習 心的回転
 鏡映描写 好悪判断

履修上の留意点

実習はグループ単位で実施するので、遅刻・欠席をしないこと。

成績評価の方法

出席状況（遅刻は2回で1回欠席になる）、5単元分の実験レポート、被験者経験の結果をあわせて総合的に評価する。なお、成績評価についてはオリエンテーションの時間に詳しく説明する。

教 科 書

心理学研究室編の『心理学基礎実験テキスト』を配布する。

参 考 書 等

日本心理学会編『執筆・投稿の手びき2005』を配布する。

講義のねらい

現代の科学的心理学の知識は、思索や理論的考察によって導き出されたものではなく、具体的な実証的データの積み重ねによって成り立っている。特定の研究テーマに従って推進される1つ1つの研究の単位をリサーチといい、リサーチは、問題(目的)の設定—特定の研究デザインによるデータの収集—データの分析—結論づけ—結果の公表という一連のステップによって成り立っている。

この科目は、すでに1年間心理学を学んできた学生に心理学におけるリサーチとはどのようなものであるかを提示し、3年次以降に履修する心理学実験演習I～IX、心理学特殊演習、演習、卒業論文へと発展させていくように設置されたものである。

心理学の研究には心理学の専門用語についての最低限の知識が必要である。そこで本講義のサイドワークとして、1年間を通じて1,000語の心理学用語(日本語と英語)を学習するプログラムを取り入れている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 心理学研究法総論

- ① イントロダクション：心理学におけるさまざまなアプローチ
- ② 心理学の対象と方法：歴史の変遷
- ③ 科学的研究のプロセス：データ収集と処理の基本

2. 文献検索法

- ① 文献にはどのようなものがあるか：研究の公表方法—学会発表と論文、学術論文と紀要・ジャーナル(国内および海外)のいろいろ
- ② 文献をどのように手に入れるか：Psychological Abstractの利用法、データベースの利用・図書館の利用方法
- ③ 引用文献のはたらき：引用法
- ④ 文献検索の実際(実習)

3. 観察法

- ① 観察法の種類
- ② 直接観察の手順：問題の設定と標的行動の選択・標的行動の定義、反応次元の選択(頻度・持続時間・潜時・強度・トポグラフィ)
- ③ 直接観察による行動測定：事象記録・持続時間の記録・潜時記録・間隔記録・瞬時タイムサンプリング
- ④ 信頼性と妥当性
- ⑤ 観察法の実際(実習)

4. 実験法

- ① 実験の目的：科学的心理学の目的・実験と観察の相違
- ② 実験の種類：要因決定実験と関数決定実験
- ③ 行動をコントロールしている要因：実験変数と剰余変数、実験変数の統制・剰余変数の統制・個体変数の統制、独立変数と従属変数
- ④ 実験デザイン
 - 1) 多標本実験デザイン：単一グループ実験デザイン・独立2群実験デザイン・関連2群実験デザイン・多重処理デザイン
 - 2) 要因計画法と分散分析の実際(実習)
 - 3) 単一被験体法：ABAデザイン・多層ベースラインデザイン・条件交替デザイン・基準変更デザイン

5. テスト理論

- ① 項目反応理論と内的整合性
- ② 心理テスト作成の方法

6. 質問紙調査

成績評価の方法

出席と定期試験とレポート(授業期間中に3回提出)による総合評価

教科書

使用しない。適宜、プリントを配布する。

科目名**担当者名**

禅心理学

茅原 正

講義のねらい

複雑で、ストレスに満ちた現代、瞑想に関する科学的研究がさかんに行われ、身心に及ぼす良好なる効果が数多く発表されている。本学における「禅の心理学的研究」の成果は、国内のみならず国際的にも高く評価されている。心理学科の3年次必修専門科目としての「禅心理学」は、建学の精神を活かすものであり、禅の精神によって培われた、心豊かな「行学一如」の人材の育成を目指す、他大学には例をみない本学の特色である。

本講義では、坐禅を主とする禅の心理生理学的研究の歴史、および研究の成果について概観するとともに、実験的課題と展望、禅の心理論理、唯識の心理学などについても考察する。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、以下のようなテーマにそって、授業を進めるつもりである。

- ・東洋の心理学の特質
- ・禅と心理学
- ・東洋的行法の研究－日本－
- ・東洋的行法の研究－外国－
- ・禅瞑想の心理・生理学的研究
- ・調身・調息・調心
- ・「普勧坐禅儀」考
- ・禅とコトバ
- ・禅の心理論理
- ・「空」の立場
- ・「有時」－存在と時間－
- ・華嚴の世界観
- ・唯識の心理学

履修上の留意点

本講義は3年次の必修専門科目であるため、出席を重視する。

成績評価の方法

年度末の定期試験のほか、課題、講義への出席状況を考慮して、総合的に判定する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

秋重義治『禅の心理学』（法政大学出版局）
 春木・清水・水沼（監訳）『瞑想の心理学』（川島書店）
 児玉和夫（監訳）『瞑想の生理学』（日経サイエンス社）
 その他、参考文献、資料等については、講義の際、詳しく紹介する。

その他

授業は主として講義の形式で進めるが、OHP、プリント等により、理解しやすいように努めるつもりである。また、坐禅堂の使用が可能であれば、禅の精神を体得するという意味で、月に一度ぐらい坐禅の実習を行う予定である。

科目名	担当者名
心理学実験演習Ⅱ	深堀友覚

講義のねらい	2年次の心理学基礎実験の内容をさらに拡充し、心理学的研究方法の一連のプロセスを総合的に理解・習得することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	個人のパーソナリティを理解する上で必要な基礎知識、研究計画の組み方、そして分析の方法(多変量解析)を講義し、最終的には受講生オリジナルのパーソナリティ・テストの完成を目指す。しかし、受講生の状況(人数、理解度、その他)によっては内容を変更する可能性もある。
履修上の留意点	実験演習という科目の性質上、出席は重視する。
成績評価の方法	出席状況とレポートにより総合的に行う。
教科書	基本的には使用しないが、必要と思われる文献は授業内に随時紹介する。

科目名	担当者名
心理学実験演習Ⅲ	鈴木常元

講義のねらい	臨床心理学と関わる領域の研究に必要な技術の習得を目指す。実際に、実験やテストをおこなわないながら、心理学の研究方法を体験的に習得する。
講義の内容・授業スケジュール	臨床心理学の研究は、大きく、心理療法に関わるものと、心理アセスメントに関するものとに分けられる。これらの領域の基礎的な研究をおこなうにあたって必要な技術を、実習等を通して学ぶ。加えて、研究を遂行するにあたって必要となるデータ解析等の技術も身につける。
成績評価の方法	授業への出席、授業に取り組む姿勢によって評価する。

科目名	担当者名
心理学実験演習Ⅳ	佐藤理晴

講義のねらい	知覚研究においては、刺激の提示から、被験者の反応の記録、データの分析にいたるまでコンピュータが広く用いられている。本講では知覚研究に必要な技術の習得を目的とし、刺激のプログラミング、結果の分析、研究発表の資料作成など実習形式で行う。
講義の内容・授業スケジュール	前期はプログラミング言語(C++)、および実験に必要なハードウェア関連の知識について説明する。後期はいくつかの例題から研究テーマを選択し、実験計画から結果の分析、発表資料の作成までを実習形式で進め、年度末に期末試験として研究発表を行う。
履修上の留意点	コンピュータに関する予備知識は特に要求しないが、プログラミング、実験などの実習が中心となるため、課題として時間外に行う作業は多くなる。また本講は研究方法のみにテーマを絞っているため、他の感覚、知覚、認知心理学関連科目を併せて履修することを強く推奨する。
成績評価の方法	課題の提出状況、年度末の研究発表により評価する。
教科書	指定しない。
参考書等	授業中に随時紹介する。

科目名**担当者名****心理学実験演習V**おのこういち
小野浩一**講義のねらい**

心理学研究のプロセスを統一的に習得することを目的として、文献検索法、論文の読み方、実験デザインの組み方、実験の実施方法、結果のまとめ方（統計的検定法や多変量解析の学習を含む）、論文の書き方、口頭発表の仕方などを含めた総合的な実習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

実習テーマとしては「感覚による音楽や飲料の識別」、「不確実場面（ギャンブルのように予測が困難な場合）における人間の心理」、「フィールドにおける行動観察」、「性格テストの作り方」などを予定している。その他、試験的な試みとして、ゲーム形式を取り入れたグループワークを随時実施し、心理学を体験的に楽しく学ぶ方法について受講生と一緒に考えてみたい（現在考案中の例：懇親会での名刺交換をゲームにした「よろしくゲーム」、モバイル時代のコミュニケーションスキル向上ゲーム「ディレクション」、劇場型オペラント行動形成ゲーム「ザ・シェイピングショウ」、集団意志決定ゲーム「戦争と平和」など）。

成績評価の方法

出席・レポート・課題への取り組みなどにより総合的に評価する。

教科書

その都度配布する。

科目名**担当者名****心理学実験演習VI**がるべゆきひろ
軽部幸浩**講義のねらい**

本講義は、生理心理学的測定技法、機器の操作方法および資料の分析方法等についての学習を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

機器等はかなり整備されているが、受講生の数によっては、内容を一部変更することがあり得る。したがって、受講者が決定した後に、年間実習計画予定表を決定する。

履修上の留意点

精密機器を扱うことが多く、また危険防止のためにも細心の注意をして実験をおこなうこと。受講生をいくつかのグループに分け、各グループが異なる実験をおこなう。したがって、グループ編成のためにも初回の説明会には必ず出席すること。遅刻や欠席については厳しく指導する。

なお、内容は主として生理心理学的測定であるので、2年次までに生理心理学を受講した学生の履修が望ましい。

成績評価の方法

各実験終了後に提出されたレポートにより評価する。

参考書等

随時紹介する。

その他

実験データの分析・統計処理は、「MS-Excel」と「Excel統計」または、「SAS」、「SPSS」等の統計パッケージを使用しておこなう。そのため、数回程度は、実験室を離れコンピュータ教場で授業をおこなうことがある。

科目名	担当者名
心理学実験演習Ⅵ	間島英俊

講義のねらい	本演習は発達心理学領域における心理学的研究のプロセスを総合的に学ぶことを目的としています。
講義の内容・授業スケジュール	<p>受講者は研究上必要な文献検索、実験・調査計画、またそれに必要な実験器材の操作ならびに心理検査の習熟、結果と考察のまとめ方、論文の書き方、そしてプレゼンテーションの方法について実習します。</p> <p>実験テーマは発達に関することを予定していますが、受講者の希望があれば話し合いにて別のテーマの設定も考えています。</p>
履修上の留意点	初回の演習ガイダンスには出席して、この実験演習の説明をきいて履修を決定してください。
成績評価の方法	出席はもとより、真摯な研究態度、並びに年2回の研究発表（個人、グループ可）に対して評価がなされます。
参考書等	教材についてはその都度コピー等にて配布しますし、参考図書については演習内にて紹介します。

科目名	担当者名
心理学実験演習Ⅶ	有光興記

講義のねらい	臨床心理学（認知行動療法、応用行動分析）、社会心理学領域の基礎研究手法として、行動観察、行動分析、調査法、実験法などの研究手法について学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	<p>実験、調査を進める上で必要な手続きを学ぶ。文献検索、実験および調査実施、統計処理、レポート作成、発表などが含まれる。「行動観察と行動分析の実習」、「パーソナリティ尺度の開発」、「パーソナリティ尺度の妥当性検証実験」、「尺度を用いた認知療法の効果測定」を予定している。</p>
履修上の留意点	あらかじめ履修説明を聞いてから、履修してください。
成績評価の方法	受講態度、レポート、発表内容から総合的に評価する。
参考書等	適宜、紹介する。

心
理

科目名	担当者名
演習	ありみつこう 有光興記

講義のねらい

臨床心理学（認知行動療法、応用行動分析）、社会心理学領域の研究を実施し、卒業論文の完成を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. テーマ設定、2. 文献の収集、3. 研究計画の立案、4. 研究の実施、5. 研究結果の分析、6. 研究結果の報告および考察、7. 卒業論文の作成、8. 口頭発表を順に行う。そのために、演習中の指導および個別指導を行っていく。すべての段階で、発表を行い、質疑応答を通じて問題点、改善点を明確にして、より良い研究を目指す。

履修上の留意点

演習時間外に、卒業論文に関して面接時間をとることがある。

成績評価の方法

課題への取り組み、発表内容、研究への姿勢によって総合的に評価する。

参考書等

適宜、紹介する。

科目名	担当者名
演習	いばらぎひろこ 茨木博子

講義のねらい

本演習は、各受講生の研究テーマに沿った個別指導および演習形式を通して、論文を完成させることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

受講者は、①受講者自らの研究テーマに対する構想（特に研究計画、方法）を練る、②論文の構想に沿ったデータの収集、結果の整理と分析、考察、参考文献の収集を行なう、の手續きで論文を完成させるが、その際、論文の書き方のコツも含めた個別指導、演習形式による指導、助言を随時行なう。

履修上の留意点

自分の研究テーマに協力してくださる機関や人々に対して、感謝の気持ちを忘れないことが、論文作成に不可欠であり、そのことが限られた時間内で論文を仕上げる一つのコツである。

成績評価の方法

卒業論文作成に取り組む姿勢（出席も含む）によって評価する。

科目名	担当者名
演習	おのこういち 小野浩一

講義のねらい

受講者各自の卒論テーマに則した指導を行うと共に、行動分析学について学ぶ。行動分析学はスキナーによって始められたオペラント条件づけの研究に端を発するが、現在では基礎研究のみならず、応用行動分析として人間社会のさまざまな問題に取り組んでいる。本演習では、基本的文献を題材に関連する諸問題について議論する。
演習形式による行動分析学の学習と卒業論文の指導を平行して行う。

講義の内容・授業スケジュール

正規の演習の時間の他に各受講生と卒論テーマについての面接を随時行う。

成績評価の方法

出席と平常点によって評価する。

参考書等

以下の学術雑誌を参照のこと
行動分析学研究
Journal of the Experimental Analysis of Behavior
Journal of Applied Behavior Analysis

科目名	担当者名
演習	かつ勝 ちか また てる てん 史

講義のねらい

卒業論文作成に必要な具体的な研究実施計画を立て、各自の生活時間を考慮に入れながら、実施可能なタイム・テーブルを作成し、できるだけ早期の実施に努める。

講義の内容・授業スケジュール

受講者各自の研究テーマに即して計画的に指導を行う。
①研究テーマの確認、②文献研究状況の確認、③研究方法の確認、④得られた資料の分析の観点・方法の確認、⑤考察の視点の確認などのそれぞれのステップの確認をしながら、卒業論文の完成をめざす。それぞれのステップ毎に中間報告の機会を設ける。

履修上の留意点

正規の演習時間外にも、必要に応じて、面接及びe-mailでの相談に応じるので積極的に取り組まれない。

成績評価の方法

各ステップでの中間報告(リポート)、出席状況、取り組みの姿勢などにより評価する。

科目名	担当者名
演習	ささき ゆうじ きよ 二

講義のねらい

受講生各自のテーマに合わせた卒業研究・卒業論文作成に必要な指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

最初に受講生各自が、関心の強い研究テーマを発表し、そのテーマに適した研究方法(調査・実験)や具体的な実践手続きなどについて指導する。研究の「構想発表」「中間発表」の時間を設ける。

成績評価の方法

出席と発表内容、発言などによって評価する。

科目名	担当者名
演習	すずき つねもと 鈴木 常元

講義のねらい

受講生が各自の関心のあるテーマについて、卒業論文を作成する。そのために、受講生は、研究の進行状況について定期的に発表を行い、指導を受けることになる。

講義の内容・授業スケジュール

研究テーマを決定し、それに関する文献を収集・整理し、研究計画を立てる。それに基づいて、実験あるいは調査をおこない、収集したデータを分析する。これらの成果をまとめ、卒業論文を作成する。また、プレゼンテーションの方法についても身につける。

履修上の留意点

授業時間以外にも、研究指導がおこなわれることがある。

成績評価の方法

授業への出席と授業へ取り組む姿勢によって評価する。

科目名	担当者名
演習	谷口 泰富

講義のねらい

本講は、主として卒業論文作成に関する詳細な実験計画やデータの分析方法等について解説し、各自が自分の研究を心理学の各領域の中に位置づけられるようにすることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

学生一人一人の研究テーマに沿った形で計画的に指導を行う。従って、当該時間内だけの指導では不十分であるので学生と相談の上、別の時間割を作成しそこで個別的に指導を行う。

履修上の留意点

研究テーマにより個別指導が中心となる。従って、週2回以上の指導を受けることが義務となる。学生の人数によっては、早朝や深夜の指導もあり得るので留意されたい。また、遅刻や欠席は厳に慎まれたい。なお、ゼミ決定後、『卒業論文作成カルテ』を配布する。このカルテに従って進行すれば論文が完成する仕組みになっている。

成績評価の方法

課題報告（毎週）の内容、レポート、卒業論文の質的側面から評価する。

科目名	担当者名
演習	茅原 正

講義のねらい

卒業論文の作成指導を中心におこなう。各人のテーマに関わる問題点の指摘や研究のすすめ方、論文の書き方など、具体的な指導をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、テーマの決定・参考文献・資料の収集・分析、実験・調査の計画、論文の構成など、文献研究を中心に、問題点を整理して構想を練る。
後期は、実験・調査のデータ整理、結果の報告、論文構成の決定、執筆というスケジュールで、各自が研究の成果を検討・考察して中間報告をおこない、発表・討論を経て論文の完成を目指す。

履修上の留意点

前期は、卒業論文の構想について文献的研究中心の中間発表。
後期は、随時、関連する論文の内容の紹介や、実験・調査の結果報告や卒論の具体的内容について発表・議論してもらう。

成績評価の方法

出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。

科目名	担当者名
演習	間島 英俊

講義のねらい

本演習は卒業論文の作成を最終目的としています。したがって、論題(卒論テーマの決定)、問題(文献研究)、目的・方法(研究計画とその実施)、結果・考察(研究結果の分析、議論)のスケジュールにそって、指導がなされます。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には受講者各自の研究テーマにそって、上述のスケジュールに則った具体的な指導が個別になされます。演習という性格から、受講者は、1. 卒論テーマの設定 2. 文献研究法 3. 研究計画および実施 4. 研究結果の考察、議論についてゼミでの発表、意見、討論をとおしてお互いの研究向上を目指すこととなります。

履修上の留意点

演習時間内では、上述の1～4の発表、意見、討論ならびに個別指導がなされますが、個人の研究の進捗状況によっては演習時間外も指導します。

成績評価の方法

出席はもとより演習における真摯な研究態度に対して評価がなされます。

心
理

科目名**担当者名**

環境心理学

おおのりゅうぞう
大野隆造**講義のねらい**

人間は環境を操作・改変し、逆に環境は人間の心理・行動あるいは発達に影響を及ぼす。この人間と環境との相互作用を理解することは、住みよい建築・都市を構想する上で重要である。本講義では、人が環境をどのように知覚し、判断し、記憶し、評価しているか、また対人的な社会行動において環境がどのように影響するかなどについて講じる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 環境心理学の沿革
- 2 環境心理学と環境デザイン
- 3 環境知覚の特性
- 4 環境認知とイメージ
- 5 小空間のエコロジー：テリトリー・プライバシー
- 6 環境デザインと防犯性
- 7 子ども、老人、ハンディキャップトの知覚と行動
- 8 環境の伝える意味
- 9 環境知覚・認知の文化差
- 10 環境心理を捉える調査・研究方法
- 11 環境を記述する方法・環境シミュレーション
- 12 環境設計のデザインガイドライン

成績評価の方法

講義中に課す演習レポートおよび期末試験により評価

参考書等

日本建築学会編『人間環境学—よりよい環境デザインへ—』（朝倉書店）1998
中島・大野編『人間行動学講座第3巻「すまう」』（朝倉書店）1996

科目名**担当者名**

児童心理学

よこやまつよし
横山剛**講義のねらい**

人間の心身の形態や機能の変化の過程、それに伴う行動の体制化の様相、変化を支配する規制や条件などを考えていく。授業では、年令的に全生涯を見通しながら、受胎から学童期を主に扱う。具体的には、各段階の、身体・運動、知覚・認知、言語、記憶、思考、情緒・パーソナリティ、社会性の発達を概説していく。また、精神保健・臨床心理の知見も含めてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

（詳細な講義スケジュールについては、最初の授業に提示する）。

履修上の留意点

授業中、受講者に質問したり、感じたことなどを書いてもらうことを予定しています。履修しようとする方は第一回から必ず出席し、教科書を持参し積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点（小レポート）＋夏季レポート＋年度末定期試験

教科書

山内宏太郎編『人間の発達を考える 上』（北樹出版）

その他

プリント資料・最近の学会誌論文・VTR・スライドも使用する。

科目名

産業心理学

担当者名

小野公一

講義のねらい

人々が、企業やその他の組織に所属し働く時遭遇するさまざまな問題について、心理学的にアプローチする。具体的には、組織が目的達成のために仕事を設計し、それを担う働く人々を募集し、仕事の結果や態度を評価し、育成するというような制度的な面や、上司が部下に仕事を割り振り、遂行させ、同時に、集団としての職場をまとめ、部下を育成したりするという運用面について、心理学との関わりを学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、産業心理学の歴史を見た後、人事心理学について講義する。具体的には、職務分析と職務設計（2回）、募集・採用、配置・異動、キャリア発達と教育訓練（2回）、メンター、人事評価（2回）などが中心となる。

後期は、実際の日常の仕事の中における上司一部下関係を中心に見ていく。具体的には、動機づけと職務態度（3回）、リーダーシップ（4回）、メンタルヘルス（2回）：仕事ストレスとコーピング・企業の対応、などが中心になり、最後にまとめを行う。

履修上の留意点

本講義の内容は、企業活動と心理学の接点を見るものであるもので、日常的に、ニュースなどで、企業の人事制度、新しい製品やサービス、不祥事、事故・災害などについて関心を払っておいてほしい。

成績評価の方法

最終試験5割、中間試験4割、小テストや出席確認と任意のレポート提出1割の合計で評価する。

教科書

小野公一『“ひと”の視点からみた人事管理』（白桃書房）1997
馬場昌雄・馬場房子監著『産業・組織心理学』（白桃書房）2005

参考書等

小野公一『キャリア発達におけるメンターの役割』（白桃書房）2003年

科目名

老年心理学

担当者名

中里克治

講義のねらい

老年期の心理を理解することにある。老年期は衰退の時期と考えられてきたが、成長の時期でもある。また、正常な加齢（老化）と病的な加齢を区別することも大切である。生涯発達の完成期である老年期の発達を生涯発達の枠組みの中で学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期

第1-2回：高齢社会と老年心理学

第3-4回：高齢者の健康、寿命とライフスタイル

第5-7回：高齢者の痴呆

第8-9回：高齢者精神疾患と自殺

第10-11回：高齢者の心身の変化

第12-13回：高齢者の知能、創造性、知恵の発達

第14-15回：高齢者のパーソナリティ：エリクソンを中心に

後期

第16-18回：高齢者のパーソナリティ：最近の知見を中心に

第19-21回：適応とサクセスフルエイジング

第22-23回：高齢者の家族と社会生活

第24-26回：高齢者と死

第27-30回：高齢者に対する心理的援助

成績評価の方法

後期末に試験を行う。随時レポート提出も求める。

教科書

下仲順子・中里克治編『高齢者心理学』（建帛社）2004年

その他

授業は講義形式。必要に応じプリントを配布。

科 目 名**担 当 者 名**

宗教心理学

葛 西 賢 太
かき い けん た**講義のねらい**

本講義がめざすのは、ユング心理学の入門と、それを通じての現代人の心性の理解である。ユング派のテキスト『人間と象徴』の読解が中心となる。

講義のみではなく、表現とコミュニケーションの技術を学ぶ場ともしたい。テキストを一節ずつ音読して、**要約**やコメントを反復することで、語彙や基本理論をつかんでもらうことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

ユングの生涯と思想：複数の伝記、家庭事情、フロイトとの出会いと別れ、等。
ユング心理学の広がり：ポストユングアン、連想検査など他領域への応用、等。
テキスト『人間と象徴』の読解

履修上の留意点

多くの資料の読み込みを課すので、登録をする場合はそのつもりで是非がんばってもらいたい。

成績評価の方法

平常点+試験。出席を考慮し、科目運営への発言の貢献度・質を特に評価する。
出席3割、平常点4割、試験3割。
平常点には講義へのコメントも加味する（後述）。

教 科 書

C. G. ユング編『人間と象徴』（河出書房新社）1975年

参 考 書 等

H. A. ウィルマー『プラクティカル・ユング』上下（鳥影社）1993-1994年
A. ヤッフエ『ユング自伝—思い出・夢・夢想』1・2（みすず書房）1972-73年
河合隼雄『ユング心理学入門』（培風館）1967年

そ の 他

教科書をゼミ形式で読みながら討論する。毎回講義形式の解説がある。講義後にe-メールによるフィードバックや質問を歓迎する。よい内容であれば成績評価に加える。

科目名

担当者名

健康心理学

稲松 信雄

講義のねらい

従来の生理学的ストレス理論を出発として生理心理学の基礎、神経系の概略を学び、W.B.Cannon & H.Selyeの学説を理解し、内分泌、免疫系に多少言及する。Psychological Stressを中心にStressor Agentsの認知、評価の問題を扱い、それと最近のトピックである精神神経免疫学(Psychoneuroimmunology)を関係づけて、最後にpsychoの部分の感情、に焦点をあて、無力性の情動(Asthenic Emotion)の統御の必要性を学習し、感情と密接な動機や人格、発達についても健康の面から言及する。後期は認知の変容、動機の階層、積極的思考・感情の養成や、V. E. FranklやNorman CousinsのPositive Thinkingの考え方、最後に長寿高齢者の良き適応例を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義内容は以下のような項目となる
- ①序：健康心理学について精神活動と心の重要性
 - ②精神活動と身体反応との関係
 - ③心理学的ストレスと生理学的ストレス
 - ④ストレスと情緒反応
 - ⑤情緒の生理学的機構
 - ⑥情緒の分類と感情の統御
 - ⑦情緒と精神神経免疫学
 - ⑧情緒と欲求との関係
 - ⑨感情&ストレスと健康の総括
 - ⑩積極思考の涵養
 - ⑪健康問題を扱っている著名な精神科医、ジャーナリストの思考を学ぶ
 - ⑫長寿高齢者の良き適応を学習

履修上の留意点

外国語を英語で受験した人が望ましい、英文の補助プリントを使用する時がある。

成績評価の方法

成績は年二回のレポートと出席を加味する。(但：履修者が50名を超えた場合には授業時間の前期・後期の最終日に試験を実施する。)

教科書

教科書として『健康心理学：資料集』（東邦大学医学部心理学研究室編）を使用する（授業開始時に配布：実費徴収）、その他随時補助プリントを用いる。

参考書等

参考書はRober J. Gatchel et al. *An Introduction to HEALTH PSYCHOLOGY-Second Edition* McGraw-, Inc.)

その他

講義を中心とするが、ビデオとPower Pointを使用する。

科目名

担当者名

比較行動学

幸島 和子

講義のねらい

カルガモの一家はなぜ行列を作って歩くのだろうか。ウグイスはなぜ春にさえずるのだろうか。どうして雄と雌がいるのだろうか。ゴクラクチョウの雄はなぜ美しいのだろうか。私達はなぜ日本語が話せるのだろうか。赤ちゃんはなぜかわいいのだろうか。比較行動・エソロジーはこのような問いに生物学の立場から答えようとする学問である。もちろん、人間もその研究対象である。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、主に行動研究の歴史に加えて、行動のしくみやはたらき、発達等に関する行動学の基礎的概念の理解を目的とした講義を行う。人の行動についても言及する予定である。

後期には、動物の環境認識やコミュニケーションに加え、行動が動物の生存にどう役立っているかという視点に立って、採餌行動や配偶行動や利他的な行動の進化などについて講義する。

行動という生物の一つの形質に焦点をあてた講義であるがこれをとおして、生物の進化そして、動物の多様性、ヒトの特徴などに対する生物学的な見方を身につけてもらいたい。

講義内容がより具体的にイメージできるよう、できるだけ多くの映像資料（ビデオ、スライド、OHP）を用い、動物達の野外での生き方を提示しながら講義を進める予定である。また、講義に加えてマン・ウォッチング（人間の行動観察）実習を行う予定である。

成績評価の方法

講義の進行にあわせて与えるテーマについての簡単なレポートと期末試験の得点に基づいて評価する。

参考書等

随時紹介する。

心
理

科目名	担当者名
精神医学	黄 ミンシュク

講義のねらい	精神疾患を生物学的精神医学の観点から理解することが講義のねらいである。将来、心理系・福祉系の職務に携わる者に必要と思われる臨床上の知識を学習・理解することを主な目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期は機能性（内因性）精神病、神経症性障害の理解と精神科診断学の方法論（総論）を主な授業内容とする。後期は中毒性精神病、痴呆などの脳器質的疾患、人格障害、児童・思春期精神障害などを主な授業内容とする。
成績評価の方法	筆記試験（本試験）により成績評価をする。
教科書	特に定めない。
参考書等	特に定めない。

科目名	担当者名
心理学特講 I	佐々木 雄二

講義のねらい	本講では、心理学の中でも、臨床系心理学である「臨床心理学」、「健康心理学」や、心理学近接領域である「心身医学」、「精神医学」などの中から、カウンセリングやサイコセラピーを中心に上げて学ぶ。担当教員は、心理臨床実践の共通基盤として役立つ「自律訓練法」の臨床現場での実践と研究に当たってきたので、その内容を中核にすえて講義と実習をすすめる予定である。
講義の内容・授業スケジュール	前期：①カウンセリング・サイコセラピーの定義、②カウンセリング・サイコセラピーの臨床心理学における位置づけ、③その種類と分類、④カウンセリング・サイコセラピーの中での自律訓練法の位置づけ、⑤自律訓練法の定義と種類、⑥自律訓練法の標準練習、⑦自律訓練法の特殊練習、などについて講義する。 後期：①カウンセリング・サイコセラピー、とくに自律訓練法を中心にしたケースの事例・症例を提示する。②自律訓練法の実習を行う。
履修上の留意点	講義形式の受領の際も、随時、質疑応答を入れて進める予定である。実習は、段階を踏んで進めるので、なるべく休まないで受講するように心がける。
成績評価の方法	試験、実習レポートおよび出席日数によって、総合的に評価する。
教科書	佐々木雄二『自律訓練法の実際』（創元社）1,500円（税込）

科目名	担当者名
心理学特講Ⅱ	すずき じゅんいち 鈴木 順一

講義のねらい

心理臨床の分野で、集団の持っている相互の啓発・成長・治療効果などを活用したグループ・アプローチがある。第1の潮流を精神分析、第2の潮流を行動主義として、第3の潮流と言われている人間性心理学や、第4の潮流とも言われているトランス・パーソナル心理学などを背景にするワークショップで、特に盛んに実施されています。本講座では、エンカウンター・グループ、サイコ・ドラマ、交流分析、ゲシュタルト療法などの成長志向の強い集団心理療法を、ワークショップ（体験学習）形式で学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

構成的エンカウンターのリレーション（人間関係）づくりから始め、メンバー相互の人間関係を深めながら、自己内及び自他のコミュニケーションと気づきを促進する技法を体験的に学んでいきます。

履修上の留意点

体験的学習という性格上、出席して参加体験することが必要です。

成績評価の方法

出席点とレポートなどの平常点で評価します。

参考書等

必要に応じて紹介します。

その他

講義形式の概念学習ばかりに慣らされてしまっている人にとっては、体験学習の全体参加性にとまどいと面白さを実感できるでしょうし、その重要性にも気づかれるでしょう。欠席しがちな人は、履修しないで下さい。

授業日程：8月1日～8月8日、1～5時限（土、日除く）

科目名	担当者名
心理学特講Ⅲ	はぎわら しのぶ 萩原 滋

講義のねらい

「社会的認知とコミュニケーション」をテーマに社会心理学とメディア研究の領域で蓄積された研究成果を幅広く紹介したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、認知的一貫性理論や帰属理論などの枠組みと「社会的認知」に関する研究成果を概観する。後期は対人コミュニケーションからマスコミュニケーションまで幅広く「コミュニケーション過程」を取り上げ、社会心理学的研究の成果を新旧取り混ぜて紹介する。

履修上の留意点

昨年度まで「社会心理学」というタイトルで講義した内容と重複する部分が多いので、注意されたい。

成績評価の方法

前期と後期の終了時に筆記試験を行う予定。

教科書

使用しない。

参考書等

図書館書誌検索画面へ
 萩原滋・国広陽子編著（2004）『テレビと外国イメージメディアーステレオタイプング研究』（勁草書房）3,500円
 萩原滋編著『変容するメディアとニュース報道—テレビニュースの社会心理学』（丸善）2,400円

その他

履修者数に応じて講義内容や形式を調整する。

心
理

科目名

担当者名

心理検査法 I

にしわき
西脇

じゅん
淳

さとう
佐藤

なおよ
尚代

講義のねらい

本講義では、心理検査法のうち、前期には〈知能検査とその関連領域〉を、後期には〈投影法心理検査〉を学ぶ。

前期の〈知能検査とその関連領域〉では、これらの検査を理解するために検査の基礎となる知能や発達観について理解を深め、検査の基礎的な流れに触れることを目的とする。その上で、検査の有用性と限界、利用の注意点など各検査の特徴と共に被検査者の立場についても学ぶ機会とする。

後期は、〈投影法心理検査〉の基本的な心構えと基礎知識を身につけることが第1の目標である。投影法検査につきものの煩雑な施行手続きや、難解ともいわれる解釈プロセスには、それぞれに意味がある。それらの基礎を身に付けながら、被検者に利益をもたらす検査施行の心構えを学ぶ。

前後期共に、授業は、講師による講義に加えて、体験学習（施行実習）やグループ討論・与えられた課題に自分なりのコメントをまとめる、などの形式で進むので主体的な参画が求められる。

講義の内容・
授業スケジュール

（前期）

1. 心理アセスメントについて、発達・知能検査の概要
 2. 発達・知能検査の自己学習（グループ討議と発表）
 3. 知能検査の施行について ～ 施行に際しての注意事項や手続きの実際、演習
 4. 発達・知能検査の実際 ～ 検査の目的と検査バッテリー、検査の見方・まとめ方
1. 心理アセスメントとは（投影法の位置付け）
 2. 各種投影法心理検査の実際（成り立ち、背景理論、適用、施行実習）
 3. 心理アセスメントにおいて大切なこと

履修上の留意点

履修希望者は各期の初日に必ず出席のこと。用具の準備は勿論のこと、受講生同士が検査者＝被検査者の役割を交換して行う事も多く、時間を遵守し休まずに出席することを前提とする。やむなく欠席した場合は、教員に相談の上個人の責任において実習や提出物に関するフォローを各自が行なうこと。また、検査法に対して幅広い基礎知識を身につけたい者は、「心理検査法2」の授業も併せて履修することが望ましい。（両講義を同時に履修しても可。異なる年度にどちらから履修しても可。）

成績評価の方法

出席を重視する。前期・後期とも、提出物（感想文、授業ノート、レポートなど）を課する。学年末に定期試験を行なう。

教科書

必要に応じて指示する。

参考書等

必要に応じて指示する。

講義のねらい

臨床心理学の中で重要な位置を占める「心理検査」の対象は、人の性格、情緒性、精神発達状態、知能、人間関係、病理性など様々で、各々の検査の理論的背景や実施方法は異なる。本講義では、心理検査法のうち、前期には神経心理学的検査、作業検査、質問紙法検査の一部を、後期には、職業興味・適正検査、質問紙法検査を体験し、各検査の理論的背景の理解と実施、採点、解釈などを学ぶ。

また、臨床現場での心理検査実施上の心構え、心理検査とは何か、心理検査の妥当性、信頼性、実用性などについても可能な範囲で取り扱う。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) ベンダーゲシュタルト、ベントンの、内田クレペリン、Y-G、TEG、CMI、GHQなどを学ぶ。

(後期) MPI、MMPI、MAS、STAI、EPPS、NEO、POMS、VPIなどを学ぶ。

履修上の留意点

(学生が受講する前に踏まえておくべき点)

前期、後期の授業初日に、授業の進め方や注意事項、成績評価についての説明を行う。履修希望者は各期の初日に必ず出席のこと。

実習では、受講生同士が検査者、被検査者の役割を交換して行うので、休まずに出席することを前提とする。やむなく欠席した場合には、個人の責任において実習や提出物に関するフォローを各自が行うこと。

また、本講義では、各領域にわたる心理検査全般を扱っていない。検査法に対して幅広い基礎知識を身につけたい者は、「心理検査法Ⅰ」の授業も履修することが望ましい(両講義を同時に履修しても可。異なる年度にどちらから履修しても可)。

成績評価の方法

出席、授業態度を重視する。前記、後期とも、学期末にレポート提出を課する。

教科書

講義において指示する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

(授業方法—講義形式、ゼミ形式、プリント配布、レジュメ配布等)：心理検査の理論的背景、実施、採点、解釈を発表形式で学び、グループ討議を行う予定である。

科目名	担当者名
カウンセリング	いばら ぎ ひろ こ 茨 木 博 子

講義のねらい	<p>カウンセリングとは、とすれば悩みや苦しみから目をそむけようとする人が、その悩みや苦しみに立ち向かい、自ら立ち直っていけるよう援助する心理面接である。その基盤として、臨床心理学、発達心理学などの理論や知識が必要である。</p> <p>そこで本講義では、前期にカウンセリングのための理解、基礎知識、技法を講義し、後期は、ロールプレイングによりカウンセリング場面を体験する。それによって他者を受容し理解するとはどういうことかを学習する。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>前期Ⅰカウンセリングとは</p> <p>Ⅱカウンセリングのための基礎理論、基礎知識</p> <p>Ⅲカウンセリング技法</p> <p>後期Ⅳビデオ学習</p> <p>Ⅴロールプレイングによる体験学習とレビュー</p>
履修上の留意点	出席、授業態度を重視する。
成績評価の方法	出席日数、授業へ取り組み姿勢、定期試験で総合的に評価する。
教科書	必要に応じてプリントを配布。
参考書等	<p>河合隼雄『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）</p> <p>渡辺三枝子『カウンセリング心理学』（ナカニシヤ出版）</p> <p>福尾武人編『現代の臨床心理学』（学術図書出版社）</p>

科目名	担当者名
情報処理Ⅰ	なか まる しげる 中 丸 茂

講義のねらい	<p>現在、心理学を研究するにあたって、論文作成や心理学の実験制御のためにコンピュータの操作は「必要な技能」となっている。本コンピュータ実習では、VB（Visual Basic）を使って実験制御に必要な技術を習得することを目的とする。後期には、BASIC、FORTRAN、COBOL、LOGOなどのコンピュータ言語の実習も行なう。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>前期：VBA・VBの基本的なプログラミングの技術習得を目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. MS-WORD：MS-EXCEL VBA 2. VBの基本プログラミング 3. 心理統計のプログラミングを作ってみよう <p>後期：VBを使って心理学の実験プログラミングの技術習得を目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グラフィックデータの取り扱い 2. 時間制御 3. アプリケーションソフトの利用方法 4. 心理学実験のプログラムを作ってみよう
履修上の留意点	自主性、積極性を重んじる。
成績評価の方法	<p>下記2つの課題により評価する</p> <p>前期：オリジナルの心理統計プログラムの作成</p> <p>後期：オリジナル心理学実験のプログラムの作成 （マニュアルの作成を含む）</p>
教科書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 『30時間でマスター Visual Basic』（実務出版） 2. 『はじめてのVisual Basic6.0 グラフィックス&ゲームプログラミング』（技術評論社）
参考書等	<p>『Visual Basic6.0 パーフェクトマスター』（秀和システム）</p> <p>池谷ら『2001Visual Basic 逆引き大全 500の極意』（秀和システム）</p>

講義のねらい

本講義では、コンピュータ実習などを通じて身に付けたコンピュータ・リテラシーを十分に活用し、情報処理に関するより深い理解とより高度な技術の習得を目的とする。コンピュータを使ったデータ解析を中心に行い、コンピュータを用いて卒業論文レベルの実験データの分析が独力で可能となることをめざす。単に統計パッケージの使い方をマスターするのではなく、統計的手法の基本を含めて学習する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義形式に加え、主に実習形式で行う。1つのテーマに1から5時限をあて、毎回課題の提出を求める。

今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・主にPC-SASを利用しての統計処理および分析方法の理解
データ解析と統計的手法の基礎
(基本統計量、相関と回帰、仮説検定、多変量解析の基礎)
PS-SASの操作方法の理解
SASプログラムの書き方
他のアプリケーションとの連携(データハンドリング)
データ取得から分析までの総合演習
- ・成果の発表や公開に関すること(時間的に可能な場合に実施する)
コンピュータを使ったプレゼンテーション
Webによる情報公開手法(HTML入門、ファイル転送など)

履修上の留意点

コンピュータ実習の単位を習得していること、又は、同等の知識を持っていること。
本講義は実習形式で行うことが多いので、2回以上続けて欠席すると授業の内容が理解できなくなるので注意を要する。

授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足するので、各自自習室等を利用した自習が必要となる。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、学期末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、履修人数、実習での応用力の程度によっては定期試験期間での期末試験を免除する場合がある。

教科書

- ・授業の中で配布する印刷教材。
- ・竹内 啓監修、市川伸一・大橋靖雄・岸本淳司・浜田知久馬著
『SASによるデータ解析入門 [第2版]』(東京大学出版会)

参考書等

- ・参考書については、授業中に適宜紹介する
- ・コンピュータ実習で使用した教材
- ・心理統計学で使用した教科書や教材

その他

授業内容から、本授業は3年次に受講することをお勧めする。

科目名**担当者名**

宗教人類学

矢野秀武

講義のねらい

宗教に関わる諸現象を理解しようとする場合、思想や主張だけを対象とするのでは、ときに十分な理解に到達できず、誤解を引き起こすこともある。そのような問題を避けるためには、社会的背景や人々の行動様式・価値観などの文化的背景にまで踏み込んで、思想や主張を理解することが必要となる。本講義では、そのような理解の仕方の一つとして、宗教人類学の視点を身につけてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、霊魂などの超自然的な存在の観念や、宗教的儀礼の実施がどのような背景を持っているのかについて、宗教人類学的なものの見方を紹介し、後期では、南アジア・東南アジアの宗教の事例をとりあげて、個々の具体的な地域の社会的・文化的背景と宗教実践の関係を理解する。

成績評価の方法

レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

教科書

なし。

参考書等

授業時に随時紹介する。

科目名**担当者名**

心理学特殊演習

ありみつこうき
有光興記**講義のねらい**

卒業論文の作成に向けて、文献検索、テーマ設定、研究計画など準備を進める。

講義の内容・授業スケジュール

臨床心理学（認知行動療法、応用行動分析）、社会心理学に関する論文を読み、その中で自分自身のテーマを見つけていく。まず、テーマを絞り、文献リストの中から発表したい論文を選び、発表する。その過程で、論文の書式、統計手法、最新の知見、発表の仕方について学び、卒業論文のテーマ設定を行い、研究計画を立てる。テーマが共通している人で、グループを組むこともあり得る。

履修上の留意点

演習時間外に、論文の読み方、テーマ設定などについて面接時間をとることがある。

成績評価の方法

課題の達成度、レポートの内容、発表内容から総合的に評価する。

参考書等

適宜、紹介する。

科目名	担当者名
心理学特殊演習	いばら ぎ ひろ こと 茨 木 博 子

講義のねらい

本演習は、卒業論文執筆に向けての準備段階として、受講者が日ごろ興味、関心のあるテーマを積極的に発表し、明確にしていくこと、およびそのために必要な手続きや参考文献を調べることが目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

特に臨床心理学領域で関心を抱いた独自の研究テーマを明確にし、そのテーマに沿った研究計画および方法を具体化していくための個別指導、演習形式の指導を行なう。その際、構想発表会、途中経過の口頭発表会などを開き、討論する他、文献講読も行なう。

履修上の留意点

卒業論文は、受講生にとって初めての研究であり、「自分は、このテーマで研究したい」と思うことが大切である。しかし、研究したいテーマが実際に研究できるとは限らないので、最初から無理と思われるテーマは避けてほしい。

成績評価の方法

出席、口頭発表、レポートなどによって総合的に評価する。

参考書等

研究に必要な参考書、文献を随時紹介する。

科目名	担当者名
心理学特殊演習	おの こう いち 小 野 浩 一

講義のねらい

本演習は、卒論2年間コースを希望する学生のための3年次の演習である。3年次においては各自テーマを決定し、そのテーマについて文献研究ならびに学習を行い、1回目のデータ収集（予備実験や予備調査）を行う。

演習では、各自の研究指導に加えて、心理学研究についての具体的手順を学ぶために最新の研究トピックスに関する文献の研究を行う。さらにテーマが近いもの同士でグループを作り、各グループが共通の問題について論文を調べ、議論した成果をさらに全体の場で討議するという形で進める予定である。

履修上の留意点

正規の演習の時間の他に各受講生と卒論テーマについての面接を随時行う。

成績評価の方法

出席・レポート・課題への取り組みなどにより総合的に評価する。

参考書等

必要に応じて授業中に紹介する

科目名**担当者名****心理学特殊演習**かつ また てる ちか
勝 俣 暎 史**講義のねらい**

この演習は、4年次必修の「演習」とともに、卒業論文作成に係わる授業である。従って、卒業論文に結合できるテーマの選択、卒業論文研究に着手するために必要な手続きなどを視野に入れながら、受講者各自の関心を発展させるため必要な作業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、①研究テーマの決め方、②研究課題の絞り方、③文献研究のあり方、などについてガイダンスを行った後、各自の研究テーマを決め、文献研究を行い、主要な研究論文について発表する機会を設定する。後期においては、卒業論文研究の実施計画を視野に入れながら、実施に必要な具体的な作業（事例研究に必要な準備、質問紙調査に必要な材料の準備など）を行う。

履修上の留意点

研究に取り組む楽しさを体験できるように、積極的な意欲をもって取り組んで欲しい。

成績評価の方法

年間を通じた取り組みの成果や姿勢を総合して評価する。

科目名**担当者名****心理学特殊演習**すず き つね もと
鈴 木 常 元**講義のねらい**

卒業論文作成のための準備をおこなう。受講生は、研究の進行状況について定期的に発表を行い、指導を受けることになる。

講義の内容・授業スケジュール

受講生は、各自で、研究テーマを決定し、それに基づき文献を収集・整理し、研究計画を立てる。そして、各受講生が発表した研究計画について全員で討論する。これを繰り返す中で、自らの研究計画を精緻化していく。最終的には、研究計画を完成させ、それに必要な材料を準備するところまで到達することが望ましい。

成績評価の方法

授業への出席、発表内容、他の受講生の発表に対する発言などを総合的に評価する。

科目名**担当者名****心理学特殊演習**たに ぐち やす とみ
谷 口 泰 富**講義のねらい**

4年次の卒業論文が必修となっているが、実証的研究の時間としては1年間では不十分である。そこで本講では、将来の卒業論文作成に関する基礎的問題を演習形式にて検討することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

本講では、学生が自分の関心のある研究領域を決定するための助言を行い、卒業論文作成のための文献講読や予備実験等についての指導を行う。

履修上の留意点

本講では、特に生理心理学や人格心理学の領域にしぼった形での指導が中心となるので、学生も予め自分の興味のある分野について考えておくことが望ましい。また、演習形式にて実施するので、課題やレポートの提出回数は多くなる。従って、そのための時間が充分であることが必要である。なお、遅刻や欠席については厳しく指導する。

成績評価の方法

研究報告書や課題レポート（一人一人異なる）により評価する。

参考書等

随時紹介する。

科目名

担当者名

心理学特殊演習

茅原 正

講義のねらい

3年次選択の「心理学特殊演習」は、対話討論方式の授業によるもので、4年次必修の「演習」に準ずる性格をもつ。したがって、この演習は卒業論文作成の準備段階としての役割を担っており、学生も2年間かけて卒論研究に取り組むことになるので、各人が、関心をもった自己のテーマをよく考慮した上で選択されたい。

講義の内容・
授業スケジュール

〔前期〕
意識の問題、心理的時間、瞑想の心理・生理、身心の統御、呼吸法などに関する欧文文献を輪読する。
各自がテーマとする分野に関する報告を義務付ける。特に、年度の後半においては、各自の研究成果の発表、質疑応答を通して問題点を認識し、4年次の卒論作成に備える。

成績評価の方法

出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。

教科書

R.E.Ornstein *The Psychology of Consciousness* の予定である。
プリント配布。

参考書等

参考書・文献等については、随時紹介する。

心
理

科目名

担当者名

心理学特殊演習

まじまひでとし
間島英俊

講義のねらい

本演習は4年次の卒業論文作成を2年間かけてじっくり構想をかさね、より質的に高い研究をするための3年次の演習であります。そのために、4年次の演習の「講義のねらい」に準拠します。

講義の内容・
授業スケジュール

4年次の「演習」の講義のねらい、講義内容・授業スケジュールをそのまま当てはめることができます。ただし、時間的には余裕がありますので、この演習では各自の研究テーマの設定のために、研究テーマの設定、研究計画および実施まで辿り着きたいと思います。

履修上の留意点

基本的には上述のように4年次の演習に結びつくことがねらいですが、履修届けの前に一応どんなことに興味をもって卒論として取りくみたいかを話し合いたいと思います。その上で、本演習を希望するのであれば履修していただきたいと思います。

成績評価の方法

出席、レポート、発表、討論等演習における真摯な研究態度に対して評価がなされます。

参考書等

参考書、文献等については随時紹介します。

科目名

担当者名

経済原論

すずきののぶえ
鈴木伸枝

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を解説します。また、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう問題演習を行います。

講義の内容・
授業スケジュール

マクロ経済学

1. 国民経済計算
2. 国民所得の決定
3. 資産市場と貨幣
4. IS-LM 分析
5. 消費と投資の理論
6. 失業とインフレーション
7. マクロ経済学論争
8. 経済成長理論
9. 国際金融・国際マクロ経済学

ミクロ経済学

1. 消費者理論
2. 生産者理論
3. 部分均衡分析
4. 一般均衡分析
5. 不完全競争市場
6. 市場の失敗
7. ゲーム理論

マクロ（途中まで）→ミクロ→マクロ（続き）の順でやります。

成績評価の方法

定期試験およびレポート。

教科書

W セミナー『公務員試験地方上級・国家 2 種バイブル 5 経済原論 1 ミクロ』早稲田経営出版
W セミナー『公務員試験地方上級・国家 2 種バイブル 6 経済原論 2 マクロ』早稲田経営出版

心
理

心

理

Ⅲ 他学部履修科目

履修科目
他学部

Ⅲ. 他学部履修科目

※文学部各学科が開設している他学部履修科目のシラバスは、前頁の専門教育科目のページに掲載しています。該当する科目名の頁数を下表から確認してください。

〔第1部・フレックスAで開講される他学部履修科目〕

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
禅学概論	文学部全学科	通年	4	石井修道	709
中国禅宗史	文学部全学科	通年	4	石井修道	709
日本禅宗史	文学部全学科	通年	4	佐藤秀孝	710
禅籍講読Ⅰ	文学部全学科	通年	4	程正	710
禅籍講読Ⅲ	文学部全学科	通年	4	岩永正晴	711
仏教概論	文学部（国文学科除く）	通年	4	休講	
インド仏教文化史	文学部全学科	通年	4	金沢篤	711
中国仏教文化史	文学部全学科	通年	4	永井政之	712
日本仏教文化史	文学部全学科	通年	4	袴谷憲昭	713
中国古典語初級	文学部全学科	通年	4	吉村誠	714
中国哲学史	文学部全学科	通年	4	前川亨	714
上代文学研究Ⅰ	文学部（国文学科除く）	通年	4	中嶋真也	338
中古文学研究Ⅰ	文学部（国文学科除く）	通年	4	松岡智之	339
中世文学研究Ⅰ	文学部（国文学科除く）	通年	4	櫻井陽子	340
近世文学研究Ⅰ	文学部（国文学科除く）	通年	4	近衛典子	341
近代文学研究Ⅰ	文学部（国文学科除く）	通年	4	榎本正樹	342
比較文学	文学部（国文・歴史学科除く）	通年	4	木村朗子	369
西洋思想史	文学部（国文・歴史学科除く）	通年	4	柴野博子	372
演劇概論	文学部（国文・歴史学科除く）	通年	4	森井直子	374
日本民俗学	文学部（国文・歴史学科除く）	通年	4	谷口貢	371
イギリス文学特講Ⅰ	文学部（英米文学科除く）	通年	4	石原孝哉	400
イギリス文学特講Ⅱ	文学部（英米文学科除く）	通年	4	高野正夫	400
イギリス文学特講Ⅲ	文学部（英米文学科除く）	通年	4	岡崎寿一郎	401
イギリス文学特講Ⅳ	文学部（英米文学科除く）	通年	4	川崎明子	401
イギリス文学特講Ⅴ	文学部（英米文学科除く）	通年	4	富士川義之	402
イギリス文学特講Ⅵ	文学部（英米文学科除く）	通年	4	丸小哲雄	403
アメリカ文学特講Ⅰ	文学部（英米文学科除く）	通年	4	東雄一郎	405
アメリカ文学特講Ⅲ	文学部（英米文学科除く）	通年	4	足田和人	406
演劇特講（イギリス・アメリカ）	文学部（英米文学科除く）	通年	4	落合和昭	404
時事英語	文学部（英米文学科除く）	通年	4	サンダース, L. P.	411
地理思想史	国文・英米文・歴史	通年	4	休講	
地形学	文学部（地理学科除く）	通年	4	平井幸弘	478
人口地理学	文学部（地理学科除く）	通年	4	山内昌和	482
文化地理学	文学部（地理学科除く）	通年	4	小田匡保	454
応用地理学	文学部（地理学科除く）	通年	4	高木正博	457
現代地理学特論	文学部（地理学科除く）	通年	4	佐藤哲夫	488
日本仏教史	文学部（歴史学科除く）	通年	4	松本信道	567
日本史特講Ⅶ〔近代〕	文学部（歴史学科除く）	通年	4	熊本史雄	549
東洋史特講Ⅲ〔近代史〕	文学部（歴史学科除く）	通年	4	杉山清彦	554
考古学特講Ⅲ	文学部（歴史学科除く）	通年	4	設楽博己	565

西洋文化史	文学部（歴史学科除く）	通年	4	石田恵子	568
哲学史	文学部（歴史学科除く）	通年	4	山口祐弘	571
産業・職業社会学	文学部（社会・心理学科除く）	通年	4	小川慎一	594
マス・コミュニケーション論	文学部（社会・心理学科除く）	通年	4	休講	
社会福祉発達史	文学部（社会学科除く）	通年	4	休講	
日本経済史	文学部全学科	通年	4	渡邊恵一	715
農業政策	文学部（心理学科除く）	通年	4	溝手芳計	716
日本経済論	文学部（社会・心理学科除く）	通年	4	小林正人	717
中国経済論	文学部全学科	通年	4	田中祥之	718
アメリカ経済論	文学部全学科	通年	4	瀬戸岡紘	719
EU統合論	文学部（心理学科除く）	半期	2	清水卓	720
現代西欧経済論	文学部（心理学科除く）	半期	2	清水卓	721
ロシア・東欧経済論	文学部全学科	通年	4	山縣弘志	722
財務会計論	文学部全学科	通年	4	小栗崇資	723
会計監査論	文学部全学科	通年	4	休講	
管理会計論	文学部全学科	通年	4	石川祐二	724
貿易論	文学部全学科	通年	4	古沢紘造	725
西洋法制史	文学部全学科	通年	4	北野かほる	726
英米法	文学部全学科	通年	4	北野かほる	727
経済法	文学部全学科	通年	4	若林亜里砂	728
国際政治学	文学部全学科	通年	4	小堀訓男	729
ヨーロッパ政治史	文学部全学科	通年	4	浦田早苗	730
地方自治法	文学部全学科	通年	4	富井幸雄	731
比較政治学	文学部全学科	通年	4	三竹直哉	732
現代国家論	文学部全学科	通年	4	大塚桂	733
比較憲法	文学部全学科	通年	4	館田昌子	734
経営労務論	文学部全学科	通年	4	鹿嶋秀晃	735
国際経営論	文学部全学科	通年	4	茂垣広志	736
商業史	文学部全学科	通年	4	山田勝	736
保険経営論	文学部全学科	通年	4	石名坂邦昭	737
財務会計論	文学部全学科	通年	4	渡邊恵一郎	738
経営分析論	文学部全学科	通年	4	片桐伸夫	739
税務会計論	文学部全学科	通年	4	高木克己	740
経営情報論	文学部全学科	通年	4	高井徹雄	741
情報理論	文学部全学科	通年	4	西村和夫	742
経営統計	文学部全学科	通年	4	長国強	743
医療宗教学	文学部（英米文学科除く）	半期	2	吉津宜英	744
医療経済学	文学部（英米文学科除く）	半期	2	永山くに子	745
メディア・コミュニケーション概論	文学部全学科	半期	2	西岡洋子	746
ネットワークコミュニケーション論	文学部全学科	半期	2	[19年度開講予定]	
情報メディア産業論Ⅰ	文学部全学科	半期	2	[19年度開講予定]	
比較メディア制度論	文学部全学科	半期	2	[19年度開講予定]	
都市とメディア	文学部全学科	半期	2	[19年度開講予定]	
グローバルアート政策論	文学部全学科	半期	2	[19年度開講予定]	
グローバル創造都市論	文学部全学科	半期	2	[19年度開講予定]	
情報保護と社会	文学部全学科	半期	2	[19年度開講予定]	
映像コンテンツ論	文学部全学科	半期	2	[20年度開講予定]	

他学部履修科目

メディアと知識論	文学部全学科	半期	2	[20年度開講予定]	
異文化コミュニケーション	文学部（国文学科除く）	通年	4	奥原淳子	747
女性史	文学部全学科	通年	4	休講	
文化概論	文学部全学科	通年	4	休講	
国文学特殊研究	文学部（英米文学科除く）	通年	4	休講	
古典戯曲演劇	文学部（英米文学科除く）	通年	4	休講	
メディアと表現	文学部全学科	通年	4	休講	
時事英語	文学部（国文・英米文学科除く）	半期	4	岡本誠	748

[フレックスBで開講される他学部履修科目]

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
商学総論	文学部全学科	通年	4	大吹勝男	749
社会思想史	文学部全学科	通年	4	阿部弘	750
国際経済論	文学部全学科	通年	4	休講	
商業政策	文学部全学科	通年	4	岩下弘	751
アジア経済論	文学部全学科	通年	4	鄭章淵	752
社会政策	文学部（社会学科除く）	通年	4	竹下睿騏	753
マーケティング	文学部全学科	通年	4	休講	
経営管理論	文学部全学科（歴史学科除く）	通年	4	休講	
中小企業論	文学部全学科	通年	4	休講	
人口論	文学部全学科	通年	4	休講	
労務管理論	文学部全学科	通年	4	休講	
法思想史	文学部全学科	通年	4	高橋洋城	754
日本法制史	文学部全学科	通年	4	茂野隆晴	755
西洋法制史	文学部全学科	通年	4	休講	
経済法	文学部全学科	通年	4	荒井登志夫	756
国際関係論	文学部全学科	通年	4	三船恵美	756
地方自治法	文学部全学科	通年	4	富井幸雄	757
国際紛争解決法	文学部全学科	通年	4	王志安	758
倒産処理法	文学部全学科	通年	4	鈴木貴博	759
アメリカ経営学	文学部全学科	通年	4	宮城徹	760
経営財務論	文学部全学科	通年	4	高田光明	761
経営組織論	文学部全学科	通年	4	休講	
公益企業論	文学部全学科	通年	4	菅谷実	762
管理会計論	文学部全学科	通年	4	休講	
会計監査論	文学部全学科	通年	4	阿部一人	763
日本経済論	文学部全学科	通年	4	休講	

〔フレックスAで開講される他学部履修科目〕

科目名	担当者名
禅学概論	石井修道

講義のねらい

この禅学概論の講義は禅とは何かを概観するものである。その場合、禅とは「学」の対象として成立しうるか。成立しうるとすれば、いかなる性格なのかを常に問題意識として持ち続けたい。禅学に取り組む勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、まず、「禅」の語の意味、インドの禅と中国で成立した禅宗について述べ、中国語のもつ性格と禅思想の関係を問題にしたい。つづいて、禅の研究の工具書の紹介や禅籍概論を踏まえて、圭峰宗密の『禅源諸詮集都序』の禅の分類の分析、禅と「心・身」、禅と「人」、禅と言葉、禅と教育、禅と生活に及び、禅と文化について幅広く言及したい。禅と禅宗の歴史は、講義の中で織り交ぜながら進めるが、講義内容としては、この講義では省略し、その専門の履修科目があるのでそれに譲る。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。禅学概論の講義は、当然のこととして、禅宗の歴史を含むものであるが、この講義は教科書を読んで既に中国禅宗史の基礎知識を身につけたものと見なして講義を進める。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート（400字詰め5枚程度）の提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,369円
 『全訳 漢辞海』（三省堂）2,840円
 『禅学大辞典』（大修館書店）
 入矢義高等『禅語辞典』（思文閣出版）

科目名	担当者名
中国禅宗史	石井修道

講義のねらい

この講義は中国禅宗史を概観するものである。禅宗史を学ぶのに必要な資料にまず触れ、勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、唐・五代・宋・元代の最も魅力ある禅者を一人一人禅宗史上で位置づける中で学んで行きたい。年間、数限られた人数しか触れられないであろうが、しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。特に唐・五代を中心に①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨薬山惟儼⑩百丈懐海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭鴻山靈祐⑮黄檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを取り上げる。宋・元では、①芙蓉道楷②宏智正覺③圓悟克勤④大慧宗杲⑤中峰明本などを取り上げる。興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に提出された教科書の感想文（400字詰め5枚程度）のレポート20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

『禅学大辞典』（大修館書店）、入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）。

他学部
履修科目

科目名	担当者名
日本禅宗史	佐藤秀孝

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想史的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西と能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹僧、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈関の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨済宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教科書

伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）3,800円

参考書等

田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）6,000円
 駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更正社）2,600円
 船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円
 その他、日本禅宗に関する諸文献

科目名	担当者名
禅籍講読Ⅰ	程正

講義のねらい

禅学特講Ⅰは、中国初期禅宗における祖統説の変遷という角度から、その成立の歴史を講義するものである。祖統説とは、禅僧たちが主張する釈尊より自身に及んだ正法の伝承系譜のことで、今日では西天（＝インド）二十八祖、東土（＝中国）六祖説がその定説となっている。しかし、初期禅宗には様々な宗派があり、それらの宗派に所属する禅僧達は、自派を優位に立たせるために様々な祖統説を主張していたのである。本講義では、初期禅宗文献を用いて、こうした様々な祖統説の出現の背景に留意しながら、それらの内容を吟味することによって、中国禅宗の成立の歴史にアプローチしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

敦煌遺書から出現した初期禅宗文献を主とし、これに『全唐文』などに収録されている伝世資料を織り交ぜながら進んでいきたい。

履修上の留意点

講義内容を必ずノートすること。前後に関連性の強い内容構成となっているので、欠席しないことが重要。合わせて中国禅宗史、中国語を履修することが望ましい。

成績評価の方法

夏休みの課題レポート、期末テスト、出発点の三つを総合的に評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

適宜に紹介する。

科目名	担当者名
禅籍講読Ⅲ	岩永正晴

講義のねらい

この科目は日本禅宗初期の典籍を講読するものである。また禅学科の選択必修科目であるので、これまで広く読まれてきた基本的な典籍を講読しなければならないと考える。よって本年度も、前年度と同様に、道元禅師撰『学道用心集』を取り上げることとする。『学道用心集』は明治18年に定められた曹洞宗大学林専門学本校の授業科目でも宗部正講の初級に定められており、曹洞宗旨を学ぶための基本的な典籍とみなされてきた。この科目の目的に添うものと思う。

講義の内容・授業スケジュール

まず解題として『学道用心集』の成立・刊行状況・特徴・位置付けなどを講じた後、本文を読み進める。

履修上の留意点

漢文で書かれた典籍であるので、普段から漢文に慣れる努力をして授業に望んで貰いたい。また、紹介する参考書等は積極的に読んで頂きたい。

成績評価の方法

学年末の試験と出席点、および数回のレポート(または小テスト)によって成績評価を行う。

教科書

コピーし製本したものを配布する。

参考書等

『道元禅師全集』第7巻(春秋社)、角田泰隆『道元入門』(大蔵出版)、大本山永平寺編『学道用心集の参究』(国書刊行会)、篠原寿雄『学道用心集—学習と修行のこころえ—』(大東出版)等。その他は必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名
インド仏教文化史	金沢篤

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインドの物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

渡辺照宏著『仏教(第二版)』(岩波新書)740円

参考書等

教場で適宜紹介する。

科目名**担当者名**

中国仏教文化史

なが い まき し
永 井 政 之**講義のねらい**

この授業は、中国仏教を教理から理解しようとするものではありません。むしろ表に現れることの少ない部分に焦点を当てようとするものです。歴史に現れた「仏教」は、いずれの時代にあっても、資料に書き残された世界を出るものではなく、資料を書き残せるような、ごく一握りの文化人の理解の範囲を出ることはありません。そのような文化の伝承を否定するものではありませんが、その部分にのみ力点を置きますと、中国社会を構成した大半の人々——多分、彼らはその日の食べ物にも事欠くことが少なくなかったように想像できます——が、どのように仏教を捉え、関わっていったかという部分を捨象してしまうことになりはしないでしょうか。

この授業では、そのような中国の民衆にとって、仏教はいかなる意味を持って受け入れられたかを、さまざまな仏菩薩、あるいは個人への信仰を通して考えてみたいと思います。

**講義の内容・
授業スケジュール**

当面は中国の禅僧への信仰をとりあげたいと思います。普庵印肅への信仰から入りましょう。

履修上の留意点

少し角度を変えての授業ですが、だからといって「資料に残された表の顔」を知らないで済まされるものではありません。表の顔を知っているから対比の面白さも出てきます。両方兼ね知ってみようという意欲をもって下さい。

成績評価の方法

期末に出席を加味して評価します。

教科書

教科書は特に使いません。必要な資料はコピーして配布し、また授業中に指示します。

参考書等

永井政之『中国禅宗教団と民衆』（内山書店）
その他、適宜指示します。

講義のねらい

仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかけながら、日本における文化の実態を検討する。その検討課題を章節仕立てで示せば、次のとおりである。

講義の内容・授業スケジュール

- 序 仏教伝来以前の文化
 1 文化構造の解釈 2 日本古来の文化
 第1章 中国朝鮮の影響下の仏教文化
 1 呉音漢音と文化 2 美術中の仏教観
 3 自利利他の問題 4 太子信仰の背景
 第2章 南部の学問仏教と民衆の文化
 1 大仏建立の理念 2 学問仏教の実際
 3 勸進聖と修験道 4 仏教と神祇信仰
 第3章 日本独自の文化形成と仏教観
 1 大乘戒壇の設立 2 一乗三乗の論争
 3 密教と祈禱仏教 4 本覚思想の定着
 第4章 中世の仏教信仰の確立と変容
 1 浄土信仰の諸相 2 法華信仰の諸相
 3 禅宗と五山文学 4 神仏習合の諸相
 第5章 近世と近代の社会文化と仏教
 1 鉄砲と吉利支丹 2 幕府の宗教政策
 3 江戸文化と仏教 4 維新と廢仏毀釈
 結 現代社会と仏教文化
 1 近代より現代へ 2 戦後と民主主義

履修上の留意点

講義ではあるが、参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。必要な資料については教場で配布するが、その再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変化もありうる。

教科書

袴谷憲昭著『日本仏教文化史』（大蔵出版）2005年

参考書等

袴谷憲昭著『仏教入門』（大蔵出版）2004年

その他

必要購読文献はコピーで配布し再発行はしないので注意されたい。

科目名	担当者名
中国古典語初級	吉村誠

講義のねらい

仏典の講読を通じて漢文（中国古典語）の基本を修得する。周知のように東アジア地域では漢訳された仏典が聖典とされ、仏教の思想や歴史が漢文によって記された。その集大成である漢訳大蔵経は、インドその他の地域の仏教を研究する上でも不可欠な資料である。すなわち、漢文を正確に読めるようになることは、仏教研究の第一歩であるといえるだろう。講義では、漢文の読み方を基礎レベルから解説し、学生諸君が自力で仏典を読めるように指導してゆく。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、初めに基礎文法を解説した後、中国で仏教の入門書として読まれた『四十二章経』を講読する。同経は平明な内容でありながら、巧みな比喻で仏教のエッセンスを説いた麗しい経典である。

履修上の留意点

毎回予習をして、休まず出席する。語学の習得には学習の継続が不可欠である。

成績評価の方法

出席や予習の状況、レポートなどを総合して評価する。

教科書

プリントを使用する。漢和辞典は必携のこと。『新字源』（角川書店）、『漢語林』（大修館書店）、『漢辞海』（三省堂）を推奨する。他に文法書の購入も指示する。

参考書等

授業中に随時紹介する。

科目名	担当者名
中国哲学史	前川亨

講義のねらい

中国の思想・哲学・宗教について、その基本的な知識を教授し、東アジア世界の歴史や文化に関する知見を深めるための材料を提供したい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、中国哲学史の前半（先秦時代から唐代まで）を扱う。儒教・仏教・道教それぞれが、中国の社会の中でいかなる位置を占めたのかを考えることが中心となる。

履修上の留意点

受講者には、継続的な出席と積極的な参加協力を求める。卒業年次生などで、欠席しなければならぬ場合には、事前に申し出ること。欠席が余りに目立つ場合、名簿から名前を抹消する。遅刻も避けること。

成績評価の方法

前期・後期それぞれにレポートを提出してもらう。

教科書

特に必要としない。プリント等を資料として配付する。

参考書等

授業内に適宜紹介する。

その他

できるだけ多くの知識を提供するため、講義形式をとるが、受講者の意見を徴しながら進めていくこととしたい。受講者からの積極的な問題提起を歓迎する。

科目名

担当者名

日本経済史

渡邊 恵一

講義のねらい

いま私たちを取り巻いているさまざまな経済現象や制度は、どのようにして発生し、発展してきたのであろうか。本講義の目的は、歴史的な視点から日本経済を理解することにある。各時代における個別具体的な問題については、研究史上の論争、最新の実証研究などをわかりやすく紹介しながら、検証・考察を進めていく。現代の問題とのかかわりについても言及し、日本経済をより広い視野から見ることのできる力を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 序. 日本経済史の課題と方法
1. 幕藩制下の経済発展
 2. 幕末開港の歴史的意義
 3. 明治前期の経済政策
 4. 日本産業革命の展開
 5. 両大戦間期の日本経済

履修上の留意点

毎回の講義は連続した内容となっている。欠席すればその分だけ話の前後関係がなくなること留意されたい。

成績評価の方法

期末試験で評価する。小テスト等を行った場合には、その結果を加味する。

教科書

老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』（税務経理協会）2002年

その他、補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する予定である。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

参考書等

上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。

その他

日本史の知識不問（挫折者歓迎）。

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO 農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（2回）
2. 食料問題と食料政策（5回程度）
3. 農産物価格問題と価格・所得政策（5回程度）
4. 農業の特質と現代農業（4回程度）
5. 戦後日本の農業問題と農業政策－農業構造問題を中心に－（6回程度）

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』（大月書店）
※ 授業中には使いませんが、予復習してください。

参考書等

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』（有斐閣）
F. マグドフ他編（中野一新監訳）『利潤への渴望』第5章（大月書店）
梶井功『新基本法と日本農業』（家の光協会）
橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』（ミネルヴァ書房）

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」――とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高――をのりこえてきた。しかし長年の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむために、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 戦後日本経済の展開過程
 - 景気の現状と雇用情勢
 - 戦後改革
 - 日本の高度経済成長：歴史とその原因
 - 産業政策の役割
 - 石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
2. 日本の経済発展とイノベーション
 - イノベーションと産業構造の変化
 - 主要産業の歴史と現状：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
 - 日本的経営システム／経済システム（欧米諸国との比較）
 - 製品の安全性と PL 法
3. 日本の経済発展の総括と展望
 - 平成不況の意義
 - IT 革命のインパクト

履修上の留意点

講義資料をひんばんに配布する。一度しか配布しないので確実に収集し、保管しておいて、定期試験にそなえることが必要である。教場の前面のスクリーンに講義資料を表示しながら講義をすすめるので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。なお、ほとんどの講義資料は「小林研究室」のウェブサイト (<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>) の「講義」の「日本経済論」のサイトにもできるだけ載せるようにしている。

成績評価の方法

定期試験の成績と、講義の節目に実施する数回の小テストとの総合評価による。試験は主に論述式である。

教科書

なし

参考書等

適時紹介する。なお、経済学の概念や経済用語に関する辞典あるいは事典の一つは用意しておきたい（有斐閣、岩波書店、東洋経済新報社などから出版されている）。

その他

講義についての質問を歓迎します。ただしそのときは、関連する講義資料を持参することが必要です（有意義な回答のため）。

科目名**担当者名**

中国経済論

田中祥之
た なか よし ゆき**講義のねらい**

いま中国は「社会主義市場経済」の建設を国の基本方針として掲げています。しかし、この「社会主義市場経済」とはいったい何でしょうか？ この場合、社会主義とは何を指しているのでしょうか？

たしかに、この政策のもとで飛躍的な経済発展が達成されてきました。けれども同時に、過剰生産からくる不況、大量の失業、労働と生活条件の悪化、環境破壊、さまざまな格差の拡大などに悩まされることになっています。貧困からの脱却を求めて、市場経済的な工業化の道を選択しながら、それがかえって新しい貧困を生んでいく、その矛盾にもがいている、それが今日の中国ではないでしょうか？

どうしてこのようなことになっているのでしょうか？ 市場経済化とどう関係しているのでしょうか？ ほかに道はないのでしょうか？

本講義は、以上の問題に答えようとするものです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 現代中国に関する基礎知識
- 2 中国経済の現在
- 3 「社会主義市場経済」政策批判
- 4 日中経済関係のあり方
- 5 中国はどこへ行く

成績評価の方法

試験70%、出席30% 前期・後期とも試験あり

教科書

田中祥之著『現代中国の改革』（中央大学生協出版局）
田中祥之著『増補 現代中国の改革』（中央大学生協出版局）

その他

試験は「持ち込み可」ですが、講義を聴いていないと解けない問題です。毎回、受講生に質問・批判・感想を書かせますが、これが出席表になります。

科目名**担当者名**

アメリカ経済論

瀬戸岡 紘

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の子備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

**講義の内容・
授業スケジュール**

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』（時潮社）2005年
グリーンバーグ『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳 青木書店）1994年
瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』（桜井書店）2003年
をおすすめします。

科目名	担当者名
EU統合論	清水卓

講義のねらい

EU 統合論 (前期)

この講義では、EU の目的、政策、制度の形成プロセスと現状について解説します。EU は、1952年にその基礎となった欧州石炭鉄鋼共同体が生まれた時には6カ国に過ぎなかったのですが、2004年には新たに10カ国の新規加盟国を迎え現在は25カ国、人口4億5000万人へと拡大してきました。昨年はEU 憲法制定の動きがフランスとオランダの批准失敗で頓挫しました。また、中期財政計画を巡る議長国イギリスとフランスとの利害対立が激化、さらにはフランスの各都市の郊外で青年達の暴動が発生するなど、EU は大きな壁に突き当たっているようです。しかし、2001年に流通が始まった通貨ユーロは世界的に存在感を増しています。このようなEU を知らずして世界の動きは理解できません。民主主義と資本主義経済の生誕地であり成熟した福祉制度など市民社会を実現したEU 諸国から学ぶべきことは依然として多いのです。

講義の内容・授業スケジュール

(大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります) I. 欧州統合の拡大と深化 II. 経済統合 (1) 石炭鉄鋼共同体からEECへ (2) 市場統合の完成 (3) 通貨統合 III.EU の制度 (1) 権力構造 (2) 民主主義の欠陥 (3) EU 憲法 IV.EU の政策 (1) 環境政策 (2) 地域政策 (3) リスボン戦略 (4) 共通農業政策 (5) 欧州社会モデル

履修上の留意点

EU は25の国の上に立つもう一つの国家(超国家)といえる大きな存在ですから、その全体像を理解するには、授業だけでは不十分です。授業ではEU の骨格を解説するだけです。ヨーロッパに関心を持ち調べてみようとする姿勢が欲しいです。日々変化するEU 諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV 特集番組など身近にあるEU 情報にアクセスしてください。なお、2005年度はパソコン教室を使用しましたが、2006年度の使用教室次第では、授業方法を変更する事があります。

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

- (1) 田中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」ミネルヴァ書房、2004年刊、3,200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」有斐閣、2001年刊、2,500円
- (3) 福島清彦『ヨーロッパ型資本主義』講談社現代新書

その他

選択科目ですからEU に関心を持っている学生の皆さんのみ歓迎。
授業の難易度が高く、必修科目単位を修得している3,4年次生が主たる対象です。例えば日本経済新聞が難しくとても歯が立たないといった学力レベルでは理解が難しいでしょう。

科目名**担当者名**

現代西欧経済論

清水卓

講義のねらい

第2次世界大戦の結果作られたアメリカ中心の世界システムが、その後、いくつもの挑戦を受けながら、今日なお、イラク占領という単独行動主義のかたちで世界的覇権を維持していることは否定できません。独・仏など大陸 EU 諸国は国際連合中心の国際協調主義の立場からアメリカの単独行動主義に距離を置いています。その背景には市場統合や通貨統合を達成し、さらに政治統合まで踏み込むに至った戦後の欧州統合の発展があります。欧州を戦場とした20世紀の大戦による疲弊から立ち直った欧州各国の戦後の経済発展と社会の変容を解明し、そこから、わが国の将来を構想する際の教訓を導きます。

講義の内容・授業スケジュール

(大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります)

- I. 世界大戦の歴史的意義
- II. 戦後復興の課題 (1) 戦後西欧資本主義の危機 (2) マーシャル援助 (3) 西欧経済の「近代化」
- III. 経済成長の「限界」 (1) 経済成長 (2) 欧州通貨危機 (3) スタグフレーション (4) 経済政策の転換 (5) グローバリゼーションへの適応
- IV. EU 統合の現段階と各国経済 (1) 北欧の福祉国家 (2) EU 中核国独仏英の経済 (3) EU の地中海諸国 (4) EU 中東欧諸国の経済・社会

履修上の留意点

履修上の留意点 授業ではアメリカ中心の戦後国際経済の中での欧州諸国経済の発展過程を跡付けし、今日の経済社会の課題を歴史的視点か位置付けることを学びますが、現状をどう見るといことが出発点です。日々変化する EU 諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV 特集番組など身近にある EU 情報にアクセスしてください。なお、2005年度はパソコン教室を使用しましたが、2006年度の使用教室次第では、授業方法を変更する事があります。

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

- (1) 中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」ミネルヴァ書房、2004年刊、3,200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」有斐閣、2001年刊、2,500円
- (3) 福島清彦『ヨーロッパ型資本主義』講談社現代新書

その他

選択科目ですから EU に関心を持っている学生の皆さんのみ歓迎。
授業の難易度が高く、必修科目単位を修得している3,4年次生が主たる対象です。例えば日本経済新聞が難しくとても歯が立たないといった学力レベルでは理解が難しいでしょう。

科目名

担当者名

ロシア・東欧経済論

やまがたひろし
山縣弘志

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることとはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達したか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からベレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ベレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るの当然のことになるだろう。

他履修
学部科目

科目名

財務会計論

担当者名

小栗 崇資

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また、時々、小テストやレポートも実施し、成績評価に加算します。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論（第2版）』（白桃書房）

参考書等

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考える一変わる会計と経済』（大月書店）

科 目 名**担 当 者 名**

管理会計論

いし かわ ゆう じ
石 川 祐 二**講義のねらい**

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自社の状況を把握し、それに基づいて適切な管理をしていかなければならない。とりわけ、グローバル化が進展し、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、管理会計上の様々な手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会計学総論・会計学基礎」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。

教 科 書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個々人の成果を反映したテキストとなる。

参 考 書 等

講義において適宜指示する。

そ の 他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるどころまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科 目 名

担 当 者 名

西洋法制史

きたの
北野かほる

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066 - 1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350 - 1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験 (後期試験期間・年1回)

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科目名

担当者名

英米法

きたの
北野かほる

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

第1章 法系

第1節 近代法の法系

- (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
- (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系

第2節 イギリス法の特徴

- (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴

第3節 英米法の分類

- (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー

第2章 英米法の特徴

第1節 法内容の歴史性

- (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴

第2節 法観念の社会性

- (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利

第3節 法思考の実務性

- (1) 総論 (2) 法曹一元

第3章 判例法の理論

第1節 判例法

- (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察

第2節 判例法の理論

- (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断

第3節 制定法の解釈

- (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な文理解釈の理論

第4章 裁判所制度

第1節 イギリスの裁判所制度

第2節 アメリカ合衆国の裁判所制度

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

他学
部
履修
科目

科目名**担当者名**

経済法

わかばやしありさ
若林 亜理砂**講義のねらい**

経済法の中心をなす独占禁止法を理解をすることを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

**講義の内容・
授業スケジュール**

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他

授業は毎回配布するレジユメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

科目名**担当者名****国際政治学**こぼりのお
小堀訓男**講義のねらい**

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

**講義の内容・
授業スケジュール**

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名**担当者名**

ヨーロッパ政治史

うらたさなえ
浦田早苗**講義のねらい**

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した4問から2題出題する。(ノートを持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名**担当者名**

地方自治法

とみ い ゆき お
富 井 幸 雄**講義のねらい**

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40%）と学年末試験（60%）で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名

比較政治学

担当者名

三竹直哉

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・授業スケジュール

この文章は2005年12月の時点で書いています。授業には、現在世界や日本で起きている出来事を反映させたいです。また、よドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。

そうしたことから、2005年12月の時点で詳細な授業スケジュールは出せません。

基本的には、はじめに方法論を扱い、その後、民主化、民族問題、移民政策と言ったテーマで授業を進めていきたいと思っています。

授業のやり方は、人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのような雰囲気でもやることもあり得ます。(2005年度の授業は、ゼミのようにやりました。)

履修上の留意点

基本的事項は自分できちんと調べるのが前提です。

文献を読む課題がたくさん出ますが、読まなければ単位を取れません。

中学校の社会科レベルのことが身につけていない人には単位を出せません。新聞を読んでいる人も同様です。(テストでチェックします。)

また、高校の社会科レベルのことで、授業に関連することは自分で学習することが前提です。

欠席したときの授業内容は、各自の責任で補ってください。就職活動であろうが、部活動であろうが、欠席した人を特別扱いすることはありません。

成績評価の方法

平常点と定期試験によります。

教科書

高根正昭『創造の方法学』講談社現代新書。

他にも指定する可能性はあります。

ほぼ毎回、授業前までに読んでくるべき課題文献を指定します。読んでいない場合、出席できないことがあります。

その他

この文章は2005年12月時点で書いています。変更もあり得ることを了承のうえ、読んでください。詳しい授業案内・スケジュールは、2006年4月に授業用ホームページに掲載します。
<http://www.jj.em-net.ne.jp/~bamboos/>

URL が変更になる可能性があります。その場合、Google などで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。

mitake@komazawa-u.ac.jp

科目名	担当者名
現代国家論	大塚 桂

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 国家論の課題
2. 幕末政治過程
3. 幕末政治思想（水戸学、国学）
4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制
6. 大日本帝国憲法
7. 法典整備・司法制度
8. 統帥権・戒厳（令）
9. 地方官官制
10. 自由民権運動
11. 帝国議会
12. 財政制度
13. 教育勅語
14. 国家神道
15. 社会主義運動
16. 大正デモクラシー
17. 天皇機関説
18. 天皇制ファシズム
19. 統制経済
20. まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
 A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。
 レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
 B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。
 ※なお、B方式のみ追試験を実施します。

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）、『明治国家と岩倉具視』（信山社）、『明治維新の思想』（成文堂）

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

科目名

担当者名

比較憲法

たて だ しょう こ
館 田 晶 子

講義のねらい

本講は、他国の憲法の成立・発展過程や理論的背景を学ぶとともに、これら憲法と日本国憲法との比較を通じて日本国憲法の意味と意義とをより深く理解することを目的とする。授業は講義形式で行う。歴史的な視点を重視し、我が国の憲法にとりわけ重要な影響を与えてきた欧米の憲法を中心に講義を進めたい。概要は以下のとおり。

- ・比較憲法の意義
- ・イギリス憲法の歴史と特色
- ・フランス憲法の歴史と特色
- ・ドイツ憲法の歴史と特色
- ・アメリカ合衆国憲法の歴史と特色
- ・日本国憲法への影響

履修上の留意点

出席はとらない。受講の妨げになる一切の行為を禁ずる。

成績評価の方法

定期試験による。

教科書

教科書は使用しない。レジュメを配布し、これを用いて講義を進める。

参考書等

参考書などは講義中に適宜紹介するほか、以下のものが有用である（講義では必ずしも使用しない）。

- ・樋口陽一・吉田善明編『解説世界憲法集 第4版』（三省堂）
- ・阿部照哉・畑博行編『世界の憲法集第3版』（有信堂）
- ・樋口陽一『比較憲法 全訂第3版』（青林書院）
- ・阿部照哉編『比較憲法入門』（有斐閣）

その他

授業中に配布したレジュメと授業のポイントを、ウェブサイトを通じて参照できるようにする予定である。URL等の詳細は初回の講義時に説明する。

科目名**担当者名****経営労務論**かしま ひであき
鹿嶋 秀晃**講義のねらい**

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

**講義の内容・
授業スケジュール**

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。受講者数の大小によって変更する場合があります。

教科書

テキストは特に指定しない。

参考書等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993（定価3,000円程度）、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995（定価2,600円程度）、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992（定価3,500円程度）をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

その他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。次のURLを参照。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>

科目名	担当者名
国際経営論	茂垣広志

講義のねらい 国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール 日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。
 1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

成績評価の方法 成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書 茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等 根本孝・茂垣広志・池田芳彦『国際経営を学ぶ人のために』（世界思想社）

その他 プロジェクターを用いて授業を進行する。また、授業には教科書を携帯のこと。必要に応じて資料を配布する。

科目名	担当者名
商業史	山田勝

講義のねらい 大変革の渦中にある現下の商業経営を、歴史的視点から見つめ直し、変革の方向と意味を考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 〈A〉生産主導の商業
 - (1) 商業史の意義と講義の目的
 - (2) パラダイムの発展
 - (3) 利益と継続性
 - (4) 商品と市場
 - (5) 大衆消費社会の特徴
- 〈B〉需要主導の商業
 - (1) 消費スタイルの変化
 - (2) 充足から満足度重視へ
 - (3) 多様化の要因
 - (4) 「サービス」商品の特徴
 - (5) IT革命と商業経営
 - (6) 生活（文化）の変革と商業

履修上の留意点 教科書の内容を講義で補充していくので、出席はとらないが聴講に努め質問をして欲しい。講義中の私語は他の受講生に迷惑となるので厳禁とする。

成績評価の方法 定期試験による。

教科書 山田勝『商業史概論』（創成社）3,000円（消費税別）

他履修科目
学部

科目名

保険経営論

担当者名いしなざかくにあき
石名坂 邦 昭**講義のねらい**

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていないと、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教科書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参考書等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

科目名**担当者名**

財務会計論

わた なべ えいちろう
渡 邊 恵一郎**講義のねらい**

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

**講義の内容・
授業スケジュール**

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- (1) 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- (2) 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- (3) 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- (4) 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教科書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

その他

- (1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析をとりあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

- *レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」
：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

- *テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

（1）科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのなものなものの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

（2）情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

（3）情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

（1）多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで始めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、II、III類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

（2）シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミックス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

（3）DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

『基礎から学ぶ経営科学』高井徹雄他著（税務経理協会）2,600円

科目名

担当者名

情報理論

にしむらかずお
西村和夫

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C.E.Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をして、現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の中問試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市场占有率予測
- 12月1回 検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2~3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクタとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論
講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科目名

担当者名

経営統計

なが 長
こ 国
まろ 強

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・
授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：経営統計の役割、基礎概念

統計特性値：平均、分散、正規分布

市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理

経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測

経営指数：物価指数、数量指数

統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。

科目名

医療宗教学

担当者名

よしずよしひで
吉津宜英

講義のねらい

宗教学とは通常世界の多様な宗教を様々な方法論を用いて分析し、その実態や機能を論究する学問である。他の学問分野と関連づける場合、宗教社会学・宗教心理学・宗教教育学等という具合になるのが慣例である。当該科目が宗教医療学とならないで、医療宗教学となっているのは何故であろうか。これは医療に関して宗教学的考察を行うのではないからである。むしろ医療的な視点から宗教を問うという方が良い。医療的な視点とは何か。それは科学技術の医学的理論と応用の世界である。その世界には科学的人間観が貫徹する。その人間観はキリスト教的な真理観に対抗して現れた人間機械論にも通じる。医療に当たる人は科学的な真理や技術に親しく、科学的な人間観を持ちやすいから、一方で哲学的・宗教的人間観の存在にも通暁することが求められる。医療行為が生な人間関係、人間観相互の葛藤・交流の場に他ならないからである。医療に従事する人が宗教を問い、宗教に関する正しい知識を持つことは、その人間観を広げる。医療宗教学は医療の世界に関わる人々にあえて宗教・人間・自己を問いかけてもらう教材を示し、共に認識を深め合うことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

先ず様々な人間観を提示する。医療の世界がどのような人間観に支えられているかを考えてみる。その有効性と問題性も取り上げる。科学や医療の発達は宗教の必要性を認めなくなるといふ議論もある。そこまで宗教を追いつめてみる。仏教・キリスト教・イスラムなどの世界の三大宗教や日本の神道などの多神教的民族宗教は医療の世界に貢献できる面があるのか、この問いに答えるための教材を提示することが講義内容となる。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義内容を筆記すると共に自分の意見や疑問を書きとめ、全体を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、2回ほど課題提出をお願いし、最後に試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しない。出来るだけプリントを配布します。

参考書等

講義の中で随時紹介します。

その他

私の講義の最中でも挙手して質問して下さい。ただ私語は厳禁です。あまり目立つ場合は退場を要請しますので、あらかじめご承知おき下さい。また、授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

科目名**担当者名**

医療経済学

ながやま
永山 くに子**講義のねらい**

日本の医療制度を基軸とした病院マネジメントを科学する

**講義の内容・
授業スケジュール**

SBOs

- ① 国民医療費とは何かが説明でき、日本における課題が理解できる
 - ② 日本および海外の医療制度が理解でき日本における課題が説明できる
 - ③ 医療サービス生産の特性と病院組織が説明できる
 - ④ 病院組織はどうすれば活性化するかについて考えることができる
 - ⑤ どうして病院マーケティングが必要かについて説明できる
 - ⑥ 医療の財政的な側面を理解する
 - ⑦ 病院のリスクマネジメントについて医療事故・医療過誤の側面から理解する
- ①～⑦は2回の授業で実施する。尚、⑮は試験とする

履修上の留意点

一方的な講義ではなく、実践に即した内容にするために参加型の授業にしますので、積極的な参加を求めます。

成績評価の方法

- (ア) 出席
- (イ) レポート
- (ウ) グループワークへの参加度

教科書

特に指定はしませんが、授業の際に紹介します。

参考書等

- ① 鶴田忠彦『日本の医療経済』（東洋経済新報社） 3,296円
- ② 川淵孝一『進化する病院マネジメント』（医学書院） 3,000円
- ③ 池上直己『日本の医療』（中公新書） 720円
- ④ 厚生統計協会『国民衛生の動向2004年版』

その他

履修上の留意点に準じます

科目名**担当者名**

メディア・コミュニケーション概論

にしおかようこ
西岡洋子**講義のねらい**

本講義では、コミュニケーションの基本機能およびコミュニケーションにおいて活用されるメディアの基本的特性を理解することを目的とする。まずは、コミュニケーションの基本的構造モデルを紹介したのちに、コミュニケーション主体の違いによって展開される異なるレベルのコミュニケーション（個人、グループ、マスのレベル）があることを理解する。さらには、それぞれのコミュニケーションにおいてどのようなメディアが活用されているか、さらには、それがどのように使い分けられ、また、変化しようとしている大きな傾向を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- ① イントロダクション：コミュニケーションとメディア
 - (ア) メディアの多様化
 - (イ) コミュニケーション・モデルとコミュニケーションの種別
- ② 個人レベルのコミュニケーションとメディア
 - (ア) 人と人とのコミュニケーション
 - (イ) 生活におけるメディア
 - (ウ) 電話コミュニケーション
- ③ グループのコミュニケーションとメディア
 - (ア) 企業内
 - (イ) コミュニティ内
 - (ウ) 集団行動・社会運動
- ④ マス・コミュニケーションとメディア
 - (ア) マス・コミュニケーションとメディア
- ⑤ グローバル時代のコミュニケーションとメディア
 - (ア) 国際コミュニケーションとメディア
 - (イ) 情報化社会のコミュニケーションとメディア
 - (ウ) インターネットのコミュニケーション
- ⑥ まとめ

履修上の留意点

とくになし。

成績評価の方法

期末試験、講義中の小テスト、出席による。

教科書

適宜指定。

参考書等

『情報通信白書』 <http://www.johotsusintokei.soumu.go.jp/whitepaper/index.html>
 船津衛（著）『コミュニケーション入門』（有斐閣アルマ）
 池田謙一（著）『コミュニケーション：社会科学の理論とモデル』（東京大学出版）

講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。
「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。

近年、国際化が進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、私たちが接する対象は、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況下にあって、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。

しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の点について考えていきます。

- 「日本人」とは？
日本人というのは誰をさすのか。
日本にはどんな「日本人ではない人」がいるのか。
- 「コミュニケーション」とは？
それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
- 「日本」と諸外国との関係は？
日本はどのようにメディアに映されているのか。
我々は諸外国をどう捉えているのか。
- 非言語コミュニケーションとは？
非言語コミュニケーションはどんなことを指すのか。
日本人の非言語コミュニケーションにはどのような特徴があるか。
- 「日本の社会・文化」とは？
「日本はどんな国ですか」、「今、日本ではどんなことが問題となっていますか」という問いにどう答えるか。

また、上記の内容を探ると同時に、自分の意見を持つこと、それを論理的に伝えること、そして、レポートを書くこと等についてその方策を提示していきます。

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとります。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心的な活動となります。従って、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持って授業に臨むことを期待します。

尚、受講者の人数、能力などに応じて一部授業内容を変更する可能性があります。

成績評価の方法

出席（毎回とります）・授業態度・発表・試験・レポート

教科書

プリント使用。

参考書等

開講時指示します。

科目名

担当者名

時事英語

岡本 誠

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でして言えば“Current English”ということになるか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分を lead という。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞や Newsweek などの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalese に親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表、小テスト、出席情况等を総合的に勘案する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』（研究社）

〔フレックス B で開講される他学部履修科目〕

科目名	担当者名
商学総論	おおがきかつお 大吹勝男

講義のねらい

大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として大学は社会的要請に答えねばならないというが、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるものではありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷い、そして考え大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目のようになります。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
- (4) 商業資本の本質・機能論
- (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論（中抜き論）
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (8) 商業資本の回転と価格。

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。また、各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことでありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備（学習）をして試験に望んでもらいたいということがあります。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばよいかもしれません。したがって容易に単位が取得できるということを意味しませんから要注意です。

教科書

前期 大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』（梓出版社）前期 1,500円
後期 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』（梓出版社）後期 1,500円

科目名**担当者名**

社会思想史

あべひろし
阿部 弘**講義のねらい**

テーマ：市民と経済学

「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方である。

この論は21世紀「市民社会」、そして現代の日本の社会でも機能している。そこで講義体系の前半部分で「経世済民」論の成立過程を明らかにして、現代にあったこの論の持つ意義を観ていく。

次に、「経済学」の成立は「市民社会」の発達との関係なしにはあり得ない。そこで近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」およびその後に登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察する。そのうえで、現代社会で「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

第1部：「経世済民」思想

第1章：古代中国での思想

第2章：日本の江戸時代の「経世済民論」

第3章：「経世済民論」と現代

第2部：「市民社会」の発達と「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開

—マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ—

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：現代の経済的諸問題

履修上の留意点

この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているため、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる。

- 1 出席の確認（授業中に適宜実施される）
- 2 年間4～6回のレポートの作成

成績評価の方法

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試試験」等を行わないので注意して欲しい。

教科書

教科書は次のものを批判的に用います。

阿部弘『労働と所有』（八千代出版）

参考書等

適宜授業中に指定する。

その他

[連絡体制]

講師の連絡先等を次に記載しておく。

TEL（職場）：03-3418-9360（第2研究棟5F No.2538研究室）

03-3418-9343（経済学部事務室）

E-mail: xupabe@nifty.com

科目名

担当者名

商業政策

岩下弘

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論 2 流通近代化政策論 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通 2 80年代流通産業ビジョン 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導＝抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ―前川レポート、行革審報告 2) 日米構造問題協議
 - 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策―都市・農村計画法 2) 日曜営業問題―商店法
 - 2 フランス―ロワイエ法
 - 3 ドイツ―土地利用計画
 - 4 アメリカ―ゾーニング規制

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。

教科書

指定しない。

参考書等

その都度指示する。

他学部
履修科目

講義のねらい

この講義では、受講生諸君に東アジア経済に対する理解を深めてもらうために、東アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、下記のような個別のテーマについてそれぞれ解説する予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化する東アジアの経済発展を20世紀後半期（冷戦期）に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾の弁証法的メカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来の「アジア経済論」（典型的には新古典派開発経済学）のように工業化の本格化した1960年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」（植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、1960年代以降の工業化過程において経済発展をリードしてきた東アジア諸国の政府の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまで「アジア」に軸足を置きつつも、東アジア経済がこれまで外部環境から様々な影響を受けてきた事実を考慮し、その時々の世界経済の動向についても注意を払うつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 東アジア経済の全体像
 - (1) アジアの「多様性」
 - (2) 「東アジア」の範疇
2. 東アジア経済と経済理論
 - (1) 従来の経済理論
 - (2) 今日の経済理論
3. 東アジアの経済発展
 - (1) 工業化の「前史」
 - (2) 東アジアの経済発展過程
 - (3) 経済発展の特徴
4. アジア NIEs の経済発展
 - (1) 用語説明
 - (2) 経済発展の特徴
 - (3) 韓国の開発独裁体制

〔後期〕

5. 東南アジア諸国の経済
 - (1) 主要各国の経済発展過程
 - (2) ASEAN の歴史
6. アジア社会主義諸国の経済
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他社会主義国の現状
7. アジア通貨危機
 - (1) 危機の背景・原因・特徴
 - (2) 危機への対応策
8. アジアの地域経済協力
 - (1) 地域経済協力の歴史と現状
 - (2) 東アジア経済圏の展望
9. 東アジア経済と日本
 - (1) 東アジアと日本の関係史
 - (2) 東アジアと日本の展望

成績評価の方法

前期および夏期休暇のレポートと学年末の定期試験で総合的に評価する。

教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税別）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科目名

社会政策

担当者名たけした えい
竹 下 睿 騎**講義のねらい**

社会政策は、資本主義社会の維持・安定化を図るために国家が労働力の担い手（労働者）が抱える労働・生活上の諸問題に対応して実施する公的政策（労働力政策）として展開してきた。その後、社会保障制度にみられるように、労働力政策の枠をこえて、国民全体の社会福祉と社会サービスの向上をめざす福祉国家の公共政策に発展していった。近年、各国の経済、財政事情から福祉国家の再編がすすみ、社会政策の総合化が試みられている。

さらに、現代の社会政策は、労働・生活上の諸問題をとりまく構造的環境の急激な変化によって、新しい局面を迎え、従来の枠組み・パラダイムの転換（全面的な労働改革）を迫られている。

講義では、まず、社会政策の本質、発生の必然性と変化の過程を明らかにする。ついで、現代日本の社会政策の実体に焦点をあてて、その特徴を主要な基本的政策に即して検討することにする。さいごに、社会政策のさまざまな考え方の流れを跡づけ、最近の新しい動向を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、I. 社会政策の概念と分析視角——1. 社会政策とは何か、2. 労働問題研究と社会政策研究、3. 社会政策の問題領域 II. 資本主義と社会政策の歴史的展開——1. 資本主義と賃金労働者、2. 生成期資本主義の社会政策、3. 産業資本主義段階の社会政策、4. 独占資本主義段階の社会政策。

後期は、Ⅲ. 現代日本の社会政策——1. 戦前日本の社会政策、2. 戦後日本の社会政策、①労使関係（労働組合）政策、②賃金政策、③労働時間政策、④労働市場（雇用・失業）政策、⑤労働者保護政策、⑥高齢化政策、⑦女性労働と社会政策、⑧ ME・IT 技術革新と社会政策、⑨国際化と社会政策、Ⅳ. むすび——現代社会における社会政策の意義、社会政策論の検討。

履修上の留意点

出席を重視する。教場での私語を慎むこと（退場を求めることもある）。毎回、講義についての感想文を書いてもらう。

成績評価の方法

成績は、①定期試験を基本に、②出席率、③授業に取り組む姿勢、④感想文を加味して、総合的に評価する。試験の採点は、設問の意味を正確に理解し、論証が論理的に展開されているか否かを重視して行う。評価基準は、①が70%、②③④が30%の割合とする。

教科書

石畑良太郎・牧野富夫編『新版社会政策——構造改革の新展開とセーフティネット』（ミネルヴァ書房）2003年 3,400円

参考書等

西村裕通・荒又重雄編『新社会政策を学ぶ』（有斐閣）1999年 2,000円

その他

講義形式。資料をできるだけ配付する。

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということが自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

- [1] 法思想史講義の意義・注意事項等の説明、ヨーロッパ法思想の底流をなす問題視角についての概説。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心に検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響と、人格概念について、概念的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アクィナスの思想を中心に、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的な世界像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホッブズの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホッブズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論全般について考察する。
- [10] ルソンの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。
- [12] 19世紀の歴史法学、概念法学および概念法学批判について概観する
- [13] 法実証主義の様々な潮流について概観する

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

- 法思想史に関する概説書の例として
- ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
 - ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。
- 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科目名**担当者名**

日本法制史

しげの たか じる
茂野隆晴**講義のねらい**

基礎法学の一つとしての法制史は、文字通り法学教育における史学である。私の担当する「日本法制史」は日本国民の法生活の歴史的考察を行うものである。授業の進め方は時代区分に基づいて行うのがふつうである。

近年では近現代史のもつ重要性が強調されてきている。年間の授業では、こうしたことに配慮して、国初から近代に至るまでの時代を上古、中古、近世、近代の5期に区分し、各々の主要な法制の特色を講述していく。

年間の講義の受講をすることによって、日本の法文化への愛着が高まったといわれるようになればと思います。

**講義の内容・
授業スケジュール**

1. 年間の授業方針及び日本法制史とその時代区分について
2. 国生みの神話他
3. 『魏志』倭人伝
4. 冠位十二階と憲法十七条
5. 律令刑罰体系と律令の司法制度
6. 戸令第八他
7. 三世一身法と墾田永年私財法
8. 御成敗式目
9. 甲州法度之次第と分国法
10. 武家諸法と自分仕置令
11. 五人組帳
12. 公事方御定書
13. 慶安の御触書
14. 近世の土地制度
15. 相对済し令、本公事と金公事、棄損令
16. 婚姻の変遷と「家」
17. 大津事件、登極令、治安維持法
18. 婚姻に関することわざと川柳

履修上の留意点

史資料に即して行う授業なので、テキストは必ず揃えて欲しい。

成績評価の方法

定期試験の評点70%、出席点30%として総合的に評価する。

教科書

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円

参考書等

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史』（高文堂出版社）2,857円

科目名**担当者名****経済法****荒井登志夫****講義のねらい**

規制緩和・グローバル化の下で、独占禁止法を中心とする経済法の分野はますます重要性を増し、近年、相次いで法改正が行われている。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①我が国の経済構造、取引実態を具体的に説明し歴史的視点も取り入れながら、②法律の規定を平易に解説しつつ、③ホットで具体的な適用事例を挙げて説明して行く計画である。

講義の内容・授業スケジュール

1～3 講義方針、基礎概念、歴史 4～5 私的独占 6～10 不当な取引制限、官製談合防止法、課徴金 11～14 不公正な取引方法 15～17 景品表示法 18～19 第四章規定（一般集中、市場集中） 20 寡占規制 21～23 公正取引委員会、手続規定、罰則 24 国際的環境 25～26 事例研究、まとめ

履修上の留意点

講義に出席しないと理解できないと思われるため、できる限り出席されたい。

成績評価の方法

成績評価は、試験7割、出欠及びレポート提出3割の割合で評価し、合算するものとする。

教科書

法改正直後のため、教科書は当面指定しない。

参考書等

根岸哲・杉浦市郎『経済法』（法律文化社）
根岸哲・舟田正之『経済法概説』（有斐閣）
丹宗暁信・岡田外司博ほか『新現代経済法入門』（法律文化社）
白石忠志『独禁法講義』（有斐閣）

その他

レジュメを配布する。六法を持参のこと。

科目名**担当者名****国際関係論****三船恵美****講義のねらい**

国際関係論の基本的な概念とともに、現代の国際関係の枠組について講義します。国際関係を学ぶ目的の一つは、国際紛争・対立・危機を平和的に処理したり、国際平和を維持したりするためには如何なるシステムを案出していけばいいのか、を考えることです。国際関係の教訓を探り出すために必要な「基本的な視角」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、国際関係論の基本的な概念（国際関係のアクター、国益・パワーの概念、安全保障の概念と類型、現実主義、理想主義、構造主義、ゲーム理論、対外政策決定論、国内政治と国際関係のリンケージ・ポリテックスなど）について講義します。
後期は、日本にとって最も重要な2つの国家、米国と中国の安全保障戦略を軸に、米国のアジア戦略、日米関係、米中関係、東アジア共同体構想、台湾問題、韓半島問題、米中EU関係、米中・中東関係、米中ロ・中央アジア関係、米中・アフリカ関係が日本の国益や外交に及ぼす影響、などを講義します。

履修上の留意点

配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。

成績評価の方法

試験（100%）。持込不可。授業中にうるさくして退場を命じられた学生には、受験資格を絶対に与えません。テストを欠席した場合にレポートは課しません。

教科書

年間を通したサブテキスト『世界情報地図2006年版』にちぶん（1,500円）。後期教科書については、前期授業中に指示します。

科 目 名**担 当 者 名**

地方自治法

とみ 井 幸 雄
富 井 幸 雄

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教 科 書

開講時に指示します。

参 考 書 等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

そ の 他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版以降を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名**担 当 者 名****国際紛争解決法****王 志 安****講義のねらい**

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で説明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そして WTO の紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教 科 書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002 2,000円

参 考 書 等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

そ の 他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。

板書のかわりに、powerpoint を利用した講義を行う。

科 目 名**担 当 者 名****倒産処理法**

すず 鈴 木 貴 博

講義のねらい

破産法を中心に倒産法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。

**講義の内容・
授業スケジュール**

倒産処理手続は、債務者、債権者、担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜する。そのため、手続の基準は債権者の平等な取扱いや社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような手続の必要に伴う法律関係の修正・変更について手続の概要とともにまなんでいくことにする。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 倒産法制の概観 | 6. 財団再建・取戻権 |
| 2. 破産原因・破産能力 | 7. 破産手続の主体 |
| 3. 破産申立てと破産宣告手続 | 8. 否認権・配当 |
| 4. 別除権・相殺権 | 9. 免責・破産犯罪 |
| 5. 破産財団をめぐる法律関係 | |

履修上の留意点

民事法関連科目(民法・商法・民事訴訟法など)を履修済みであることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

成績評価の方法

簡単なレポートと定期試験の総合評価により行う。

教 科 書

徳田和幸『ブレップ破産法』第3版(弘文堂)2005年 1,260円

参 考 書 等

山本和彦『倒産処理法入門』第2版(有斐閣)2005年 2,100円

伊藤眞『破産法』第4版(有斐閣)2005年 4,200円

青山善充・伊藤眞・松下淳一編『倒産判例百選』第3版(有斐閣)2005年 2,730円

科目名

担当者名

アメリカ経営学

みやぎ 城 徹

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

〈2006年度「アメリカ経営学」授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力 (パワー) (8)
- IV 戦略 (特に提携、グループ、ファミリー) (4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論 (2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』(税務経理協会) 1997
- 2 宮城徹『企業制度とプロパティ・ライツ理論』『商学研究科紀要』(早大、第20号) 1985
- 3 宮城徹『情報と企業経営の理論的諸問題』日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』(千倉書房) 1987
- 4 宮城徹『経営者論』鈴木英寿編『経営学総論』(第2版)(成文堂) 1998
- 5 宮城徹『経営学の歴史』藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』(学文社) 1993
- 6 宮城徹『組織の経済理論の基礎構造』日本経営学会編『現代経営学の課題』(千倉書房) 1997
- 7 宮城徹(単独訳書)『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』(税務経理協会) 2000 (A. Picot u. a., *Die grenzenlose Unternehmung*, Gabler, 1998)
- 8 宮城徹(共訳書)『新制度派経済学による組織入門』(白桃書房) 1999 (A. Picot u. a., *Organisation. Eine ökonomische Perspektive*, Schaffer - Poeschel, 1997)

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけつして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・
授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法の重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

教科書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

参考書等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）
染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

科目名

担当者名

公益企業論

すがや 実

講義のねらい

本講義ではエネルギー、情報通信などの公益企業における政府・企業間関係について学ぶ。具体的には、政府・企業間関係に関わる基礎理論、さらに、公益事業規制の実態も、現実のトピックに関連しながら学んでいく。本講義は応用ミクロ経済学の一分野として位置づけられる。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション (1)
〈総論〉
2. 公益企業とは (1)
3. 公益事業とは (2)
〈規制課題〉
4. 経済的規制と社会的規制 (2)
5. 公益事業規制の枠組 (2)
6. 規制緩和の促進 (2)
7. 政府規制の見直し (2)
〈規制緩和〉
8. ネットワークアクセス (1)
9. リストラクチャリング (1)
10. 民営化 (1)
〈個別事業〉
11. 個別事業総論 (1)
12. エネルギー・水道 (3)
13. 情報通信 (4)
14. 交通・運輸 (3)
15. まとめ (1)

履修上の留意点

経済学の基礎知識があることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験と平常点

教科書

『日本の公益企業』(白桃書房) 2005年 5月

参考書等

講義の必要に応じて紹介する。

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”
もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的（総論）（1）
 - （1）監査の必要
 - （2）監査の意義
 - （3）監査の対象
2. 会計監査の意義と目的（2）
 - （1）監査の目的
 - （2）監査思想の変遷
 - （3）監査の効用
3. 監査の機能
4. 会計上の誤謬と不正
5. 監査の種類
6. 会計監査と財務諸表監査
7. 我国の監査制度
 - （1）証券取引法監査
 - （2）商法監査
 - （3）その他の監査制度
8. 監査基準（1）
 - （1）必要性
 - （2）生成と展開
9. 監査基準（2）
 - （1）意義
 - （2）体系
 - （3）一般基準
 - （4）実施基準
 - （5）報告基準
10. 監査人
11. 監査証拠
12. 監査計画
13. 内部統制
14. 試査
15. 監査技術と監査手続
16. 監査調書
17. 監査報告書
18. 連結財務諸表の監査
19. 中間財務諸表の監査
20. システム監査
21. 国際監査基準
22. 現代監査論の動向
 - （1）監査概念の拡大化
 - （2）監査保証に程度の差を認める監査概念

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏季）および出席状況を考慮して、総合

的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー 改訂版』（東京経済情報出版）3,200円

参考書等

大矢知浩司『監査論概説』（白桃書房）3,300円
田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円
高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円
鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円
三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円
山榎忠恕・松田信男『監査基準精鋭精説』（税務経理協会）3,500円
脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

IV 「日本語」・「日本事情」科目

Ⅳ. 「日本語」・「日本事情」科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本語入門Ⅰa	文学部全学科	半期	1	吉田路子	769
日本語入門Ⅰb	文学部全学科	半期	1	吉田路子	769
日本語入門Ⅱa	文学部全学科	半期	1	吉田路子	770
日本語入門Ⅱb	文学部全学科	半期	1	吉田路子	770
日本語Ⅰa	文学部全学科	半期	1	佐野典子	771
日本語Ⅰb			1		
日本語Ⅰa	文学部全学科	半期	1	多田羅哲子	771
日本語Ⅰb	文学部全学科	半期	1	多田羅哲子	771
日本語Ⅱa	文学部全学科	半期	1	佐野典子	772
日本語Ⅱb			1		
日本語Ⅱa	文学部全学科	半期	1	多田羅哲子	772
日本語Ⅱb	文学部全学科	半期	1	多田羅哲子	772
日本語Ⅲa	文学部全学科	半期	1	多田羅哲子	773
日本語Ⅲb	文学部全学科	半期	1	多田羅哲子	773
日本語Ⅲa	文学部全学科	半期	1	湯村礼子	773
日本語Ⅲb			1		
日本語Ⅳa	文学部全学科	半期	1	石川守	774
日本語Ⅳb	文学部全学科	半期	1	石川守	774
日本語Ⅳa	文学部全学科	半期	1	湯村礼子	775
日本語Ⅳb	文学部全学科	半期	1	湯村礼子	775
日本語Ⅴa	文学部全学科	半期	1	石川守	776
日本語Ⅴb	文学部全学科	半期	1	石川守	776
日本語Ⅴa	文学部全学科	半期	1	多田羅哲子	777
日本語Ⅴb	文学部全学科	半期	1	多田羅哲子	777
日本語Ⅵa	文学部全学科	半期	1	石川守	777
日本語Ⅵb	文学部全学科	半期	1	石川守	778
日本語Ⅵa	文学部全学科	半期	1	多田羅哲子	778
日本語Ⅵb	文学部全学科	半期	1	多田羅哲子	778

《日本事情科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本事情Ⅰ〔地理〕	文学部全学科	半期	2	高橋健太郎	779
日本事情Ⅱ〔自然〕	文学部全学科	半期	2	清水善和	780
日本事情Ⅲ〔歴史〕	文学部全学科	半期	2	浅倉直美	781
日本事情Ⅳ〔思想〕	文学部全学科	半期	2	菅原光	781
日本事情Ⅴ〔社会〕	文学部全学科	半期	2	坪井健	782
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	文学部全学科	半期	2	三竹直哉	783
日本事情Ⅶ〔文学〕	文学部全学科	半期	2	勝原晴希	783
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕	文学部全学科	半期	2	菅原光	784
日本事情Ⅸ〔経済〕	文学部全学科	半期	2	小林正人	784
日本事情Ⅹ〔経営〕	文学部全学科	半期	2	羽鳥茂	785

科目名	担当者名
日本語入門Ⅰa	よし だ ふき こ 吉 田 蒔 子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活に必要な日本語の基本語彙、文型から各学生の足りない部分を補いながら、基礎的な日本語を用いて、必要な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の復習
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活において行う発話とその文章化の訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語入門Ⅰb	よし だ ふき こ 吉 田 蒔 子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活で出会う日本語の基本語彙、文型の中で、各学生にとって使用語彙、文型の幅を広げていく。基礎的な日本語を用いて、有用な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の確認
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活における発話に自信を持たせ、平易な文章表現が容易にできるような訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語入門Ⅱ a	よし だ かし こ 吉 田 蒨 子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも大学生生活で戸惑うことがないように、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・日本の学年暦を追って日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化、習慣と学生自身のものの比較を交えて理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語入門Ⅱ b	よし だ かし こ 吉 田 蒨 子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも有意義な大学生生活が体験できるよう、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・固有の文化に外来のものを適度に織り交ぜて発展してきた日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化や習慣、日本人の考え方と、各学生の出身地のものの比較を交えて相互理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語 I a	佐野典子
日本語 I b	

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名
日本語 I a	多田羅哲子

講義のねらい

語彙表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

衣・食・住・学生生活など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語 I b	多田羅哲子

講義のねらい

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

政治・経済・文化・社会問題などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高めるより深く理解できるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅱ a	佐野典子
日本語Ⅱ b	

講義のねらい	本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。
履修上の留意点	教材は、担当者が用意する。
成績評価の方法	成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名
日本語Ⅱ a	多田羅哲子

講義のねらい	話すことを中心に日本語の運用能力を高める。 言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。 発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。
講義の内容・授業スケジュール	紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。 テープで自分が話した日本語を聞く。
履修上の留意点	授業活動が大切なので出席し、授業に参加すること。
成績評価の方法	平常点を重視する。
教科書	必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅱ b	多田羅哲子

講義のねらい	話すことを中心に日本語の運用能力を高める。 言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。 発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。
講義の内容・授業スケジュール	意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・検討を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめる。話し言葉と書き言葉の違いを知る。 テープで、自分が話した日本語を聞く。
履修上の留意点	授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。
成績評価の方法	平常点を重視する。
教科書	必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅲ a	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>

講義のねらい	聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。 聞き取った内容を把握すると共に、相手や立場、場面を考えてそれにふさわしい言葉で話せるようになることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	ビデオでドラマ・映画・ドキュメンタリーなどを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。どんな敬語を使うのか、くだけた言い方がいいのか、どういえば自然かなど、相手や立場などによって使い分けられるよう練習をする。
成績評価の方法	平常点を重視する。
教科書	ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅲ b	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>

講義のねらい	聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。 ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。
講義の内容・授業スケジュール	ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。 聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠を話し合い、文章に書き表す。
成績評価の方法	平常点を重視する。
教科書	必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅲ a	湯村 礼子 <small>ゆむら れいこ</small>
日本語Ⅲ b	

講義のねらい	これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにすること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。
講義の内容・授業スケジュール	新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。
履修上の留意点	授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。
成績評価の方法	期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。
教科書	最初の授業時に指定する。

科目名	担当者名
日本語Ⅳ a	いし かわ まさる 石 川 守

講義のねらい

日本語の基礎を振り返り、よりしっかりした日本語の基礎を身につけるため日本語Ⅴ・Ⅵの続きの部分をやっていきます。内容は日本語の基礎文法の最終部分を概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の基礎を日本語Ⅴ・Ⅵに引き続いて深くじっくりやっていきます。

履修上の留意点

日本語Ⅳは、日本語Ⅴと日本語Ⅵの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。授業順序は日本語Ⅴ→日本語Ⅵ→日本語Ⅳの順でやっています。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅳ b	いし かわ まさる 石 川 守

講義のねらい

しっかりとした日本語の基礎を作り上げるために日本語Ⅳ aに引き続き日本語の基礎文法の最終部分をじっくりやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Ⅳ aの続きの部分を行っていきます。日本語の基礎の最終部分、受身・使役などをやっていきます。

履修上の留意点

日本語Ⅳ aの続きの内容を行います。

成績評価の方法

試験の成績50%、授業態度、出席などで50%をつけていきます。

教科書

特になし。授業中に自作のプリントを配ります。

参考書等

辞書を持参してください。

その他

授業態度重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅳa	湯村礼子

講義のねらい	読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。
履修上の留意点	授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。
成績評価の方法	課題作文（3回） 提出物 授業活動（授業での発言、授業態度など）
教科書	教科書は授業時に指定する。

科目名	担当者名
日本語Ⅳb	湯村礼子

講義のねらい	読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	説明文、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。
履修上の留意点	授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。
成績評価の方法	作文（3回） 提出物 授業活動（授業での発言、授業態度など）
教科書	教科書は授業時に指定する。

科目名	担当者名
日本語Ⅴa	石川守

講義のねらい	しっかりとした日本語の基礎を築くために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。呼称や指示詞などはじめからじっくりやっていきます。
講義の内容・授業スケジュール	日本語Ⅴは、日本語Ⅵと日本語Ⅳの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。
履修上の留意点	日本語Ⅴ→日本語Ⅵ→日本語Ⅳの順に進み、全体として日本語の基礎が復習できるように構成されています。この授業をとられる方はこの三つをセットで取ることをおすすめします。
成績評価の方法	試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%の合計でつけます。
教科書	特になし。授業中にプリントを配ります。
参考書等	辞書を持ってきてください。
その他	受講態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅴb	石川守

講義のねらい	日本語Ⅴaに続けて、日本語のしっかりした基礎をつくることを目標にしています。
講義の内容・授業スケジュール	日本語Ⅴaの続きをやっていきます。
履修上の留意点	日本語Ⅴaと同じです。
成績評価の方法	試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%。
教科書	特になし。授業中にプリントなどを配ります。
参考書等	辞書を持ってきて下さい。
その他	受講態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅴa	多田羅 哲子

講義のねらい	読むことを中心に日本語の表現力も高める。 レポートを書くための基礎を学ぶ。
講義の内容・ 授業スケジュール	各種の新聞記事など時事問題を中心に自分で調べながら読み、内容について説明したり、意見発表を行う。 それらを文章にまとめる。
成績評価の方法	平常点（小テスト・提出物・授業の参加度）を重視する。
教科書	プリント配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅴb	多田羅 哲子

講義のねらい	読むことを中心に日本語の表現力も高める。 レポートを書くための基礎を学ぶ。
講義の内容・ 授業スケジュール	各自関心のある内容の文章を集めて読み、内容を発表する。その内容について話し合い、文章にまとめる。
成績評価の方法	平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。

科目名	担当者名
日本語Ⅵa	石川 守

講義のねらい	日本語の基礎文法を日本語Ⅴに引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作るために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。
講義の内容・ 授業スケジュール	日本語Ⅴa、bで行った日本語の後の部分をやっていきます。講義内容は日本語Ⅴ→日本語Ⅵ→日本語Ⅳの順番で構成されています。したがって本授業は日本語の基礎の中間部に当たります。
履修上の留意点	日本語Ⅵは、日本語Ⅴと日本語Ⅳの三つの科目で日本語の基礎文法の復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人は日本語Ⅳ、Ⅴ、Ⅵの三つをとることをお勧めします。
成績評価の方法	試験50%、平常点（出席点、授業態度）50%の合計で出します。
教科書	特になし。授業中にプリントを配ります。
参考書等	辞書を持ってきてください。
その他	授業態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅵb	いし かわ 石川 守

講義のねらい	日本語のⅥaの続きを行い、しっかりした日本語文法の基礎を作ります。
講義の内容・授業スケジュール	日本語Ⅵaの残りの部分を行っていきます。内容は日本語の基礎文法の間部分後半になります。
履修上の留意点	この授業は、日本語Ⅵaの次の部分を行っていきます。
成績評価の方法	試験50%、平常点（出席、受講態度）50%。
教科書	特になし。授業中にプリントを配ります。
参考書等	辞書を持ってきてください。
その他	受講態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅵa	た た ら あ き 多田羅 哲子

講義のねらい	文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。
講義の内容・授業スケジュール	雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。 漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。
成績評価の方法	平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅵb	た た ら あ き 多田羅 哲子

講義のねらい	文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。
講義の内容・授業スケジュール	雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。 漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。
成績評価の方法	平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。

科目名**担当者名**

日本事情 I〔地理〕

たか ばし けん たろう
高 橋 健太郎

講義のねらい

人々の生活や地域社会の特徴と変化などを、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の文化や人々の生活、地域社会の取り組みについて、主に次の項目について検討する。
(1) 日本の地域性、(2) 都市の構造と変容、(3) 農山村の生活と地域振興、(4) 地域文化と観光、(5) 地図と地名。
日本の地域的な特徴についての理解を深めてもらうために、統計資料の計算や地図作りなどの作業も取り入れる。また、大学の外に出て、特徴のある地域や施設の見学も行う。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

成績評価の方法

ほぼ毎回教場で作成してもらう小レポートと学期末のレポートで評価。

教科書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3)自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や環境保全のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・授業スケジュール

第Ⅰ章 位置

1. 国土の範囲
2. 行政区分
3. 位置の特徴

第Ⅱ章 気候

1. 気候帯
2. 日本近海の海流
3. 気候の特徴
4. 気団と季節
5. 気象観測
6. 気候と文化

第Ⅲ章 地質・地形

1. 弧状列島
2. 変動の歴史
3. 多様な地形
4. 火山
5. 地震

第Ⅳ章 生物

1. 気候帯と植生帯
2. 生物多様性
3. 生物地理区
4. 里山の生物
5. 帰化生物

第Ⅴ章 環境保全の諸制度

1. レッドデータブック
2. 国内の法律
3. 国際条約

成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

教科書

講義の内容を日本語の文章で著わした「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。また、それを英語に翻訳した「英語web版教科書」も用意する。これらは清水のHPから自由にダウンロードできる。

参考書等

「web版教科書」で分野ごとの参考書を紹介する。

その他

講義に必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する(漢字にはできるだけ読みがなをつける)。なお、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著わしたweb版教科書を用意する。

科 目 名	担 当 者 名
日本事情Ⅲ〔歴史〕	あさ くら なお み 浅 倉 直 美

講義のねらい

日本の歴史を学ぶにあたって、とくに日本史上の大変革期である16世紀から17世紀前半を取り上げ、テーマを設けて、日本の諸事情および朝鮮半島・中国大陸と日本との関係について考えていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 京と江戸
- (2) 織田信長と室町幕府の滅亡
- (3) 豊臣秀吉と天下一統
- (4) 城
- (5) 中世後期の文化
- (6) 古文書
- (7) 徳川家康と江戸幕府
- (8) 環日本海と鎖国
- (9) 江戸の大店と長屋
- (10) 江戸の町人文化 など

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートを提出してもらいます。

教 科 書

随時プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名
日本事情Ⅳ〔思想〕	すが わら ひかる 菅 原 光

講義のねらい

近世から近代の時期を対象とし、通史的に日本思想を取り上げる。まずは儒学を中心とする伝統思想の基本的な枠組みを押さえてから、西洋思想との出会いの意味を検証し、その出会いによってどのような形で日本の思想が再構築されたかを学んでいきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

授業計画は以下のとおり。

1. ガイダンス
2. 政治思想の古典としての儒教と基礎概念
3. 徳川初期の思想と儒教
4. 日本における朱子学批判
5. 国学とナショナリズム
6. 西洋の衝撃
7. 明治思想
8. まとめ

授業の最後に、簡単なレポートを実施することがある。

成績評価の方法

出席状況並びに、適宜実施するレポートの評価などにより総合的に評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業時に適宜紹介する。

科目名**担当者名**

日本事情V〔社会〕

つばい 井 健

講義のねらい

この講義は、外国人留学生、日本人帰国子女学生等を対象に、日本社会の現状について理解を深めてもらうことを目的に実施します。具体的には、日本人の生活者の視点から、敗戦後の復興期、高度成長期などを経て現在に至る生活変動の概略をビデオ等で紹介し、その後、地域社会、学校教育、高齢社会の現実などを現地見学やビデオを使いながら、視覚的・体験的理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに－講義の仕方と注意事項－
2. 戦後民衆の生活変動1－講義－
3. 戦後民衆の生活変動2－ビデオと討論－
4. 地域社会の実情1－講義－
5. 地域社会の実情2－現地見学またはビデオ視聴－
6. 地域社会の実情3－討議とまとめ－
7. 学校教育の実情1－講義－
8. 学校教育の実情2－現地見学またはビデオ視聴－
9. 学校教育の実情3－討議とまとめ－
10. 高齢社会の実情1－講義－
11. 高齢社会の実情2－現地見学またはビデオ視聴－
12. 高齢社会の実情3－討議とまとめ－
13. 日本社会事情－全体のまとめ－

履修上の留意点

この授業は、講義だけでなく、現地見学やビデオ機器などを利用して、体験的・視覚的理解を深めることを目的としています。従って、積極的に参加し、体験と感動を共有してもらい、楽しい授業になることを期待しています。現地見学は、なるべく近隣の施設を利用し、正規授業時間内に収まるよう工夫する予定です。他の授業時間に影響しないようにしますので、安心してください。

成績評価の方法

参加度(60%) + 課題レポート(40%)

教科書

特定の教科書は使用しない。適宜プリントを配布する。

参考書等

授業中に指示する。

その他

特に、英語や他の外国語での補足説明はしませんが、日本語能力に不足する学生にも十分配慮して進める予定です。講義内容は詳細なプリントで説明し、事例的内容はビデオや現地見学など視覚教材や体験学習を通して理解できるよう配慮する予定です。日本語能力に関係なく十分楽しめる授業になるはずで。

科目名	担当者名
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	三竹直哉

講義のねらい	日本の政治について知り、みんなで意見交換します。
講義の内容・授業スケジュール	<p>下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎議会制民主主義 ◎三権分立と二院制 ◎天皇 ◎選挙制度 ◎政党と派閥 ◎ナショナリズム ◎安全保障 ◎マイノリティ
履修上の留意点	出席と授業参加を重視します。
成績評価の方法	平常点によります。ただし、出席が少ない人、発言が少ない人などには、期末テストを行う可能性があります。詳細は最初の授業で説明します。
教科書	指定する予定はありません。
その他	I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese.

科目名	担当者名
日本事情Ⅶ〔文学〕	かつほらほるき 勝原晴希

講義のねらい	本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、日本の文学作品の紹介を通じて、日本のことばと文化に対する理解を深めることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	日本の文学作品を読み進めながら、幅広く日本文化のあり方を考える。最初の回に、日本文学・日本文化のどの点に興味や関心を持っているか、アンケートをとり、できる限り要望にこたえたい。人数にもよるが、各自がテーマを選定し、調査研究して発表するという形式をとることもある。
履修上の留意点	第一回目にオリエンテーションを行うので、必ず出席すること。
成績評価の方法	出席状況を特に重視し、またレポート・発表・授業態度によって総合的に評価する。
教科書	必要に応じてプリントを配布する。
参考書等	授業時に紹介する。

科目名	担当者名
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕	菅原 光

講義のねらい

日本文化や日本人について、洋の東西も時代も問わず、様々な思想家が論じてきた。本講義では、代表的な日本文化論・日本人論を取り上げることにより、日本がどのように語られてきたのかという形で日本文化についての知識を学んでいくと共に、日本とは何か？日本人とは何か？さらには、日本人論が消費されるのは何故か？そういった点にまで踏み込んで考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業計画は以下のとおり。

1. ガイダンス
2. 日本人論とは何か？
3. 江戸以前の日本人論
4. 明治時代の日本人論
5. 戦間期の日本人論
6. 戦後の日本人論
7. まとめ

授業の最後に、簡単なレポートを実施することがある。

成績評価の方法

出席状況並びに、適宜実施するレポートの評価などにより総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

科目名	担当者名
日本事情Ⅸ〔経済〕	小林 正人

講義のねらい

第二次大戦後の日本の歴史について経済史の研究者により格好の書物が昨年出版されたので、これを教科書として使いながら、戦後の日本経済の歴史について講義する。講義の節目にいくつかのビデオ教材も提示し、日本社会の経済的側面について具体的な知識を提供する。受講生の日本語能力の向上にも役立つような講義にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の中の、下記の主要項目にかかわる部分を取り上げて講義する。また関連するビデオを講義の節目に提示して、具体的な知識を提供したい。

1. 占領と経済民主化
2. 高度経済成長
3. ニクソン・ショックと石油ショック
4. バブル経済の発生と崩壊

履修上の留意点

教科書の中の、あらかじめ指定される部分をよく読んで受講すること。

成績評価の方法

出席状況、途中での教科書の音読(日本語能力)、期末のレポートにより総合的に評価する。

教科書

中村政則『戦後史』岩波新書、2005年(7月)

参考書等

授業中に紹介する。

その他

授業の途中または後での質問を歓迎します。

科目名**担当者名**

日本事情Ⅹ〔経営〕

は とり
羽 鳥 しげる
茂

講義のねらい

1980年代以降の日本経済の動向を振り返り、現状と課題を講義します。バブルの発生と崩壊、その後の長期停滞とデフレ脱却への試みなどが中心的なテーマとなります。

成績評価の方法

出席状況を特に重視するとともに課題レポートによって総合的に評価します。

教科書

教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

適時に紹介しますので、講義の理解とレポート作成に役立ててください。

その他

講義は日本語で行いますが、希望者があれば英語での対応も考えますので申し出てください。

V 随 意 科 目

V. 随 意 科 目

科 目 名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	頁数
英語（海外演習）	文学部全学科1年次～		2		791
フランス語（海外演習）	文学部全学科1年次～		2		791
中国語（海外演習）	文学部全学科1年次～		2		791
宗教学概説	文学部全学科2年次～	通年	4	矢野秀武	792
宗教学概説	文学部全学科2年次～	通年	4	池上良正	792
宗教学概説	文学部全学科2年次～	通年	4	川上新二	793
哲学概説	文学部全学科2年次～	通年	4	末木恭彦	793
哲学概説	文学部全学科2年次～	通年	4	久保陽一	794
倫理学概説	文学部全学科2年次～	通年	4	河谷淳	795
歴史哲学	文学部全学科2年次～	通年	4	久保陽一	795
宗教学人類学	国文・英米文・地理・歴史・福祉2年次～	通年	4	矢野秀武	696
民間信仰論	文学部（国文学科除く）2年次～	通年	4	谷口貢	371
日本宗教文化史	文学部全学科2年次～	通年	4	小川順敬	796
民衆宗教成立史	文学部全学科2年次～	通年	4	鈴木一馨	796
美術史概説	英米文・地理・社会・福祉・心理2年次～	通年	4	北野良枝	373
東洋思想史	文学部（国文学科除く）2年次～	通年	4	末木恭彦	372
日本民俗学	英米文・地理・社会・福祉・心理2年次～	通年	4	谷口貢	371
日本仏教史	国文・英米文・地理・社会・福祉・心理2年次～	通年	4	松本信道	567

科目名

英語 (海外演習)

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期留学英語セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。ただし、春季クインズランド大学（オーストラリア）のセミナーに関しては、卒業年次生は除く。

成績評価の方法

現地演習後に四大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期留学英語セミナーに参加申込みをする。

科目名

フランス語(海外演習)

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるプロヴァンス大学(フランス)における短期留学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれるフランス語随意科目である。受講対象学生は学部・短大の1年次生から3年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期留学フランス語セミナーに参加申込みをする。

科目名

中国語(海外演習)

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期留学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる中国語随意科目である。受講対象学生は学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期留学中国語セミナーに参加申込みをする。

科目名**担当者名**

宗教学概説

矢野秀武

講義のねらい

世界には様々な宗教伝統があり、多様な思想・体験・歴史・活動が見られる。また特定の集団には関わらないが宗教的と言える現象などもある。本講義では、これらの宗教伝統や宗教的現象について、無批判に肯定するのではなく、闇雲に批判し遠ざけるのでもない、そういった視点から理解することの重要性を学んでもらいたい。また、世界の諸宗教の多様性や、それぞれの宗教伝統内部に多様性のあることも理解してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は宗教についての基礎知識と具体的なイメージを持っていただくため、世界の諸宗教についての歴史と思想について学ぶ。後期では、聖なるもの、儀礼、まじない、神秘体験、入信過程、カルト問題、宗教間の対話などの切り口から、宗教学のものの見方を紹介する。

成績評価の方法

前期末と後期末にそれぞれ試験を行う。試験形式や授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

教科書

なし。

参考書等

授業時に随時紹介する。

科目名**担当者名**

宗教学概説

池上良正

講義のねらい

テーマは「生活の中の宗教」。現代人にも身近な生活のトピックを取り上げ、比較宗教学的な視点から考察する。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なトピックとしては、「儀礼と祭り」「弔いと供養」「イスラームとは何か」などを考えている。各種のビデオを活用したい。

履修上の留意点

学生参加型の授業とする。受講者には最低1回は発表してもらおう。意欲のある学生の履修を期待する。

成績評価の方法

課題の発表、授業中の議論、出席状況から、総合的に評価する。

参考書等

講義のなかで適宜指示する。

科目名	担当者名
宗教学概説	川上新一

講義のねらい

宗教の存在しない国、地域、民族はないといえます。したがって宗教の理解は世界各地の人々（自分自身も含めて）を理解するための助けとなり、さらには人間とは何かを考えることにもつながると考えられます。この講義では、さまざまな宗教を理解するための視座を養うことを目指したいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教学の基礎的知識について紹介します。①宗教学の立場と諸分野、②宗教の分類、③宗教の基本的諸形態などについて講義します。
後期は、宗教の理解の具体例として、日本と韓国・朝鮮で見られるさまざまな宗教現象をとりあげて考察を加えていきます。特に①神話、②シャーマニズム、③祖先崇拜、④仏教の土着化などについて講義します。

履修上の留意点

宗教は世界各地にさまざまな姿で存在しており、それらを理解するための接近方法もさまざまです。宗教に関する理解をさらに深めたいと考える方は、宗教に関連した他のさまざまな講義を積極的に受講することを勧めます。

成績評価の方法

出席状況とレポートにより評価します。

教科書

教科書は用いません。

参考書等

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

科目名	担当者名
哲学概説	末木恭彦

講義のねらい

哲学とはいかなる学問か理解をはかる。本講義は、この課題を東洋の視点から考察する。

講義の内容・授業スケジュール

哲学は、西洋の独占物ではない。西洋に啓発されてではあるが、東洋においても独自の哲学の試みはなされている。その東洋における哲学の試みの中から、馮友蘭を取挙げ、今年度はその著『新知言』を紹介する。馮友蘭の哲学は、彼自らが貞元六書と呼ぶ、六つの著作に展開されている。『新知言』は、その貞元六書の六番目に位置する。馮友蘭の視点から世界の哲学を把握し、その中に自らの哲学の位置付けを企てた書である。東西の比較という点からも興味をひく書である。尚、『新知言』には日本語訳がないので、私の作った抄訳を資料として配布する。

履修上の留意点

ノートを確実に取ること。

成績評価の方法

年一回以上の試験、もしくはレポートにより評価する。

科目名**担当者名**

哲学概説

くほよついち
久保陽一

講義のねらい

哲学は世界や人間についてその原理や根拠を問う学問であると同時に、世界の中で人間がいかに生きるべきか、人生の目標や意義、道徳や価値（何が善いか、何が正しいか、何が美しいか等）を究明しようとするものでもある。我々は日常たえず意識しているとは限らないが、人生のふしぶしで何がしかそのような人生論的あるいは倫理的な問題につきあたらざるをえない。今年度の講義は、哲学のそのような側面を取り上げることにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

古今東西の有名な人生論や倫理思想を取り上げる。
前期では、主に、①アジアの思想（仏教、儒教）、②古代ギリシア哲学、③キリスト教という、源流にさかのぼる。
後期では、主に、近代から現代にいたる、種々の人生論・倫理思想を取り上げ、その現代的意義を考えることにする。

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取ることを。私語はつつしむこと。理解できなかったところは、遠慮なく質問すること。

成績評価の方法

出席数、試験（前期と年度末）、レポートによって評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

参考書等

渡辺二郎『現代の哲学』（日本放送出版協会）1,800円
渡辺二郎『人生の哲学』（放送大学教育振興会）2,800円

その他

講義

科目名

担当者名

倫理学概説

かわ 谷 淳
か た に あつ
河 谷 淳

講義のねらい

新しい技術によってなにかが「できる」ようになったからといって、倫理的に「してもよい」ということにはならない。例えば、携帯電話という技術によっていつでもどこでも電話が使えるようになったからといって、いつでもどこでも電話を使ってもよいということにはならない。技術の進歩によって「できる」ことの幅が広がる一方で、既存の問題に加え、新たな倫理的問題も生じてこざるをえない。こうした問題を考えるにあたって本講義は次のような二段構えの構成を採る。すなわち、前期は (a) 古代ギリシア以来の西洋思想史における様々な倫理観を取り上げることでそうした倫理思想と現代との関係を考え、後期は (b) 応用倫理とりわけ生命倫理の諸問題とそのアプローチの仕方を取り上げることで私たちに身近なことがらを「倫理的に考える」とはどういうことなのかを考えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。

前期 (a) 西洋倫理思想史

徳倫理学：プラトン、アリストテレス、幸福な人とはどのような人か
義務論：カント、定言命法としての道徳原則、なぜ嘘はいけないのか
功利主義：ベンサム、ミル、最大多数の最大幸福

後期 (b) 生命倫理を中心とした応用倫理の諸問題 (生老病死をめぐる倫理)

- 1) インフォームド・コンセントをめぐる問題
- 2) 安楽死・尊厳死の是非をめぐる問題
- 3) 脳死と臓器移植をめぐる問題
- 4) クローン技術のヒトへの適用の是非をめぐる問題

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

前期最終授業日に実施する中間試験と期末試験 (40点満点×2) ならびに夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

科目名

担当者名

歴史哲学

く ぼ よう いち
久 保 陽 一

講義のねらい

「歴史」には、過去に行われた出来事という客観的な意味と、その出来事の記述という主観的な意味とが含まれ、両者はからみ合っている。我々が過去の「歴史」を認識しようとするとき、一方で実際に検証できる事実をもとにしなければならないが、他方で無数ある事実のどれを取り出し、どのような枠組で叙述するかが問われる。「歴史」は歴史家の関心や立場なしには成り立たない。このような連関を反省するのが、歴史の方法論や哲学である。今年度は、そのような「歴史哲学」の一つの典型を示した、ヘーゲルの『歴史哲学』を主に取り上げ、現代における歴史認識について考えることにしたい。

履修上の留意点

テキストや参考書をよく事前に読んでおくこと。

成績評価の方法

出席状況とレポート

教科書

ヘーゲル『歴史哲学』(上中下三冊)(岩波文庫)

参考書等

渡辺二郎『現代の思想的状況—歴史の哲学』(放送大学教育振興会)
E. H. カー『歴史とは何か』(岩波書店)

科目名
日本宗教文化史

担当者名
小川順敬

講義のねらい

日本の他界観、生死観の変遷を考える。
われわれの文化は（われわれの文化ばかりではありませんが）自分たちが生きているこの世界の他に、もう一つ別の世界や空間を創り出してきました。そして、それはわれわれに、いかに生きいかに死ぬかという問題を考えさせる文化装置として機能してきたと言えます。（現代社会においても、他界のイメージこそ異なるでしょうが、それは一定の役割を果たしていると言えるでしょう。）

ここでは、日本の伝統的な他界や仏教がもたらした他界のイメージが、生と死の文化装置として、どの様に具体化されてきたのか、すなわち他界という見えない世界がどのように表現され演出されてきたのかを考えてみることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

最初に他界観の前提としての日本人の靈魂観について述べ、「生と死」をわれわれがどのように考えてきたのかを整理しておきたいと思います。その上で、様々な「他界」について紹介・検討して行きたいと思います。

山中他界や海上他界、あるいは浄土や地獄がどのように実現されているのか。様々な聖地や、民俗行事（祭礼や儀礼）、寺院行事、また物語、芸能などを題材（ビデオ等使用する予定）として、この世では見えないはずの他界が、この世でどのように表現されてきたのか、そしてこの世と他界がどのように結ばれているかを見て行きたいと思います。

成績評価の方法

レポートその他で評価する。

教科書

教科書・参考書は用いない。なお授業の内容にそって資料を配布する。また参考書はそのつど紹介することにした。

科目名
民衆宗教成立史

担当者名
鈴木一馨

講義のねらい

民衆宗教は、世俗の中に生きるひとびとが既成宗教の体系にとらわれずに、そのさまざまな願望に応じたものごとを取り入れながら形成したものである。それがゆえに、無秩序で「いいかげんなもの」とイメージされやすいが、実はそうではなく、取り入れた要素を独自の論理で編成しオリジナリティ溢れる体系を作り上げている。

この講義では、日本の民衆宗教の一例として陰陽道を探り上げ、前期に陰陽道の初期的形成とそれを支える中国的宇宙論について基礎的な知識を講説し、後期はその基礎に立って民衆宗教としての陰陽道の実像とその役割について講説する。そして、両者を併せて民衆宗教の形成のされ方について理解を深めてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

前期：Ⅰ. 陰陽道と「陰陽」の宇宙論
 (1～4)「陰陽寮」と「陰陽道」 (5～9)「陰陽」の理論と世界観
 (10～13) 暦と世界の変化
 後期：Ⅱ. 陰陽道と民衆宗教
 (14～16) 平安貴族の日常と陰陽道 (17～20) 陰陽道の占い
 (21～26) 呪術者としての陰陽師

履修上の留意点

講義に対する積極的な姿勢と、社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をしないといけない。また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カードの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。

成績評価の方法

出欠状況、期末試験、小テスト、質問への返答、受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

教科書

鈴木一馨『陰陽道—呪術と鬼神の世界—』（講談社選書メチエ244、2002年）1,575円

参考書等

林淳・小池淳一編『陰陽道の講義』（嵯峨野書院、2002年）3,150円
 高埜利彦編『民間に生きる宗教者』（吉川弘文館、2000年）2,940円